

# 「食肉に関する意識調査」 報告書

令和4年度

公益財団法人 日本食肉消費総合センター

## 食肉に関する意識調査

## 目次

1. 調査の目的と分析の基本方針 .....	1
1.1 調査の目的.....	2
1.2 分析の基本方針.....	2
1.3 調査対象期間 .....	2
1.4 調査手法 .....	2
1.5 調査手順 .....	2
1.6 対象者条件.....	2
1.7 集計対象 .....	3
1.8 回答者属性.....	3
1.9 過年度の調査対象と継続設問 .....	5
2. 考察 .....	8
2.1 家畜伝染病（口蹄疫、豚熱、アフリカ豚熱、鳥インフルエンザ）に対する 消費者意識の考察 .....	8
1)家畜伝染病（口蹄疫、豚熱、アフリカ豚熱、鳥インフルエンザ）の全頭殺処分 の認知度（Q23）： エリア・性・年代別、食肉（牛肉・豚肉・鶏肉）への不安度(Q20)別分析 .....	9
2)家畜伝染病（口蹄疫、豚熱、アフリカ豚熱、鳥インフルエンザ）への関心度（Q21）： エリア・性・年代別、食肉（牛肉・豚肉・鶏肉）への不安度(Q20)別分析 .....	11
3)家畜伝染病（口蹄疫、豚熱、アフリカ豚熱、鳥インフルエンザ）への不安（Q22）： エリア・性・年代別、食肉（牛肉・豚肉・鶏肉）への不安度(Q20)別分析 .....	15
4)家畜伝染病（口蹄疫、豚熱、アフリカ豚熱、鳥インフルエンザ）への認知・理解（Q24～Q27）： エリア・性・年代別、食肉（牛肉・豚肉・鶏肉）への不安度(Q20)別分析 .....	20
2.2 「SDG s と畜産物」「アニマルウェルフェア（AW）」に対する 消費者意識の考察 .....	32
<u>「SDG s と畜産物」に対する消費者意識</u>	
1)「持続可能な開発目標（SDG s）」の認知度（Q33）：エリア・性・年代別分析 .....	33
2)「温室効果ガスの排出量削減」の関心度（Q34）：エリア・性・年代別分析 .....	34
3)「温室効果ガス排出量削減認証マーク」がついている国産牛肉の購入意向（Q35）： エリア・性・年代別分析 .....	35
4)「温室効果ガス排出量削減認証マーク」がついている国産牛肉の購入意向の追加支払意思（Q36）： エリア・性・年代別分析 .....	36

## 「アニマルウェルフェア（AW）」に対する消費者意識

- 5) 「アニマルウェルフェア（AW）」の認知度（Q37）：エリア・性・年代別分析 ..... 38
- 6) 「アニマルウェルフェア（AW）」の関心度（Q38）：エリア・性・年代別分析 ..... 39
- 7) 「アニマルウェルフェア配慮認証マーク」がついている国産牛肉の購入意向（Q39）：  
エリア・性・年代別分析 ..... 40
- 8) 「アニマルウェルフェア配慮認証マーク」がついている国産牛肉の追加支払意思（Q40）：  
エリア・性・年代別分析 ..... 41

## Environmental Portrait Value Questionnaire(E-PVQ)尺度に基づく価値観を用いた

### 「SDGsと畜産物」「アニマルウェルフェア（AW）」に対する消費者意識分析

- 9) 本調査で用いた Environmental Portrait Value Questionnaire(E-PVQ)質問形式、質問項目と回答方法（Q46） ..... 43
- 10) Environmental Portrait Value Questionnaire(E-PVQ)尺度に基づく価値観について（Q46）：  
エリア・性・年代別分析 ..... 44
- 11) Environmental Portrait Value Questionnaire(E-PVQ)尺度に基づく回答者の価値観把握（Q46） .. 47
- 12) 「温室効果ガス排出量削減認証マーク」つき国産牛肉と  
「アニマルウェルフェア配慮認証マーク」つき国産牛肉の CVM 分析（Q33～40、Q16） ..... 55

## **2.3 「新型コロナウイルス感染症」の流行に伴う食肉に関わる食生活・購買行動の変化 及び 最近の円安・資源価格の高騰等に伴う物価上昇による食肉消費への影響に関する変化の考察.....66**

### 「新型コロナウイルス感染症」の流行に伴う食肉に関わる食生活・購買行動の変化

- 1) 「新型コロナウイルス感染症」についての不安（Q41）：エリア・性・年代別分析 ..... 67
- 2) 「新型コロナウイルス感染症」の流行に伴う食肉（牛肉、豚肉、鶏肉）に関わる  
食生活・購買行動の変化（Q42）：エリア・性・年代別分析 ..... 70

### 最近の円安・資源価格の高騰等に伴う物価上昇による食肉消費への影響に関する変化

- 3) 「円安・資源価格の高騰等による物価上昇の影響」についての不安（Q43）：  
エリア・性・年代別分析 ..... 75
- 4) 「円安・資源価格の高騰等による物価上昇」の影響度（Q44）：エリア・性・年代別分析 ..... 76
- 5) 「円安・資源価格の高騰等による物価上昇」により影響があった事項（Q45）：  
エリア・性・年代別分析 ..... 77

<b>3. 食肉の購買実態に関する調査</b> .....	<b>86</b>
1)食肉の種類別機会別の喫食頻度 (Q4) .....	86
2)食肉に対する種類別イメージ (Q5) .....	91
3)食肉の種類別購入頻度 (Q6) .....	96
4)食肉の種類別の主な購入先 (Q7) .....	98
5)食肉購入時に重視する点 (Q8) .....	103
6)昨年同期と比べた最近1か月の食肉購入回数の変化 (Q9) .....	108
7)食品の購入回数の変化 (Q10) .....	112
8)各種牛肉の購入意向 (Q11) .....	116
9)各種牛肉の購入頻度 (Q12) .....	117
10)各種牛肉のイメージ (Q13) .....	121
11)国産和牛肉の輸入牛肉に対する価格許容度 (Q14) .....	127
12)和牛以外の国産牛肉の輸入牛肉に対する価格許容度 (Q15) .....	129
13) 国産和牛肉／和牛以外の国産牛肉の輸入牛肉に対する価格許容度 (Q14・Q15) :	
順序プロビット回帰分析 .....	131
14)国産牛肉 (和牛を含む) の普段購入価格帯 (100gあたりの税込み価格) (Q16) .....	136
15)産地別牛肉の購入意向 (Q17) .....	137
16)産地別豚肉の購入意向 (Q18) .....	139
17)産地別鶏肉の購入意向 (Q19) .....	140
<b>4. 食肉の安全性に関する意識調査</b> .....	<b>141</b>
<b>4.1 食品の安全性に関する意識</b> .....	<b>141</b>
1)食品の安全性の不安感 (Q20) .....	141
2)食肉の安全性に関する項目別関心度 (Q21) .....	148
<b>4.2 食肉の安全性に対する社会的な意識</b> .....	<b>156</b>
1)社会全体における食肉の安全性の認識 (Q28) .....	156
2)食肉の情報を得るために用いている主な情報源・信頼できる情報源	
①食肉の安全性 ②食肉の栄養や機能 (Q29・Q30) .....	157
3)各機関の取組に対する信頼性 (Q31) .....	161
4)食肉の情報提供に対する行政への期待 ①食肉の安全性 ②食肉の栄養や機能 (Q32) .....	164
<b>5. 集計表</b> .....	<b>169</b>

## 調査の目的と分析の基本方針

## 1. 調査の目的と分析の基本方針

### 1.1 調査の目的

消費者の食肉（牛肉、豚肉、鶏肉）の「購買状況、食肉に対する意識等」を調べ、国産食肉の安全・安心につながる要因を明らかにし、食肉に対する正しい理解・風評被害の防止等に資することを目的とする。

### 1.2 分析の基本方針

分析を行う上では、過年度調査との比較を試みることによって示唆を得るよう心掛けた。

### 1.3 調査対象期間

令和4年10月下旬に実施

### 1.4 調査手法

インターネット調査を実施した。対象者はモニター群から抽出した。

### 1.5 調査手順

調査の参加意向者募集  
実調査の実施

### 1.6 対象者条件

アンケートの対象者は「20歳以上、かつ本調査時点までの間に食肉(牛肉／豚肉／鶏肉)を自身で購入し食した方」とした。また、「1.2 分析の基本方針」でも示した通り、過年度調査との比較を分析の基本方針としていることに鑑み、エリア・世代・性別の分布については昨年度調査の構成比と近づけるよう調整を行った。

## 1.7 集計対象

1,800人からアンケートの回答を得た。そのうち、以下の2エリア、6世代を掛け合わせた12セルについて1セル150人、計1,800人を抽出し、集計対象とした。

### 1.7.1 エリア・世代分布

	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	合計
首都圏	150	150	150	150	150	150	900
京阪神圏	150	150	150	150	150	150	900
合計	300	300	300	300	300	300	1,800

図表 1 集計対象のエリア・世代分布

### 1.7.2 エリア区分

エリア名	都道府県名
首都圏	埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県
京阪神圏	大阪府、京都府、兵庫県、奈良県、和歌山県、滋賀県

図表 2 エリア区分（回答者所在都道府県）

## 1.8 回答者属性

### 1.8.1 性別

合計	男性	女性
1,800	900	900

図表 3 回答者属性（性別）

### 1.8.2 世帯年収構成

合計	300万円未満	300～500万円未満	500～700万円未満	700～1,000万円未満	1,000～1,500万円未満	1,500万円以上	答えたくない/わからない
1,800	278	397	316	270	129	58	352

図表 4 回答者属性（世帯年収構成）

### 1.8.3 世帯構成人数

合計	単身	2人	3人	4人	5人	6人以上
1,800	361	585	453	290	83	28

図表 5 回答者属性（世帯構成人数）



#### 1.8.4 回答者の学歴

合計	中学	高校	専門学校	短大・高専	大学	大学院
1,800	48	455	187	194	848	68

図表 6 回答者属性（学歴）

#### 1.8.5 回答者の所在都府県

合計	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県
1,800	153	135	374	238	52	101	407	242	63	35

図表 7 回答者属性（所在都府県）

#### 1.8.6 家族構成員の状況

合計	妊娠されている方	小学校入学前の子ども(乳児・幼児を含む)	小学生の子ども	中高生の子ども	お年寄り(65歳以上、ご自身を含める)
1,800	20	156	153	144	683

図表 8 回答者属性（家族構成員）

## 1.9 過年度の調査対象と継続設問

### 1.9.1 調査対象

平成 24 年度～平成 30 年度、令和元年度～令和 3 年度調査の調査対象は以下の通りである。今年度調査では、平成 26 年度～平成 30 年度、令和元年度～令和 3 年度と同様、年代を 20 代、30 代、40 代、50 代、60 代、70 代以上の 6 区分とし、首都圏、京阪神圏と合わせて、12 セルで 1 セル 150 名とし、1,800 名を調査対象とした。

年度	対象者数	エリア・世代分布
令和 3 年度 令和 2 年度 令和元年度 平成 30 年度 平成 29 年度 平成 28 年度 平成 27 年度 平成 26 年度	1,800 名	20 代、30 代、40 代、50 代、 60 代、70 代以上 首都圏、京阪神圏 上記 12 セルで 1 セル 150 名
平成 25 年度	1,240 名	20 代、30 代、40 代、50 代以上 首都圏、京阪神圏 上記 8 セルで 1 セル 155 名
平成 24 年度	1,238 名	20 代、30 代、40 代、50 代以上 首都圏、京阪神圏 上記 8 セルで 1 セル 155 名前後

図表 9 過年度調査の対象

※平成 26 年度より年代については 60 代、70 代の区分を設けているため、年代の構成比が異なる。経年比較での調査結果を閲覧する際はこの点に留意する必要がある。

## 1.9.2 過年度からの継続設問・新規設問

平成 24 年度～平成 30 年度、令和元年度～令和 3 年度調査からの継続設問は以下に示す通りである。\*印は令和 4 年度からの新規設問である。

令和 4 年度設問		令和 3 年度	令和 2 年度	令和元年度	平成 30 年度	平成 29 年度	平成 28 年度	平成 27 年度	平成 26 年度	平成 25 年度	平成 24 年度
Q4	食肉の種類別機会別の喫食頻度	Q4	Q4	Q4	Q4	Q4	Q4	Q3	Q1	Q1	Q1
Q5	食肉に対する種類別イメージ	Q5	Q5	Q5	Q5	Q5	Q5	Q4	Q2	Q2	Q2
Q6	食肉の種類別購入頻度	Q6	Q6	Q6	Q6	Q6	Q6	Q5	Q3	Q3	Q3
Q7	食肉の種類別の主な購入先	Q7	Q7	Q7	Q7	Q7	Q7	Q6	Q4	Q4	Q4
Q8	食肉購入時に重視する項目	Q8	Q8	Q8	Q8	Q8	Q8	Q7	Q5	Q5	Q5
Q9	昨年同期と比べた最近 1 か月の食肉購入回数の変化	Q9	Q11	Q9	Q9	Q9	Q9	Q8	Q6	Q6	Q6
Q10	昨年同期と比べた最近 1 か月の食品購入回数の変化	Q10	Q12	Q10	—	—	—	—	—	—	—
Q11	各種牛肉の購入意向	Q11	Q13	Q11	Q10	Q10	Q10	Q10	—	—	—
Q12	各種牛肉の購入頻度	Q12	Q14	Q12	—	—	—	—	—	—	—
Q13	各種牛肉のイメージ	Q13	Q15	Q16	Q11	Q11	Q11	Q11	—	—	—
Q14	国産和牛肉の輸入牛肉に対する価格許容度	Q14	Q16	Q20	Q14	Q14	Q14	Q16	—	—	—
Q15	和牛以外の国産牛肉の輸入牛肉に対する価格許容度	Q15	Q17	Q21	Q15	Q15	Q15	Q17	—	—	—
Q16 *	国産牛肉の普段の購入価格	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
Q17	産地別牛肉の購入意向	Q16	Q18	Q22	Q16	Q16	Q16	Q18	Q7	Q7	Q7
Q18	産地別豚肉の購入意向	Q17	Q19	Q23	Q17	Q17	Q17	Q19	Q8	Q8	Q8
Q19	産地別鶏肉の購入意向	Q18	Q20	Q24	Q18	Q18	Q18	Q20	Q9	Q9	Q9
Q20	食品の安全性の不安感	Q19	Q21	Q25	Q22	Q19	Q19	Q21	Q10	Q10	Q10
Q21	食肉の安全性に関する項目別関心度	Q20	Q23	Q27	Q26	Q23	Q23	Q25	Q14	Q14	Q14
Q22	食肉の安全性の問題への不安度	Q21	Q24	—	—	—	—	—	—	—	—
Q23	感染家畜の全頭殺処分の認知度	Q22	—	—	—	—	—	—	—	—	—
Q24	口蹄疫について知っている知識	Q23	Q28	—	—	—	—	—	—	—	—
Q25	豚熱について知っている知識	Q24	Q26	Q29	Q28	—	—	—	—	—	—
Q26	アフリカ豚熱について知っている知識	Q25	Q27	Q30	—	—	—	—	—	—	—
Q27	鳥インフルエンザについて知っている知識	Q26	Q25	Q28	Q27	Q24	Q24	Q26	Q15	Q15	—
Q28	社会全体における食肉の安全性の認識	Q27	Q29	Q32	Q33	Q34	Q43	Q42	Q40	Q22	Q21
Q29	食肉の情報を得るために用いている主な情報源 ①食肉の安全性 ②食肉の栄養や機能	Q28	Q31	Q34	Q35	Q36	Q45	Q44	Q42	—	—

令和4年度設問		令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度
Q30	食肉の情報について信頼できる情報源 ①食肉の安全性 ②食肉の栄養や機能	Q29	Q32	Q35	Q36	Q37	Q46	Q45	Q43	Q23	Q22
Q31	各機関の取組に対する信頼性	Q30	Q33	Q36	Q37	Q38	Q47	Q46	Q44	Q27	Q23
Q32	食肉の情報提供に対する行政への期待	Q31	Q34	Q37	Q38	Q39	Q48	Q47	Q45	Q28	Q24
Q33 *	「持続可能な開発目標(SDGs)」認知度	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Q34 *	「温室効果ガスの排出量削減」の関心度	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Q35 *	「温室効果ガス排出量削減認証マーク」がついている国産牛肉の購入意向	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Q36 *	「温室効果ガス排出量削減認証マーク」がついている国産牛肉の追加支払意思	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Q37 *	「アニマルウェルフェア」の認知度	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Q38 *	「アニマルウェルフェア」の関心度	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Q39 *	「アニマルウェルフェア配慮認証マーク」がついている国産牛肉の購入意向	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Q40 *	「アニマルウェルフェア配慮認証マーク」がついている国産牛肉の追加支払意思	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Q41	「新型コロナウイルス感染症」についての不安	Q50	Q50	-	-	-	-	-	-	-	-
Q42	「新型コロナウイルス感染症」の流行に伴う食肉に関わる食生活・購買行動の変化	Q51	Q51	-	-	-	-	-	-	-	-
Q43 *	「円安・資源価格の高騰等による物価上昇の影響」についての不安	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Q44 *	「円安・資源価格の高騰等による物価上昇の影響」の影響度	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Q45 *	「円安・資源価格の高騰等による物価上昇の影響」により影響があった事項	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Q46 *	Schwartz の価値理論設問	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

図表 10 過年度からの継続設問・本年度からの新規設問

## 2. 考察

### 2.1 家畜伝染病（口蹄疫、豚熱、アフリカ豚熱、鳥インフルエンザ）に対する消費者意識の考察

- ・ 調査対象とした家畜伝染病について、全頭殺処分（家畜伝染病に感染したか感染したおそれのある家畜を直ちに全頭殺処分すること）の認知度は、「ある程度知っている」が最も多く 28.0%で、認知度計は全体の 58.9%。一方、非認知は、「あまりよく知らない」が 19.6%で、非認知度計は全体の 41.1%。
- ・ 調査対象とした家畜伝染病の関心度は、「関心がある計（非常に関心がある＋やや関心がある）」で見ると、「鳥インフルエンザ」49.4%、「口蹄疫」が 43.8%、「豚熱」が 39.8%、「アフリカ豚熱」が 39.3%の順。いずれの家畜伝染病についても、食肉の安全性に「不安を感じる層」ほど関心が高い。
- ・ 食肉の安全性の問題についての不安は、「牛の B S E（牛海綿状脳症）」が 21.5%で最も高く、「食肉中の食中毒菌（サルモネラ、カンピロバクター、腸管出血性大腸菌など）の汚染」が 19.1%、「食肉中の残留抗生物質」が 17.4%、「鳥インフルエンザ」が 16.9%の順。「牛・豚の口蹄疫」は 7.7%、「豚熱」は 2.3%、「アフリカ豚熱」は 2.9%と不安度は高くない。
- ・ 口蹄疫への認知・理解は、「口蹄疫は、牛や豚などの病気であり、人に感染することはない」23.1%、「口蹄疫は、防疫措置が講じられているので感染牛・豚の肉が市場に出回ることはない」20.6%、「アジアなど日本の周辺国では、口蹄疫が引き続き発生している」15.6%、「日本では、この 10 年間は、口蹄疫が発生していない」14.1%の順。「知っているものはない」は、55.7%。
- ・ 豚熱への認知・理解は、「豚熱は、豚やイノシシの病気であり、人に感染することはない」「豚熱は、防疫措置が講じられているので感染豚の肉が市場に出回ることはない」がいずれも 16.7%、「仮に豚熱にかかった豚の肉等を食べても人体に影響はない」10.3%の順。「知っているものはない」が 66.9%。
- ・ アフリカ豚熱への認知・理解は、「アフリカ豚熱は、日本ではこれまで発生が確認されていない」11.7%、「アフリカ豚熱は、豚やイノシシの病気であり、人に感染することはない」11.3%の順。「知っているものはない」は、75.9%。
- ・ 鳥インフルエンザへの認知・理解は、「市場に出荷される鶏肉、鶏卵には鳥インフルエンザウイルスの付着を防ぐ安全のための措置がとられている」23.6%、「これまで鶏肉や鶏卵を食べた人に感染した例はない」22.6%、「鳥インフルエンザウイルスに付着した鶏肉や鶏卵を食べても人に感染することはない」19.9%の順。「知っているものはない」は、53.8%。

この 2.1 では、家畜伝染病（口蹄疫、豚熱、アフリカ豚熱、鳥インフルエンザ）に関する知識と食肉の喫食による感染への不安状況の把握と要因の分析を目的とした。

1) 家畜伝染病（口蹄疫、豚熱、アフリカ豚熱、鳥インフルエンザ）の全頭殺処分の認知度（Q23）

：エリア・性・年代別、食肉（牛肉・豚肉・鶏肉）への不安度(Q20)別分析

家畜伝染病について、説明文を提示して、全頭殺処分（家畜伝染病に感染したか感染したおそれのある家畜を直ちに全頭殺処分すること）について聞いた認知度（Q23）は、「詳しく知っている」が 3.9%、「ある程度知っている」が 28.0%、「何となく知っている」が 27.0%で、認知度計は全体の 58.9%である。

一方、非認知は、「あまりよく知らない」が 19.6%、「知らない」が 7.9%、「全く知らない」が 13.6%で、非認知度計は全体の 41.1%である。

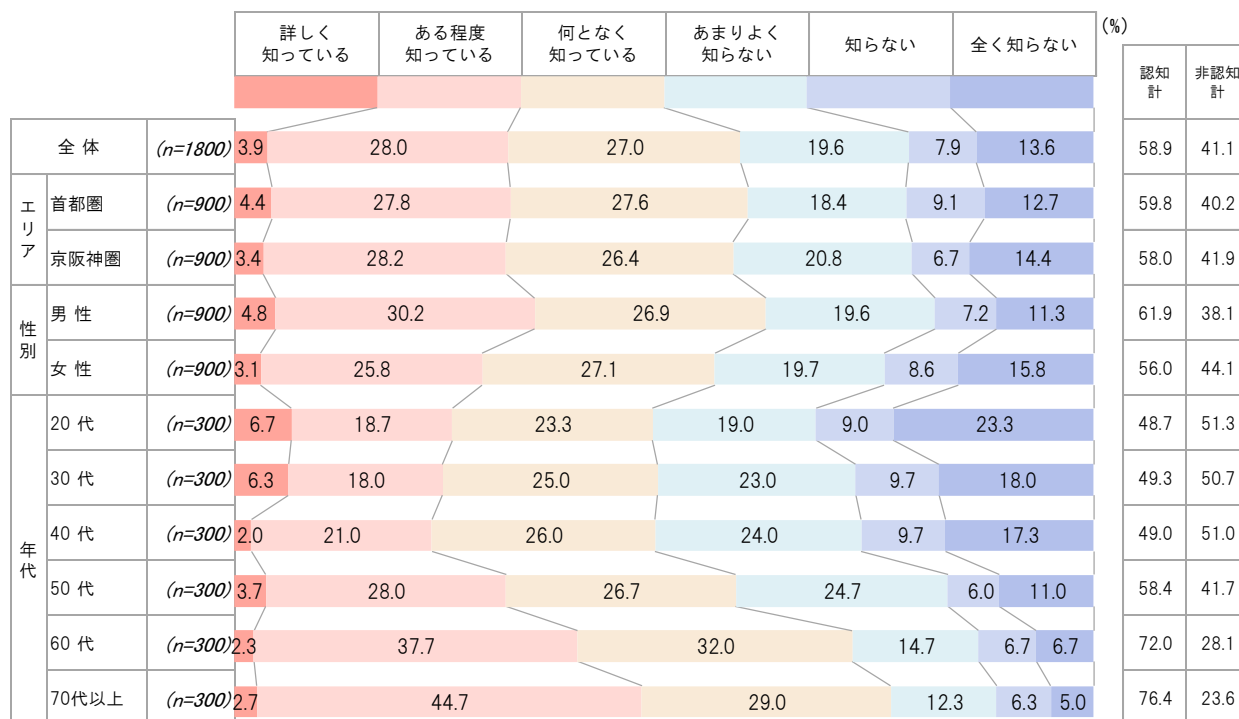
エリア別に認知度計を見ると、首都圏が 59.8%、京阪神圏が 58.0%と大きな違いは見られない。

男女別に見ると、「ある程度知っている」が男性の方が高く、認知度計を見ると男性が 61.9%、女性が 56.0%と、女性より男性の方が認知度が高い。

年代別に認知度計を見ると 20代では 48.7%と認知度が低いが、加齢とともに認知度が高くなり、60代が 72.0%、70代以上が 76.4%と 7割以上となっている。

悪性の家畜伝染病である口蹄疫、豚熱、アフリカ豚熱、鳥インフルエンザなどは、感染力が強く、有効な予防法と治療法がないことから、発生した場合、他の農場へのまん延防止をはかるため、感染した牛や豚や鶏を殺処分することが法律に定められています。

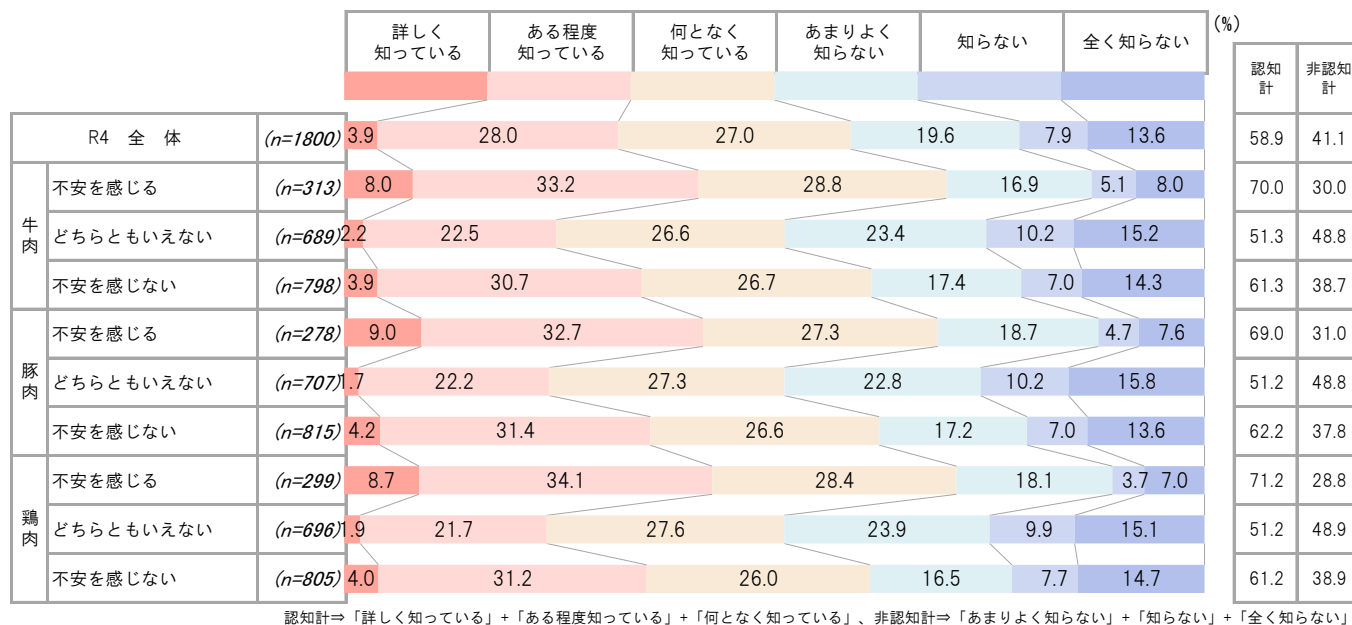
図表 11 提示説明文



認知計⇒「詳しく知っている」+「ある程度知っている」+「何となく知っている」、非認知計⇒「あまりよく知らない」+「知らない」+「全く知らない」

図表 12 エリア・性・年代別 家畜伝染病の全頭殺処分の認知度

食肉に感じる不安度(Q20)別に、全頭殺処分（家畜伝染病に感染したか感染したおそれのある家畜を直ちに全頭殺処分すること）の認知度（Q23）を見ると、牛肉・豚肉・鶏肉のいずれにおいても、不安を感じるとも感じないとも「どちらともいえない層」で約5割と認知度が低くなっている。



図表 13 牛肉・豚肉・鶏肉への不安度別 家畜伝染病の全頭殺処分の認知度

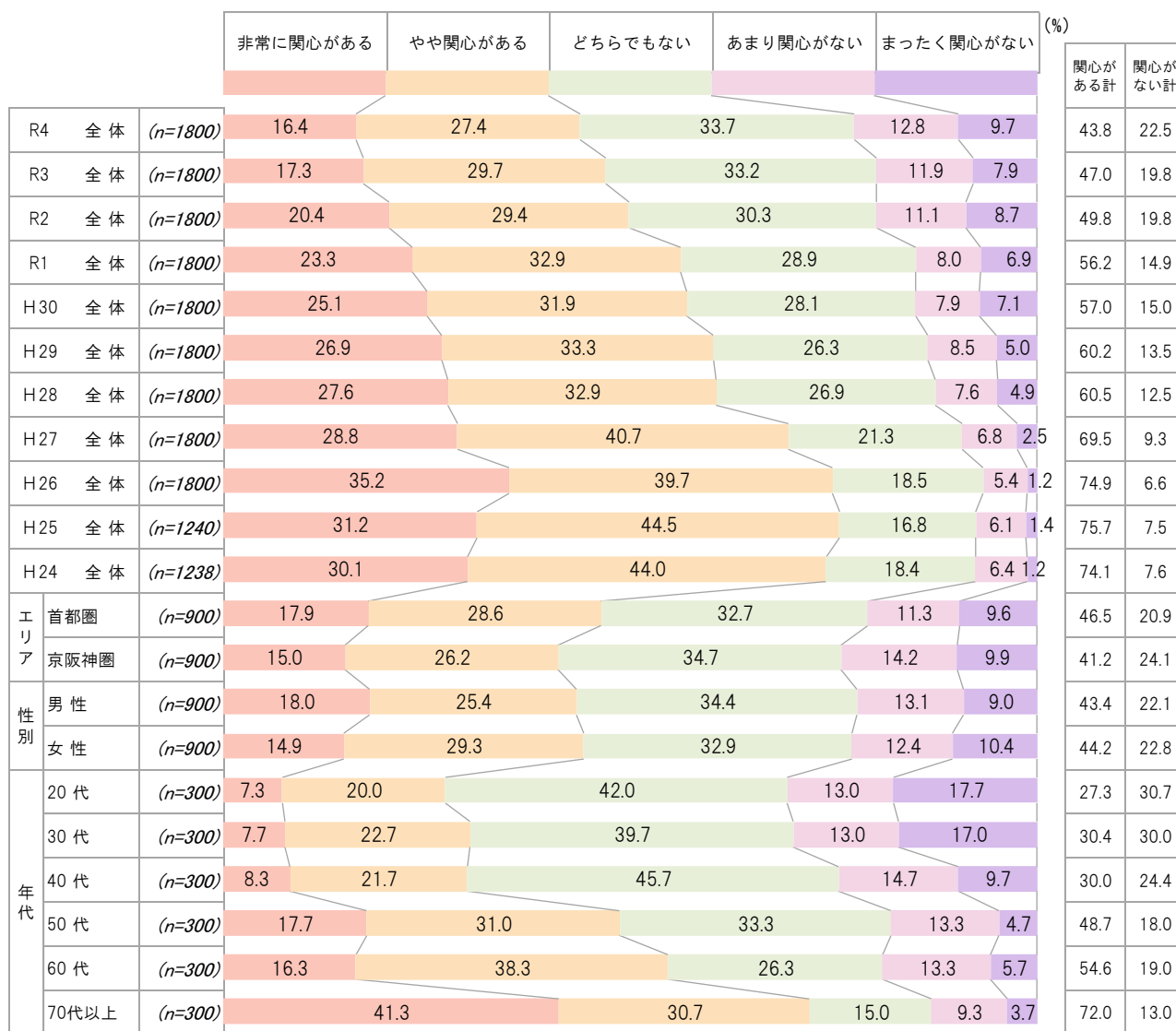
2) 家畜伝染病（口蹄疫、豚熱、アフリカ豚熱、鳥インフルエンザ）への関心度（Q21）  
 : エリア・性・年代別、食肉（牛肉・豚肉・鶏肉）への不安度(Q20)別分析

調査対象とした家畜伝染病の関心度（Q21）は、「関心がある計（非常に関心がある＋やや関心がある）」で見ると、「鳥インフルエンザ」49.4%、「口蹄疫」が43.8%、「豚熱」が39.8%、「アフリカ豚熱」が39.3%の順で高い。

過年度調査で見ると、いずれの家畜伝染病の関心度も、減少傾向にある。

※平成30年度・令和元年度は「豚コレラ」の名称で調査を行ったが、人間のコレラとの混同やそれに伴う風評被害の抑制のため、令和2年2月5日に公布・施行された「家畜伝染病予防法の一部を改正する法律（令和2年法律第2号）」により「豚熱」に名称が変更されたため、令和2年度調査より「豚熱」の名称で調査を行っている。

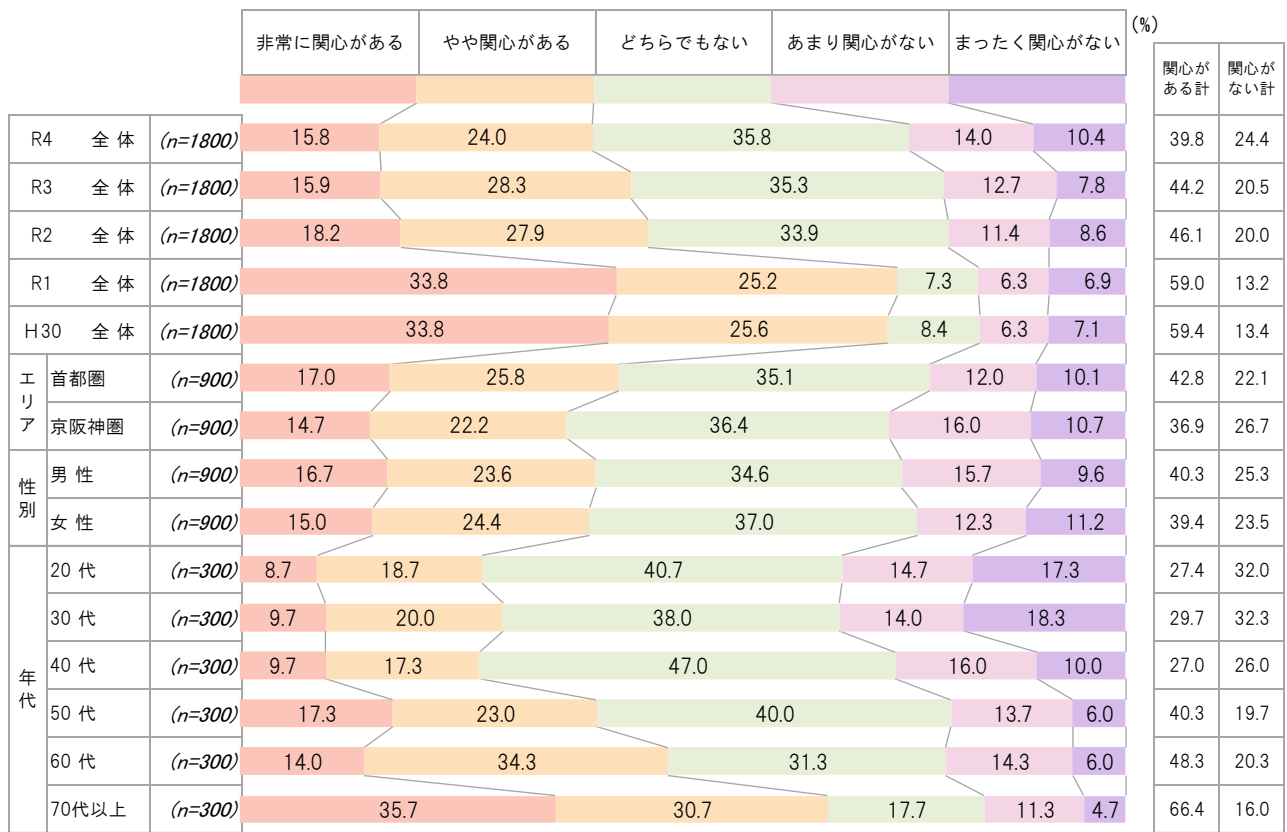
※令和元年度は「アフリカ豚コレラ」の名称で調査を行ったが、人間のコレラとの混同やそれに伴う風評被害の抑制のため、「豚熱」と同様に、「アフリカ豚熱」に名称が変更されたため、令和2年度調査より「アフリカ豚熱」の名称で調査を行っている。



関心がある計⇒「非常に関心がある」＋「やや関心がある」、関心がない計⇒「あまり関心がない」＋「まったく関心がない」

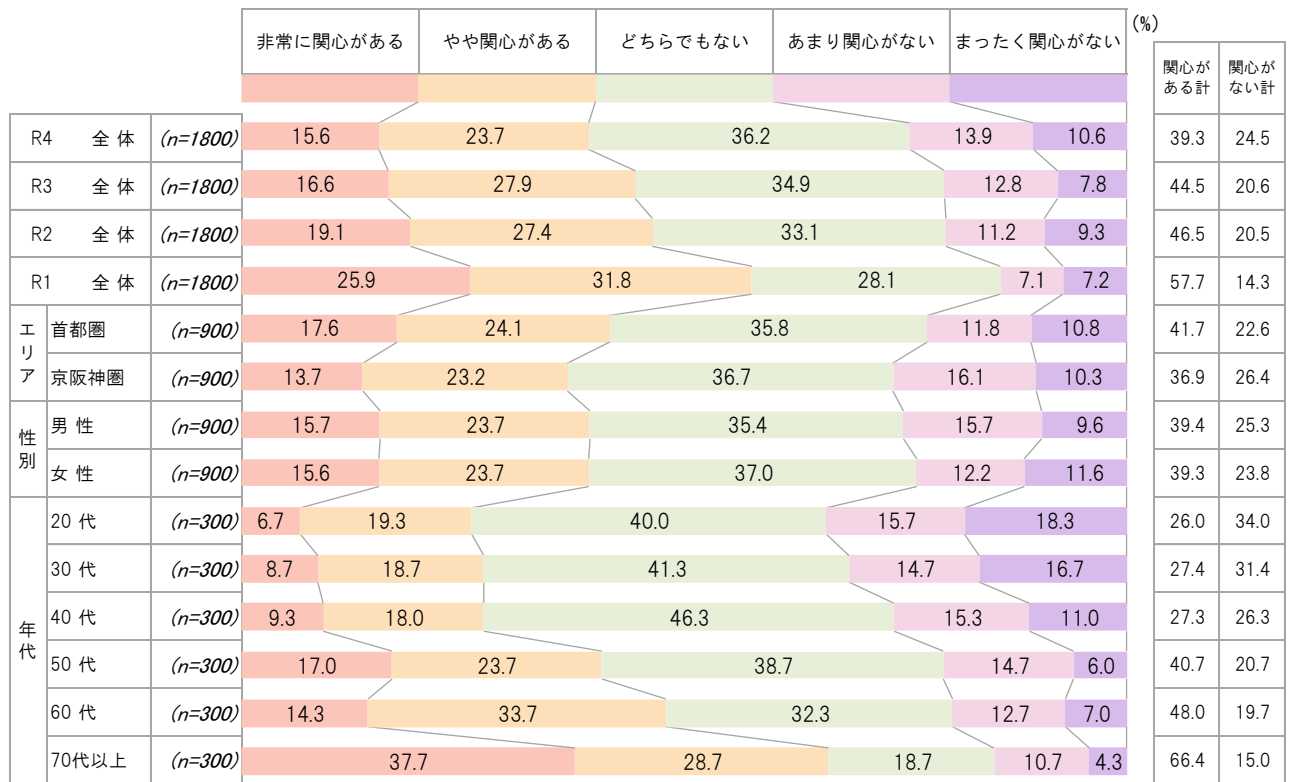
図表 14 エリア・性・年代別 口蹄疫への関心度





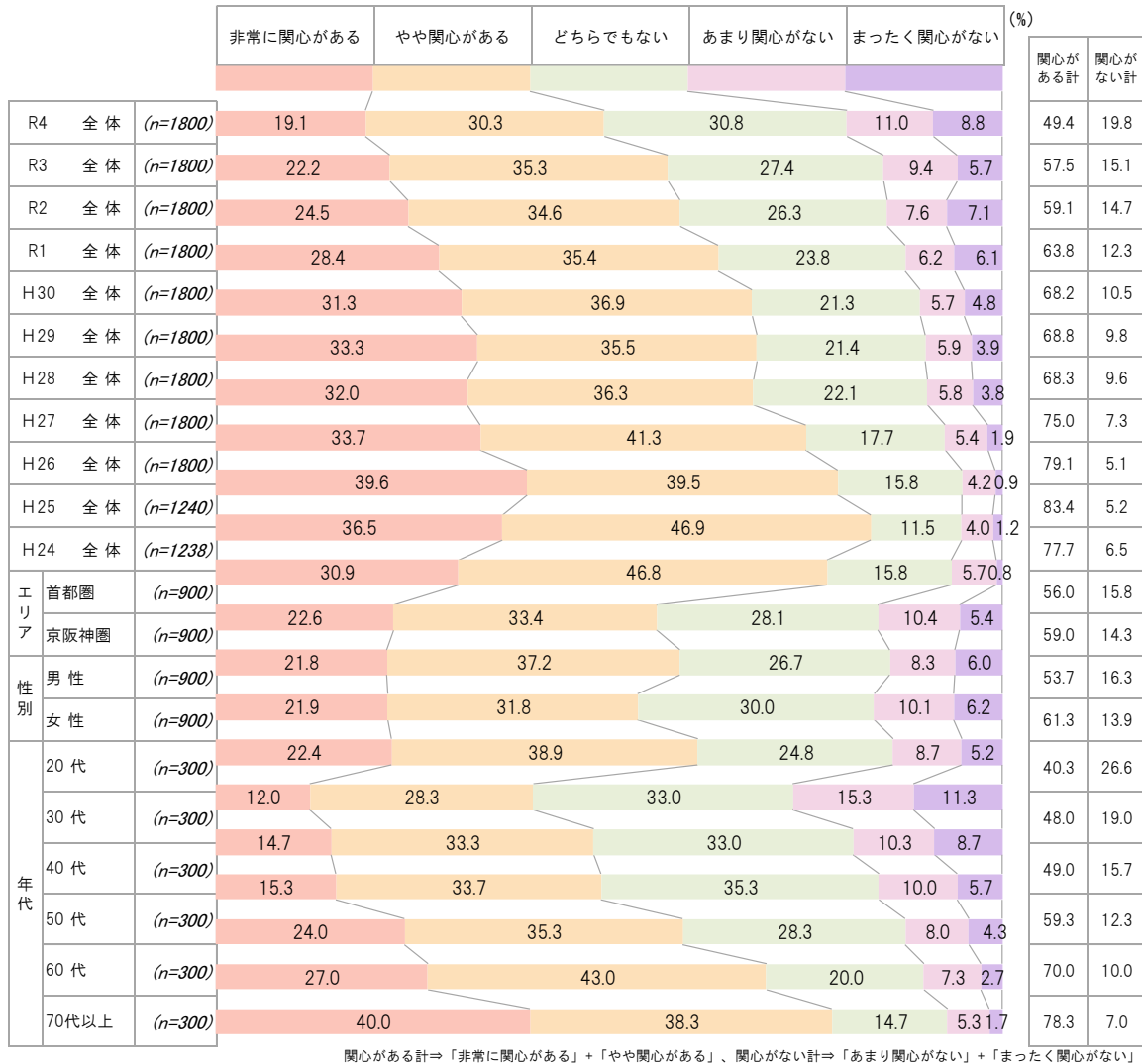
関心がある計⇒「非常に関心がある」+「やや関心がある」、関心がない計⇒「あまり関心がない」+「まったく関心がない」

図表 15 エリア・性・年代別 豚熱への関心度



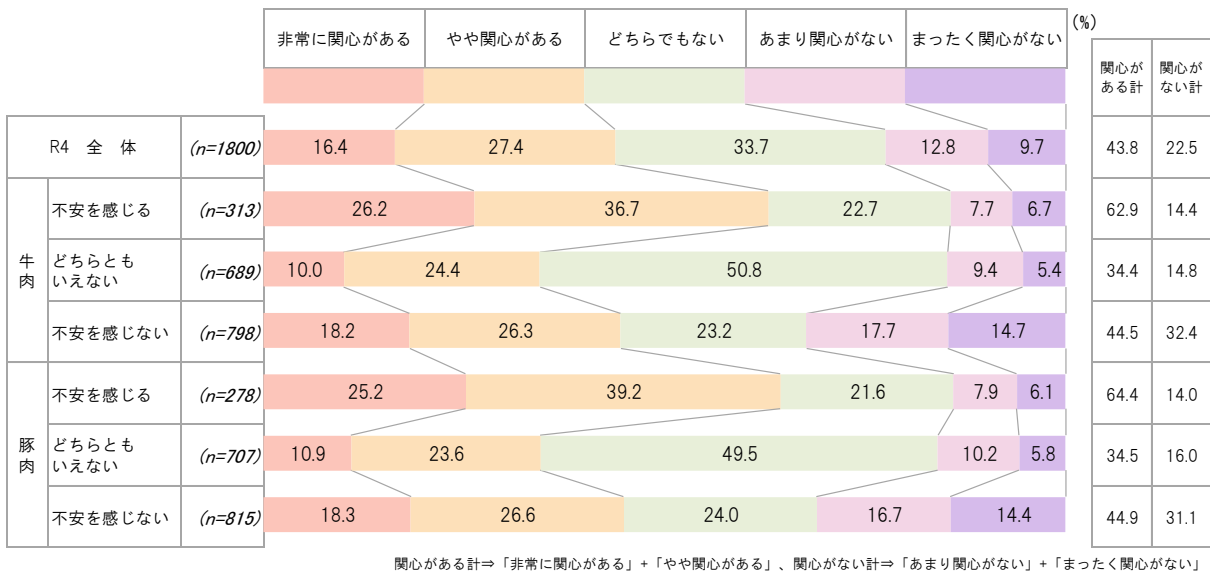
関心がある計⇒「非常に関心がある」+「やや関心がある」、関心がない計⇒「あまり関心がない」+「まったく関心がない」

図表 16 エリア・性・年代別 アフリカ豚熱への関心度

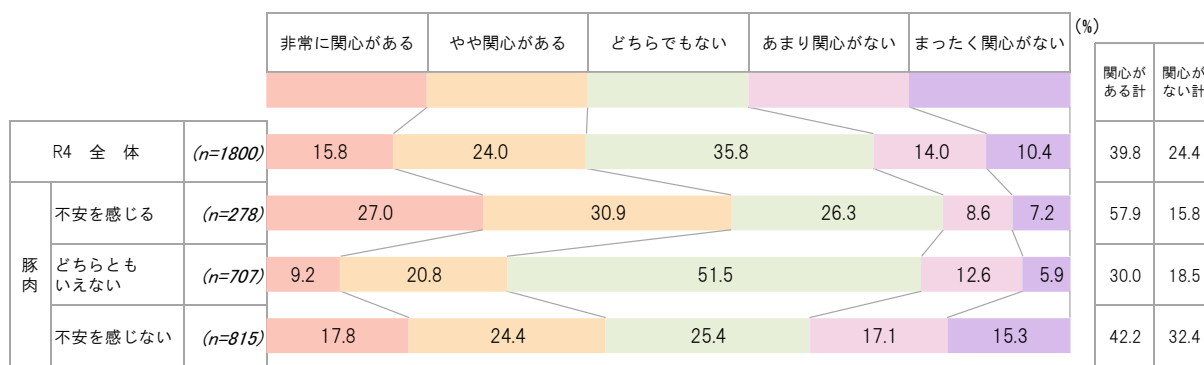


図表 17 エリア・性・年代別 鳥インフルエンザへの関心度

食肉に感じる不安度(Q20)別に、家畜伝染病（口蹄疫、豚熱、アフリカ豚熱、鳥インフルエンザ）への関心度（Q21）を見ると、いずれの家畜伝染病に関しても「不安を感じる層」ほど関心が高い。

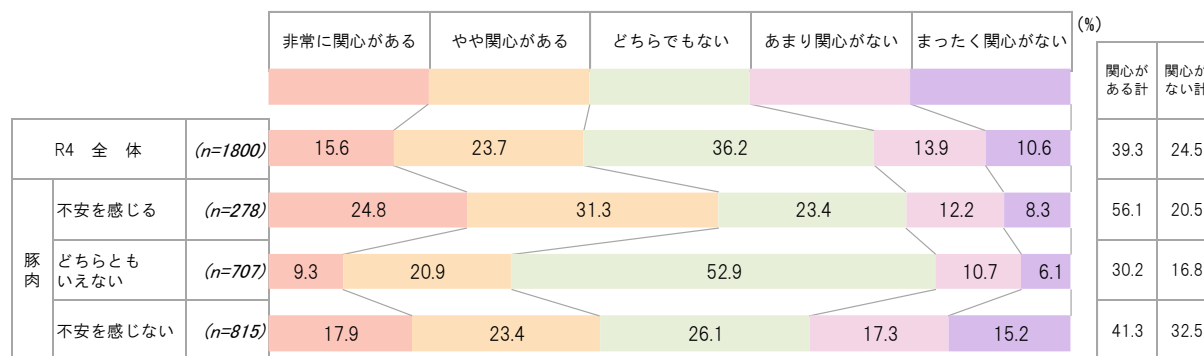


図表 18 牛肉・豚肉への不安度別 口蹄疫への関心度



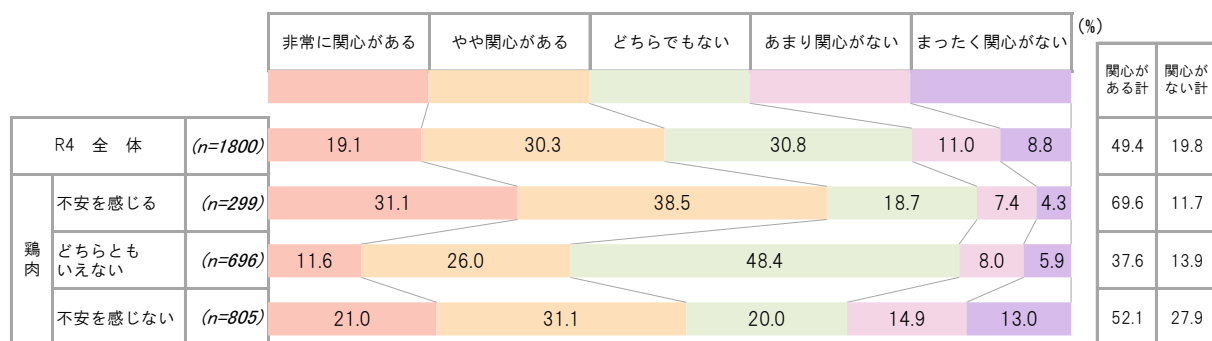
関心がある計⇒「非常に興味がある」+「やや興味がある」、関心がない計⇒「あまり興味がない」+「まったく興味がない」

図表 19 豚肉への不安度別 豚熱への関心度



関心がある計⇒「非常に興味がある」+「やや興味がある」、関心がない計⇒「あまり興味がない」+「まったく興味がない」

図表 20 豚肉への不安度別 アフリカ豚熱への関心度



関心がある計⇒「非常に興味がある」+「やや興味がある」、関心がない計⇒「あまり興味がない」+「まったく興味がない」

図表 21 鶏肉への不安度別 鳥インフルエンザへの関心度

3) 家畜伝染病（口蹄疫、豚熱、アフリカ豚熱、鳥インフルエンザ）への不安  
(Q22)

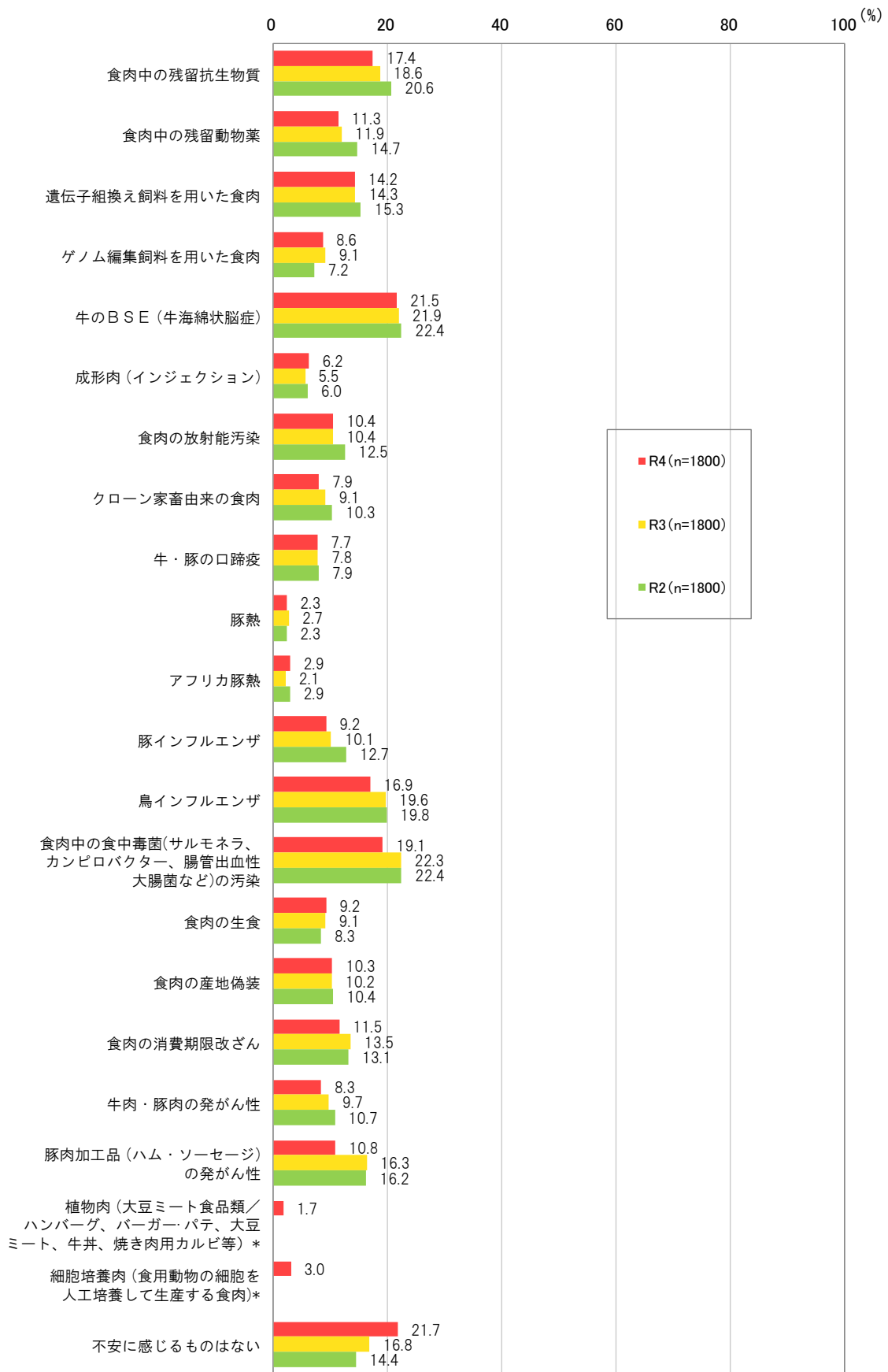
： エリア・性・年代別、食肉（牛肉・豚肉・鶏肉）への不安度(Q19)別分析

食肉の安全性の問題について不安を感じるもの（Q22／3つまで複数回答）を聞いたところ、「牛のBSE（牛海綿状脳症）」が21.5%で最も高く、次いで「食肉中の食中毒菌（サルモネラ、カンピロバクター、腸管出血性大腸菌など）の汚染」が19.1%、「食肉中の残留抗生物質」が17.4%、「鳥インフルエンザ」が16.9%の順で高い。「牛・豚の口蹄疫」は7.7%、「豚熱」は2.3%、「アフリカ豚熱」は2.9%と不安度は高くない。

「不安に感じるものはない」が21.7%で最も多くなっている。

今年度、新たに追加した「植物肉（大豆ミート食品類／ハンバーグ、バーガー・パテ、大豆ミート、牛丼、焼き肉用カルビ等）」は1.7%、「細胞培養肉（食用動物の細胞を人工培養して生産する食肉）」は3.0%といずれも不安度は高くないが、「植物肉」よりも「細胞培養肉」の方が不安度はやや高い。

過年度調査で見ると、食肉の安全性の問題についての不安を感じるものは、いずれの項目も減少傾向か横ばいであるが、「不安に感じるものはない」が増加傾向にある。



\*「植物肉 (大豆ミート食品類／ハンバーグ、バーガー、パテ、大豆ミート、牛丼、焼き肉用カルビ等)」、「細胞培養肉 (食用動物の細胞を人工培養して生産する食肉)」は令和4年より新規項目

図表 22 食肉の安全性について不安を感じる事柄

家畜伝染病（口蹄疫、豚熱、アフリカ豚熱、鳥インフルエンザ）の不安度をエリア別に見ると、大きな違いは見られない。

性別に見ると、「牛・豚の口蹄疫」「豚熱」は、女性より男性の方がやや高い。「アフリカ豚熱」は、男女で大きな違いは見られない。「鳥インフルエンザ」は、男性より女性の方がやや高い。

年代別に見ると、「牛・豚の口蹄疫」は、加齢とともに不安度が高くなり、60代が9.7%、70代以上が18.7%と高くなっている。「鳥インフルエンザ」も、年配の方が不安度は高く、60代が21.7%と最も高くなっている。

(%)

		牛・豚の口蹄疫	豚熱	アフリカ豚熱	鳥インフルエンザ
R4	全体 (n=1800)	7.7	2.3	2.9	16.9
R3	全体 (n=1800)	7.8	2.7	2.1	19.6
R2	全体 (n=1800)	7.9	2.3	2.9	19.8
エリア	首都圏 (n=900)	7.3	2.9	2.8	16.3
	京阪神圏 (n=900)	8.1	1.7	3.1	17.4
性別	男性 (n=900)	9.8	2.9	2.7	15.4
	女性 (n=900)	5.7	1.7	3.2	18.3
年代	20代 (n=300)	4.0	1.7	3.0	13.7
	30代 (n=300)	3.3	1.7	4.0	16.7
	40代 (n=300)	3.7	1.7	2.3	16.0
	50代 (n=300)	7.0	1.7	2.0	15.3
	60代 (n=300)	9.7	2.7	2.7	21.7
	70代以上 (n=300)	18.7	4.3	3.7	18.0

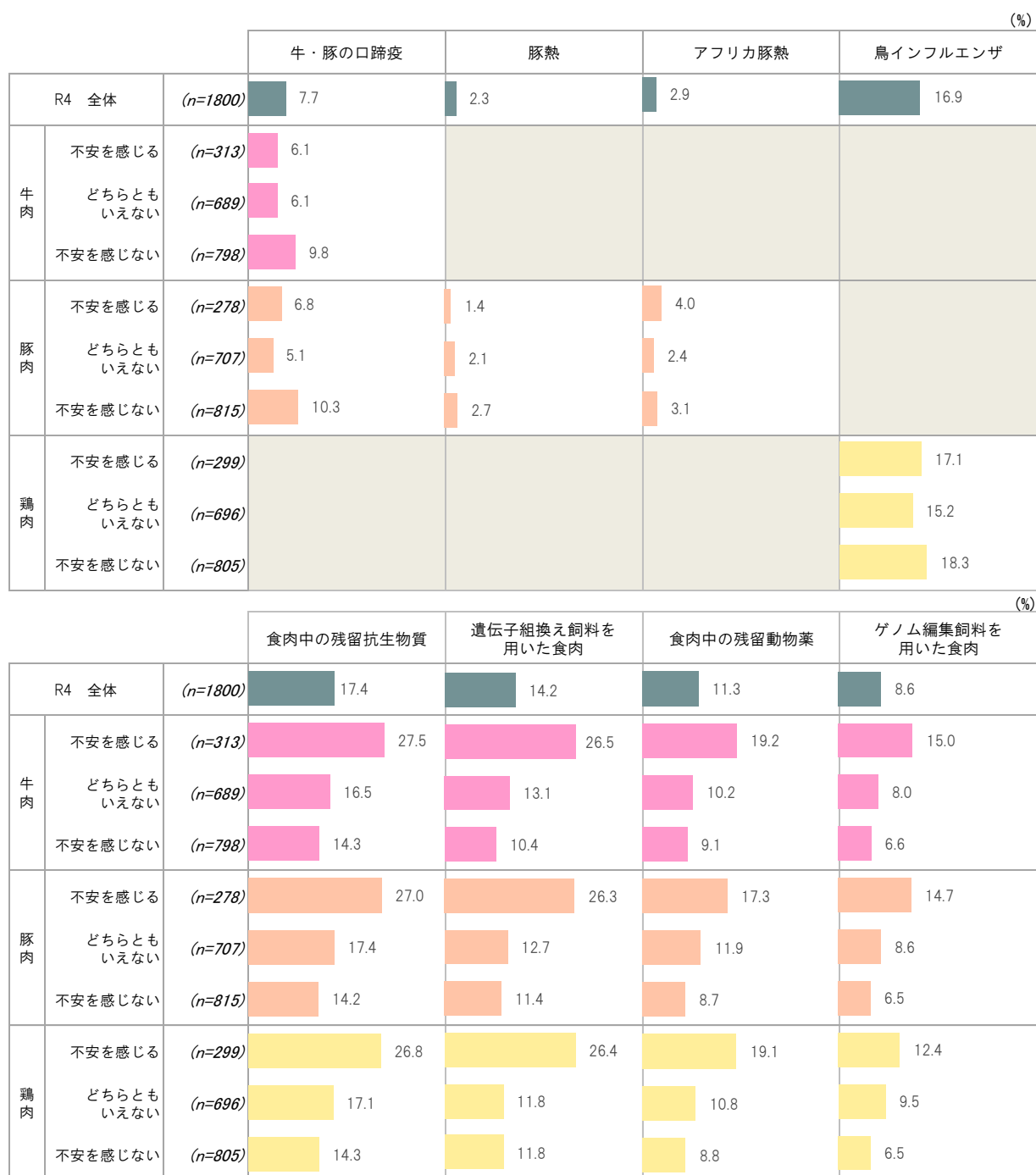
図表 23 エリア・性・年代別 家畜伝染病に「不安を感じる」回答者割合

食肉の不安度別に、家畜伝染病（口蹄疫、豚熱、アフリカ豚熱、鳥インフルエンザ）の不安度を見た。

食肉の種類別について見ると、「鳥インフルエンザ」については、鶏肉に「不安を感じない層」の方が、「不安を感じる層」「どちらともいえない層」に比べやや高くなっている。

「口蹄疫」についても、牛肉・豚肉に「不安を感じない層」の方が、「不安を感じる層」「どちらともいえない層」に比べ、不安度が高くなっている。

「豚熱」「アフリカ豚熱」については、豚肉の不安度による大きな違いは見られなかった。該当の食肉への不安度と、家畜伝染病への不安度とは、直接的な関係性は見られなかった。



図表 24 食肉（牛肉・豚肉・鶏肉）への不安セグメント別 家畜伝染病への不安度

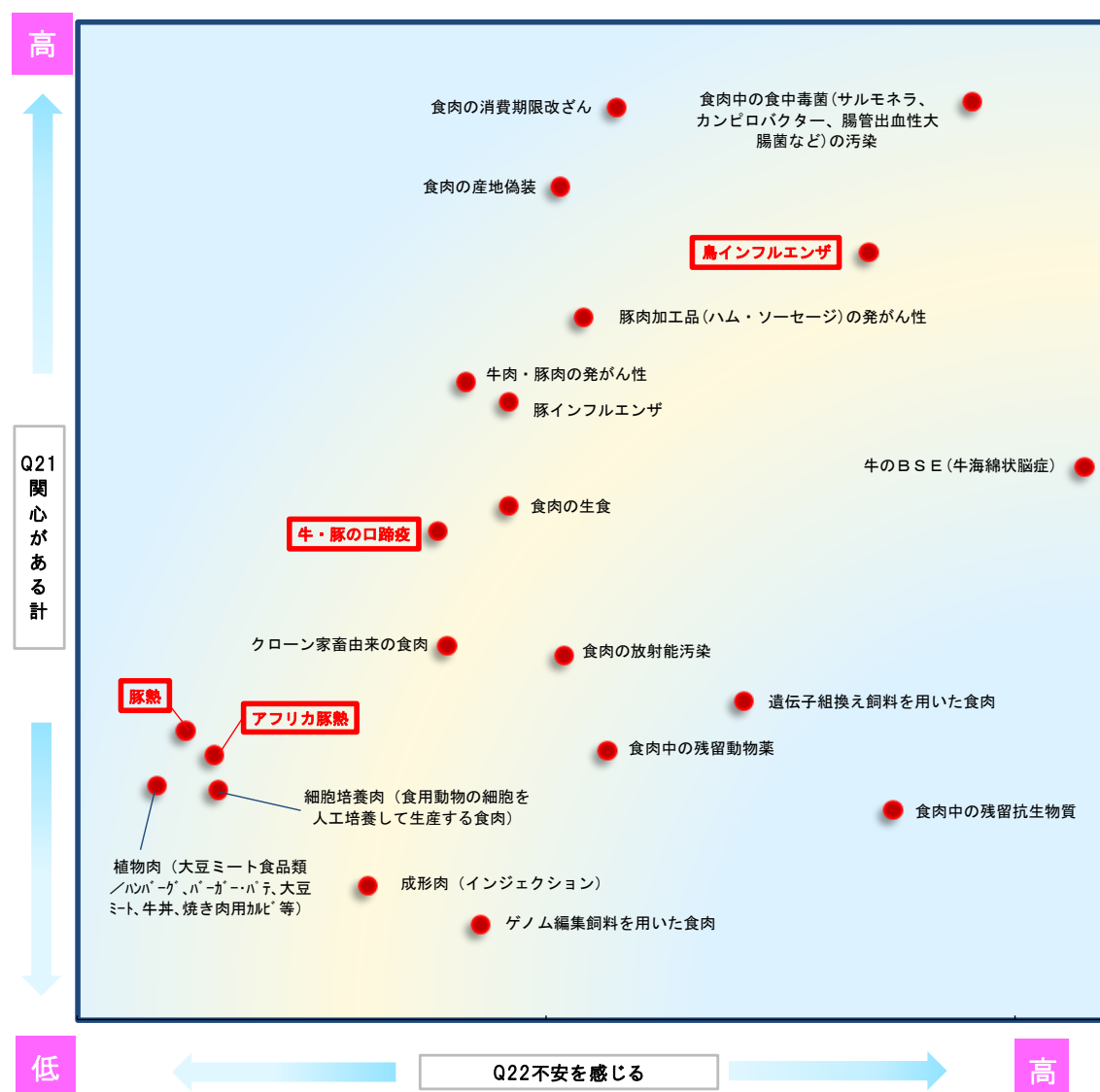
食肉の安全性の問題についての関心度（非常に関心がある＋やや関心があるの比率）を縦軸、不安度（3つまで複数回答）を横軸に、プロット図にまとめ、食肉の安全性の問題における家畜伝染病（口蹄疫、豚熱、アフリカ豚熱、鳥インフルエンザ）のポジションを見た。

「鳥インフルエンザ」は、関心度・不安度ともに非常に高い問題であり、関心度・不安度ともに最も高い「食肉中の食中毒菌（サルモネラ、カンピロバクター、腸管出血性大腸菌など）の汚染」に次ぐ位置にある。

「牛・豚肉の口蹄疫」は、「食肉の生食」と近い関心度・不安度のレベルの位置にある。

「豚熱」「アフリカ豚熱」は、関心度・不安度ともに、低い位置にある。

今年度、新たに追加した「植物肉（大豆ミート食品類／ハンバーグ、バーガー・パテ、大豆ミート、牛丼、焼き肉用カルビ等）」「細胞培養肉（食用動物の細胞を人工培養して生産する食肉）」は、関心度・不安度ともに、「豚熱」「アフリカ豚熱」よりも低い位置にある。



図表 25 食肉の安全性の問題における家畜伝染病の関心度×不安度

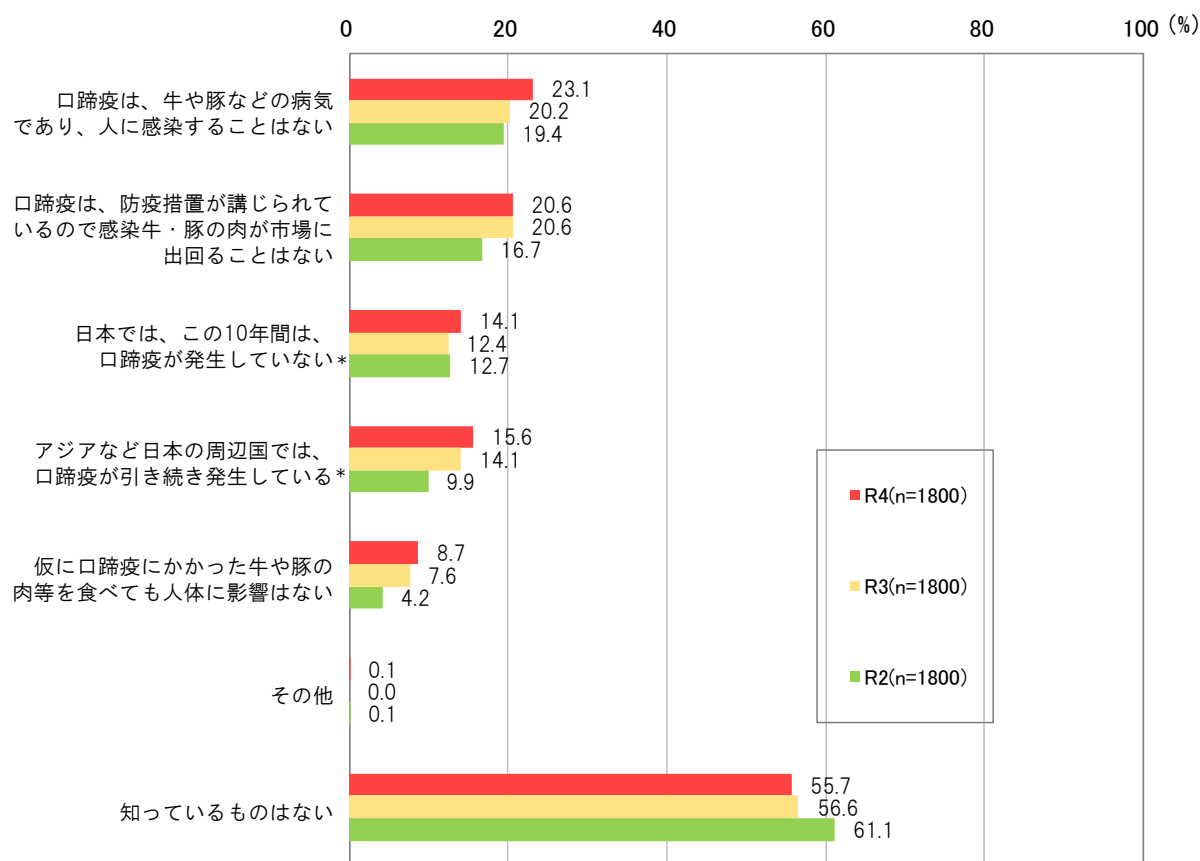


4) 家畜伝染病（口蹄疫、豚熱、アフリカ豚熱、鳥インフルエンザ）への認知・理解  
 (Q24～Q27)  
 : エリア・性・年代別、食肉（牛肉・豚肉・鶏肉）への不安度(Q20)別分析

口蹄疫への認知・理解

口蹄疫への認知・理解（Q24／複数回答）は、全体で見ると、「口蹄疫は、牛や豚などの病気であり、人に感染することはない」23.1%、「口蹄疫は、防疫措置が講じられているので感染牛・豚の肉が市場に出回ることはない」20.6%、「アジアなど日本の周辺国では、口蹄疫が引き続き発生している」15.6%、「日本では、この10年間は、口蹄疫が発生していない」14.1%の順に多い。  
 「知っているものはない」は、55.7%を占める。

過年度調査で見ると、「口蹄疫は、牛や豚などの病気であり、人に感染することはない」が増加している。

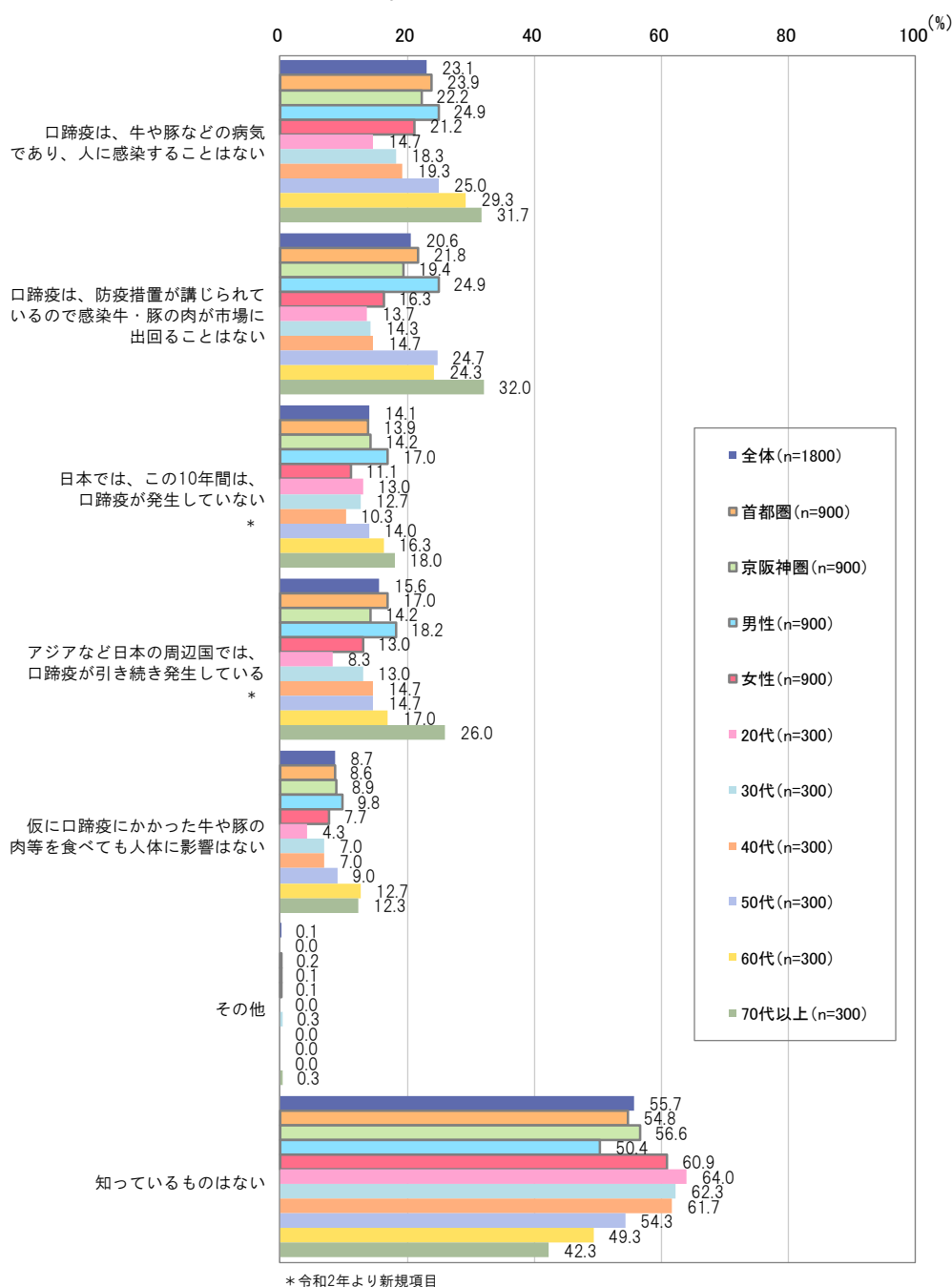


図表 26 口蹄疫への認知・理解（経年変化）

口蹄疫への認知・理解（Q24／複数回答）をエリア別に見ると、大きな違いは見られない。

性別に見ると、「口蹄疫は、防疫措置が講じられているので感染牛・豚の肉が市場に出回ることにはない」は、男性が24.9%、女性が16.3%と、女性より男性の方が多い。女性は「知っているものはない」が60.9%と多い。

年代別に見ると、20代～40代では「口蹄疫は、牛や豚などの病気であり、人に感染することにはない」、「口蹄疫は、防疫措置が講じられているので感染牛・豚の肉が市場に出回ることにはない」が少なくなっており、「知っているものはない」が6割以上と多くなっている。

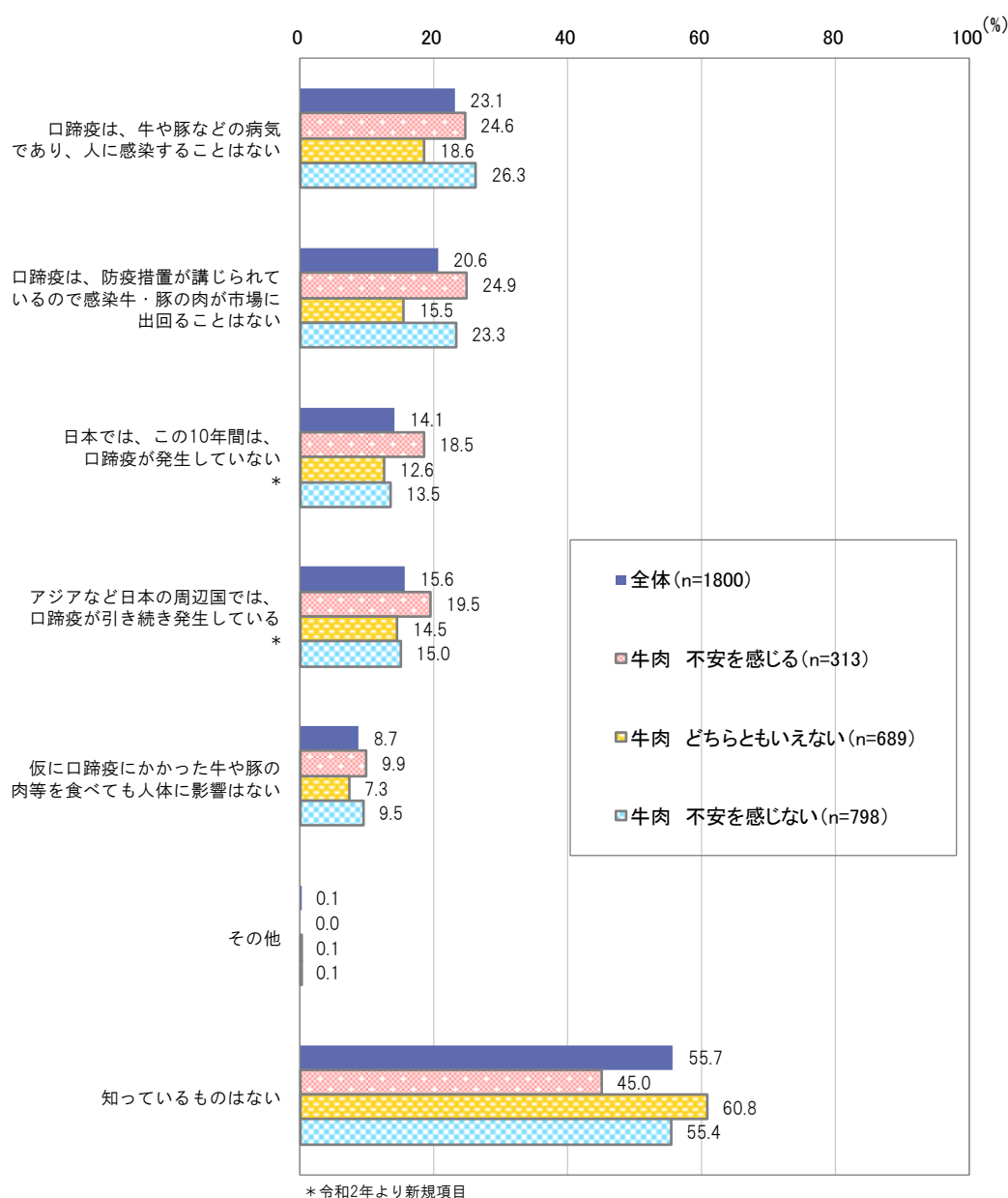


\*令和2年より新規項目

図表 27 エリア・性・年代別 口蹄疫への認知・理解

牛肉への不安度別に見ると、「アジアなど日本の周辺国では、口蹄疫が引き続き発生している」は、「不安を感じない層」15.0%より「不安を感じる層」19.5%の方が多い。「口蹄疫は、牛や豚などの病気であり、人に感染することはない」「口蹄疫は、防疫措置が講じられているので感染牛・豚の肉が市場に出回ることはない」は、牛肉に不安を感じるとも感じないとも「どちらともいえない層」で少なくなっている。

「知っているものはない」は、牛肉に不安を感じるとも感じないとも「どちらともいえない層」で60.8%と多い。



図表 28 食肉・牛肉への不安度別 口蹄疫への認知・理解

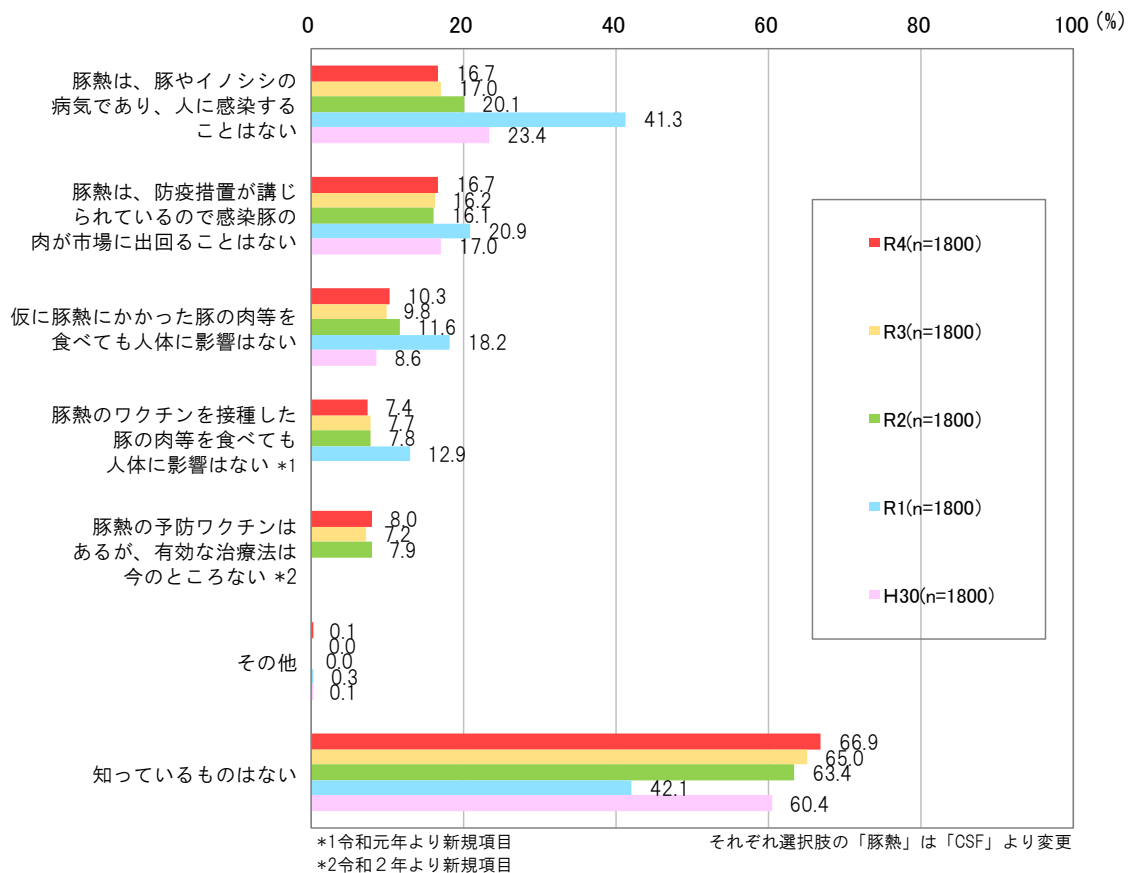
## 豚熱への認知・理解

豚熱への認知・理解（Q25／複数回答）は、全体で見ると、「豚熱は、豚やイノシシの病気であり、人に感染することはない」と「豚熱は、防疫措置が講じられているので感染豚の肉が市場に出回ることはない」がいずれも16.7%、「仮に豚熱にかかった豚の肉等を食べても人体に影響はない」10.3%の順に多い。

「知っているものはない」が、66.9%を占める。

過年度調査で見ると、昨年度と順位は変わらず、大きな違いは見られない。

※平成30年度・令和元年度は「豚コレラ」の名称で調査を行ったが、人間のコレラとの混同やそれに伴う風評被害の抑制のため、令和2年2月5日に公布・施行された「家畜伝染病予防法の一部を改正する法律（令和2年法律第2号）」により「豚熱」に名称が変更されたため、令和2年度調査より「豚熱」の名称で調査を行っている。

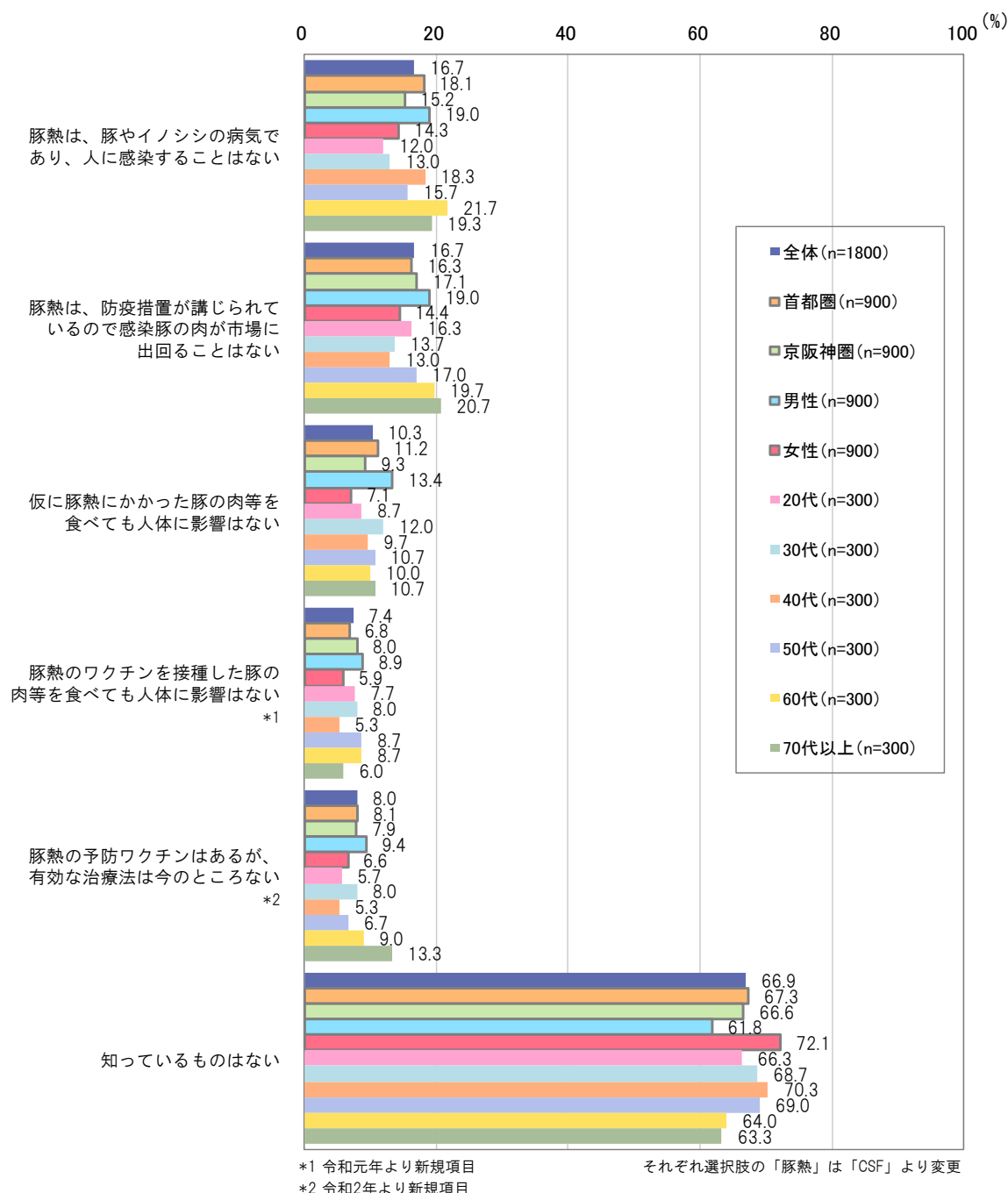


図表 29 豚熱への認知・理解（経年変化）

豚熱への認知・理解（Q25／複数回答）をエリア別に見ると、大きな違いは見られない。

性別に見ると、いずれの認知・理解も女性より男性の方が多く、女性は「知っているものはない」が72.1%と多い。

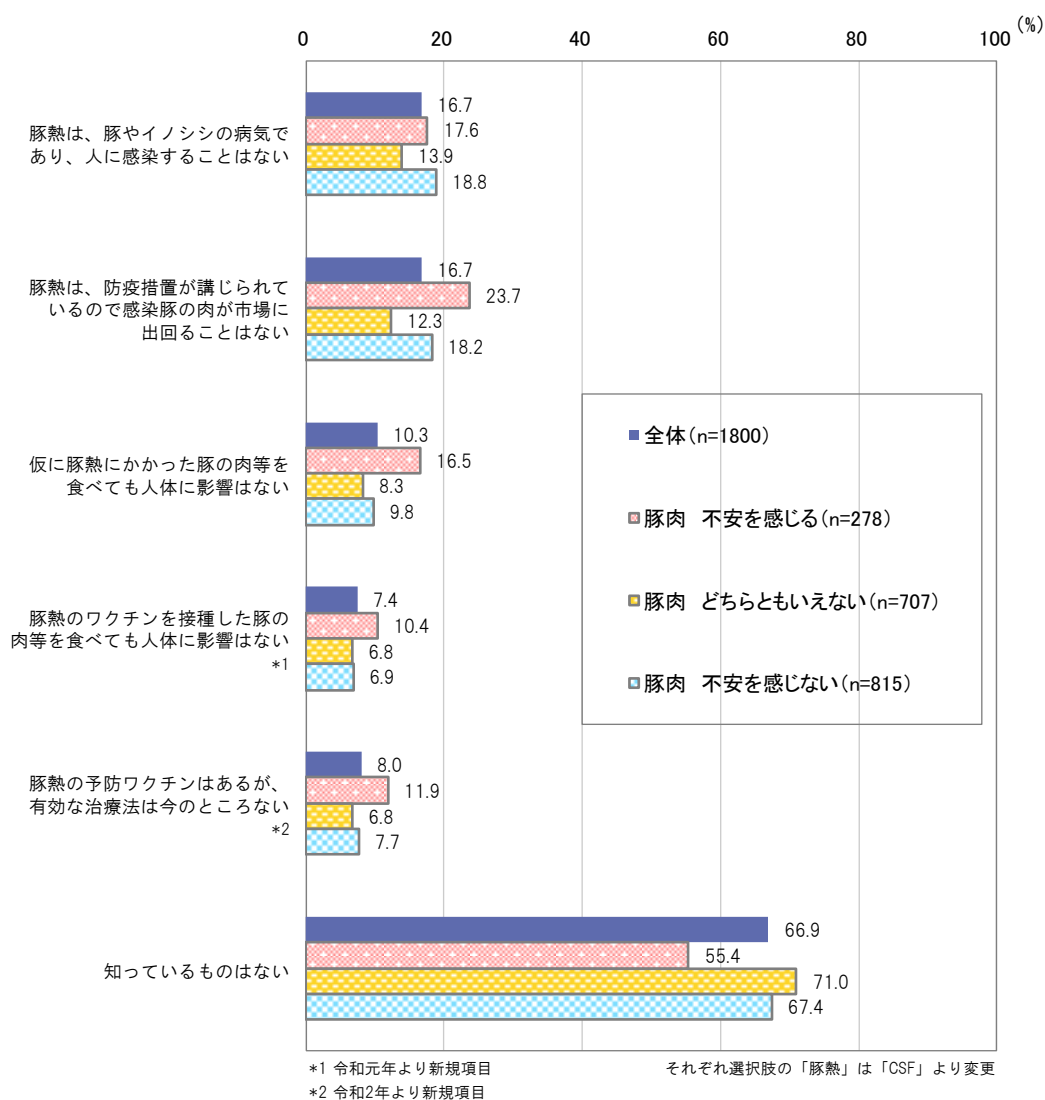
年代別に見ると、60代以上では、「豚熱は、豚やイノシシの病気であり、人に感染することはない」、「豚熱は、防疫措置が講じられているので感染豚の肉が市場に出回ることはない」が多くなっており、他の年代に比べ認知・理解度が高い。一方、20代、30代では、「豚熱は、豚やイノシシの病気であり、人に感染することはない」「仮に豚熱にかかった豚の肉等を食べても人体に影響はない」が少なくなっている。



図表 30 エリア・性・年代別 豚熱への認知・理解

豚熱の認知度を豚肉に対する不安度別に見ると、「豚熱は、豚やイノシシの病気であり、人に感染することはない」は、「豚肉に不安を感じる層」で17.6%、「豚肉に不安を感じない層」で18.8%と大きな違いは見られないが、他の項目については「豚肉に不安を感じる層」の方が認知度が高くなっている。また、「豚肉に不安を感じる層」は、「知っているものはない」が55.4%と低く、豚熱について、ある程度の理解をした上で不安を感じている消費者であると考えられる。

「知っているものはない」は、豚肉に不安を感じるとも感じないとも「どちらともいえない層」で71.0%と高い。



図表 31 食肉・豚肉への不安度別 豚熱への認知・理解

## アフリカ豚熱への認知・理解

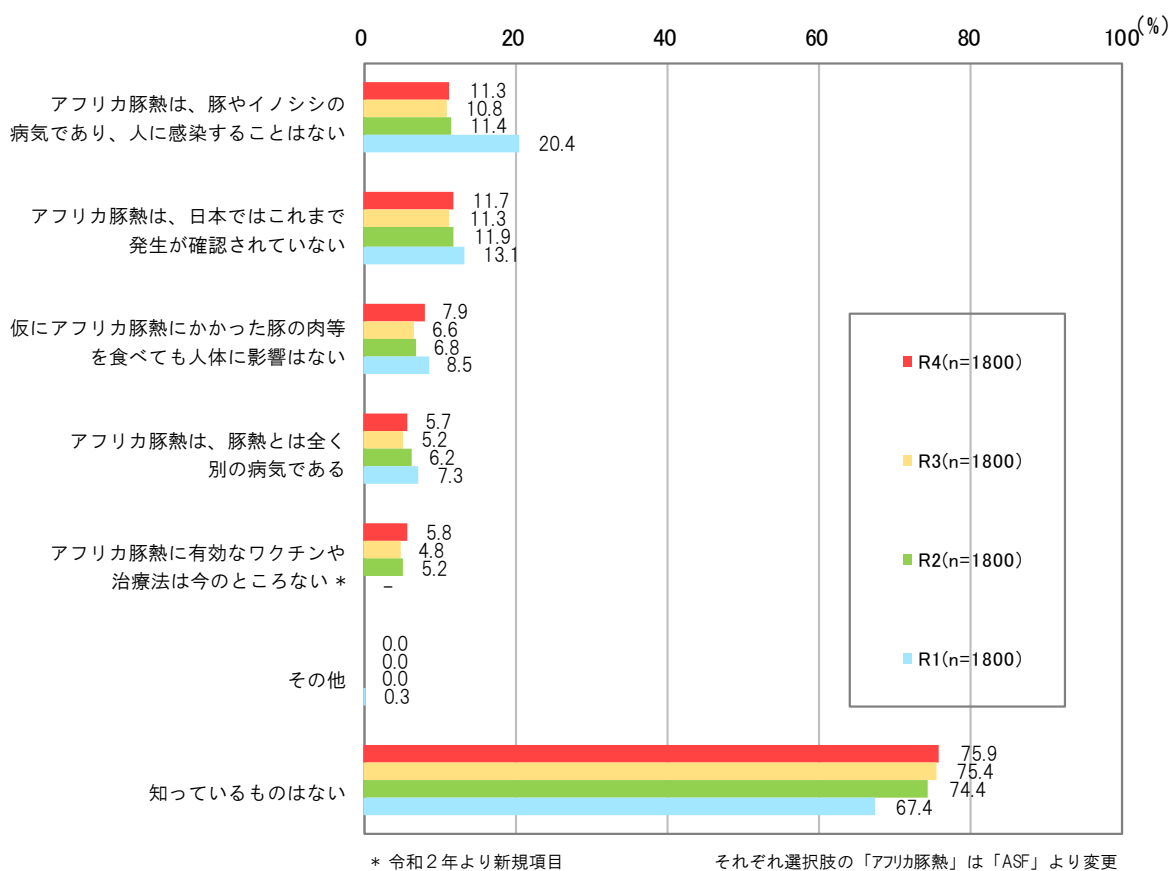
アフリカ豚熱への認知・理解（Q26／複数回答）は、全体で見ると、「アフリカ豚熱は、日本ではこれまで発生が確認されていない」11.7%、「アフリカ豚熱は、豚やイノシシの病気であり、人に感染することはない」11.3%の順に多い。

「知っているものはない」は、75.9%と全体の4分の3を占める。

「アフリカ豚熱」は、日本での発生がなく、消費者にとっては、「豚熱」と比べると、認知・理解度が低い。

過年度調査で見ると、昨年度と順位は変わらず、大きな違いは見られない。

※令和元年度は「アフリカ豚コレラ」の名称で調査を行ったが、人間のコレラとの混同やそれに伴う風評被害の抑制のため、「豚熱」と同様に、「アフリカ豚熱」に名称が変更されたため、令和2年度調査より「アフリカ豚熱」の名称で調査を行っている。

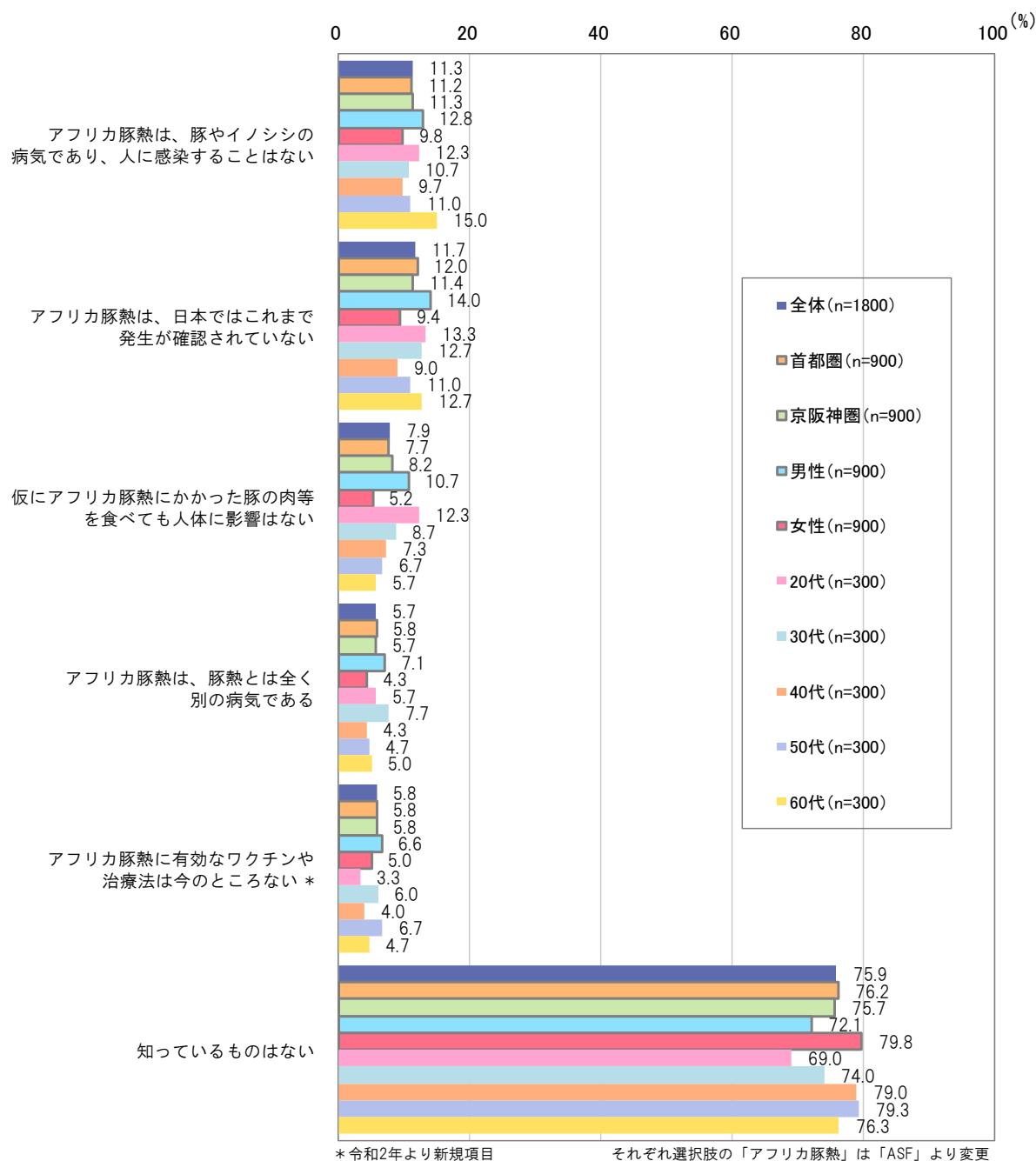


図表 32 アフリカ豚熱への認知・理解（経年変化）

アフリカ豚熱への認知・理解（Q26／複数回答）をエリア別に見ると、大きな違いは見られない。

性別に見ると、いずれの認知・理解も女性より男性の方が多く、女性は「知っているものはない」が79.8%と多い。

年代別に見ると、「仮にアフリカ豚熱にかかった豚の肉等を食べても人体に影響はない」は20代で多くなっており、「知っているものはない」が69.0%と最も少なくなっている。

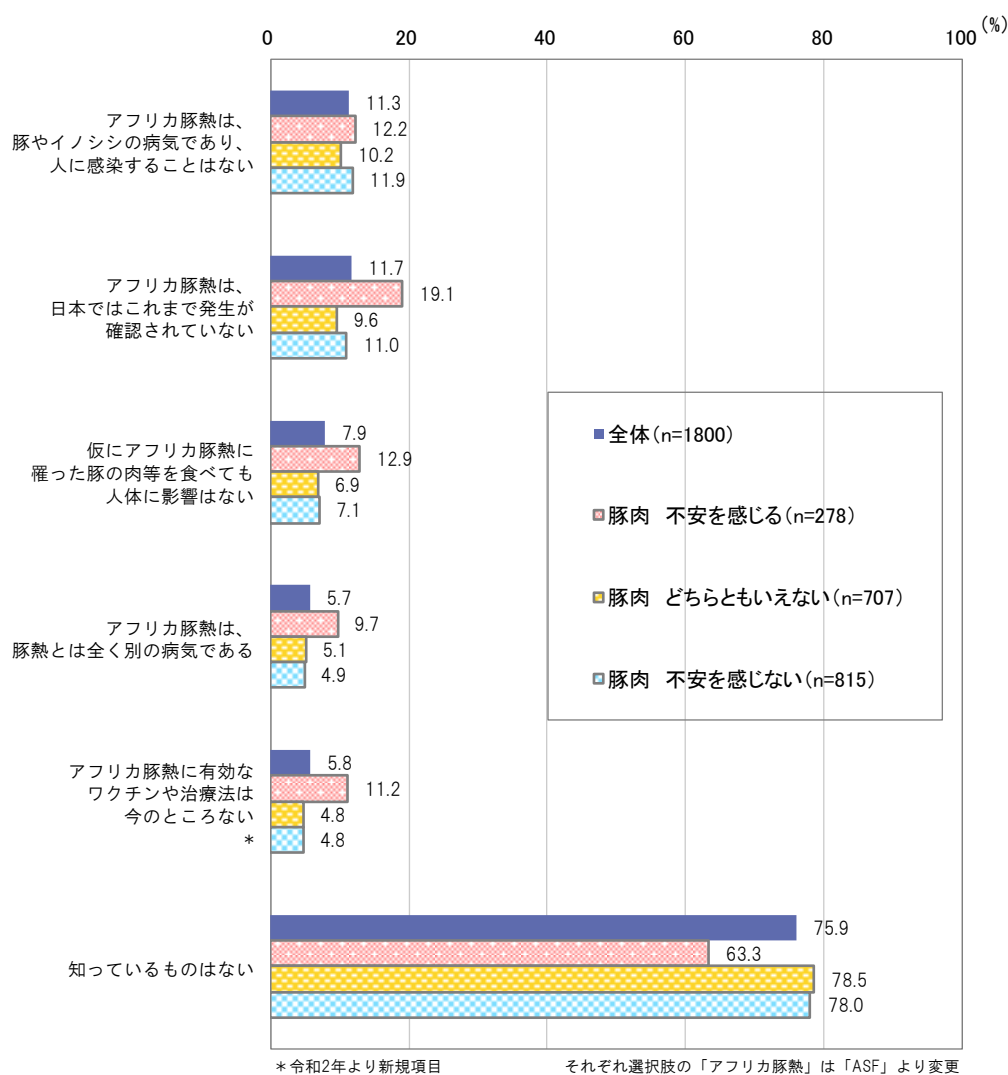


図表 33 エリア・性・年代別 アフリカ豚熱への認知・理解



豚肉への不安度別に見ると、「アフリカ豚熱は、豚やイノシシの病気であり、人に感染することはない」は、「豚肉に不安を感じる層」で12.2%、「豚肉に不安を感じない層」で11.9%と大きな違いは見られないが、他の項目については「豚肉に不安を感じる層」の方が認知度が高くなっている。また、「豚肉に不安を感じる層」は、「知っているものはない」が63.3%と低く、豚熱と同様、アフリカ豚熱について、ある程度の理解をした上で不安を感じている消費者であると考えられる。

「知っているものはない」は、豚肉に不安を感じるとも感じないとも「どちらともいえない層」で78.5%、「不安を感じない層」で78.0%と高い。

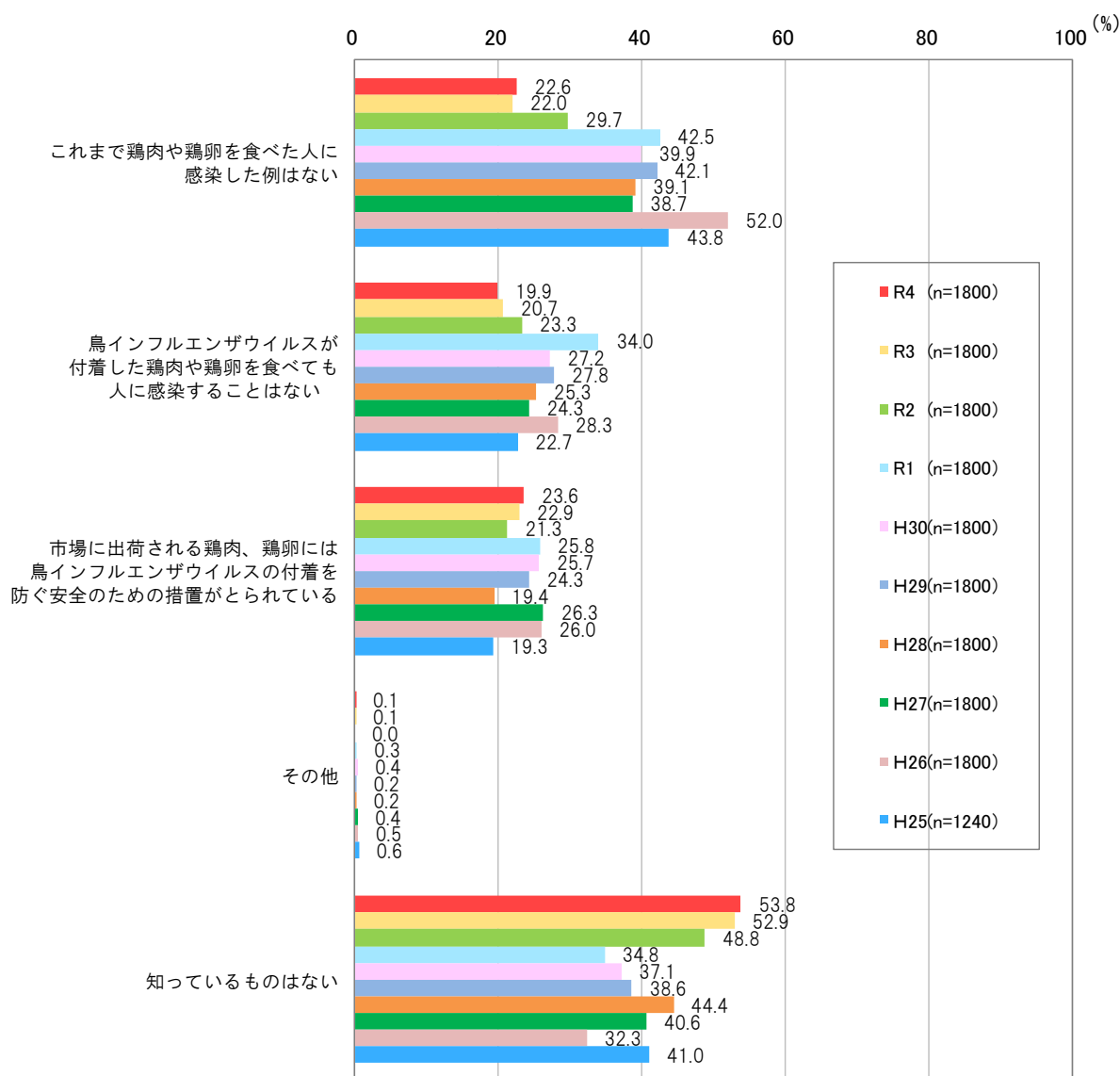


図表 34 食肉・豚肉への不安度 アフリカ豚熱への認知・理解

## 鳥インフルエンザへの認知・理解

鳥インフルエンザへの認知・理解（Q27／複数回答）は、全体で見ると、「市場に出荷される鶏肉、鶏卵には鳥インフルエンザウイルスの付着を防ぐ安全のための措置がとられている」23.6%、「これまで鶏肉や鶏卵を食べた人に感染した例はない」22.6%、「鳥インフルエンザウイルスに付着した鶏肉や鶏卵を食べても人に感染することはない」19.9%の順に多い。

過年度調査で見ると、昨年度と順位は変わらず、大きな違いは見られない。

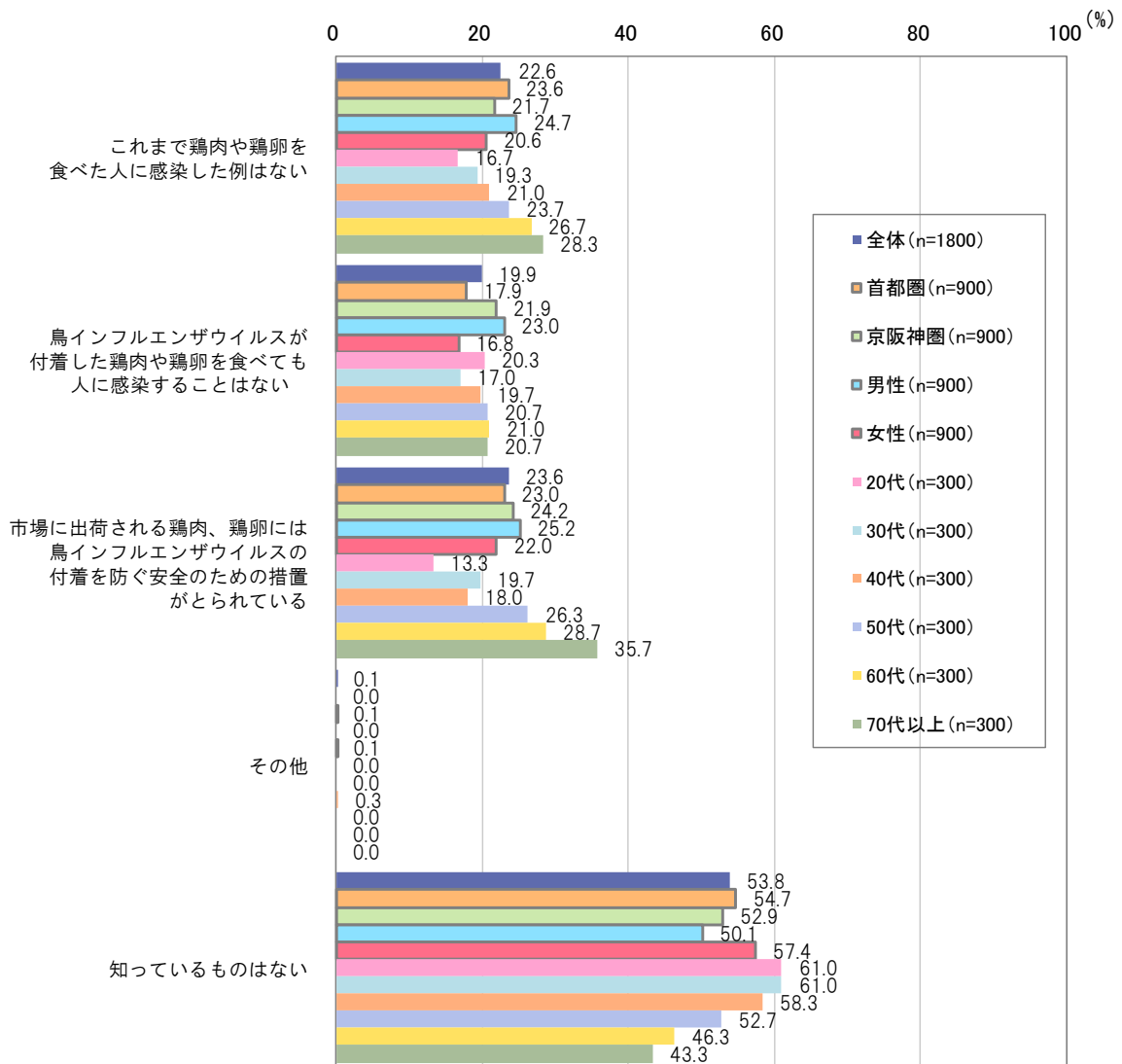


図表 35 鳥インフルエンザへの認知・理解（経年変化）

鳥インフルエンザへの認知・理解（Q27／複数回答）をエリア別に見ると、大きな違いは見られない。

性別に見ると、「これまで鶏肉や鶏卵を食べた人に感染した例はない」は男性が24.7%、女性が20.6%と女性より男性の方が多く、「鳥インフルエンザウイルスが付着した鶏肉や鶏卵を食べても人に感染することはない」も、男性が23.0%、女性が16.8%と、女性より男性の方が多い。女性は「知っているものはない」が57.4%と半数以上を占める。

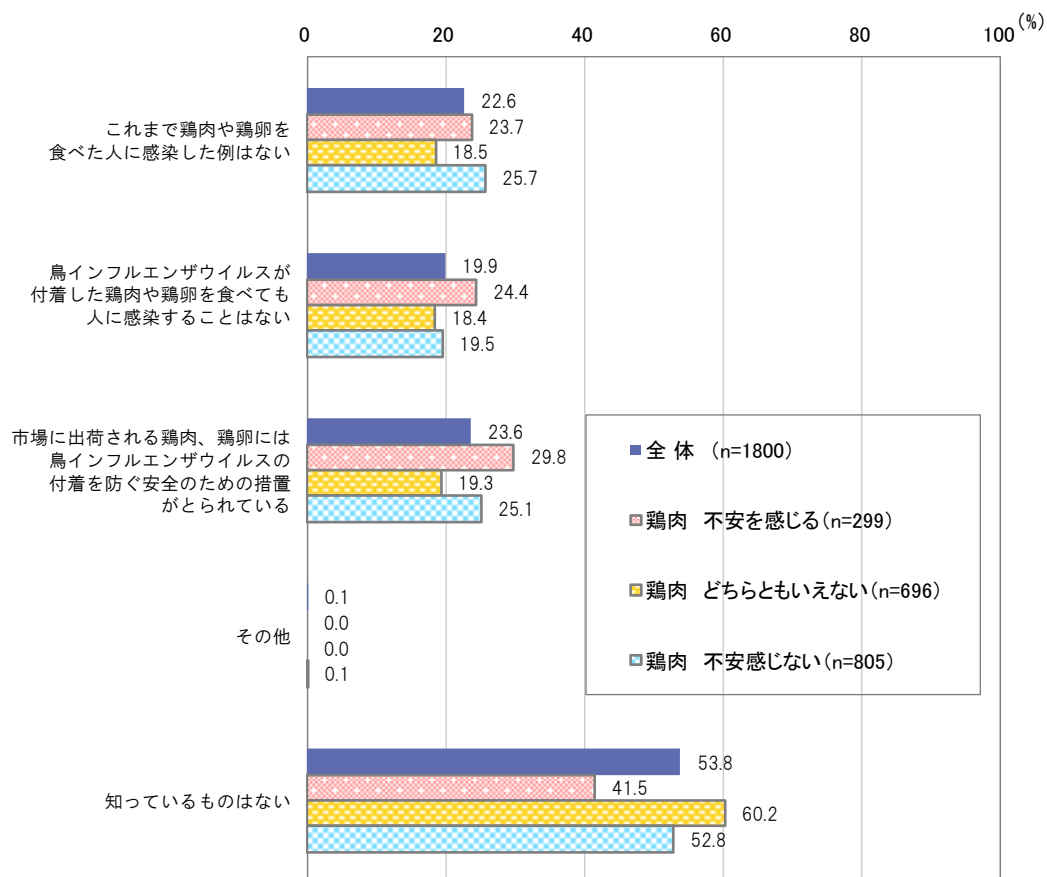
年代別に見ると、「知っているものはない」と回答した者の割合は、年代が高くなるにつれて減少し、20代で61.0%と多いが、70代以上で43.3%と少なくなる。



図表 36 エリア・性・年代別 鳥インフルエンザへの認知・理解

鶏肉への不安度別に見ると、「市場に出荷される鶏肉、鶏卵には鳥インフルエンザウイルスの付着を防ぐ安全のための措置がとられている」は、「不安を感じない層」25.1%より「不安を感じる層」29.8%の方が多く、「鳥インフルエンザウイルスに付着した鶏肉や鶏卵を食べても人に感染することはない」も、「不安を感じない層」19.5%より「不安を感じる層」24.4%の方が多い。

「知っているものはない」は、鶏肉に不安を感じるとも感じないとも「どちらともいえない層」で60.2%と多い。



図表 37 食肉・鶏肉への不安度別 鳥インフルエンザへの認知・理解

## 2.2 「SDGsと畜産物」「アニマルウェルフェア（AW）」に対する消費者意識の考察

- ・「持続可能な開発目標（SDGs）」の認知度は、「詳しく知っている」が6.1%、「ある程度知っている」が40.4%で最も多く、「「持続可能な開発目標（SDGs）」という言葉は聞いたことがある・知っている」が34.8%で、認知度計は全体の81.3%。
- ・「温室効果ガスの排出量削減」の関心度は、「非常に関心がある」が8.4%、「やや関心がある」が33.7%で最も多く、「関心がある計」は全体の42.1%。一方、「あまり関心がない」が17.7%、「まったく関心がない」が12.2%で「関心がない計」は全体の29.9%。「どちらでもない」は28.0%。
- ・「温室効果ガス排出削減認証マーク」がついている国産牛肉の購入意向は、「割高でも購入したい」が7.1%、「ロゴマークがついていない通常の国産牛肉と、同程度の価格なら購入したい」が29.6%、「安ければ購入したい」が37.2%で最も多かった。「同程度の価格以上計」は全体の36.7%、「購入したい計」は全体の73.9%。
- ・「温室効果ガス排出削減認証マーク」がついている国産牛肉の追加支払意思は、平均58.6円/100g。「1円でも割高なら購入しない」は8.3%。
- ・「アニマルウェルフェア（AW）」の認知度は、「詳しく知っている」が2.8%、「ある程度知っている」が9.9%、「「アニマルウェルフェア」という言葉は聞いたことがある・知っている」が15.1%で、認知度計は全体の27.8%。「あまりよく知らない」が72.3%と多い。
- ・国が「アニマルウェルフェアに配慮した、畜種ごとの飼養管理等に関する技術的な指針を示し、その普及を図っていくこと」としていることの関心度は、「非常に関心がある」が6.6%、「やや関心がある」が25.6%で、「関心がある計」は全体の32.2%。一方、「あまり関心がない」が19.8%、「まったく関心がない」が15.1%で「関心がない計」は全体の34.9%。「どちらでもない」が32.9%と最も多い。
- ・「アニマルウェルフェア配慮認証マーク」がついている国産牛肉の購入意向は、「割高でも購入したい」が7.3%、「ロゴマークがついていない通常の国産牛肉と、同程度の価格なら購入したい」が29.9%、「安ければ購入したい」が32.2%で最も多かった。「同程度の価格以上計」は全体の37.2%、「購入したい計」は全体の69.4%。
- ・「アニマルウェルフェア配慮認証マーク」がついている国産牛肉の追加支払意思は、平均57.6円/100gである。「1円でも割高なら購入しない」は8.4%。

2.2では、「SDGsと畜産物」及び「アニマルウェルフェア（AW）」の認知度・関心度・購入意向・追加支払意思を把握すること、及び消費者の意識を探ることを目的とした。

## 「SDGsと畜産物」に対する消費者意識

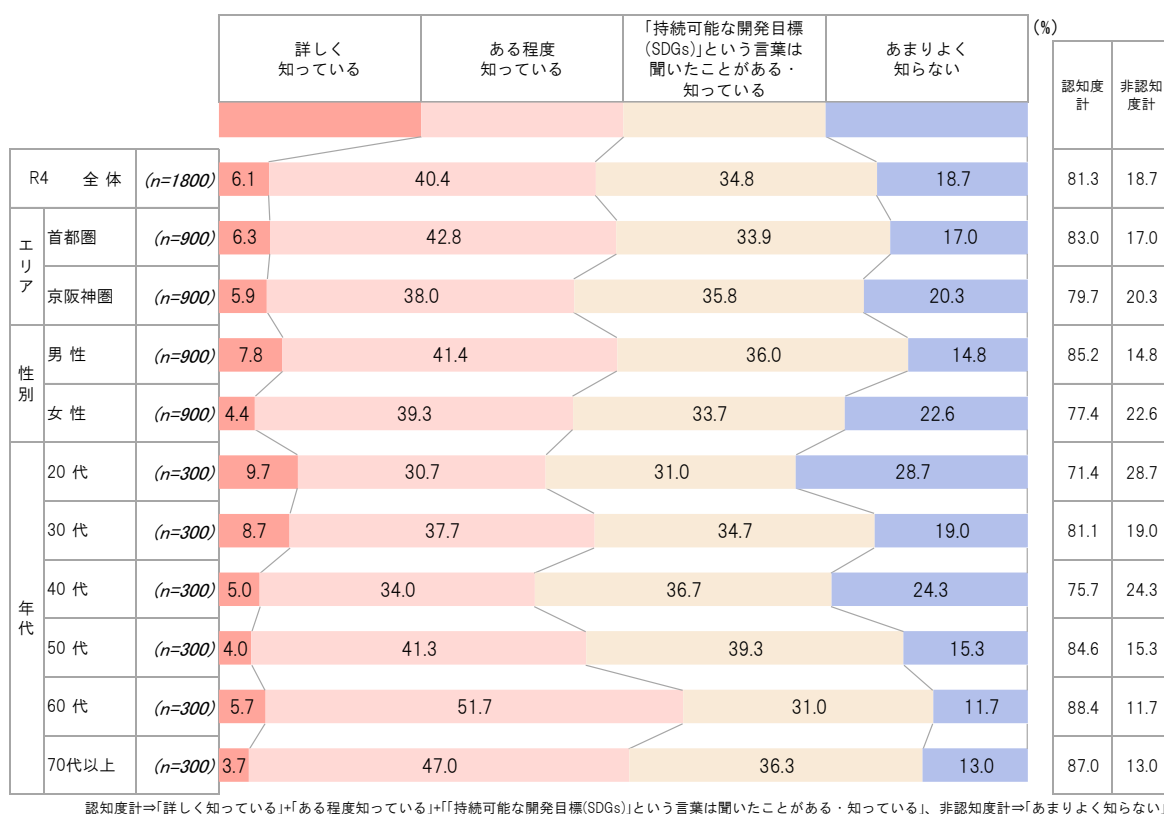
### 1) 「持続可能な開発目標（SDGs）」の認知度（Q33）：エリア・性・年代別分析

説明文を提示せずに聞いた「持続可能な開発目標（SDGs）」の認知度（Q33）は、「詳しく知っている」が6.1%、「ある程度知っている」が40.4%で最も多く、「「持続可能な開発目標（SDGs）」という言葉は聞いたことがある・知っている」が34.8%で、認知度計は全体の81.3%である。一方、非認知は、「あまりよく知らない」が18.7%である。

エリア別に認知度計を見ると、首都圏が83.0%、京阪神圏が79.7%と、京阪神圏より首都圏の方が認知度が高い。

性別に認知度計を見ると、男性が85.2%、女性が77.4%と女性より男性の方が高い。

年代別に認知度を見ると、20代で「あまりよく知らない」28.7%と最も多いが、一方で「詳しく知っている」が9.7%と最も多く、二極化している。



図表 38 「持続可能な開発目標（SDGs）」の認知度

## 2) 「温室効果ガスの排出量削減」の関心度 (Q34) : エリア・性・年代別分析

「温室効果ガスの排出量削減」についての説明文を提示して関心度 (Q34) を聞いたところ、「非常に関心がある」が 8.4%、「やや関心がある」が 33.7%で最も多く、「関心がある計」は全体の 42.1%である。一方、「あまり関心がない」が 17.7%、「まったく関心がない」が 12.2%で「関心がない計」は全体の 29.9%である。「どちらでもない」は 28.0%であった。

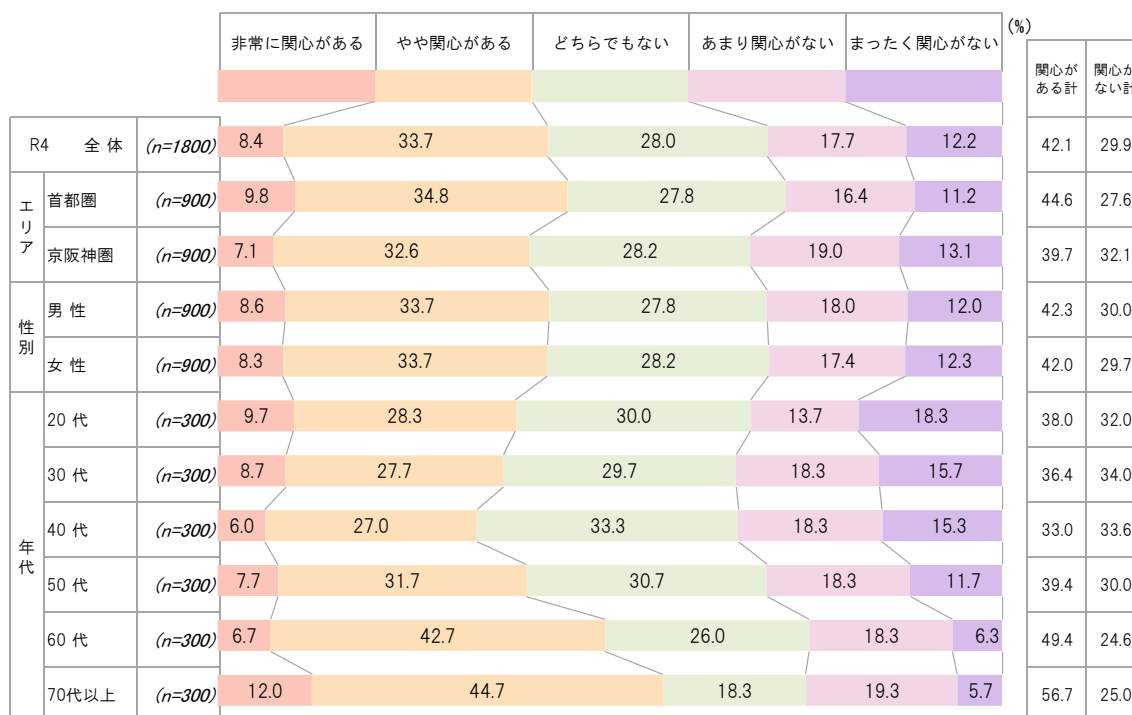
エリア別に「関心がある計」を見ると、首都圏が 44.6%、京阪神圏が 39.7%と、京阪神圏より首都圏の方が関心度が高い。

性別に「関心がある計」を見ると、男女で大きな違いは見られない。

年代別に「関心がある計」を見ると、60代以上で高くなっており、40代が 33.0%と最も低くなっている。

日本では持続可能な開発目標(SDGs)を踏まえ、農林水産分野における環境負荷軽減や持続的な農業システムの構築に向けた取組が加速しています。  
日本の温室効果ガスの排出量の1%を占める酪農・畜産でも、家畜の消化管内発酵(牛等のげっぷ)由来のメタンや家畜排せつ物由来のメタンや一酸化二窒素などの温室効果ガスの削減のための取組が進められています。  
※温室効果ガス:大気中に熱を吸収する性質を持つガス(二酸化炭素、メタン、一酸化二窒素、フロンガス等)で、大気中の温室効果ガスが増えると、温室効果が強くなり、より地表付近の気温が上がり、地球温暖化につながります。  
※温室効果ガスの排出増加による地球温暖化は、地球環境や人々の生活に様々な影響を及ぼします。氷河の融解や海面水位の変化、洪水や干ばつなどの影響、陸上や海の生態系への影響、食料生産や健康などへの影響がすでに観測され始めています。

図表 39 提示説明文



関心がある計⇒「非常に関心がある」+「やや関心がある」、関心がない計⇒「あまり関心がない」+「まったく関心がない」

図表 40 「温室効果ガスの排出量削減」の関心度

### 3) 「温室効果ガス排出削減認証マーク」がついている国産牛肉の購入意向 (Q35) : エリア・性・年代別分析

「温室効果ガスの排出量削減」と「温室効果ガス排出削減認証マーク」についての説明文を提示して、「温室効果ガス排出削減認証マーク」がついている国産牛肉の購入意向 (Q35) を聞いたところ、「割高でも購入したい」が 7.1%、「ロゴマークがついていない通常の国産牛肉と、同程度の価格なら購入したい」が 29.6%、「安ければ購入したい」が 37.2%で最も多かった。「同程度の価格以上計」は全体の 36.7%、「購入したい計」は全体の 73.9%である。一方、「購入したくない」が 6.8%、「わからない」が 19.4%である。

エリア別に「割高でも購入したい」を見ると、首都圏が 8.4%、京阪神圏が 5.7%と、京阪神圏より首都圏の方が割高購入意向がやや高い。

性別に「割高でも購入したい」を見ると、男女で大きな違いは見られない。

年代別に「割高でも購入したい」を見ると、70代以上で 10.3%と高い。

日本では持続可能な開発目標(SDGs)を踏まえ、農林水産分野における環境負荷軽減や持続的な農業システムの構築に向けた取組が加速しています。

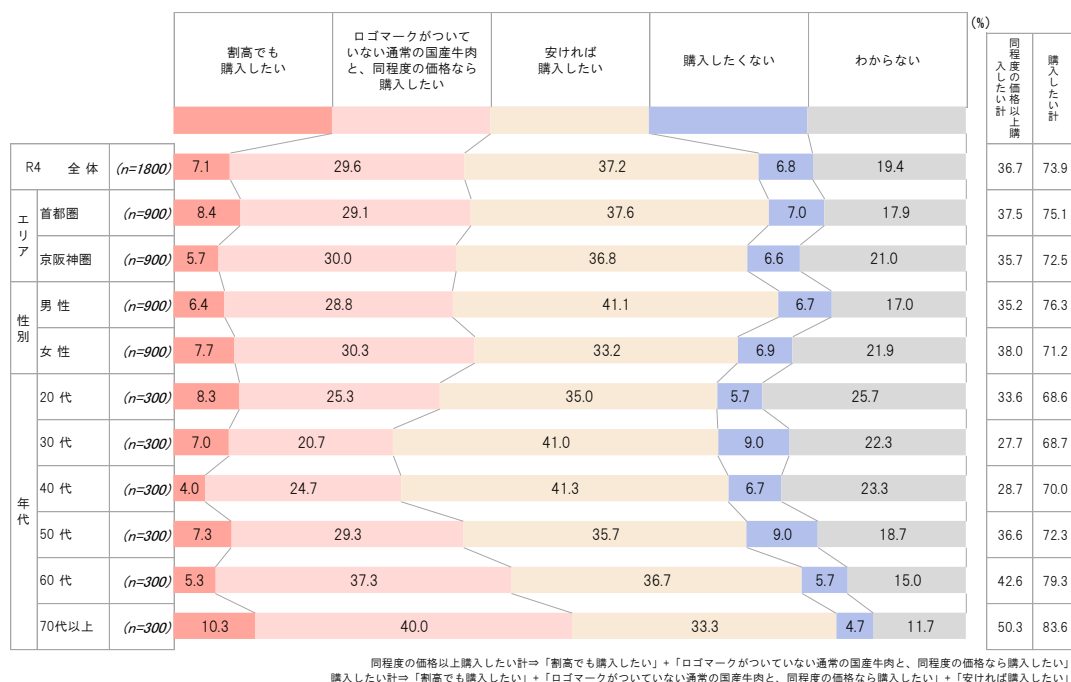
日本の温室効果ガスの排出量の1%を占める酪農・畜産でも、家畜の消化管内発酵(牛等のげっぷ)由来のメタンや家畜排せつ物由来のメタンや一酸化二窒素などの温室効果ガスの削減のための取組が進められています。

※温室効果ガス: 大気中に熱を吸収する性質を持つガス(二酸化炭素、メタン、一酸化二窒素、フロンガス等)で、大気中の温室効果ガスが増えると、温室効果が強くなり、より地表付近の気温が上がり、地球温暖化につながります。

※温室効果ガスの排出増加による地球温暖化は、地球環境や人々の生活に様々な影響を及ぼします。氷河の融解や海面水位の変化、洪水や干ばつなどの影響、陸上や海の生態系への影響、食料生産や健康などへの影響がすでに観測され始めています。

いま仮に、国が認定した第三者機関から、「温室効果ガス排出量を一定水準以下に削減した取組について審査・認証を受けた国産牛肉」が、「温室効果ガス排出削減認証マーク」を貼られて売られるとします。

図表 41 提示説明文



図表 42 「温室効果ガス排出削減認証マーク」がついている国産牛肉の購入意向



4) 「温室効果ガス排出削減認証マーク」がついている国産牛肉の購入意向の追加支払意思 (Q36) : エリア・性・年代別分析

「温室効果ガス排出削減認証マーク」についての説明文を提示して、「温室効果ガス排出削減認証マーク」がついている国産牛肉について、普段買っている国産牛肉に比べて、100gあたり税込みでどの程度の価格上昇までなら購入しても良いと思うか (Q36) を聞いた。

「50円程度までなら高くても購入する」が20.1%で最も多く、次いで「10円程度まで」が14.8%、「20円程度まで」が12.4%となり、「平均割高許容価格 (円/100g)」で見ると、平均58.6円/100gである。「1円でも割高なら購入しない」は8.3%である。

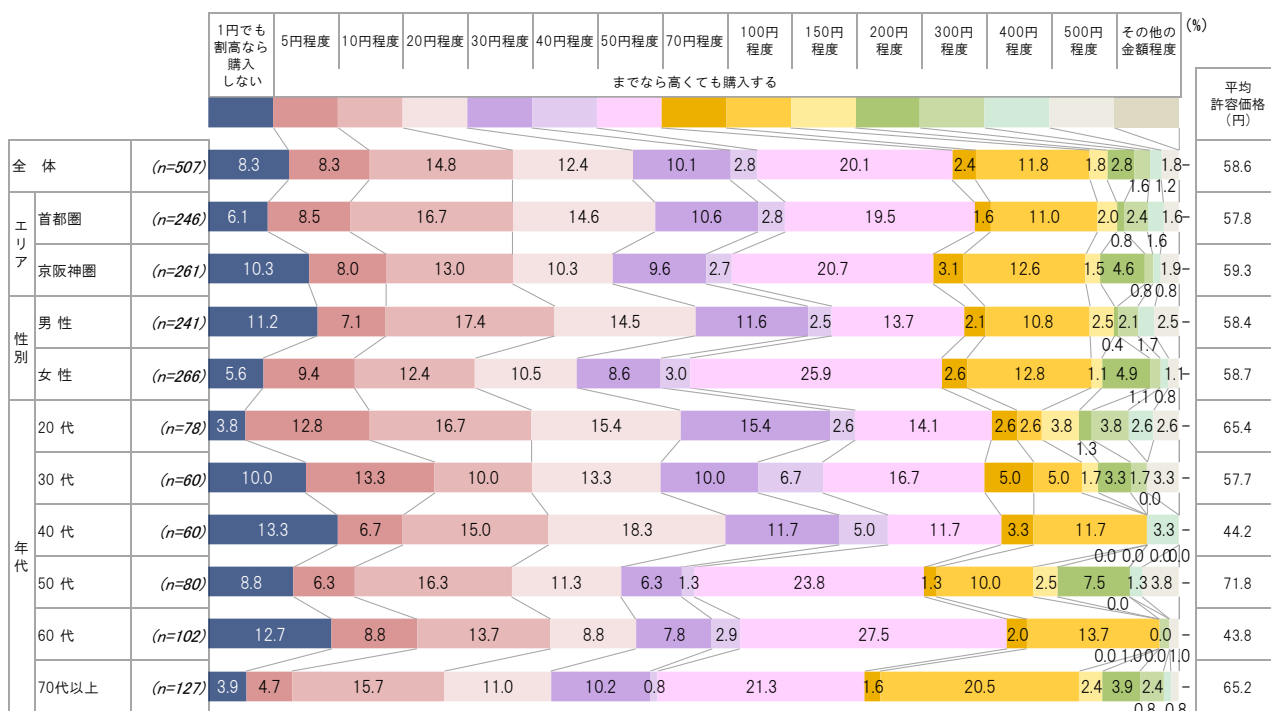
エリア別に「平均割高許容価格 (円/100g)」を見ると、首都圏が57.8円/100g、京阪神圏が59.3円/100gと大きな違いは見られない。

性別に「平均割高許容価格 (円/100g)」を見ると、男女で大きな違いは見られない。

年代別に「平均割高許容価格 (円/100g)」を見ると、50代が71.8円/100gと最も高く、60代が43.8円/100g、40代が44.2円/100gと低い。

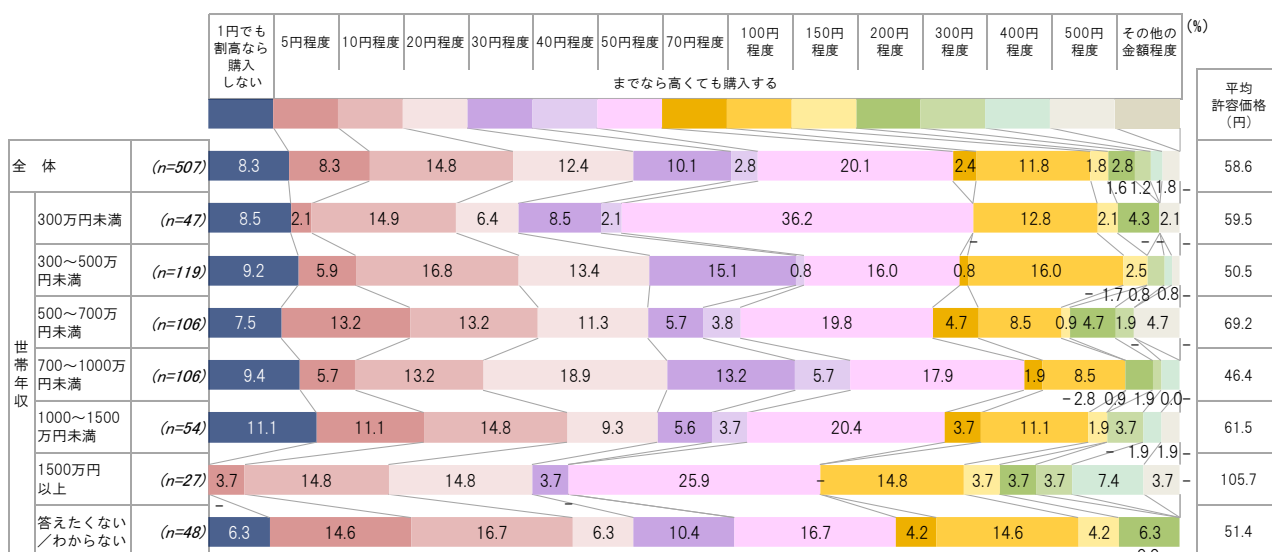
いま仮に、国が認定した第三者機関から、「温室効果ガス排出量を一定水準以下に削減する取組について審査・認証を受けた国産牛肉」が、「温室効果ガス排出削減認証マーク」を貼られて売られるとします。この牛肉は、通常の国産牛肉と品質は同じですが、温室効果ガス排出削減に取り組んで生産されるため、価格が高めであるとします。

図表 43 提示説明文



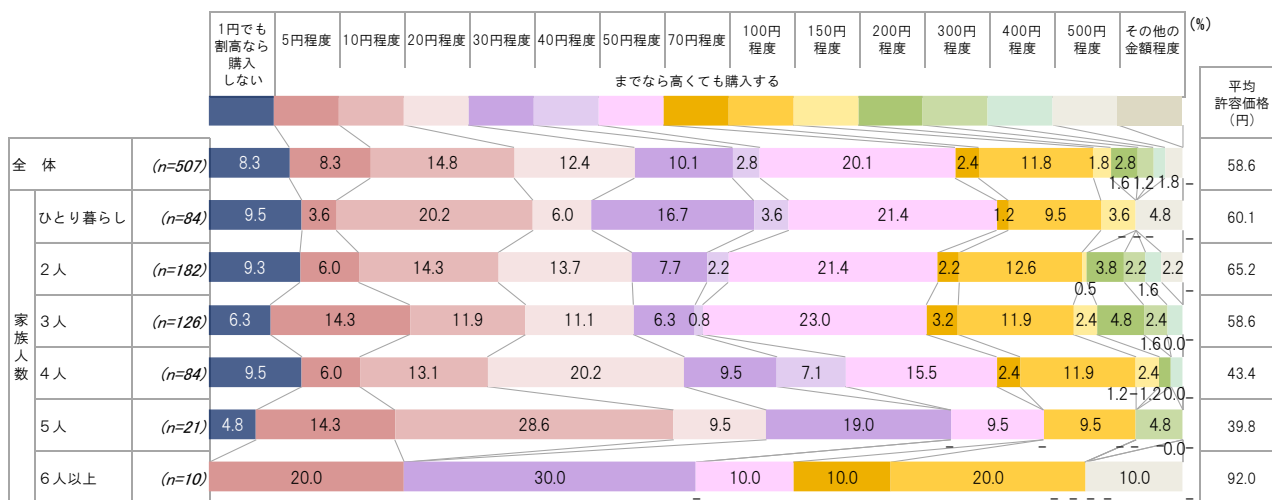
図表 44 「温室効果ガス排出削減認証マーク」がついている国産牛肉の購入意向の追加支払意思

世帯年収別に「平均割高許容価格（円／100g）」を見ると、1500万円以上が105.7円／100gと最も高く、700～1000万円未満が46.4円／100g、300～500万円未満が50.5円／100gと低い。



図表 45 世帯年収別 「温室効果ガス排出削減認証マーク」がついている国産牛肉の購入意向の追加支払意思

世帯構成人数別に「平均割高許容価格（円／100g）」を見ると、2人が65.2円／100gと最も高く、次いで、ひとり暮らしが60.1円／100gと高い。



図表 46 世帯構成人数別 「温室効果ガス排出削減認証マーク」がついている国産牛肉の購入意向の追加支払意思

## 「アニマルウェルフェア（AW）」に対する消費者意識

### 5) 「アニマルウェルフェア（AW）」の認知度（Q37）：エリア・性・年代別分析

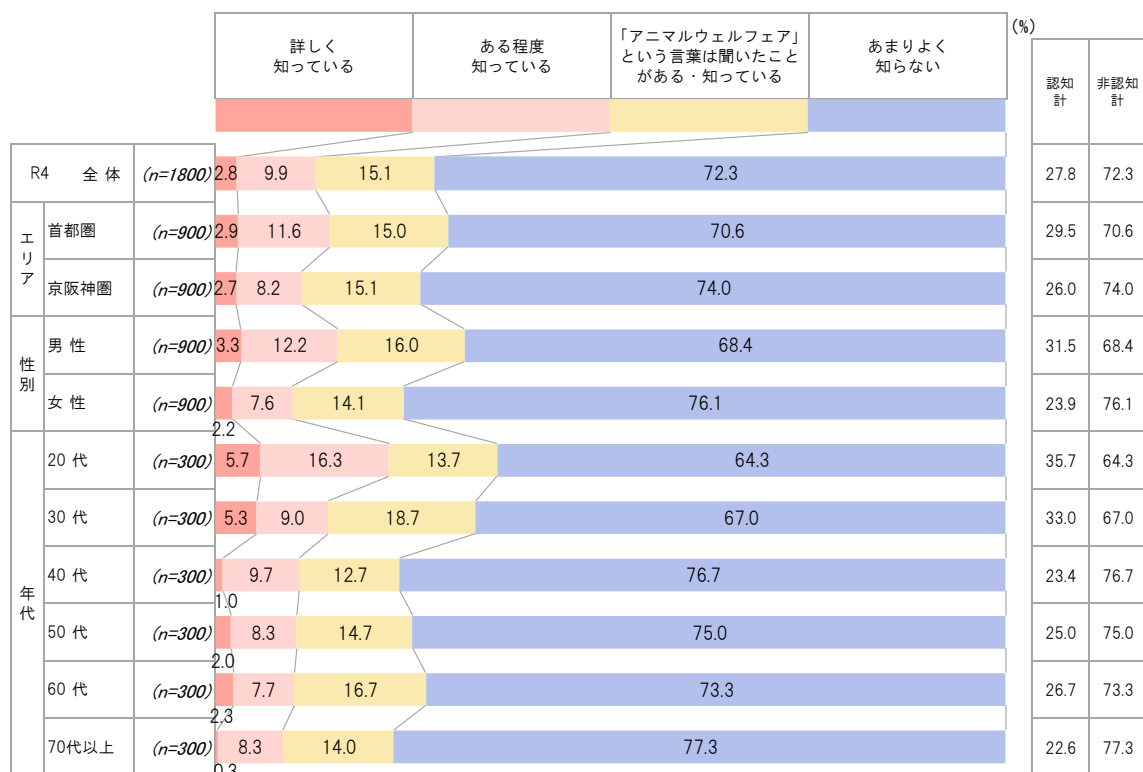
説明文を提示せずに聞いた「アニマルウェルフェア（AW）」の認知度（Q37）は、「詳しく知っている」が2.8%、「ある程度知っている」が9.9%、「「アニマルウェルフェア」という言葉は聞いたことがある・知っている」が15.1%で、認知度計は全体の27.8%である。一方、非認知は、「あまりよく知らない」が72.3%と非常に多い。

「持続可能な開発目標（SDGs）」認知度計81.3%と比べると、53.5ポイントの開きがあり、「アニマルウェルフェア」の認知度は非常に低くなっている。

エリア別に認知度計を見ると、首都圏が29.5%、京阪神圏が26.0%と、京阪神圏より首都圏の方が認知度が高い。

性別に認知度計を見ると、男性が31.5%、女性が23.9%と女性より男性の方が高い。

年代別に認知度計を見ると、若い世代の方が高くなっており、20代が35.7%、30代が33.0%だが、70代以上では22.6%と低くなっている。



認知計⇒「詳しく知っている」+「ある程度知っている」+「アニマルウェルフェア」という言葉は聞いたことがある・知っている、非認知計⇒「あまりよく知らない」

図表 47 「アニマルウェルフェア」の認知度

## 6) 「アニマルウェルフェア（AW）」の関心度（Q38）：エリア・性・年代別分析

「アニマルウェルフェア」についての説明文を提示して、国が「アニマルウェルフェアに配慮した、畜種ごとの飼養管理等に関する技術的な指針を示し、その普及を図っていくこと」としていることについて関心度（Q38）を聞いたところ、「非常に関心がある」が6.6%、「やや関心がある」が25.6%で、「関心がある計」は全体の32.2%である。一方、「あまり関心がない」が19.8%、「まったく関心がない」が15.1%で「関心がない計」は全体の34.9%である。「どちらでもない」が32.9%と最も多い。

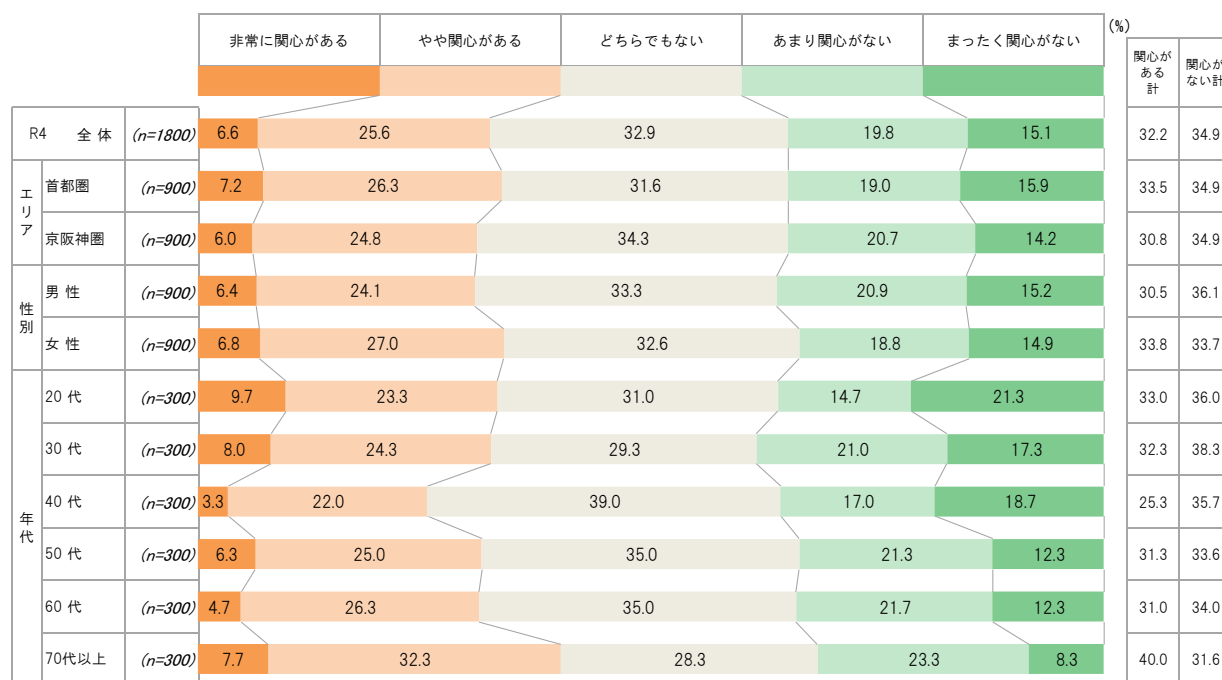
エリア別に「関心がある計」を見ると、首都圏が33.5%、京阪神圏が30.8%と、大きな違いは見られない。

性別に「関心がある計」を見ると、男女で大きな違いは見られない。

年代別に「関心がある計」を見ると、認知率が低かった70代以上で40.0%と高くなっている。

国は、アニマルウェルフェア（家畜の誕生から死を迎えるまでの間、ストレスをできる限り少なくし、行動要求が満たされた健康的な生活ができる飼育方法を目指す考え方）に配慮した家畜の快適な環境下での飼養管理が国際的に求められている動向も踏まえ、畜種ごとの飼養管理等に関する技術的な指針を示し、その普及を図っていくこととしています。  
 アニマルウェルフェアを踏まえた家畜の飼養管理は、家畜のストレスや疾病を減らし、結果として安全な畜産物の生産につながります。また、畜産物の輸出拡大を図るため、日本のアニマルウェルフェアの水準を国際水準とすることが必要とされています。

図表 48 提示説明文



関心がある計⇒「非常に関心がある」+「やや関心がある」、関心がない計⇒「あまり関心がない」+「まったく関心がない」

図表 49 「アニマルウェルフェア」の関心度

7) 「アニマルウェルフェア配慮認証マーク」がついている国産牛肉の購入意向 (Q39)  
: エリア・性・年代別分析

「アニマルウェルフェア」と「アニマルウェルフェア配慮認証マーク」についての説明文を提示して「アニマルウェルフェア配慮認証マーク」がついている国産牛肉の購入意向 (Q39) を聞いたところ、「割高でも購入したい」が 7.3%、「ロゴマークがついていない通常の国産牛肉と、同程度の価格なら購入したい」が 29.9%、「安ければ購入したい」が 32.2%で最も多かった。「同程度の価格以上計」は全体の 37.2%、「購入したい計」は全体の 69.4%である。

一方、「購入したくない」が 7.4%、「わからない」が 23.2%である。

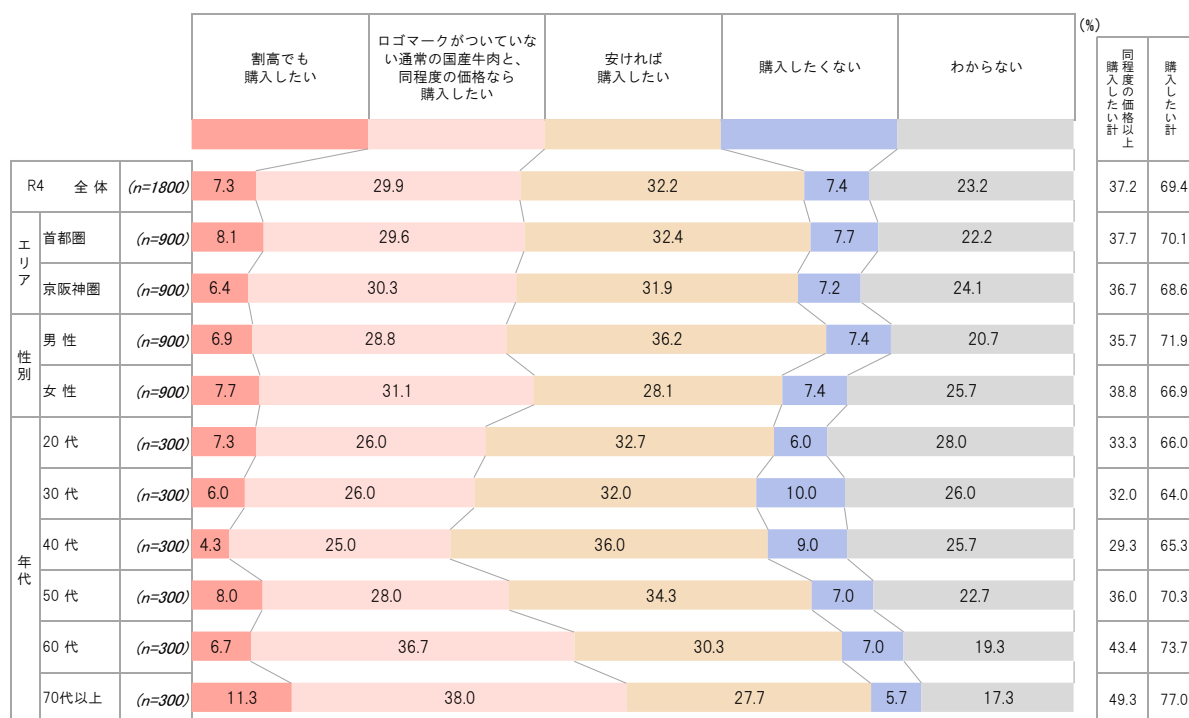
エリア別に「割高でも購入したい」を見ると、首都圏が 8.1%、京阪神圏が 6.4%と、大きな違いは見られない。

性別に「割高でも購入したい」を見ると、男女で大きな違いは見られない。

年代別に「割高でも購入したい」を見ると、70代以上で 11.3%と高い。

国は、アニマルウェルフェア(家畜の誕生から死を迎えるまでの間、ストレスをできる限り少なくし、行動要求が満たされた健康的な生活ができる飼育方法を目指す考え方)に配慮した家畜の快適な環境下での飼養管理が国際的に求められている動向も踏まえ、畜種ごとの飼養管理等に関する技術的な指針を示し、その普及を図っていくこととしています。  
いま仮に、国が認定した第三者機関から、「アニマルウェルフェアの水準を国際水準とすべく国が定めた肉用牛の飼養管理指針の実施について審査・認証を受けた国産牛肉」が、「アニマルウェルフェア配慮認証マーク」を貼られて売られるとします。

図表 50 提示説明文



同程度の価格以上購入したい計⇒「割高でも購入したい」+「ロゴマークがついていない通常の国産牛肉と、同程度の価格なら購入したい」  
購入したい計⇒「割高でも購入したい」+「ロゴマークがついていない通常の国産牛肉と、同程度の価格なら購入したい」+「安ければ購入したい」

図表 51 「アニマルウェルフェア配慮認証マーク」がついている国産牛肉の購入意向

8) 「アニマルウェルフェア配慮認証マーク」がついている国産牛肉の購入意向の追加支払意思 (Q40) : エリア・性・年代別分析

「アニマルウェルフェア配慮認証マーク」についての説明文を提示して、「アニマルウェルフェア配慮認証マーク」がついている国産牛肉について、普段買っている国産牛肉に比べて、100gあたり税込みでどの程度の価格上昇までなら購入しても良いと思うか (Q40) を聞いた。

「50円程度までなら高くても購入する」が17.1%で最も多く、次いで「10円程度まで」が14.0%、「30円程度まで」が13.2%となり、「平均割高許容価格 (円/100g)」で見ると、平均57.6円/100gである。「1円でも割高なら購入しない」は8.4%である。

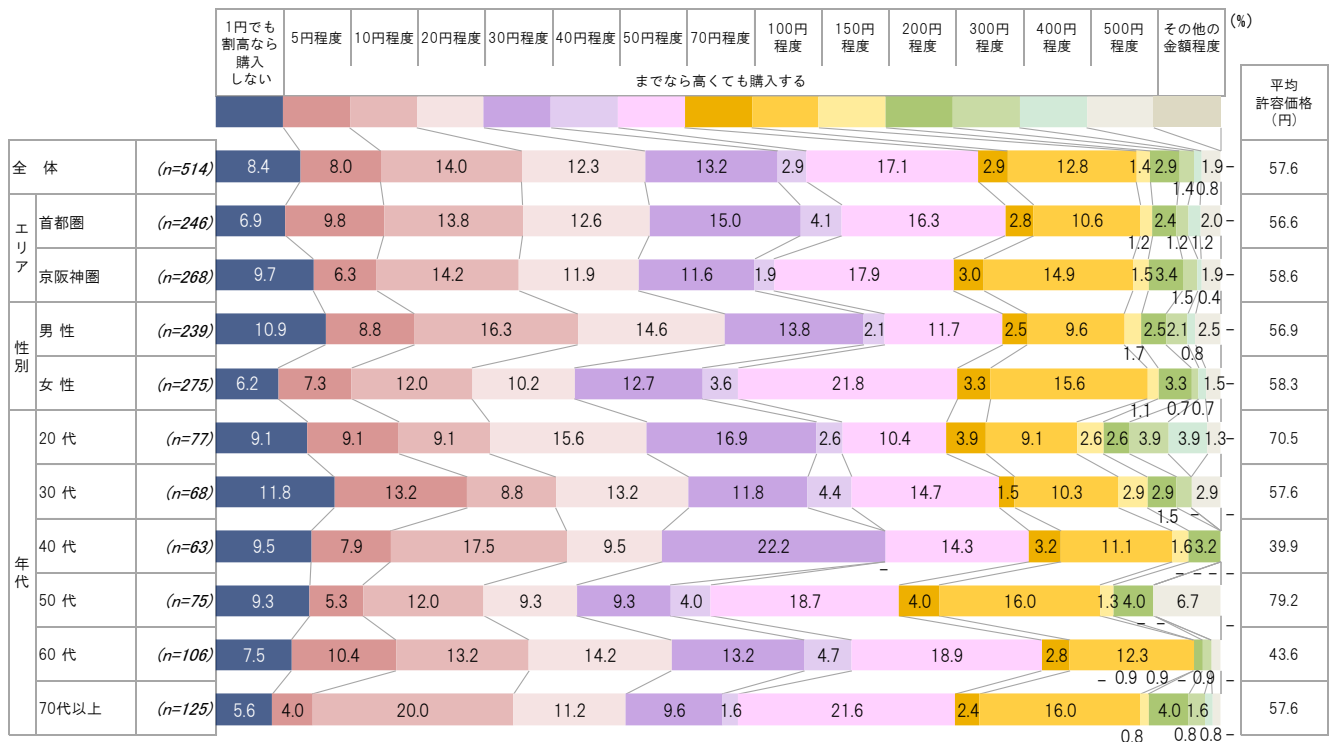
エリア別に「平均割高許容価格 (円/100g)」を見ると、首都圏が56.6円/100g、京阪神圏が58.6円/100gと大きな違いは見られない。

性別に「平均割高許容価格 (円/100g)」を見ると、男女で大きな違いは見られない。

年代別に「平均割高許容価格 (円/100g)」を見ると、50代が79.2円/100gと最も高く、40代が39.9円/100g、60代が43.6円/100gと低い。

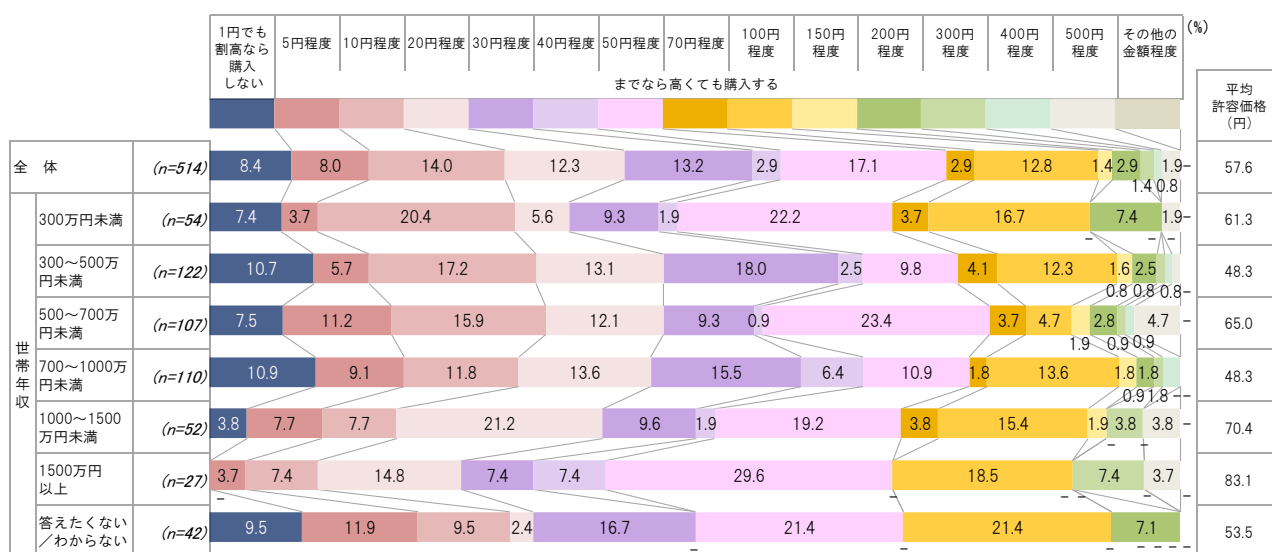
いま仮に、国が認定した第三者機関から、「アニマルウェルフェアの水準を国際水準とすべく国が定めた肉用牛の飼養管理指針の実施について審査・認証を受けた国産牛肉」が、「アニマルウェルフェア配慮認証マーク」を貼られて売られるとします。  
この牛肉は、通常の国産牛肉と品質は同じですが、アニマルウェルフェアに配慮して生産されるため、価格が高めであるとします。

図表 52 提示説明文



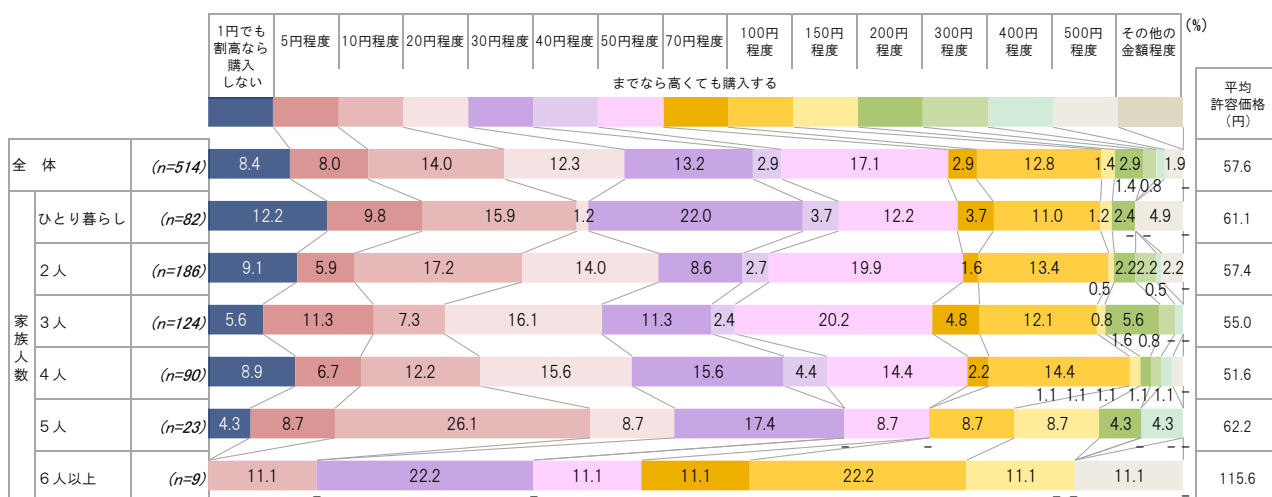
図表 53 「アニマルウェルフェア配慮認証マーク」がついている国産牛肉の購入意向の追加支払意思

世帯年収別に「平均割高許容価格（円／100g）」を見ると、1500万円以上が83.1円／100gと最も高く、次いで、1000～1500万円未満が70.4円／100gと高く、700～1000万円未満と300～500万円未満が48.3円／100gと低い。



図表 54 世帯年収別 「アニマルウェルフェア配慮認証マーク」がついている国産牛肉の購入意向の追加支払意思

世帯構成人数別に「平均割高許容価格（円／100g）」を見ると、5人が62.2円／100g、ひとり暮らしが61.1円／100gと高い。



図表 55 世帯構成人数別 「アニマルウェルフェア配慮認証マーク」がついている国産牛肉の購入意向の追加支払意思

Environmental Portrait Value Questionnaire(E-PVQ)尺度に基づく価値観を用いた「SDGsと畜産物」「アニマルウェルフェア(AW)」に対する消費者意識分析

9) 本調査で用いた Environmental Portrait Value Questionnaire(E-PVQ) 質問形式、質問項目と回答方法 (Q46)

人々の価値観は通常、「自己超越」から「自己強化」の次元、および「変化への開放性」から「保全」の次元で構成される循環型の複合体で編成される。環境に優しい信念、態度、アイデンティティ、および行動は、特に自己超越と自己強化の次元に属する価値に関連していることが明らかにされている。自己超越の価値観は、個人は他者や環境の利益に注目し、環境保護の信念や行動に積極的に関連している。逆に、自己強化の価値観は、個人に自己利益に焦点を当てさせ、一般的に環境保護の信念や行動とは負の関係にあるとされる。

Environmental Portrait Value Questionnaire (Environmental-PVQ あるいは E-PVQ と略称される) は、Bouman ら(2018)\*が環境心理学分野で開発した価値観尺度で、人々の態度や行動の根底にある心的傾向を概念化した価値観は、4つの価値—生物圏価値(環境への関心)、利他的価値(他者への関心)、利己的価値(個人の資源への関心)、快楽的価値(喜びと快適さへの関心)—から構成され、環境研究で頻繁に使用・測定されている。

E-PVQ 尺度の4つの価値は、それぞれ4つの質問項目の回答値に基づいて、その因子得点あるいは尺度得点が測定されるが、本調査では質問総数の制約のため、図表 56 に掲げた質問項目を採用し、回答者に尋ねた。

\* Bouman et al. (2018). Measuring Values in Environmental Research: A Test of an Environmental Portrait Value Questionnaire. *Frontiers in Psychology*, 9, 564, doi:10.3389

次に描写された“この人の信念”が、どのくらいあなたに似ているか、“まったく似ていない”(1)～“とても似ている”(6)の6段階で評定してもらう。

生物圏価値	Q46s1	この人にとっては、環境汚染を防ぐことが重要である
	Q46s2	この人にとっては、環境を保護することが重要である
	Q46s3	この人にとっては、環境を尊重することが重要である
	Q46s4	この人にとっては、自然と一体であることが重要である
利他的価値	Q46s5	この人にとっては、すべての人が平等な機会を持つことが重要である
	Q46s6	この人にとっては、自分より困窮している人びとの世話をすることが重要である
	Q46s7	この人にとっては、すべての人が公正に扱われることが重要である
	Q46s8	この人にとっては、他人の手助けをすることが重要である
利己的価値	Q46s9	この人にとっては、他人に対して権威を持つことが重要である
	Q46s10	この人にとっては、影響力を持つことが重要である
	Q46s11	この人にとっては、お金と所有物を持つことが重要である
快楽的価値	Q46s12	この人にとっては、楽しむことが重要である
	Q46s13	この人にとっては、人生の喜びを味わうことが重要である
	Q46s14	この人にとっては、楽しい時間を過ごすことが重要である

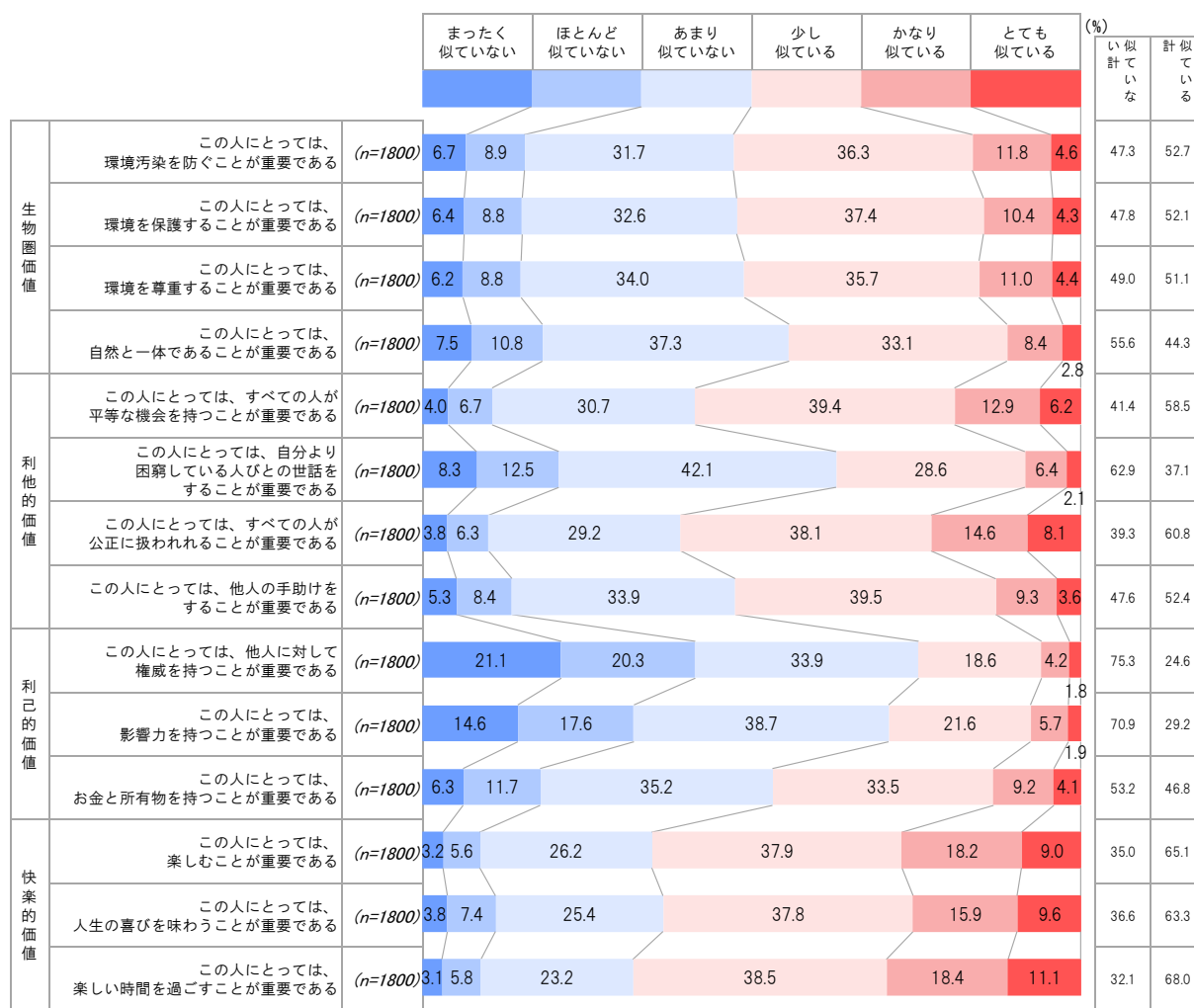
図表 56 本調査で用いた E-PVQ 質問形式、質問項目と回答方法



10) Environmental Portrait Value Questionnaire(E-PVQ)尺度に基づく価値観について (Q46) : エリア・性・年代別分析

Environmental Portrait Value Questionnaire(E-PVQ)尺度に基づく価値観設問 (Q46) を「似ている計」で見ると、「この人にとっては、楽しむことが重要である」が 63.3%で最も多く、次いで、「この人にとっては、人生の喜びを味わうことが重要である」が 63.3%、「この人にとっては、すべての人が公正に扱われることが重要である」が 60.8%で続く。

「持続可能な開発目標 (SDGs)」や「アニマルウェルフェア (AW)」に関連する【生物圏価値 (Biospheric value)】の価値観については、「この人にとっては、環境汚染を防ぐことが重要である」が 52.7%で最も多く、「この人にとっては、環境を保護することが重要である」が 52.1%、「この人にとっては、環境を尊重することが重要である」が 51.1%、「この人にとっては、自然と一体であることが重要である」が 44.3%の順であった。



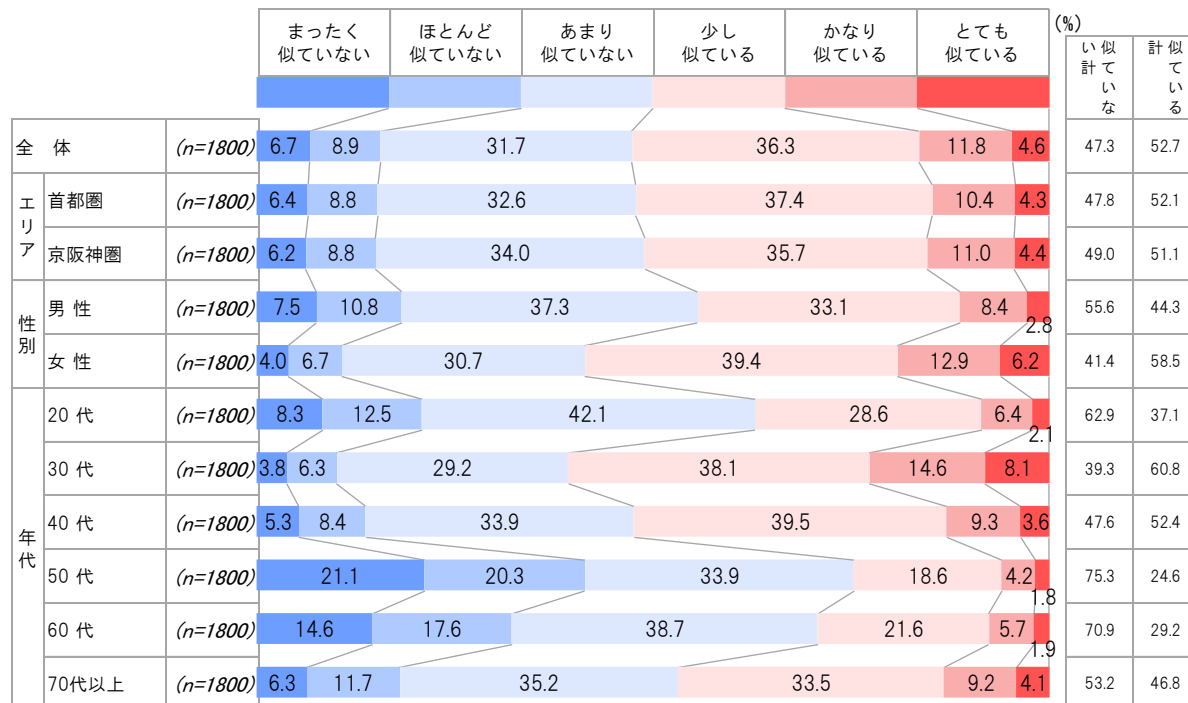
「似ていない計」=「まったく似ていない」+「ほとんど似ていない」+「あまり似ていない」、「似ている計」=「少し似ている」+「かなり似ている」+「とても似ている」

図表 57 E-PVQ 価値観尺度を測定する設問

Environmental Portrait Value Questionnaire(E-PVQ)尺度に基づく価値観設問のうち、生物圏価値 (Biospheric value) の4項目についてのみ、エリア・性・年代の図表を参考までに図示する。

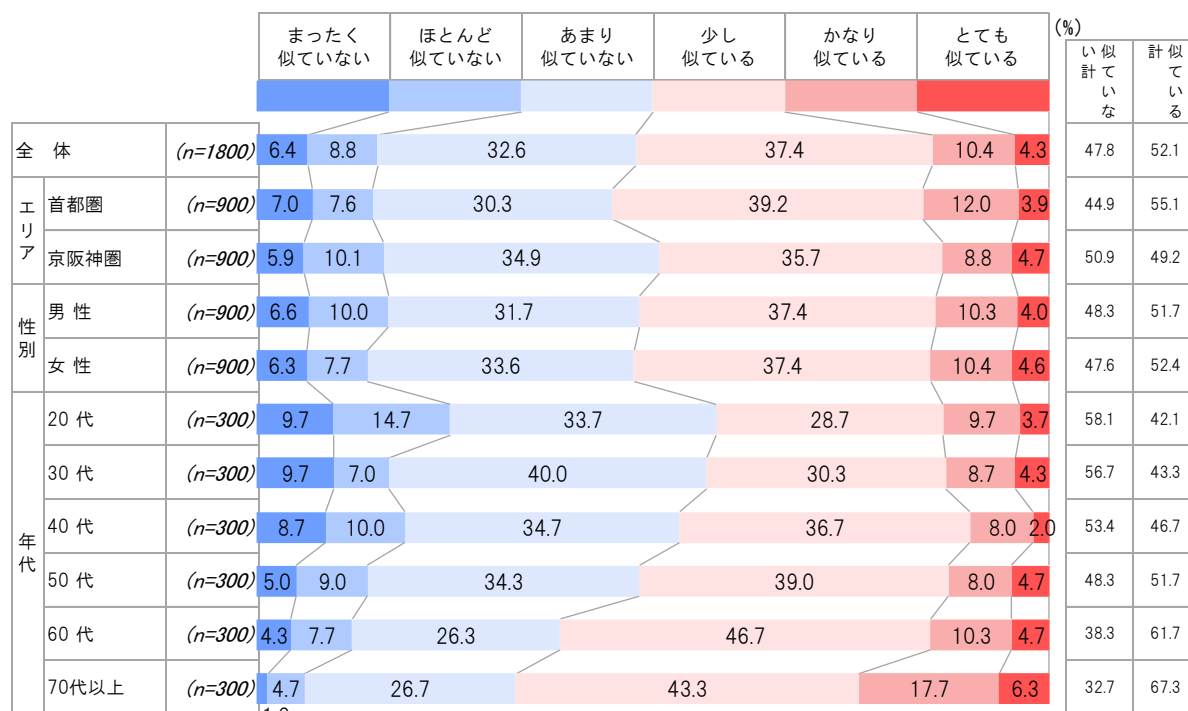
<生物圏価値 (Biospheric value) >

項目1【この人にとっては、環境汚染を防ぐことが重要である】



「似ていない計」⇒「まったく似ていない」+「ほとんど似ていない」+「あまり似ていない」、  
「似ている計」⇒「少し似ている」+「かなり似ている」+「とても似ている」

項目2【この人にとっては、環境を保護することが重要である】

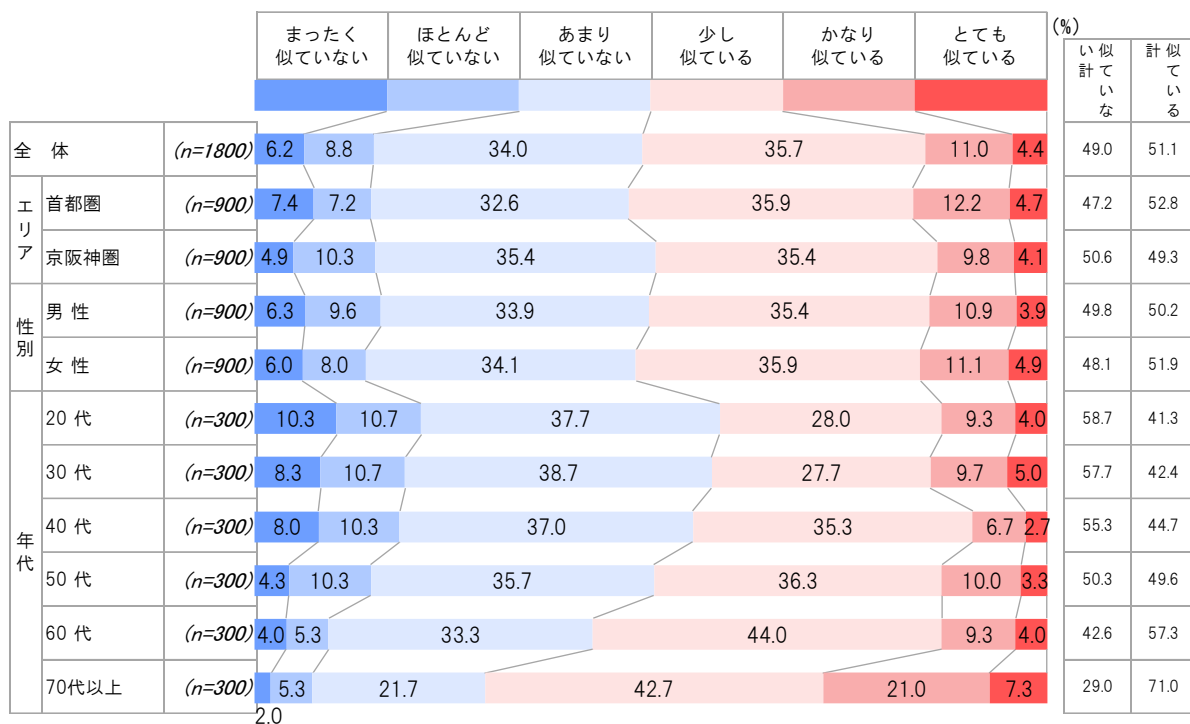


「似ていない計」⇒「まったく似ていない」+「ほとんど似ていない」+「あまり似ていない」、  
「似ている計」⇒「少し似ている」+「かなり似ている」+「とても似ている」

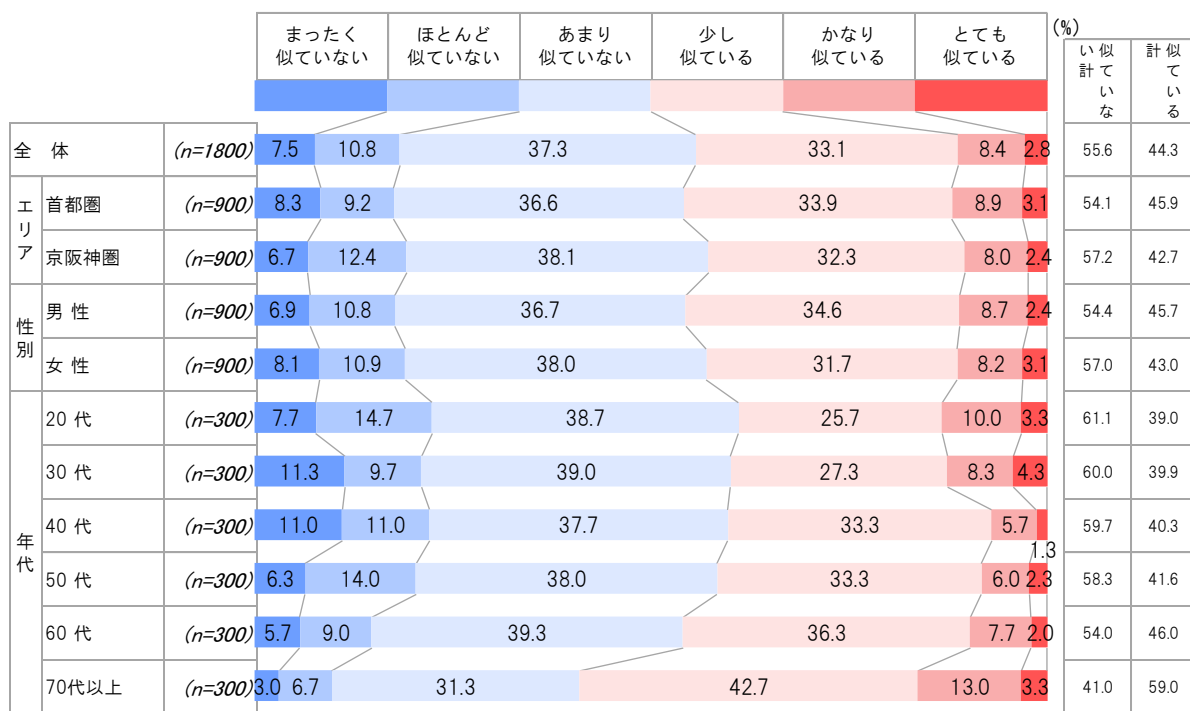
図表 58 (その1) 生物圏価値に関する E-PVQ 設問

<生物圏価値 (Biospheric value) >

項目 3【この人にとっては、環境を尊重することが重要である】



項目 4【この人にとっては、自然と一体であることが重要である】



図表 58 (その 2) 生物圏価値に関する E-PVQ 設問

11) Environmental Portrait Value Questionnaire(E-PVQ)尺度に基づく  
回答者の価値観把握 (Q46)

事前の想定通りの「生物圏価値」、「利他的価値」、「利己的価値」、「快樂的価値」の4因子構造となることを確かめるために、Stata version 14.2 を用いて確認的因子分析を行った。4つの因子からそれぞれ該当する項目が影響を受け、すべての因子間に共分散を仮定したモデルを、該当項目回答分布の非正規性を考慮した Satorra-Bentler 調整を行ったロバスト最尤推定で計測したところ、すべての係数推定値と共分散は p 値が 0.001 未満でゼロと有意差があり、適合度指標は Satorra-Bentler  $\chi^2 = 772.62$ ,  $df = 71$ ,  $p < 0.001$ ;  $CFI = 0.901$ ;  $RMSEA = 0.099$  でモデルの当てはまりは概ね良好であった。図表 59 にモデルの分析結果を示す。

項目 (あなたは次の考えを持つ人にどの程度似ていますか)	因子			
	生物圏価値	利他的価値	利己的価値	快樂的価値
Q46s1: 環境汚染を防ぐことが重要である	0.973			
Q46s2: 環境を保護することが重要である	0.972			
Q46s3: 環境を尊重することが重要である	0.983			
Q46s4: 自然と一体であることが重要である	0.767			
Q46s5: すべての人が平等な機会を持つことが重要である		0.851		
Q46s6: 自分より困窮している人びとの世話をすることが重要である		0.693		
Q46s7: すべての人が公正に扱われることが重要である		0.859		
Q46s8: 他人の手助けをすることが重要である		0.755		
Q46s9: 他人に対して権威を持つことが重要である			0.033	
Q46s10: 影響力を持つことが重要である			0.028	
Q46s11: お金と所有物を持つことが重要である			0.031	
Q46s12: 楽しむことが重要である				0.026
Q46s13: 人生の喜びを味わうことが重要である				0.025
Q46s14: 楽しい時間を過ごすことが重要である				0.024

Satorra-Bentler  $\chi^2 = 772.62$ ,  $df = 71$ ,  $p < 0.001$ ;  $CFI = 0.901$ ;  $RMSEA = 0.099$

因子間相関			
	利他的価値	利己的価値	快樂的価値
生物圏価値	0.836	0.464	0.560
利他的価値	—	0.453	0.732
利己的価値		—	0.267

図表 59 E-PVQ 項目の確認的因子分析結果 (標準化推定値)

「生物圏価値因子」は、人間との明確なつながりを持たず、環境自体への懸念を反映する。「利他的価値因子」は、他の人間の福祉と公正な扱いへの関心を反映する。「利己的価値因子」は、選択が自身のリソースに与える費用と利益、および力や成果に焦点を当てる。「快樂的価値因子」は、喜びとポジティブな感情を達成し努力を減らすことに焦点を当てる。前二者は自己超越の次元に関わる価値観、後二者は自己強化の次元に関わる価値観に対応する因子と考えられる。

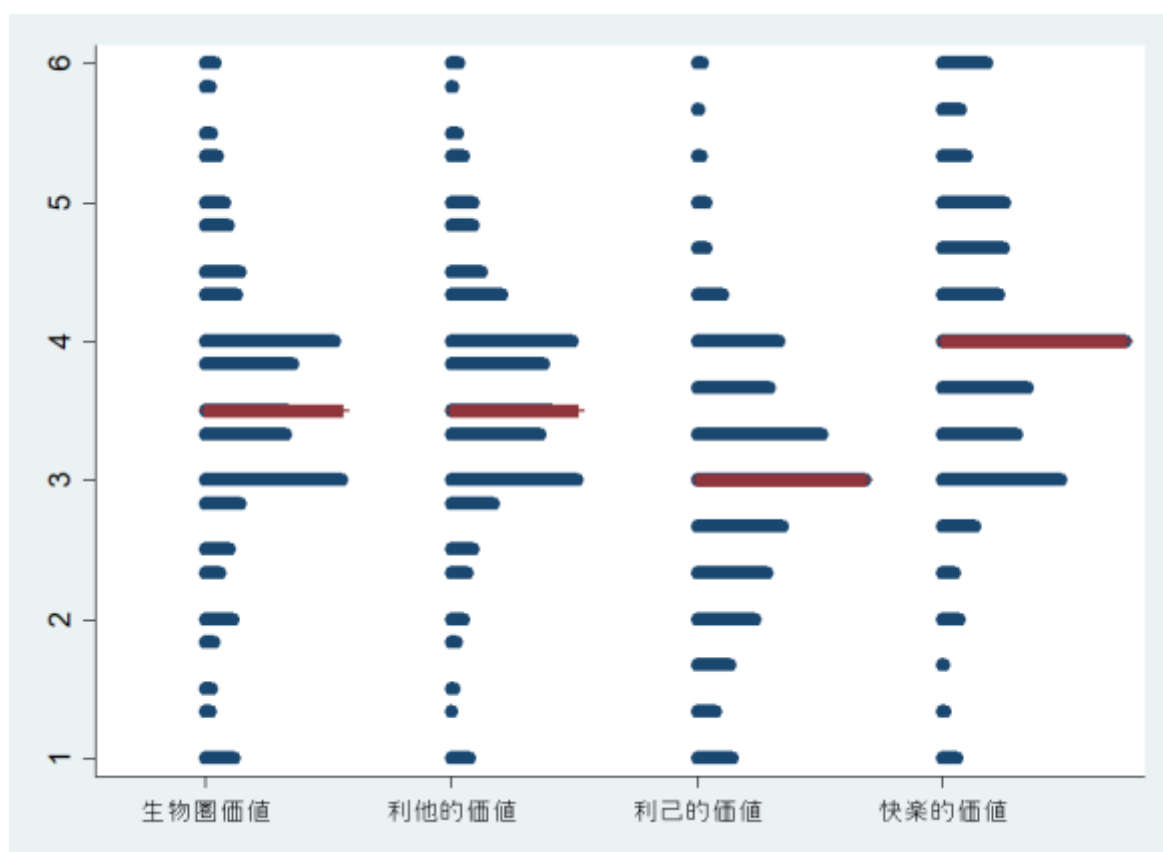
図表 59 の因子分析結果に基づいて、「生物圏価値」、「利他的価値」、「利己的価値」、「快楽的価値」の 4 つの下位尺度を構成した。そして、図表 58 に掲げたそれぞれの下位尺度の項目の得点を合計し、それを項目数で除したものを各下位尺度得点とした。内的整合性を検討するために、Cronbach の  $\alpha$  係数を算出したところ、生物圏価値で  $\alpha = 0.886$ 、利他的価値で  $\alpha = 0.811$ 、利己的価値で  $\alpha = 0.722$ 、快楽的価値で  $\alpha = 0.862$  であり、十分な値が得られた。下位尺度ごとの平均値、標準偏差、中央値、最大値、最小値、下位尺度間の相関係数を図表 60 に示す ( $n = 1,800$ )。4 つの下位尺度は互いに有意な正の相関、特に、「生物圏価値」と「利他的価値」で正の強い相関がみられた。なお、本項の統計分析は特に断らない限り、SPSS Statistics version 23 を用いて行った。

	利他的価値	利己的価値	快楽的価値	<i>M</i>	<i>SD</i>	<i>Mdn</i>	<i>Max</i>	<i>Min</i>
生物圏価値	.729**	.421**	.500**	3.46	0.98	3.5	1	6
利他的価値	—	.404**	.600**	3.53	0.86	3.5	1	6
利己的価値		—	.296**	3.01	0.89	3.0	1	6
快楽的価値			—	3.90	1.03	4.0	1	6

注) \*\*:  $p < 0.01$  ; *M* : 平均値 ; *SD* : 標準偏差 ; *Mdn* : 中央値 ; *Max* : 最大値 ;  
*Min* : 最小値

図表 60 E-PVQ 尺度の下位尺度間の相関と要約統計量

E-PVQ 尺度の各下位尺度得点のドットプロット図（度数分布表を視覚的に表したグラフ）を図表 61 に示す。Shapiro-Wilk 検定の結果、いずれの下位尺度得点も正規分布に従うという帰無仮説は棄却された（生物圏価値  $W = 0.967, p < 0.001$ ；利他的価値  $W = 0.968, p < 0.001$ ；利己的価値  $W = 0.972, p < 0.001$ ；快樂的価値  $W = 0.968, p < 0.001$ ）。そのため、下位尺度得点に関わる統計的検定はノンパラメトリック検定に頼らざるを得ない。先ず、対応サンプルによる Friedman 検定を実施したところ、これら 4 つの下位尺度得点の分布は同じであるという帰無仮説は棄却された ( $\chi^2 (3) = 889.12, p < 0.001$ )。さらに、多重比較の結果、どの下位尺度得点のペアについても分布に差があることが認められた。



注) 赤色で示した度数棒グラフの位置は、中央値を示す。

図表 61 E-PVQ 下位尺度得点のドットプロット図

次に、回答者の属性別にカテゴリ間で各下位尺度得点の中央値に差があるかメディアン検定によって検討した。年代性別に関して、いずれの下位尺度得点も中央値が年代性別のカテゴリで同じであるという帰無仮説は棄却された（生物圏価値  $\chi^2(11) = 80.18, p < 0.001$ ；利他的価値  $\chi^2(11) = 57.28, p < 0.001$ ；利己的価値  $\chi^2(11) = 40.62, p < 0.001$ ；快樂的価値  $\chi^2(11) = 40.40, p < 0.001$ ）。どの年代性別カテゴリの間に分布差があるのかを吟味するために、多重比較を実施したところ、図表 62 の結果が得られた。5%有意水準で有意差が認められたのは、生物圏価値では、20代～40代女性及び20代～60代男性の各カテゴリと70代以上女性カテゴリの各ペア、20代～40代女性及び20代～50代男性の各カテゴリと70代以上男性カテゴリの各ペア、30代及び40代男性の各カテゴリと60代女性カテゴリの各ペア、60代男性と20代女性のペア、50代及び60代女性の各カテゴリと20代女性カテゴリの各ペア、40代女性と60代女性のペアだった。総じて、20代男性を別とすれば、生物圏価値の重視度は相対的に男女とも高齢層で高く、中年・若年層で低い。

年代性別	下位尺度得点の中央値と有意差の認められた年代性別カテゴリのペア	
	生物圏価値	利他的価値
20代男性(M20)	3.50 < F70+, M70+	3.50 < F70+
30代男性(M30)	3.25 < F60, F70+, M70+	3.50 < F70+
40代男性(M40)	3.25 < F60, F70+, M70+	3.50 < F70+, M70+
50代男性(M50)	3.38 < F70+, M70+	3.50
60代男性(M60)	3.50 < F70+; > F20	3.50
70代以上男性(M70+)	4.00 > F20~F40, M20~M50	3.75 > F20~F40, M40
20代女性(F20)	3.25 < F50~F70+, M60, M70+	3.25 < F70+, M70+
30代女性(F30)	3.25 < F70+, M70+	3.50 < F70+, M70+
40代女性(F40)	3.25 < F70+, M70+	3.25 < F70+, M70+
50代女性(F50)	3.50 > F20	3.50
60代女性(F60)	3.75 > F20, F40	3.75
70代以上女性(F70+)	4.00 > F20~F40, M20~M60	4.00 > F20~F40, M20~M40
年代性別	利己的価値	快樂的価値
20代男性(M20)	3.33 > F50~F70+, M60, M70+	3.67 < F70+
30代男性(M30)	3.00	3.67
40代男性(M40)	3.00	3.67 < F70+
50代男性(M50)	3.00	3.83 < F70+
60代男性(M60)	3.00 < M20	4.00
70代以上男性(M70+)	3.00 < M20	4.00
20代女性(F20)	3.00	3.67
30代女性(F30)	3.00	3.67
40代女性(F40)	3.00	4.00
50代女性(F50)	3.00 < M20	4.00
60代女性(F60)	3.00 < M20	4.00
70代以上女性(F70+)	3.00 < M20	4.00 > M20, M40, M50

注) 各カテゴリの中央値の右側の記号は、当該カテゴリと有意水準5%で分布に差があったカテゴリを表す。

図表 62 年代性別カテゴリ別の下位尺度得点中央値と有意差が認められたペア

利他的価値は、20代～40代女性及び20代～40代男性の各カテゴリと70代以上女性カテゴリの各ペア、20代～40代女性及び40代男性の各カテゴリと70代以上男性カテゴリの各ペアで有意差が認められ、70代以上女性層の当該価値の重視度が相対的に高い。他方、利己的価値は、50代～70代以上女性及び60代・70代以上男性の各カテゴリと20代男性カテゴリの各ペアで有意差が認められ、性別年代では20代男性が利己的価値を最も重視していることがわかった。最後に、快楽的価値は、20代、40代、60代の各男性カテゴリと70代以上女性カテゴリの各ペアで有意差が認められた。中央値をみると、当該価値は高齢層の男女、そして中年女性層で重視度が相対的に高いことがうかがわれる。

学歴についても、「生物圏価値」、「利己的価値」、「快楽的価値」の各下位尺度得点について中央値が学歴の各カテゴリで同じであるという帰無仮説は棄却された（生物圏価値  $\chi^2(5) = 14.55, p < 0.012$ ；利己的価値  $\chi^2(5) = 16.96, p < 0.005$ ；快楽的価値  $\chi^2(5) = 12.99, p < 0.023$ ）。どの学歴カテゴリの間に分布差があるのかみるために、多重比較を実施したが、どの組合せにも有意差が認められなかった。これは多重比較が2つずつの学歴の組合せで15通りの検討を行う結果、通常有意確率を15倍したものが調整済み有意確率となるため、有意になりにくい検定となっていることによるものと考えられる。

同居世帯員数について、「利他的価値」、「利己的価値」、「快楽的価値」の各下位尺度得点について中央値が同居世帯員数の各カテゴリで同じであるという帰無仮説は棄却された（利他的価値  $\chi^2(5) = 11.56, p < 0.041$ ；利己的価値  $\chi^2(5) = 20.06, p < 0.001$ ；快楽的価値  $\chi^2(5) = 13.85, p < 0.017$ ）。どの同居世帯員数カテゴリの間に分布に差があるのかをみるために、多重比較を実施したところ、5%有意水準で有意差が認められたのは、利己的価値では、2人世帯 ( $Mdn = 3.80$ ) と4人世帯 ( $Mdn = 3.00$ ) のペア、快楽的価値では、単身世帯 ( $Mdn = 3.67$ ) と6人以上世帯 ( $Mdn = 4.67$ ) のペアだった。

税込み世帯年収に関し、「生物圏価値」、「利他的価値」、「利己的価値」、の各下位尺度得点について中央値が世帯年収の各カテゴリで同じであるという帰無仮説は棄却された（生物圏価値  $\chi^2(5) = 14.55, p < 0.012$ ；利己的価値  $\chi^2(5) = 16.96, p < 0.005$ ；快楽的価値  $\chi^2(5) = 12.99, p < 0.023$ ）。どの世帯年収カテゴリの間に差があるのかみるために、多重比較を実施した結果、利己的価値に関して、300万円未満層 ( $Mdn = 3.00$ ) と500～700万円未満層 ( $Mdn = 3.00$ )、700～1,000万円未満層 ( $Mdn = 3.00$ )、1,000～1,500万円未満層 ( $Mdn = 3.33$ ) の各ペア、300～500万円未満層 ( $Mdn = 3.00$ ) と500～700万円未満層、700～1,000万円未満層、1,000～1,500万円未満層、1,500万円以上層 ( $Mdn = 3.33$ ) の各ペアで、5%有意水準で分布の違いが認められた。



SGDs や温室効果ガス排出削減、アニマルウェルフェアと関係すると思われる「生物圏価値」と「利他的価値」の下位尺度得点のメディアン検定の結果、いずれも中央値が全てのSDGs 認知度カテゴリで同じであるという帰無仮説は棄却された（生物圏価値  $\chi^2(3) = 80.14, p < 0.001$ ）；利他的価値  $\chi^2(3) = 61.06, p < 0.001$ ）。畜産分野での温室効果ガス排出削減取組への関心度についても、全ての関心度カテゴリで中央値が同じであるという帰無仮説は棄却された（生物圏価値  $\chi^2(4) = 198.32, p < 0.001$ ）；利他的価値  $\chi^2(4) = 137.69, p < 0.001$ ）。温室効果ガス排出削減認証済み国産牛肉の購入意向に関しても、全てのカテゴリで中央値が同一であるという帰無仮説は棄却された（生物圏価値  $\chi^2(4) = 107.76, p < 0.001$ ）；利他的価値  $\chi^2(4) = 81.53, p < 0.001$ ）。

SGDsの認知度	下位尺度得点の中央値と有意差の認められたカテゴリのペア	
	生物圏価値	利他的価値
詳しく知っている (Q33-1)	4.00 > Q33-2~Q33-4	4.00 > Q33-3, Q33-4
ある程度知っている (Q33-2)	3.75 > Q33-3, Q33-4; < Q33-1	3.75 > Q33-3, Q33-4
SGDsという言葉は聞いたことがある (Q33-3)	3.25 < Q33-1, Q33-2	3.50 < Q33-1, Q33-2
知らない (Q33-4)	3.25 < Q33-1, Q33-2	3.25 < Q33-1, Q33-2
畜産分野での温室効果ガス排出削減取組への関心度	生物圏価値	利他的価値
非常に関心がある (Q34-1)	4.25 > Q34-2~Q34-5	4.11 > Q34-2~Q34-5
やや関心がある (Q34-2)	3.75 > Q34-3~Q34-5; < Q34-1	3.80 > Q34-3~Q34-5; < Q34-1
どちらでもない (Q34-3)	3.25 > Q34-4, Q34-5; < Q34-1, Q34-2	3.50 > Q34-4, Q34-5; < Q34-1, Q34-2
あまり関心がない (Q34-4)	3.00 < Q34-1~Q34-3	3.42 < Q34-1, Q34-2; < Q34-5
まったく関心がない (Q34-5)	3.00 < Q34-1~Q34-3	3.08 < Q34-1~Q34-4
温室効果ガス排出削減認証済み国産牛肉の購入意向	生物圏価値	利他的価値
割高でも購入したい (Q35-1)	4.00 > Q35-2~Q35-5	4.00 > Q35-3~Q35-5
ロゴマークが付いてない国産牛肉と同程度の価格なら購入したい (Q35-2)	3.75 > Q35-3~Q35-5; < Q35-1	3.75 > Q35-3~Q35-5
安ければ購入したい (Q35-3)	3.25 < Q35-1, Q35-2	3.50 > Q35-4; < Q35-1, Q35-2
購入したくない (Q35-4)	3.12 < Q35-1, Q35-2	3.25 < Q35-1~Q35-3
わからない (Q35-5)	3.00 < Q35-1, Q35-2	3.25 < Q35-1, Q35-2

注) 各カテゴリの中央値の右側の記号は、当該カテゴリと有意水準 5%で分布に差があったカテゴリを表す。

図表 63 Q33~Q35 回答カテゴリ別の「生物圏価値」「利他的価値」得点中央値と有意差が認められたペア

図表 63 に、SDGs の認知度、畜産分野での温室効果ガス排出削減取組への関心、温室効果ガス排出削減認証済み国産牛肉の購入意向それぞれのカテゴリ別中央値と、メディアン検定後の多重比較の結果、5%水準で分布に有意差が認められたカテゴリのペアを示す。

図表 63 の多重比較結果から、SDGs の認知度、畜産分野での温室効果ガス排出削減取組への関心、そして、温室効果ガス排出削減認証済み国産牛肉の購入意欲が高い回答者グループほど、総じて、「生物圏価値」と「利他的価値」の下位尺度得点の中央値が有意に大きいことが認められる。つまり、「生物圏価値」と「利他的価値」を重視する人ほど、SDGs の認知度、畜産分野での温室効果ガス排出削減取組への関心度、そして、温室効果ガス排出削減認証済み国産牛肉の購入意欲が高いと言える。

アニマルウェルフェアに関して、「生物圏価値」と「利他的価値」の下位尺度得点のいずれも、メディアン検定の結果、全ての認知度カテゴリで中央値が同じであるという帰無仮説は棄却された（生物圏価値  $\chi^2(3) = 27.47, p < 0.001$ ）；利他的価値  $\chi^2(3) = 18.09, p < 0.001$ ）。アニマルウェルフェアに配慮した家畜飼養管理の技術的指針の普及推進への関心度についても、全ての関心度カテゴリで中央値が同じであるという帰無仮説は棄却された（生物圏価値  $\chi^2(4) = 160.19, p < 0.001$ ）；利他的価値  $\chi^2(4) = 106.09, p < 0.001$ ）。また、アニマルウェルフェア配慮認証済み国産牛肉の購入意向についても、全てのカテゴリで中央値が同一であるという帰無仮説は棄却された（生物圏価値  $\chi^2(4) = 130.64, p < 0.001$ ；利他的価値  $\chi^2(4) = 81.21, p < 0.001$ ）。

図表 64 に、アニマルウェルフェアの認知度、アニマルウェルフェアに配慮した家畜飼養管理の技術的指針の普及推進への関心度、アニマルウェルフェア配慮認証済み国産牛肉の購入意向それぞれのカテゴリ別中央値と、メディアン検定後の多重比較の結果、5%水準で分布に有意差が認められたカテゴリのペアを示す。

図表 64 から、アニマルウェルフェアの認知度、アニマルウェルフェアに配慮した家畜飼養管理の技術的指針の普及推進への関心度、そして、アニマルウェルフェア配慮認証済み国産牛肉の購入意欲が高い回答者グループほど、総じて、「生物圏価値」と「利他的価値」の下位尺度得点の中央値が有意に大きいことが認められる。つまり、「生物圏価値」と「利他的価値」を重視する人ほど、アニマルウェルフェアに配慮した家畜飼養管理の技術的指針の普及推進への関心度、そして、アニマルウェルフェア配慮認証済み国産牛肉の購入意欲が高いといえる。

アニマルウェルフェアの 認知度	下位尺度得点の中央値と有意差の認められたカテゴリのペア	
	生物圏価値	利他的価値
詳しく知っている (Q37-1)	4.12 > Q37-2~Q37-4	4.00 > Q37-4
ある程度知っている (Q37-2)	3.50 < Q37-1	3.50
アニマルウェルフェアという言葉は 聞いたことがある (Q37-3)	3.75 > Q37-4; < Q37-1	3.75 > Q37-4
知らない (Q37-4)	3.00 < Q37-1, Q37-3	3.50 < Q37-1, Q37-3
アニマルウェルフェアに配慮した 家畜飼養管理の技術的指針普及 推進への関心度	生物圏価値	利他的価値
非常に関心がある (Q38-1)	4.25 > Q38-2~Q38-5	4.00 > Q38-2~Q38-5
やや関心がある (Q38-2)	3.75 > Q38-3~Q38-5; < Q38-1	3.75 > Q38-3~Q38-5; < Q38-1
どちらでもない (Q38-3)	3.50 > Q38-5; < Q38-1, Q38-2	3.50 > Q38-5; < Q38-1, Q38-2
あまり関心がない (Q38-4)	3.25 > Q38-5; < Q38-1, Q38-2	3.50 > Q38-5; < Q38-1, Q38-2
まったく関心がない (Q38-5)	3.00 < Q38-1~Q38-4	3.00 < Q38-1~Q38-4
アニマルウェルフェア配慮認証 済み国産牛肉の購入意向	生物圏価値	利他的価値
割高でも購入したい (Q39-1)	4.00 > Q39-2~Q39-4	4.00 > Q39-2~Q39-4
ロゴマークが付いてない国産牛肉と 同程度の価格なら購入したい (Q39-2)	3.75 > Q39-3~Q39-5; < Q39-1	3.75 > Q39-3~Q39-5; < Q39-1
安ければ購入したい (Q39-3)	3.25 < Q39-1, Q39-2	3.50 < Q39-1, Q39-2
購入したくない (Q39-4)	3.25 < Q39-1, Q39-2	3.25 < Q39-1, Q39-2
わからない (Q39-5)	3.25 < Q39-1, Q39-2	3.25 < Q39-1, Q39-2

注) 各カテゴリの中央値の右側の記号は、当該カテゴリと有意水準5%で分布に差があったカテゴリを表す。

図表 64 Q37~Q39 回答選択肢別の「生物圏価値」「利他的価値」得点中央値と  
有意差が認められたペア

次項では、「温室効果ガス排出削減認証マーク」や「アニマルウェルフェア配慮認証マーク」の貼付された国産牛肉が市販される仮想的状況下での、消費者の当該牛肉に対する支払意思を分析する。現在、わが国では、国の実証実験で温室効果ガス排出削減率を星の数で示したラベルで「見える化」した米、トマト、キュウリの試験販売、民間団体や地方自治体独自のアニマルウェルフェア認証制度に基づいて認証を受けた畜産物の販売事例がみられるものの、国の認定した第三者機関による認証制度は未だ導入されていない。そこで、その様な認証制度が導入されて「温室効果ガス排出削減認証マーク」や「アニマルウェルフェア配慮認証マーク」の貼付された国産牛肉が販売される仮想的状況を想定して分析するのだが、わが国畜産分野における温室効果ガス排出やアニマルウェルフェアの実態について、回答者に事前に十分な情報を提供できなかった点が悔やまれる。

12) 「温室効果ガス排出量削減認証マーク」つき国産牛肉と  
「アニマルウェルフェア配慮認証マーク」つき国産牛肉の CVM 分析  
(Q33~40、Q16)

分析モデル

本項では、生産工程で排出される温室効果ガスを削減した国産牛肉に、国が認定した第三者機関が「温室効果ガス排出削減牛肉」の認証を与え認証済みロゴマークを貼付して市場販売する、あるいは、国が策定した「アニマルウェルフェアに配慮した家畜の飼養管理の技術的指針」に基づいて飼育された肉用牛から生産された国産牛肉を国の認定した第三者機関が「アニマルウェルフェア配慮牛肉」の認証を与え認証済みロゴマークを貼付して市場販売する、という仮想的状況を設定し、その状況下で、本調査回答者が認証を受けた国産牛肉を、普段購入している国産牛肉より高い価格を支払って購入する意思があるのかどうか、また、追加支払意思があるとするれば、その追加支払意思額（marginal willingness-to-pay : MWTP）はいくら位なのか、仮想状況評価法（CVM）により分析する。

そのため、2段階の意思決定分析モデルを採用した。まず、次式の二項 Probit モデルを適用して、認証済み国産牛肉に普段購入している国産牛肉よりも割高な価格を支払う意思があるかどうかを決定する要因を検討した。

$d_i$  は  $i$  番目の回答者について観測される変数で、その値が 1 なら追加支払意思あり ( $MWTP_i > 0$ )、0 なら追加支払意思なし ( $MWTP_i = 0$ )、と定義する。 $d_i^*$  は観察できない潜在変数、 $Z_i$  は  $i$  番目の回答者の説明変数のベクトル、 $\alpha$  はパラメータベクトル、 $u_i$  はすべての回答者について独立で同一の標準正規分布に従う誤差項を表す。

$$d_i^* = \alpha_1 Z_{i1} + \alpha_2 Z_{i2} + \dots + \alpha_K Z_{iK} + u_i = \alpha' Z_i + u_i$$

$$d_i = \begin{cases} 1, & \text{if } d_i^* \geq 0 \\ 0, & \text{if } d_i^* < 0 \end{cases}$$

$d_i$  が 0、1 の値をとる確率（尤度）は、 $u_i$  の累積分布関数  $\Phi$  を用いて、それぞれ、 $\text{Prob}(d_i = 0) = 1 - \Phi(\alpha' Z_i)$ 、 $\text{Prob}(d_i = 1) = \Phi(\alpha' Z_i)$  となるので、次式の対数尤度関数を最大化するパラメータ  $\alpha$  を推定する。

$$\ln L = \sum_{i=1}^n [y_i \ln \Phi(\alpha' Z_i) + (1 - y_i) \ln(1 - \Phi(\alpha' Z_i))]$$

二項 Probit モデルの係数推定値の符号は意味があるが、大きさはそれ自体に意味がない。回答者  $i$  の  $k$  番目の説明変数  $Z_{ik}$  が  $\text{Prob}(d_i = 1)$  に与える限界確率効果は次式によって推計できる。ただし、 $\phi$  は  $u_i$  の確率密度関数を表す。

$$\frac{\partial \text{Prob}(d_i = 1)}{\partial Z_{ik}} = \phi(\alpha' Z_i) \alpha_k$$

限界確率効果は $Z_i$ の水準によって変化する、通常はその平均値を代入して計算されたものを結果として示す。

次いで、認証済み国産牛肉に対して正の MWTP を表明した回答者の MWTP 付け値の規定要因を、Interval 回帰モデルを適用して計量分析する。本調査の CVM 質問形式は支払カード方式のため、回答者の正確な MWTP 付け値は、ある一定金額の区間内 (interval) にあることはわかるが、直接観察することができない。そこで、一定の区間内に正確な MWTP が含まれていることがわかっているデータから、MWTP 付け値に影響する要因とサンプルの平均 MWTP を定量的に検討できる次式の片対数線形型 Interval 回帰モデルを採用することにした。

$$\ln MWTP_j^* = \beta_0 + \beta_1 X_1 + \beta_2 X_2 + \dots + \beta_M X_M + \varepsilon_j = \beta' X_j + \varepsilon_j$$

$MWTP_j^*$ は調査者が観察できない  $j$  番目の回答者の MWTP 付け値、 $X_j$ は説明変数のベクトル、 $\beta$ はパラメータベクトル、 $\varepsilon_j$ はすべての回答者について独立で同一の平均 0、分散 $\sigma^2$ の正規分布に従う誤差項を表す。

ベクトル  $v = (v_1, v_2, \dots, v_L)$  の各要素が、支払カードで提示された最大許容割増支払い額の昇順の並びとし、 $v_l$ を  $j$  番目の回答者が選んだ最大許容割増支払い額としよう。当該回答者が  $v_l$  を選ぶ確率  $\text{Prob}(v_l)$  は、その  $MWTP_j$  の自然対数値が区間  $[\ln(v_{l-1} + 1), \ln v_l]$  内に存在する確率に他ならないから

$$\text{Prob}(v_l) = \Phi\left(\frac{\ln v_l - \beta' X_j}{\sigma}\right) - \Phi\left(\frac{\ln(v_{l-1} + 1) - \beta' X_{j-1}}{\sigma}\right)$$

と表せる。ただし、 $\Phi$ は $\varepsilon_j$ の累積分布関数を表す。そこで、次式の対数尤度関数を最大化するパラメータ  $\beta, \sigma$  を推定する。

$$\ln L = \sum_{j=1}^m \ln \left[ \Phi\left(\frac{\ln v_l - \beta' X_j}{\sigma}\right) - \Phi\left(\frac{\ln(v_{l-1} + 1) - \beta' X_{j-1}}{\sigma}\right) \right]$$

平均 MWTP は推定パラメータと説明変数値を用いて、 $\exp(\hat{\beta}'\bar{X} + \frac{\hat{\sigma}^2}{2})$  として推計できる。ここで、パラメータ上付き“ $\hat{\cdot}$ ”記号は Interval 回帰の推定値、説明変数ベクトルの上付き“-”記号はサンプル平均値であることを表す。なお、本項の分析は全て Stata version 14.2 を用いて行った。

## ■分析対象サンプルと説明変数

「温室効果ガス排出削減認証国産牛肉」および「アニマルウェルフェア配慮認証国産牛肉」の二項 Probit 分析と対数線形 Interval 回帰分析の説明変数として、回答者が普段購入している国産牛肉（和牛を含む）の価格が必要不可欠であるため、Q16で「購入価格を覚えていない/（和牛を含む）国産牛肉は購入していない」と回答した457名と無回答者235名は分析対象から除外し、1,108名を二項 Probit 分析の対象サンプルとした。なお、Q16では購入価格帯を尋ねているので、上・下限値が明示されている価格帯選択肢については、その中間値、選択肢“99円以下”は95円、選択肢“1,500円以上”は1,550円を、普段購入している国産牛肉価格とした。

「温室効果ガス排出削減認証国産牛肉」に正の MWTP を支払うと表明した回答者のサンプルは、Q35の当該認証国産牛肉の購入意向質問で、「割高でも購入したい」あるいは「同程度の価格なら購入したい」と回答した者のうち、図表 65 の CVM 質問で、“①1円でも割高なら購入しない”以外の回答選択肢を選択した465名（42%）である。なお、“⑮その他（ ）円”を選択した回答者はいなかった。MWTP 付け値の intervals は、[1, 5]、[6, 10]、[11, 20]、[21, 30]、[31, 40]、[41, 50]、[51, 70]、[71, 100]、[101, 150]、[151, 200]、[201, 300]、[301, 400]、[401, 500]で、各上・下限値を対数変換して計測に用いた。

同様に、「アニマルウェルフェア配慮認証国産牛肉」に正の MWTP を支払うと表明した回答者のサンプルは、Q39の当該認証国産牛肉の購入意向質問で、「割高でも購入したい」あるいは「同程度の価格なら購入したい」と回答した者のうち、図表 66 の CVM 質問 Q40で、“①1円でも割高なら購入しない”以外の選択肢を選択した471名（43%）である。なお、“⑮その他（ ）円”を選択した回答者はいなかった。MWTP 付け値の intervals は、[1, 5]、[6, 10]、[11, 20]、[21, 30]、[31, 40]、[41, 50]、[51, 70]、[71, 100]、[101, 150]、[151, 200]、[201, 300]、[301, 400]、[401, 500]で、各上・下限値を対数変換して計測に用いた。

Q36 いま仮に、国が認定した第三者機関から、「温室効果ガス排出量を一定水準以下に削減する取組について審査・認証を受けた国産牛肉」が、「温室効果ガス排出削減認証マーク」を貼られて売られるとします。  
この牛肉は、通常の国産牛肉と品質は同じですが、温室効果ガス排出削減に取り組んで生産されるため、価格が高めであるとしてします。  
あなたは、普段買っている国産牛肉に比べて、100gあたり税込でどの程度の価格上昇までならこの牛肉を購入しても良いと思いますか。  
以下からお選びください。ただし、高い金額を支払った分だけ他のものに使えるお金が減ることを念頭にお答えください。  
(回答は1つ)  
① 1円でも割高なら購入しない、② 5円、③ 10円、④ 20円、⑤ 30円、  
⑥ 40円、⑦ 50円、⑧ 70円、⑨ 100円、⑩ 150円、⑪ 200円、⑫ 300円、  
⑬ 400円、⑭ 500円、⑮ その他（ ）円

図表 65 温室効果ガス排出削減認証済み国産牛肉に関する CVM 質問

<p>Q40 いま仮に、国が認定した第三者機関から、「アニマルウェルフェアの水 準を国際水準とすべく国が定めた肉用牛の飼養管理指針の実施について審査・ 認証を受けた国産牛肉」が、「アニマルウェルフェア配慮認証マーク」を貼ら れて売られるとします。</p> <p>この牛肉は、通常の国産牛肉と品質は同じですが、アニマルウェルフェアに 配慮して生産されるため、価格が高めであるとします。</p> <p>あなたは、普段買っている国産牛肉に比べて、100gあたり税込でどの程度の 価格上昇までならこの牛肉を購入しても良いと思いますか。</p> <p>以下からお選びください。ただし、高い金額を支払った分だけ他のものに使 えるお金が減ることを念頭にお答えください。</p> <p>(回答は1つ)</p> <p>① 1円でも割高なら購入しない、② 5円、③ 10円、④ 20円、⑤ 30円、 ⑥ 40円、⑦ 50円、⑧ 70円、⑨ 100円、⑩ 150円、⑪ 200円、⑫ 300円、 ⑬ 400円、⑭ 500円、⑮ その他 ( ) 円</p>
--

図表 66 アニマルウェルフェアに配慮した飼養管理認証済み国産牛肉に関する CVM 質問

図表 67 は「温室効果ガス排出削減認証国産牛肉」と「アニマルウェルフェア  
配慮認証国産牛肉」の二項 Probit 分析と片対数線形 Interval 回帰分析に採用し  
た説明変数の一覧である。税込み世帯年収カテゴリ変数と同居世帯員数は総じて  
有意な影響を示さなかったため、説明変数から削除したが、別途行った回帰分析  
の結果、他の条件を不変として 40 代男性で税込み年収 300～500 万円未満の 2  
人世帯と比べ、普段購入している国産牛肉単価が、税込み年収 300 万円未満の単  
身者世帯、300～500 万円未満の 4 人世帯は、それぞれ、28～30%、30～58%安  
く、他方、税込み年収 1,500 万円以上の 2 人世帯は 70～80%高いことが確認さ  
れていることから、普段購入している国産牛肉価格変数を介して、間接的に影響  
を及ぼしていると考えられる。また、世帯年収の回答拒否者が比較的多く、世帯  
年収カテゴリ変数を説明変数に採用すると、分析に用いるサンプル数が 40～50  
人ほど減り、十分なサンプル数を確保できない事情もあった。

変数名	変数の定義	各分析に用いたサンプルの平均値		
		Probit分析 ( $n_1 = 1,108$ )	Interval 回帰分析	
			MWTP <sub>GHG</sub> ( $n_2 = 465$ )	MWTP <sub>AW</sub> ( $n_3 = 471$ )
京阪神圏	京阪神圏居住者=1, 首都圏居住者=0	0.536	0.503	0.514
子供	小学生以下の子供がいる=1, いない=0	0.163	0.142	0.149
国産牛肉の購入価格	普段の国産牛肉購入単価 (税込円/100g)	431	490	479
20代女性	20代の女性=1, 他の性別年代=0	0.079	0.077	0.072
20代男性	20代の男性=1, 他の性別年代=0	0.075	0.084	0.076
30代女性	30代の女性=1, 他の性別年代=0	0.091	0.073	0.081
40代女性	40代の女性=1, 他の性別年代=0	0.070	0.052	0.053
40代男性	40代の男性=1, 他の性別年代=0	0.085	0.060	0.068
50代女性	50代の女性=1, 他の性別年代=0	0.089	0.103	0.093
50代男性	50代の男性=1, 他の性別年代=0	0.078	0.054	0.051
60代女性	60代の女性=1, 他の性別年代=0	0.084	0.101	0.108
60代男性	60代の男性=1, 他の性別年代=0	0.097	0.090	0.100
70代以上女性	70代以上の女性=1, 他の性別年代=0	0.090	0.133	0.140
70代以上男性	70代以上の男性=1, 他の性別年代=0	0.098	0.129	0.110
中卒	学歴が中学校まで=1, それ以外=0	0.024	0.015	0.019
専門学校卒	学歴が専門学校まで=1, それ以外=0	0.086	0.058	0.064
短大・高専卒	学歴が短大・高専まで=1, それ以外=0	0.111	0.123	0.140
大卒・大学生	学歴が大学卒業か在学中=1, それ以外=0	0.486	0.540	0.516
大学院修了・大学院生	学歴が大学院修了か在学习中=1, それ以外=0	0.042	0.052	0.042
SGDs認知度	知らない=1, 言葉は聞いたことがある=2, ある程度知っている=3, 詳しく知っている=4	2.486	2.834	—
わが国畜産分野の温室効果ガス (GHG) 排出削減の取組への関心度	全く関心がない=1, あまり関心がない=2, どちらでもない=3, やや関心がある=4, 非常に関心がある=5	3.313	3.938	—
アニマルウェルフェア (AW) の認知度	知らない=1, 言葉は聞いたことがある=2, ある程度知っている=3, 詳しく知っている=4	1.569	—	1.849
AWに配慮した家畜飼養管理の技術指針普及推進への関心度	全く関心がない=1, あまり関心がない=2, どちらでもない=3, やや関心がある=4, 非常に関心がある=5	3.072	—	3.800
生物圏価値	「生物圏価値」尺度得点 (1~6の値をとる)	3.572	3.927	3.912
利他的価値	「利他的価値」尺度得点 (1~6の値をとる)	3.611	3.837	3.835
利己的価値	「利己的価値」尺度得点 (1~6の値をとる)	3.058	3.120	3.063
快楽的価値	「快楽的価値」尺度得点 (1~6の値をとる)	3.952	4.162	4.168

注)  $n$  はサンプル数。MWTP<sub>GHG</sub> は温室効果ガス排出削減認証を受けた国産牛肉に対する MWTP 分析サンプル、MWTP<sub>AW</sub> はアニマルウェルフェア配慮認証を受けた国産牛肉に対する MWTP 分析サンプルを表す。

図表 67 CVM 分析に用いた説明変数一覧



## ■「温室効果ガス排出削減認証マーク」つき国産牛肉の CVM 分析結果

温室効果ガス（GHG）排出削減認証済み国産牛肉に対する追加支払意思に関する二項 Probit モデル計測結果と限界確率効果の推計値を図表 68 に示す。モデルの当てはまりは、 $\chi^2$  値が 0.1% 水準で有意、Pseudo  $R^2$  が高い適合度をもつと判断してよいとされる 0.2~0.4 の範囲内、そして、全観測値に占める正しいモデル予測値（追加支払意思の予測確率が 0.5 以上）の数の割合を示す的中率が 75% で良好である。5%あるいは1%水準で有意な係数は、20代女性、50代女性、60代女性、70代以上女性、70代男性の各年代性別ダミー変数、国産牛肉の購入価格、SDGs の認知度、わが国畜産分野の GHG 排出削減の取組への関心度、そして生物圏価値の係数で、いずれも符号が正であり、回答者の GHG 排出削減認証済み国産牛肉に追加支払意思確率を高めることが認められた。限界確率効果の推定値から、その影響度をみると、20代女性、50代女性、60代女性、70代以上女性、70代男性は、他の年代性別に比べて GHG 排出削減認証済み国産牛肉に対する追加支払意思確率が、それぞれ、0.21、0.23、0.20、0.31、0.19 高まる。連続変数の限界確率効果は当該変数値の微小変化による追加支払意思確率の変化を表すので、図表⑩に示された情報のみで影響度を推測するのは難しい。そこで、他の説明変数をサンプル平均値に固定して GHG 排出削減認証済み国産牛肉に対する追加支払意思確率が 0.5 以上になる説明変数の水準を試算すると、国産牛肉の購入価格は 975 円以上、SDGs 認知度は“詳しく知っている”、わが国畜産分野の GHG 排出削減の取組への関心度は“やや関心がある”以上、生物圏価値は 5.25 以上となった。この結果は、和牛以外の相対的に安価な国産牛肉を普段している経済的余裕のない消費者に、GHG 排出削減認証済み国産牛肉を割高な価格で購入してもらうには、生物圏価値をより重視するような価値観への転換、SDGs の理解醸成と普及促進、わが国畜産分野における GHG 排出削減の取組について一層の情報提供が必要であることを示唆している。

図表 69 に GHG 排出削減認証済み国産牛肉に対する MWTP の Interval 回帰計測結果を示す。モデルの $\chi^2$ 値は 0.1%水準で有意だが、Pseudo  $R^2$  が 0.052 とかなり低く、当てはまりは良くない。この点に留意した上で計測結果をみると、1%水準で有意な係数は、国産牛肉の購入価格と利他的価値の係数である。環境自体への懸念を反映する生物圏価値が GHG 排出削減認証済み国産牛肉に対する追加支払意思確率に正の有意な影響を及ぼすのに対し、他の人間の福祉と公正な扱いへの関心を反映する利他的価値が当該認証国産牛肉に対する MWTP に正の有意な影響を及ぼすのは興味深い。また、平均 MWTP は 58 円/100g（サンプル平均購入価格の 12%）と推計された。

説明変数	計測結果		限界確率効果	
	係数推定値	$\rho$ -値	推定値	$\rho$ -値
京阪神圏	-0.086	0.333	-0.033	0.333
子供	-0.106	0.412	-0.041	0.412
<b>国産牛肉の購入価格</b>	<b>0.00057</b>	<b>0.000</b>	<b>0.00022</b>	<b>0.000</b>
<b>20代女性</b>	<b>0.539</b>	<b>0.021</b>	<b>0.206</b>	<b>0.021</b>
20代男性	0.383	0.105	0.146	0.105
30代女性	0.214	0.355	0.082	0.355
40代女性	0.178	0.474	0.068	0.474
40代男性	0.085	0.726	0.032	0.726
<b>50代女性</b>	<b>0.590</b>	<b>0.012</b>	<b>0.225</b>	<b>0.012</b>
50代男性	0.077	0.755	0.029	0.755
<b>60代女性</b>	<b>0.524</b>	<b>0.032</b>	<b>0.200</b>	<b>0.032</b>
60代男性	0.148	0.532	0.056	0.531
<b>70代以上女性</b>	<b>0.810</b>	<b>0.001</b>	<b>0.309</b>	<b>0.001</b>
<b>70代以上男性</b>	<b>0.500</b>	<b>0.037</b>	<b>0.191</b>	<b>0.037</b>
中卒	0.120	0.737	0.046	0.737
専門学校卒	-0.184	0.311	-0.070	0.311
短大・高専卒	0.031	0.845	0.012	0.845
大卒・大学生	0.181	0.119	0.069	0.119
大学院修了・ 大学院生	0.281	0.260	0.107	0.260
<b>SGDs認知度</b>	<b>0.295</b>	<b>0.000</b>	<b>0.113</b>	<b>0.000</b>
<b>わが国畜産分野の GHG排出削減の取組 への関心度</b>	<b>0.500</b>	<b>0.000</b>	<b>0.191</b>	<b>0.000</b>
<b>生物圏価値</b>	<b>0.202</b>	<b>0.009</b>	<b>0.077</b>	<b>0.009</b>
利他的価値	-0.073	0.374	-0.028	0.374
利己的価値	-0.052	0.337	-0.020	0.337
快樂的価値	0.046	0.466	0.018	0.466
<b>(定数項)</b>	<b>-3.794</b>	<b>0.000</b>		
サンプル数	1108			
最大対数尤度	-560.34			
Wald $\chi^2$ ( $df = 25$ )	289.85	( $p < 0.001$ )		
Pseudo $R^2$	0.257			
的中率	75%			

図表 68 温室効果ガス排出削減認証済み国産牛肉に対する追加支払意思に関する二項 Probit モデル計測結果

説明変数	計測結果	
	係数推定値	$p$ -値
京阪神圏	0.108	0.286
子供	-0.195	0.243
<b>国産牛肉の購入価格</b>	<b>0.0016</b>	<b>0.000</b>
20代女性	0.061	0.844
20代男性	0.046	0.877
30代女性	0.386	0.238
40代女性	0.099	0.778
40代男性	0.385	0.218
50代女性	0.450	0.166
50代男性	0.220	0.525
60代女性	0.158	0.596
60代男性	0.157	0.612
70代以上女性	0.459	0.129
70代以上男性	-0.045	0.882
中卒	-0.081	0.866
専門学校卒	-0.331	0.137
短大・高専卒	-0.186	0.300
大卒・大学生	-0.158	0.262
大学院修了・ 大学院生	-0.347	0.184
SGDs認知度	0.136	0.106
わが国畜産分野の GHG排出削減の取組へ の関心度	0.073	0.291
生物圏価値	0.048	0.565
<b>利他的価値</b>	<b>0.225</b>	<b>0.010</b>
利己的価値	0.006	0.917
快楽的価値	-0.067	0.333
<b>(定数項)</b>	<b>0.976</b>	<b>0.022</b>
サンプル数	465	
最大対数尤度	-1127.65	
Wald $\chi^2$ ( $df = 25$ )	171.16 ( $p < 0.001$ )	
Pseudo $R^2$	0.052	
平均 MWTP	58 [54, 62]	

注) []内は平均 MWTP の 95%信頼区間を示す。

図表 69 温室効果ガス排出削減認証済み国産牛肉に対する追加支払意思額の  
Interval 回帰計測結果

## ■「アニマルウェルフェア配慮認証マーク」つき国産牛肉の CVM 分析結果

アニマルウェルフェア（AW）配慮認証済み国産牛肉に対する追加支払意思に関する二項 Probit モデル計測結果と限界確率効果の推計値を図表 70 に示す。モデルの当てはまりは、 $\chi^2$ 値が 0.1%水準で有意、Pseudo  $R^2$ が 0.302、そして、的中率が 78%で良好である。5%あるいは 1%水準で有意な係数は、70 代以上女性ダミー変数、国産牛肉の購入価格、AW に配慮した家畜飼養管理の技術指針普及推進への関心度、生物圏価値、そして利己的価値の各係数で、利己的価値以外の係数はいずれも符号が正であり、回答者が AW 配慮認証済み国産牛肉に追加支払意思をもつ確率を高め、利己的価値を重視する回答者ほど当該認証済み国産牛肉への追加的支払意思確率が小さくなることがわかった。限界確率効果の推定値から、その影響度をみると、70 代以上女性は他の年代性別に比べ AW 配慮認証済み国産牛肉に対する追加支払意思確率が 0.64 高い。他の説明変数をサンプル平均値に固定して AW 配慮認証済み国産牛肉に対する追加支払意思確率が 0.5 以上になる有意な説明変数の水準を試算すると、国産牛肉の購入価格は 1,050 円以上、SDGs 認知度は“詳しく知っている”、AW に配慮した家畜飼養管理の技術指針普及推進への関心度は“やや関心がある”以上、生物圏価値は 5.25 以上、利己的価値は 1 となった。この結果は、和牛以外の相対的に安価な国産牛肉を普段購入している経済的余裕のない消費者に、AW 配慮出認証済み国産牛肉を割高な価格で購入してもらうには、GHG 削減認証済み国産牛肉と同じく、生物圏価値をより重視するような価値観への転換、国による AW に配慮した家畜飼養管理の技術指針の早急な策定と普及推進と国民への情報提供が必要であることを示唆している。

図表 71 に AW 配慮認証済み国産牛肉に対する MWTP の Interval 回帰計測結果を示す。モデルの $\chi^2$ 値は 0.1%水準で有意だが、Pseudo  $R^2$ が 0.057 とかなり低く、当てはまりは良くない。この点に留意した上で計測結果をみると、1%水準で有意な係数は、大卒・大学生ダミー変数、国産牛肉の購入価格、そして AW に配慮した家畜飼養管理の技術指針普及推進への関心度の係数である。AW 配慮認証済み国産牛肉の平均 MWTP は計測結果に基づき、56 円（サンプル平均購入価格の 12%）と推計された。普段の購入価格がサンプル平均値より 100g 当たり 200 円安いと、他の条件を不変として、MWTP は 14 円に減少、逆に 400 円、600 円高いと、それぞれ、47 円、86 円に増加する。AW に配慮した家畜飼養管理の技術指針普及推進への関心度に“全く関心がない”、“余り関心がない”と、他の条件を不変として、MWTP は 23 円、14 円に減少、逆に“非常に関心がある”と 15 円に増加する。他方、大卒・大学生の回答者の MWTP は、平均 MWTP より 15 円低い、その理由は不明である。

説明変数	計測結果		限界確率効果	
	係数推定値	$\rho$ -値	推定値	$\rho$ -値
京阪神圏	-0.092	0.307	-0.035	0.307
子供	-0.017	0.902	-0.006	0.902
<b>国産牛肉の購入価格</b>	<b>0.00043</b>	<b>0.013</b>	<b>0.00016</b>	<b>0.013</b>
20代女性	0.183	0.439	0.070	0.439
20代男性	-0.048	0.844	-0.018	0.844
30代女性	0.025	0.917	0.009	0.917
40代女性	-0.104	0.679	-0.040	0.679
40代男性	0.110	0.647	0.042	0.647
50代女性	0.130	0.595	0.050	0.595
50代男性	-0.157	0.530	-0.060	0.530
60代女性	0.481	0.058	0.184	0.058
60代男性	0.291	0.233	0.111	0.233
<b>70代以上女性</b>	<b>0.636</b>	<b>0.010</b>	<b>0.244</b>	<b>0.010</b>
70代以上男性	0.240	0.325	0.092	0.325
中卒	-0.031	0.928	-0.012	0.928
専門学校卒	-0.070	0.711	-0.027	0.711
短大・高専卒	0.284	0.084	0.109	0.085
大卒・大学生	0.097	0.406	0.037	0.406
大学院修了・ 大学院生	0.011	0.969	0.004	0.969
アニマルウェルフェア (AW)の認知度	0.118	0.069	0.045	0.070
<b>AWに配慮した家畜飼養 管理の技術指針普及 推進への関心度</b>	<b>0.690</b>	<b>0.000</b>	<b>0.264</b>	<b>0.000</b>
<b>生物圏価値</b>	<b>0.211</b>	<b>0.011</b>	<b>0.081</b>	<b>0.011</b>
利他的価値	-0.041	0.637	-0.016	0.637
<b>利己的価値</b>	<b>-0.143</b>	<b>0.016</b>	<b>-0.055</b>	<b>0.016</b>
快樂的価値	0.062	0.382	0.024	0.383
(定数項)	-3.375	0.000		
サンプル数	1108			
最大対数尤度	-527.71			
Wald $\chi^2$ ( $df = 25$ )	288.75 ( $p < 0.001$ )			
Pseudo $R^2$	0.302			
的中率	78%			

図表 70 アニマルウェルフェアに配慮した飼養管理認証済み国産牛肉に対する追加支払意思に関する二項 Probit モデル計測結果

説明変数	計測結果	
	係数推定値	$p$ -値
京阪神圏	0.154	0.112
子供	0.049	0.761
<b>国産牛肉の購入価格</b>	<b>0.0018</b>	<b>0.000</b>
20代女性	0.236	0.445
20代男性	0.190	0.518
30代女性	0.197	0.529
40代女性	-0.123	0.693
40代男性	0.291	0.324
50代女性	0.450	0.113
50代男性	0.390	0.260
60代女性	0.070	0.807
60代男性	0.005	0.985
70代以上女性	0.153	0.586
70代以上男性	-0.388	0.207
中卒	0.097	0.704
専門学校卒	-0.086	0.731
短大・高専卒	-0.165	0.314
<b>大卒・大学生</b>	<b>-0.318</b>	<b>0.009</b>
大学院修了・大学院生	-0.422	0.091
アニマルウェルフェア (AW)の認知度	0.019	0.775
<b>AWに配慮した家畜飼養 管理の技術指針普及 推進への関心度</b>	<b>0.252</b>	<b>0.000</b>
生物圏価値	0.068	0.421
利他的価値	0.042	0.644
利己的価値	-0.039	0.508
快樂的価値	0.025	0.718
(定数項)	1.086	0.010
サンプル数	471	
最大対数尤度	-1125.43	
Wald $\chi^2$ ( $df = 25$ )	176.56 ( $p < 0.001$ )	
Pseudo $R^2$	0.057	
平均 MWTP	56 [52, 60]	

注) []内は平均 MWTP の 95%信頼区間を示す。

図表 71 アニマルウェルフェアに配慮した飼養管理認証済み国産牛肉に対する追加支払意思額の Interval 回帰計測結果

### 2.3 「新型コロナウイルス感染症」の流行に伴う食肉に関わる食生活・購買行動の変化 及び 最近の円安・資源価格の高騰等に伴う物価上昇による食肉消費への影響に関する変化の考察

- ・ 「新型コロナウイルス感染症」やそれに伴うことならについての不安を「不安を感じる計」で見ると、「家族の感染」62.7%、「自分の感染」61.0%、「医療提供体制の逼迫」56.0%、「友人・知人・同僚など身近な人の感染」50.0%、「外食・外出・旅行・娯楽など行動」49.7%、「収入の減少や雇用の不安」48.1%、「友人・知人・同僚などとのコミュニケーション不足・人間関係」42.8%の順。
- ・ 「新型コロナウイルス感染症」の流行による昨年の今頃と比べた食生活の変化は、「外食の機会が減った」が33.3%で最も多く、「自宅で食事する機会が増えた」28.2%、「食肉の購入回数を減らして、まとめて購入するようになった」19.9%、「簡単・時短の肉料理を作るようになった」9.7%、「家族そろって食事する機会が増えた」9.3%、「持ち帰り・テイクアウトの利用が増えた」8.3%の順。「特にない」が38.3%と食生活や購買行動に変化がない人が4割弱いる。
- ・ 円安や資源価格高騰等による物価上昇の影響による不安は、「不安を感じる」が34.1%で最も多く、「どちらかといえば不安を感じる」が32.4%、「不安を感じる計」は全体の66.5%。一方、「どちらかといえば不安を感じない」が4.6%、「不安を感じない」が5.8%で「不安を感じない計」は全体の10.4%。「どちらともいえない」は23.1%。
- ・ 円安や資源価格高騰等による物価上昇の影響による昨年の今頃と比べ、実際に家庭に影響があったかは、「影響があった」が18.2%、「どちらかといえば影響があった」が30.9%、「影響があった計」は全体の49.1%。一方、「どちらかといえば影響がなかった」が8.4%、「影響がなかった」が7.3%で「影響がなかった計」は全体の15.7%。「どちらともいえない」は35.2%で最も多い。
- ・ 7つの事項について、円安や資源価格高騰等による物価上昇により、昨年の今頃と比べ影響があった食品を聞いたところ、食肉（牛肉・豚肉・鶏肉）については、「国産の食品を選んで買うようになった」が10%以上と多く、「輸入・外国産の食品をあまり買わないようになった」が5%以上と多くなっている。「まとめ買いするようになった」「より価格の安い店を選んで買うようになった」についても、変化があった上位の食品としてあげられている。
- ・ 今回の調査時点では、「物価上昇」について不安を感じてはいるが日々の食品購入にまで、実際に影響があるまでには至っていない人の方が多いようだ。

2.3では、「新型コロナウイルス感染症」の流行に伴う食肉に関わる食生活・購買行動の変化 及び 最近の円安・資源価格の高騰等に伴う物価上昇による食肉消費への影響に関する変化を把握することを目的とした。

## 「新型コロナウイルス感染症」の流行に伴う食肉に関わる食生活・購買行動の変化

### 1) 「新型コロナウイルス感染症」についての不安 (Q41) : エリア・性・年代別分析

「新型コロナウイルス感染症」やそれに伴うことがらについての不安を「不安を感じる計」で見ると、「家族の感染」62.7%、「自分の感染」61.0%が6割強で多く、次いで、「医療提供体制の逼迫」56.0%、「友人・知人・同僚など身近な人の感染」50.0%、「外食・外出・旅行・娯楽など行動」49.7%、「収入の減少や雇用の不安」48.1%、「友人・知人・同僚などとのコミュニケーション不足・人間関係」42.8%の順である。

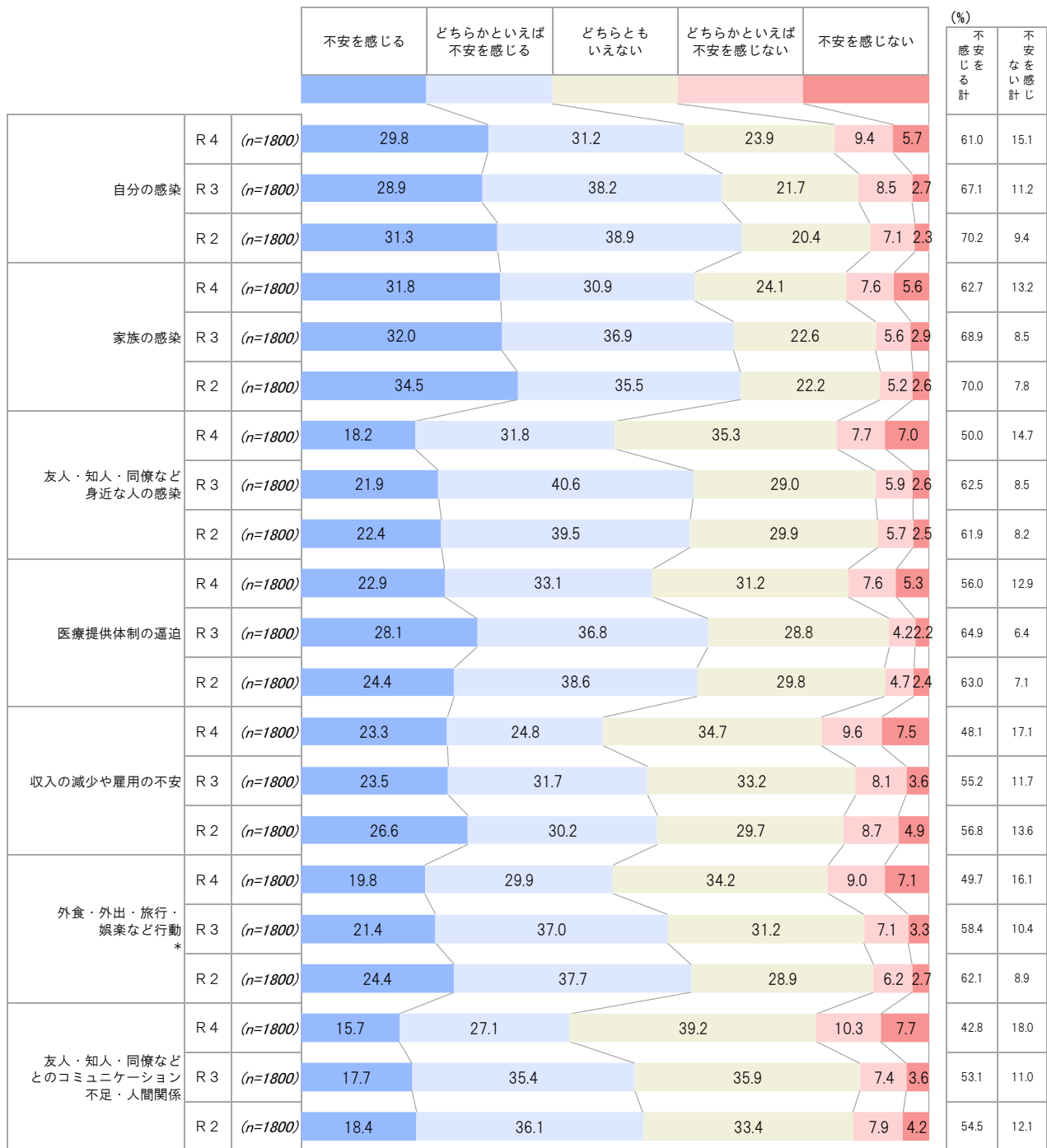
エリア別に「不安を感じる計」を見ると、大きな違いは見られない。

男女別に「不安を感じる計」を見ると、いずれのことながらも、男性より女性の方が不安度が高い。

年代別に「不安を感じる計」を見ると、60代以上は「収入の減少や雇用の不安」は不安度が低いが、それ以外のことは不安度が高くなっている。

過年度調査で見ると、いずれも昨年度より不安度が減少している。

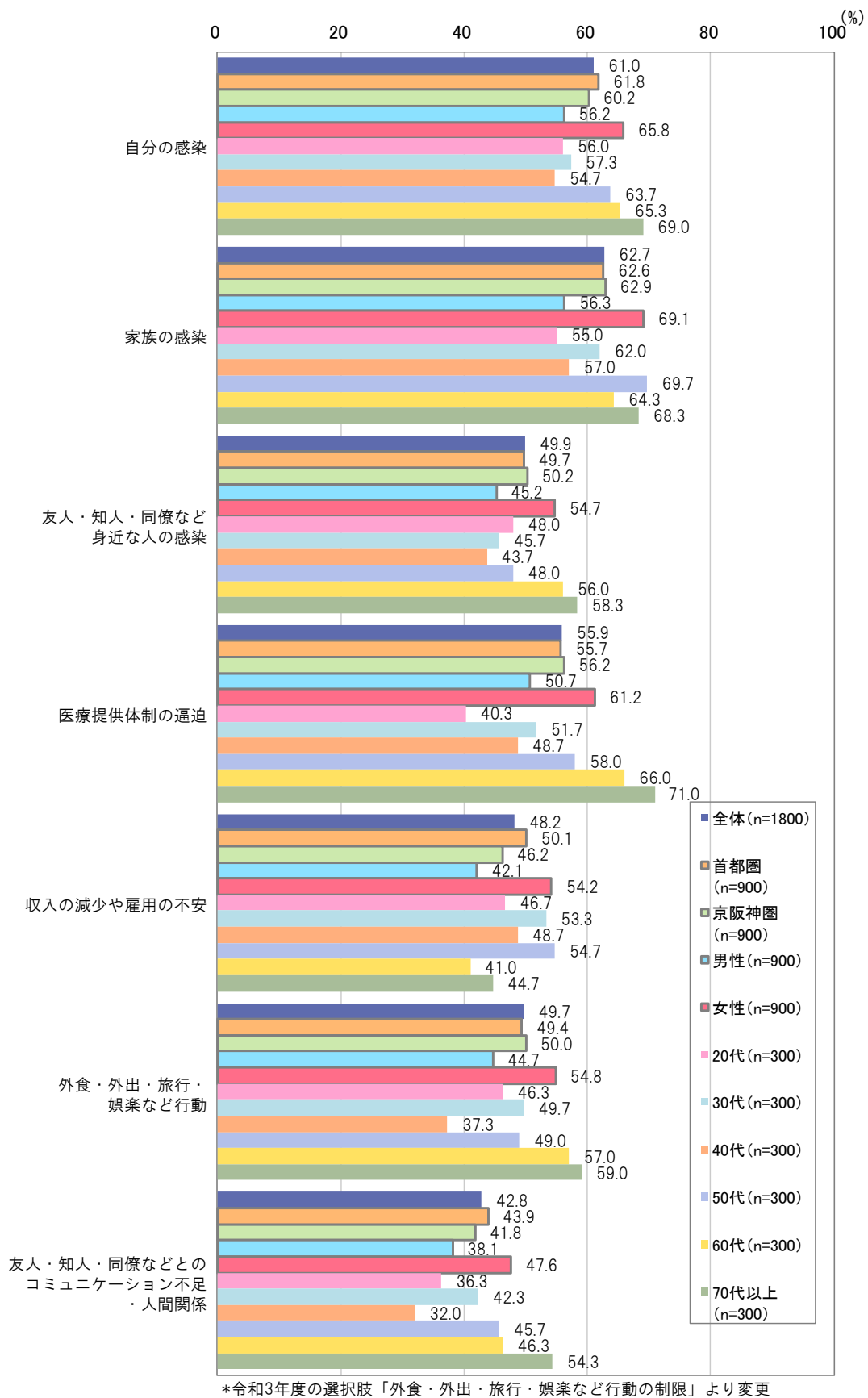




\* 令和3年度の選択肢「外食・外出・旅行・娯楽など行動の制限」より変更

「不安を感じる計」⇒「不安を感じる」+「どちらかといえば不安を感じる」  
「不安を感じない計」⇒「どちらかといえば不安を感じない」+「不安を感じない」

図表 72 「新型コロナウイルス感染症」についての不安



図表 73 エリア・性・年代別 「新型コロナウイルス感染症」 についての不安

## 2) 「新型コロナウイルス感染症」の流行に伴う食肉（牛肉、豚肉、鶏肉）に関わる食生活・購買行動の変化（Q42）：エリア・性・年代別分析

「新型コロナウイルス感染症」の流行による昨年の今頃と比べた食肉（牛肉、豚肉、鶏肉）の購入や調理、中食や外食などの食生活の変化（Q42）を聞いたところ、「外食の機会が減った」が33.3%で最も多く、次いで「自宅で食事する機会が増えた」28.2%、「食肉の購入回数を減らして、まとめて購入するようになった」19.9%、「簡単・時短の肉料理を作るようになった」9.7%、「家族そろって食事する機会が増えた」9.3%、「持ち帰り・テイクアウトの利用が増えた」8.3%の順が多い。「特にない」が38.3%と食生活や購買行動に変化がない人が4割弱いる。

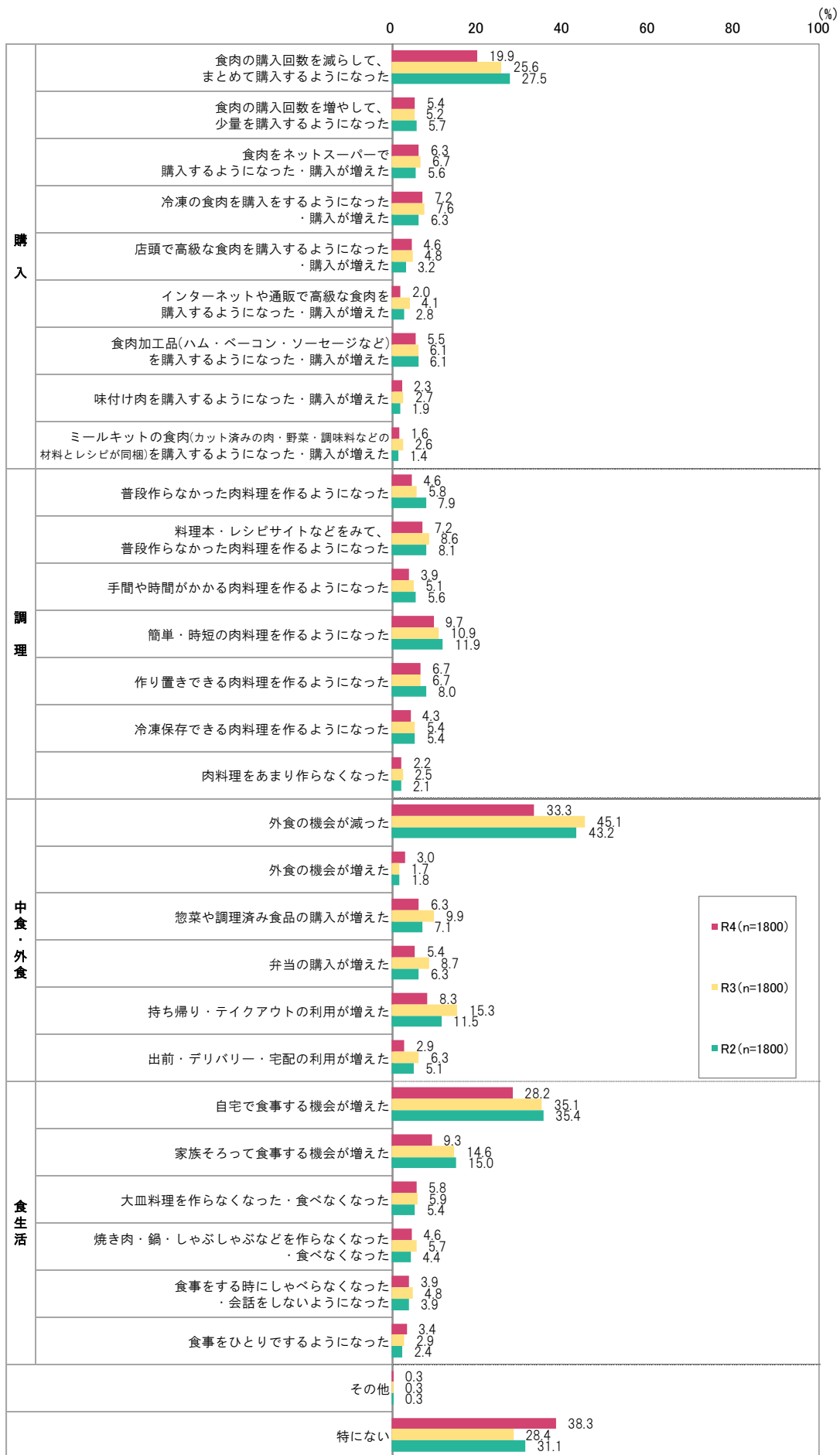
エリア別に見ると、「新型コロナウイルス感染症」の流行による食生活・購買行動の変化に大きな違いは見られない。

男女別に見ると、「新型コロナウイルス感染症」の流行による食生活・購買行動の変化は、総じて男性より女性の方が多い。一方、「特にない」は、昨年同様、男性が43.8%、女性が32.9%と女性より男性の方が多い。

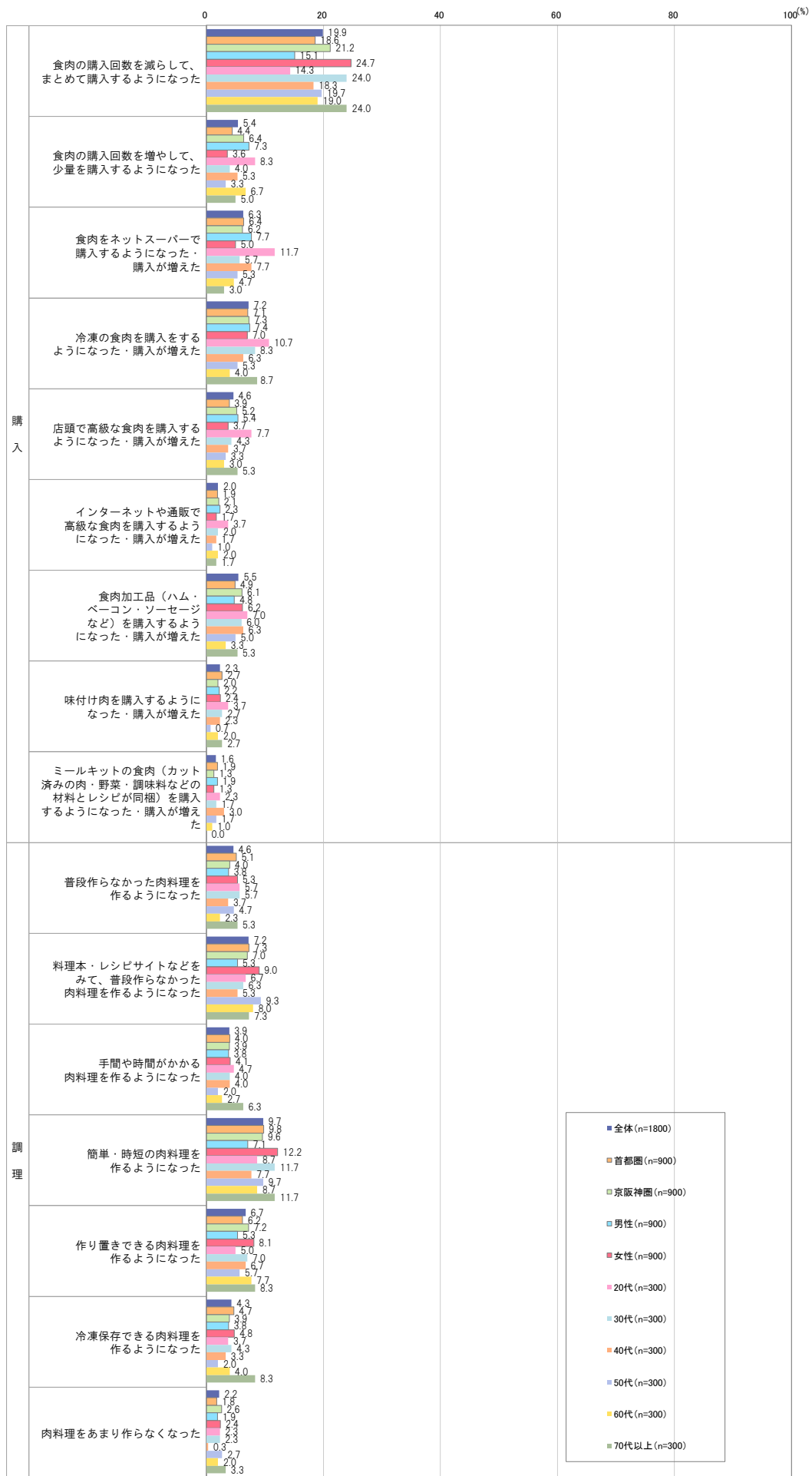
年代別に見ると、「外食の機会が減った」「自宅で食事する機会が増えた」「家族そろって食事する機会が増えた」などは70代以上で多く、20代～40代の若い世代では少ない。

「新型コロナウイルス感染症」への不安度別（図表58）に見ると、「全てのことがらに不安を感じる層」は、食肉や購買行動の変化が多岐に渡っている。一方、「いずれも不安を感じない層」は、「特にない」が70.3%と、食生活や購買行動に変化がない人が非常に多い。

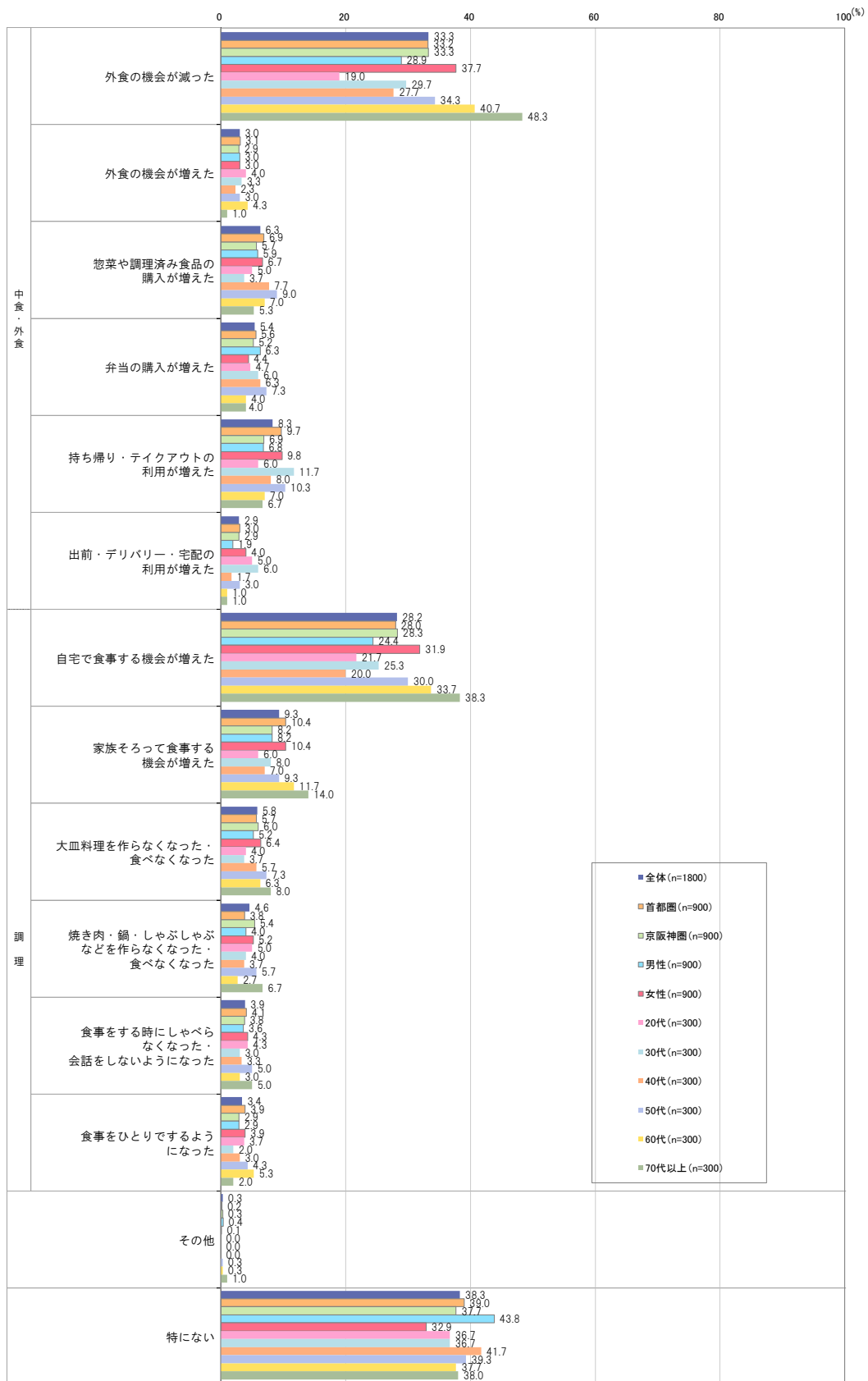
過年度調査で見ると、行動の変化は減少傾向にあり、食生活や購買行動に変化が「特にない」が昨年度の28.4%から、今年度は38.3%と9.9ポイント増加している。



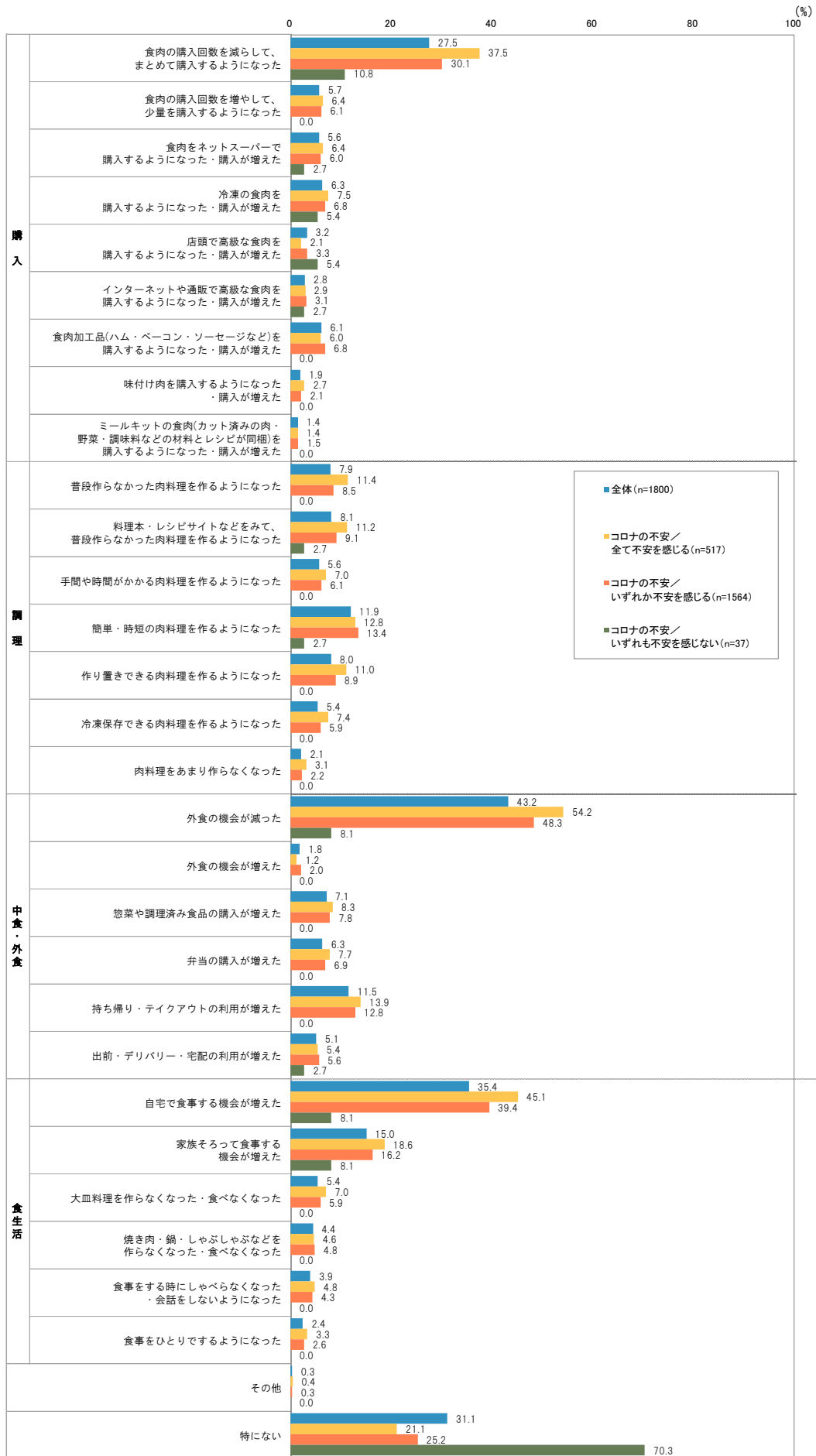
図表 74 「新型コロナウイルス感染症」の流行に伴う食肉（牛肉、豚肉、鶏肉）に関わる食生活・購買行動の変化



図表 75 (その1) エリア・性・年代別「新型コロナウイルス感染症」の流行に伴う食肉（牛肉、豚肉、鶏肉）に関わる食生活・購買行動の変化



図表 75 (その2) エリア・性・年代別「新型コロナウイルス感染症」の流行に伴う食肉(牛肉、豚肉、鶏肉)に関わる食生活・購買行動の変化



図表 76 「新型コロナウイルス感染症」の不安度別 「新型コロナウイルス感染症」の流行に伴う食肉（牛肉、豚肉、鶏肉）に関わる食生活・購買行動の変化

## 最近の円安・資源価格の高騰等に伴う物価上昇による食肉消費への影響に関する変化

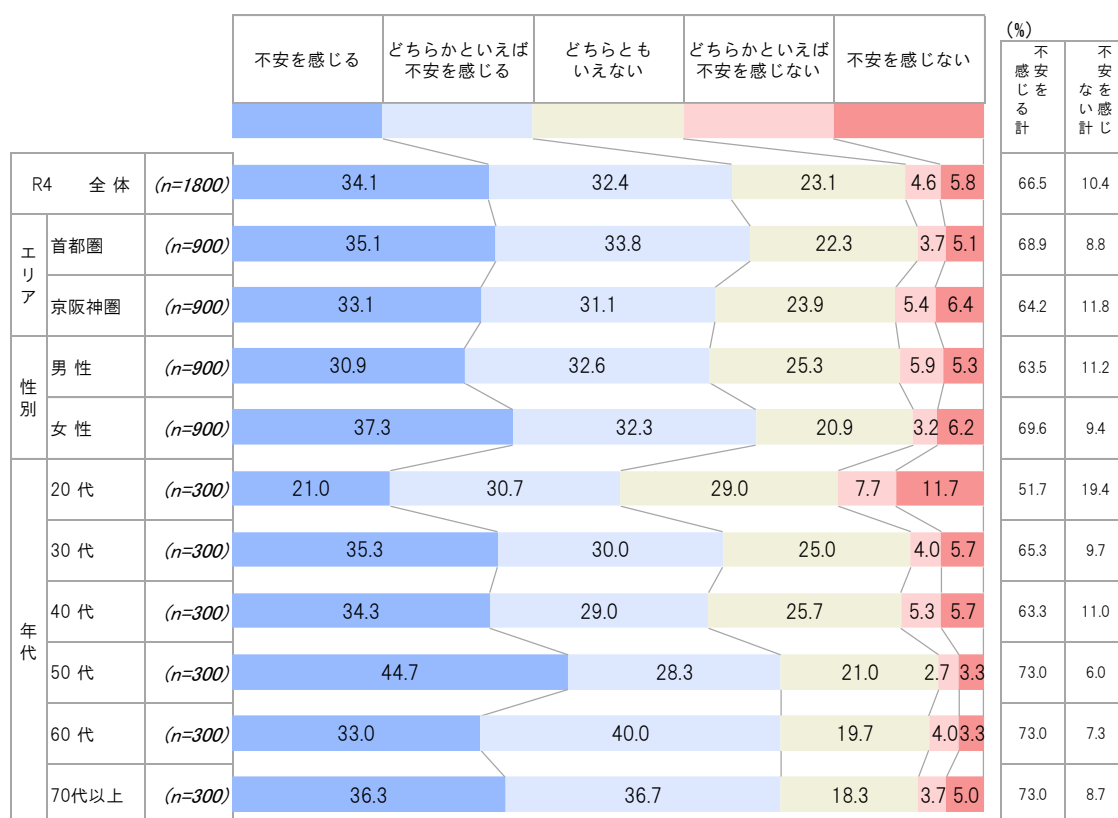
### 3) 「円安・資源価格の高騰等による物価上昇の影響」についての不安 (Q43) : エリア・性・年代別分析

「食品の購入や調理、中食や外食など食生活」について、円安や資源価格高騰等による物価上昇の影響による不安 (Q43) を聞いたところ、「不安を感じる」が 34.1% で最も多く、「どちらかといえば不安を感じる」が 32.4%、「不安を感じる計」は全体の 66.5% である。一方、「どちらかといえば不安を感じない」が 4.6%、「不安を感じない」が 5.8% で「不安を感じない計」は全体の 10.4% である。「どちらともいえない」は 23.1% であった。

エリア別に「不安を感じる計」を見ると、首都圏が 68.9%、京阪神圏が 64.2% と、京阪神圏より首都圏の方が不安度がやや高い。

性別に「不安を感じる計」を見ると、男性が 63.5%、女性が 69.6% と、男性より女性の方が不安度が高い。

年代別に「不安を感じる計」を見ると 50 代以上で 73.0% と高くなっており、20 代では 51.7% と半数程度にとどまる。



「不安を感じる計」⇒「不安を感じる」+「どちらかといえば不安を感じる」  
「不安を感じない計」⇒「どちらかといえば不安を感じない」+「不安を感じない」

図表 77 円安・資源価格の高騰等による物価上昇の影響」についての不安



4) 「円安・資源価格の高騰等による物価上昇の影響」の影響度 (Q44) :  
エリア・性・年代別分析

円安や資源価格高騰等による物価上昇の影響により、昨年の今頃と比べ、「食品の購入や調理、中食や外食など食生活」について、実際に家庭に影響があったか (Q44) を聞いたところ、「影響があった」が 18.2%、「どちらかといえば影響があった」が 30.9%、「影響があった計」は全体の 49.1%である。一方、「どちらかといえば影響がなかった」が 8.4%、「影響がなかった」が 7.3%で「影響がなかった計」は全体の 15.7%である。「どちらともいえない」は 35.2%で最も多い。

「不安を感じる計」の 66.5%と、「影響があった計」の 49.1%には、17.4 ポイントの開きがあり、影響度よりも不安度の方が高い。一方、「不安を感じない計」の 10.4%と、「影響がなかった計」の 15.7%には、5.3 ポイントの開きがあり、今回の調査時点では、実際にはまだ影響がなかったとする人の方が多い。また、不安を感じるかの「どちらともいえない」の 23.1%と、影響があったかの「どちらともいえない」の 35.2%には、12.1 ポイントの開きがあり、今回の調査時点では、物価上昇の影響を実際に家庭で実感するまでには至っていない人が 3分の1程度いる。

エリア別に「影響があった計」を見ると、首都圏が 48.8%、京阪神圏が 49.4%と、大きな違いは見られない。性別に「影響があった計」を見ると、男性が 49.5%、女性が 48.8%と、大きな違いは見られない。

年代別に「影響があった計」を見ると 50代以上で 5割以上と高くなっている。

		影響があった	どちらかといえば影響があった	どちらともいえない	どちらかといえば影響がなかった	影響がなかった	(%)	
							あ影 つ響 た計	か影 つ響 た計 な
R4	全体 (n=1800)	18.2	30.9	35.2	8.4	7.3	49.1	15.7
エリア	首都圏 (n=900)	16.2	32.6	35.3	8.6	7.3	48.8	15.9
	京阪神圏 (n=900)	20.1	29.3	35.0	8.3	7.2	49.4	15.5
性別	男性 (n=900)	18.6	30.9	34.8	8.8	7.0	49.5	15.8
	女性 (n=900)	17.8	31.0	35.6	8.1	7.6	48.8	15.7
年代	20代 (n=300)	15.7	28.3	36.7	9.0	10.3	44.0	19.3
	30代 (n=300)	18.0	27.3	38.3	9.3	7.0	45.3	16.3
	40代 (n=300)	14.0	30.7	40.3	8.0	7.0	44.7	15.0
	50代 (n=300)	22.3	31.3	34.3	5.7	6.3	53.6	12.0
	60代 (n=300)	18.0	36.7	30.7	8.3	6.3	54.7	14.6
	70代以上 (n=300)	21.0	31.3	30.7	10.3	6.7	52.3	17.0

「影響があった計」⇒「影響があった」+「どちらかといえば影響があった」  
「影響がなかった計」⇒「どちらかといえば影響がなかった」+「影響がなかった」

図表 78 円安・資源価格の高騰等による物価上昇の影響の影響度

5) 「円安・資源価格の高騰等による物価上昇」により影響があった事項 (Q45) :  
エリア・性・年代別分析

「円安や資源価格高騰等による物価上昇」により、昨年の中頃と比べ影響があったかについて、7つの事項についてあてはまる食品 (Q45) を聞いたところ、各上位3食品は以下の通りであった。

食肉 (牛肉・豚肉・鶏肉) については、「国産の食品を選んで買うようになった」が10%以上と多く、「輸入・外国産の食品をあまり買わないようになった」が5%以上と多くなっている。「まとめ買いするようになった」「より価格の安い店を選んで買うようになった」についても、変化があった上位の食品としてあげられている。

影響があった7つのいずれの事項についても、「いずれもない」が6割以上と最も多くなっている。今回の調査時点では、「物価上昇」について不安を感じてはいるが、日々の食品購入にまで、実際に影響があるまでには至っていない人の方が多いと思われる。

エリア別、男女別、年代別に見ても、大きな違いは見られない。

【購入量が減った】

- ①ファストフード、菓子類 9.2% ③インスタント麺 (カップ麺・袋麺等) 8.7%  
※⑥牛肉 6.8% ⑬豚肉 4.4% ⑭鶏肉 4.3%

【購入回数が減った】

- ①ファストフード 9.9%、②パン 9.3% ③菓子類 8.9%  
※⑥牛肉 7.9% ⑪豚肉 5.4% ⑬鶏肉 5.1%

【まとめ買いするようになった】

- ①米 9.7% ②鶏肉 9.3% ③豚肉 9.2% ※⑥牛肉 8.2%

【国産の食品を選んで買うようになった】

- ①牛肉 10.9% ②豚肉 10.8% ③鶏肉 10.7%

【輸入・外国産の食品をあまり買わないようになった】

- ①豚肉 5.9% ②牛肉 5.8% ③鶏肉 5.1%

【より安い商品・製品を選んで買うようになった】

- ①野菜 15.5% ②米 14.8% ③パン 14.7% ※④牛肉、豚肉、鶏肉 13.3%

【より価格の安い店を選んで買うようになった】

- ①野菜 14.2% ②インスタント麺 (カップ麺・袋麺等) 12.6% ③米 12.2%  
※④豚肉 12.0% ⑩牛肉、鶏肉 11.7%

		(%)								
		米	パン	野菜	果物	魚介	牛肉	豚肉	鶏肉	卵
購入量が減った	(n=1800)	8.1	6.6	5.1	6.8	6.2	6.8	4.4	4.3	3.8
購入回数が減った	(n=1800)	5.8	9.3	5.9	7.6	7.8	7.9	5.4	5.1	4.6
まとめ買いするようになった	(n=1800)	9.7	7.5	8.6	6.4	6.1	8.2	9.2	9.3	6.1
国産の食品を選んで買うようになった	(n=1800)	8.3	7.2	10.1	8.8	9.2	10.9	10.8	10.7	7.6
輸入・外国産の食品をあまり買わないようになった	(n=1800)	1.9	2.4	2.8	2.4	3.0	5.8	5.9	5.1	1.7
より安い商品・製品を選んで買うようになった	(n=1800)	14.8	14.7	15.5	13.0	12.4	13.3	13.3	13.3	13.2
より価格の安い店を選んで買うようになった	(n=1800)	12.2	11.8	14.2	11.9	11.3	11.7	12.0	11.7	12.0

		牛乳	食肉加工品	乳製品	冷凍食品	インスタント麺 (カップ麺・袋麺等)	弁当・惣菜類	ファストフード	菓子類	いずれもない
購入量が減った	(n=1800)	4.3	5.1	4.1	4.6	8.7	7.2	9.2	9.2	67.1
購入回数が減った	(n=1800)	4.1	5.3	4.6	4.7	8.8	8.0	9.9	9.1	67.1
まとめ買いするようになった	(n=1800)	5.3	5.7	6.0	8.3	7.7	4.6	3.8	9.2	67.0
国産の食品を選んで買うようになった	(n=1800)	7.3	6.9	7.3	6.2	5.1	4.6	4.5	7.8	70.1
輸入・外国産の食品をあまり買わないようになった	(n=1800)	1.9	2.5	2.0	2.3	1.6	1.7	1.9	10.6	64.0
より安い商品・製品を選んで買うようになった	(n=1800)	12.4	11.7	12.1	11.0	11.7	9.8	7.7	5.7	65.3
より価格の安い店を選んで買うようになった	(n=1800)	11.4	9.9	11.1	11.9	12.6	9.7	8.4	5.7	70.7

図表 79 「円安・資源価格の高騰等による物価上昇」により影響があった事項

## 【購入量が減った】

		(%)								
		米	パン	野菜	果物	魚介	牛肉	豚肉	鶏肉	卵
R4 全体	(n=1800)	8.1	6.6	5.1	6.8	6.2	6.8	4.4	4.3	3.8
エリア	首都圏 (n=900)	8.4	7.2	5.6	7.4	6.4	6.9	5.4	4.9	3.9
	京阪神圏 (n=900)	7.8	6.0	4.7	6.2	6.0	6.7	3.3	3.8	3.7
性別	男性 (n=900)	7.7	5.6	4.8	5.9	5.0	6.6	4.1	4.4	2.9
	女性 (n=900)	8.6	7.7	5.4	7.8	7.4	7.0	4.7	4.2	4.7
年代	20代 (n=300)	12.0	5.3	6.7	4.7	7.0	4.0	2.7	3.3	3.3
	30代 (n=300)	9.3	6.3	4.3	6.3	5.3	5.3	3.0	3.3	3.7
	40代 (n=300)	5.7	6.7	6.7	7.0	5.0	5.3	5.7	5.0	3.0
	50代 (n=300)	6.3	9.3	5.7	8.7	8.3	10.7	7.0	6.3	6.0
	60代 (n=300)	7.3	6.3	4.0	6.7	7.3	8.0	4.3	3.7	4.0
	70代以上 (n=300)	8.0	5.7	3.3	7.7	4.3	7.3	3.7	4.3	2.7
		牛乳	食肉加工品	乳製品	冷凍食品	インスタント類 (カップ麺・袋麺等)	弁当・惣菜類	ファストフード	菓子類	いずれもない
R4 全体	(n=1800)	4.3	5.1	4.1	4.6	8.7	7.2	9.2	9.2	67.1
エリア	首都圏 (n=900)	4.3	5.9	4.1	4.1	9.1	7.9	8.8	9.1	67.1
	京阪神圏 (n=900)	4.3	4.3	4.1	5.1	8.2	6.6	9.6	9.2	67.0
性別	男性 (n=900)	4.1	4.1	3.4	3.6	7.2	5.4	7.4	7.8	70.1
	女性 (n=900)	4.6	6.1	4.8	5.7	10.1	9.0	10.9	10.6	64.0
年代	20代 (n=300)	4.0	2.7	2.7	4.3	4.3	5.0	5.7	5.7	65.3
	30代 (n=300)	3.0	4.7	3.0	4.7	7.7	4.7	6.7	5.7	70.7
	40代 (n=300)	4.7	6.7	5.7	5.7	10.7	9.3	11.0	11.0	67.7
	50代 (n=300)	5.3	6.0	5.3	4.3	8.0	6.3	8.7	11.3	66.3
	60代 (n=300)	5.3	6.0	5.0	5.0	9.7	8.3	11.3	11.0	69.3
	70代以上 (n=300)	3.7	4.7	3.0	3.7	11.7	9.7	11.7	10.3	63.0

図表 80 「円安・資源価格の高騰等による物価上昇」により影響があった事項  
【購入量が減った】

【購入回数が減った】

		(%)									
		米	パン	野菜	果物	魚介	牛肉	豚肉	鶏肉	卵	
R4	全体 (n=1800)	5.8	9.3	5.9	7.6	7.8	7.9	5.4	5.1	4.6	
エリア	首都圏 (n=900)	6.6	8.7	5.3	7.1	6.4	7.3	5.4	5.1	5.2	
	京阪神圏 (n=900)	5.1	9.9	6.6	8.0	9.2	8.4	5.4	5.1	3.9	
性別	男性 (n=900)	5.1	7.1	4.6	6.9	6.4	6.3	4.7	4.4	3.1	
	女性 (n=900)	6.6	11.4	7.3	8.2	9.2	9.4	6.2	5.8	6.0	
年代	20代 (n=300)	7.3	9.0	6.7	9.3	5.3	6.7	6.3	4.0	4.3	
	30代 (n=300)	6.3	10.3	6.7	6.3	5.7	5.7	4.0	3.3	3.3	
	40代 (n=300)	4.0	6.0	6.0	6.7	7.7	7.3	6.3	7.3	4.3	
	50代 (n=300)	5.3	10.7	6.3	9.7	9.7	9.7	5.7	7.0	6.3	
	60代 (n=300)	4.7	9.3	4.3	7.3	8.3	8.3	3.3	2.7	4.7	
	70代以上 (n=300)	7.3	10.3	5.7	6.0	10.3	9.7	7.0	6.3	4.3	
			牛乳	食肉加工品	乳製品	冷凍食品	インスタント類 (カップ麺・袋麺等)	弁当・惣菜類	ファストフード	菓子類	いずれもない
R4	全体 (n=1800)	4.1	5.3	4.6	4.7	8.8	8.0	9.9	8.9	64.4	
エリア	首都圏 (n=900)	3.4	5.0	4.0	4.7	9.1	7.9	9.1	8.7	65.1	
	京阪神圏 (n=900)	4.8	5.7	5.2	4.7	8.4	8.1	10.8	9.2	63.8	
性別	男性 (n=900)	3.6	4.2	4.1	4.0	8.3	6.6	8.7	8.0	67.7	
	女性 (n=900)	4.7	6.4	5.1	5.3	9.2	9.4	11.2	9.9	61.2	
年代	20代 (n=300)	4.7	4.3	4.7	5.0	8.0	5.3	7.3	6.7	65.7	
	30代 (n=300)	3.7	6.0	5.3	4.7	8.3	5.7	7.7	6.7	67.0	
	40代 (n=300)	3.0	3.7	3.7	3.7	8.3	8.7	9.0	8.0	66.0	
	50代 (n=300)	4.3	5.3	5.7	5.0	6.3	8.0	10.7	9.0	60.7	
	60代 (n=300)	4.3	5.3	3.3	4.7	10.7	11.3	13.3	11.3	64.3	
	70代以上 (n=300)	4.7	7.3	5.0	5.0	11.0	9.0	11.7	12.0	63.0	

図表 81 「円安・資源価格の高騰等による物価上昇」により影響があった事項  
【購入回数が減った】

【まとめ買いするようになった】

		(%)									
		米	パン	野菜	果物	魚介	牛肉	豚肉	鶏肉	卵	
R4 全体	(n=1800)	9.7	5.7	6.0	8.3	6.1	8.2	9.2	9.3	6.1	
エリア	首都圏 (n=900)	9.3	4.8	5.1	7.1	5.1	6.7	8.6	8.1	4.7	
	京阪神圏 (n=900)	10.0	6.6	6.9	9.4	7.0	9.8	9.9	10.4	7.6	
性別	男性 (n=900)	8.2	5.7	4.8	7.2	5.1	7.1	6.1	6.3	6.0	
	女性 (n=900)	11.1	5.7	7.2	9.3	7.0	9.3	12.3	12.2	6.2	
年代	20代 (n=300)	10.3	6.0	5.7	7.3	6.7	7.7	9.0	9.3	7.7	
	30代 (n=300)	12.3	6.7	7.3	10.3	8.3	8.3	12.7	12.0	7.3	
	40代 (n=300)	10.0	5.3	5.3	7.7	5.7	9.7	8.0	9.3	6.0	
	50代 (n=300)	8.7	3.7	4.3	7.0	4.7	6.3	7.7	8.7	3.0	
	60代 (n=300)	9.0	7.0	9.0	9.3	5.3	9.0	8.3	8.3	5.7	
	70代以上 (n=300)	7.7	5.3	4.3	8.0	5.7	8.3	9.7	8.0	7.0	
			牛乳	食肉加工品	乳製品	冷凍食品	インスタント類 (カップ麺・袋麺等)	弁当・惣菜類	ファストフード	菓子類	いずれもない
R4 全体	(n=1800)	5.3	7.5	8.6	6.4	7.7	4.6	3.8	6.9	68.9	
エリア	首都圏 (n=900)	5.2	5.9	7.9	6.3	6.0	4.0	3.6	5.7	71.7	
	京阪神圏 (n=900)	5.3	9.1	9.2	6.4	9.4	5.1	4.0	8.1	66.2	
性別	男性 (n=900)	3.9	7.6	7.3	5.8	7.2	4.7	3.8	6.3	71.6	
	女性 (n=900)	6.7	7.4	9.8	7.0	8.2	4.4	3.8	7.4	66.3	
年代	20代 (n=300)	3.7	9.0	11.0	7.3	5.0	5.3	4.3	4.3	64.0	
	30代 (n=300)	5.3	9.7	10.0	8.0	11.0	6.7	5.7	9.7	66.0	
	40代 (n=300)	6.7	7.0	9.7	6.3	8.3	4.7	3.3	7.7	71.0	
	50代 (n=300)	4.0	5.7	7.3	4.7	7.0	2.7	1.3	4.3	73.0	
	60代 (n=300)	5.0	7.0	6.0	6.7	8.3	4.3	4.0	8.0	72.3	
	70代以上 (n=300)	7.0	6.7	7.3	5.3	6.7	3.7	4.0	7.3	67.3	

図表 82 「円安・資源価格の高騰等による物価上昇」により影響があった事項  
【まとめ買いするようになった】

【国産の食品を選んで買うようになった】

		(%)									
		米	パン	野菜	果物	魚介	牛肉	豚肉	鶏肉	卵	
R4 全体	(n=1800)	8.3	7.2	10.1	8.8	9.2	10.9	10.8	10.7	7.6	
エリア	首都圏 (n=900)	6.8	5.9	9.0	7.4	8.3	9.3	9.9	10.0	6.3	
	京阪神圏 (n=900)	9.9	8.4	11.1	10.1	10.1	12.6	11.7	11.4	8.9	
性別	男性 (n=900)	9.0	8.9	10.7	9.8	9.7	10.6	10.7	10.4	8.7	
	女性 (n=900)	7.7	5.4	9.4	7.8	8.8	11.3	10.9	11.0	6.6	
年代	20代 (n=300)	7.0	4.7	5.7	7.0	4.7	10.3	5.7	6.7	5.0	
	30代 (n=300)	9.7	6.3	9.3	7.3	8.3	8.7	8.3	8.0	6.3	
	40代 (n=300)	5.7	7.0	7.3	7.0	8.0	6.7	10.7	10.3	6.0	
	50代 (n=300)	6.3	4.7	9.3	7.7	7.3	9.0	9.0	8.3	6.0	
	60代 (n=300)	7.7	7.3	12.0	9.0	11.0	11.3	11.0	10.0	8.3	
	70代以上 (n=300)	13.7	13.0	16.7	14.7	16.0	19.7	20.0	21.0	14.0	
		牛乳	食肉加工品	乳製品	冷凍食品	インスタント類 (カップ麺・袋麺等)	弁当・惣菜類	ファストフード	菓子類	いずれもない	
R4 全体	(n=1800)	7.3	6.9	7.3	6.2	5.1	4.6	4.5	5.2	73.8	
エリア	首都圏 (n=900)	5.8	5.6	6.4	5.3	3.9	3.2	3.2	4.4	76.0	
	京阪神圏 (n=900)	8.9	8.3	8.2	7.0	6.3	5.9	5.8	5.9	71.6	
性別	男性 (n=900)	8.6	7.2	7.9	6.3	5.4	5.0	5.4	5.9	73.1	
	女性 (n=900)	6.1	6.7	6.8	6.0	4.8	4.1	3.6	4.4	74.4	
年代	20代 (n=300)	5.0	6.7	7.0	6.0	5.7	4.3	5.3	4.7	69.0	
	30代 (n=300)	7.7	6.3	7.3	4.7	4.7	4.3	3.7	5.3	77.0	
	40代 (n=300)	5.0	5.0	6.3	4.3	4.0	2.7	3.7	4.7	78.0	
	50代 (n=300)	4.7	4.3	4.3	4.7	2.7	2.7	3.3	3.0	79.7	
	60代 (n=300)	9.0	7.7	7.0	7.3	5.0	5.3	4.0	4.7	74.0	
	70代以上 (n=300)	12.7	11.7	12.0	10.0	8.7	8.0	7.0	8.7	65.0	

図表 83 「円安・資源価格の高騰等による物価上昇」により影響があった事項  
【国産の食品を選んで買うようになった】

【輸入・外国産の食品をあまり買わないようになった】

		(%)									
		米	パン	野菜	果物	魚介	牛肉	豚肉	鶏肉	卵	
R4 全体	(n=1800)	1.9	2.4	2.8	2.4	3.0	5.8	5.9	5.1	1.7	
エリア	首都圏 (n=900)	1.6	1.9	2.4	1.9	2.4	4.9	5.1	5.0	1.2	
	京阪神圏 (n=900)	2.2	2.9	3.1	3.0	3.6	6.8	6.7	5.1	2.2	
性別	男性 (n=900)	2.6	2.8	3.1	3.0	3.0	6.7	6.1	5.7	1.8	
	女性 (n=900)	1.2	2.0	2.4	1.9	3.0	5.0	5.7	4.4	1.7	
年代	20代 (n=300)	3.3	4.3	5.0	4.3	6.3	5.7	5.3	3.3	3.0	
	30代 (n=300)	2.0	2.7	1.3	1.0	3.0	4.0	3.7	3.0	2.3	
	40代 (n=300)	2.7	3.3	2.0	2.7	2.3	4.7	4.0	4.0	2.0	
	50代 (n=300)	1.0	1.0	4.3	1.7	1.0	3.7	5.0	4.0	0.7	
	60代 (n=300)	1.3	2.0	1.7	2.0	1.0	5.3	5.7	5.0	1.7	
	70代以上 (n=300)	1.0	1.0	2.3	3.0	4.3	11.7	11.7	11.0	0.7	
		牛乳	食肉加工品	乳製品	冷凍食品	インスタント類 (カップ麺・袋麺等)	弁当・惣菜類	ファストフード	菓子類	いずれもない	
R4 全体	(n=1800)	1.9	2.5	2.0	2.3	1.6	1.7	1.9	1.8	80.8	
エリア	首都圏 (n=900)	1.4	1.9	1.9	2.1	1.0	1.2	1.8	1.3	82.8	
	京阪神圏 (n=900)	2.4	3.1	2.1	2.6	2.2	2.1	2.1	2.2	78.8	
性別	男性 (n=900)	1.6	2.4	1.9	2.9	1.6	1.4	2.1	1.4	79.2	
	女性 (n=900)	2.3	2.6	2.1	1.8	1.7	1.9	1.8	2.1	82.3	
年代	20代 (n=300)	3.7	3.0	2.0	2.7	2.0	2.7	3.3	3.3	71.0	
	30代 (n=300)	1.0	1.0	1.7	2.0	0.7	1.3	1.3	0.7	85.0	
	40代 (n=300)	2.0	2.0	1.0	2.7	1.7	1.0	1.3	1.3	83.0	
	50代 (n=300)	2.0	2.0	2.0	1.3	1.3	1.7	1.0	2.3	85.0	
	60代 (n=300)	2.0	2.3	2.3	2.0	2.7	1.3	2.0	1.0	84.3	
	70代以上 (n=300)	1.0	4.7	3.0	3.3	1.3	2.0	2.7	2.0	76.3	

図表 84 「円安・資源価格の高騰等による物価上昇」により影響があった事項  
【輸入・外国産の食品をあまり買わないようになった】



【より安い商品・製品を選んで買うようになった】

		(%)								
		米	パン	野菜	果物	魚介	牛肉	豚肉	鶏肉	卵
R4	全体 (n=1800)	14.8	14.7	15.5	13.0	12.4	13.3	13.3	13.3	13.2
エリア	首都圏 (n=900)	14.6	13.7	14.8	12.2	12.0	11.9	13.3	13.0	13.1
	京阪神圏 (n=900)	15.0	15.8	16.2	13.8	12.9	14.7	13.2	13.6	13.2
性別	男性 (n=900)	14.7	14.2	14.0	13.0	12.6	13.4	12.3	12.7	12.9
	女性 (n=900)	14.9	15.2	17.0	13.0	12.3	13.1	14.2	13.9	13.4
年代	20代 (n=300)	11.3	9.3	11.7	9.0	8.3	11.3	9.3	11.3	10.7
	30代 (n=300)	13.7	11.7	12.3	11.3	10.0	10.3	11.7	12.7	13.0
	40代 (n=300)	10.3	11.3	13.0	9.3	9.0	8.0	8.7	7.3	6.3
	50代 (n=300)	16.3	20.0	19.7	16.3	14.7	15.0	16.3	16.0	17.3
	60代 (n=300)	19.0	18.3	18.7	15.7	17.0	17.3	18.0	19.0	15.7
	70代以上 (n=300)	18.0	17.7	17.7	16.3	15.7	17.7	15.7	13.3	16.0
		牛乳	食肉加工品	乳製品	冷凍食品	インスタント麺 (カップ麺・袋麺等)	弁当・惣菜類	ファストフード	菓子類	いずれもない
R4	全体 (n=1800)	12.4	11.7	12.1	11.0	11.7	9.8	7.7	11.5	64.1
エリア	首都圏 (n=900)	11.6	11.6	11.3	11.2	11.7	9.4	7.7	11.4	65.3
	京阪神圏 (n=900)	13.2	11.8	12.9	10.8	11.7	10.1	7.8	11.6	62.9
性別	男性 (n=900)	11.4	12.1	11.6	11.2	11.1	11.2	8.3	12.0	64.4
	女性 (n=900)	13.3	11.2	12.7	10.8	12.2	8.3	7.1	11.0	63.8
年代	20代 (n=300)	10.0	8.7	8.7	7.7	8.0	6.7	6.7	7.0	61.0
	30代 (n=300)	13.0	9.7	10.7	11.0	11.0	9.0	7.0	10.7	68.7
	40代 (n=300)	6.0	7.0	7.3	6.0	7.7	6.3	5.0	10.3	70.3
	50代 (n=300)	14.7	14.7	14.3	12.0	13.7	11.7	8.0	12.3	62.0
	60代 (n=300)	15.0	15.0	15.7	14.3	15.3	12.3	10.0	13.7	62.0
	70代以上 (n=300)	15.7	15.0	16.0	15.0	14.3	12.7	9.7	15.0	60.7

図表 85 「円安・資源価格の高騰等による物価上昇」により影響があった事項  
【より安い商品・製品を選んで買うようになった】

【より価格の安い店を選んで買うようになった】

		(%)								
		米	パン	野菜	果物	魚介	牛肉	豚肉	鶏肉	卵
R4	全体 (n=1800)	12.2	11.8	14.2	11.9	11.3	11.7	12.0	11.7	12.0
エリア	首都圏 (n=900)	12.8	11.9	14.1	11.4	11.3	11.8	12.2	12.2	12.7
	京阪神圏 (n=900)	11.7	11.8	14.2	12.3	11.2	11.7	11.8	11.2	11.3
性別	男性 (n=900)	11.8	10.6	12.4	10.6	10.6	11.4	10.6	10.0	10.4
	女性 (n=900)	12.7	13.1	15.9	13.2	12.0	12.0	13.4	13.4	13.6
年代	20代 (n=300)	12.7	9.3	11.7	9.7	9.3	11.0	10.0	9.7	9.7
	30代 (n=300)	12.0	11.3	13.0	12.3	9.7	10.7	12.0	11.7	11.0
	40代 (n=300)	10.7	11.0	11.7	10.0	9.7	10.0	10.0	8.3	9.3
	50代 (n=300)	15.0	17.3	18.0	13.7	13.0	12.3	12.7	14.0	15.0
	60代 (n=300)	12.3	12.3	17.0	12.7	13.3	13.3	15.0	14.7	13.7
	70代以上 (n=300)	10.7	9.7	13.7	13.0	12.7	13.0	12.3	12.0	13.3
		牛乳	食肉加工品	乳製品	冷凍食品	インスタント麺 (カップ麺・袋麺等)	弁当・惣菜類	ファストフード	菓子類	いずれもない
R4	全体 (n=1800)	11.4	9.9	11.1	11.9	12.6	9.7	8.4	11.9	66.6
エリア	首都圏 (n=900)	12.0	9.9	11.6	12.2	13.2	9.9	9.3	12.2	67.3
	京阪神圏 (n=900)	10.9	10.0	10.7	11.7	11.9	9.4	7.6	11.7	65.8
性別	男性 (n=900)	10.1	8.4	9.3	10.2	11.3	9.8	8.0	10.8	67.4
	女性 (n=900)	12.8	11.4	12.9	13.7	13.8	9.6	8.9	13.1	65.7
年代	20代 (n=300)	7.0	8.3	8.0	8.7	10.0	9.0	8.7	8.7	63.0
	30代 (n=300)	11.3	10.7	10.7	13.0	13.3	11.7	9.0	14.0	67.7
	40代 (n=300)	10.3	7.7	9.0	9.3	9.7	8.0	6.7	11.3	71.3
	50代 (n=300)	15.3	12.7	14.7	14.3	17.3	10.3	8.7	14.0	62.3
	60代 (n=300)	12.0	11.0	13.3	14.3	13.7	9.3	8.0	12.3	66.7
	70代以上 (n=300)	12.7	9.3	11.0	12.0	11.3	9.7	9.7	11.3	68.3

図表 86 「円安・資源価格の高騰等による物価上昇」により影響があった事項  
【より価格の安い店を選んで買うようになった】

### 3. 食肉の購買実態に関する調査

#### 1) 食肉の種類別機会別の喫食頻度 (Q4)

- 牛肉料理の内食は「週に1日程度」、中食、外食では「それ以下（月に1日以下）」とする割合が高い。
- 豚肉料理と鶏肉料理、魚介料理の傾向は似ており、内食では「週に2～3日程度」と「週に1日程度」が多く、中食、外食では「それ以下（月に1日未満）」とする割合が最も高い。

#### 【今年度調査】

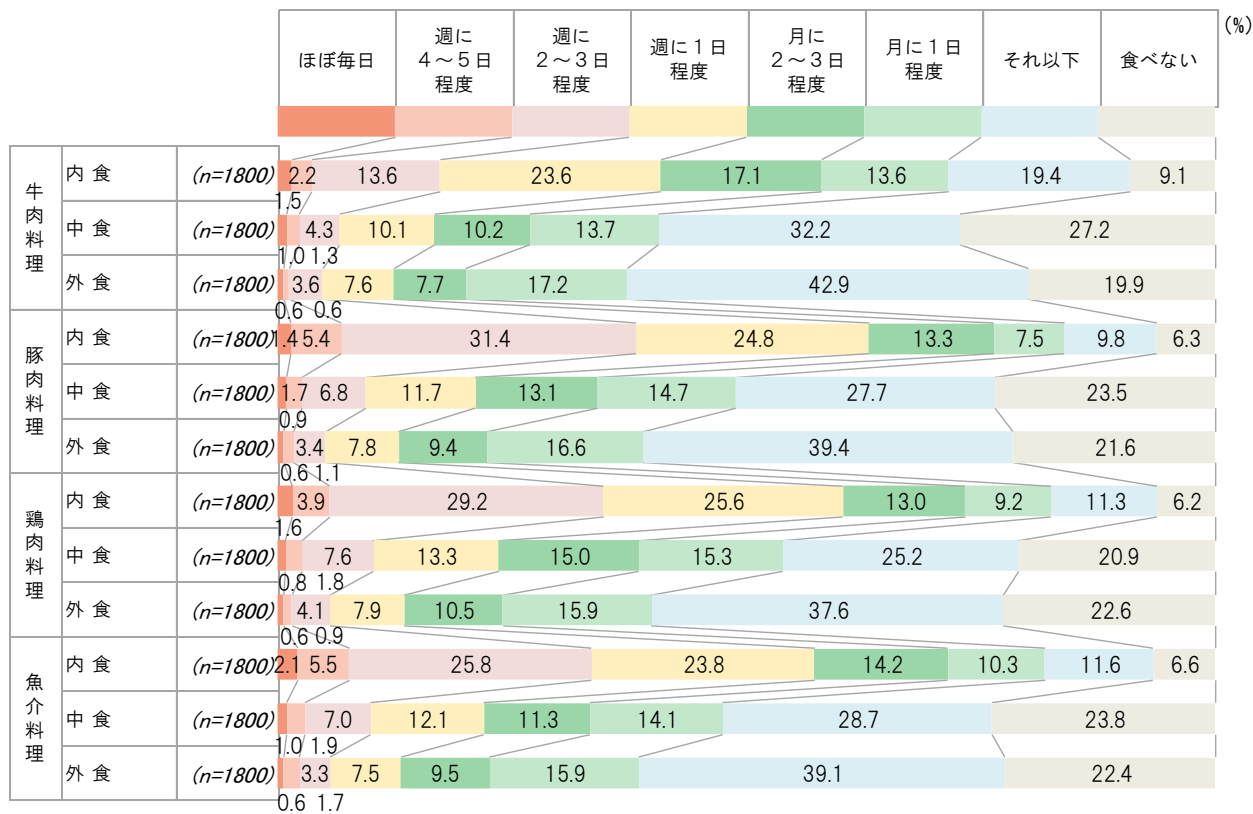
牛肉料理の喫食頻度は、内食では「週に1日程度」23.6%、「それ以下（月に1日未満）」19.4%、「月に2～3日程度」17.1%、「週に2～3日程度」13.6%の順で高い。中食では、「それ以下（月に1日未満）」32.2%、「食べない」27.2%、「月に1日程度」13.7%の順で高い。外食では、「それ以下（月に1日未満）」42.9%、「食べない」19.9%、「月に1日程度」17.2%の順で高い。牛肉の内食は「週に1日程度」が最も高く、他の食肉に比べ頻度が低い傾向にある。

豚肉料理の喫食頻度は、内食では「週に2～3日程度」31.4%、「週に1日程度」24.8%、「月に2～3日程度」13.3%の順で高い。中食では、「それ以下（月に1日未満）」27.7%、「食べない」23.5%、「月に1日程度」14.7%の順で高い。外食では、「それ以下（月に1日未満）」39.4%、「食べない」21.6%、「月に1日程度」16.6%の順で高い。

鶏肉料理の喫食頻度は、内食では「週に2～3日程度」29.2%、「週に1日程度」25.6%、「月に2～3日程度」13.0%の順で高い。中食では、「それ以下（月に1日未満）」25.2%、「食べない」20.9%、「月に1日程度」15.3%の順で高い。外食では、「それ以下（月に1日未満）」37.6%、「食べない」22.6%、「月に1日程度」15.9%の順で高い。

魚介料理の喫食頻度は、内食では「週に2～3日程度」25.8%、「週に1日程度」23.8%、「月に2～3日程度」14.2%の順で高い。中食では、「それ以下（月に1日未満）」28.7%、「食べない」23.8%、「月に1日程度」14.1%の順で高い。外食では、「それ以下（月に1日未満）」39.1%、「食べない」22.4%、「月に1日程度」15.9%の順で高い。

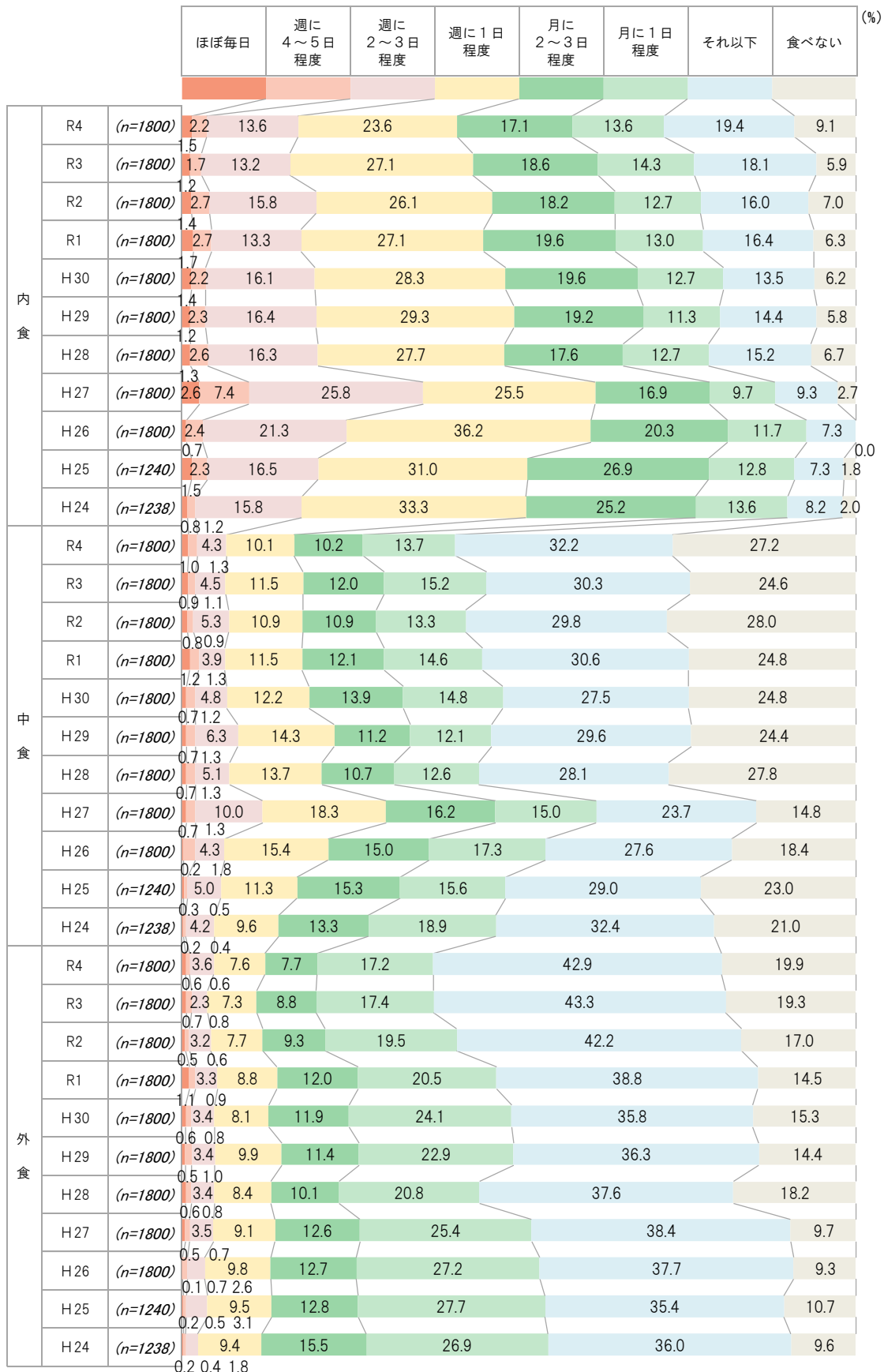
豚肉料理、鶏肉料理、魚介料理は内食、中食、外食のいずれの喫食頻度も似た傾向にある。



図表 87 食肉の種類別機会別の喫食頻度

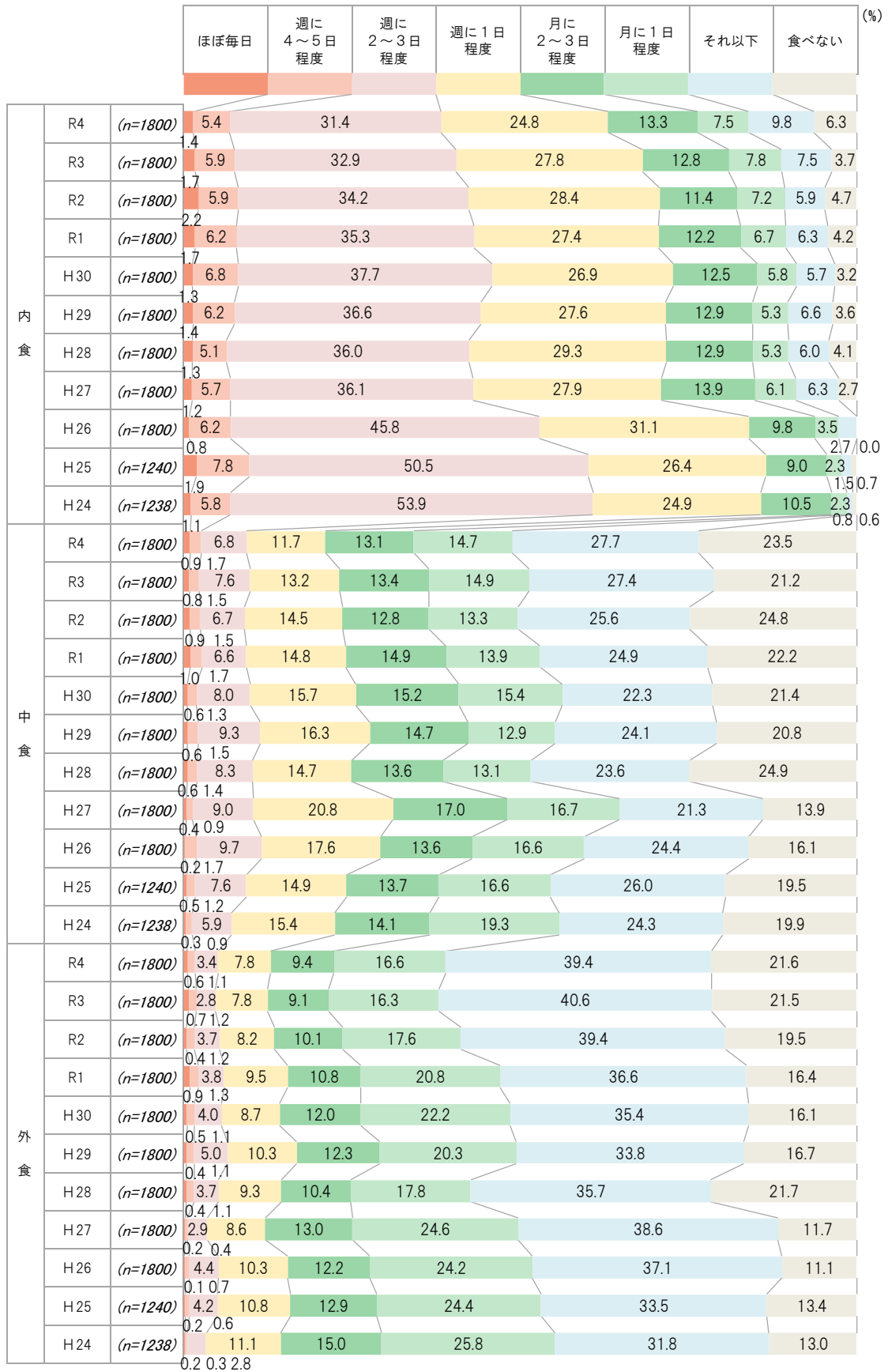
【過年度調査との比較】

牛肉料理は、内食・中食・外食のいずれも「食べない」が増加傾向にあり、喫食頻度が減少傾向にある。



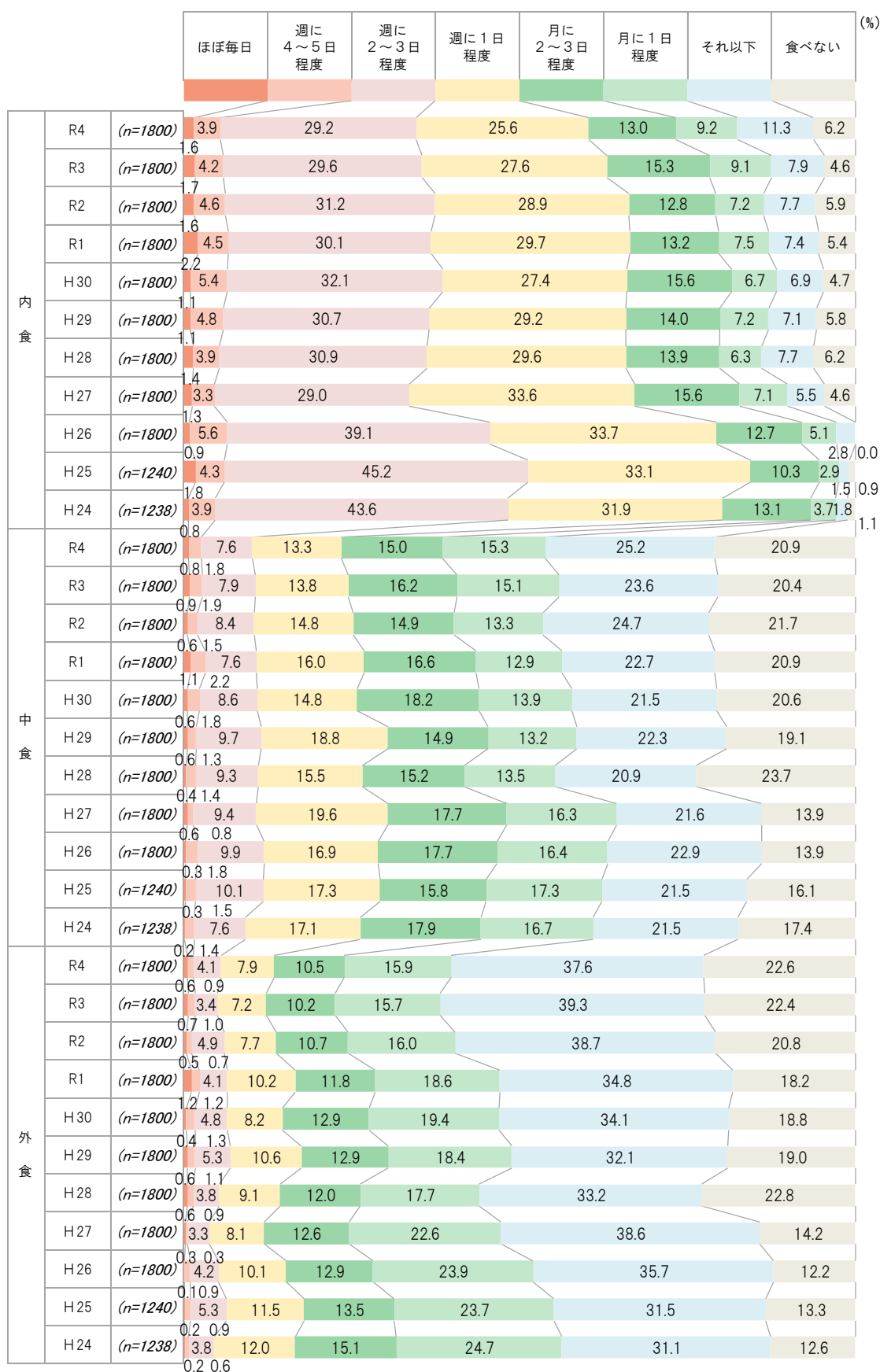
図表 88 牛肉料理の喫食頻度（経年変化）

豚肉料理の内食・中食は、昨年度に比べて、「食べない」が増加し、喫食頻度が減少傾向にある。外食は、昨年度に比べて大きな変化はない。



図表 89 豚肉料理の喫食頻度（経年変化）

鶏肉料理の内食は、昨年度に比べて、「食べない」が増加し、喫食頻度が減少傾向にある。外食・中食は、昨年度に比べて大きな変化はない。



図表 90 鶏肉料理の喫食頻度（経年変化）

## 2) 食肉に対する種類別イメージ (Q5)

- ▶ どの食肉も「たんぱく質が豊富」というイメージが強い。
- ▶ 牛肉は栄養の高さ、豚肉と鶏肉は価格の手頃さや、調理のしやすさや料理メニューの種類が多いイメージも強い。
- ▶ 過年度調査と比較すると、牛肉、豚肉、鶏肉のいずれも、イメージには大きな違いは見られないが、その比率が総じて減少傾向。

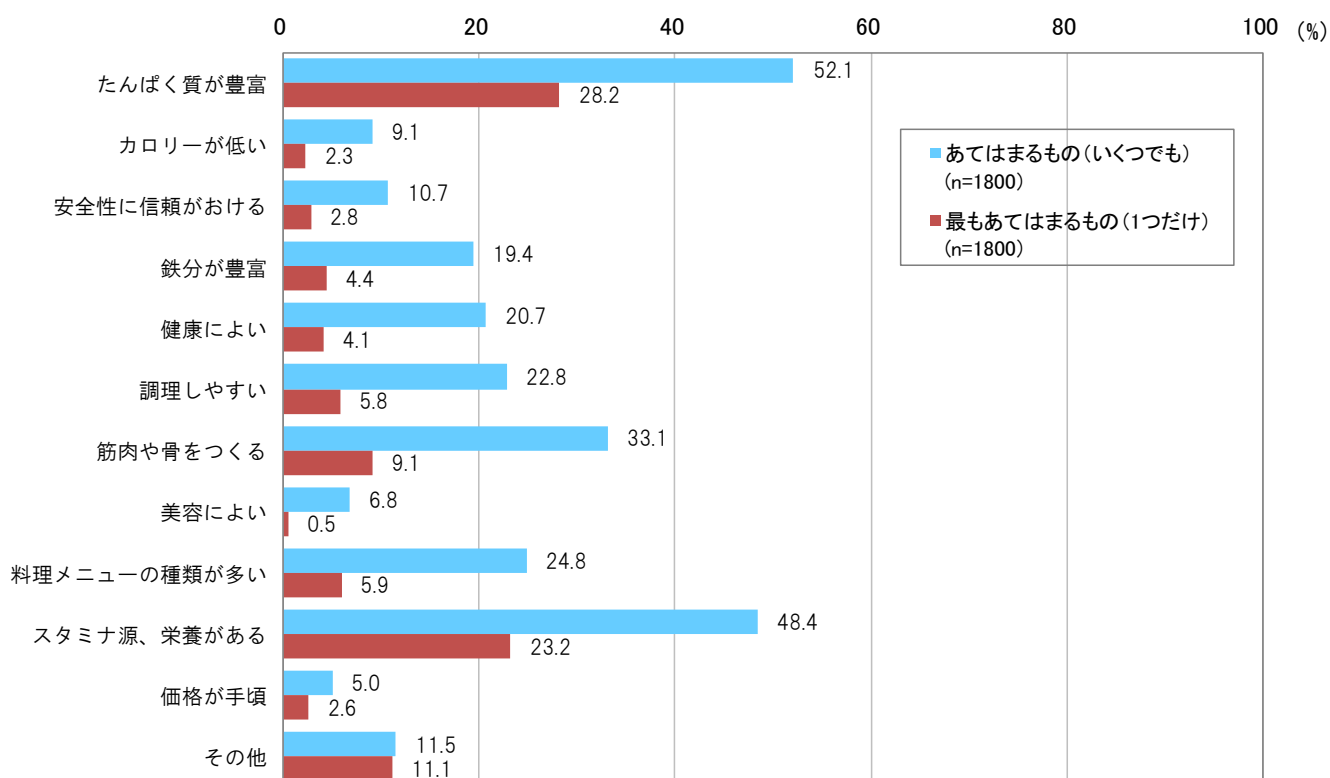
### 【今年度調査】

牛肉に対するイメージは（複数回答）、「たんぱく質が豊富」52.1%、「スタミナ源、栄養がある」48.4%、「筋肉や骨をつくる」33.1%の順で高い。

豚肉に対するイメージは（複数回答）、「価格が手頃」46.3%、「たんぱく質が豊富」41.8%、「調理しやすい」37.3%の順で高い。

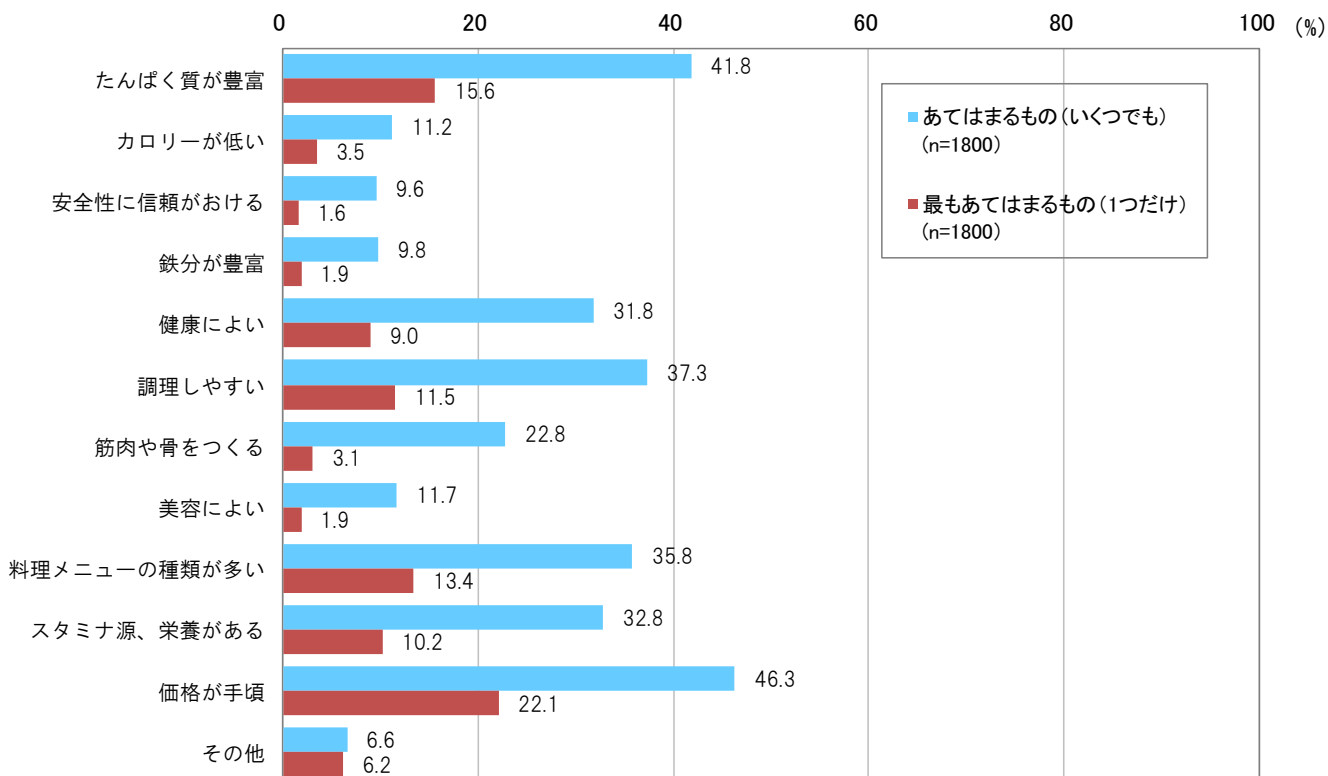
鶏肉に対するイメージは（複数回答）、「価格が手頃」53.8%、「たんぱく質が豊富」46.7%、「カロリーが低い」39.7%の順で高い。

どの食肉も「たんぱく質が豊富」というイメージが **Top2** に入っており、たんぱく源としてのイメージが強い。また、牛肉は栄養の「豊富さ」、豚肉と鶏肉は価格の手頃さや、調理のしやすさや料理メニューの種類が多いイメージも強い。

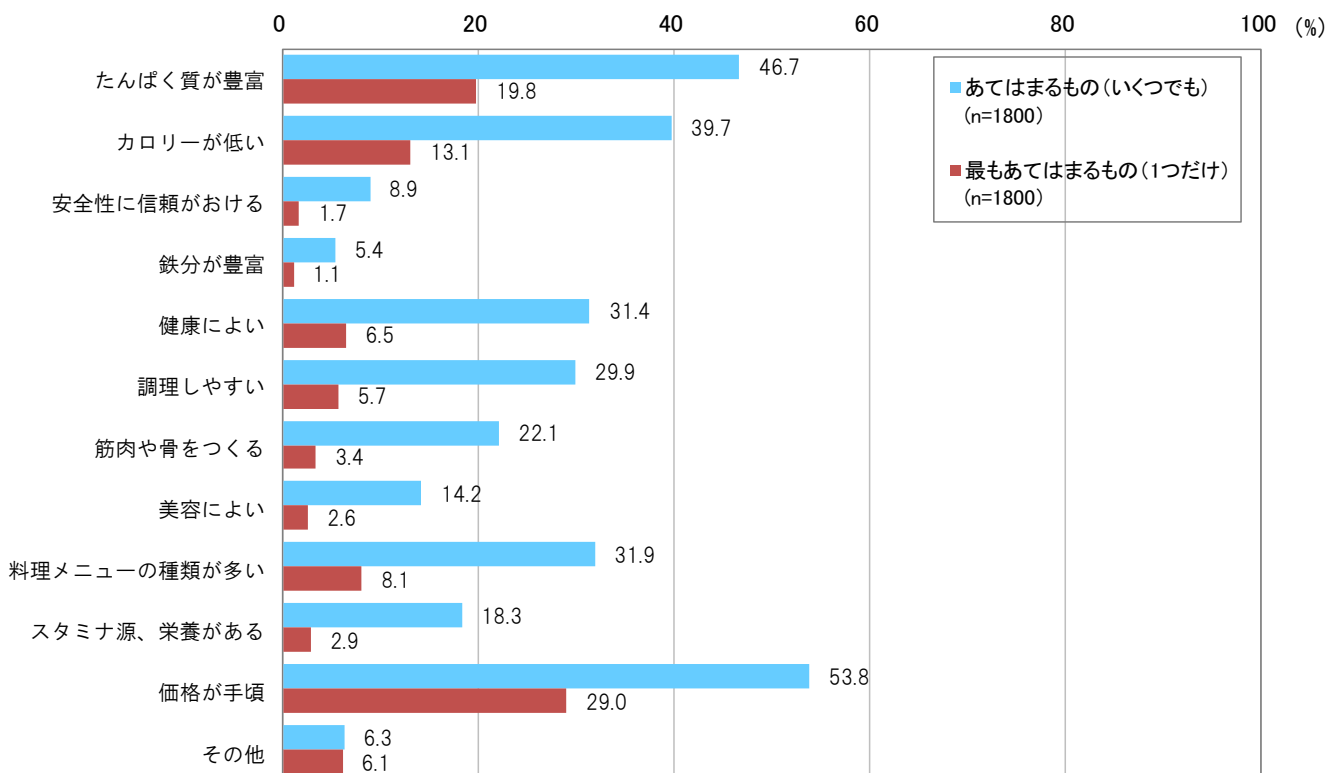


図表 91 牛肉に対するイメージ





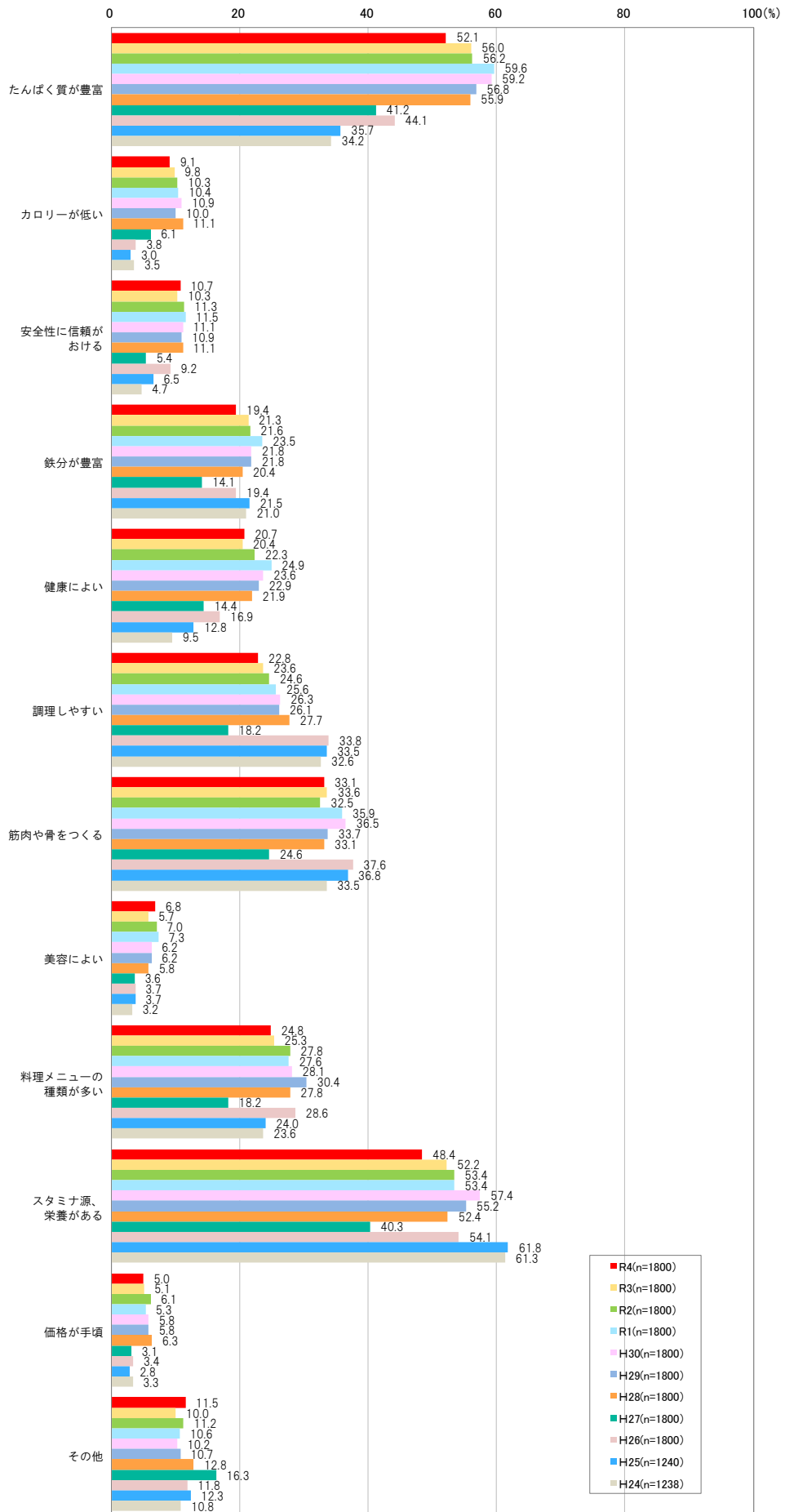
図表 92 豚肉に対するイメージ



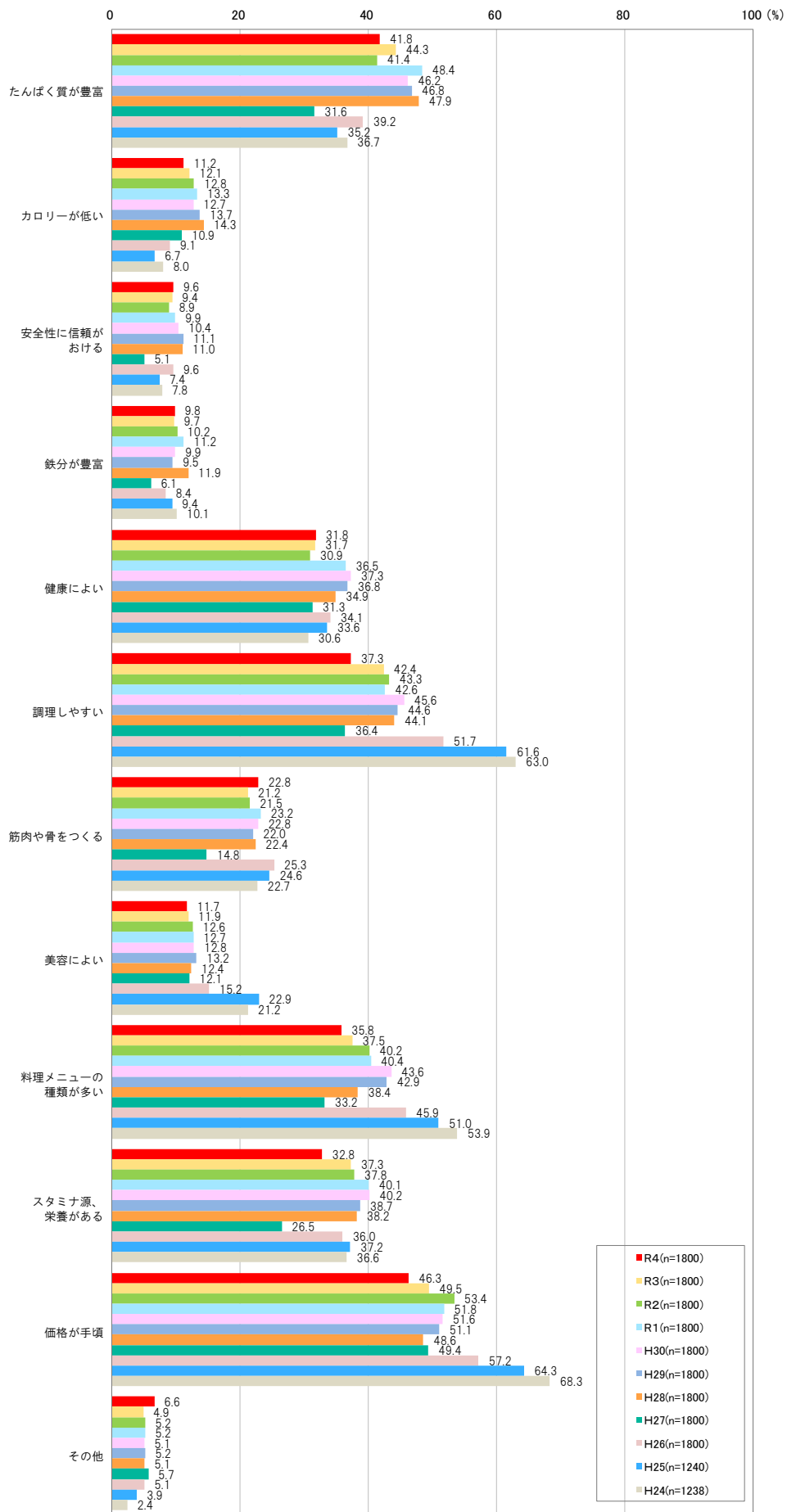
図表 93 鶏肉に対するイメージ

【過年度調査との比較】

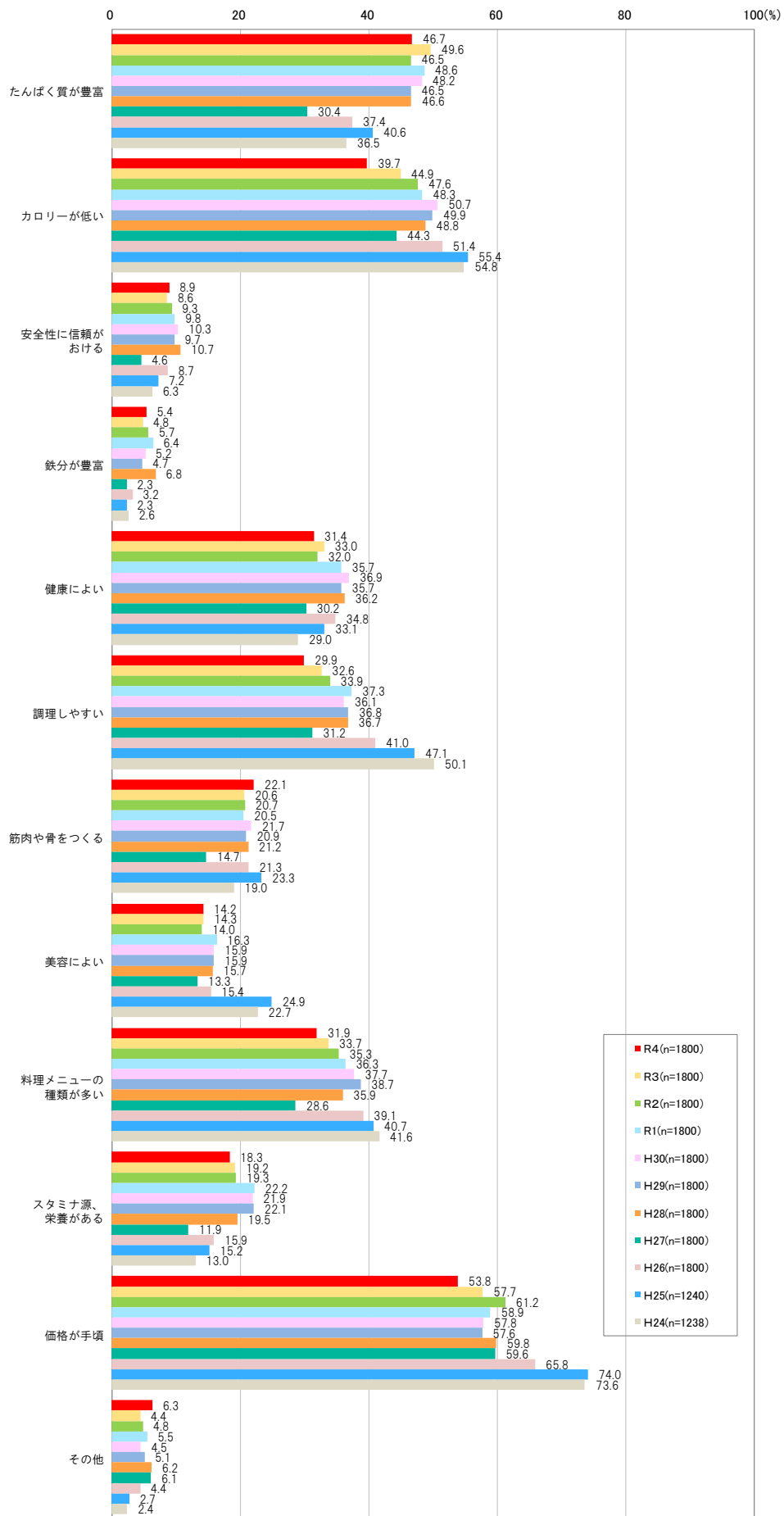
過年度調査と比較すると、牛肉、豚肉、鶏肉のいずれも、消費者に持たれているイメージには大きな違いは見られないが、その比率が総じて減少傾向にある。



図表 94 牛肉に対するイメージ（経年変化）



図表 95 豚肉に対するイメージ（経年変化）



図表 96 鶏肉に対するイメージ（経年変化）

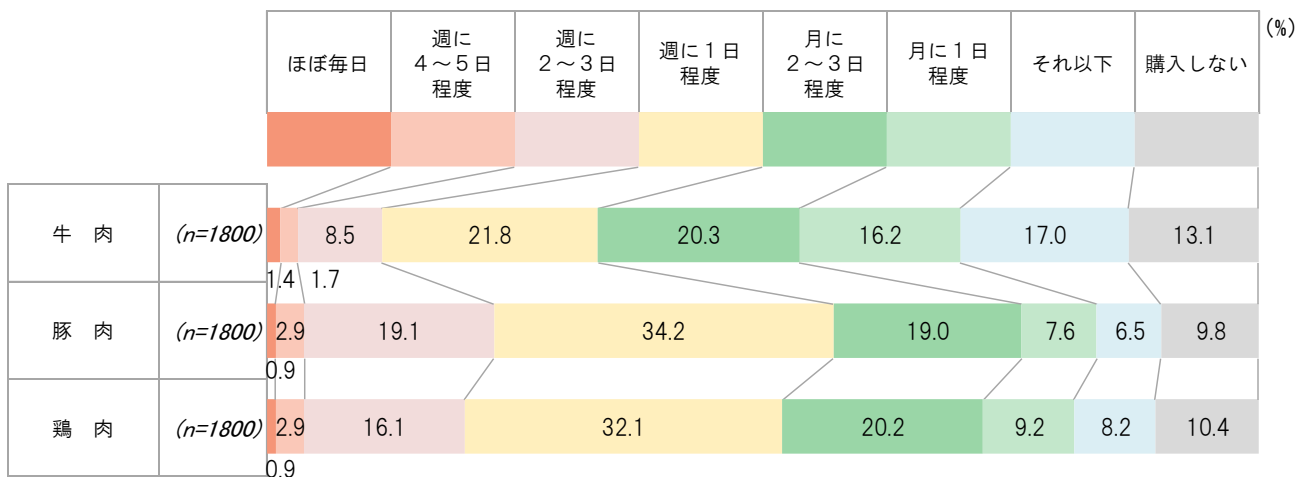
### 3) 食肉の種類別購入頻度 (Q6)

- ▶ 牛肉は「週に1日程度」と「月に2~3日程度」がボリュームゾーン。
- ▶ 豚肉は「週に1日程度」「週に2~3日程度」、鶏肉は「週に1日程度」「月に2~3日程度」がボリュームゾーン。
- ▶ 過年度調査と比較すると、昨年度に比べて、牛肉、豚肉、鶏肉ともに、「購入しない」「それ以下」が増加して、購入頻度が減少。

#### 【今年度調査】

牛肉の購入頻度のボリュームゾーンは「週に1日程度」が21.8%、「月に2~3日程度」が20.3%で、合わせて42.1%を占める。他の食肉と比較して低頻度購入のボリュームが大きく、「月に1日程度」が16.2%、「それ以下」が17.0%と他の食肉に比べて高い。

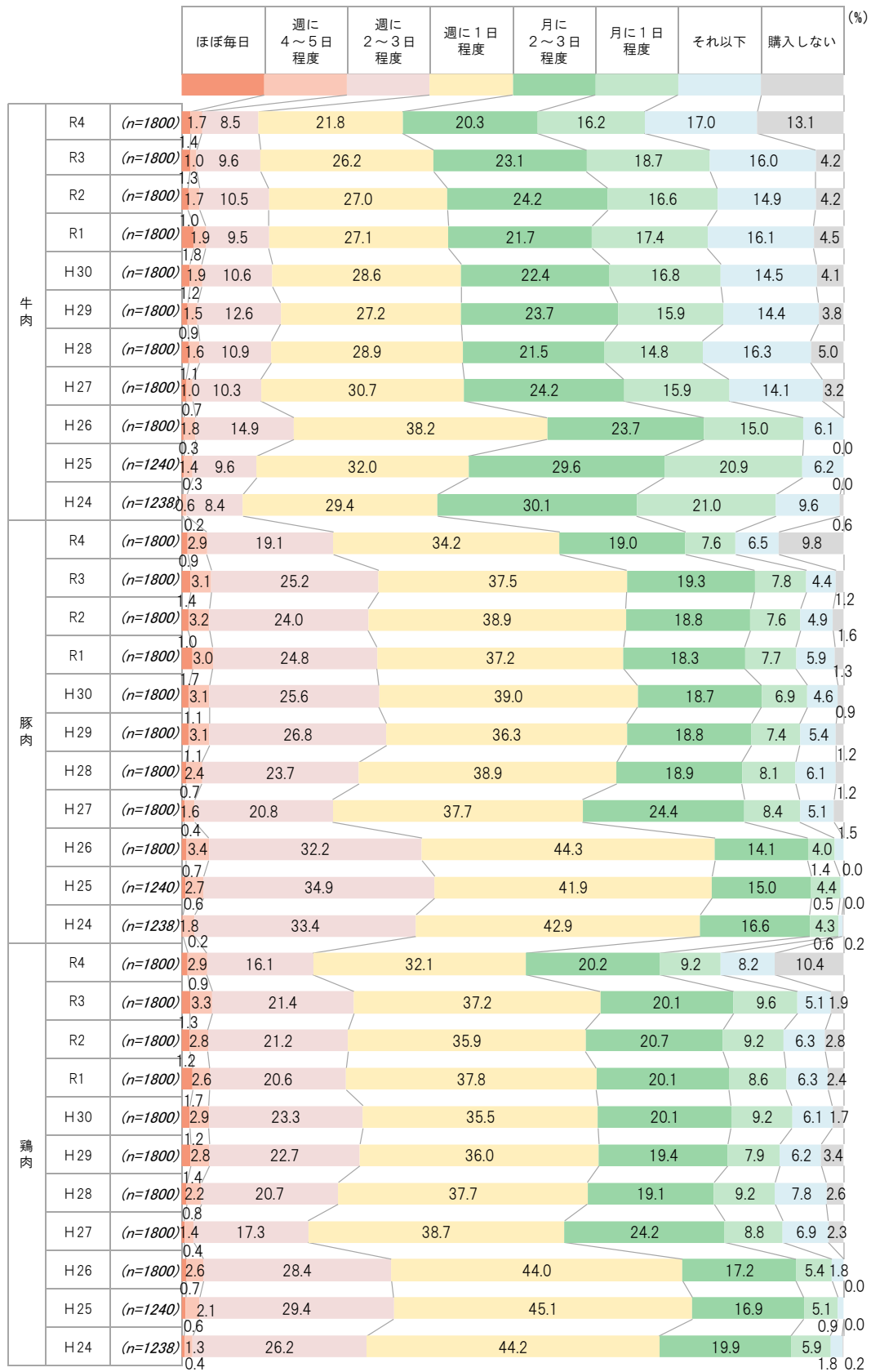
豚肉の購入頻度のボリュームゾーンは「週に1日程度」34.2%、「週に2~3日程度」19.1%で、合わせて約5割を占める。また、鶏肉については「週に1日程度」32.1%、「月に2~3日程度」20.2%となっており、合わせて約5割を占める。



図表 97 食肉の種類別購入頻度

【過年度調査との比較】

過年度調査と比較すると、昨年度に比べて、牛肉、豚肉、鶏肉ともに、「購入しない」「それ以下」が増加して、購入頻度が減少した。



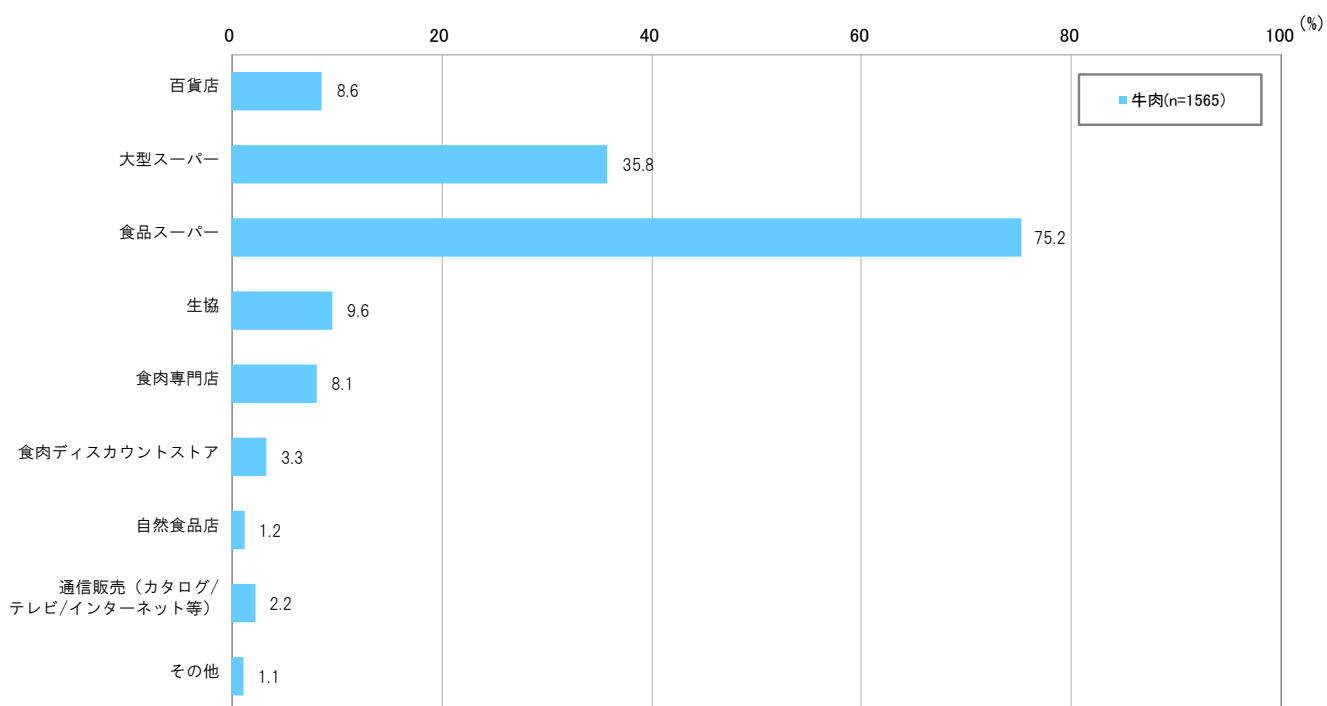
図表 98 食肉の種類別購入頻度（経年変化）

#### 4) 食肉の種類別の主な購入先 (Q7)

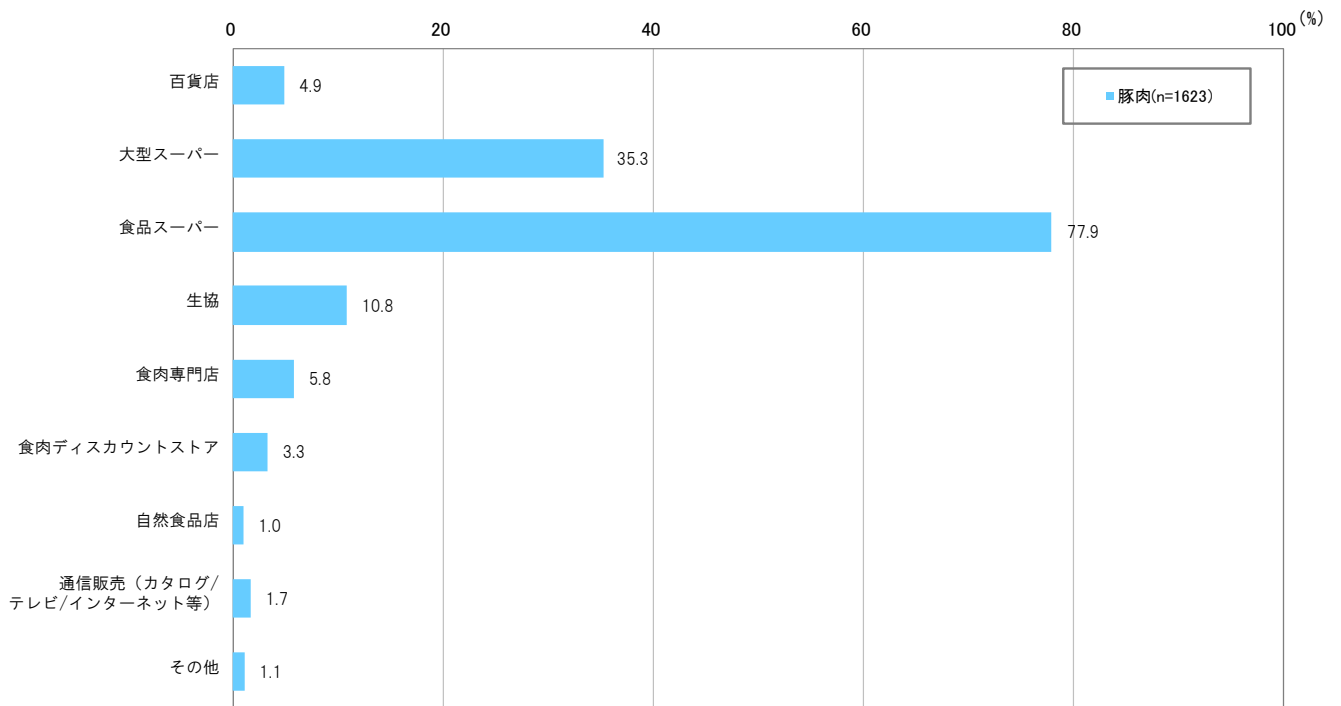
- ▶ どの食肉でも 8 割弱が「食品スーパー」で購入、次いで「大型スーパー」。
- ▶ 過年度調査と比較すると、牛肉、豚肉、鶏肉ともに、昨年度と同傾向だが、「大型スーパー」が減少傾向。

##### 【今年度調査】

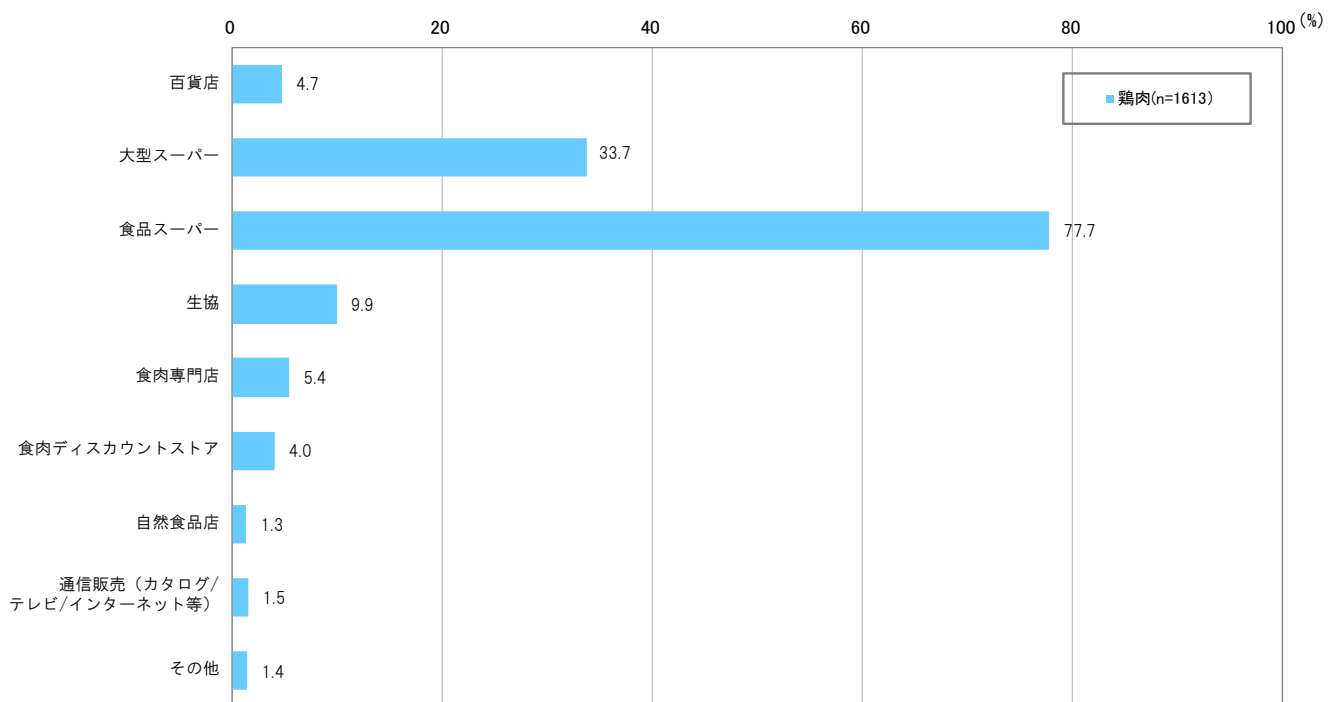
食肉の主な購入先を聞いたところ（複数回答）、牛肉、豚肉、鶏肉のいずれも同様の傾向があり、「食品スーパー」が 8 割弱と圧倒的に多く（牛肉 75.2%、豚肉 77.9%、鶏肉 77.7%）、次いで「大型スーパー」が約 3 割強（牛肉 35.8%、豚肉 35.3%、鶏肉 33.7%）となっている。



図表 99 牛肉の主な購入先



図表 100 豚肉の主な購入先

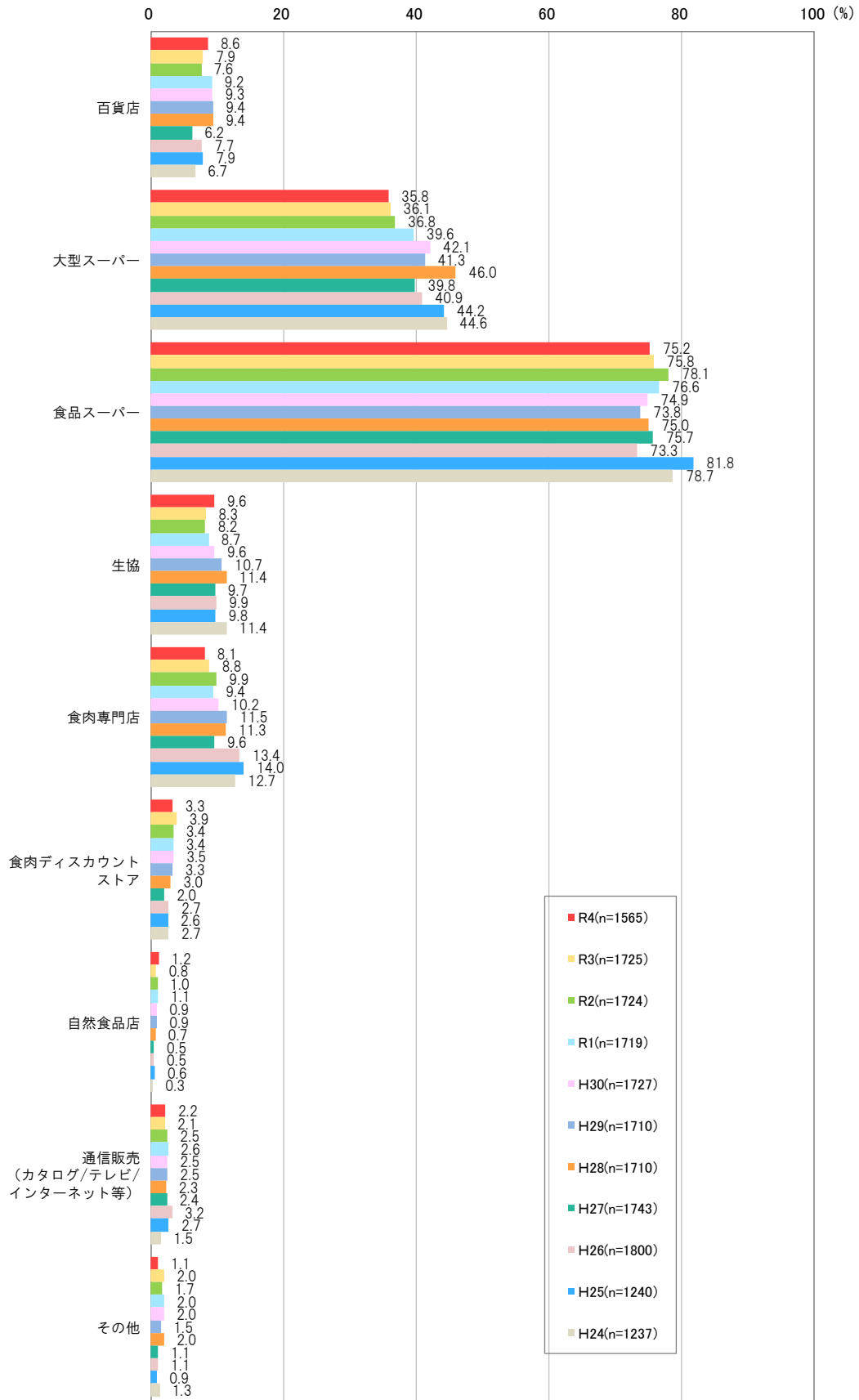


図表 101 鶏肉の主な購入先

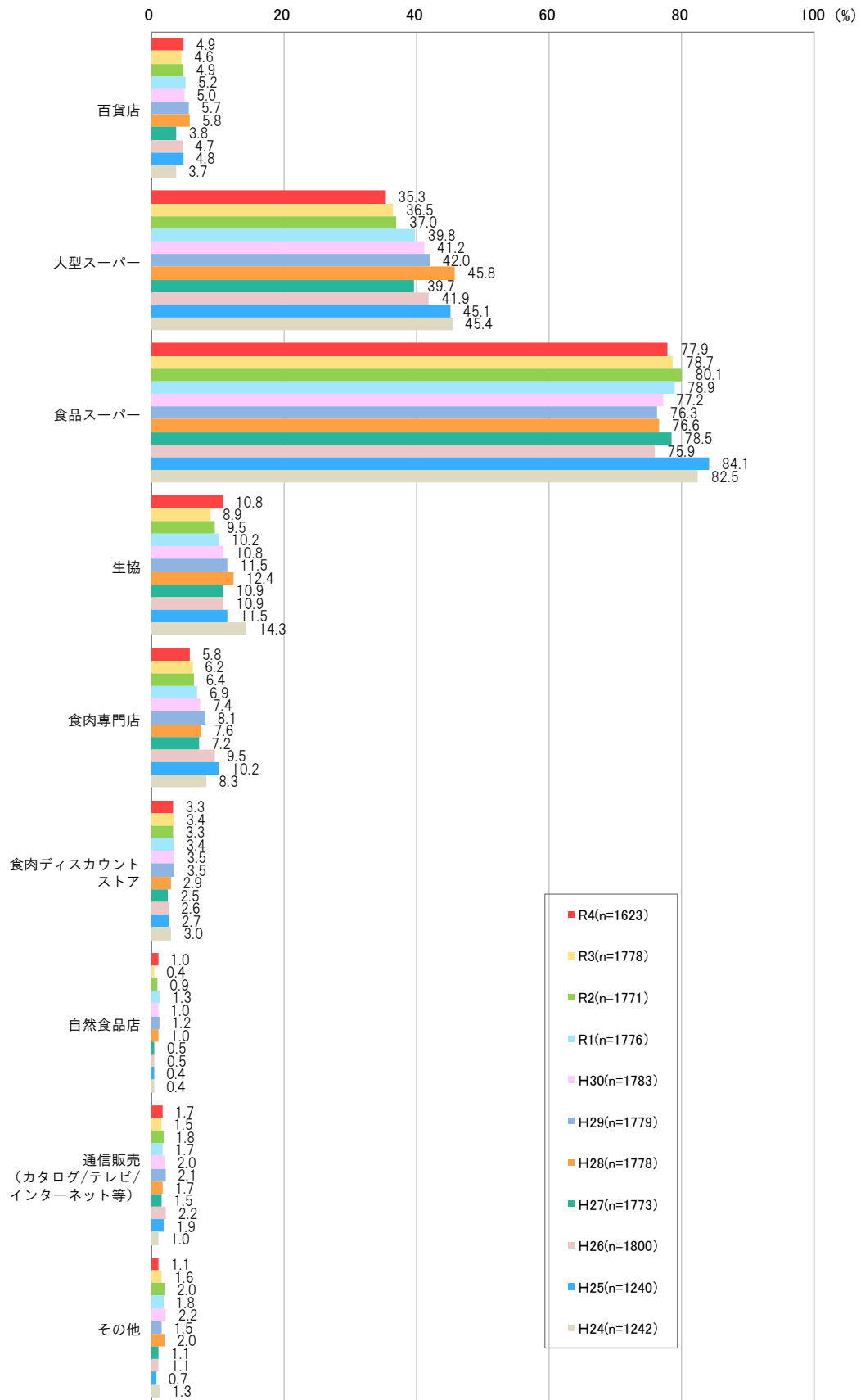


【過年度調査との比較】

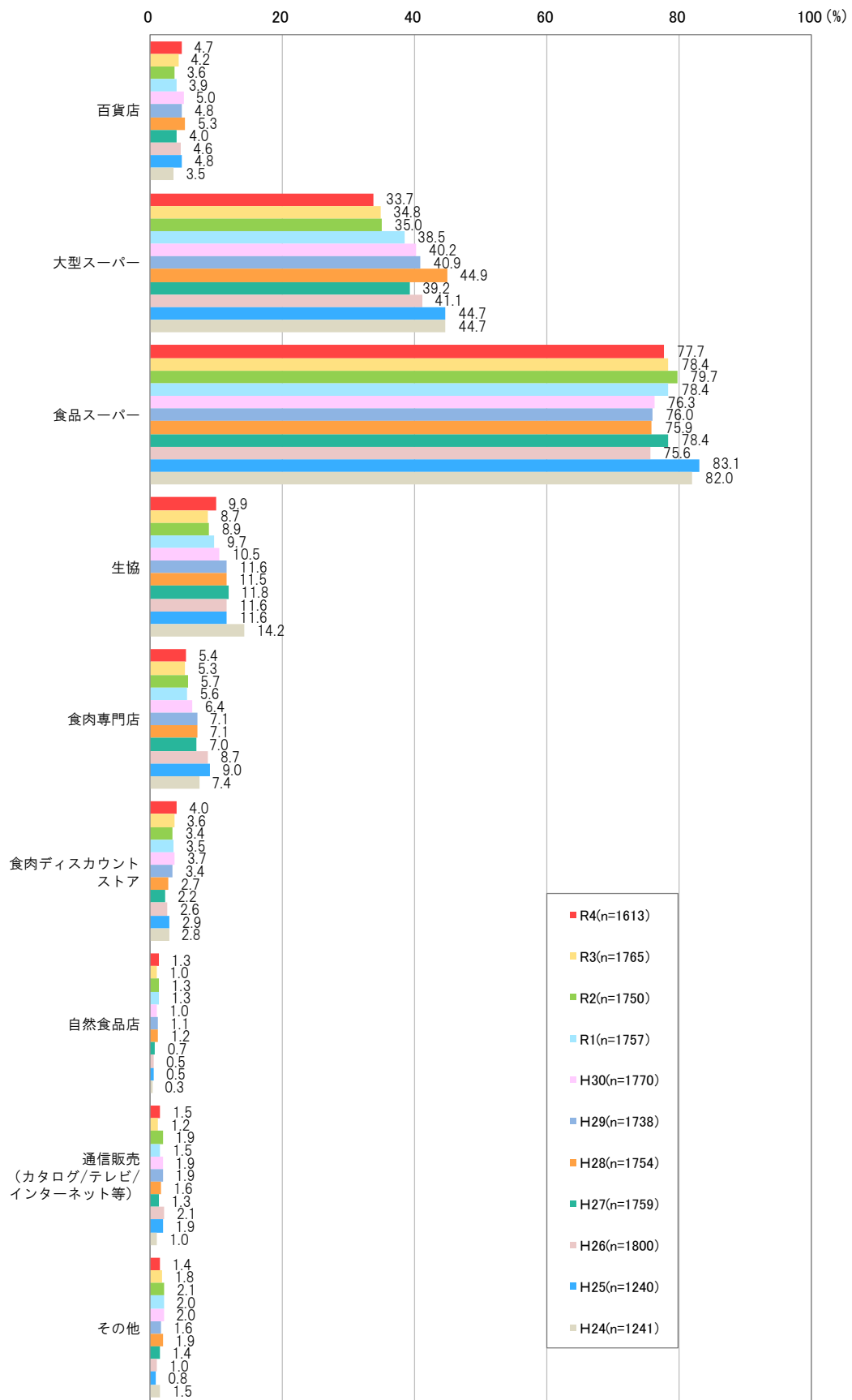
過年度調査と比較すると、牛肉、豚肉、鶏肉ともに、昨年度と同傾向だが、「大型スーパー」が減少傾向にある。



図表 102 牛肉の主な購入先（経年変化）



図表 103 豚肉の主な購入先（経年変化）



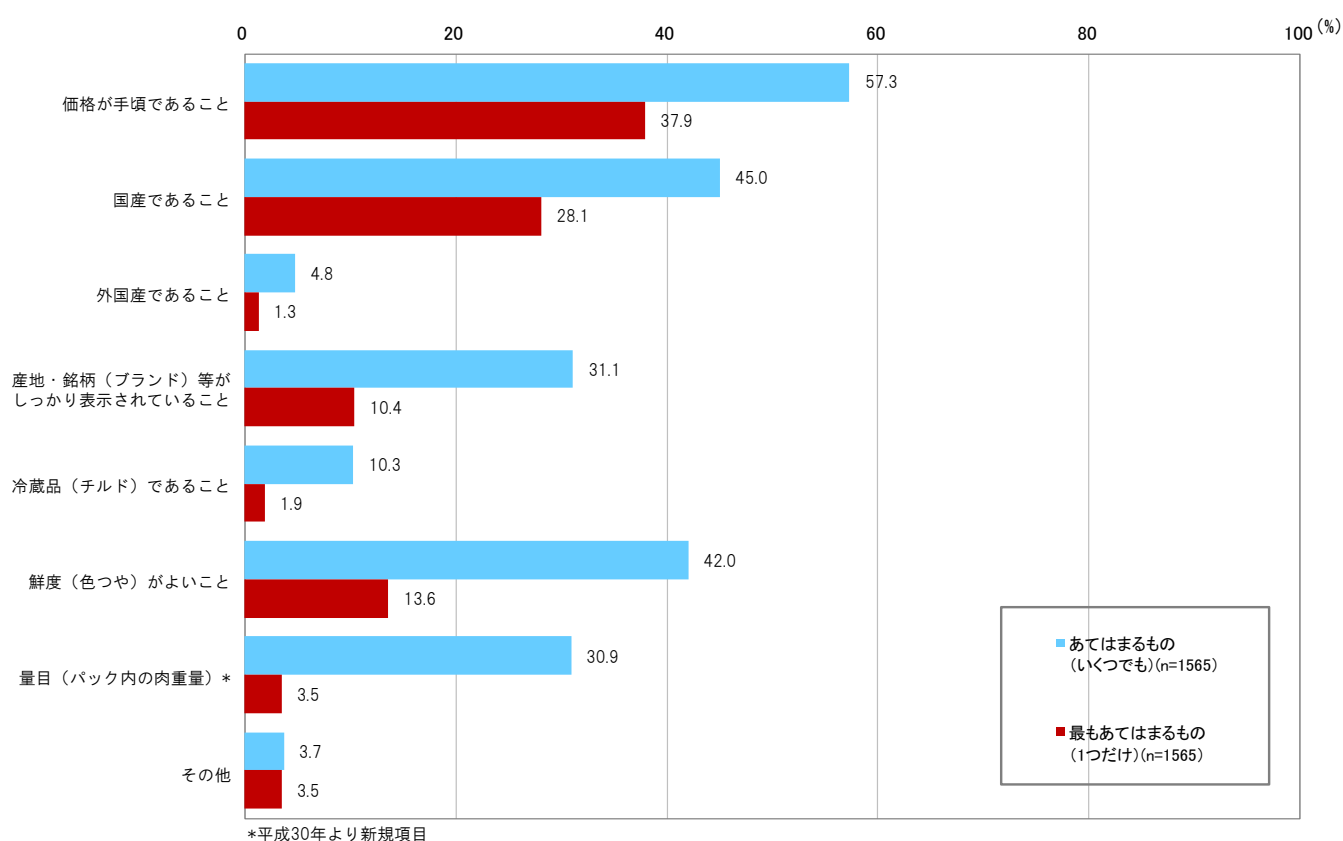
図表 104 鶏肉の主な購入先（経年変化）

## 5) 食肉購入時に重視する点 (Q8)

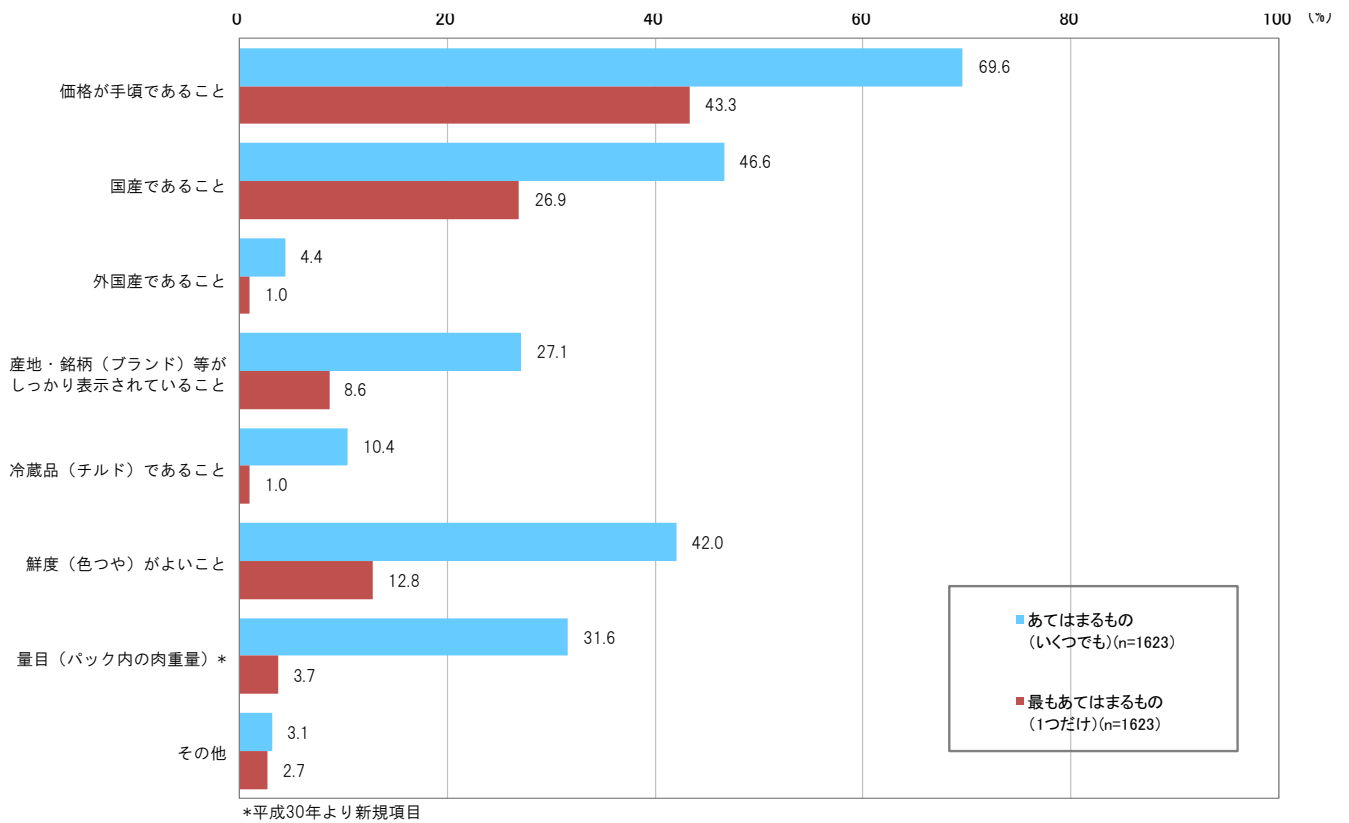
- ▶ どの食肉でも Top3 は「価格の手頃さ」「国産であること」「鮮度（色つや）がよいこと」。
- ▶ 過年度調査と比較すると、牛肉、豚肉、鶏肉のいずれも、昨年度に比べて、「国産であること」が増加。

### 【今年度調査】

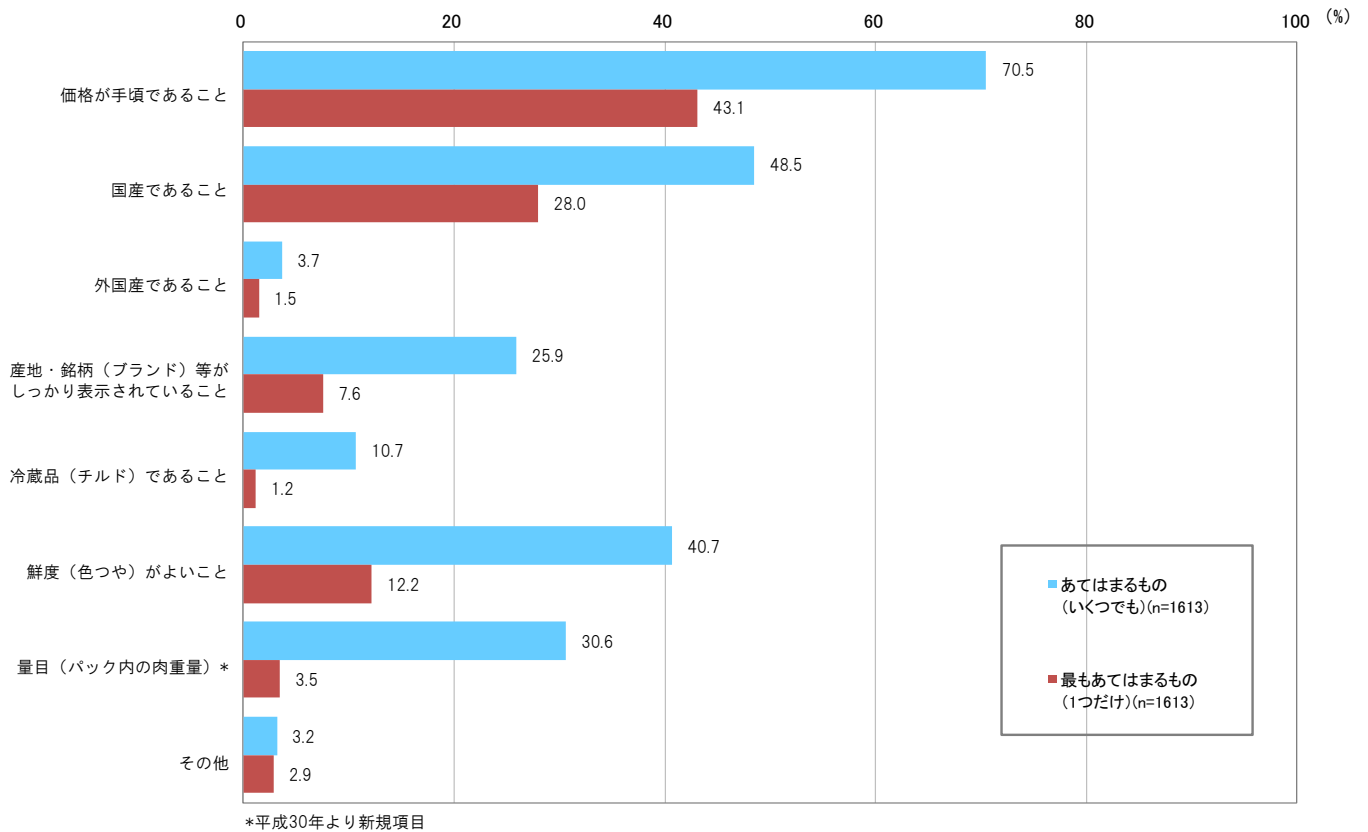
食肉購入時に重視する点（複数回答）の Top3 は、どの食肉でも同じで、「価格が手頃であること」（牛肉 57.3%、豚肉 69.6%、鶏肉 70.5%）、「国産であること」（牛肉 45.0%、豚肉 46.6%、鶏肉 48.5%）、「鮮度（色つや）がよいこと」（牛肉 42.0%、豚肉 42.0%、鶏肉 40.7%）。



図表 105 牛肉購入時に重視する項目



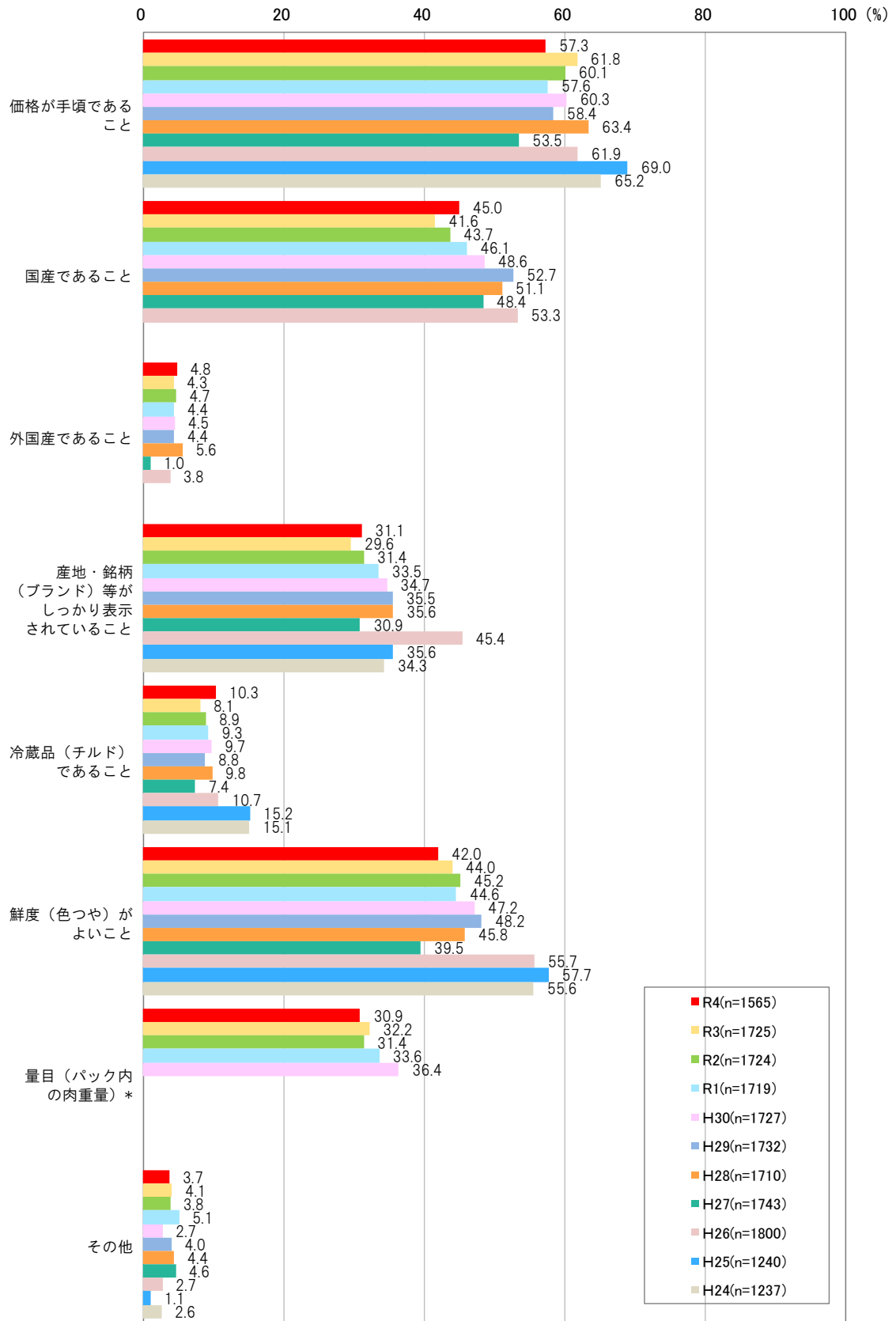
図表 106 豚肉購入時に重視する項目



図表 107 鶏肉購入時に重視する項目

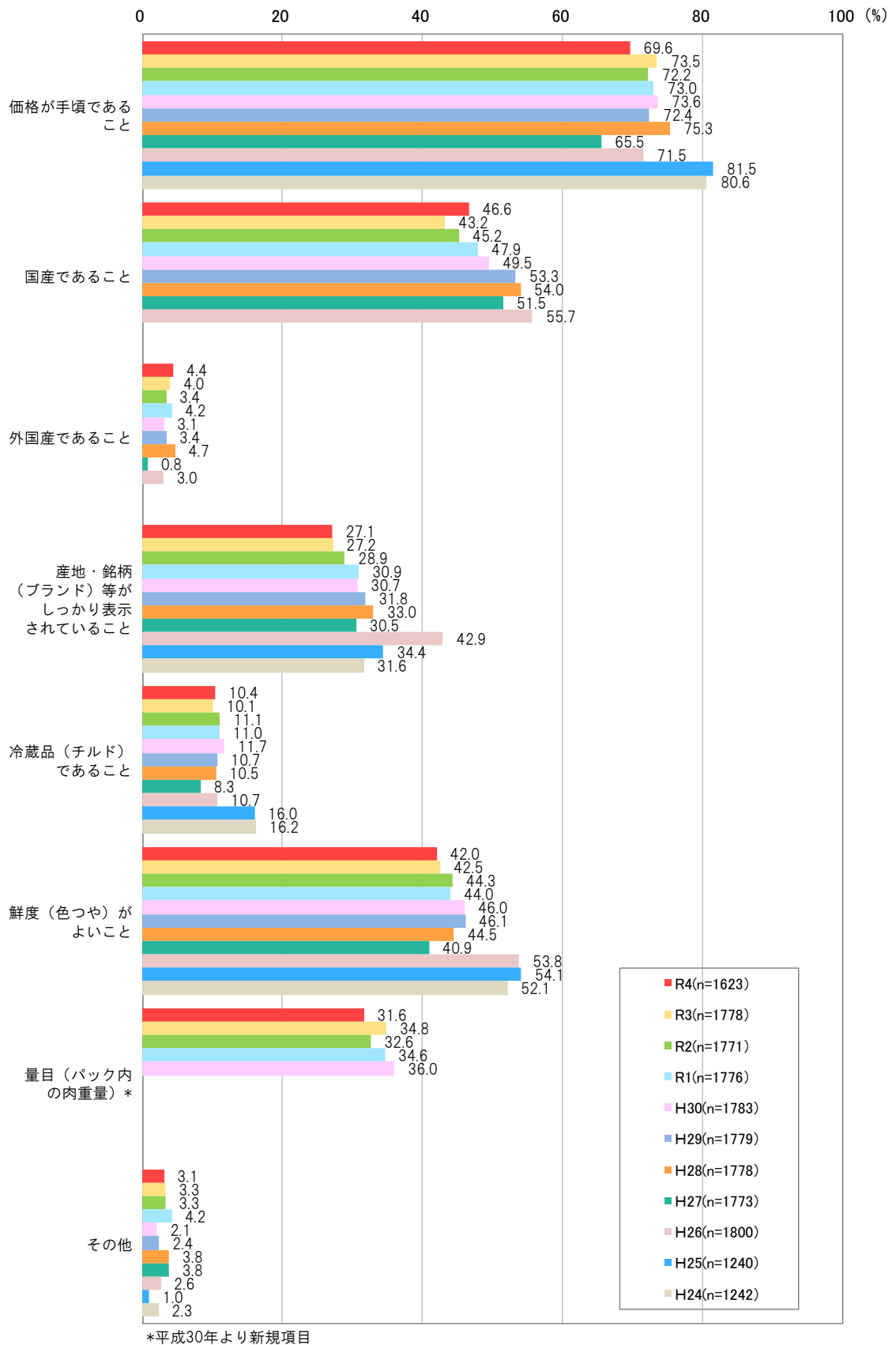
【過年度調査との比較】

過年度調査と比較すると、牛肉、豚肉、鶏肉のいずれも、昨年度に比べて、「国産であること」が増加している。

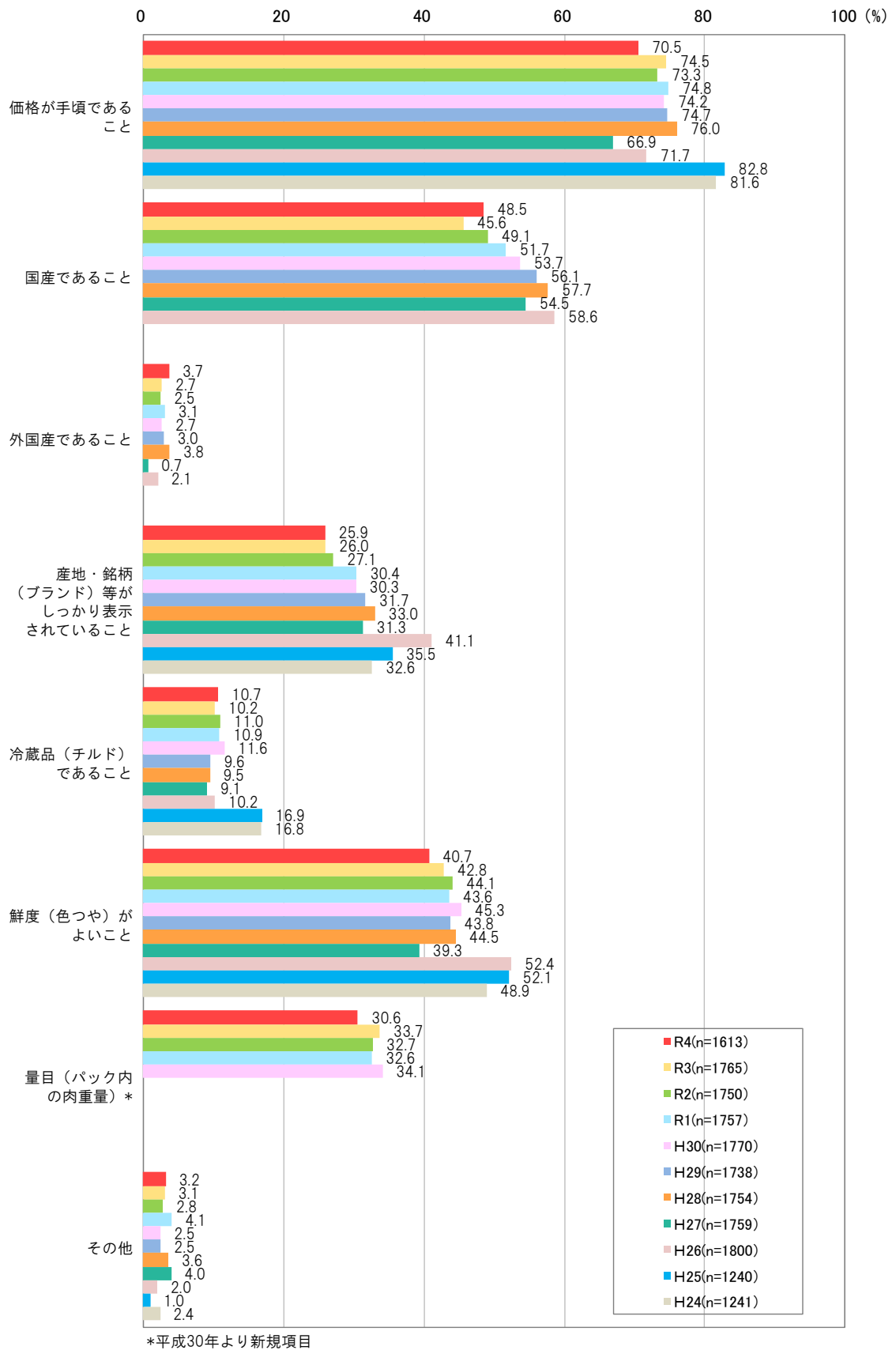


\*平成30年より新規項目

図表 108 牛肉購入時に重視する項目(経年変化)



図表 109 豚肉購入時に重視する項目（経年変化）



図表 110 鶏肉購入時に重視する項目（経年変化）



## 6) 昨年同期と比べた最近1か月の食肉購入回数の変化 (Q9)

- ▶ 食肉全体で「増えた計」は10.2%。一方「減った計」は11.6%。
- ▶ 過年度調査と比較すると、昨年度と比べて、食肉全体、食肉の種類別にみても大きな変化は見られない。

### 【今年度調査】

昨年同期と比べた最近1か月間の食肉購入回数の変化を聞いたところ、食肉全体では「増えた計（増えた+やや増えた）」は10.2%、「減った計（減った+やや減った）」は11.6%。「変わらない」は67.2%。

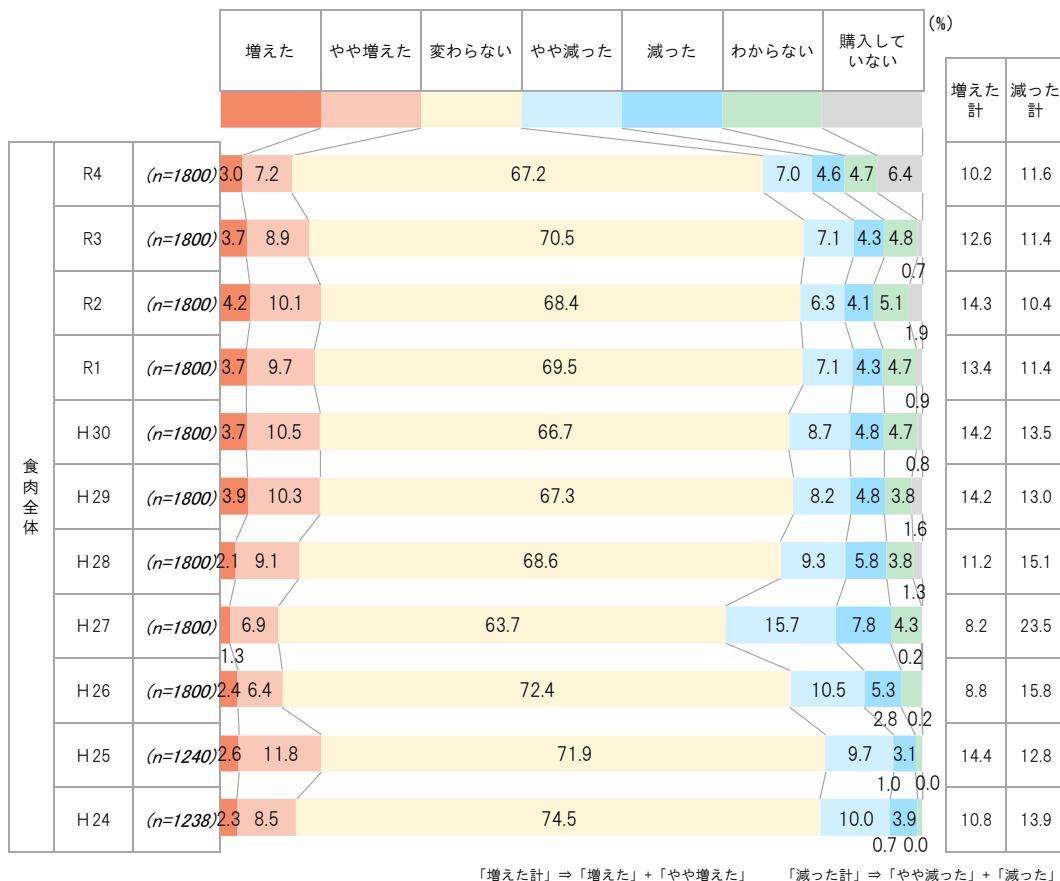
牛肉では、「増えた計」が最も多いのは国産和牛で8.0%、「減った計」は、国産和牛が16.0%、輸入牛肉が15.9%の順。

豚肉では、「増えた計」が国産豚肉で11.1%、輸入豚肉では6.9%。「減った計」は、国産豚肉で11.0%、輸入豚肉で12.4%。

鶏肉では、「増えた計」が国産鶏肉で12.3%、輸入鶏肉では6.1%。「減った計」は、国産鶏肉で10.3%、輸入鶏肉で11.9%。

### 【過年度調査との比較】

過年度調査と比較すると、昨年度と比べて、食肉全体、食肉の種類別にみても、食肉購入回数に大きな変化は見られない。



図表 111 昨年同期と比べた最近1か月の食肉購入回数の変化 (食肉全体)

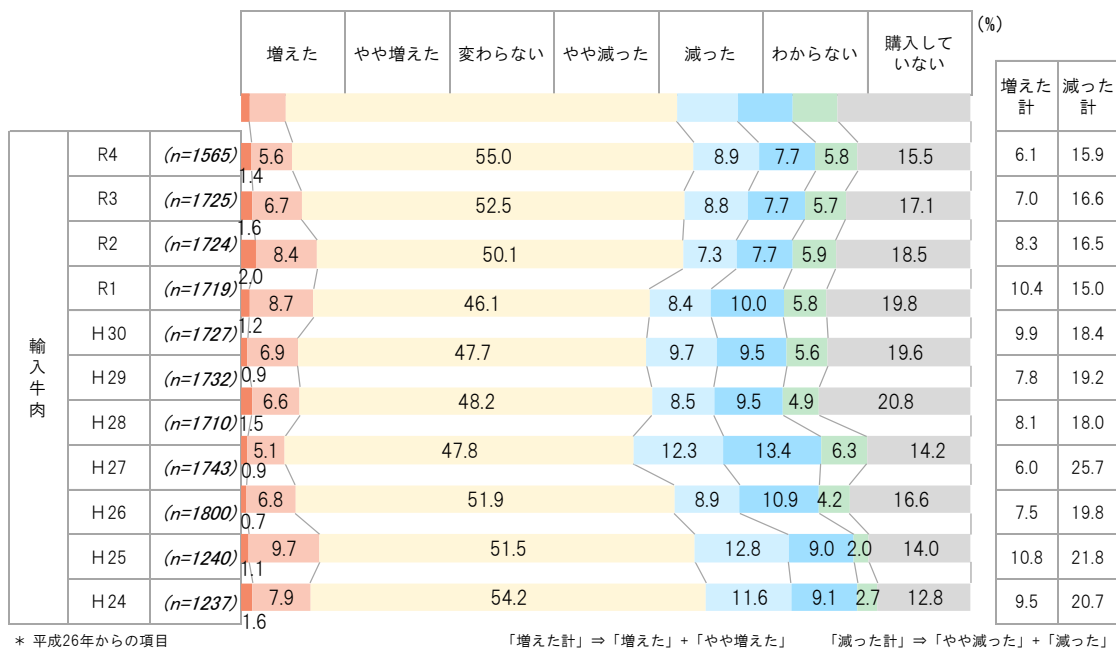
		増えた							やや増えた	変わらない	やや減った	減った	わからない		購入していない	(%)	
		増えた	やや増えた	変わらない	やや減った	減った	わからない	わからない	購入していない	増えた計	減った計						
国産和牛	R4	(n=1565)	6.6	1.4	59.0	8.9	7.1	5.5	11.4	8.0	16.0						
	R3	(n=1725)	7.2	1.4	60.2	8.2	6.9	5.4	10.7	8.6	15.1						
	R2	(n=1724)	7.4	1.6	59.5	7.5	6.4	6.0	11.6	9.0	13.9						
	R1	(n=1719)	6.7	1.7	58.8	9.1	8.2	5.6	9.7	8.4	17.3						
	H30	(n=1727)	7.1	1.6	55.3	10.7	10.5	5.4	9.4	8.7	21.2						
	H29	(n=1732)	7.4	1.8	56.5	10.1	9.5	4.2	10.6	9.2	19.6						
	H28	(n=1710)	6.7	1.6	57.1	10.8	10.0	4.3	9.5	8.3	20.8						
	H27	(n=1743)	4.3	1.2	58.2	14.9	13.5	4.6	3.2	5.5	28.4						
	H26	(n=1800)	5.3	2.1	62.8	11.5	10.9	3.7	3.8	7.4	22.4						
	H25	(n=1240)	7.7	1.8	58.5	13.1	10.0	2.3	6.5	9.5	23.1						
	H24	(n=1237)	5.9	1.1	63.0	10.2	11.2	2.5	6.1	7.0	21.4						
和牛以外の国産牛肉	R4	(n=1565)	5.0	1.5	60.6	8.2	7.2	5.8	11.8	6.5	15.4						
	R3	(n=1725)	4.6	1.6	63.8	8.1	6.5	6.7	8.8	6.2	14.6						
	R2	(n=1724)	5.3	1.3	60.7	8.5	5.7	6.7	11.7	6.6	14.2						
	R1	(n=1719)	5.6	1.5	59.6	8.7	7.5	6.4	10.7	7.1	16.2						
	H30	(n=1727)	6.1	1.3	56.2	9.4	10.2	6.7	10.1	7.4	19.6						
	H29	(n=1732)	6.1	0.9	57.7	10.7	8.8	5.4	10.4	7.0	19.5						
	H28	(n=1710)	4.5	1.1	57.9	10.6	9.9	5.8	10.2	5.6	20.5						
	H27	(n=1743)	2.6	0.8	59.0	15.6	12.9	5.3	3.7	3.4	28.5						
	H26	(n=1800)	5.1	0.9	62.1	11.1	9.4	5.2	6.2	6.0	20.5						
	H25	(n=1240)	5.6	1.0	63.4	13.1	8.9	2.9	5.1	6.6	22.0						
	H24	(n=1237)	4.6	0.3	65.8	11.2	9.7	3.6	4.8	4.9	20.9						
和牛かどうかわからない国産牛肉*	R4	(n=1565)	3.5	1.3	55.2	7.0	6.6	7.3	19.0	4.8	13.6						
	R3	(n=1725)	3.9	1.3	57.5	7.0	6.0	8.4	15.9	5.2	13.0						
	R2	(n=1724)	4.1	1.2	55.6	7.3	6.2	7.5	18.2	5.3	13.5						
	R1	(n=1719)	4.1	1.4	52.6	6.9	6.5	8.3	20.2	5.5	13.4						
	H30	(n=1727)	4.3	1.1	49.4	8.3	9.6	8.4	18.9	5.4	17.9						
	H29	(n=1732)	3.4	1.0	50.9	10.4	8.3	8.0	18.1	4.4	18.7						
	H28	(n=1710)	3.2	0.9	52.6	9.1	8.5	7.5	18.2	4.1	17.6						
	H27	(n=1743)	2.2	0.5	50.9	12.9	13.7	8.6	11.2	2.7	26.6						
	H26	(n=1800)	3.3	0.6	54.6	9.4	10.1	7.1	14.9	3.9	19.5						

\* 平成26年からの項目

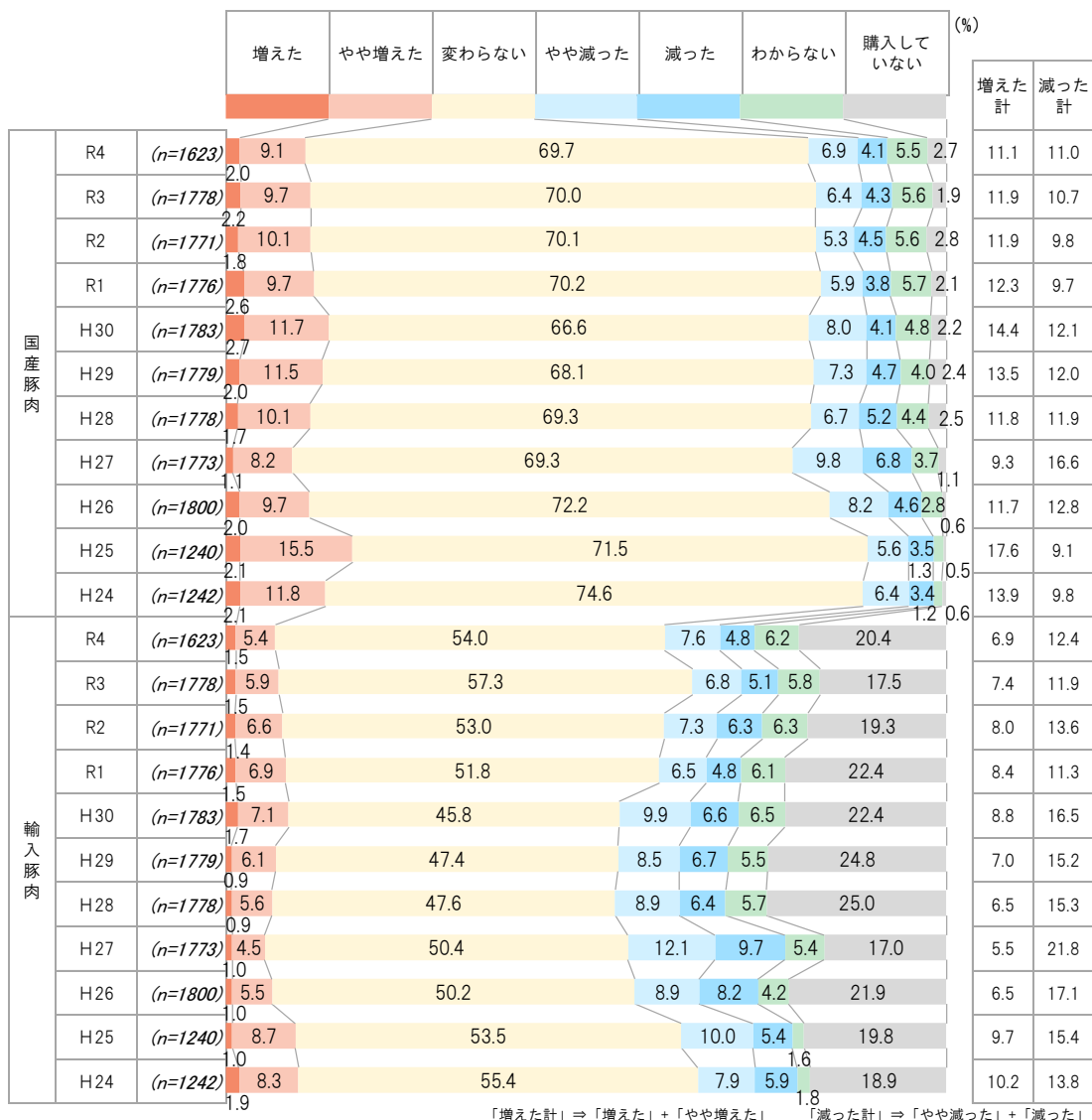
「増えた計」⇒「増えた」+「やや増えた」

「減った計」⇒「やや減った」+「減った」

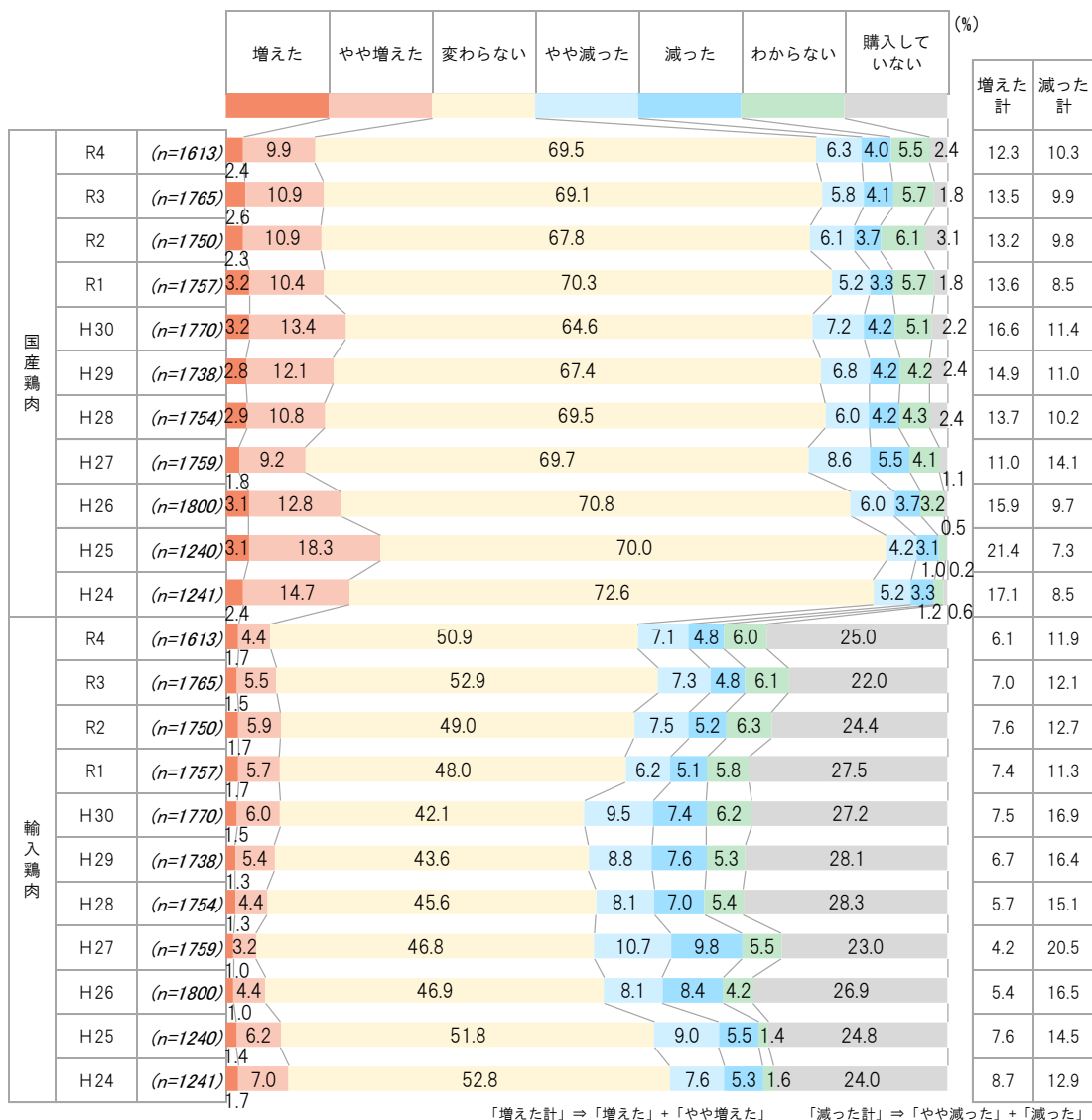
図表 112 昨年同期と比べた最近1か月の食肉購入回数の変化（国産牛肉）



図表 113 昨年同期と比べた最近1か月の食肉購入回数の変化（輸入牛肉）



図表 114 昨年同期と比べた最近1か月の食肉購入回数の変化（豚肉全体）



図表 115 昨年同期と比べた最近1か月の食肉購入回数の変化（鶏肉全体）

## 7) 食品の購入回数の変化 (Q10)

- 最近1か月間の購入回数が「増えた食品」は、「野菜」16.0%、「米」15.1%、「パン」14.1%、「冷凍食品」13.6%、「卵」13.2%、「果物」12.2%。逆に、「減った食品」は、「ファストフード」17.4%、「インスタント麺（カップ麺・袋麺等）」15.8%、「菓子類」13.8%、「弁当・惣菜類」12.9%。
- 過年度調査と比較すると、昨年度より「増えた食品」はないが、「減った食品」では、「パン」「菓子類」が微増。

### 【今年度調査】

昨年同期と比べて最近1か月間の購入回数が「増えた食品」は、「野菜」16.0%、「米」15.1%、「パン」14.1%、「冷凍食品」13.6%、「卵」13.2%、「果物」12.2%の順に多く、次いで「牛乳」11.4%、「菓子類」11.4%、「インスタント麺（カップ麺・袋麺等）」10.2%が続く。増えたものは「いずれもない」が54.7%である。

逆に、最近1か月間の購入回数が「減った食品」は、「ファストフード」17.4%、「インスタント麺（カップ麺・袋麺等）」15.8%、「菓子類」13.8%、「弁当・惣菜類」12.9%の順に多い。減ったものは「いずれもない」が55.5%である。

「増えた計」と「減った計」の差分で見ると、増加率の方が多い食品は、「野菜」9.3%、「卵」8.9%、「米」6.3%、「冷凍食品」6.3%である。逆に、減少率の方が多い食品は、「ファストフード」-11.8%、「インスタント麺（カップ麺・袋麺等）」-5.6%、「弁当・惣菜類」-5.1%、「菓子類」-2.4%、「食肉加工品」-1.8%である。

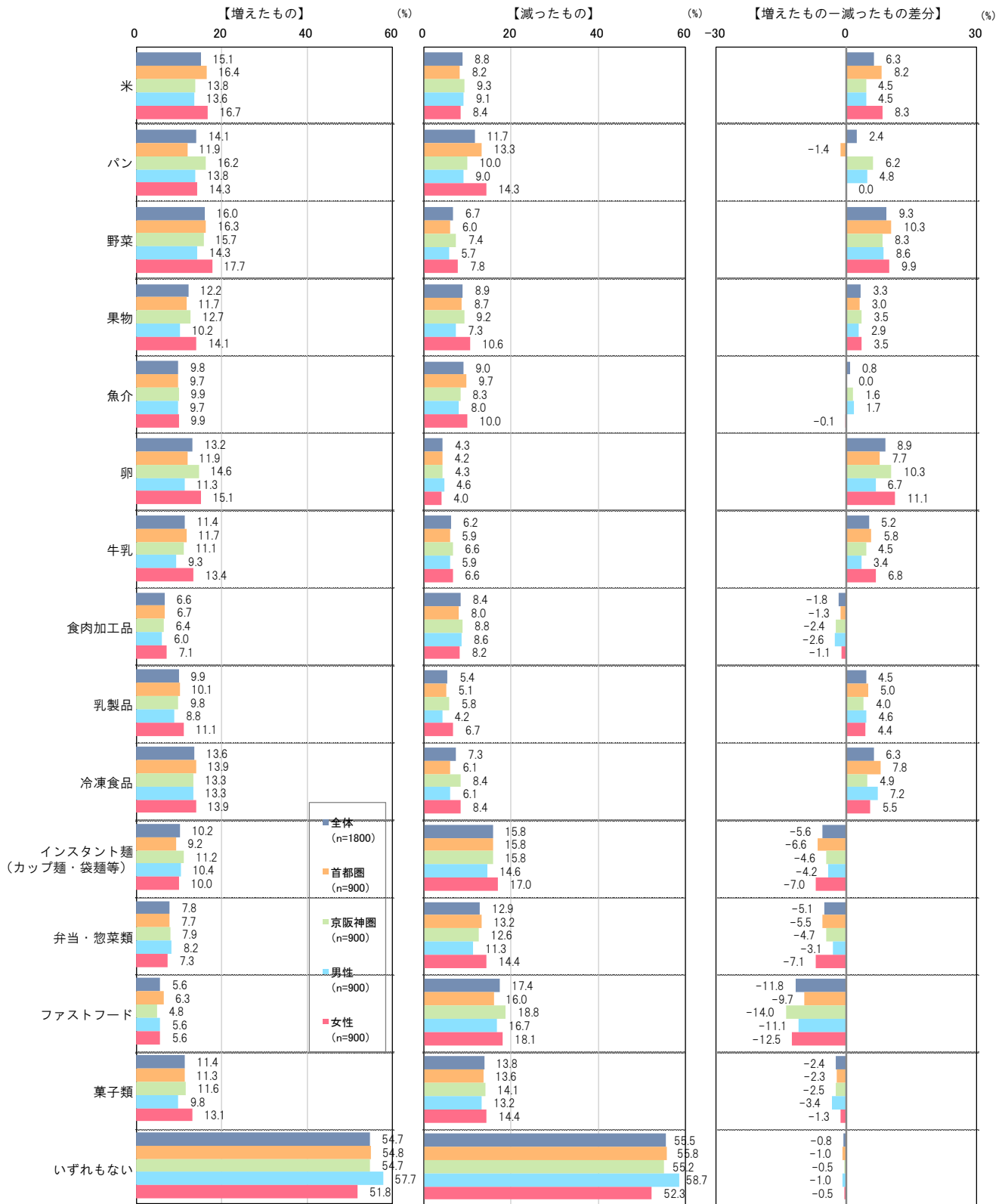
エリア別に見ると、「増えた食品」では、「パン」（首都圏11.9%<京阪神圏16.2%）は首都圏より京阪神圏の方が多い。「減った食品」では、逆に、「パン」（首都圏13.3%>京阪神圏10.0%）は京阪神圏より首都圏の方が多い。

男女別に見ると、「増えた食品」では、「牛乳」（男性9.3%<女性13.4%）、「卵」（男性11.3%<女性15.1%）、「菓子類」（男性9.8%<女性13.1%）、「米」（男性13.6%<女性16.7%）が男性より女性の方が多くなっている。「減った食品」では、「パン」（男性9.0%<女性14.3%）、「野菜」（男性5.7%<女性7.8%）では男性より女性の方が多い。

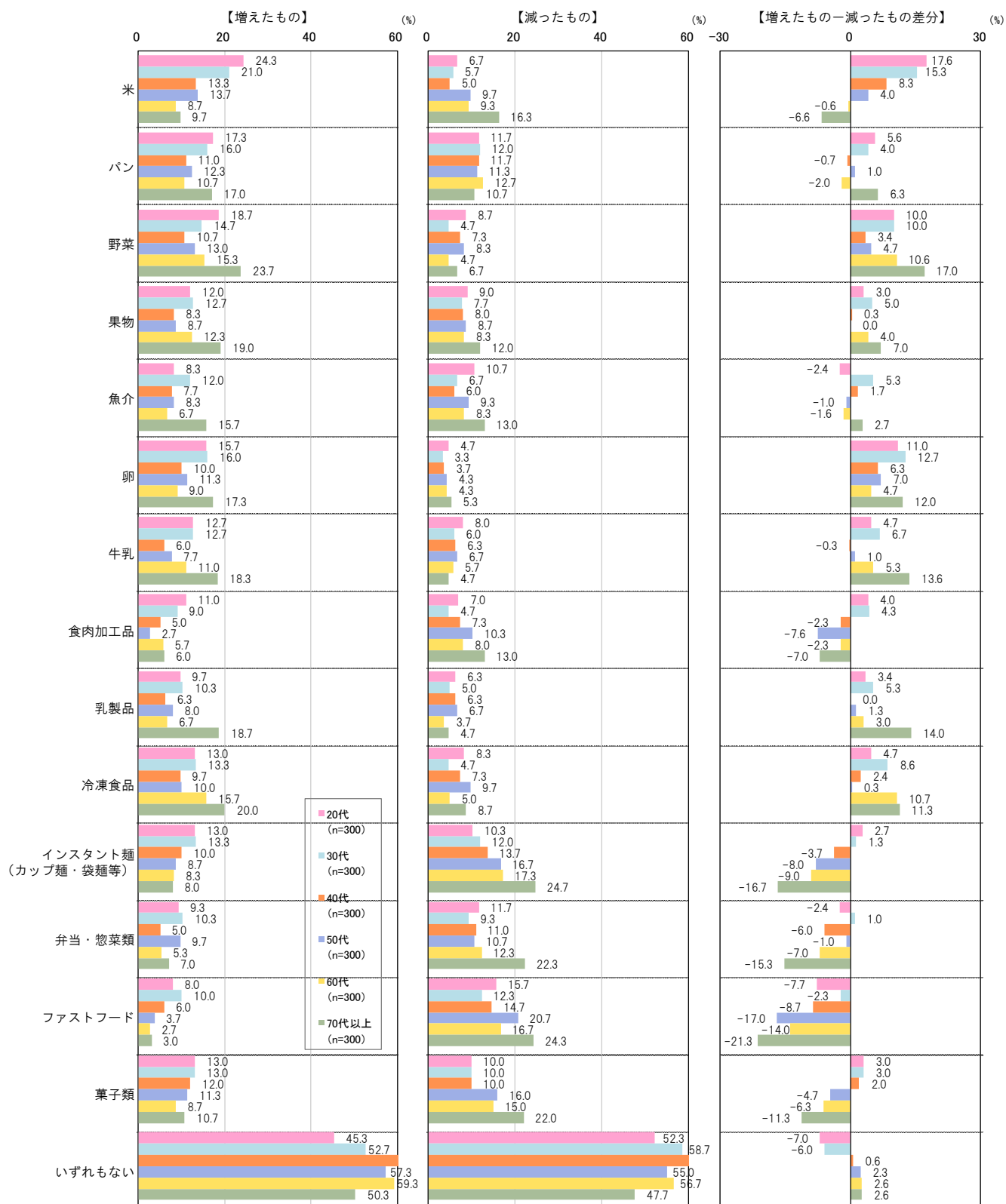
年代別に見ると、「増えた食品」では、「米」は若い世代の方が多くなっており、「パン」「野菜」「果物」「卵」「牛乳」「乳製品」「冷凍食品」は70代以上で多くなっている。一方、「減った食品」では、「米」「インスタント麺（カップ麺・袋麺等）」「弁当・惣菜類」「ファストフード」「菓子類」は70代以上で最も多くなっている。30～60代は、「増えた食品」「減った食品」とともに、「いずれもない」が多くなっている。

### 【過年度調査との比較】

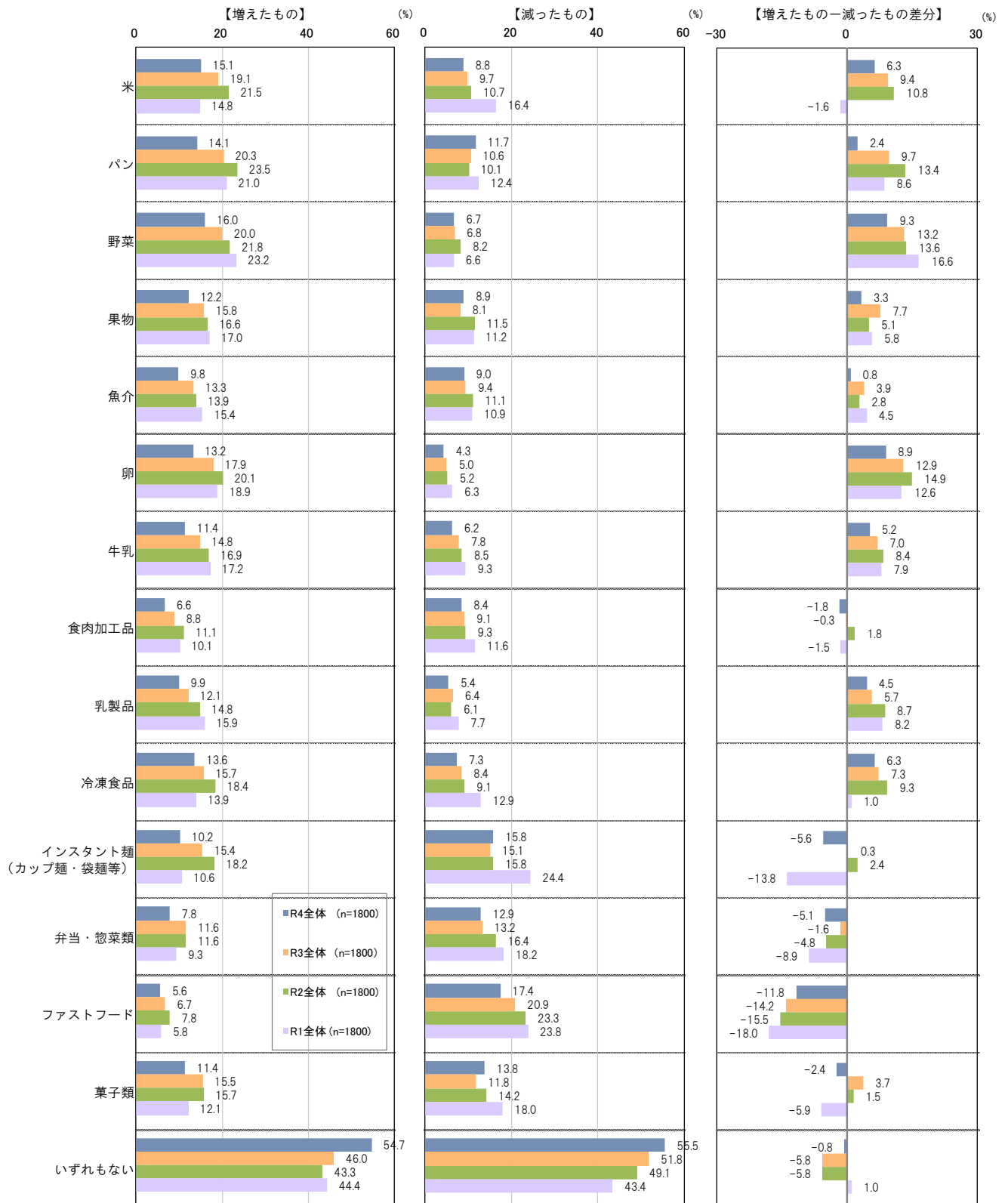
過年度調査と比較すると、昨年度より「増えた食品」はないが、「減った食品」では、「パン」「菓子類」が僅かに増えている。



図表 116 昨年同期と比べた最近1か月の食品購入回数の変化  
(全体・エリア・性別/複数回答)



図表 117 昨年同期と比べた最近1か月の食品購入回数の変化（年代別／複数回答）



図表 118 昨年同期と比べた最近1か月の食品購入回数の変化（経年変化）



## 8) 各種牛肉の購入意向 (Q11)

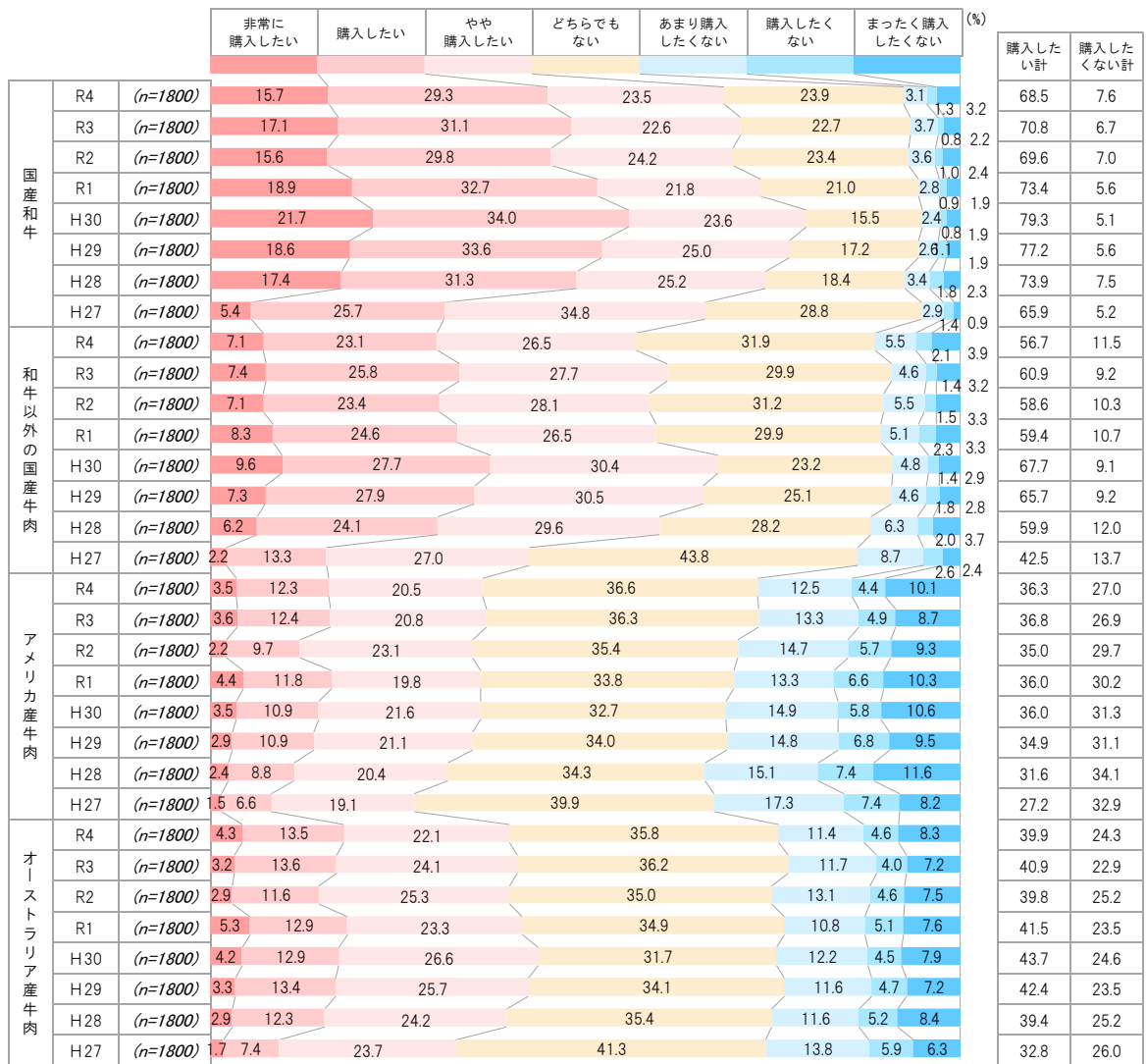
- ▶ 牛肉の購入意向は、「国産和牛」が最も高く **68.5%**。次いで「和牛以外の国産牛肉」が **56.7%**。
- ▶ 過年度調査と比較すると、「国産和牛」「和牛以外の国産牛肉」「アメリカ産牛肉」「オーストラリア産牛肉」いずれも大きな変化なし。

### 【今年度調査】

「購入したい（非常に購入したい+購入したい+やや購入したい）」では、「国産和牛」が **68.5%**、「和牛以外の国産牛肉」が **56.7%**の順で高い。一方で「購入したくない（あまり購入したくない+購入したくない+まったく購入したくない）」は、「アメリカ産牛肉」が **27.0%**、「オーストラリア産牛肉」が **24.3%**の順で高い。

### 【過年度調査との比較】

過年度調査と比較すると、「国産和牛」「和牛以外の国産牛肉」「アメリカ産牛肉」「オーストラリア産牛肉」いずれも大きな変化は見られない。



「購入したい計」=「非常に購入したい」+「購入したい」+「やや購入したい」/「購入したくない計」=「あまり購入したくない」+「購入したくない」+「まったく購入したくない」

図表 119 各種牛肉の購入意向

## 9) 各種牛肉の購入頻度 (Q12)

- ▶ 各種牛肉の購入頻度は、「週に1日以上購入計」では、国産和牛 24.6% > 和牛以外の国産牛肉 20.1% > 和牛かどうかわからない国産牛肉 15.4% > アメリカ産牛肉 13.6% > オーストラリア産牛肉 13.5% の順に多い。
- ▶ 過年度調査と比較すると、昨年度と比べて、各種牛肉の購入頻度に大きな変化は見られない。

### 【今年度調査】

各種牛肉の購入頻度は、国産和牛は、「ほぼ毎日」が 1.6%、「週に4~5日程度」が 1.9%、「週に2~3日」が 6.6%、「週に1日程度」が 14.5%であり、「週に1日以上購入計」が 24.6%となっており、「購入していない」が 12.8%である。

和牛以外の国産牛肉の購入頻度は、「ほぼ毎日」が 1.2%、「週に4~5日程度」が 1.3%、「週に2~3日」が 5.0%、「週に1日程度」が 12.6%であり、「週に1日以上購入計」が 20.1%となっており、「購入していない」が 14.8%である。

和牛かどうかわからない国産牛肉の購入頻度は、「ほぼ毎日」が 0.8%、「週に4~5日程度」が 1.3%、「週に2~3日」が 3.7%、「週に1日程度」が 9.6%であり、「週に1日以上購入計」が 15.4%となっており、「購入していない」が 28.4%である。

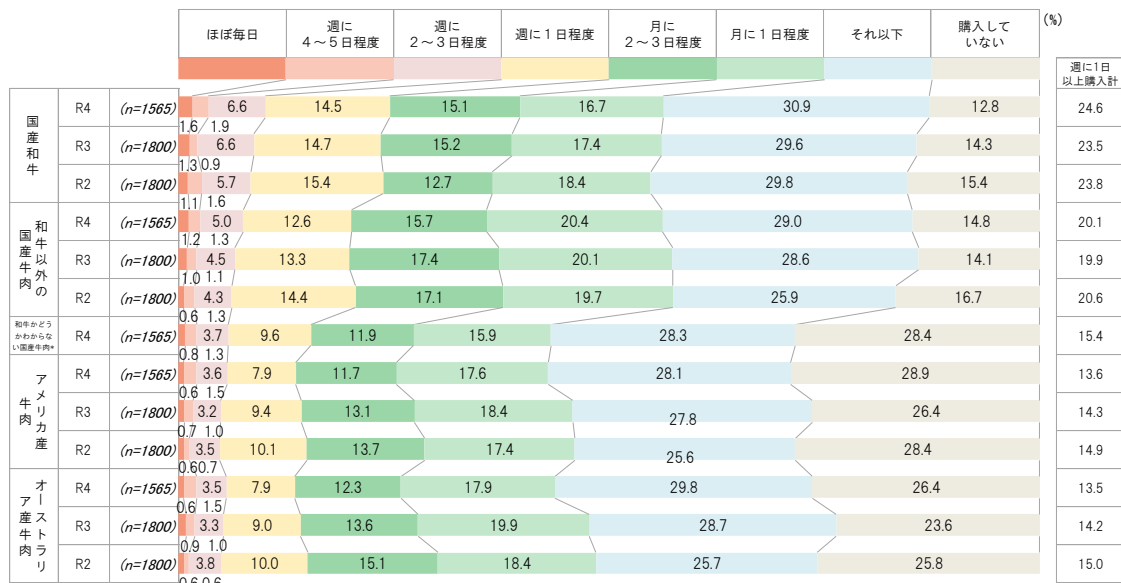
アメリカ産牛肉の購入頻度は、「ほぼ毎日」が 0.6%、「週に4~5日程度」が 1.5%、「週に2~3日」が 3.6%、「週に1日程度」が 7.9%であり、「週に1日以上購入計」が 13.6%となっており、「購入していない」が 28.9%である。

オーストラリア産牛肉の購入頻度は、「ほぼ毎日」が 0.6%、「週に4~5日程度」が 1.5%、「週に2~3日」が 3.5%、「週に1日程度」が 7.9%であり、「週に1日以上購入計」が 13.5%となっており、「購入していない」が 26.4%である。

各種牛肉の購入頻度を「週に1日以上購入計」で見ると、国産和牛 24.6% > 和牛以外の国産牛肉 20.1% > 和牛かどうかわからない国産牛肉 15.4% > アメリカ産牛肉 13.6% > オーストラリア産牛肉 13.5% の順に多くなっている。

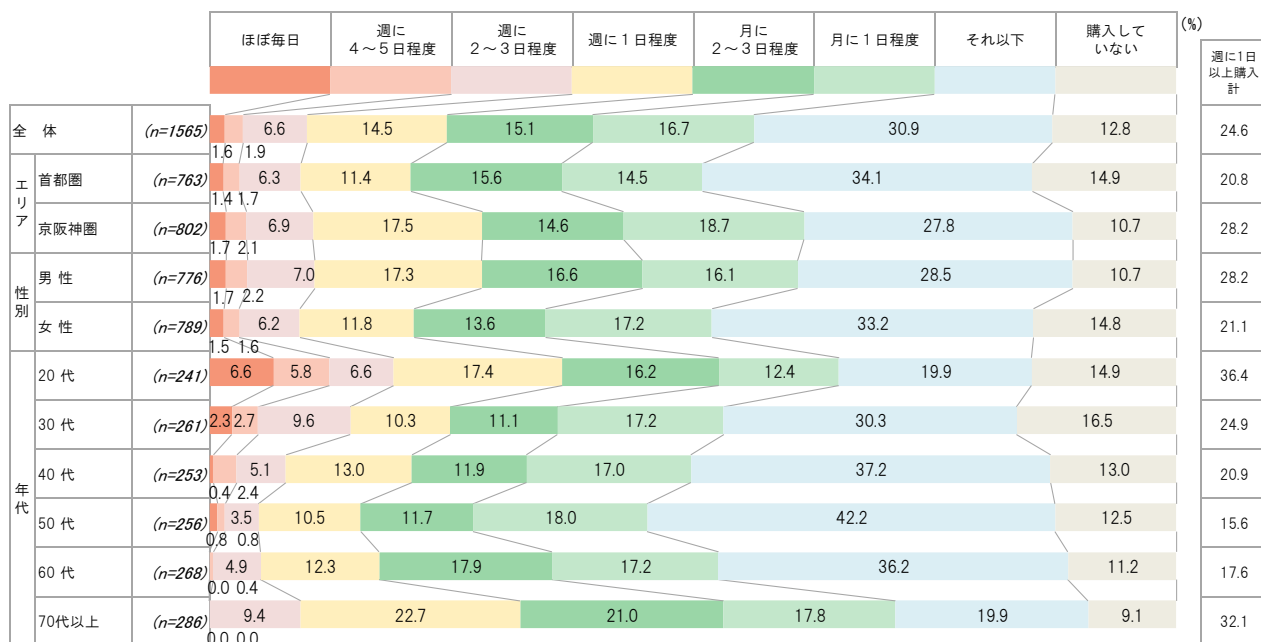
### 【過年度調査との比較】

過年度調査と比較すると、昨年度と比べて、各種牛肉の購入頻度に大きな変化は見られない。



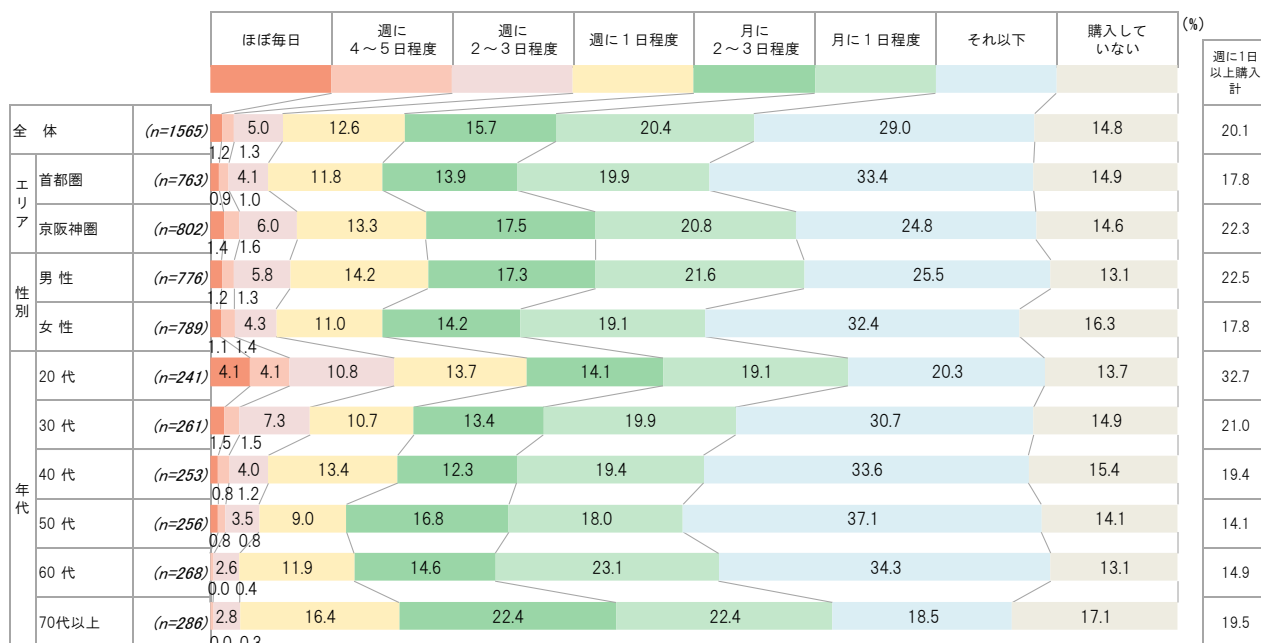
R4年度よりQ6購入頻度の「購入していない」を除いたn数  
 \*「和牛かどうか分からない国産牛肉」R4年度よりの新規項目  
 週に1日以上購入⇒「ほぼ毎日」+「週に4～5日程度」+「週に2～3日程度」+「週に1日程度」

図表 120 国産和牛／和牛以外の国産牛肉と輸入牛肉の購入頻度（経年変化）



R4年度よりQ6購入頻度の「購入していない」を除いたn数  
 週に1回以上購入⇒「ほぼ毎日」+「週に4～5日程度」+「週に2～3日程度」+「週に1日程度」

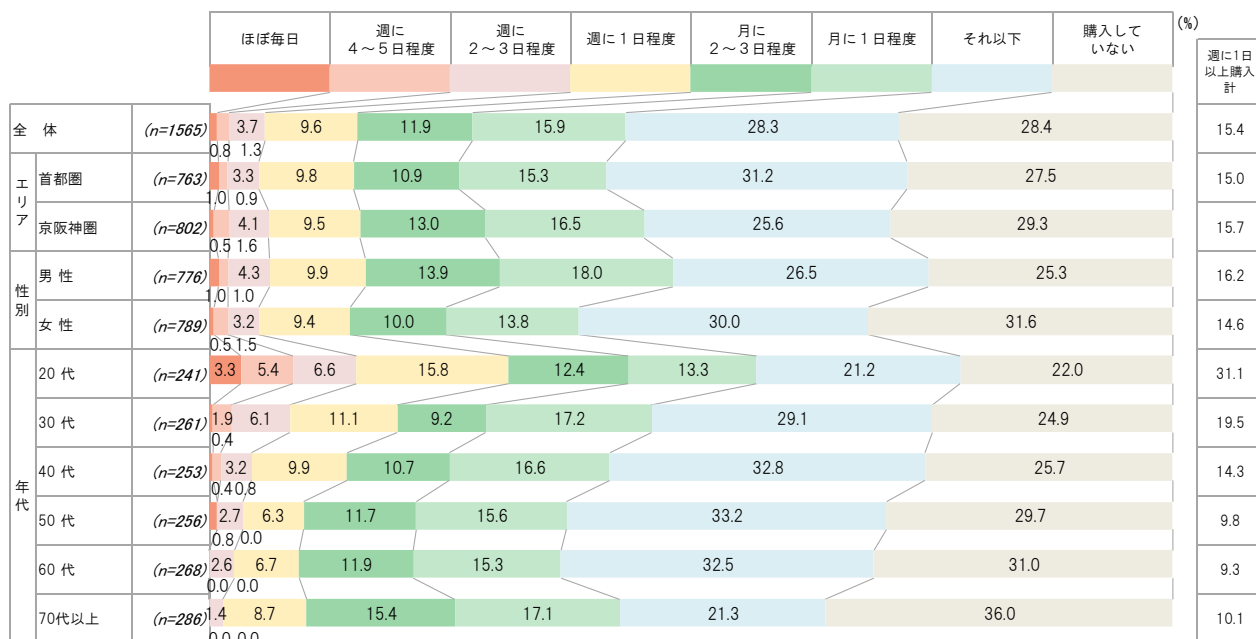
図表 121 国産和牛の購入頻度



R4年度よりQ6購入頻度の「購入していない」を除いたn数

週に1回以上購入⇒「ほぼ毎日」+「週に4~5日程度」+「週に2~3日程度」+「週に1日程度」

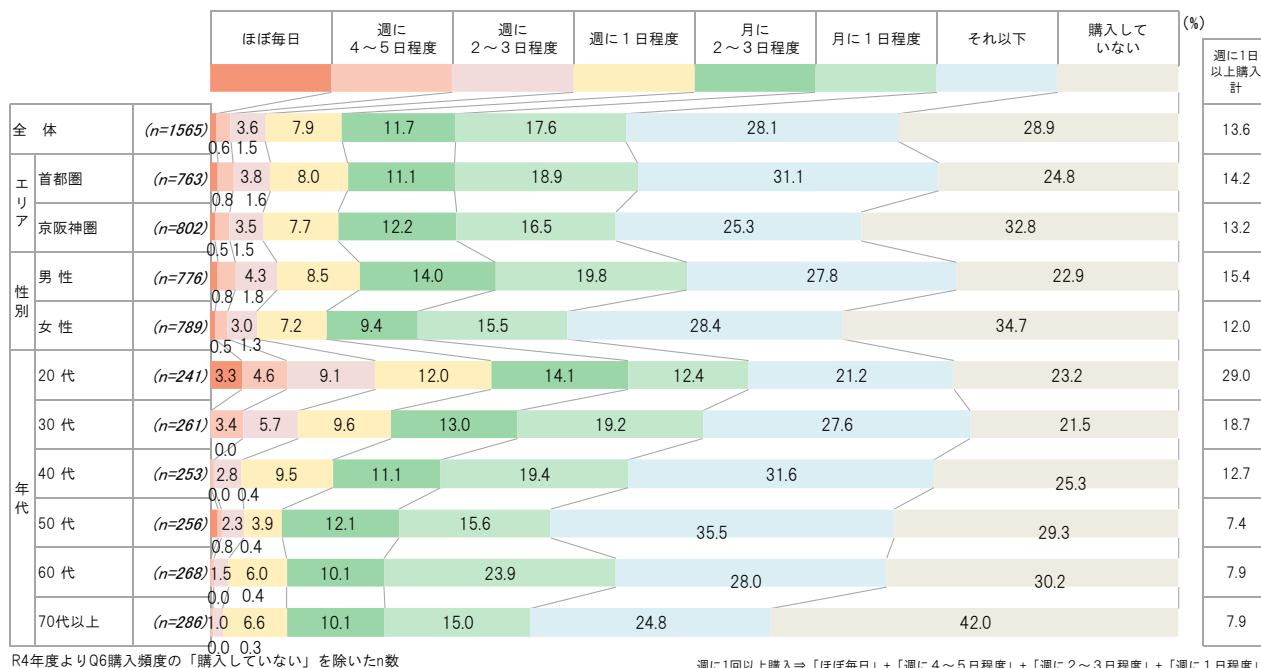
図表 122 和牛以外の国産牛肉の購入頻度



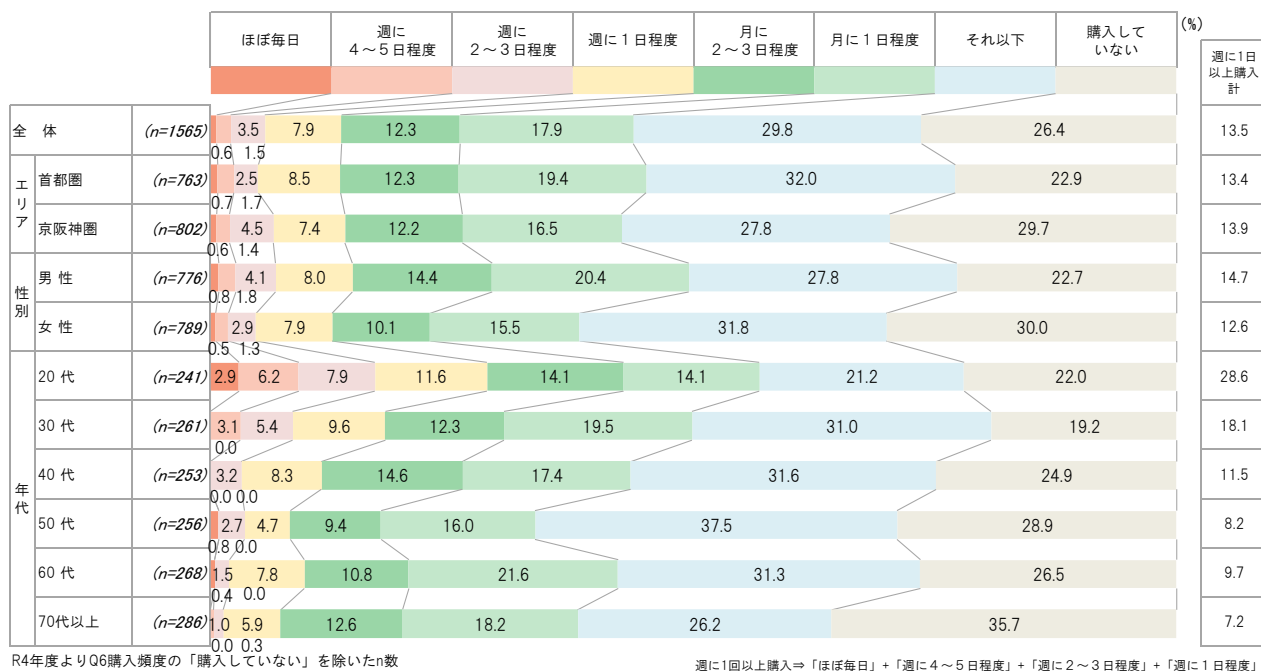
R4年度よりQ6購入頻度の「購入していない」を除いたn数

週に1回以上購入⇒「ほぼ毎日」+「週に4~5日程度」+「週に2~3日程度」+「週に1日程度」

図表 123 和牛かどうか分からない国産牛肉の購入頻度



図表 124 アメリカ産牛肉の購入頻度



図表 125 オーストラリア産牛肉の購入頻度

## 10) 各種牛肉のイメージ (Q13)

- ▶ 国産和牛は、「高級」「おいしい」「贅沢感がある」「高品質」「霜降り」「安全・安心」「柔らかい」「和食に合う」「飼育環境がよい」「赤身がおいしい」「シニア向き」と11のイメージ項目で最もイメージが高く、高いイメージ評価。
- ▶ 和牛以外の国産牛肉は、国産和牛に次いで、「おいしい」「安全・安心」「和食に合う」といったイメージが高い。
- ▶ アメリカ産牛肉・オーストラリア産牛肉は、「価格が手頃」「特売」「洋食に合う」「若者向き」「赤身が多い」といったイメージが高い。

### 【今年度調査】

16のイメージ項目について、あてはまると思う牛肉（複数回答）を聞いた。

国産和牛は、「高級」73.2%、「おいしい」71.7%、「贅沢感がある」69.9%、「高品質」68.2%、「霜降り」67.7%、「安全・安心」65.1%、「柔らかい」63.2%、「和食に合う」52.9%、「飼育環境がよい」51.9%、「赤身がおいしい」36.7%、「シニア向き」33.4%と11のイメージ項目で、他の牛肉に比して最もイメージが高く、高いイメージ評価を得ている。

和牛以外の国産牛肉は、国産和牛に次いで、「おいしい」34.8%、「安全・安心」32.6%、「和食に合う」26.4%といったイメージが高くなっている。

アメリカ産牛肉は、「価格が手頃」52.9%、「特売」42.6%、「洋食に合う」36.7%、「若者向き」33.9%、「赤身が多い」30.7%といったイメージが高くなっている。

オーストラリア産牛肉は、アメリカ産牛肉と同じく、「価格が手頃」55.3%、「特売」39.8%、「洋食に合う」32.8%、「若者向き」27.9%、「赤身が多い」27.5%といったイメージが高くなっている。

(%)

			国産和牛	和牛以外の 国産牛肉	アメリカ産牛肉	オーストラリア産 牛肉	あてはまる ものはない
食感	柔らかい	(n=1800)	63.2	20.0	8.3	7.3	24.7
部位・ 栄養素	霜降り	(n=1800)	67.7	12.8	5.2	2.9	22.8
	赤身が多い	(n=1800)	19.6	15.6	30.7	27.5	35.6
品質	安全・安心	(n=1800)	65.1	32.6	10.3	10.8	24.4
	高品質	(n=1800)	68.2	16.8	7.0	6.6	21.5
品質・ア ニマルウェ ルフェア	飼育環境がよい	(n=1800)	51.9	17.3	8.4	10.1	35.3
価格	高級	(n=1800)	73.2	11.7	5.2	4.2	17.5
	価格が手頃	(n=1800)	5.8	18.3	52.9	55.3	23.7
	特売	(n=1800)	8.2	19.8	42.6	39.8	33.1
味・ 風味	おいしい	(n=1800)	71.7	34.8	21.3	20.7	17.7
	赤身がおいしい	(n=1800)	36.7	22.0	20.3	19.2	34.1
利便性	和食に合う	(n=1800)	52.9	26.4	8.3	7.4	33.3
	洋食に合う	(n=1800)	29.7	21.8	36.7	32.8	34.3
情緒	贅沢感がある	(n=1800)	69.9	12.9	6.7	4.9	20.2
	シニア向き	(n=1800)	33.4	15.8	6.9	6.2	49.4
	若者向き	(n=1800)	10.6	12.8	33.9	27.9	44.9

図表 126 各種牛肉のイメージ

(%)

		食感	部位・栄養素		品質		品質 -アニマルウェルフェア	価格		
		柔らかい	霜降り	赤身が多い	安全・安心	高品質	飼育環境がよい	高級	価格が手頃	特売
R4 全体	(n=1800)	63.2	67.7	19.6	65.1	68.2	51.9	73.2	5.8	8.2
エリア	首都圏 (n=900)	61.2	67.4	17.2	63.4	67.2	52.1	72.6	6.2	7.0
	京阪神圏 (n=900)	65.1	67.9	21.9	66.7	69.2	51.8	73.9	5.4	9.3
性別	男性 (n=900)	60.6	67.7	16.1	61.4	65.3	48.9	71.1	5.4	8.2
	女性 (n=900)	65.8	67.7	23.0	68.7	71.1	55.0	75.3	6.2	8.1
年代	20代 (n=300)	47.7	47.7	23.0	48.3	50.7	38.3	52.7	11.0	12.0
	30代 (n=300)	53.7	54.7	21.0	58.7	59.7	49.0	65.0	7.7	8.3
	40代 (n=300)	55.3	60.3	17.3	55.3	61.0	43.7	69.3	5.3	9.7
	50代 (n=300)	71.3	76.3	19.0	72.3	77.7	56.7	80.7	4.0	5.7
	60代 (n=300)	72.0	81.3	16.0	71.7	75.7	58.7	82.7	4.0	5.3
	70代以上 (n=300)	79.0	85.7	21.0	84.0	84.7	65.3	89.0	3.0	8.0

		味・風味		利便性		情緒		
		おいしい	赤身がおいしい	和食に合う	洋食に合う	贅沢感がある	シニア向き	若者向き
R4 全体	(n=1800)	71.7	36.7	52.9	29.7	69.9	33.4	10.6
エリア	首都圏 (n=900)	69.4	34.8	53.0	29.7	68.8	30.8	10.2
	京阪神圏 (n=900)	74.0	38.6	52.8	29.8	71.0	36.1	10.9
性別	男性 (n=900)	69.6	33.1	50.8	29.1	67.0	29.2	10.6
	女性 (n=900)	73.9	40.2	55.0	30.3	72.8	37.7	10.6
年代	20代 (n=300)	53.7	33.7	36.3	24.0	47.7	25.7	15.7
	30代 (n=300)	62.7	32.0	45.0	24.0	63.0	22.7	12.3
	40代 (n=300)	67.3	34.3	50.0	28.3	65.0	26.0	11.3
	50代 (n=300)	77.7	41.7	57.7	31.3	79.3	38.0	7.7
	60代 (n=300)	80.0	34.3	59.3	31.3	79.3	38.0	7.7
	70代以上 (n=300)	89.0	44.0	69.0	39.3	85.0	50.3	8.7

図表 127 国産和牛のイメージ



(%)

		食感	部位・栄養素			品質		品質 ・アミノ酸・ヘルプ	価格		
		柔らかい	霜降り	赤身が多い	安全・安心	高品質	飼育環境がよい	高級	価格が手頃	特売	
R4	全体 (n=1800)	20.0	12.8	15.6	32.6	16.8	17.3	11.7	18.3	19.8	
エリア	首都圏 (n=900)	20.6	13.0	14.6	32.8	17.8	17.3	11.9	18.1	18.7	
	京阪神圏 (n=900)	19.4	12.6	16.7	32.4	15.9	17.2	11.6	18.6	21.0	
性別	男性 (n=900)	21.7	14.2	15.4	32.9	16.3	17.3	10.9	19.9	20.1	
	女性 (n=900)	18.3	11.3	15.8	32.3	17.3	17.2	12.6	16.8	19.6	
年代	20代 (n=300)	22.0	16.7	18.0	28.3	20.3	19.0	17.3	23.3	20.0	
	30代 (n=300)	20.3	14.3	14.7	32.0	20.0	20.0	14.0	16.0	16.3	
	40代 (n=300)	16.0	10.3	13.0	27.3	19.3	13.7	15.0	13.3	15.7	
	50代 (n=300)	22.0	15.0	12.7	34.0	15.0	17.0	9.3	14.3	18.0	
	60代 (n=300)	19.3	8.7	16.7	34.3	12.3	16.7	6.7	19.7	23.3	
	70代以上 (n=300)	20.3	11.7	18.7	39.7	14.0	17.3	8.0	23.3	25.7	

		味・風味		利便性		情緒		
		おいしい	赤身がおいしい	和食に合う	洋食に合う	贅沢感がある	シニア向き	若者向き
R4	全体 (n=1800)	34.8	22.0	26.4	21.8	12.9	15.8	12.8
エリア	首都圏 (n=900)	34.7	20.1	26.8	22.0	12.8	15.8	13.6
	京阪神圏 (n=900)	35.0	23.9	26.1	21.7	13.0	15.8	12.0
性別	男性 (n=900)	35.8	20.9	27.2	24.1	13.8	16.8	12.7
	女性 (n=900)	33.9	23.1	25.7	19.6	12.0	14.8	12.9
年代	20代 (n=300)	35.0	22.0	26.7	16.0	16.7	17.7	18.7
	30代 (n=300)	37.0	19.0	23.3	18.0	15.0	11.3	11.7
	40代 (n=300)	35.7	19.3	25.3	22.3	17.0	12.7	12.7
	50代 (n=300)	35.7	23.0	29.3	22.3	11.7	13.7	10.3
	60代 (n=300)	32.3	24.0	26.7	24.7	9.7	17.7	8.0
	70代以上 (n=300)	33.3	24.7	27.3	27.7	7.3	21.7	15.3

図表 128 和牛以外の国産牛肉のイメージ

(%)

		食感	部位・栄養素			品質		品質 ・アニマルウェルフェア	価格		
		柔らかい	霜降り	赤身が多い	安全・安心	高品質	飼育環境がよい	高級	価格が手頃	特売	
R4	全体 (n=1800)	8.3	5.2	30.7	10.3	7.0	8.4	5.2	52.9	42.6	
エリア	首都圏 (n=900)	7.3	5.2	31.9	11.1	5.7	9.0	5.3	52.1	43.8	
	京阪神圏 (n=900)	9.2	5.2	29.6	9.4	8.3	7.9	5.1	53.7	41.3	
性別	男性 (n=900)	8.2	6.0	33.6	12.4	7.8	11.8	6.1	50.8	38.7	
	女性 (n=900)	8.3	4.4	27.9	8.1	6.2	5.1	4.3	55.0	46.4	
年代	20代 (n=300)	12.7	9.7	24.7	9.7	11.3	9.7	13.0	37.0	29.7	
	30代 (n=300)	11.3	7.3	28.0	11.0	10.7	8.3	6.0	52.0	39.7	
	40代 (n=300)	9.3	7.7	31.7	10.7	9.0	9.7	7.3	51.0	39.0	
	50代 (n=300)	3.3	2.7	35.0	9.3	4.0	7.0	2.7	58.0	46.3	
	60代 (n=300)	8.0	3.0	34.7	11.0	5.0	9.0	1.7	61.7	48.3	
	70代以上 (n=300)	5.0	1.0	30.3	10.0	2.0	7.0	0.7	57.7	52.3	

		味・風味		利便性		情緒		
		おいしい	赤身がおいしい	和食に合う	洋食に合う	驚沢感がある	シニア向き	若者向き
R4	全体 (n=1800)	21.3	20.3	8.3	36.7	6.7	6.9	33.9
エリア	首都圏 (n=900)	22.3	22.2	9.2	40.4	6.2	7.8	35.0
	京阪神圏 (n=900)	20.2	18.3	7.4	33.0	7.2	6.1	32.8
性別	男性 (n=900)	26.1	23.8	10.2	37.4	7.3	8.8	31.7
	女性 (n=900)	16.4	16.8	6.4	36.0	6.1	5.1	36.1
年代	20代 (n=300)	25.3	19.7	10.3	27.0	14.0	11.7	21.7
	30代 (n=300)	24.7	22.3	10.3	31.0	10.7	7.3	22.3
	40代 (n=300)	26.3	21.7	11.0	34.7	7.3	9.0	30.0
	50代 (n=300)	18.0	19.7	5.7	42.3	4.0	3.0	41.3
	60代 (n=300)	17.7	19.7	6.7	44.0	3.0	5.7	42.0
	70代以上 (n=300)	15.7	18.7	6.0	41.3	1.3	5.0	46.0

図表 129 アメリカ産牛肉のイメージ

(%)

			食感		部位・栄養素		品質		品質 ・アニマルウェルフェア		価格		
			柔らかい	霜降り	赤身が多い	安全・安心	高品質	飼育環境がよい	高級	価格が手頃	特売		
R4 全体	(n=1800)	7.3	2.9	27.5	10.8	6.6	10.1	4.2	55.3	39.8			
エリア	首都圏	(n=900)	7.2	2.6	28.9	11.1	6.7	10.3	4.1	54.7	41.4		
	京阪神圏	(n=900)	7.4	3.3	26.1	10.6	6.4	9.9	4.3	56.0	38.2		
性別	男性	(n=900)	8.1	3.8	29.3	12.4	7.3	12.1	4.9	53.1	36.2		
	女性	(n=900)	6.6	2.1	25.7	9.2	5.8	8.1	3.6	57.6	43.4		
年代	20代	(n=300)	9.7	5.7	17.3	11.7	11.0	9.7	7.3	35.7	28.7		
	30代	(n=300)	9.0	5.0	23.7	9.0	8.7	8.7	7.0	51.3	37.0		
	40代	(n=300)	6.7	3.3	25.3	10.0	7.0	9.7	6.3	51.3	35.0		
	50代	(n=300)	5.3	1.7	36.7	10.0	5.7	10.3	1.7	61.7	43.7		
	60代	(n=300)	6.7	1.3	33.3	12.0	3.7	11.3	2.0	68.3	49.0		
	70代以上	(n=300)	6.7	0.7	28.7	12.3	3.3	11.0	1.0	63.7	45.7		

		味・風味		利便性		情緒			
		おいしい	赤身がおいしい	和食に合う	洋食に合う	贅沢感がある	シニア向き	若者向き	
R4 全体	(n=1800)	20.7	19.2	7.4	32.8	4.9	6.2	27.9	
エリア	首都圏	(n=900)	21.8	21.3	7.4	35.8	4.7	6.6	28.3
	京阪神圏	(n=900)	19.7	17.1	7.3	29.9	5.2	5.9	27.4
性別	男性	(n=900)	22.4	20.7	8.8	34.4	6.0	7.6	25.7
	女性	(n=900)	19.0	17.8	6.0	31.2	3.9	4.9	30.1
年代	20代	(n=300)	19.0	17.0	9.7	24.0	9.7	7.7	17.0
	30代	(n=300)	23.3	18.3	6.3	29.7	6.7	5.0	21.7
	40代	(n=300)	21.7	19.0	10.0	31.0	5.7	6.0	24.0
	50代	(n=300)	20.7	21.7	4.7	36.0	3.7	4.7	34.7
	60代	(n=300)	20.0	21.3	7.7	40.7	2.7	8.7	36.3
	70代以上	(n=300)	19.7	18.0	6.0	35.7	1.3	5.3	33.7

図表 130 オーストラリア産牛肉のイメージ

## 11) 国産和牛肉の輸入牛肉に対する価格許容度 (Q14)

- ▶ 「割高でも国産和牛肉を選ぶ」割合は全体の 51.0%。
- ▶ 「同等の価格なら国産和牛肉を選ぶ」の割合が最も高く、19.7%。
- ▶ 過年度調査と比較すると、「割高でも国産和牛肉を選ぶ」割合は昨年度より減少しており、「国産和牛肉へのこだわりはない」が増加。

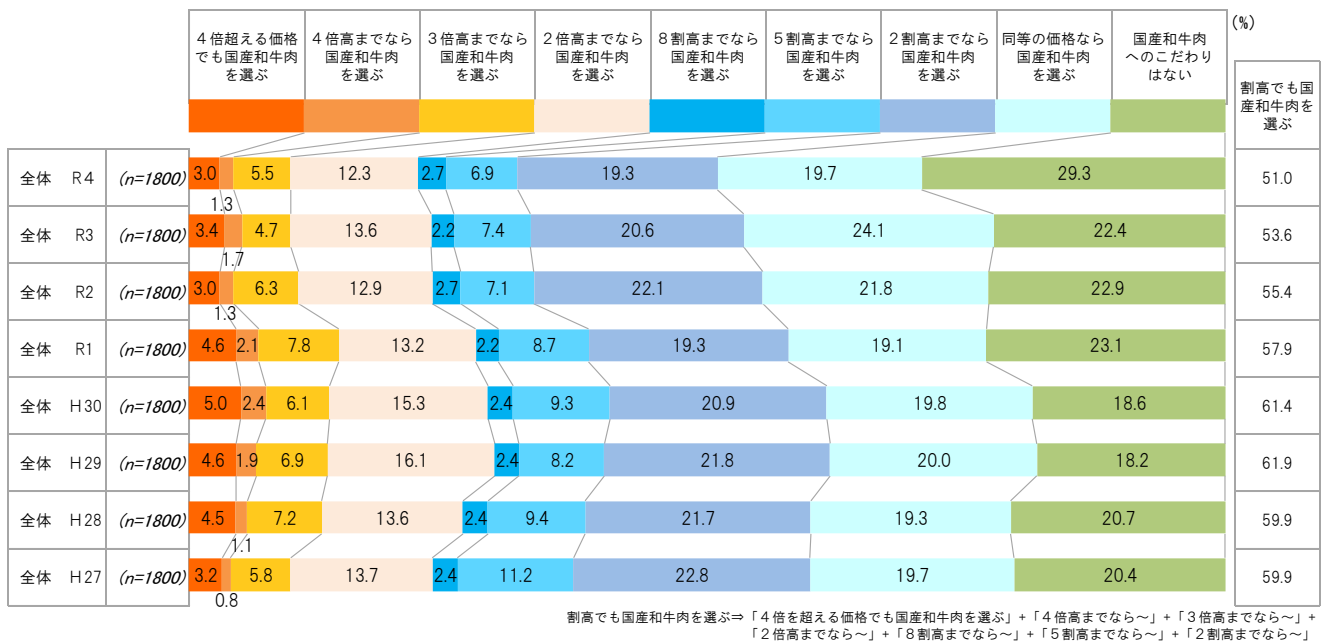
### 【今年度調査】

輸入牛肉と比べ「割高でも国産和牛肉を選ぶ（「4倍を超える価格でも国産和牛肉を選ぶ」～「2割高までなら国産和牛肉を選ぶ」）」割合は 51.0%。

特に「同等の価格なら国産和牛肉を選ぶ」が 19.7%、「2割高までなら国産和牛肉を選ぶ」が 19.3%の順で高く、合わせて全体の 39.0%を占める。

### 【過年度調査との比較】

過年度調査と比較すると、「割高でも国産和牛肉を選ぶ」割合は昨年度より減少しており、「国産和牛肉へのこだわりはない」が増加している。

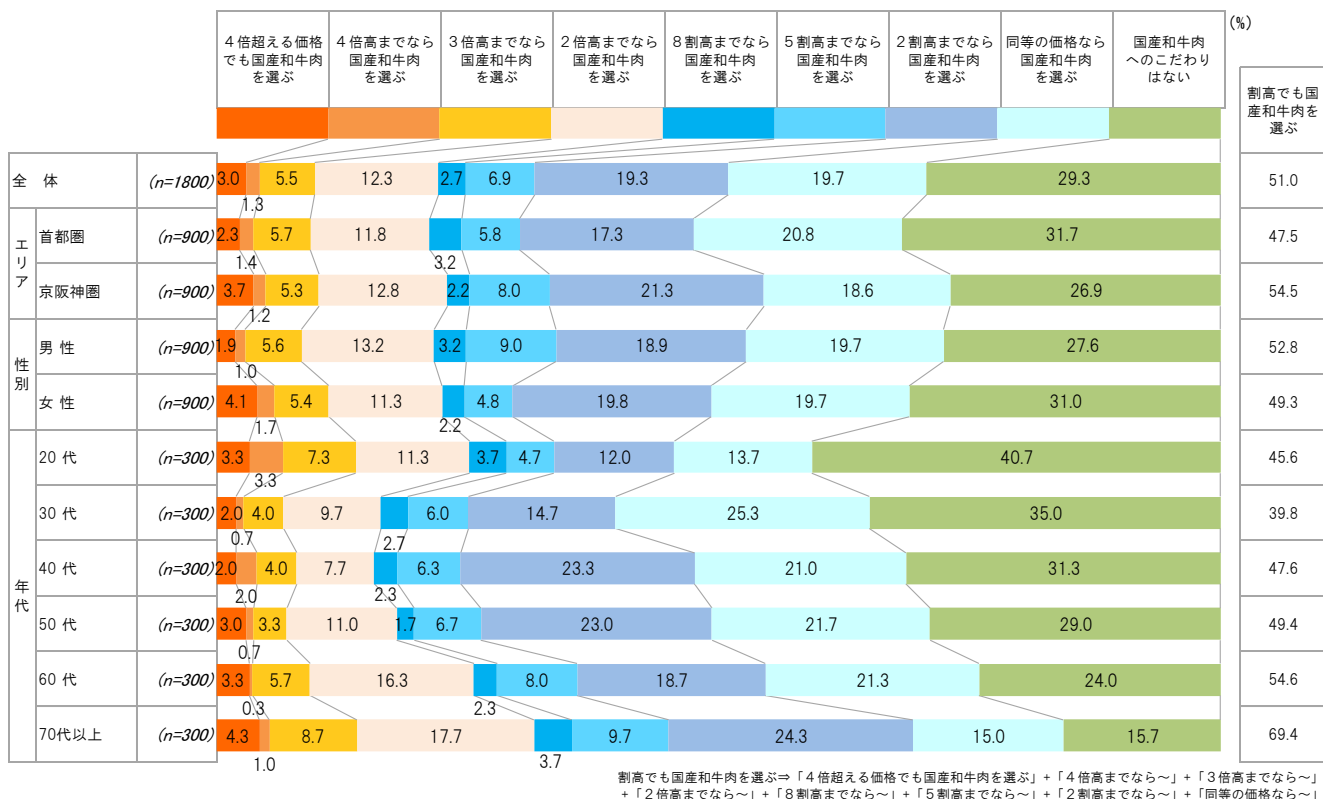


図表 131 国産和牛肉の輸入牛肉に対する価格許容度（経年変化）

「割高でも国産和牛肉を選ぶ」の割合をエリア別に見ると、首都圏は47.5%だが、京阪神圏の方が54.5%と首都圏より京阪神圏の方が多。

性別に「割高でも国産和牛肉を選ぶ」の割合を見ると、男性が52.8%、女性が49.3%と男性の方がやや多い。

年代別に「割高でも国産和牛肉を選ぶ」の割合を見ると、60代は54.6%、70代以上は69.4%と多くなり、年代が高い方が国産和牛肉への価格許容度が高い。



図表 132 国産和牛肉の輸入牛肉に対する価格許容度

## 12) 和牛以外の国産牛肉の輸入牛肉に対する価格許容度 (Q15)

- ▶ 「割高でも和牛以外の国産牛肉を選択する割合」は全体の 49.3%。
- ▶ 「同等の価格なら和牛以外の国産牛肉を選ぶ」の割合が最も多く、21.4%。
- ▶ 過年度調査と比較すると、大きな変化は見られない。

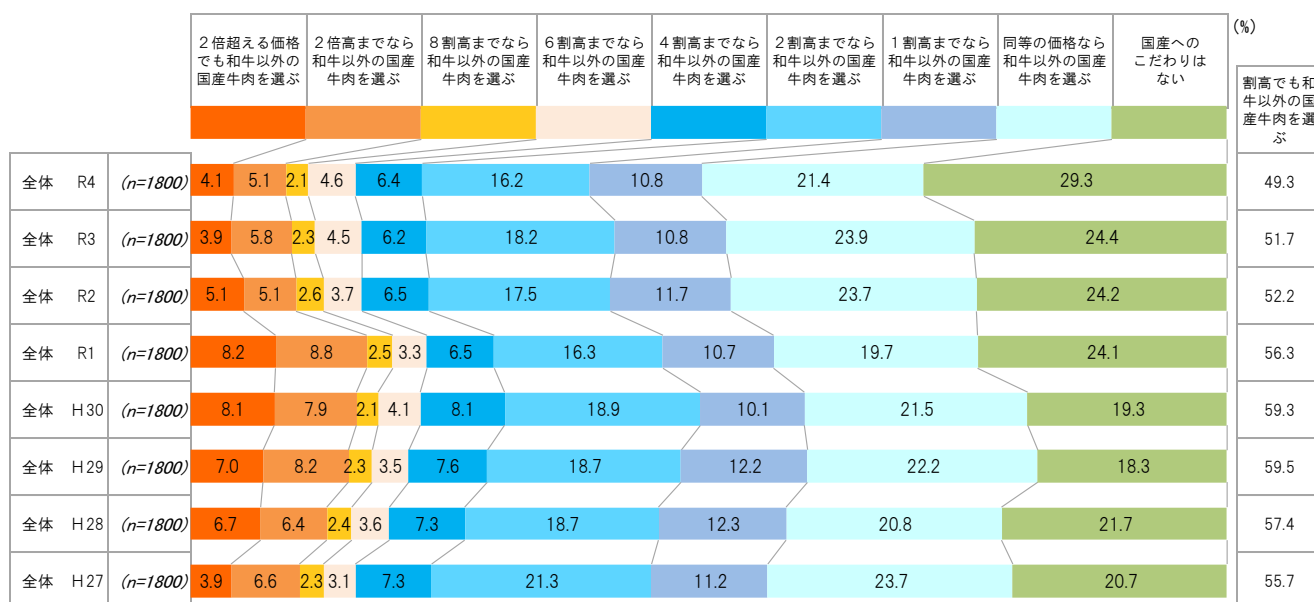
### 【今年度調査】

輸入牛肉と比べ「割高でも和牛以外の国産牛肉を選ぶ（「2倍を超える価格でも和牛以外の国産牛肉を選ぶ」～「1割高までなら和牛以外の国産牛肉を選ぶ」）割合は 49.3%。

特に「同等の価格なら和牛以外の国産牛肉を選ぶ」が 21.4%、「2割高までなら和牛以外の国産牛肉を選ぶ」が 16.2%の順で高い。

### 【過年度調査との比較】

過年度調査と比較すると、大きな変化は見られない。



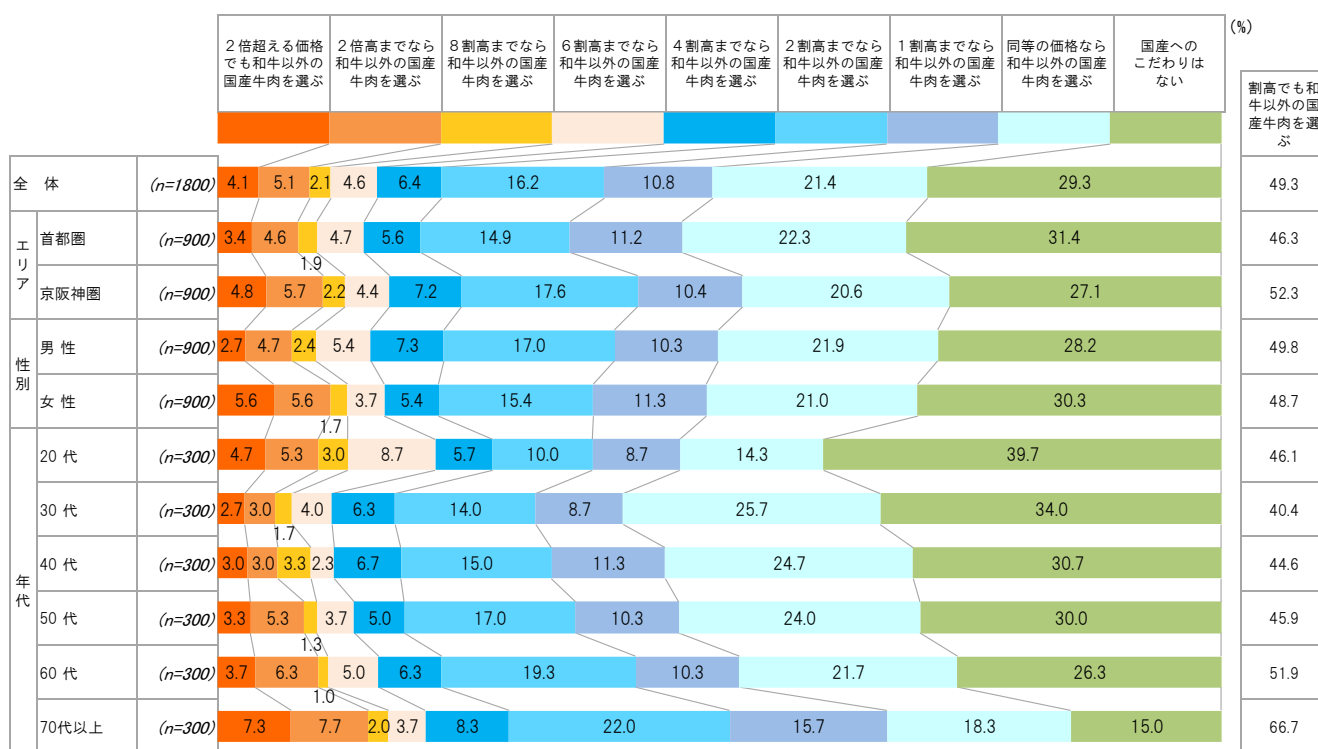
割高でも和牛以外の国産牛肉を選ぶ⇒「2倍を超える価格でも和牛以外の国産牛肉を選ぶ」+「2倍高までなら～」+「8割高までなら～」+「6割高までなら～」+「4割高までなら～」+「2割高までなら～」+「1割高までなら～」

図表 133 和牛以外の国産牛肉の輸入牛肉に対する価格許容度（経年変化）

「割高でも和牛以外の国産牛肉を選ぶ」の割合をエリア別に見ると、首都圏は46.3%だが、京阪神圏の方が52.3%と首都圏より京阪神圏の方が多い。

性別に「割高でも和牛以外の国産牛肉を選ぶ」の割合を見ると、男性が49.8%、女性が48.7%と、大きな違いは見られない。

年代別に「割高でも和牛以外の国産牛肉を選ぶ」の割合を見ると、加齢とともに多くなり、60代は51.9%、70代以上は66.7%と多くなり、年代が高い方が国産和牛肉への価格許容度が高い。



割高でも和牛以外の国産牛肉を選ぶ⇒「2倍を超える価格でも和牛以外の国産牛肉を選ぶ」+「2倍高までなら〜」+「3割高までなら〜」+「4割高までなら〜」+「5割高までなら〜」+「6割高までなら〜」+「7割高までなら〜」+「8割高までなら〜」+「9割高までなら〜」+「同等の価格なら和牛以外の国産牛肉を選ぶ」+「国産へのこだわりはない」

図表 134 和牛以外の国産牛肉の輸入牛肉に対する価格許容度

13) 国産和牛肉／和牛以外の国産牛肉の輸入牛肉に対する価格許容度：  
順序プロビット回帰分析（Q14・Q15）

- 第1因子「利便性」因子：「特売」「価格が手頃」「赤みが多い」などの項目  
第2因子「高級感」因子：「高品質」「霜降り」「贅沢感がある」などの項目
- 国産和牛肉における価格許容度の順序プロビット回帰分析  
因子1「利便性」、因子2「高級感」のイメージが高いほど価格許容度が高くなる。  
回答者属性では、首都圏居住者に比べて京阪神圏居住者、年齢では高齢になるほど価格許容度が高くなる。世帯年収が高所得層ほど、価格許容度が高くなる傾向がある。
- 和牛以外の国産牛肉における価格許容度の順序プロビット回帰分析因子1「利便性」、因子2「高級感」のイメージが高いほど価格許容度が低くなる。  
回答者属性では、首都圏居住者に比べて京阪神圏居住者、年齢だと高齢になるほど価格許容度が高くなる。また世帯年収が高所得層ほど、価格許容度が高くなる傾向がある。

国産和牛肉の輸入牛肉に対する価格許容度（Q14）ならびに和牛以外の国産牛肉の輸入牛肉に対する価格許容度（Q15）を目的変数とし、国産牛肉に対するイメージ（Q13）と、回答者属性（性別（Q2）・年齢（Q3）・居住エリア（Q1）・世帯年収（Q50））を説明変数として順序プロビット回帰分析を行った。

ただし、同分析で計測された回帰係数はそのままでは解釈できないため、各説明変数の限界効果を計算し、目的変数に及ぼす効果の大きさを定量的に確認した。



### <順序プロビット回帰分析に用いた目的変数・説明変数>

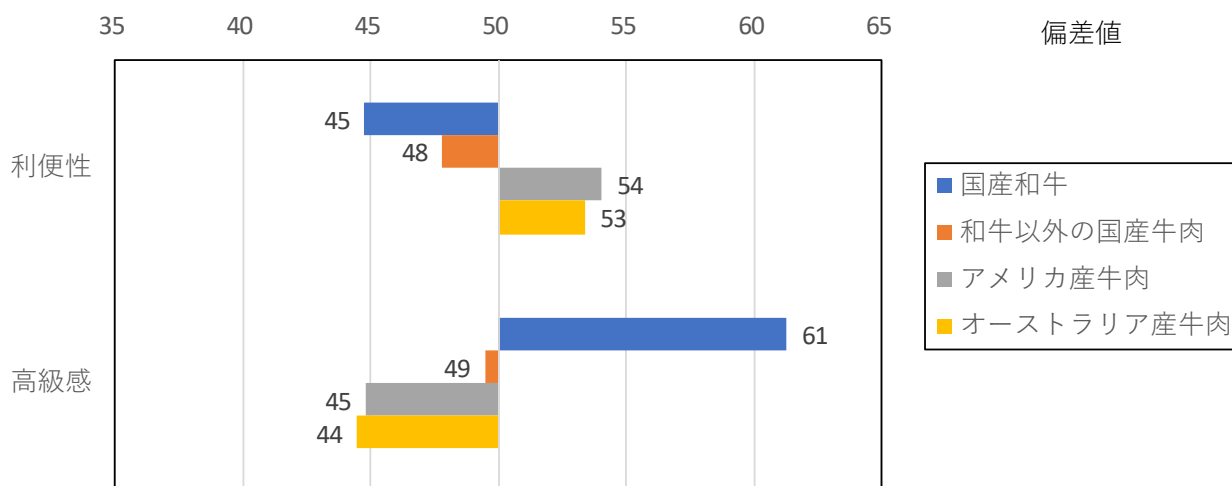
国産牛肉に対する価格許容度に関する設問回答（Q14・Q15）を順序カテゴリカルな目的変数とした。

説明変数には、牛肉に対するイメージ項目と、性別や年齢などの消費者属性を利用する。まず国産和牛肉に対する各イメージ項目（当該イメージなし:0、当該イメージあり:1）（Q13）は、16項目と多項目になり、順序プロビット回帰分析を行う前に、因子分析を行い、少数の変数に集約する。分析の手順として、国産和牛肉と輸入牛肉も共通したイメージ構造を把握するために、国産和牛、和牛以外の国産牛肉、アメリカ産牛肉、オーストラリア産牛肉のイメージ項目を併合して分析を行った。イメージ項目は二値の離散変数であり、連続量を仮定する通常の因子分析ではなく、カテゴリカル因子分析を利用した。因子数は、ガットマン基準（テトラコリック相関係数行列の固有値が1以上の数）により2個とした。また推定法には最尤法、因子の回転法にはオブリミン法、因子得点の推定値には事後期待値を用いて標準化を行った。その各項目で絶対値で0.4以上の因子負荷量をもとに項目を分類した結果を下図に示す。

第1因子は「特売」、「価格が手頃」、「赤みが多い」などの項目の因子負荷量が高く、「利便性」因子と解釈した。第2因子は「高品質」、「霜降り」、「贅沢感がある」などの項目の因子負荷量が高く、「高級感」因子と解釈した。消費者の原産国別の相対的な知覚差異を把握するために、推定した因子得点の平均を偏差値化（平均50、標準偏差10）して、国産和牛、和牛以外の国産牛肉、アメリカ産牛肉、オーストラリア産牛肉別で見ると、図表136のようになる。

因子1 利便性	因子2 高級感
特売(.73)	高品質(.92)
価格が手頃(.72)	霜降り(.91)
赤身が多い(.69)	贅沢感がある(.91)
若者向き(.68)	高級(.91)
洋食に合う(.64)	柔らかい(.90)
赤身がおいしい(.54)	安全・安心(.87)
	飼育環境がよい(.85)
	おいしい(.84)
	和食に合う(.82)
	シニア向き(.72)
	赤身がおいしい(.62)
	価格が手頃(-.42)

図表 135 因子分析の結果（括弧内は因子負荷量を示す）



図表 136 偏差値化した原産国別の因子得点の平均

国産和牛は、第2因子の「高級感」が高く、反対にアメリカ産牛肉、オーストラリア産牛肉は低い。反対に、アメリカ産牛肉、オーストラリア産牛肉は第1因子の「利便性」が高く、国産和牛は低い。和牛以外の国産牛肉はそれらの中間にあることがわかる。そしてこの分析で得られた因子得点を順序プロビット回帰分析の説明変数に利用する。その限界効果は、国産和牛と和牛以外の国産牛肉のそれぞれの因子得点と、アメリカ産牛肉とオーストラリア産牛肉を按分した因子得点の差が1（1標準偏差分に相当）増加した場合に回答者が価格許容度に関する各選択肢を選ぶ確率の変化分である。

消費者属性の説明変数として、性別、地域、年齢、世帯年収を利用する。性別（男性:0、女性:1）と居住エリア（京浜圏:0、京阪神:1）は、二値の変数としている。これらの説明変数の限界効果は、当該変数値が0から1に変化した場合に回答者が価格許容度に関する各選択肢を選ぶ確率がどれだけ変化するかを示す。回答者の年齢に関しては1歳刻みの連続変数として説明変数に加えており、その限界効果は、年齢が10歳増加した場合に回答者が価格許容度に関する各選択肢を選ぶ確率の変化分である。

また、世帯年収について「7 答えたくない／わからない」と回答しているサンプルは分析から除外し、残りの6つの世帯年収カテゴリを二値変数化（当該カテゴリを非選択:0、当該カテゴリを選択:1）して分析に用いる。ただし、世帯年収カテゴリ1～6をすべて投入すると識別性の問題によりモデルが推定できなくなるため、世帯年収カテゴリ「2 世帯年収300万円以上500万円未満」変数を除外した上で分析を行った。したがって、各世帯年収カテゴリの限界効果は「世帯年収300万円以上500万円未満」と比較して、当該世帯年収カテゴリの回答者が価格許容度に関する各選択肢を選ぶ確率がどれだけ増減するかを示す。

## ■国産和牛肉における価格許容度の順序プロビット回帰分析

イメージ項目から得られた因子得点と、回答者属性に関する限界効果を下図に示す。イメージ項目から得られた因子得点では、因子1「利便性」、因子2「高級感」のイメージが高いほど価格許容度が高くなる。

回答者属性に着目すると、首都圏居住者に比べて京阪神圏居住者、年齢で高齢になるほど価格許容度が高くなる。また世帯年収が高所得層ほど、価格許容度が高くなる傾向があることが確認できた。

	Q14 国産和牛肉の価格許容度								
	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	国産和牛肉へのこだわりはない	同等の価格なら国産和牛肉を選ぶ	2割高までなら国産和牛肉を選ぶ	5割高までなら国産和牛肉を選ぶ	8割高までなら国産和牛肉を選ぶ	2倍高までなら国産和牛肉を選ぶ	3倍高までなら国産和牛肉を選ぶ	4倍高までなら国産和牛肉を選ぶ	4倍を超える価格でも国産和牛肉を選ぶ
利便性	-0.023	-0.006	0.002	0.003	0.002	0.009	0.006	0.002	0.004
高級感	-0.049	-0.013	0.005	0.007	0.003	0.020	0.013	0.004	0.009
京阪神	-0.034	-0.009	0.003	0.005	0.002	0.014	0.009	0.003	0.006
性別	0.006	0.002	-0.001	-0.001	0.000	-0.002	-0.002	-0.001	-0.001
年齢（10才刻み）	-0.014	-0.004	0.001	0.002	0.001	0.006	0.004	0.001	0.003
世帯年収300万円未満	0.100	0.020	-0.015	-0.014	-0.007	-0.039	-0.024	-0.007	-0.015
世帯年収500～700万円未満	-0.054	-0.016	0.003	0.007	0.004	0.023	0.016	0.005	0.012
世帯年収700～1000万円未満	-0.061	-0.019	0.003	0.008	0.004	0.027	0.018	0.006	0.014
世帯年収1000～1500万円未満	-0.107	-0.040	-0.002	0.012	0.007	0.049	0.037	0.013	0.031
世帯年収1500万円以上	-0.143	-0.063	-0.014	0.013	0.009	0.067	0.056	0.021	0.055

\*10%水準で有意となったセルを着色、5%水準で有意となったセルを太字にしている

図表 137 国産和牛肉の価格許容度に関する順序プロビット回帰分析の限界効果

## ■和牛以外の国産牛肉における価格許容度の順序プロビット分析

イメージ項目から得られた因子得点と、回答者属性に関する限界効果を下図に示す。因子1「利便性」、因子2「高級感」のイメージが高いほど価格許容度が低くなる。

回答者属性に着目すると、首都圏居住者に比べて京阪神圏居住者、年齢だと高齢になるほど価格許容度が高くなる。また世帯年収が高所得層ほど、価格許容度が高くなる傾向があることが確認できた。

	Q15 和牛以外の国産牛肉								
	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	国産へのこだわりはない	同等の価格なら和牛以外の国産牛肉を選ぶ	1割高までなら和牛以外の国産牛肉を選ぶ	2割高までなら和牛以外の国産牛肉を選ぶ	4割高までなら和牛以外の国産牛肉を選ぶ	6割高までなら和牛以外の国産牛肉を選ぶ	8割高までなら和牛以外の国産牛肉を選ぶ	2倍高までなら和牛以外の国産牛肉を選ぶ	2倍を超える価格でも和牛以外の国産牛肉を選ぶ
利便性	-0.037	-0.010	0.001	0.010	0.007	0.006	0.004	0.009	0.008
高級感	-0.068	-0.018	0.002	0.019	0.014	0.012	0.007	0.018	0.016
京阪神	-0.042	-0.011	0.001	0.012	0.008	0.007	0.004	0.011	0.010
性別	-0.019	-0.005	0.000	0.005	0.004	0.003	0.002	0.005	0.005
年齢（10才刻み）	-0.019	-0.005	0.000	0.005	0.004	0.003	0.002	0.005	0.004
世帯年収300万円未満	0.113	0.021	-0.006	-0.034	-0.022	-0.018	-0.010	-0.025	-0.020
世帯年収500～700万円未満	-0.042	-0.013	0.000	0.011	0.009	0.008	0.004	0.012	0.011
世帯年収700～1000万円未満	-0.040	-0.012	0.000	0.011	0.008	0.007	0.004	0.011	0.010
世帯年収1000～1500万円未満	-0.113	-0.045	-0.005	0.024	0.024	0.023	0.013	0.038	0.041
世帯年収1500万円以上	-0.154	-0.076	-0.016	0.023	0.031	0.033	0.020	0.062	0.076

\* 10%水準で有意となったセルを着色、5%水準で有意となったセルを太字にしている

図表 138 和牛以外の国産牛肉の価格許容度に関する順序プロビット回帰分析の限界効果

14) 国産牛肉（和牛を含む）の普段購入価格帯（100gあたりの税込み価格）（Q16）

▶ 国産牛肉（和牛を含む）の普段購入価格帯（100gあたりの税込み価格）は、平均 429.3 円/100g

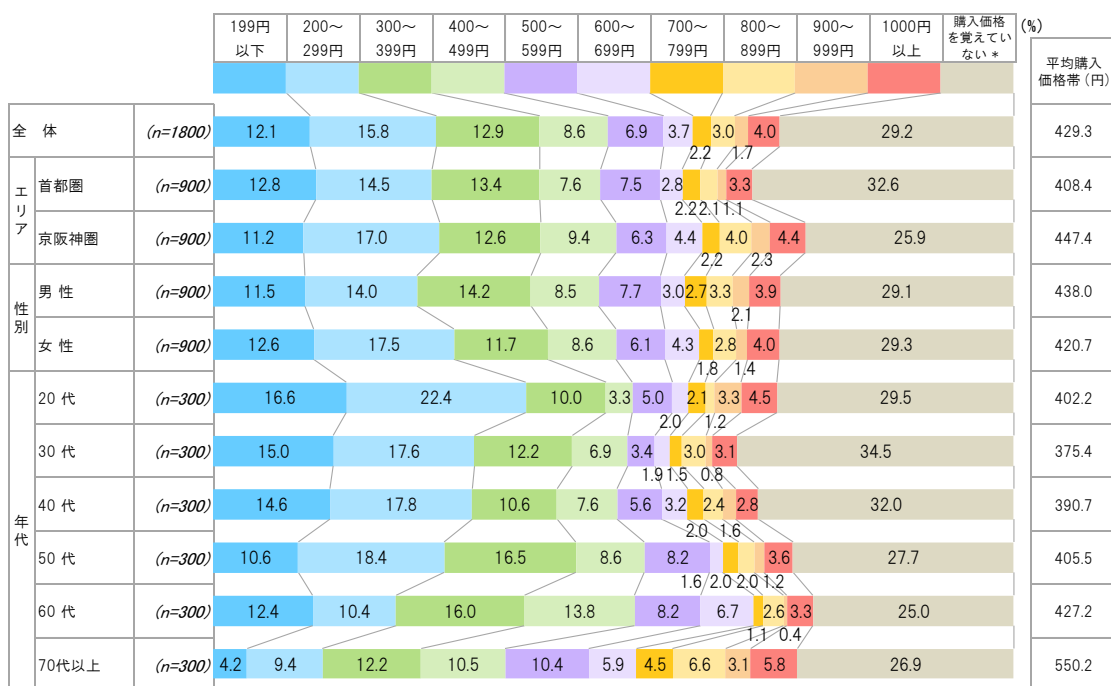
【今年度調査】

国産牛肉（和牛を含む）の普段購入価格帯（100gあたりの税込み価格）は、平均 429.3 円/100g である。

エリア別に見ると、首都圏は平均 408.4 円/100g、京阪神圏は平均 447.4 円/100g と、首都圏より京阪神圏の方が高い。

性別に見ると、男性が平均 438.0 円/100g、女性が平均 420.7 円/100g と、大きな違いは見られない。

年代別に見ると、70 代以上は平均 550.2 円/100g と購入価格帯が高い。



\*「購入価格を覚えていない(和牛を含む)国産牛肉は購入していない」

図表 139 国産牛肉（和牛を含む）の普段購入価格帯（100gあたりの税込み価格）

## 15) 産地別牛肉の購入意向 (Q17)

- ▶ 牛肉の産地別購入意向を見ると、「安ければ購入したい」も含めた購入意向派は、国産和牛が 83.8%、和牛以外の国産牛肉が 80.8%、オーストラリア産牛肉が 64.9%、アメリカ産牛肉が 61.6%の順。
- ▶ 過年度調査と比較すると、昨年度に比べて、アメリカ産牛肉・オーストラリア産牛肉は、「他の産地と同程度の価格ならば購入したい」がやや増加。

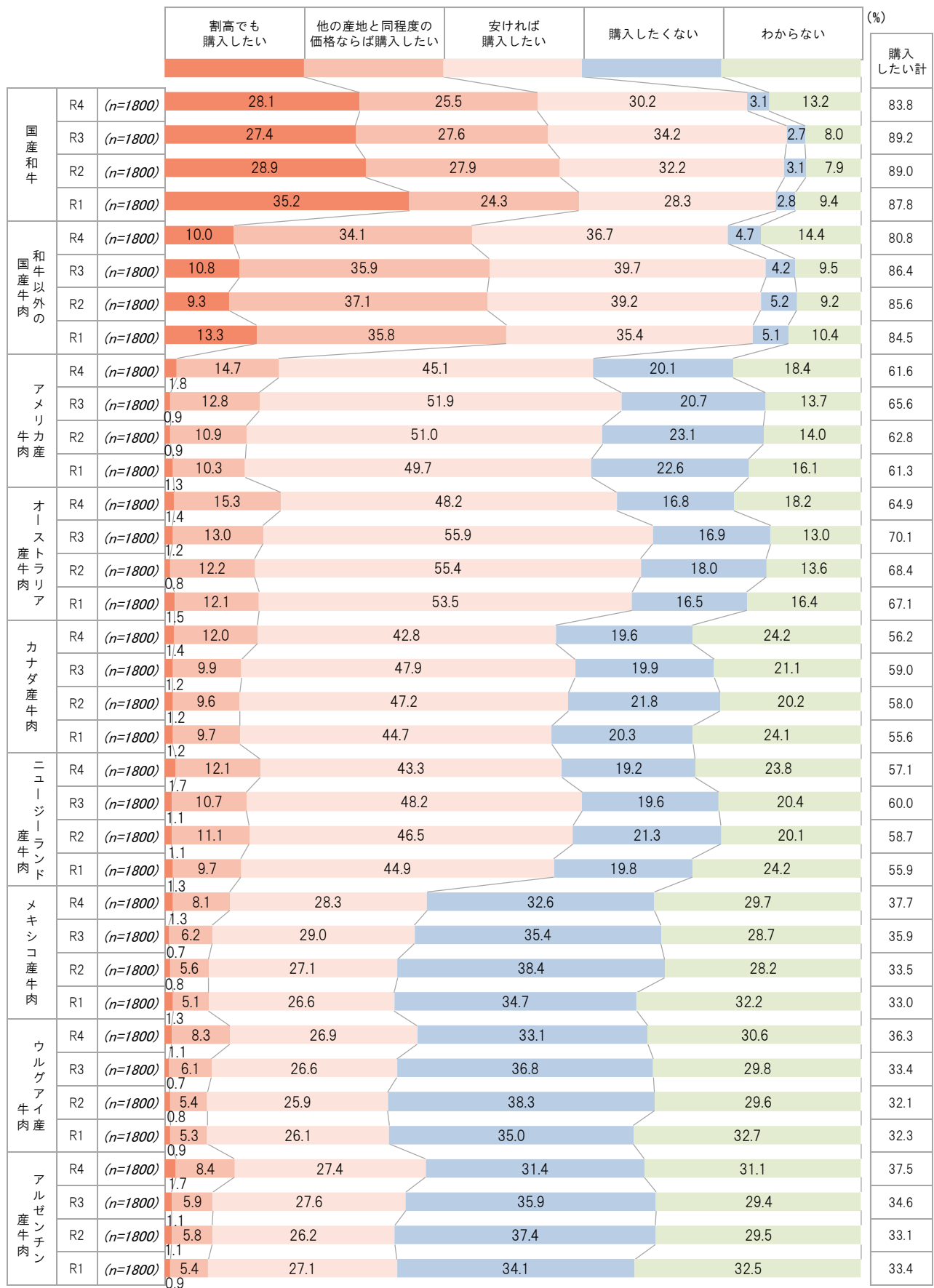
### 【今年度調査】

牛肉の産地別購入意向を見ると、「安ければ購入したい」も含めた購入意向派は、国産和牛が 83.8%、和牛以外の国産牛肉が 80.8%、オーストラリア産牛肉が 64.9%、アメリカ産牛肉が 61.6%の順に多い。

「割高でも購入したい」で見ると、国産和牛は 28.1%と高いが、和牛以外の国産牛肉は 10.0%で、オーストラリア産牛肉・アメリカ産牛肉も含めた輸入牛肉はいずれも 2%以下と低い。

### 【過年度調査との比較】

過年度調査と比較すると、昨年度に比べて、アメリカ産牛肉・オーストラリア産牛肉は、「他の産地と同程度の価格ならば購入したい」がやや増加している。



購入したい計⇒「割高でも購入したい」+「他の産地と同程度の価格ならば購入したい」+「安ければ購入したい」

図表 140 牛肉の産地別購入意向

## 16) 産地別豚肉の購入意向 (Q18)

- ▶ 豚肉の産地別購入意向を見ると、「安ければ購入したい」も含めた購入意向派は、国産豚肉が 85.5%、アメリカ産豚肉が 60.0%、カナダ産豚肉が 57.8%、スペイン産豚肉が 50.4%の順。
- ▶ 過年度調査と比較すると、大きな変化は見られない。

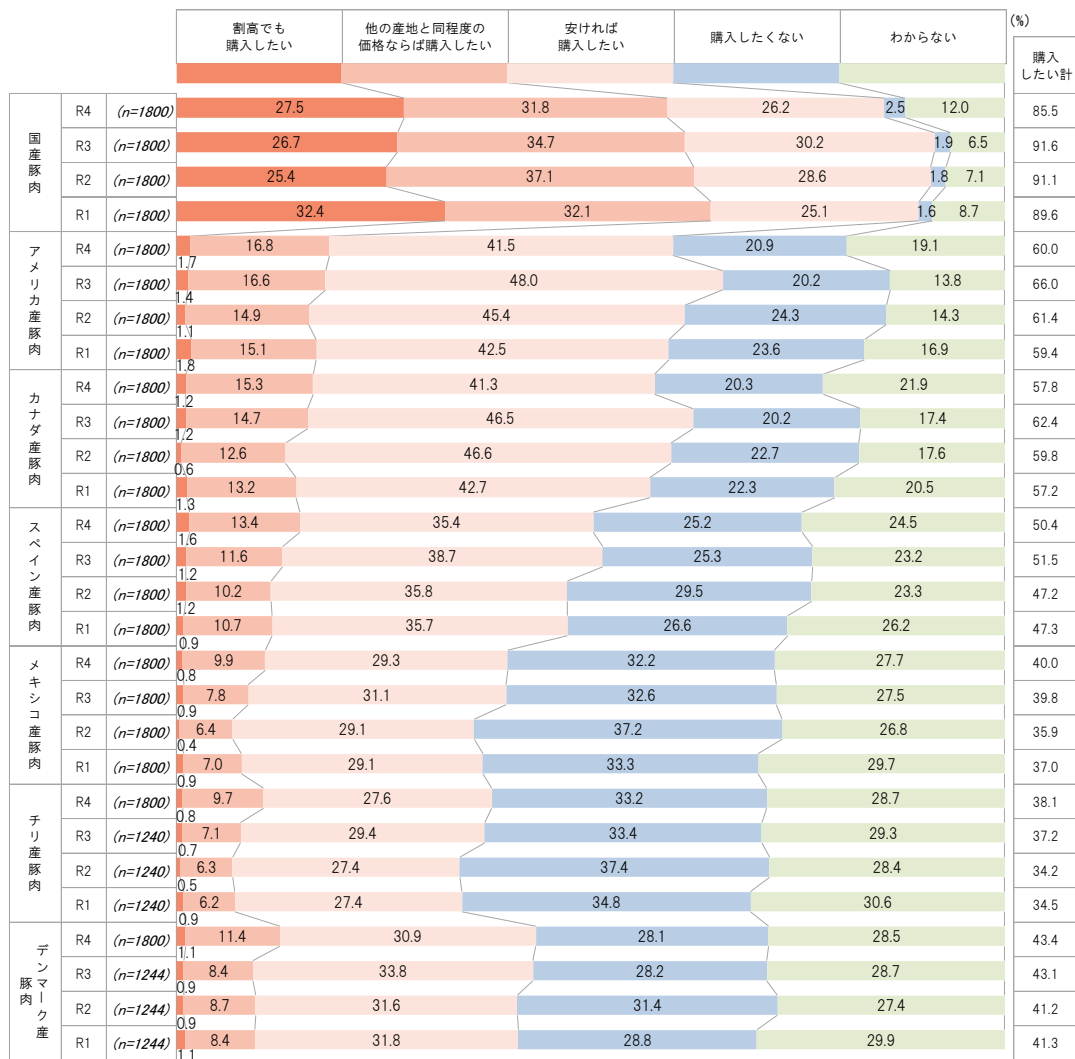
### 【今年度調査】

豚肉の産地別購入意向を見ると、「安ければ購入したい」も含めた購入意向派は、国産豚肉が 85.5%、アメリカ産豚肉が 60.0%、カナダ産豚肉が 57.8%、スペイン産豚肉が 50.4%の順に多い。

「割高でも購入したい」で見ると、国産豚肉は 27.5%と高いが、アメリカ産豚肉・カナダ産豚肉・スペイン産豚肉も含め輸入豚肉はいずれも 2%以下と低い。

### 【過年度調査との比較】

過年度調査と比較すると、大きな変化は見られない。



購入したい計 = 「割高でも購入したい」 + 「他の産地と同程度の価格ならば購入したい」 + 「安ければ購入したい」

図表 141 豚肉の産地別購入意向



## 17) 産地別鶏肉の購入意向 (Q19)

- 鶏肉の産地別購入意向を見ると、「安ければ購入したい」も含めた購入意向派は、国産鶏肉が 85.2%、アメリカ産鶏肉が 50.8%、ブラジル産鶏肉が 44.0%、タイ産鶏肉が 39.5%の順。
- 過年度調査と比較すると、大きな変化は見られない。

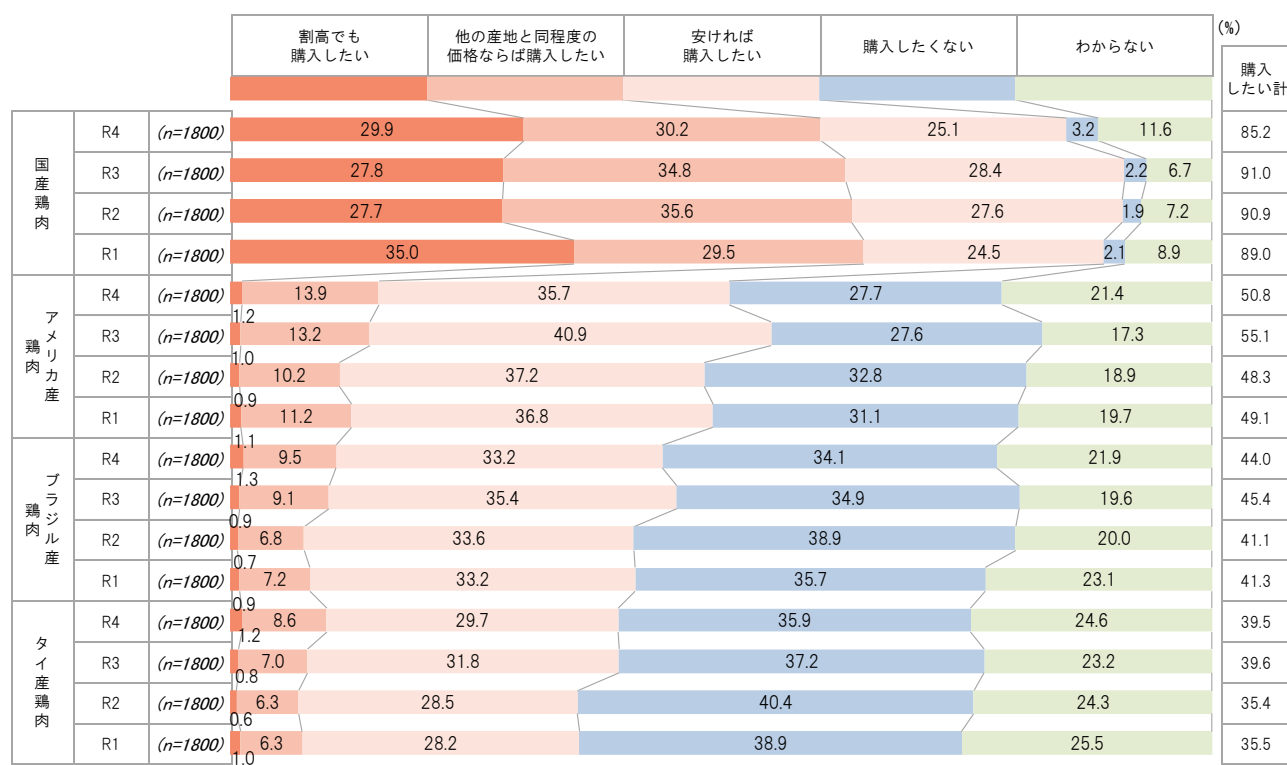
### 【今年度調査】

鶏肉の産地別購入意向を見ると、「安ければ購入したい」も含めた購入意向派は、国産鶏肉が 85.2%、アメリカ産鶏肉が 50.8%、ブラジル産鶏肉が 44.0%、タイ産鶏肉が 39.5%の順である。

「割高でも購入したい」で見ると、国産鶏肉は 29.9%と高いが、輸入鶏肉はいずれも 1%以下と低い。

### 【過年度調査との比較】

過年度調査と比較すると、大きな変化は見られない。



購入したい計⇒「割高でも購入したい」+「他の産地と同程度の価格ならば購入したい」+「安ければ購入したい」

図表 142 鶏肉の産地別購入意向

## 4. 食肉の安全性に関する意識調査

### 4.1 食品の安全性に関する意識

#### 1) 食品の安全性の不安感 (Q20)

- 「不安を感じる」とする回答割合が高い食品は、「ファストフード」27.7%、「インスタント麺（カップ麺・袋麺等）」23.7%、「食肉加工品」23.2%の順。
- 過年度調査と比較すると、「不安を感じる」割合が増加している食品は特に見られない。

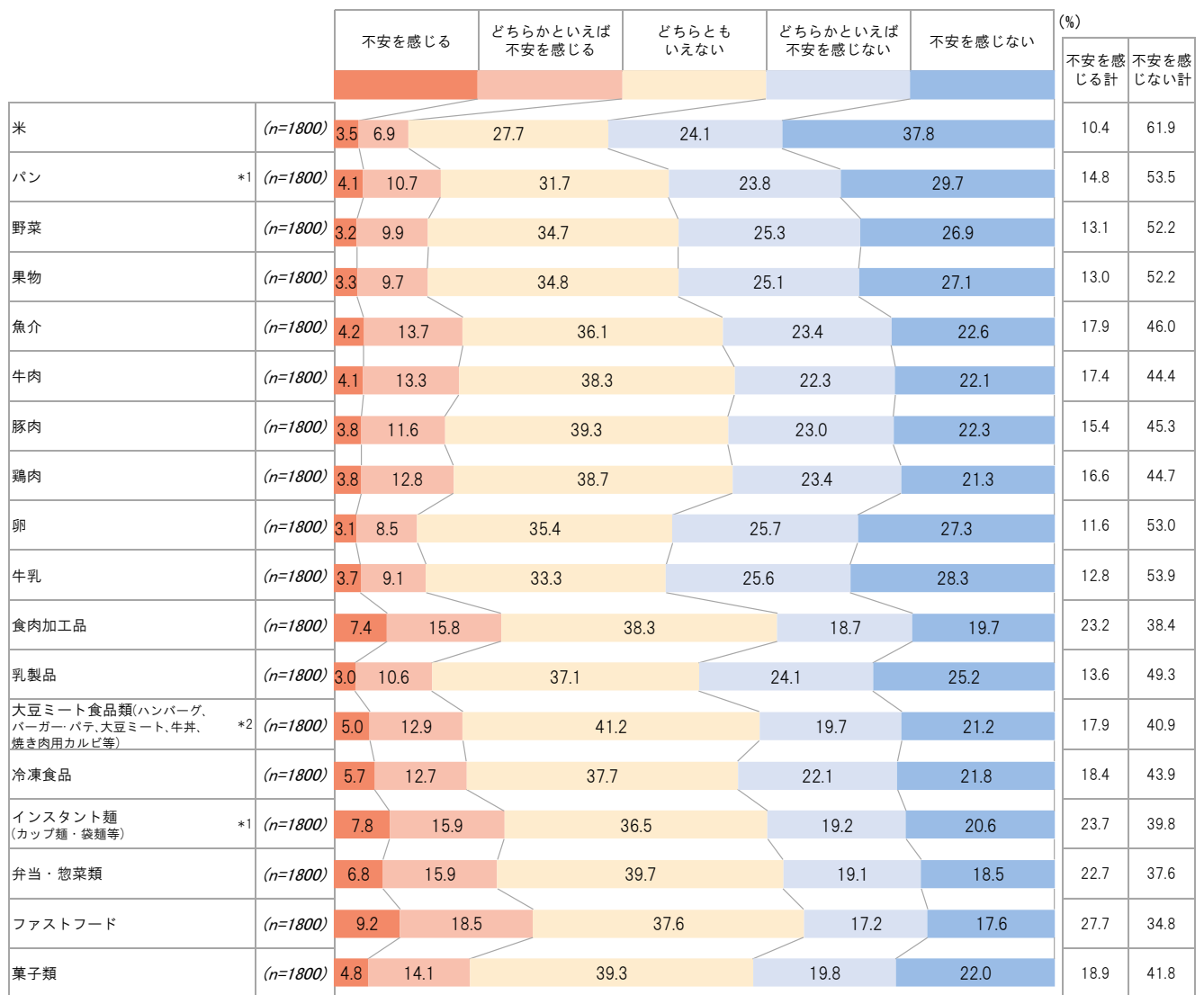
#### 【今年度調査】

17種類の食品（食品群）の安全性について不安を感じるかどうかを聞いたところ、「不安を感じる（不安を感じる＋どちらかといえば不安を感じる）」の割合は「ファストフード」27.7%、「インスタント麺（カップ麺・袋麺等）」23.7%、「食肉加工品」23.2%、「弁当・惣菜類」22.7%の順で高い。今年度追加した「大豆ミート食品類（ハンバーグ、バーガー・パテ、大豆ミート、牛丼、焼き肉用カルビ等）」は、17.9%と不安度はそれほど高くない。

逆に、「不安を感じない（どちらかといえば不安を感じない＋不安を感じない）」の割合は、「米」61.9%、「パン」53.5%、「牛乳」53.9%、「卵」53.0%、「野菜」及び「果物」52.2%、「乳製品」49.3%の順で高い。なお「牛肉」は44.4%、「豚肉」は45.3%、「鶏肉」は44.7%であった。今年度追加した「大豆ミート食品類（ハンバーグ、バーガー・パテ、大豆ミート、牛丼、焼き肉用カルビ等）」は、40.9であった。

#### 【過年度調査との比較】

過年度調査と比較すると、「不安を感じる」割合が増加している食品は特に見られない。



不安を感じる計⇒「不安を感じる」+「どちらかといえば不安を感じる」、不安を感じない計⇒「どちらかといえば不安を感じない」+「不安を感じない」

\*1「パン」「インスタント麺(カップ麺・袋麺等)」「弁当・惣菜類」は令和元年より新規項目

\*2「大豆ミート食品類(ハンバーグ、バーガー・パテ、大豆ミート、牛丼、焼き肉用カルビ等)」は令和4年度より新規項目

図表 143 食品の安全性の不安感

		不安を感じる					(% )		
		不安を感じる	どちらかといえば不安を感じる	どちらともいえない	どちらかといえば不安を感じない	不安を感じない	不安を感じる計	不安を感じない計	
米	R4	(n=1800)	3.5	6.9	27.7	24.1	37.8	10.4	61.9
	R3	(n=1800)	2.6	5.8	28.8	28.2	34.6	8.4	62.8
	R2	(n=1800)	2.4	6.9	26.9	29.4	34.3	9.3	63.7
	R1	(n=1800)	3.8	8.4	27.8	26.7	33.3	12.2	60.0
	H30	(n=1800)	4.4	9.9	25.9	28.7	31.0	14.3	59.7
	H29	(n=1800)	3.4	10.1	29.2	29.2	28.1	13.5	57.3
	H28	(n=1800)	4.7	12.7	32.3	26.4	23.8	17.4	50.2
	H27	(n=1800)	3.6	15.4	37.8	29.4	13.8	19.0	43.2
	H26	(n=1800)	3.2	14.8	32.9	32.3	16.8	18.0	49.1
	H25	(n=1240)	6.4	18.9	29.2	32.5	13.1	25.3	45.6
	H24	(n=1238)	8.8	21.9	27.7	30.3	11.3	30.7	41.6
パン*	R4	(n=1800)	4.1	10.7	31.7	23.8	29.7	14.8	53.5
	R3	(n=1800)	3.2	10.2	32.6	26.5	27.5	13.4	54.0
	R2	(n=1800)	2.7	9.7	31.6	27.9	28.0	12.4	55.9
	R1	(n=1800)	4.3	10.7	29.8	27.6	27.7	15.0	55.3
野菜	R4	(n=1800)	3.2	9.9	34.7	25.3	26.9	13.1	52.2
	R3	(n=1800)	2.9	10.3	34.4	27.9	24.4	13.2	52.3
	R2	(n=1800)	2.7	11.2	35.9	27.7	22.5	13.9	50.2
	R1	(n=1800)	3.9	13.3	32.1	27.0	23.7	17.2	50.7
	H30	(n=1800)	5.2	15.7	27.0	28.1	24.1	20.9	52.2
	H29	(n=1800)	3.3	16.4	30.7	28.6	20.9	19.7	49.5
	H28	(n=1800)	5.9	18.7	34.7	23.1	17.6	24.6	40.7
	H27	(n=1800)	4.4	19.7	39.7	27.3	8.9	24.1	36.2
	H26	(n=1800)	4.3	21.5	35.1	28.7	10.4	25.8	39.1
	H25	(n=1240)	8.1	26.8	29.7	27.3	8.1	34.9	35.4
H24	(n=1238)	10.9	27.0	27.9	26.0	8.1	37.9	34.1	
果物	R4	(n=1800)	3.3	9.7	34.8	25.1	27.1	13.0	52.2
	R3	(n=1800)	2.7	9.2	35.7	27.9	24.6	11.9	52.5
	R2	(n=1800)	2.4	9.3	35.9	28.4	24.0	11.7	52.4
	R1	(n=1800)	3.3	12.9	32.2	27.7	23.9	16.2	51.6
	H30	(n=1800)	4.8	11.8	28.9	29.7	24.8	16.6	54.5
	H29	(n=1800)	2.9	12.8	33.2	29.4	21.7	15.7	51.1
	H28	(n=1800)	5.0	15.2	37.2	23.4	19.2	20.2	42.6
	H27	(n=1800)	3.6	16.6	40.3	29.7	9.9	20.2	39.6
	H26	(n=1800)	3.9	17.4	37.1	30.1	11.6	21.3	41.7
	H25	(n=1240)	6.6	20.6	32.5	31.1	9.2	27.2	40.3
H24	(n=1238)	9.1	20.2	31.0	30.8	8.9	29.3	39.7	

\* 「パン」は令和元年より新規項目

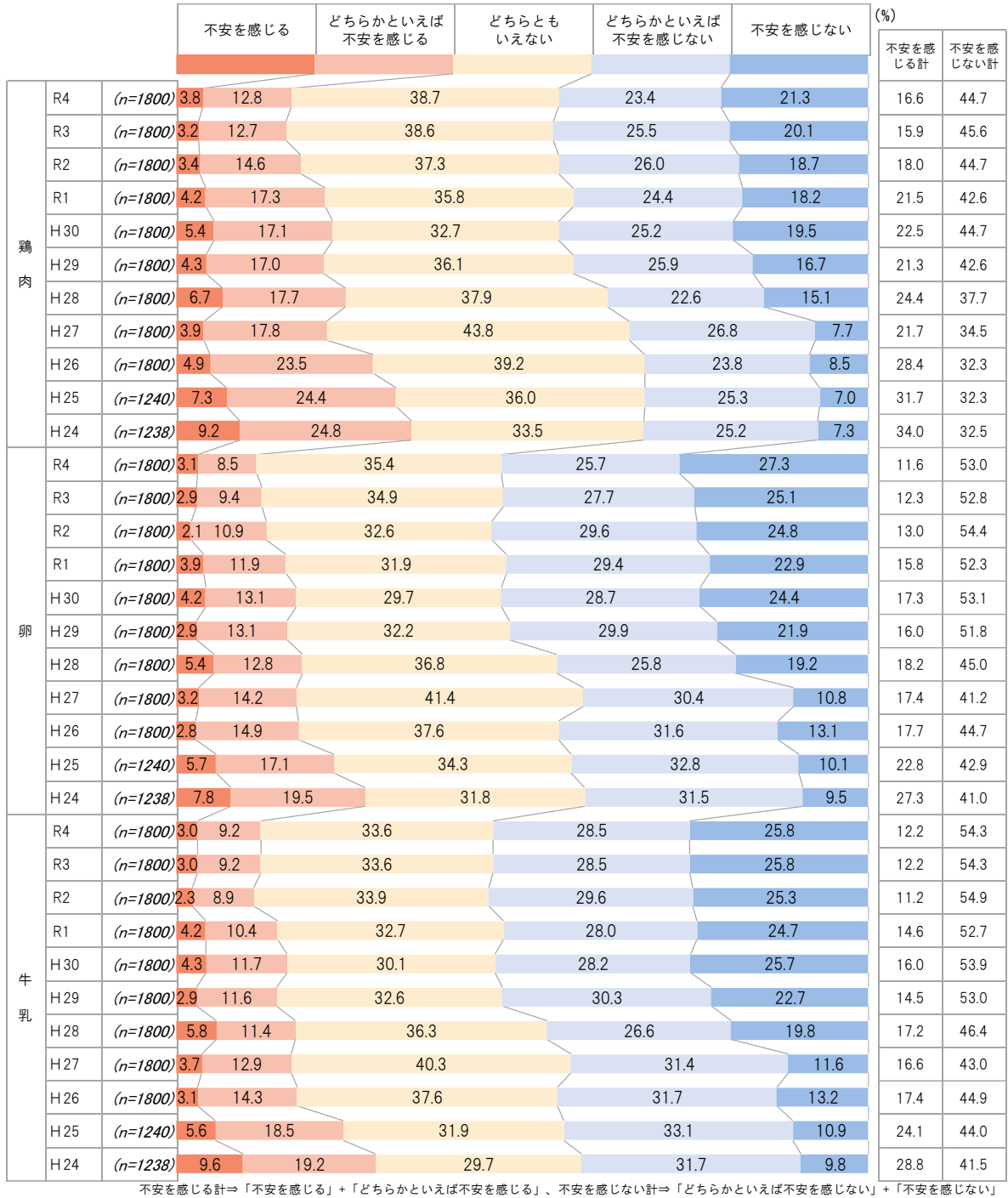
不安を感じる計⇒「不安を感じる」+「どちらかといえば不安を感じる」  
不安を感じない計⇒「どちらかといえば不安を感じない」+「不安を感じない」

図表 144 (その1) 食品の安全性に関する意識調査 (経年変化)

		不安を感じる					不安を感じない	
		不安を感じる	どちらかといえば不安を感じる	どちらともいえない	どちらかといえば不安を感じない	不安を感じない	不安を感じる計	不安を感じない計
魚介	R4 (n=1800)	4.2	13.7	36.1	23.4	22.6	17.9	46.0
	R3 (n=1800)	3.7	14.2	36.9	24.9	20.3	17.9	45.2
	R2 (n=1800)	4.0	16.5	35.0	25.7	18.8	20.5	44.5
	R1 (n=1800)	5.6	18.3	32.7	23.8	19.5	23.9	43.3
	H30 (n=1800)	7.2	18.2	28.1	26.8	19.7	25.4	46.5
	H29 (n=1800)	5.3	19.1	32.1	26.8	16.8	24.4	43.6
	H28 (n=1800)	7.6	19.4	35.4	22.2	15.4	27.0	37.6
	H27 (n=1800)	4.8	23.9	38.3	25.5	7.5	28.7	33.0
	H26 (n=1800)	6.6	27.0	33.6	23.6	9.3	33.6	32.9
	H25 (n=1240)	14.8	31.8	27.2	19.5	6.8	46.6	26.3
	H24 (n=1238)	15.6	28.7	26.8	21.8	7.2	44.3	29.0
	牛肉	R4 (n=1800)	4.1	13.3	38.3	22.3	22.1	17.4
R3 (n=1800)		4.1	12.4	37.3	26.1	20.2	16.5	46.3
R2 (n=1800)		3.6	15.4	36.3	26.4	18.2	19.0	44.6
R1 (n=1800)		4.7	16.2	35.7	24.7	18.7	20.9	43.4
H30 (n=1800)		5.7	16.8	31.6	26.7	19.3	22.5	46.0
H29 (n=1800)		3.8	17.2	34.8	26.8	17.3	21.0	44.1
H28 (n=1800)		7.4	19.3	36.3	22.4	14.7	26.7	37.1
H27 (n=1800)		4.1	18.9	44.5	24.9	7.6	23.0	32.5
H26 (n=1800)		4.9	23.2	39.3	23.9	8.7	28.1	32.6
H25 (n=1240)		9.0	28.5	34.2	22.0	6.2	37.5	28.2
H24 (n=1238)		10.5	28.5	31.2	22.8	7.1	39.0	29.9
豚肉		R4 (n=1800)	3.8	11.6	39.3	23.0	22.3	15.4
	R3 (n=1800)	3.6	12.7	37.6	25.5	20.7	16.3	46.2
	R2 (n=1800)	3.2	14.4	37.4	26.7	18.2	17.6	44.9
	R1 (n=1800)	4.3	16.4	36.3	24.7	18.3	20.7	43.0
	H30 (n=1800)	4.8	15.5	33.4	26.9	19.4	20.3	46.3
	H29 (n=1800)	3.2	16.7	35.7	27.4	17.0	19.9	44.4
	H28 (n=1800)	6.7	17.2	38.4	22.6	15.2	23.9	37.8
	H27 (n=1800)	3.8	17.4	44.6	26.5	7.7	21.2	34.2
	H26 (n=1800)	4.4	20.6	41.1	25.2	8.7	25.0	33.9
	H25 (n=1240)	7.3	24.0	36.0	25.5	7.2	31.3	32.7
	H24 (n=1238)	9.4	23.4	34.5	25.2	7.5	32.8	32.7

不安を感じる計⇒「不安を感じる」+「どちらかといえば不安を感じる」、不安を感じない計⇒「どちらかといえば不安を感じない」+「不安を感じない」

図表 144 (その2) 食品の安全性に関する意識調査 (経年変化)



図表 144 (その3) 食品の安全性に関する意識調査 (経年変化)

							(% )		
		不安を感じる	どちらかといえば不安を感じる	どちらともいえない	どちらかといえば不安を感じない	不安を感じない	不安を感じる計	不安を感じない計	
食肉加工品	R4	(n=1800)	7.4	15.8	38.3	18.7	19.7	23.2	38.4
	R3	(n=1800)	6.6	18.4	36.8	20.6	17.6	25.0	38.2
	R2	(n=1800)	6.1	20.4	36.2	20.0	17.3	26.5	37.3
	R1	(n=1800)	7.5	20.0	35.9	19.3	17.3	27.5	36.6
	H30	(n=1800)	8.7	20.8	31.4	22.5	16.6	29.5	39.1
	H29	(n=1800)	8.4	22.4	35.0	20.1	14.1	30.8	34.2
	H28	(n=1800)	10.7	22.7	36.7	17.2	12.7	33.4	29.9
	H27	(n=1800)	9.2	29.1	37.3	19.4	5.0	38.3	24.4
	H26	(n=1800)	13.3	32.3	32.2	16.8	5.4	45.6	22.2
	H25	(n=1240)	13.9	32.9	29.8	17.9	5.6	46.8	23.5
	H24	(n=1238)	13.5	28.9	30.9	20.6	6.1	42.4	26.7
	乳製品	R4	(n=1800)	3.0	10.6	37.1	24.1	25.2	13.6
R3		(n=1800)	3.2	9.2	38.5	26.3	22.8	12.4	49.1
R2		(n=1800)	2.2	9.8	36.7	27.5	23.8	12.0	51.3
R1		(n=1800)	3.8	11.4	36.0	26.5	22.3	15.2	48.8
H30		(n=1800)	4.2	12.1	32.1	29.6	22.1	16.3	51.7
H29		(n=1800)	2.9	11.7	36.7	29.8	18.9	14.6	48.7
H28		(n=1800)	5.4	13.9	39.1	24.5	17.2	19.3	41.7
H27		(n=1800)	3.6	15.2	43.0	30.1	8.2	18.8	38.3
H26		(n=1800)	4.1	16.2	41.8	27.8	10.2	20.3	38.0
H25		(n=1240)	6.1	17.6	36.7	30.7	8.9	23.7	39.6
H24		(n=1238)	7.8	19.1	33.9	30.3	8.8	26.9	39.1
大豆ミート食品類*		R4	(n=1800)	5.0	12.9	41.2	19.7	21.2	17.9
冷凍食品	R4	(n=1800)	5.7	12.7	37.7	22.1	21.8	18.4	43.9
	R3	(n=1800)	4.3	13.3	37.5	23.4	21.4	17.6	44.8
	R2	(n=1800)	4.0	14.6	36.7	24.2	20.6	18.6	44.8
	R1	(n=1800)	5.7	14.7	37.3	21.9	20.4	20.4	42.3
	H30	(n=1800)	6.1	18.0	32.7	23.9	19.3	24.1	43.2
	H29	(n=1800)	6.0	18.2	35.7	23.7	16.4	24.2	40.1
	H28	(n=1800)	9.1	19.8	37.6	20.4	13.2	28.9	33.6
	H27	(n=1800)	6.3	22.7	40.9	23.1	7.0	29.0	30.1
	H26	(n=1800)	12.7	28.8	33.4	19.2	5.9	41.5	25.1
	H25	(n=1240)	11.9	28.1	32.3	20.2	7.4	40.0	27.6
	H24	(n=1244)	10.5	25.2	31.1	24.6	8.6	35.7	33.2

不安を感じる計⇒「不安を感じる」+「どちらかといえば不安を感じる」、不安を感じない計⇒「どちらかといえば不安を感じない」+「不安を感じない」

\* 「大豆ミート食品類(ハンバーグ・バーガー・ハチマキ・大豆ミート牛丼・焼肉用カルビ等)」は令和4年度より新規項目

図表 144 (その 4) 食品の安全性に関する意識調査 (経年変化)

		不安を感じる					不安を感じない		
		不安を感じる	どちらかといえば不安を感じる	どちらともいえない	どちらかといえば不安を感じない	不安を感じない	(%)		
							不安を感じる計	不安を感じない計	
(カップ類・袋麺等)*	R4	(n=1800)	7.8	15.9	36.5	19.2	20.6	23.7	39.8
	R3	(n=1800)	6.8	16.4	36.2	21.2	19.4	23.2	40.6
	R2	(n=1800)	6.0	18.0	36.0	20.9	19.1	24.0	40.0
	R1	(n=1800)	7.0	17.0	35.2	21.3	19.4	24.0	40.7
弁当・惣菜類*	R4	(n=1800)	6.8	15.9	39.7	19.1	18.5	22.7	37.6
	R3	(n=1800)	5.3	17.7	38.9	21.5	16.6	23.0	38.1
	R2	(n=1800)	6.1	18.3	39.6	21.1	15.1	24.4	36.2
	R1	(n=1800)	7.2	18.6	37.2	20.4	16.6	25.8	37.0
ファーストフード	R4	(n=1800)	9.2	18.5	37.6	17.2	17.6	27.7	34.8
	R3	(n=1800)	7.4	20.7	35.7	20.4	15.7	28.1	36.1
	R2	(n=1800)	7.9	22.8	36.4	18.5	14.4	30.7	32.9
	R1	(n=1800)	9.6	20.9	36.2	17.9	15.3	30.5	33.2
	H30	(n=1800)	12.3	23.4	30.3	19.1	15.0	35.7	34.1
	H29	(n=1800)	12.6	24.4	33.3	18.1	11.6	37.0	29.7
	H28	(n=1800)	14.9	26.6	33.9	14.7	9.8	41.5	24.5
	H27	(n=1800)	14.6	32.7	35.4	13.7	3.7	47.3	17.4
	H26	(n=1800)	23.6	33.6	28.0	11.3	3.6	57.2	14.9
	H25	(n=1240)	18.5	35.9	26.8	13.7	5.2	54.4	18.9
H24	(n=1238)	13.8	29.2	31.1	19.1	6.8	43.0	25.9	
菓子類	R4	(n=1800)	4.8	14.1	39.3	19.8	22.0	18.9	41.8
	R3	(n=1800)	4.2	12.3	40.2	23.0	20.4	16.5	43.4
	R2	(n=1800)	3.9	12.9	40.7	22.3	20.1	16.8	42.4
	R1	(n=1800)	5.0	14.5	38.2	22.4	19.9	19.5	42.3
	H30	(n=1800)	6.2	15.6	34.3	23.2	20.8	21.8	44.0
	H29	(n=1800)	4.8	16.4	37.8	23.0	17.9	21.2	40.9
	H28	(n=1800)	7.2	16.5	40.9	20.2	15.2	23.7	35.4
	H27	(n=1800)	5.1	19.3	44.8	23.1	7.7	24.4	30.8
	H26	(n=1800)	7.3	21.9	41.4	20.2	9.2	29.2	29.4
	H25	(n=1240)	7.2	23.3	36.5	22.9	10.2	30.5	33.1
H24	(n=1238)	6.8	18.6	33.8	28.2	12.6	25.4	40.8	

不安を感じる計⇒「不安を感じる」+「どちらかといえば不安を感じる」、不安を感じない計⇒「どちらかといえば不安を感じない」+「不安を感じない」

\*「インスタント類(カップ麺・袋麺等)」「弁当・惣菜類」は令和元年より新規項目

図表 144 (その5) 食品の安全性に関する意識調査 (経年変化)



## 2) 食肉の安全性に関する項目別関心度 (Q21)

- ▶ 関心が高い項目 Top3 は、「食肉中の食中毒菌（サルモネラ、カンピロバクター、腸管出血性大腸菌など）の汚染」が 52.4%、「食肉の消費期限改ざん」が 52.3%、「食肉の産地偽装」50.7%。「鳥インフルエンザ」49.4%は第4位。
- ▶ 家畜伝染病（牛・豚の口蹄疫、豚熱、アフリカ豚熱、鳥インフルエンザ）に対する「関心がある計（非常に関心がある＋やや関心がある）」の割合は、減少傾向。

### 【今年度調査】

食肉の安全性に関して聞いたところ、幅広い項目に対して高い関心が寄せられていることがわかった。「関心がある計（非常に関心がある＋やや関心がある）」の割合が最も高かったのは、「食肉中の食中毒菌（サルモネラ、カンピロバクター、腸管出血性大腸菌など）の汚染」が 52.4%、「食肉の消費期限改ざん」が 52.3%、「食肉の産地偽装」50.7%、「鳥インフルエンザ」が 49.4%、「豚肉加工品（ハム・ソーセージ）の発がん性」48.1%、「牛肉・豚肉の発がん性」46.8%、「豚インフルエンザ」46.4%の順で高い。

「牛・豚の口蹄疫」は 43.8%、「豚熱」は 39.8%、「アフリカ豚熱」は 39.3%である。

今年度追加した「植物肉（大豆ミート食品類／ハンバーグ、バーガー・パテ、大豆ミート、牛丼、焼き肉用カルビ等）」は 38.7%、「細胞培養肉（食用動物の細胞を人工培養して生産する食肉）」は 38.5%である。

「食肉の放射能汚染」については 41.2%となっており、他の項目に比べて特別に高い関心が寄せられているわけではない。

「非常に関心がある」の割合は、「食肉の消費期限改ざん」が 23.2%、「食肉中の食中毒菌（サルモネラ、カンピロバクター、腸管出血性大腸菌など）の汚染」が 22.9%、「食肉の産地偽装」が 22.0%の順で高い。

### 【過年度調査との比較】

過年度調査と比較すると、多くの項目で、今年度は昨年度と同傾向であるが、総じて昨年度より関心が減少している。

家畜伝染病（牛・豚の口蹄疫、豚熱、アフリカ豚熱、鳥インフルエンザ）に対する「関心がある計（非常に関心がある＋やや関心がある）」の割合は、減少傾向である。

	n	%					関心がある計	関心がない計
		非常に 関心がある	やや 関心がある	どちらでもない	あまり 関心がない	まったく 関心がない		
食肉中の残留抗生物質	(n=1800)	12.3	25.9	34.1	17.3	10.4	38.2	27.7
食肉中の残留動物薬	(n=1800)	11.3	28.1	33.6	16.7	10.3	39.4	27.0
遺伝子組換え飼料を用いた食肉	(n=1800)	13.9	26.6	33.4	16.3	9.9	40.5	26.2
ゲノム編集飼料を用いた食肉 *1	(n=1800)	12.3	23.6	36.9	16.6	10.7	35.9	27.3
牛のBSE（牛海綿状脳症）	(n=1800)	18.4	26.7	32.1	13.5	9.3	45.1	22.8
成形肉（インジェクション） *2	(n=1800)	12.6	24.1	36.7	16.1	10.5	36.7	26.6
食肉の放射能汚染	(n=1800)	15.3	25.9	34.8	14.3	9.6	41.2	23.9
クローン家畜由来の食肉	(n=1800)	14.8	26.7	33.1	15.7	9.7	41.5	25.4
牛・豚の口蹄疫	(n=1800)	16.4	27.4	33.7	12.8	9.7	43.8	22.5
豚熱 *3	(n=1800)	15.8	24.0	35.8	14.0	10.4	39.8	24.4
アフリカ豚熱 *4	(n=1800)	15.6	23.7	36.2	13.9	10.6	39.3	24.5
豚インフルエンザ	(n=1800)	17.4	29.0	32.2	12.1	9.3	46.4	21.4
鳥インフルエンザ	(n=1800)	19.1	30.3	30.8	11.0	8.8	49.4	19.8
食肉中の食中毒菌(サルモネラ、カンピロバクター、腸管出血性大腸菌など)の汚染	(n=1800)	22.9	29.5	28.8	10.7	8.2	52.4	18.9
食肉の生食	(n=1800)	18.7	25.7	31.1	12.7	11.9	44.4	24.6
食肉の産地偽装	(n=1800)	22.0	28.7	30.2	10.3	8.7	50.7	19.0
食肉の消費期限改ざん	(n=1800)	23.2	29.1	29.4	10.1	8.2	52.3	18.3
牛肉・豚肉の発がん性	(n=1800)	20.9	25.9	32.8	11.3	9.2	46.8	20.5
豚肉加工品(ハム・ソーセージ)の発がん性	(n=1800)	20.2	27.9	32.1	11.3	8.6	48.1	19.9
植物肉(大豆ミート食品類/ハンバーグ、バーガー、パテ、大豆ミート、牛丼、焼肉用カルビ等) *5	(n=1800)	14.0	24.7	37.7	13.9	9.7	38.7	23.6
細胞培養肉(食用動物の細胞を人工培養して生産する食肉) *5	(n=1800)	14.1	24.4	35.9	14.7	10.9	38.5	25.6

関心がある計⇒「非常に関心がある」+「やや関心がある」、関心がない計⇒「あまり関心がない」+「まったく関心がない」

\*1 令和元年より新規項目 \*2 平成29年の選択肢「成形肉」より変更 \*3 令和元年の選択肢「CSF」より変更 \*4 令和元年の選択肢「ASF」より変更

\*5 「植物肉(大豆ミート食品類/ハンバーグ、バーガー、パテ、大豆ミート、牛丼、焼肉用カルビ等)」、「細胞培養肉(食用動物の細胞を人工培養して生産する食肉)」は令和4年度より新規項目

図表 145 食肉の安全性に関する項目別関心度

			非常に 関心がある	やや 関心がある	どちらでもない	あまり 関心がない	まったく 関心がない	関心がある計		関心がない計	
			(%)								
食肉中の残留抗生物質	R4	(n=1800)	12.3	25.9	34.1	17.3	10.4	38.2	27.7		
	R3	(n=1800)	10.7	31.4	32.0	17.4	8.4	42.1	25.8		
	R2	(n=1800)	13.8	33.3	29.7	14.2	9.1	47.1	23.3		
	R1	(n=1800)	14.8	35.0	29.1	13.5	7.7	49.8	21.2		
	H30	(n=1800)	15.1	33.7	28.8	14.3	8.1	48.8	22.4		
	H29	(n=1800)	17.1	34.2	28.4	14.3	6.0	51.3	20.3		
	H28	(n=1800)	16.9	34.8	30.6	12.4	5.3	51.7	17.7		
	H27	(n=1800)	14.6	41.4	27.8	13.1	3.2	56.0	16.3		
	H26	(n=1800)	21.4	44.6	23.3	8.9	1.8	66.0	10.7		
	H25	(n=1240)	18.2	44.8	21.9	12.9	2.2	63.0	15.1		
	H24	(n=1238)	15.5	39.8	26.5	15.8	2.4	55.3	18.2		
	食肉中の残留動物薬	R4	(n=1800)	11.3	28.1	33.6	16.7	10.3	39.4	27.0	
R3		(n=1800)	10.2	32.8	32.6	16.0	8.4	43.0	24.4		
R2		(n=1800)	14.0	32.9	30.3	14.3	8.5	46.9	22.8		
R1		(n=1800)	15.4	34.9	29.7	12.6	7.4	50.3	20.0		
H30		(n=1800)	16.3	33.7	28.1	13.8	8.1	50.0	21.9		
H29		(n=1800)	17.2	33.9	29.3	13.4	6.2	51.1	19.6		
H28		(n=1800)	17.7	35.2	30.2	11.6	5.3	52.9	16.9		
H27		(n=1800)	16.2	41.4	26.9	12.5	3.0	57.6	15.5		
H26		(n=1800)	22.7	43.9	23.8	7.7	1.9	66.6	9.6		
H25		(n=1240)	20.8	48.2	19.7	9.3	2.0	69.0	11.3		
H24		(n=1238)	16.5	47.0	22.8	11.7	2.0	63.5	13.7		
遺伝子組換え飼料を用いた食肉		R4	(n=1800)	13.9	26.6	33.4	16.3	9.9	40.5	26.2	
	R3	(n=1800)	12.5	33.1	31.8	14.7	7.9	45.6	22.6		
	R2	(n=1800)	15.9	32.4	30.2	13.3	8.2	48.3	21.5		
	R1	(n=1800)	18.6	32.1	30.6	11.3	7.3	50.7	18.6		
	H30	(n=1800)	18.7	32.8	28.9	11.8	7.7	51.5	19.5		
	H29	(n=1800)	19.0	34.5	28.8	11.9	5.7	53.5	17.6		
	H28	(n=1800)	21.0	34.6	28.8	10.2	5.5	55.6	15.7		
	H27	(n=1800)	17.7	40.1	27.7	11.8	2.8	57.8	14.6		
	H26	(n=1800)	23.1	42.6	24.6	7.8	2.0	65.7	9.8		
	H25	(n=1240)	23.5	44.8	19.8	9.8	2.2	68.3	12.0		
	H24	(n=1238)	18.4	43.1	24.4	11.6	2.5	61.5	14.1		
	ゲノム編集飼料を用いた食肉*	R4	(n=1800)	12.3	23.6	36.9	16.6	10.7	35.9	27.3	
R3		(n=1800)	12.2	30.1	33.8	15.0	8.9	42.3	23.9		
R2		(n=1800)	13.8	30.7	32.2	14.0	9.3	44.5	23.3		
R1		(n=1800)	16.6	32.1	31.5	11.7	8.1	48.7	19.8		

関心がある計⇒「非常に関心がある」+「やや関心がある」、関心がない計⇒「あまり関心がない」+「まったく関心がない」

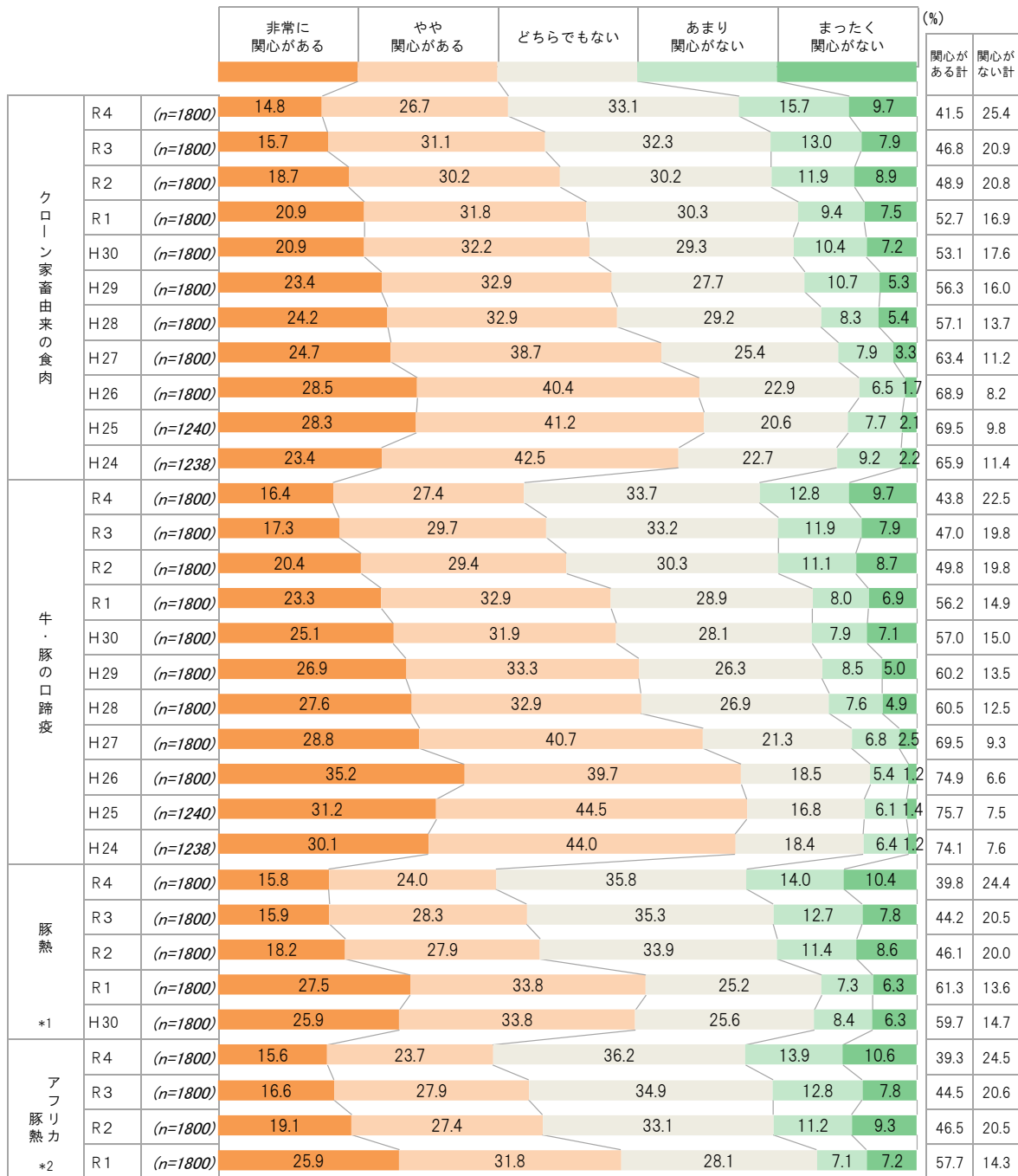
\* 「ゲノム編集飼料を用いた食肉」は令和元年より新規項目

図表 146 (その1) 食肉の安全性に関する項目別関心度 (経年変化)

			非常に 関心がある	やや 関心がある	どちらでもない	あまり 関心がない	まったく 関心がない	(%)	
								関心が ある計	関心が ない計
牛の BSE (牛海綿状脳症)	R4	(n=1800)	19.0	31.8	29.8	11.6	7.8	50.8	19.4
	R3	(n=1800)	19.0	31.8	29.8	11.6	7.8	50.8	19.4
	R2	(n=1800)	22.2	31.7	26.7	11.1	8.4	53.9	19.5
	R1	(n=1800)	25.9	31.2	26.5	9.3	7.1	57.1	16.4
	H30	(n=1800)	26.6	34.2	23.8	9.2	6.3	60.8	15.5
	H29	(n=1800)	29.4	32.7	24.5	8.2	5.1	62.1	13.3
	H28	(n=1800)	30.7	34.4	23.7	6.7	4.5	65.1	11.2
	H27	(n=1800)	31.2	38.7	21.7	6.2	2.2	69.9	8.4
	H26	(n=1800)	35.4	40.9	17.0	5.2	1.4	76.3	6.6
	H25	(n=1240)	35.4	43.8	13.8	5.5	1.5	79.2	7.0
	H24	(n=1238)	32.3	44.3	15.3	6.5	1.6	76.6	8.1
成形肉 (インジェクション) *	R4	(n=1800)	12.6	24.1	36.7	16.1	10.5	36.7	26.6
	R3	(n=1800)	12.5	27.9	36.8	13.7	9.0	40.4	22.7
	R2	(n=1800)	15.3	28.4	34.9	12.2	9.2	43.7	21.4
	R1	(n=1800)	17.4	29.6	34.3	10.8	7.9	47.0	18.7
	H30	(n=1800)	18.3	30.2	31.9	11.4	8.2	48.5	19.6
	H29	(n=1800)	19.8	32.6	30.5	11.2	6.0	52.4	17.2
	H28	(n=1800)	20.8	35.1	30.2	8.9	5.1	55.9	14.0
	H27	(n=1800)	18.3	38.1	30.0	9.9	3.7	56.4	13.6
	H26	(n=1800)	27.7	42.3	21.3	6.8	1.9	70.0	8.7
	H25	(n=1240)	22.7	42.0	24.3	8.7	2.3	64.7	11.0
	H24	(n=1238)	18.1	39.3	29.8	10.4	2.4	57.4	12.8
食肉の放射能汚染	R4	(n=1800)	15.3	25.9	34.8	14.3	9.6	41.2	23.9
	R3	(n=1800)	16.2	30.6	33.0	12.6	7.7	46.8	20.3
	R2	(n=1800)	19.3	30.2	31.1	11.2	8.2	49.5	19.4
	R1	(n=1800)	20.9	32.6	30.1	9.5	6.9	53.5	16.4
	H30	(n=1800)	23.1	31.1	28.7	10.4	6.8	54.2	17.2
	H29	(n=1800)	24.6	31.4	29.1	9.7	5.2	56.0	14.9
	H28	(n=1800)	24.8	32.9	28.6	8.6	5.1	57.7	13.7
	H27	(n=1800)	26.6	38.9	24.1	7.9	2.5	65.5	10.4
	H26	(n=1800)	32.4	39.4	19.9	6.4	1.9	71.8	8.3
	H25	(n=1240)	33.0	39.7	18.0	7.3	2.0	72.7	9.3
	H24	(n=1238)	33.8	39.9	17.8	6.4	2.1	73.7	8.5

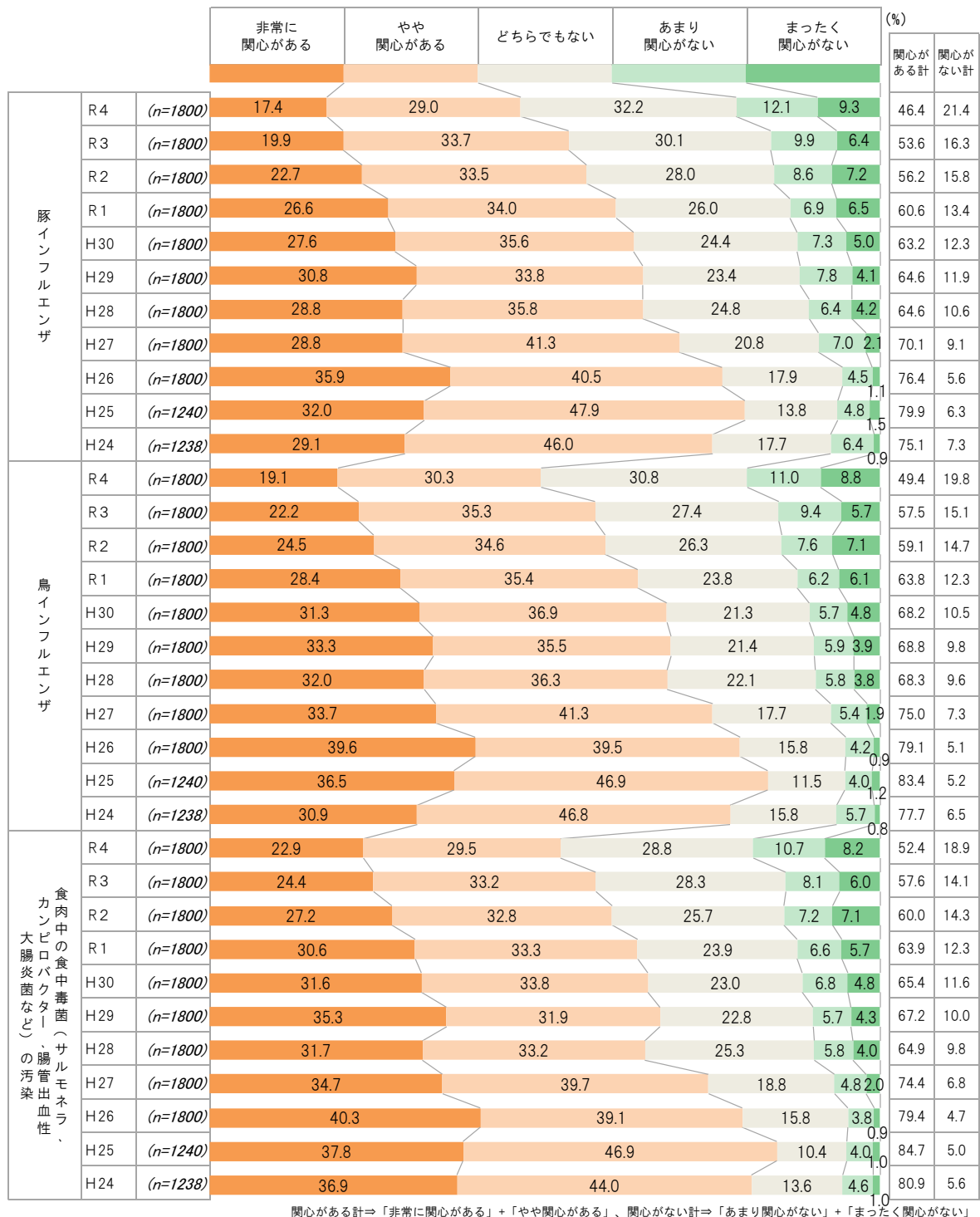
関心がある計⇒「非常に関心がある」+「やや関心がある」、関心がない計⇒「あまり関心がない」+「まったく関心がない」  
\* 「成形肉（インジェクション）」は平成30年より変更

図表 146 (その2) 食肉の安全性に関する項目別関心度 (経年変化)



\*1 令和元年の選択肢「CSF」より変更      \*2 令和元年の選択肢「ASF」より変更

図表 146 (その3) 食肉の安全性に関する項目別関心度 (経年変化)



図表 146（その4） 食肉の安全性に関する項目別関心度（経年変化）

			非常に 関心がある	やや 関心がある	どちらでもない	あまり 関心がない	まったく 関心がない	(%)	
								関心が ある計	関心が ない計
食肉の生食	R4	(n=1800)	18.7	25.7	31.1	12.7	11.9	44.4	24.6
	R3	(n=1800)	20.1	28.9	29.9	11.2	9.9	49.0	21.1
	R2	(n=1800)	21.3	29.0	29.2	10.6	10.0	50.3	20.6
	R1	(n=1800)	25.7	30.7	27.7	7.9	8.0	56.4	15.9
	H30	(n=1800)	26.8	31.1	25.7	8.6	7.8	57.9	16.4
	H29	(n=1800)	29.3	28.7	26.0	8.3	7.7	58.0	16.0
	H28	(n=1800)	25.4	30.3	27.8	8.7	7.7	55.7	16.4
	H27	(n=1800)	24.1	34.3	22.6	10.9	8.1	58.4	19.0
	H26	(n=1800)	31.2	36.3	19.9	8.4	4.1	67.5	12.5
	H25	(n=1240)	29.4	39.6	19.0	8.1	3.9	69.0	12.0
	H24	(n=1238)	26.7	38.2	19.9	10.3	5.0	64.9	15.3
食肉の産地偽装	R4	(n=1800)	22.0	28.7	30.2	10.3	8.7	50.7	19.0
	R3	(n=1800)	23.9	32.1	29.1	8.3	6.6	56.0	14.9
	R2	(n=1800)	25.7	32.3	26.6	8.2	7.2	58.0	15.4
	R1	(n=1800)	31.7	30.0	26.1	6.7	5.5	61.7	12.2
	H30	(n=1800)	31.0	33.1	24.0	6.7	5.2	64.1	11.9
	H29	(n=1800)	31.9	33.3	23.9	6.7	4.2	65.2	10.9
	H28	(n=1800)	32.9	32.6	24.4	5.8	4.2	65.5	10.0
	H27	(n=1800)	31.9	40.1	21.1	5.1	1.8	72.0	6.9
	H26	(n=1800)	42.6	36.3	15.7	4.1	1.3	78.9	5.4
	H25	(n=1240)	38.1	42.5	13.0	5.5	0.9	80.6	6.4
	H24	(n=1238)	35.7	42.2	15.6	5.3	1.2	77.9	6.5
食肉の消費期限改ざん	R4	(n=1800)	23.2	29.1	29.4	10.1	8.2	52.3	18.3
	R3	(n=1800)	24.7	32.6	27.7	8.8	6.2	57.3	15.0
	R2	(n=1800)	26.9	33.9	24.1	7.9	7.1	60.8	15.0
	R1	(n=1800)	31.4	32.1	24.6	6.4	5.4	63.5	11.8
	H30	(n=1800)	31.5	33.6	24.3	6.1	4.5	65.1	10.6
	H29	(n=1800)	32.9	34.3	22.2	6.4	4.1	67.2	10.5
	H28	(n=1800)	34.1	32.8	23.9	5.2	4.1	66.9	9.3
	H27	(n=1800)	35.2	41.1	18.6	3.6	1.6	76.3	5.2
	H26	(n=1800)	45.7	37.1	13.2	2.8	1.2	82.8	4.0
	H25	(n=1240)	38.6	46.4	11.0	3.3	0.7	85.0	4.0
	H24	(n=1238)	36.8	44.9	13.5	3.9	0.9	81.7	4.8

関心がある計⇒「非常に関心がある」+「やや関心がある」、関心がない計⇒「あまり関心がない」+「まったく関心がない」

図表 146 (その5) 食肉の安全性に関する項目別関心度 (経年変化)

			非常に 関心がある	やや 関心がある	どちらでもない	あまり 関心がない	まったく 関心がない	(%)			
							関心が ある計	関心が ない計			
牛肉・豚肉の発がん性	R4	(n=1800)	20.9	25.9	32.8	11.3	9.2	46.8	20.5		
	R3	(n=1800)	21.4	31.1	30.4	10.6	6.4	52.5	17.0		
	R2	(n=1800)	24.7	30.9	27.4	9.6	7.3	55.6	16.9		
	R1	(n=1800)	28.9	31.9	26.1	7.1	6.1	60.8	13.2		
	H30	(n=1800)	28.2	30.3	28.1	7.9	5.6	58.5	13.5		
	H29	(n=1800)	30.9	30.1	26.6	7.8	4.7	61.0	12.5		
	H28	(n=1800)	30.7	31.2	26.8	6.7	4.6	61.9	11.3		
ソーセージ(豚肉加工品)の発がん性	H27	(n=1800)	20.2	27.9	32.1	11.3	8.6	48.1	19.9		
	H26	(n=1800)	22.9	31.1	30.3	10.0	5.7	54.0	15.7		
	H25	(n=1800)	24.6	32.8	27.1	8.3	7.3	57.4	15.6		
	H24	(n=1800)	29.1	32.1	26.3	6.6	5.9	61.2	12.5		
	R4	(n=1800)	29.8	31.7	25.6	7.5	5.4	61.5	12.9		
	R3	(n=1800)	30.7	30.2	27.4	7.1	4.7	60.9	11.8		
	R2	(n=1800)	31.1	31.6	26.2	6.2	4.9	62.7	11.1		
植物肉*	R1	(n=1800)	14.0	24.7	37.7	13.9	9.7	38.7	23.6		
細胞培養肉*	H30	(n=1800)	14.1	24.4	35.9	14.7	10.9	38.5	25.6		

関心がある計⇒「非常に関心がある」+「やや関心がある」、関心がない計⇒「あまり関心がない」+「まったく関心がない」  
 \*「植物肉(大豆ミート食品類(ハンバーグ・バーガー・パテ・大豆ミート・牛丼・焼肉用カルビ等))」、「細胞培養肉(食用動物の細胞を人工培養して生産する食肉)」は令和4年より新規項目

図表 146 (その6) 食肉の安全性に関する項目別関心度 (経年変化)



## 4.2 食肉の安全性に対する社会的な意識

### 1) 社会全体における食肉の安全性の認識 (Q28)

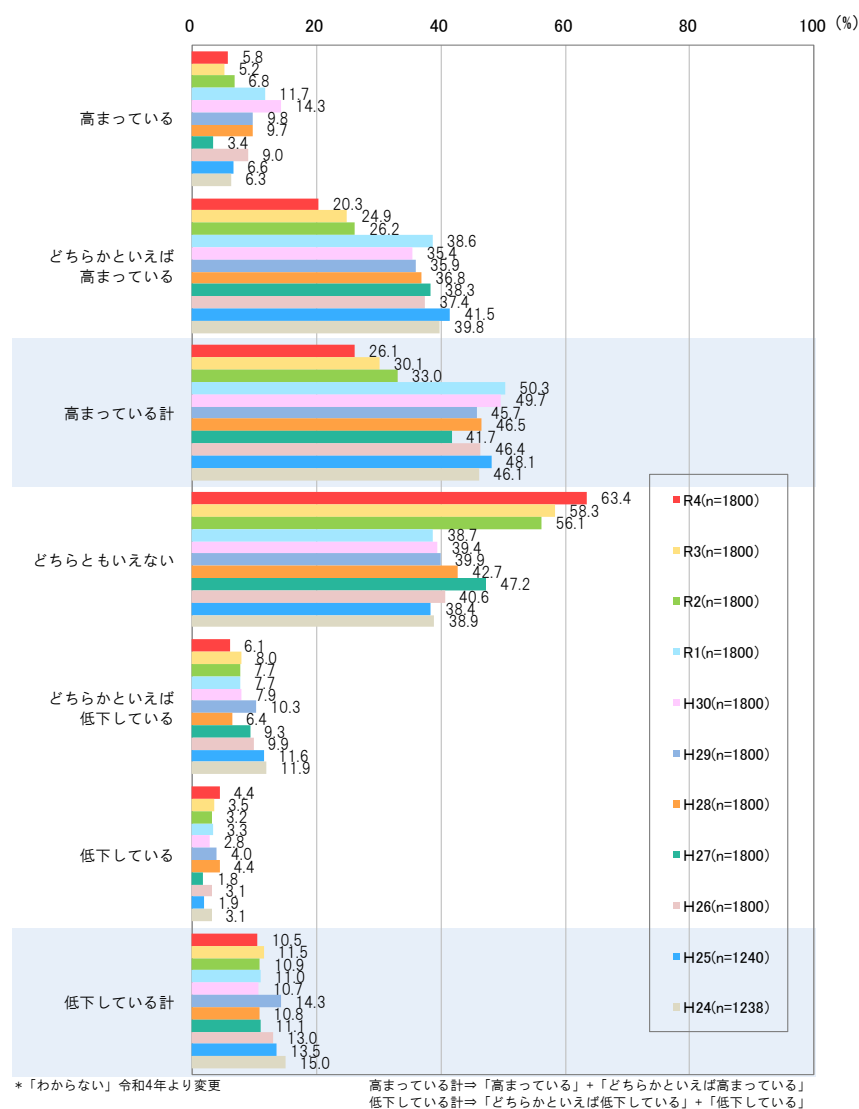
- 社会全体における食肉の安全性の認識は、「高まっている計」の割合が26.1%。
- 過年度調査と比較すると、昨年度と大きな変化は見られない。

#### 【今年度調査】

社会全体における食肉の安全性について聞いたところ、「低下している（低下している＋どちらかといえば低下している）」の割合が10.5%であるのに対して、「高まっている（高まっている＋どちらかといえば高まっている）」の割合は26.1%である。「どちらともいえない」が63.4%を占める。

#### 【過年度調査との比較】

過年度調査と比較すると、昨年度と大きな変化は見られない。



図表 147 社会全体における食肉の安全性の認識 (経年変化)

## 2) 食肉の情報を得るために用いている主な情報源・信頼できる情報源

### ①食肉の安全性 ②食肉の栄養や機能 (Q29・Q30)

- 「①食肉の安全性」「②食肉の栄養や機能」について情報を得るために用いている主な情報源の Top3 は、「テレビのニュース・報道番組」「インターネット上のニュースサイト」「テレビのワイドショー・情報番組」。
- 信頼できる情報源も、「テレビのニュース・報道番組」が Top 1 で、「テレビのワイドショー・情報番組」「インターネット上のニュースサイト」「新聞」が続く。

#### 【今年度調査】

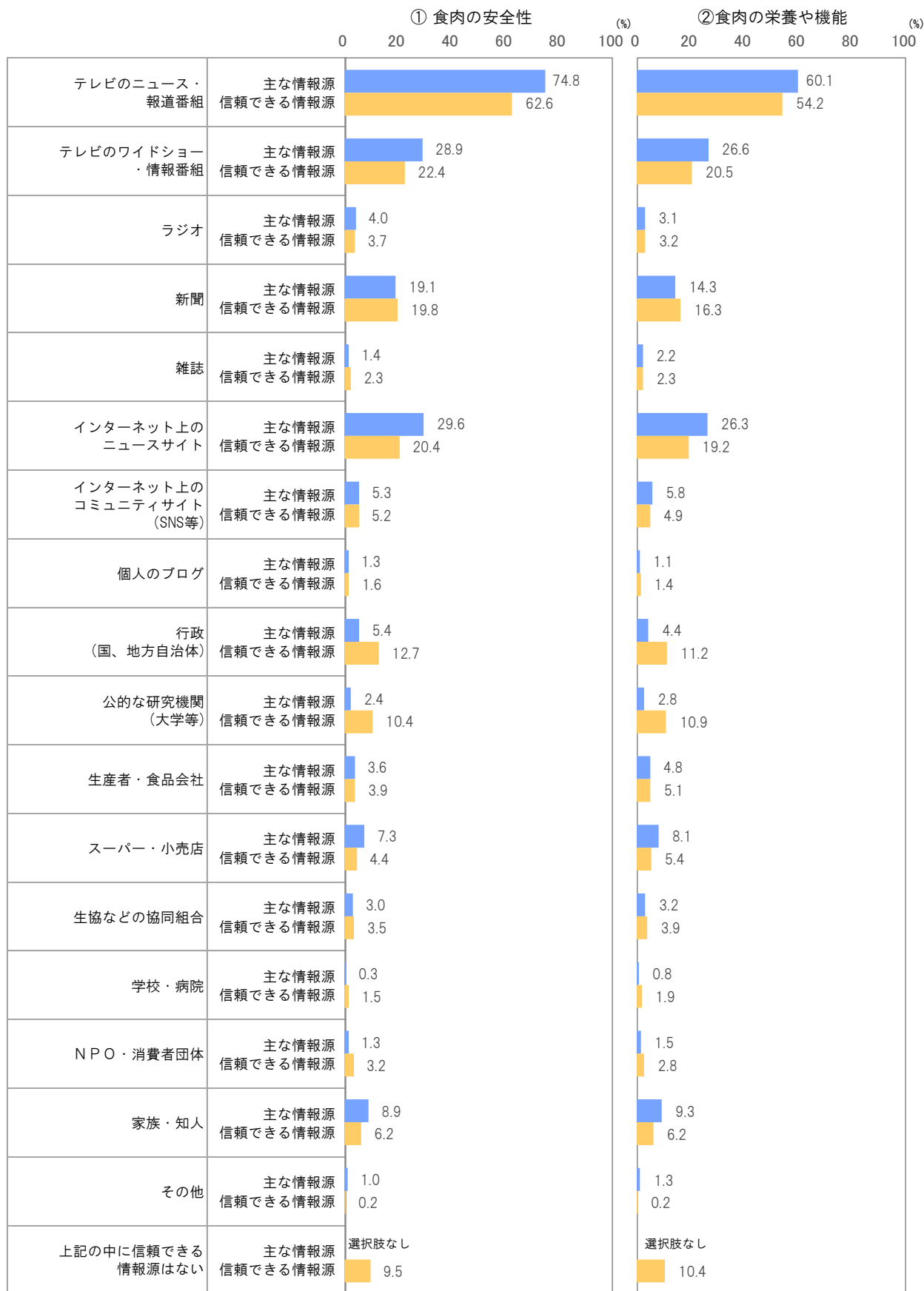
「① 食肉の安全性」「②食肉の栄養や機能」についての情報を得るために用いている主な情報源（上位3つ）は、Top3 が「テレビのニュース・報道番組」（①74.8%、②60.1%）、「インターネット上のニュースサイト」（①29.6%、②26.3%）、「テレビのワイドショー・情報番組」（①28.9%、②26.6%）。

「① 食肉の安全性」「②食肉の栄養や機能」についての信頼できる情報源（上位3つ）は、Top3 は「テレビのニュース・報道番組」（①62.6%、②54.2%）、「テレビのワイドショー・情報番組」（①22.4%、②20.5%）、「インターネット上のニュースサイト」（①20.4%、②19.2%）で、「新聞」（①19.8%、②16.3%）が続く。

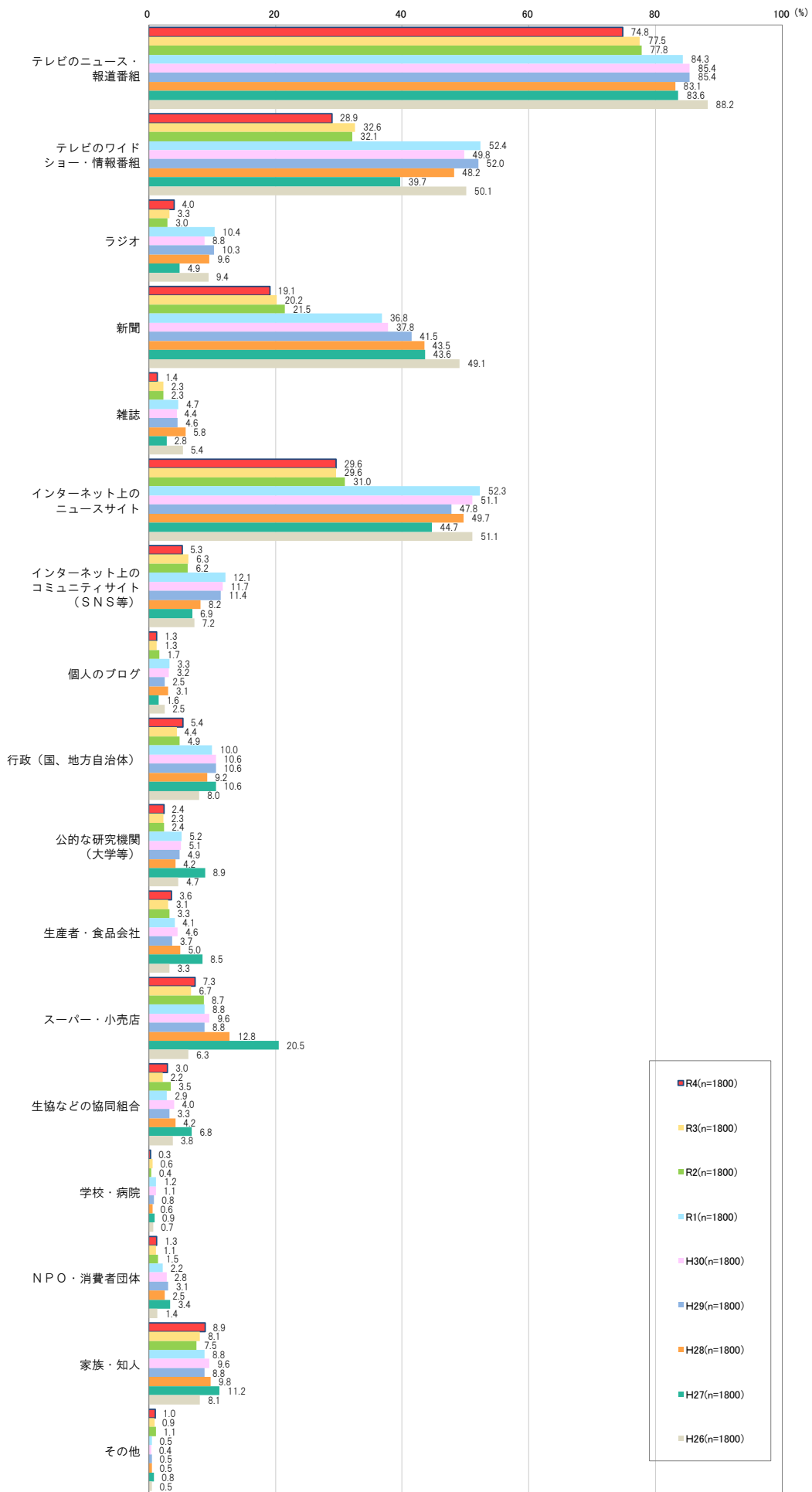
#### 【過年度調査との比較】

過年度調査と比較すると、昨年度より「インターネット上のニュースサイト」の比率があがり、「①食肉の安全性」「②食肉の栄養や機能」のいずれにおいても、信頼できる情報源で「インターネット上のニュースサイト」が「新聞」より高くなった。

※令和2年度からは、「主な情報源（上位3つ）：複数回答」として聞いたが、令和元年度以前は「1位」「2位」「3位」（各単一回答（SA））で聞いたため、令和元年度以前のデータ（1位・2位・3位の合計比率）は、参考値として図示するにとどめる。

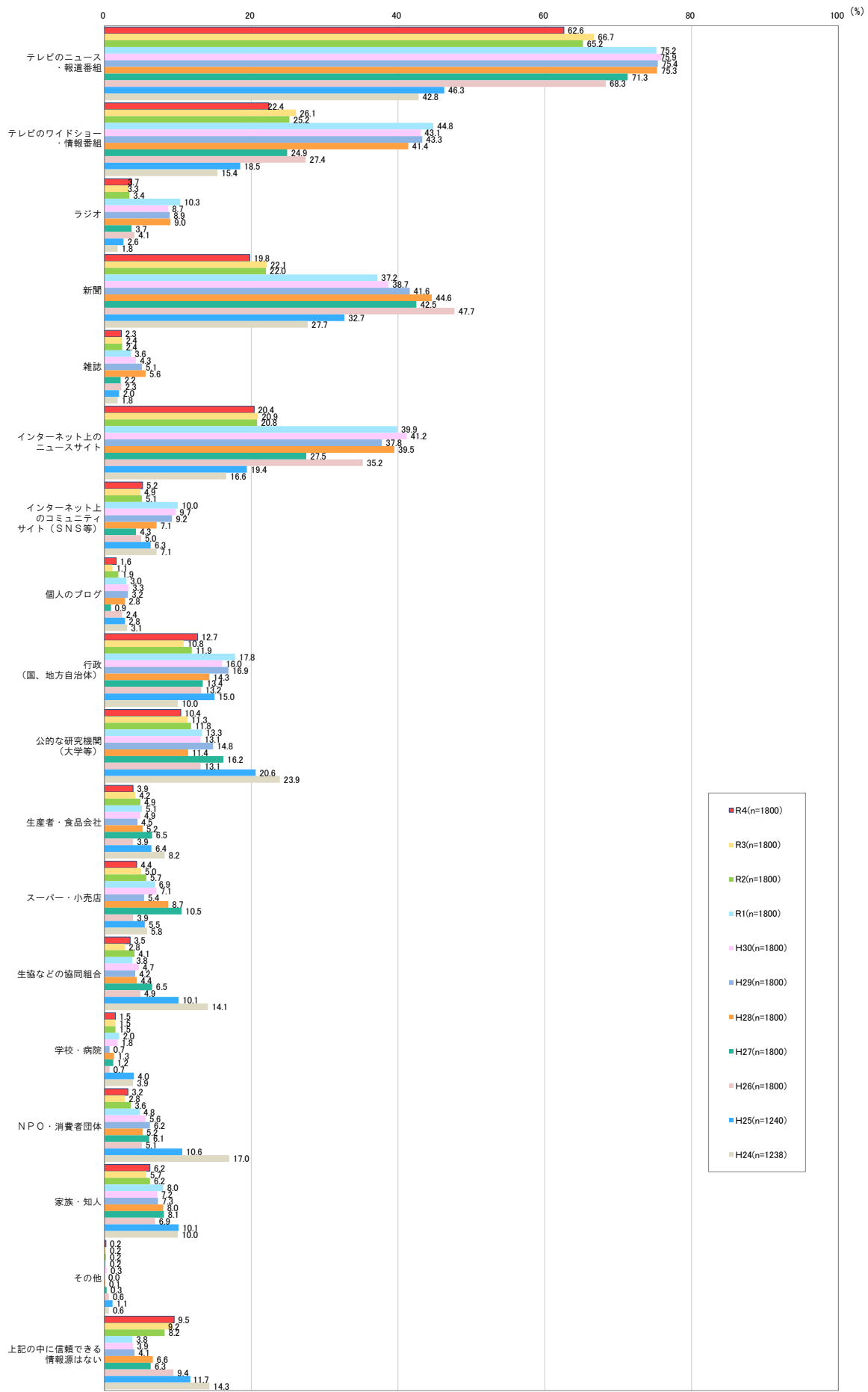


図表 148 食肉の情報を得るために用いている主な情報源・信頼できる情報源  
 ①食肉の安全性 ②食肉の栄養や機能



\*令和元年までは1位、2位、3位を選択、令和2年からは上位3つまでを選択(合計の比率)に変更となった

図表 149 食肉の情報を得るために用いている主な情報源 ①食肉の安全性(経年変化※参考値)



\*令和元年までは1位、2位、3位を選択、令和2年からは上位3つまでを選択(合計の比率)に変更となった

図表 150 信頼できる情報源 ①食肉の安全性 (経年変化※参考値)

### 3) 各機関の取組に対する信頼性 (Q31)

- ▶ 「信頼できる (信頼できる+どちらかといえば信頼できる)」の割合が高かったのは「農林水産省」「厚生労働省」「地方自治体」「畜産農家」。
- ▶ 過年度調査と比較すると、大きな変化は見られない。

#### 【今年度調査】

食肉の安全性に関しては、農林水産省、厚生労働省といった国の機関、地方自治体などの機関が様々な取組を行っている。各機関の取組について消費者から見た際、どの機関が信用できるか聞いた。

その結果「信頼できる計 (信頼できる+どちらかといえば信頼できる)」の割合は「農林水産省」が 40.1%、「厚生労働省」が 35.7%、「地方自治体」34.8%、「畜産農家」が 34.5%の順で高い。

逆に「信頼できない計 (信頼できない+どちらかといえば信頼できない)」の割合は、「食肉を扱う外食店」が 21.5%、「食肉卸売業者」が 21.4%、「食肉小売業者」が 19.7%の順で高い。

#### 【過年度調査との比較】

過年度調査と比較すると、大きな変化は見られない。

		信頼できる	どちらかといえば信頼できる	どちらともいえない	どちらかといえば信頼できない	信頼できない	どのような取組をしているかわからない	(% )	
								信頼できる計	信頼できない計
農林水産省	(n=1800)	10.4	29.7	31.6	7.3	6.6	14.6	40.1	13.9
厚生労働省	(n=1800)	8.9	26.8	33.8	8.3	7.0	15.1	35.7	15.3
地方自治体	(n=1800)	7.2	27.6	36.6	7.8	4.9	15.9	34.8	12.7
畜産農家	(n=1800)	7.7	26.8	39.6	7.2	4.2	14.6	34.5	11.4
食肉卸売業者	(n=1800)	3.8	16.7	42.9	14.0	7.4	15.1	20.5	21.4
食肉小売業者	(n=1800)	3.8	15.9	45.2	13.0	6.7	15.4	19.7	19.7
食肉を扱う外食店	(n=1800)	3.3	13.5	46.2	14.6	6.9	15.6	16.8	21.5

「信頼できる計」⇒「信頼できる」+「どちらかといえば信頼できる」  
「信頼できない計」⇒「どちらかといえば信頼できない」+「信頼できない」

図表 151 各機関の取組に対する信頼性

			信頼性					取組	
			信頼できる	どちらかといえば信頼できる	どちらともいえない	どちらかといえば信頼できない	信頼できない	どのような取組をしているかわからない	どのよう
農林水産省	R4 (n=1800)	10.4	29.7	31.6	7.3	6.6	14.6	40.1	13.9
	R3 (n=1800)	8.8	31.6	33.6	8.1	5.7	12.3	40.4	13.8
	R2 (n=1800)	9.7	33.1	30.9	7.4	5.9	13.0	42.8	13.3
	R1 (n=1800)	9.7	29.5	35.3	7.4	6.4	11.6	39.2	13.8
	H30 (n=1800)	9.1	27.4	33.4	9.3	8.3	12.4	36.5	17.6
	H29 (n=1800)	9.1	30.3	32.4	8.6	7.7	11.9	39.4	16.3
	H28 (n=1800)	7.6	30.4	35.3	8.2	8.3	10.2	38.0	16.5
	H27 (n=1800)	4.1	30.8	42.2	12.9	6.5	3.4	34.9	19.4
	H26 (n=1800)	6.5	32.2	40.0	10.0	5.8	5.6	38.7	15.8
	H25 (n=1240)	5.0	25.2	37.0	15.8	10.7	6.3	30.2	26.5
H24 (n=1238)	2.1	21.9	36.3	17.8	14.0	8.0	24.0	31.8	
厚生労働省	R4 (n=1800)	8.9	26.8	33.8	8.3	7.0	15.1	35.7	15.3
	R3 (n=1800)	7.6	26.8	36.2	9.8	6.2	13.4	34.4	16.0
	R2 (n=1800)	7.2	30.3	33.8	8.6	6.5	13.7	37.5	15.1
	R1 (n=1800)	8.1	26.8	36.6	9.1	7.3	12.0	34.9	16.4
	H30 (n=1800)	8.5	25.3	34.7	10.0	8.9	12.6	33.8	18.9
	H29 (n=1800)	7.3	29.4	33.6	9.5	8.3	11.8	36.7	17.8
	H28 (n=1800)	6.6	29.7	35.9	8.6	8.9	10.3	36.3	17.5
	H27 (n=1800)	3.9	28.9	42.2	13.3	7.8	3.8	32.8	21.1
	H26 (n=1800)	5.6	30.8	40.6	10.9	6.3	5.7	36.4	17.2
	H25 (n=1240)	4.7	24.0	38.5	15.5	10.7	6.5	28.7	26.2
H24 (n=1238)	1.4	22.3	34.8	18.1	15.5	7.9	23.7	33.6	
地方自治体	R4 (n=1800)	7.2	27.6	36.6	7.8	4.9	15.9	34.8	12.7
	R3 (n=1800)	5.6	30.6	38.2	7.4	4.6	13.6	36.2	12.0
	R2 (n=1800)	6.2	30.9	36.8	7.6	4.2	14.3	37.1	11.8
	R1 (n=1800)	7.1	27.7	40.5	8.1	4.6	12.1	34.8	12.7
	H30 (n=1800)	7.8	27.7	37.0	8.3	6.2	13.0	35.5	14.5
	H29 (n=1800)	7.1	30.9	36.3	7.8	6.3	11.6	38.0	14.1
	H28 (n=1800)	5.9	27.7	40.1	8.2	7.6	10.6	33.6	15.8
	H27 (n=1800)	3.2	30.9	44.5	12.4	4.9	4.1	34.1	17.3
	H26 (n=1800)	4.3	32.4	44.1	8.9	4.6	5.7	36.7	13.5
	H25 (n=1240)	4.4	28.1	39.8	12.7	8.1	6.9	32.5	20.8
H24 (n=1238)	2.3	24.5	41.9	13.8	9.3	8.2	26.8	23.1	
畜産農家	R4 (n=1800)	7.7	26.8	39.6	7.2	4.2	14.6	34.5	11.4
	R3 (n=1800)	5.8	29.1	42.1	7.7	3.6	11.7	34.9	11.3
	R2 (n=1800)	6.8	31.1	40.1	6.2	3.1	12.7	37.9	9.3
	R1 (n=1800)	6.6	28.5	42.0	7.6	3.4	11.9	35.1	11.0
	H30 (n=1800)	6.5	27.6	42.2	7.3	4.3	12.1	34.1	11.6
	H29 (n=1800)	6.2	30.2	41.3	6.3	4.4	11.6	36.4	10.7
	H28 (n=1800)	6.4	26.8	43.9	7.2	5.3	10.3	33.2	12.5
	H27 (n=1800)	4.3	29.9	50.3	8.1	3.1	4.3	34.2	11.2
	H26 (n=1800)	4.3	31.3	48.2	7.4	3.1	5.7	35.6	10.5
	H25 (n=1240)	5.3	28.9	43.2	10.1	6.0	6.5	34.2	16.1
H24 (n=1238)	3.8	28.6	41.2	13.4	5.6	7.4	32.4	19.0	

「信頼できる計」⇒「信頼できる」+「どちらかといえば信頼できる」、「信頼できない計」⇒「どちらかといえば信頼できない」+「信頼できない」

図表 152 行政・農家の取組に対する信頼性（経年変化）

		信頼できる	どちらかといえ ば信頼できる	どちらとも いえない	どちらかといえ ば信頼できない	信頼できない	どのような取組 をしているか わからない	(%)	
								計	い
								信頼 できる	計 信頼 でき ない
食肉卸売業者	R4 (n=1800)	3.8	16.7	42.9	14.0	7.4	15.1	20.5	21.4
	R3 (n=1800)	2.7	17.4	49.2	13.0	5.2	12.6	20.1	18.2
	R2 (n=1800)	3.5	17.5	46.1	14.5	5.4	12.9	21.0	19.9
	R1 (n=1800)	4.2	16.2	45.9	14.1	7.1	12.5	20.4	21.2
	H30 (n=1800)	3.4	14.8	45.4	15.9	8.2	12.2	18.2	24.1
	H29 (n=1800)	3.2	15.7	44.8	15.6	8.8	11.8	18.9	24.4
	H28 (n=1800)	2.7	13.8	44.1	17.9	10.5	11.0	16.5	28.4
	H27 (n=1800)	1.6	12.4	52.0	22.2	7.2	4.6	14.0	29.4
	H26 (n=1800)	1.0	11.8	51.5	21.6	7.9	6.2	12.8	29.5
	H25 (n=1240)	1.9	11.0	44.3	24.2	11.7	6.9	12.9	35.9
H24 (n=1238)	0.7	8.8	42.2	27.7	12.9	7.6	9.5	40.6	
食肉小売業者	R4 (n=1800)	3.8	15.9	45.2	13.0	6.7	15.4	19.7	19.7
	R3 (n=1800)	2.7	16.7	49.9	13.1	4.8	12.8	19.4	17.9
	R2 (n=1800)	3.4	16.7	47.8	13.7	5.2	13.2	20.1	18.9
	R1 (n=1800)	3.9	15.6	47.8	13.2	6.7	12.8	19.5	19.9
	H30 (n=1800)	3.4	15.4	45.1	16.6	7.1	12.5	18.8	23.7
	H29 (n=1800)	3.0	15.8	46.3	14.4	8.8	11.7	18.8	23.2
	H28 (n=1800)	2.5	14.4	46.2	16.8	9.0	11.1	16.9	25.8
	H27 (n=1800)	1.4	12.7	54.5	20.3	6.6	4.5	14.1	26.9
	H26 (n=1800)	1.1	12.3	53.3	19.7	7.2	6.3	13.4	26.9
	H25 (n=1240)	1.9	10.8	46.9	22.9	10.7	6.9	12.7	33.6
H24 (n=1238)	0.9	10.0	44.7	25.7	10.9	7.7	10.9	36.6	
食肉を扱う外食店	R4 (n=1800)	3.3	13.5	46.2	14.6	6.9	15.6	16.8	21.5
	R3 (n=1800)	2.4	13.8	50.4	14.0	6.3	13.1	16.2	20.3
	R2 (n=1800)	2.8	14.4	47.8	15.4	6.1	13.4	17.2	21.5
	R1 (n=1800)	3.3	12.7	46.5	16.4	8.2	12.9	16.0	24.6
	H30 (n=1800)	2.8	12.8	44.1	18.6	8.7	13.1	15.6	27.3
	H29 (n=1800)	2.5	12.5	45.0	17.0	10.7	12.3	15.0	27.7
	H28 (n=1800)	1.8	11.8	45.2	18.6	11.2	11.4	13.6	29.8
	H27 (n=1800)	0.9	9.7	51.8	23.2	9.7	4.7	10.6	32.9
	H26 (n=1800)	0.7	8.2	47.7	24.2	12.1	7.1	8.9	36.3
	H25 (n=1240)	1.0	8.1	44.6	25.0	14.4	6.9	9.1	39.4
H24 (n=1238)	0.5	8.8	43.9	26.5	12.3	8.0	9.3	38.8	

「信頼できる計」⇒「信頼できる」+「どちらかといえれば信頼できる」、「信頼できない計」⇒「どちらかといえれば信頼できない」+「信頼できない」

図表 153 民間事業者などの取組に対する信頼性（経年変化）



#### 4) 食肉の情報提供に対する行政への期待 ①食肉の安全性 ②食肉の栄養や機能 (Q32)

- ▶ 「①食肉の安全性」「②食肉の栄養や機能」についての情報提供において、行政に期待することの Top3 は、「正確な情報の提供」「わかりやすい情報の提供」「迅速な情報の提供」。
- ▶ 過年度調査と比較すると、大きな変化は見られない。

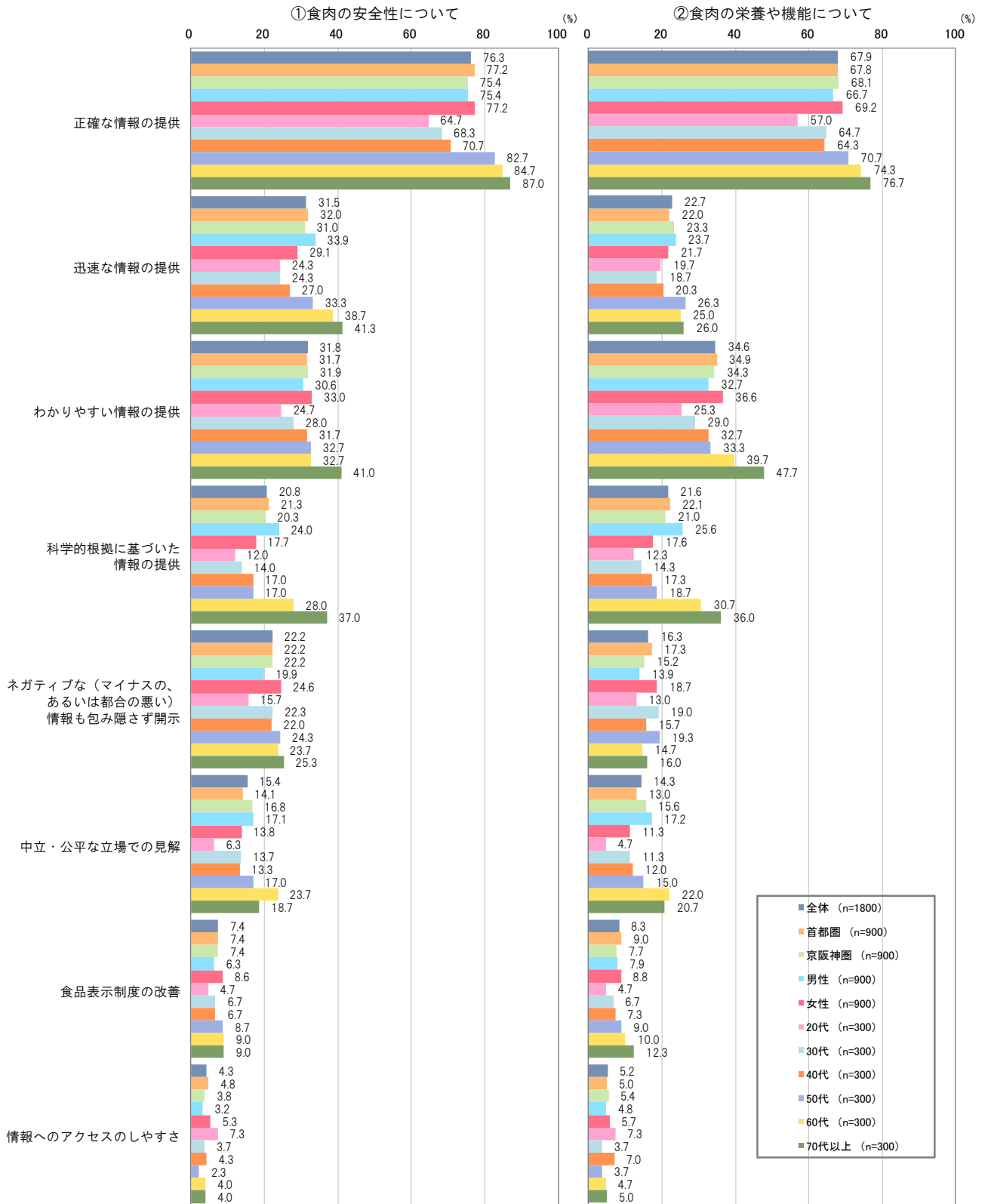
##### 【今年度調査】

「① 食肉の安全性」「②食肉の栄養や機能」についての情報提供において、行政に期待すること（上位3つ）は、Top3が「正確な情報の提供」（①76.3%、②67.9%）、「わかりやすい情報の提供」（①31.8%、②34.6%）、「迅速な情報の提供」（①31.5%、②22.7%）。

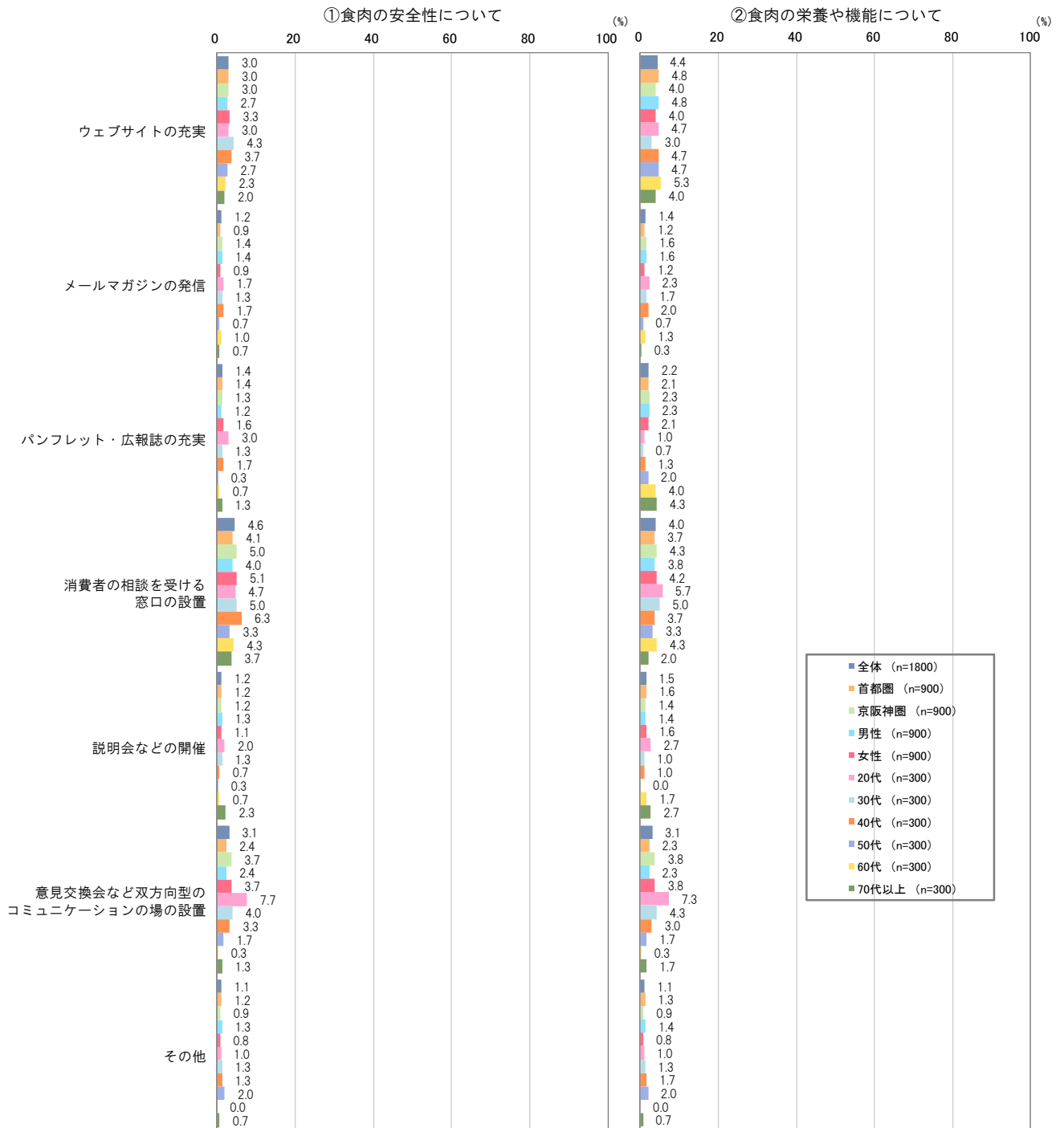
##### 【過年度調査との比較】

過年度調査と比較すると、大きな変化は見られない。

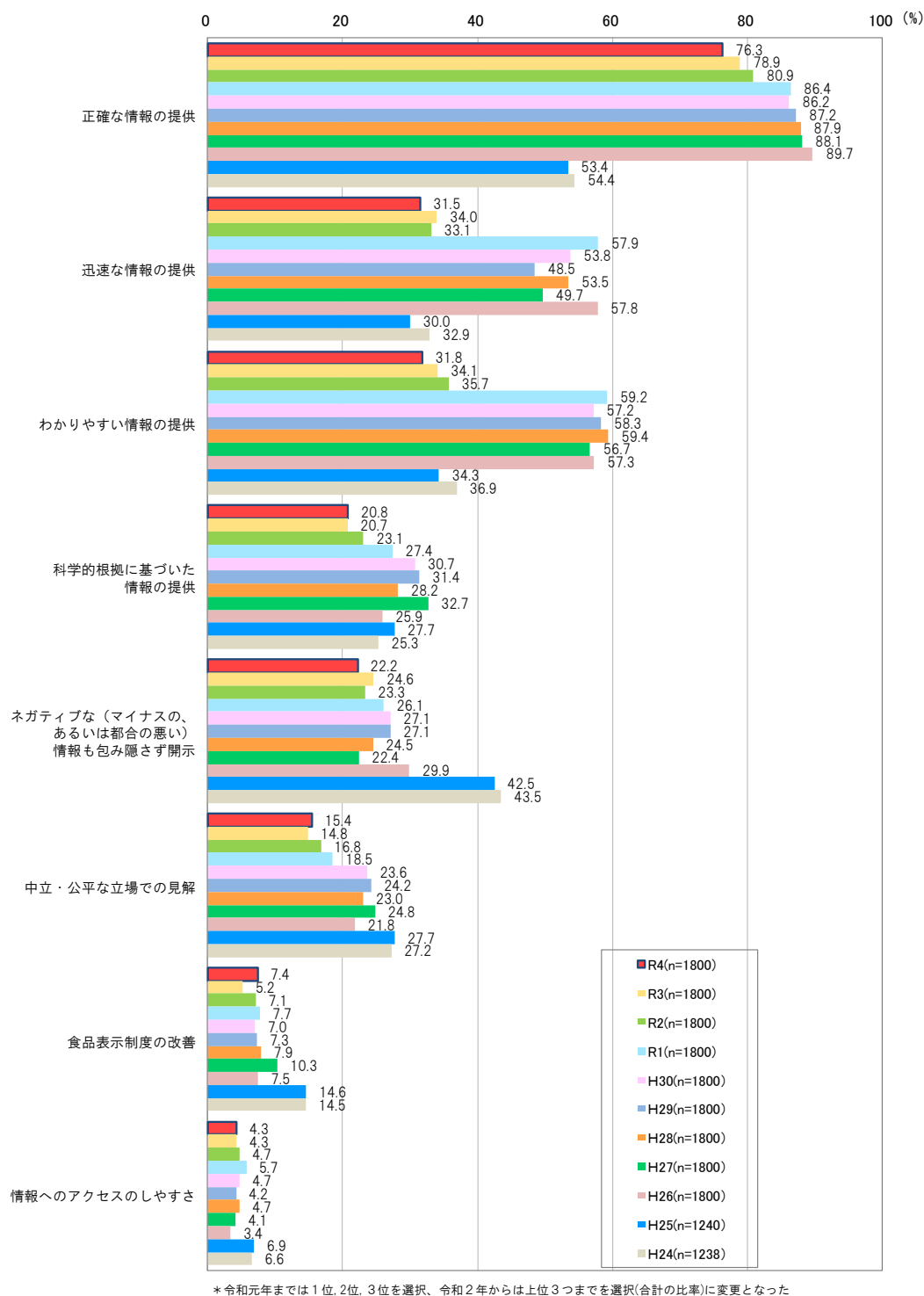
※令和2年度からは、「行政に期待すること（上位3つ）：複数回答」として聞いたが、令和元年度以前は「1位」「2位」「3位」（各単一回答（SA））で聞いたため、令和元年度以前のデータ（1位・2位・3位の合計比率）は、参考値として図示することと定める。



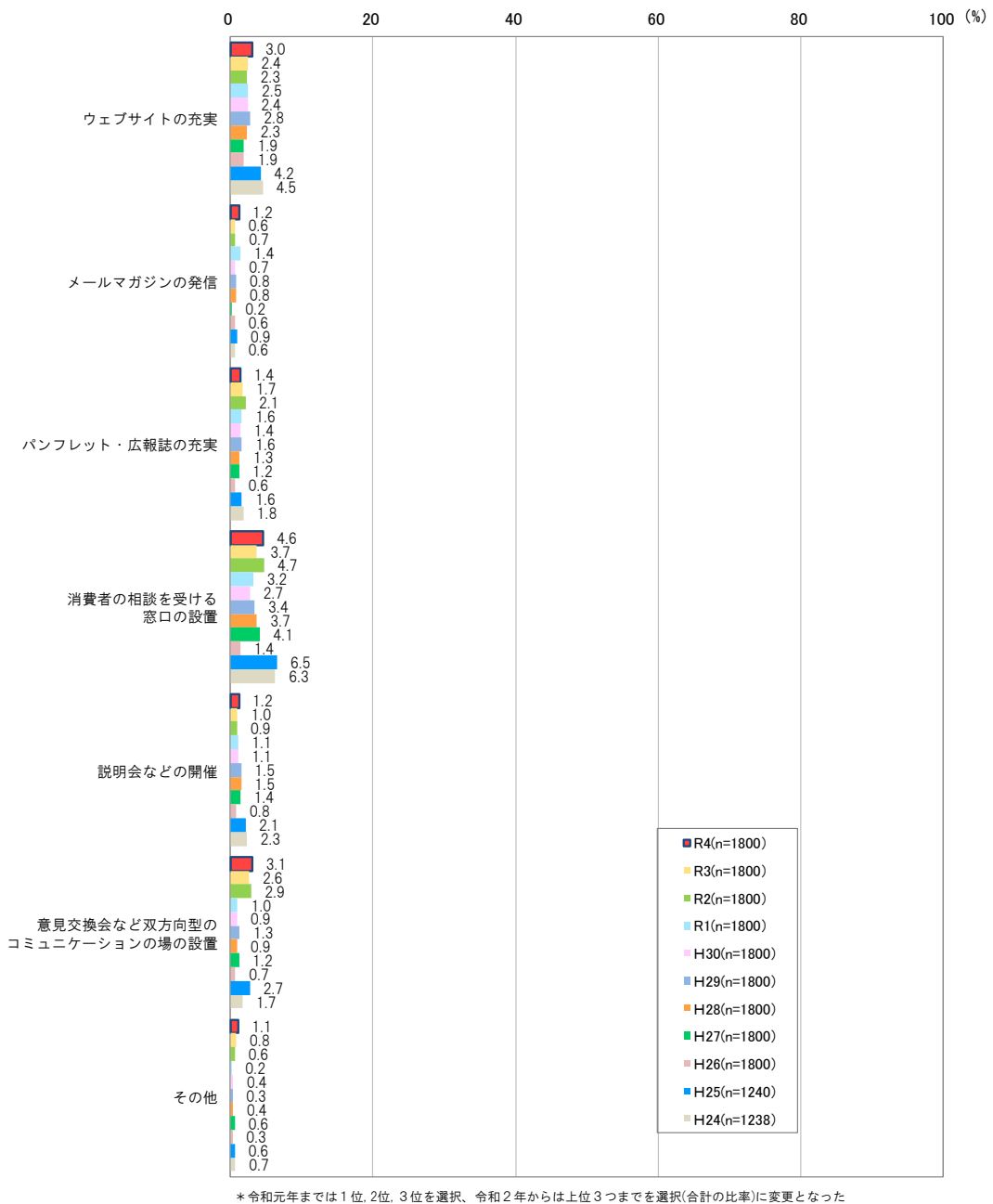
図表 154（その1） 情報提供に対する行政への期待



図表 154 (その2) 情報提供に対する行政への期待



図表 155（その1） 情報提供に対する行政への期待（経年変化※参考値）



図表 156 (その2) 情報提供に対する行政への期待 (経年変化※参考値)

集計表

Q4 牛肉、豚肉、鶏肉、魚介料理について、各料理を食べる頻度をお答えください。  
それぞれの事項について、最も近いものを1つお選びください。

※中食とは、惣菜や調理済み食品など家庭外で調理された食品を購入し、自宅や職場などで食べる、持ち帰り・テイクアウト、出前・デリバリー・宅配をいいます。肉や魚介を主菜とする弁当のテイクアウトやデリバリーも含まれます。

【1. 牛肉料理】 内食

		度数 横%	全 体	ほぼ毎日	週に4～5日 程度	週に2～3日 程度	週に1日程度	月に2～3日 程度	月に1日程度	それ以下	食べない
全 体			1800 <b>100</b>	27 <b>1.5</b>	39 <b>2.2</b>	245 <b>13.6</b>	424 <b>23.6</b>	308 <b>17.1</b>	245 <b>13.6</b>	349 <b>19.4</b>	163 <b>9.1</b>
地域	首都圏		900 <b>100</b>	13 <b>1.4</b>	17 <b>1.9</b>	96 <b>10.7</b>	186 <b>20.7</b>	148 <b>16.4</b>	130 <b>14.4</b>	210 <b>23.3</b>	100 <b>11.1</b>
	京阪神圏		900 <b>100</b>	14 <b>1.6</b>	22 <b>2.4</b>	149 <b>16.6</b>	238 <b>26.4</b>	160 <b>17.8</b>	115 <b>12.8</b>	139 <b>15.4</b>	63 <b>7.0</b>
年代	20代		300 <b>100</b>	15 <b>5.0</b>	14 <b>4.7</b>	42 <b>14.0</b>	58 <b>19.3</b>	43 <b>14.3</b>	45 <b>15.0</b>	56 <b>18.7</b>	27 <b>9.0</b>
	30代		300 <b>100</b>	6 <b>2.0</b>	6 <b>2.0</b>	34 <b>11.3</b>	60 <b>20.0</b>	48 <b>16.0</b>	50 <b>16.7</b>	69 <b>23.0</b>	27 <b>9.0</b>
	40代		300 <b>100</b>	3 <b>1.0</b>	7 <b>2.3</b>	30 <b>10.0</b>	71 <b>23.7</b>	50 <b>16.7</b>	40 <b>13.3</b>	58 <b>19.3</b>	41 <b>13.7</b>
	50代		300 <b>100</b>	2 <b>0.7</b>	2 <b>0.7</b>	32 <b>10.7</b>	68 <b>22.7</b>	45 <b>15.0</b>	35 <b>11.7</b>	88 <b>29.3</b>	28 <b>9.3</b>
	60代		300 <b>100</b>	1 <b>0.3</b>	1 <b>0.3</b>	32 <b>10.7</b>	80 <b>26.7</b>	74 <b>24.7</b>	40 <b>13.3</b>	44 <b>14.7</b>	28 <b>9.3</b>
	70代以上		300 <b>100</b>	0 <b>0.0</b>	9 <b>3.0</b>	75 <b>25.0</b>	87 <b>29.0</b>	48 <b>16.0</b>	35 <b>11.7</b>	34 <b>11.3</b>	12 <b>4.0</b>

【2. 牛肉料理】 中食

		度数 横%	全 体	ほぼ毎日	週に4～5日 程度	週に2～3日 程度	週に1日程度	月に2～3日 程度	月に1日程度	それ以下	食べない
全 体			1800 <b>100</b>	18 <b>1.0</b>	23 <b>1.3</b>	77 <b>4.3</b>	181 <b>10.1</b>	184 <b>10.2</b>	247 <b>13.7</b>	580 <b>32.2</b>	490 <b>27.2</b>
地域	首都圏		900 <b>100</b>	9 <b>1.0</b>	8 <b>0.9</b>	33 <b>3.7</b>	84 <b>9.3</b>	86 <b>9.6</b>	123 <b>13.7</b>	307 <b>34.1</b>	250 <b>27.8</b>
	京阪神圏		900 <b>100</b>	9 <b>1.0</b>	15 <b>1.7</b>	44 <b>4.9</b>	97 <b>10.8</b>	98 <b>10.9</b>	124 <b>13.8</b>	273 <b>30.3</b>	240 <b>26.7</b>
年代	20代		300 <b>100</b>	10 <b>3.3</b>	12 <b>4.0</b>	24 <b>8.0</b>	35 <b>11.7</b>	27 <b>9.0</b>	52 <b>17.3</b>	83 <b>27.7</b>	57 <b>19.0</b>
	30代		300 <b>100</b>	5 <b>1.7</b>	5 <b>1.7</b>	18 <b>6.0</b>	33 <b>11.0</b>	43 <b>14.3</b>	40 <b>13.3</b>	94 <b>31.3</b>	62 <b>20.7</b>
	40代		300 <b>100</b>	1 <b>0.3</b>	4 <b>1.3</b>	11 <b>3.7</b>	42 <b>14.0</b>	28 <b>9.3</b>	35 <b>11.7</b>	102 <b>34.0</b>	77 <b>25.7</b>
	50代		300 <b>100</b>	2 <b>0.7</b>	1 <b>0.3</b>	8 <b>2.7</b>	27 <b>9.0</b>	27 <b>9.0</b>	38 <b>12.7</b>	114 <b>38.0</b>	83 <b>27.7</b>
	60代		300 <b>100</b>	0 <b>0.0</b>	1 <b>0.3</b>	5 <b>1.7</b>	21 <b>7.0</b>	31 <b>10.3</b>	42 <b>14.0</b>	102 <b>34.0</b>	98 <b>32.7</b>
	70代以上		300 <b>100</b>	0 <b>0.0</b>	0 <b>0.0</b>	11 <b>3.7</b>	23 <b>7.7</b>	28 <b>9.3</b>	40 <b>13.3</b>	85 <b>28.3</b>	113 <b>37.7</b>

【3. 牛肉料理】 外食

		度数 横%	全 体	ほぼ毎日	週に4～5日 程度	週に2～3日 程度	週に1日程度	月に2～3日 程度	月に1日程度	それ以下	食べない
全 体			1800 <b>100</b>	11 <b>0.6</b>	10 <b>0.6</b>	64 <b>3.6</b>	136 <b>7.6</b>	138 <b>7.7</b>	310 <b>17.2</b>	772 <b>42.9</b>	359 <b>19.9</b>
地域	首都圏		900 <b>100</b>	7 <b>0.8</b>	2 <b>0.2</b>	28 <b>3.1</b>	80 <b>8.9</b>	67 <b>7.4</b>	152 <b>16.9</b>	376 <b>41.8</b>	188 <b>20.9</b>
	京阪神圏		900 <b>100</b>	4 <b>0.4</b>	8 <b>0.9</b>	36 <b>4.0</b>	56 <b>6.2</b>	71 <b>7.9</b>	158 <b>17.6</b>	396 <b>44.0</b>	171 <b>19.0</b>
年代	20代		300 <b>100</b>	8 <b>2.7</b>	6 <b>2.0</b>	27 <b>9.0</b>	35 <b>11.7</b>	30 <b>10.0</b>	55 <b>18.3</b>	95 <b>31.7</b>	44 <b>14.7</b>
	30代		300 <b>100</b>	2 <b>0.7</b>	1 <b>0.3</b>	16 <b>5.3</b>	35 <b>11.7</b>	34 <b>11.3</b>	54 <b>18.0</b>	116 <b>38.7</b>	42 <b>14.0</b>
	40代		300 <b>100</b>	0 <b>0.0</b>	3 <b>1.0</b>	7 <b>2.3</b>	23 <b>7.7</b>	22 <b>7.3</b>	47 <b>15.7</b>	130 <b>43.3</b>	68 <b>22.7</b>
	50代		300 <b>100</b>	1 <b>0.3</b>	0 <b>0.0</b>	8 <b>2.7</b>	18 <b>6.0</b>	19 <b>6.3</b>	42 <b>14.0</b>	152 <b>50.7</b>	60 <b>20.0</b>
	60代		300 <b>100</b>	0 <b>0.0</b>	0 <b>0.0</b>	3 <b>1.0</b>	16 <b>5.3</b>	17 <b>5.7</b>	57 <b>19.0</b>	147 <b>49.0</b>	60 <b>20.0</b>
	70代以上		300 <b>100</b>	0 <b>0.0</b>	0 <b>0.0</b>	3 <b>1.0</b>	9 <b>3.0</b>	16 <b>5.3</b>	55 <b>18.3</b>	132 <b>44.0</b>	85 <b>28.3</b>

【4. 豚肉料理】 内食

		度数 横%	全 体	ほぼ毎日	週に4～5日 程度	週に2～3日 程度	週に1日程度	月に2～3日 程度	月に1日程度	それ以下	食べない
全 体			1800 100	25 1.4	98 5.4	566 31.4	447 24.8	240 13.3	135 7.5	176 9.8	113 6.3
地域	首都圏		900 100	14 1.6	50 5.6	283 31.4	206 22.9	118 13.1	72 8.0	101 11.2	56 6.2
	京阪神圏		900 100	11 1.2	48 5.3	283 31.4	241 26.8	122 13.6	63 7.0	75 8.3	57 6.3
年代	20代		300 100	9 3.0	21 7.0	78 26.0	64 21.3	41 13.7	29 9.7	41 13.7	17 5.7
	30代		300 100	5 1.7	21 7.0	83 27.7	65 21.7	48 16.0	27 9.0	34 11.3	17 5.7
	40代		300 100	3 1.0	12 4.0	80 26.7	78 26.0	47 15.7	30 10.0	30 10.0	20 6.7
	50代		300 100	3 1.0	16 5.3	93 31.0	79 26.3	27 9.0	14 4.7	46 15.3	22 7.3
	60代		300 100	2 0.7	14 4.7	104 34.7	82 27.3	45 15.0	19 6.3	14 4.7	20 6.7
	70代以上		300 100	3 1.0	14 4.7	128 42.7	79 26.3	32 10.7	16 5.3	11 3.7	17 5.7

【5. 豚肉料理】 中食

		度数 横%	全 体	ほぼ毎日	週に4～5日 程度	週に2～3日 程度	週に1日程度	月に2～3日 程度	月に1日程度	それ以下	食べない
全 体			1800 100	16 0.9	31 1.7	122 6.8	211 11.7	235 13.1	264 14.7	498 27.7	423 23.5
地域	首都圏		900 100	11 1.2	15 1.7	63 7.0	104 11.6	120 13.3	138 15.3	253 28.1	196 21.8
	京阪神圏		900 100	5 0.6	16 1.8	59 6.6	107 11.9	115 12.8	126 14.0	245 27.2	227 25.2
年代	20代		300 100	6 2.0	17 5.7	32 10.7	39 13.0	48 16.0	46 15.3	64 21.3	48 16.0
	30代		300 100	6 2.0	7 2.3	24 8.0	34 11.3	51 17.0	44 14.7	77 25.7	57 19.0
	40代		300 100	1 0.3	2 0.7	23 7.7	50 16.7	31 10.3	42 14.0	86 28.7	65 21.7
	50代		300 100	3 1.0	4 1.3	14 4.7	36 12.0	37 12.3	42 14.0	96 32.0	68 22.7
	60代		300 100	0 0.0	0 0.0	13 4.3	30 10.0	34 11.3	46 15.3	95 31.7	82 27.3
	70代以上		300 100	0 0.0	1 0.3	16 5.3	22 7.3	34 11.3	44 14.7	80 26.7	103 34.3

【6. 豚肉料理】 外食

		度数 横%	全 体	ほぼ毎日	週に4～5日 程度	週に2～3日 程度	週に1日程度	月に2～3日 程度	月に1日程度	それ以下	食べない
全 体			1800 100	11 0.6	20 1.1	62 3.4	140 7.8	169 9.4	299 16.6	710 39.4	389 21.6
地域	首都圏		900 100	7 0.8	7 0.8	32 3.6	81 9.0	94 10.4	159 17.7	338 37.6	182 20.2
	京阪神圏		900 100	4 0.4	13 1.4	30 3.3	59 6.6	75 8.3	140 15.6	372 41.3	207 23.0
年代	20代		300 100	6 2.0	10 3.3	24 8.0	37 12.3	38 12.7	48 16.0	89 29.7	48 16.0
	30代		300 100	2 0.7	4 1.3	13 4.3	31 10.3	47 15.7	58 19.3	106 35.3	39 13.0
	40代		300 100	0 0.0	4 1.3	5 1.7	22 7.3	26 8.7	64 21.3	111 37.0	68 22.7
	50代		300 100	3 1.0	1 0.3	11 3.7	19 6.3	22 7.3	41 13.7	142 47.3	61 20.3
	60代		300 100	0 0.0	0 0.0	6 2.0	19 6.3	18 6.0	44 14.7	139 46.3	74 24.7
	70代以上		300 100	0 0.0	1 0.3	3 1.0	12 4.0	18 6.0	44 14.7	123 41.0	99 33.0



【7. 鶏肉料理】 内食

		度数 横%	全 体	ほぼ毎日	週に4～5日 程度	週に2～3日 程度	週に1日程度	月に2～3日 程度	月に1日程度	それ以下	食べない
全 体			1800 100	28 1.6	71 3.9	525 29.2	461 25.6	234 13.0	166 9.2	203 11.3	112 6.2
地域	首都圏		900 100	15 1.7	34 3.8	255 28.3	225 25.0	121 13.4	83 9.2	108 12.0	59 6.6
	京阪神圏		900 100	13 1.4	37 4.1	270 30.0	236 26.2	113 12.6	83 9.2	95 10.6	53 5.9
年代	20代		300 100	9 3.0	20 6.7	80 26.7	67 22.3	35 11.7	36 12.0	40 13.3	13 4.3
	30代		300 100	8 2.7	10 3.3	78 26.0	75 25.0	49 16.3	27 9.0	37 12.3	16 5.3
	40代		300 100	3 1.0	12 4.0	76 25.3	86 28.7	41 13.7	25 8.3	40 13.3	17 5.7
	50代		300 100	2 0.7	8 2.7	92 30.7	80 26.7	33 11.0	24 8.0	46 15.3	15 5.0
	60代		300 100	4 1.3	9 3.0	97 32.3	64 21.3	45 15.0	27 9.0	25 8.3	29 9.7
	70代以上		300 100	2 0.7	12 4.0	102 34.0	89 29.7	31 10.3	27 9.0	15 5.0	22 7.3

【8. 鶏肉料理】 中食

		度数 横%	全 体	ほぼ毎日	週に4～5日 程度	週に2～3日 程度	週に1日程度	月に2～3日 程度	月に1日程度	それ以下	食べない
全 体			1800 100	15 0.8	32 1.8	137 7.6	240 13.3	270 15.0	275 15.3	454 25.2	377 20.9
地域	首都圏		900 100	8 0.9	13 1.4	66 7.3	123 13.7	126 14.0	150 16.7	231 25.7	183 20.3
	京阪神圏		900 100	7 0.8	19 2.1	71 7.9	117 13.0	144 16.0	125 13.9	223 24.8	194 21.6
年代	20代		300 100	6 2.0	15 5.0	35 11.7	49 16.3	42 14.0	49 16.3	62 20.7	42 14.0
	30代		300 100	5 1.7	7 2.3	25 8.3	46 15.3	51 17.0	46 15.3	69 23.0	51 17.0
	40代		300 100	1 0.3	4 1.3	25 8.3	45 15.0	51 17.0	41 13.7	76 25.3	57 19.0
	50代		300 100	3 1.0	3 1.0	20 6.7	40 13.3	46 15.3	41 13.7	94 31.3	53 17.7
	60代		300 100	0 0.0	1 0.3	15 5.0	27 9.0	45 15.0	46 15.3	87 29.0	79 26.3
	70代以上		300 100	0 0.0	2 0.7	17 5.7	33 11.0	35 11.7	52 17.3	66 22.0	95 31.7

【9. 鶏肉料理】 外食

		度数 横%	全 体	ほぼ毎日	週に4～5日 程度	週に2～3日 程度	週に1日程度	月に2～3日 程度	月に1日程度	それ以下	食べない
全 体			1800 100	11 0.6	16 0.9	73 4.1	142 7.9	189 10.5	286 15.9	677 37.6	406 22.6
地域	首都圏		900 100	9 1.0	6 0.7	38 4.2	74 8.2	111 12.3	155 17.2	312 34.7	195 21.7
	京阪神圏		900 100	2 0.2	10 1.1	35 3.9	68 7.6	78 8.7	131 14.6	365 40.6	211 23.4
年代	20代		300 100	6 2.0	10 3.3	23 7.7	37 12.3	44 14.7	47 15.7	90 30.0	43 14.3
	30代		300 100	2 0.7	2 0.7	18 6.0	34 11.3	47 15.7	52 17.3	106 35.3	39 13.0
	40代		300 100	1 0.3	2 0.7	10 3.3	24 8.0	32 10.7	55 18.3	103 34.3	73 24.3
	50代		300 100	2 0.7	1 0.3	13 4.3	18 6.0	30 10.0	36 12.0	146 48.7	54 18.0
	60代		300 100	0 0.0	0 0.0	5 1.7	19 6.3	19 6.3	47 15.7	125 41.7	85 28.3
	70代以上		300 100	0 0.0	1 0.3	4 1.3	10 3.3	17 5.7	49 16.3	107 35.7	112 37.3

【10. 魚介料理】 内食

		度数 横%	全 体	ほぼ毎日	週に4～5日 程度	週に2～3日 程度	週に1日程度	月に2～3日 程度	月に1日程度	それ以下	食べない
全 体			1800 100	38 2.1	99 5.5	465 25.8	429 23.8	256 14.2	185 10.3	209 11.6	119 6.6
地域	首都圏		900 100	23 2.6	51 5.7	211 23.4	203 22.6	125 13.9	102 11.3	117 13.0	68 7.6
	京阪神圏		900 100	15 1.7	48 5.3	254 28.2	226 25.1	131 14.6	83 9.2	92 10.2	51 5.7
年代	20代		300 100	8 2.7	22 7.3	54 18.0	59 19.7	47 15.7	47 15.7	44 14.7	19 6.3
	30代		300 100	5 1.7	3 1.0	62 20.7	70 23.3	55 18.3	38 12.7	49 16.3	18 6.0
		40代		300 100	4 1.3	12 4.0	57 19.0	81 27.0	40 13.3	33 11.0	42 14.0
	50代		300 100	2 0.7	10 3.3	83 27.7	66 22.0	48 16.0	30 10.0	43 14.3	18 6.0
		60代		300 100	7 2.3	17 5.7	88 29.3	80 26.7	43 14.3	23 7.7	19 6.3
	70代以上		300 100	12 4.0	35 11.7	121 40.3	73 24.3	23 7.7	14 4.7	12 4.0	10 3.3

【11. 魚介料理】 中食

		度数 横%	全 体	ほぼ毎日	週に4～5日 程度	週に2～3日 程度	週に1日程度	月に2～3日 程度	月に1日程度	それ以下	食べない
全 体			1800 100	18 1.0	35 1.9	126 7.0	217 12.1	204 11.3	254 14.1	517 28.7	429 23.8
地域	首都圏		900 100	9 1.0	16 1.8	57 6.3	112 12.4	98 10.9	127 14.1	260 28.9	221 24.6
	京阪神圏		900 100	9 1.0	19 2.1	69 7.7	105 11.7	106 11.8	127 14.1	257 28.6	208 23.1
年代	20代		300 100	8 2.7	15 5.0	26 8.7	38 12.7	41 13.7	37 12.3	85 28.3	50 16.7
	30代		300 100	4 1.3	4 1.3	28 9.3	37 12.3	40 13.3	52 17.3	82 27.3	53 17.7
		40代		300 100	2 0.7	4 1.3	17 5.7	47 15.7	30 10.0	38 12.7	89 29.7
	50代		300 100	1 0.3	4 1.3	18 6.0	29 9.7	36 12.0	40 13.3	98 32.7	74 24.7
		60代		300 100	2 0.7	4 1.3	14 4.7	26 8.7	37 12.3	48 16.0	85 28.3
	70代以上		300 100	1 0.3	4 1.3	23 7.7	40 13.3	20 6.7	39 13.0	78 26.0	95 31.7

【12. 魚介料理】 外食

		度数 横%	全 体	ほぼ毎日	週に4～5日 程度	週に2～3日 程度	週に1日程度	月に2～3日 程度	月に1日程度	それ以下	食べない
全 体			1800 100	10 0.6	30 1.7	60 3.3	135 7.5	171 9.5	287 15.9	703 39.1	404 22.4
地域	首都圏		900 100	7 0.8	14 1.6	31 3.4	70 7.8	94 10.4	140 15.6	332 36.9	212 23.6
	京阪神圏		900 100	3 0.3	16 1.8	29 3.2	65 7.2	77 8.6	147 16.3	371 41.2	192 21.3
年代	20代		300 100	5 1.7	16 5.3	18 6.0	35 11.7	39 13.0	43 14.3	92 30.7	52 17.3
	30代		300 100	2 0.7	6 2.0	12 4.0	29 9.7	43 14.3	50 16.7	112 37.3	46 15.3
		40代		300 100	2 0.7	4 1.3	8 2.7	20 6.7	21 7.0	50 16.7	116 38.7
	50代		300 100	1 0.3	1 0.3	13 4.3	20 6.7	18 6.0	39 13.0	147 49.0	61 20.3
		60代		300 100	0 0.0	1 0.3	6 2.0	17 5.7	21 7.0	57 19.0	127 42.3
	70代以上		300 100	0 0.0	2 0.7	3 1.0	14 4.7	29 9.7	48 16.0	109 36.3	95 31.7

Q5 牛肉、豚肉、鶏肉について、どのようなイメージをお持ちですか。それぞれの事項について、あてはまるものを全てお選びください。また、その中で最もあてはまるものをお選びください。

【1.牛肉】 あてはまるもの（いくつでも）

	度数 横%													
		全 体	たんぱく質 が豊富	カロリー が低い	安全性に信 頼がおける	鉄分が豊富	健康によい	調理 しやすい	筋肉や骨 をつくる	美容によい	料理メニュー の種類が 多い	スタミナ源、 栄養がある	価格が手頃	その他
全 体	1800 100	938 52.1	164 9.1	193 10.7	349 19.4	372 20.7	411 22.8	595 33.1	122 6.8	446 24.8	871 48.4	90 5.0	207 11.5	
地域	首都圏	900 100	470 52.2	102 11.3	96 10.7	178 19.8	171 19.0	198 22.0	299 33.2	60 6.7	206 22.9	417 46.3	51 5.7	111 12.3
	京阪神圏	900 100	468 52.0	62 6.9	97 10.8	171 19.0	201 22.3	213 23.7	296 32.9	62 6.9	240 26.7	454 50.4	39 4.3	96 10.7
年代	20代	300 100	137 45.7	40 13.3	30 10.0	51 17.0	47 15.7	60 20.0	53 17.7	23 7.7	46 15.3	87 29.0	19 6.3	36 12.0
	30代	300 100	134 44.7	28 9.3	35 11.7	68 22.7	54 18.0	47 15.7	81 27.0	28 9.3	69 23.0	125 41.7	19 6.3	31 10.3
	40代	300 100	116 38.7	23 7.7	25 8.3	58 19.3	54 18.0	58 19.3	78 26.0	21 7.0	61 20.3	136 45.3	17 5.7	51 17.0
	50代	300 100	147 49.0	26 8.7	26 8.7	50 16.7	37 12.3	63 21.0	90 30.0	17 5.7	71 23.7	154 51.3	15 5.0	35 11.7
	60代	300 100	178 59.3	21 7.0	31 10.3	49 16.3	68 22.7	86 28.7	125 41.7	17 5.7	88 29.3	174 58.0	11 3.7	35 11.7
	70代以上	300 100	226 75.3	26 8.7	46 15.3	73 24.3	112 37.3	97 32.3	168 56.0	16 5.3	111 37.0	195 65.0	9 3.0	19 6.3

【2.牛肉】 最もあてはまるもの（1つだけ）

	度数 横%													
		全 体	たんぱく質 が豊富	カロリー が低い	安全性に信 頼がおける	鉄分が豊富	健康によい	調理 しやすい	筋肉や骨 をつくる	美容によい	料理メニュー の種類が 多い	スタミナ源、 栄養がある	価格が手頃	その他
全 体	1800 100	507 28.2	42 2.3	50 2.8	80 4.4	73 4.1	105 5.8	164 9.1	9 0.5	106 5.9	417 23.2	47 2.6	200 11.1	
地域	首都圏	900 100	265 29.4	28 3.1	20 2.2	37 4.1	35 3.9	48 5.3	82 9.1	4 0.4	49 5.4	197 21.9	30 3.3	105 11.7
	京阪神圏	900 100	242 26.9	14 1.6	30 3.3	43 4.8	38 4.2	57 6.3	82 9.1	5 0.6	57 6.3	220 24.4	17 1.9	95 10.6
年代	20代	300 100	97 32.3	16 5.3	15 5.0	12 4.0	14 4.7	22 7.3	16 5.3	1 0.3	13 4.3	46 15.3	13 4.3	35 11.7
	30代	300 100	72 24.0	5 1.7	11 3.7	19 6.3	9 3.0	11 3.7	25 8.3	5 1.7	21 7.0	76 25.3	15 5.0	31 10.3
	40代	300 100	66 22.0	5 1.7	9 3.0	20 6.7	14 4.7	17 5.7	23 7.7	3 1.0	15 5.0	72 24.0	7 2.3	49 16.3
	50代	300 100	70 23.3	8 2.7	5 1.7	16 5.3	10 3.3	19 6.3	24 8.0	0 0.0	15 5.0	89 29.7	9 3.0	35 11.7
	60代	300 100	85 28.3	4 1.3	4 1.3	6 2.0	10 3.3	16 5.3	37 12.3	0 0.0	18 6.0	84 28.0	3 1.0	33 11.0
	70代以上	300 100	117 39.0	4 1.3	6 2.0	7 2.3	16 5.3	20 6.7	39 13.0	0 0.0	24 8.0	50 16.7	0 0.0	17 5.7

【3.豚肉】 あてはまるもの（いくつでも）

	度数 横%													
		全 体	たんぱく質 が豊富	カロリー が低い	安全性に信 頼がおける	鉄分が豊富	健康によい	調理 しやすい	筋肉や骨 をつくる	美容によい	料理メニュー の種類が 多い	スタミナ源、 栄養がある	価格が手頃	その他
全 体	1800 100	752 41.8	202 11.2	172 9.6	176 9.8	573 31.8	671 37.3	410 22.8	210 11.7	644 35.8	590 32.8	833 46.3	119 6.6	
地域	首都圏	900 100	406 45.1	84 9.3	98 10.9	84 9.3	283 31.4	341 37.9	222 24.7	112 12.4	337 37.4	303 33.7	419 46.6	54 6.0
	京阪神圏	900 100	346 38.4	118 13.1	74 8.2	92 10.2	290 32.2	330 36.7	188 20.9	98 10.9	307 34.1	287 31.9	414 46.0	65 7.2
年代	20代	300 100	105 35.0	48 16.0	29 9.7	29 9.7	52 17.3	79 26.3	50 16.7	36 12.0	61 20.3	51 17.0	91 30.3	27 9.0
	30代	300 100	107 35.7	32 10.7	20 6.7	34 11.3	68 22.7	97 32.3	47 15.7	47 15.7	87 29.0	97 32.3	122 40.7	16 5.3
	40代	300 100	95 31.7	23 7.7	27 9.0	21 7.0	85 28.3	92 30.7	56 18.7	37 12.3	88 29.3	87 29.0	110 36.7	27 9.0
	50代	300 100	122 40.7	30 10.0	24 8.0	25 8.3	99 33.0	115 38.3	54 18.0	28 9.3	117 39.0	109 36.3	145 48.3	18 6.0
	60代	300 100	147 49.0	34 11.3	29 9.7	26 8.7	122 40.7	133 44.3	94 31.3	38 12.7	132 44.0	124 41.3	179 59.7	19 6.3
	70代以上	300 100	176 58.7	35 11.7	43 14.3	41 13.7	147 49.0	155 51.7	109 36.3	24 8.0	159 53.0	122 40.7	186 62.0	12 4.0

【4.豚肉】 最もあてはまるもの（1つだけ）

	度数 横%													
		全 体	たんぱく質 が豊富	カロリー が低い	安全性に信 頼がおける	鉄分が豊富	健康によい	調理 しやすい	筋肉や骨 をつくる	美容によい	料理メニュー の種類が 多い	スタミナ源、 栄養がある	価格が手頃	その他
全 体	1800 <b>100</b>	281 <b>15.6</b>	63 <b>3.5</b>	29 <b>1.6</b>	34 <b>1.9</b>	162 <b>9.0</b>	207 <b>11.5</b>	55 <b>3.1</b>	35 <b>1.9</b>	241 <b>13.4</b>	184 <b>10.2</b>	397 <b>22.1</b>	112 <b>6.2</b>	
地域	900 <b>100</b>	158 <b>17.6</b>	27 <b>3.0</b>	14 <b>1.6</b>	16 <b>1.8</b>	79 <b>8.8</b>	111 <b>12.3</b>	27 <b>3.0</b>	18 <b>2.0</b>	135 <b>15.0</b>	84 <b>9.3</b>	181 <b>20.1</b>	50 <b>5.6</b>	
	900 <b>100</b>	123 <b>13.7</b>	36 <b>4.0</b>	15 <b>1.7</b>	18 <b>2.0</b>	83 <b>9.2</b>	96 <b>10.7</b>	28 <b>3.1</b>	17 <b>1.9</b>	106 <b>11.8</b>	100 <b>11.1</b>	216 <b>24.0</b>	62 <b>6.9</b>	
年代	300 <b>100</b>	64 <b>21.3</b>	22 <b>7.3</b>	7 <b>2.3</b>	7 <b>2.3</b>	14 <b>4.7</b>	42 <b>14.0</b>	8 <b>2.7</b>	9 <b>3.0</b>	28 <b>9.3</b>	18 <b>6.0</b>	55 <b>18.3</b>	26 <b>8.7</b>	
	300 <b>100</b>	42 <b>14.0</b>	11 <b>3.7</b>	6 <b>2.0</b>	8 <b>2.7</b>	26 <b>8.7</b>	34 <b>11.3</b>	4 <b>1.3</b>	12 <b>4.0</b>	31 <b>10.3</b>	34 <b>11.3</b>	76 <b>25.3</b>	16 <b>5.3</b>	
	300 <b>100</b>	45 <b>15.0</b>	7 <b>2.3</b>	7 <b>2.3</b>	8 <b>2.7</b>	33 <b>11.0</b>	31 <b>10.3</b>	10 <b>3.3</b>	7 <b>2.3</b>	40 <b>13.3</b>	40 <b>13.3</b>	45 <b>15.0</b>	27 <b>9.0</b>	
	300 <b>100</b>	45 <b>15.0</b>	11 <b>3.7</b>	5 <b>1.7</b>	6 <b>2.0</b>	24 <b>8.0</b>	38 <b>12.7</b>	9 <b>3.0</b>	3 <b>1.0</b>	46 <b>15.3</b>	37 <b>12.3</b>	59 <b>19.7</b>	17 <b>5.7</b>	
	300 <b>100</b>	44 <b>14.7</b>	7 <b>2.3</b>	2 <b>0.7</b>	2 <b>0.7</b>	26 <b>8.7</b>	29 <b>9.7</b>	12 <b>4.0</b>	3 <b>1.0</b>	42 <b>14.0</b>	28 <b>9.3</b>	89 <b>29.7</b>	16 <b>5.3</b>	
	300 <b>100</b>	41 <b>13.7</b>	5 <b>1.7</b>	2 <b>0.7</b>	3 <b>1.0</b>	39 <b>13.0</b>	33 <b>11.0</b>	12 <b>4.0</b>	1 <b>0.3</b>	54 <b>18.0</b>	27 <b>9.0</b>	73 <b>24.3</b>	10 <b>3.3</b>	

【5.鶏肉】 あてはまるもの（いくつでも）

	度数 横%													
		全 体	たんぱく質 が豊富	カロリー が低い	安全性に信 頼がおける	鉄分が豊富	健康によい	調理 しやすい	筋肉や骨 をつくる	美容によい	料理メニュー の種類が 多い	スタミナ源、 栄養がある	価格が手頃	その他
全 体	1800 <b>100</b>	841 <b>46.7</b>	714 <b>39.7</b>	160 <b>8.9</b>	98 <b>5.4</b>	565 <b>31.4</b>	538 <b>29.9</b>	398 <b>22.1</b>	255 <b>14.2</b>	574 <b>31.9</b>	330 <b>18.3</b>	969 <b>53.8</b>	113 <b>6.3</b>	
地域	900 <b>100</b>	446 <b>49.6</b>	362 <b>40.2</b>	84 <b>9.3</b>	52 <b>5.8</b>	293 <b>32.6</b>	268 <b>29.8</b>	198 <b>22.0</b>	127 <b>14.1</b>	291 <b>32.3</b>	157 <b>17.4</b>	487 <b>54.1</b>	51 <b>5.7</b>	
	900 <b>100</b>	395 <b>43.9</b>	352 <b>39.1</b>	76 <b>8.4</b>	46 <b>5.1</b>	272 <b>30.2</b>	270 <b>30.0</b>	200 <b>22.2</b>	128 <b>14.2</b>	283 <b>31.4</b>	173 <b>19.2</b>	482 <b>53.6</b>	62 <b>6.9</b>	
年代	300 <b>100</b>	129 <b>43.0</b>	98 <b>32.7</b>	31 <b>10.3</b>	24 <b>8.0</b>	59 <b>19.7</b>	64 <b>21.3</b>	46 <b>15.3</b>	38 <b>12.7</b>	52 <b>17.3</b>	39 <b>13.0</b>	99 <b>33.0</b>	23 <b>7.7</b>	
	300 <b>100</b>	138 <b>46.0</b>	96 <b>32.0</b>	16 <b>5.3</b>	19 <b>6.3</b>	74 <b>24.7</b>	73 <b>24.3</b>	50 <b>16.7</b>	48 <b>16.0</b>	70 <b>23.3</b>	51 <b>17.0</b>	136 <b>45.3</b>	18 <b>6.0</b>	
	300 <b>100</b>	141 <b>47.0</b>	89 <b>29.7</b>	26 <b>8.7</b>	22 <b>7.3</b>	65 <b>21.7</b>	75 <b>25.0</b>	57 <b>19.0</b>	46 <b>15.3</b>	86 <b>28.7</b>	50 <b>16.7</b>	137 <b>45.7</b>	25 <b>8.3</b>	
	300 <b>100</b>	143 <b>47.7</b>	119 <b>39.7</b>	22 <b>7.3</b>	3 <b>1.0</b>	89 <b>29.7</b>	102 <b>34.0</b>	63 <b>21.0</b>	43 <b>14.3</b>	118 <b>39.3</b>	51 <b>17.0</b>	180 <b>60.0</b>	17 <b>5.7</b>	
	300 <b>100</b>	143 <b>47.7</b>	153 <b>51.0</b>	25 <b>8.3</b>	10 <b>3.3</b>	115 <b>38.3</b>	102 <b>34.0</b>	88 <b>29.3</b>	42 <b>14.0</b>	111 <b>37.0</b>	63 <b>21.0</b>	201 <b>67.0</b>	19 <b>6.3</b>	
	300 <b>100</b>	147 <b>49.0</b>	159 <b>53.0</b>	40 <b>13.3</b>	20 <b>6.7</b>	163 <b>54.3</b>	122 <b>40.7</b>	94 <b>31.3</b>	38 <b>12.7</b>	137 <b>45.7</b>	76 <b>25.3</b>	216 <b>72.0</b>	11 <b>3.7</b>	

【6.鶏肉】 最もあてはまるもの（1つだけ）

	度数 横%													
		全 体	たんぱく質 が豊富	カロリー が低い	安全性に信 頼がおける	鉄分が豊富	健康によい	調理 しやすい	筋肉や骨 をつくる	美容によい	料理メニュー の種類が 多い	スタミナ源、 栄養がある	価格が手頃	その他
全 体	1800 <b>100</b>	356 <b>19.8</b>	236 <b>13.1</b>	30 <b>1.7</b>	20 <b>1.1</b>	117 <b>6.5</b>	103 <b>5.7</b>	61 <b>3.4</b>	47 <b>2.6</b>	145 <b>8.1</b>	53 <b>2.9</b>	522 <b>29.0</b>	110 <b>6.1</b>	
地域	900 <b>100</b>	196 <b>21.8</b>	118 <b>13.1</b>	13 <b>1.4</b>	9 <b>1.0</b>	62 <b>6.9</b>	52 <b>5.8</b>	27 <b>3.0</b>	18 <b>2.0</b>	79 <b>8.8</b>	20 <b>2.2</b>	257 <b>28.6</b>	49 <b>5.4</b>	
	900 <b>100</b>	160 <b>17.8</b>	118 <b>13.1</b>	17 <b>1.9</b>	11 <b>1.2</b>	55 <b>6.1</b>	51 <b>5.7</b>	34 <b>3.8</b>	29 <b>3.2</b>	66 <b>7.3</b>	33 <b>3.7</b>	265 <b>29.4</b>	61 <b>6.8</b>	
年代	300 <b>100</b>	86 <b>28.7</b>	49 <b>16.3</b>	11 <b>3.7</b>	7 <b>2.3</b>	11 <b>3.7</b>	17 <b>5.7</b>	10 <b>3.3</b>	7 <b>2.3</b>	14 <b>4.7</b>	9 <b>3.0</b>	57 <b>19.0</b>	22 <b>7.3</b>	
	300 <b>100</b>	70 <b>23.3</b>	32 <b>10.7</b>	5 <b>1.7</b>	5 <b>1.7</b>	20 <b>6.7</b>	23 <b>7.7</b>	7 <b>2.3</b>	11 <b>3.7</b>	14 <b>4.7</b>	10 <b>3.3</b>	85 <b>28.3</b>	18 <b>6.0</b>	
	300 <b>100</b>	56 <b>18.7</b>	29 <b>9.7</b>	8 <b>2.7</b>	8 <b>2.7</b>	14 <b>4.7</b>	17 <b>5.7</b>	10 <b>3.3</b>	15 <b>5.0</b>	33 <b>11.0</b>	8 <b>2.7</b>	77 <b>25.7</b>	25 <b>8.3</b>	
	300 <b>100</b>	66 <b>22.0</b>	38 <b>12.7</b>	5 <b>1.7</b>	0 <b>0.0</b>	15 <b>5.0</b>	12 <b>4.0</b>	11 <b>3.7</b>	5 <b>1.7</b>	32 <b>10.7</b>	9 <b>3.0</b>	91 <b>30.3</b>	16 <b>5.3</b>	
	300 <b>100</b>	41 <b>13.7</b>	48 <b>16.0</b>	0 <b>0.0</b>	0 <b>0.0</b>	21 <b>7.0</b>	14 <b>4.7</b>	14 <b>4.7</b>	4 <b>1.3</b>	21 <b>7.0</b>	10 <b>3.3</b>	109 <b>36.3</b>	18 <b>6.0</b>	
	300 <b>100</b>	37 <b>12.3</b>	40 <b>13.3</b>	1 <b>0.3</b>	0 <b>0.0</b>	36 <b>12.0</b>	20 <b>6.7</b>	9 <b>3.0</b>	5 <b>1.7</b>	31 <b>10.3</b>	7 <b>2.3</b>	103 <b>34.3</b>	11 <b>3.7</b>	

Q6 牛肉、豚肉、鶏肉について、それぞれどのくらいの頻度で購入していますか。それぞれの事項について、最も近いものを1つお選びください。

【1. 牛肉】

		度数 横%	全 体	ほぼ毎日	週に4～5日 程度	週に2～3日 程度	週に1日程度	月に2～3日 程度	月に1日程度	それ以下	購入していない
全 体			1800 100	25 1.4	30 1.7	153 8.5	393 21.8	366 20.3	292 16.2	306 17.0	235 13.1
地域	首都圏		900 100	10 1.1	11 1.2	67 7.4	187 20.8	172 19.1	129 14.3	187 20.8	137 15.2
	京阪神圏		900 100	15 1.7	19 2.1	86 9.6	206 22.9	194 21.6	163 18.1	119 13.2	98 10.9
年代	20代		300 100	12 4.0	13 4.3	35 11.7	57 19.0	53 17.7	37 12.3	34 11.3	59 19.7
	30代		300 100	9 3.0	5 1.7	23 7.7	60 20.0	54 18.0	53 17.7	57 19.0	39 13.0
	40代		300 100	2 0.7	8 2.7	18 6.0	57 19.0	60 20.0	41 13.7	67 22.3	47 15.7
	50代		300 100	2 0.7	1 0.3	15 5.0	56 18.7	57 19.0	55 18.3	70 23.3	44 14.7
	60代		300 100	0 0.0	2 0.7	22 7.3	71 23.7	69 23.0	57 19.0	47 15.7	32 10.7
	70代以上		300 100	0 0.0	1 0.3	40 13.3	92 30.7	73 24.3	49 16.3	31 10.3	14 4.7

【2. 豚肉】

		度数 横%	全 体	ほぼ毎日	週に4～5日 程度	週に2～3日 程度	週に1日程度	月に2～3日 程度	月に1日程度	それ以下	購入していない
全 体			1800 100	16 0.9	53 2.9	343 19.1	616 34.2	342 19.0	136 7.6	117 6.5	177 9.8
地域	首都圏		900 100	8 0.9	30 3.3	176 19.6	302 33.6	166 18.4	63 7.0	66 7.3	89 9.9
	京阪神圏		900 100	8 0.9	23 2.6	167 18.6	314 34.9	176 19.6	73 8.1	51 5.7	88 9.8
年代	20代		300 100	7 2.3	22 7.3	50 16.7	70 23.3	54 18.0	25 8.3	20 6.7	52 17.3
	30代		300 100	7 2.3	13 4.3	49 16.3	101 33.7	54 18.0	27 9.0	23 7.7	26 8.7
	40代		300 100	1 0.3	8 2.7	49 16.3	109 36.3	62 20.7	14 4.7	26 8.7	31 10.3
	50代		300 100	1 0.3	4 1.3	53 17.7	104 34.7	61 20.3	26 8.7	22 7.3	29 9.7
	60代		300 100	0 0.0	4 1.3	65 21.7	106 35.3	58 19.3	25 8.3	17 5.7	25 8.3
	70代以上		300 100	0 0.0	2 0.7	77 25.7	126 42.0	53 17.7	19 6.3	9 3.0	14 4.7

【3. 鶏肉】

		度数 横%	全 体	ほぼ毎日	週に4～5日 程度	週に2～3日 程度	週に1日程度	月に2～3日 程度	月に1日程度	それ以下	購入していない
全 体			1800 100	17 0.9	52 2.9	289 16.1	577 32.1	364 20.2	166 9.2	148 8.2	187 10.4
地域	首都圏		900 100	8 0.9	27 3.0	140 15.6	289 32.1	184 20.4	79 8.8	78 8.7	95 10.6
	京阪神圏		900 100	9 1.0	25 2.8	149 16.6	288 32.0	180 20.0	87 9.7	70 7.8	92 10.2
年代	20代		300 100	9 3.0	21 7.0	47 15.7	66 22.0	61 20.3	22 7.3	28 9.3	46 15.3
	30代		300 100	6 2.0	12 4.0	43 14.3	91 30.3	62 20.7	30 10.0	27 9.0	29 9.7
	40代		300 100	0 0.0	8 2.7	41 13.7	109 36.3	65 21.7	20 6.7	26 8.7	31 10.3
	50代		300 100	1 0.3	2 0.7	45 15.0	100 33.3	61 20.3	36 12.0	28 9.3	27 9.0
	60代		300 100	0 0.0	3 1.0	47 15.7	100 33.3	58 19.3	33 11.0	26 8.7	33 11.0
	70代以上		300 100	1 0.3	6 2.0	66 22.0	111 37.0	57 19.0	25 8.3	13 4.3	21 7.0

Q7 牛肉、豚肉、鶏肉を購入する際、主にどこで購入されますか。それぞれの事項について、あてはまるものを全てお選びください。

※大型スーパー：食品以外に衣料品などを取り扱っているスーパー

※食品スーパー：食品中心の品揃えのスーパー

【1. 牛肉】 <Q6【1.牛肉】「ほぼ毎日」～「それ以下」回答者>

		度数 横%	全 体	百貨店	大型スーパー	食品スーパー	生協	食肉専門店	食肉ディス カウントストア	自然食品店	通信販売 (カタログ、テレビ、 インターネット等)	その他
全 体			1565 100	135 8.6	560 35.8	1177 75.2	150 9.6	127 8.1	52 3.3	19 1.2	35 2.2	17 1.1
地域	首都圏		763 100	62 8.1	263 34.5	590 77.3	61 8.0	48 6.3	24 3.1	10 1.3	18 2.4	9 1.2
	京阪神圏		802 100	73 9.1	297 37.0	587 73.2	89 11.1	79 9.9	28 3.5	9 1.1	17 2.1	8 1.0
年代	20代		241 100	38 15.8	79 32.8	166 68.9	18 7.5	22 9.1	9 3.7	6 2.5	5 2.1	5 2.1
	30代		261 100	29 11.1	94 36.0	197 75.5	16 6.1	20 7.7	12 4.6	7 2.7	11 4.2	6 2.3
	40代		253 100	16 6.3	74 29.2	200 79.1	18 7.1	16 6.3	9 3.6	2 0.8	3 1.2	3 1.2
	50代		256 100	15 5.9	96 37.5	196 76.6	25 9.8	24 9.4	13 5.1	2 0.8	5 2.0	1 0.4
	60代		268 100	17 6.3	105 39.2	212 79.1	29 10.8	21 7.8	7 2.6	0 0.0	7 2.6	2 0.7
	70代以上		286 100	20 7.0	112 39.2	206 72.0	44 15.4	24 8.4	2 0.7	2 0.7	4 1.4	0 0.0

【2. 豚肉】 <Q6【2.豚肉】「ほぼ毎日」～「それ以下」回答者>

		度数 横%	全 体	百貨店	大型スーパー	食品スーパー	生協	食肉専門店	食肉ディス カウントストア	自然食品店	通信販売 (カタログ、テレビ、 インターネット等)	その他
全 体			1623 100	80 4.9	573 35.3	1264 77.9	176 10.8	94 5.8	53 3.3	17 1.0	28 1.7	18 1.1
地域	首都圏		811 100	37 4.6	272 33.5	653 80.5	78 9.6	49 6.0	27 3.3	10 1.2	14 1.7	9 1.1
	京阪神圏		812 100	43 5.3	301 37.1	611 75.2	98 12.1	45 5.5	26 3.2	7 0.9	14 1.7	9 1.1
年代	20代		248 100	22 8.9	85 34.3	173 69.8	21 8.5	19 7.7	11 4.4	4 1.6	4 1.6	4 1.6
	30代		274 100	18 6.6	97 35.4	216 78.8	19 6.9	19 6.9	13 4.7	5 1.8	8 2.9	5 1.8
	40代		269 100	9 3.3	81 30.1	221 82.2	23 8.6	15 5.6	8 3.0	3 1.1	4 1.5	4 1.5
	50代		271 100	10 3.7	98 36.2	213 78.6	32 11.8	13 4.8	12 4.4	3 1.1	4 1.5	2 0.7
	60代		275 100	15 5.5	107 38.9	225 81.8	29 10.5	12 4.4	6 2.2	0 0.0	6 2.2	1 0.4
	70代以上		286 100	6 2.1	105 36.7	216 75.5	52 18.2	16 5.6	3 1.0	2 0.7	2 0.7	2 0.7

【3. 鶏肉】 <Q6【3.鶏肉】「ほぼ毎日」～「それ以下」回答者>

		度数 横%	全 体	百貨店	大型スーパー	食品スーパー	生協	食肉専門店	食肉ディス カウントストア	自然食品店	通信販売 (カタログ、テレビ、 インターネット等)	その他
全 体			1613 100	76 4.7	543 33.7	1253 77.7	160 9.9	87 5.4	64 4.0	21 1.3	25 1.5	22 1.4
地域	首都圏		805 100	36 4.5	254 31.6	650 80.7	67 8.3	44 5.5	31 3.9	9 1.1	15 1.9	9 1.1
	京阪神圏		808 100	40 5.0	289 35.8	603 74.6	93 11.5	43 5.3	33 4.1	12 1.5	10 1.2	13 1.6
年代	20代		254 100	26 10.2	82 32.3	178 70.1	12 4.7	19 7.5	20 7.9	5 2.0	4 1.6	5 2.0
	30代		271 100	16 5.9	93 34.3	212 78.2	17 6.3	17 6.3	12 4.4	7 2.6	9 3.3	6 2.2
	40代		269 100	8 3.0	74 27.5	211 78.4	20 7.4	13 4.8	11 4.1	3 1.1	3 1.1	5 1.9
	50代		273 100	8 2.9	97 35.5	218 79.9	28 10.3	11 4.0	12 4.4	4 1.5	2 0.7	1 0.4
	60代		267 100	11 4.1	98 36.7	218 81.6	31 11.6	14 5.2	8 3.0	0 0.0	4 1.5	3 1.1
	70代以上		279 100	7 2.5	99 35.5	216 77.4	52 18.6	13 4.7	1 0.4	2 0.7	3 1.1	2 0.7

Q8 牛肉、豚肉、鶏肉を購入する際、重視する点は何ですか。それぞれの事項について、あてはまるものを全てお選びください。また、最もあてはまるものをお選びください。

【1.牛肉】 あてはまるもの（いくつでも）

<Q6【1.牛肉】「ほぼ毎日」～「それ以下」回答者>

度数 横%		全 体	価格が手頃 であること	国産である こと	外国産である こと	産地・銘柄(ブランド)等がしっかり表示されていること	冷蔵品(チルド)であること	鮮度(色つや)がよいこと	量目(パック内の肉重量)	その他
全 体		1565 100	897 57.3	704 45.0	75 4.8	486 31.1	161 10.3	658 42.0	484 30.9	58 3.7
地域	首都圏	763 100	443 58.1	305 40.0	40 5.2	240 31.5	78 10.2	329 43.1	241 31.6	28 3.7
	京阪神圏	802 100	454 56.6	399 49.8	35 4.4	246 30.7	83 10.3	329 41.0	243 30.3	30 3.7
年代	20代	241 100	145 60.2	94 39.0	22 9.1	38 15.8	27 11.2	58 24.1	43 17.8	10 4.1
	30代	261 100	149 57.1	103 39.5	12 4.6	54 20.7	21 8.0	91 34.9	56 21.5	10 3.8
	40代	253 100	152 60.1	111 43.9	12 4.7	61 24.1	27 10.7	101 39.9	65 25.7	11 4.3
	50代	256 100	137 53.5	122 47.7	10 3.9	87 34.0	27 10.5	122 47.7	95 37.1	12 4.7
	60代	268 100	155 57.8	109 40.7	5 1.9	112 41.8	25 9.3	137 51.1	98 36.6	10 3.7
	70代以上	286 100	159 55.6	165 57.7	14 4.9	134 46.9	34 11.9	149 52.1	127 44.4	5 1.7

【2.牛肉】 最もあてはまるもの（1つだけ）

<Q6【1.牛肉】「ほぼ毎日」～「それ以下」回答者>

度数 横%		全 体	価格が手頃 であること	国産である こと	外国産である こと	産地・銘柄(ブランド)等がしっかり表示されていること	冷蔵品(チルド)であること	鮮度(色つや)がよいこと	量目(パック内の肉重量)	その他
全 体		1565 100	593 37.9	439 28.1	20 1.3	163 10.4	29 1.9	213 13.6	54 3.5	54 3.5
地域	首都圏	763 100	288 37.7	184 24.1	9 1.2	90 11.8	12 1.6	125 16.4	29 3.8	26 3.4
	京阪神圏	802 100	305 38.0	255 31.8	11 1.4	73 9.1	17 2.1	88 11.0	25 3.1	28 3.5
年代	20代	241 100	109 45.2	65 27.0	6 2.5	12 5.0	11 4.6	21 8.7	7 2.9	10 4.1
	30代	261 100	103 39.5	72 27.6	6 2.3	19 7.3	7 2.7	38 14.6	6 2.3	10 3.8
	40代	253 100	104 41.1	77 30.4	4 1.6	11 4.3	5 2.0	34 13.4	7 2.8	11 4.3
	50代	256 100	91 35.5	67 26.2	0 0.0	28 10.9	3 1.2	43 16.8	13 5.1	11 4.3
	60代	268 100	94 35.1	69 25.7	2 0.7	43 16.0	1 0.4	41 15.3	9 3.4	9 3.4
	70代以上	286 100	92 32.2	89 31.1	2 0.7	50 17.5	2 0.7	36 12.6	12 4.2	3 1.0

【3. 豚肉】 あてはまるもの（いくつでも）

<Q6【2.豚肉】「ほぼ毎日」～「それ以下」回答者>

度数 横%		全 体	価格が手頃 であること	国産である こと	外国産である こと	産地・銘柄(ブラン ド)等がしっかり表 示されていること	冷蔵品(チルド) であること	鮮度(色つや) がよいこと	量目(パック内 の肉重量)	その他
		全 体	1623 <b>100</b>	1130 <b>69.6</b>	756 <b>46.6</b>	71 <b>4.4</b>	440 <b>27.1</b>	168 <b>10.4</b>	681 <b>42.0</b>	513 <b>31.6</b>
地域	首都圏	811 <b>100</b>	580 <b>71.5</b>	355 <b>43.8</b>	33 <b>4.1</b>	218 <b>26.9</b>	80 <b>9.9</b>	358 <b>44.1</b>	269 <b>33.2</b>	24 <b>3.0</b>
	京阪神圏	812 <b>100</b>	550 <b>67.7</b>	401 <b>49.4</b>	38 <b>4.7</b>	222 <b>27.3</b>	88 <b>10.8</b>	323 <b>39.8</b>	244 <b>30.0</b>	27 <b>3.3</b>
年代	20代	248 <b>100</b>	174 <b>70.2</b>	94 <b>37.9</b>	22 <b>8.9</b>	37 <b>14.9</b>	26 <b>10.5</b>	60 <b>24.2</b>	47 <b>19.0</b>	10 <b>4.0</b>
	30代	274 <b>100</b>	189 <b>69.0</b>	98 <b>35.8</b>	14 <b>5.1</b>	52 <b>19.0</b>	22 <b>8.0</b>	100 <b>36.5</b>	66 <b>24.1</b>	9 <b>3.3</b>
	40代	269 <b>100</b>	174 <b>64.7</b>	126 <b>46.8</b>	14 <b>5.2</b>	62 <b>23.0</b>	27 <b>10.0</b>	109 <b>40.5</b>	76 <b>28.3</b>	9 <b>3.3</b>
	50代	271 <b>100</b>	179 <b>66.1</b>	127 <b>46.9</b>	7 <b>2.6</b>	73 <b>26.9</b>	27 <b>10.0</b>	128 <b>47.2</b>	103 <b>38.0</b>	9 <b>3.3</b>
	60代	275 <b>100</b>	201 <b>73.1</b>	136 <b>49.5</b>	6 <b>2.2</b>	99 <b>36.0</b>	33 <b>12.0</b>	133 <b>48.4</b>	95 <b>34.5</b>	10 <b>3.6</b>
	70代以上	286 <b>100</b>	213 <b>74.5</b>	175 <b>61.2</b>	8 <b>2.8</b>	117 <b>40.9</b>	33 <b>11.5</b>	151 <b>52.8</b>	126 <b>44.1</b>	4 <b>1.4</b>

【4. 豚肉】 最もあてはまるもの（1つだけ）

<Q6【2.豚肉】「ほぼ毎日」～「それ以下」回答者>

度数 横%		全 体	価格が手頃 であること	国産である こと	外国産である こと	産地・銘柄(ブラン ド)等がしっかり表 示されていること	冷蔵品(チルド) であること	鮮度(色つや) がよいこと	量目(パック内 の肉重量)	その他
		全 体	1623 <b>100</b>	702 <b>43.3</b>	436 <b>26.9</b>	17 <b>1.0</b>	140 <b>8.6</b>	17 <b>1.0</b>	207 <b>12.8</b>	60 <b>3.7</b>
地域	首都圏	811 <b>100</b>	361 <b>44.5</b>	195 <b>24.0</b>	8 <b>1.0</b>	73 <b>9.0</b>	7 <b>0.9</b>	116 <b>14.3</b>	33 <b>4.1</b>	18 <b>2.2</b>
	京阪神圏	812 <b>100</b>	341 <b>42.0</b>	241 <b>29.7</b>	9 <b>1.1</b>	67 <b>8.3</b>	10 <b>1.2</b>	91 <b>11.2</b>	27 <b>3.3</b>	26 <b>3.2</b>
年代	20代	248 <b>100</b>	134 <b>54.0</b>	55 <b>22.2</b>	5 <b>2.0</b>	9 <b>3.6</b>	9 <b>3.6</b>	17 <b>6.9</b>	9 <b>3.6</b>	10 <b>4.0</b>
	30代	274 <b>100</b>	134 <b>48.9</b>	58 <b>21.2</b>	6 <b>2.2</b>	21 <b>7.7</b>	2 <b>0.7</b>	36 <b>13.1</b>	9 <b>3.3</b>	8 <b>2.9</b>
	40代	269 <b>100</b>	109 <b>40.5</b>	85 <b>31.6</b>	5 <b>1.9</b>	16 <b>5.9</b>	3 <b>1.1</b>	30 <b>11.2</b>	12 <b>4.5</b>	9 <b>3.3</b>
	50代	271 <b>100</b>	115 <b>42.4</b>	72 <b>26.6</b>	1 <b>0.4</b>	20 <b>7.4</b>	1 <b>0.4</b>	45 <b>16.6</b>	9 <b>3.3</b>	8 <b>3.0</b>
	60代	275 <b>100</b>	113 <b>41.1</b>	70 <b>25.5</b>	0 <b>0.0</b>	32 <b>11.6</b>	1 <b>0.4</b>	42 <b>15.3</b>	10 <b>3.6</b>	7 <b>2.5</b>
	70代以上	286 <b>100</b>	97 <b>33.9</b>	96 <b>33.6</b>	0 <b>0.0</b>	42 <b>14.7</b>	1 <b>0.3</b>	37 <b>12.9</b>	11 <b>3.8</b>	2 <b>0.7</b>



【5. 鶏肉】 あてはまるもの（いくつでも）

<Q6[3.鶏肉]「ほぼ毎日」～「それ以下」回答者>

度数 横%		全 体	価格が手頃 であること	国産である こと	外国産である こと	産地・銘柄(ブランド)等がしっかり表示されていること	冷蔵品(チルド)であること	鮮度(色つや)がよいこと	量目(パック内の肉重量)	その他
全 体		1613 <b>100</b>	1137 <b>70.5</b>	783 <b>48.5</b>	59 <b>3.7</b>	417 <b>25.9</b>	173 <b>10.7</b>	656 <b>40.7</b>	493 <b>30.6</b>	52 <b>3.2</b>
地域	首都圏	805 <b>100</b>	574 <b>71.3</b>	368 <b>45.7</b>	31 <b>3.9</b>	207 <b>25.7</b>	85 <b>10.6</b>	335 <b>41.6</b>	248 <b>30.8</b>	22 <b>2.7</b>
	京阪神圏	808 <b>100</b>	563 <b>69.7</b>	415 <b>51.4</b>	28 <b>3.5</b>	210 <b>26.0</b>	88 <b>10.9</b>	321 <b>39.7</b>	245 <b>30.3</b>	30 <b>3.7</b>
年代	20代	254 <b>100</b>	178 <b>70.1</b>	93 <b>36.6</b>	19 <b>7.5</b>	34 <b>13.4</b>	27 <b>10.6</b>	60 <b>23.6</b>	50 <b>19.7</b>	12 <b>4.7</b>
	30代	271 <b>100</b>	184 <b>67.9</b>	109 <b>40.2</b>	13 <b>4.8</b>	51 <b>18.8</b>	20 <b>7.4</b>	95 <b>35.1</b>	66 <b>24.4</b>	9 <b>3.3</b>
	40代	269 <b>100</b>	172 <b>63.9</b>	132 <b>49.1</b>	11 <b>4.1</b>	54 <b>20.1</b>	31 <b>11.5</b>	103 <b>38.3</b>	76 <b>28.3</b>	12 <b>4.5</b>
	50代	273 <b>100</b>	191 <b>70.0</b>	133 <b>48.7</b>	5 <b>1.8</b>	79 <b>28.9</b>	33 <b>12.1</b>	129 <b>47.3</b>	96 <b>35.2</b>	8 <b>2.9</b>
	60代	267 <b>100</b>	205 <b>76.8</b>	136 <b>50.9</b>	4 <b>1.5</b>	82 <b>30.7</b>	29 <b>10.9</b>	124 <b>46.4</b>	86 <b>32.2</b>	8 <b>3.0</b>
	70代以上	279 <b>100</b>	207 <b>74.2</b>	180 <b>64.5</b>	7 <b>2.5</b>	117 <b>41.9</b>	33 <b>11.8</b>	145 <b>52.0</b>	119 <b>42.7</b>	3 <b>1.1</b>

【6. 鶏肉】 最もあてはまるもの（1つだけ）

<Q6[3.鶏肉]「ほぼ毎日」～「それ以下」回答者>

度数 横%		全 体	価格が手頃 であること	国産である こと	外国産である こと	産地・銘柄(ブランド)等がしっかり表示されていること	冷蔵品(チルド)であること	鮮度(色つや)がよいこと	量目(パック内の肉重量)	その他
全 体		1613 <b>100</b>	695 <b>43.1</b>	452 <b>28.0</b>	24 <b>1.5</b>	123 <b>7.6</b>	20 <b>1.2</b>	196 <b>12.2</b>	57 <b>3.5</b>	46 <b>2.9</b>
地域	首都圏	805 <b>100</b>	356 <b>44.2</b>	212 <b>26.3</b>	12 <b>1.5</b>	66 <b>8.2</b>	10 <b>1.2</b>	107 <b>13.3</b>	24 <b>3.0</b>	18 <b>2.2</b>
	京阪神圏	808 <b>100</b>	339 <b>42.0</b>	240 <b>29.7</b>	12 <b>1.5</b>	57 <b>7.1</b>	10 <b>1.2</b>	89 <b>11.0</b>	33 <b>4.1</b>	28 <b>3.5</b>
年代	20代	254 <b>100</b>	135 <b>53.1</b>	53 <b>20.9</b>	8 <b>3.1</b>	11 <b>4.3</b>	7 <b>2.8</b>	24 <b>9.4</b>	7 <b>2.8</b>	9 <b>3.5</b>
	30代	271 <b>100</b>	130 <b>48.0</b>	61 <b>22.5</b>	5 <b>1.8</b>	19 <b>7.0</b>	3 <b>1.1</b>	39 <b>14.4</b>	5 <b>1.8</b>	9 <b>3.3</b>
	40代	269 <b>100</b>	105 <b>39.0</b>	86 <b>32.0</b>	7 <b>2.6</b>	10 <b>3.7</b>	5 <b>1.9</b>	28 <b>10.4</b>	16 <b>5.9</b>	12 <b>4.5</b>
	50代	273 <b>100</b>	113 <b>41.4</b>	77 <b>28.2</b>	2 <b>0.7</b>	23 <b>8.4</b>	3 <b>1.1</b>	39 <b>14.3</b>	8 <b>2.9</b>	8 <b>2.9</b>
	60代	267 <b>100</b>	112 <b>41.9</b>	86 <b>32.2</b>	1 <b>0.4</b>	22 <b>8.2</b>	1 <b>0.4</b>	31 <b>11.6</b>	8 <b>3.0</b>	6 <b>2.2</b>
	70代以上	279 <b>100</b>	100 <b>35.8</b>	89 <b>31.9</b>	1 <b>0.4</b>	38 <b>13.6</b>	1 <b>0.4</b>	35 <b>12.5</b>	13 <b>4.7</b>	2 <b>0.7</b>

Q9 ここ1カ月の食肉の購入について伺います。昨年の今頃と比べ、購入回数に変化がありますか。それぞれの事項について、最も近いものを1つお選びください。

【1. 食肉全体】

		度数 横%	全 体	増えた	やや増えた	変わらない	やや減った	減った	わからない	購入していない
全 体			1800 <b>100</b>	54 <b>3.0</b>	129 <b>7.2</b>	1209 <b>67.2</b>	126 <b>7.0</b>	82 <b>4.6</b>	85 <b>4.7</b>	115 <b>6.4</b>
地域	首都圏		900 <b>100</b>	25 <b>2.8</b>	70 <b>7.8</b>	604 <b>67.1</b>	59 <b>6.6</b>	42 <b>4.7</b>	42 <b>4.7</b>	58 <b>6.4</b>
	京阪神圏		900 <b>100</b>	29 <b>3.2</b>	59 <b>6.6</b>	605 <b>67.2</b>	67 <b>7.4</b>	40 <b>4.4</b>	43 <b>4.8</b>	57 <b>6.3</b>
年代	20代		300 <b>100</b>	23 <b>7.7</b>	26 <b>8.7</b>	150 <b>50.0</b>	29 <b>9.7</b>	22 <b>7.3</b>	20 <b>6.7</b>	30 <b>10.0</b>
	30代		300 <b>100</b>	15 <b>5.0</b>	25 <b>8.3</b>	191 <b>63.7</b>	15 <b>5.0</b>	15 <b>5.0</b>	18 <b>6.0</b>	21 <b>7.0</b>
	40代		300 <b>100</b>	5 <b>1.7</b>	22 <b>7.3</b>	204 <b>68.0</b>	21 <b>7.0</b>	10 <b>3.3</b>	19 <b>6.3</b>	19 <b>6.3</b>
	50代		300 <b>100</b>	4 <b>1.3</b>	18 <b>6.0</b>	213 <b>71.0</b>	16 <b>5.3</b>	21 <b>7.0</b>	11 <b>3.7</b>	17 <b>5.7</b>
	60代		300 <b>100</b>	5 <b>1.7</b>	16 <b>5.3</b>	225 <b>75.0</b>	20 <b>6.7</b>	6 <b>2.0</b>	12 <b>4.0</b>	16 <b>5.3</b>
	70代以上		300 <b>100</b>	2 <b>0.7</b>	22 <b>7.3</b>	226 <b>75.3</b>	25 <b>8.3</b>	8 <b>2.7</b>	5 <b>1.7</b>	12 <b>4.0</b>

【2. 牛肉】 国産和牛

<Q6【1.牛肉】「ほぼ毎日」～「それ以下」回答者>

		度数 横%	全 体	増えた	やや増えた	変わらない	やや減った	減った	わからない	購入していない
全 体			1565 <b>100</b>	22 <b>1.4</b>	103 <b>6.6</b>	924 <b>59.0</b>	140 <b>8.9</b>	111 <b>7.1</b>	86 <b>5.5</b>	179 <b>11.4</b>
地域	首都圏		763 <b>100</b>	11 <b>1.4</b>	46 <b>6.0</b>	426 <b>55.8</b>	67 <b>8.8</b>	65 <b>8.5</b>	45 <b>5.9</b>	103 <b>13.5</b>
	京阪神圏		802 <b>100</b>	11 <b>1.4</b>	57 <b>7.1</b>	498 <b>62.1</b>	73 <b>9.1</b>	46 <b>5.7</b>	41 <b>5.1</b>	76 <b>9.5</b>
年代	20代		241 <b>100</b>	10 <b>4.1</b>	29 <b>12.0</b>	117 <b>48.5</b>	24 <b>10.0</b>	16 <b>6.6</b>	20 <b>8.3</b>	25 <b>10.4</b>
	30代		261 <b>100</b>	7 <b>2.7</b>	24 <b>9.2</b>	143 <b>54.8</b>	16 <b>6.1</b>	20 <b>7.7</b>	19 <b>7.3</b>	32 <b>12.3</b>
	40代		253 <b>100</b>	0 <b>0.0</b>	13 <b>5.1</b>	161 <b>63.6</b>	19 <b>7.5</b>	14 <b>5.5</b>	16 <b>6.3</b>	30 <b>11.9</b>
	50代		256 <b>100</b>	2 <b>0.8</b>	7 <b>2.7</b>	147 <b>57.4</b>	25 <b>9.8</b>	23 <b>9.0</b>	11 <b>4.3</b>	41 <b>16.0</b>
	60代		268 <b>100</b>	2 <b>0.7</b>	12 <b>4.5</b>	174 <b>64.9</b>	24 <b>9.0</b>	16 <b>6.0</b>	12 <b>4.5</b>	28 <b>10.4</b>
	70代以上		286 <b>100</b>	1 <b>0.3</b>	18 <b>6.3</b>	182 <b>63.6</b>	32 <b>11.2</b>	22 <b>7.7</b>	8 <b>2.8</b>	23 <b>8.0</b>

【3. 牛肉】和牛以外の国産牛肉

<Q6【1.牛肉】「ほぼ毎日」～「それ以下」回答者>

		度数 横%	全 体	増えた	やや増えた	変わらない	やや減った	減った	わからない	購入していない
全 体			1565 <b>100</b>	23 <b>1.5</b>	78 <b>5.0</b>	948 <b>60.6</b>	128 <b>8.2</b>	112 <b>7.2</b>	91 <b>5.8</b>	185 <b>11.8</b>
地域	首都圏		763 <b>100</b>	13 <b>1.7</b>	40 <b>5.2</b>	439 <b>57.5</b>	62 <b>8.1</b>	65 <b>8.5</b>	45 <b>5.9</b>	99 <b>13.0</b>
	京阪神圏		802 <b>100</b>	10 <b>1.2</b>	38 <b>4.7</b>	509 <b>63.5</b>	66 <b>8.2</b>	47 <b>5.9</b>	46 <b>5.7</b>	86 <b>10.7</b>
年代	20代		241 <b>100</b>	12 <b>5.0</b>	21 <b>8.7</b>	121 <b>50.2</b>	24 <b>10.0</b>	21 <b>8.7</b>	22 <b>9.1</b>	20 <b>8.3</b>
	30代		261 <b>100</b>	4 <b>1.5</b>	19 <b>7.3</b>	166 <b>63.6</b>	10 <b>3.8</b>	21 <b>8.0</b>	18 <b>6.9</b>	23 <b>8.8</b>
	40代		253 <b>100</b>	3 <b>1.2</b>	14 <b>5.5</b>	151 <b>59.7</b>	27 <b>10.7</b>	14 <b>5.5</b>	14 <b>5.5</b>	30 <b>11.9</b>
	50代		256 <b>100</b>	2 <b>0.8</b>	4 <b>1.6</b>	154 <b>60.2</b>	22 <b>8.6</b>	23 <b>9.0</b>	12 <b>4.7</b>	39 <b>15.2</b>
	60代		268 <b>100</b>	1 <b>0.4</b>	6 <b>2.2</b>	179 <b>66.8</b>	23 <b>8.6</b>	13 <b>4.9</b>	13 <b>4.9</b>	33 <b>12.3</b>
	70代以上		286 <b>100</b>	1 <b>0.3</b>	14 <b>4.9</b>	177 <b>61.9</b>	22 <b>7.7</b>	20 <b>7.0</b>	12 <b>4.2</b>	40 <b>14.0</b>

【4. 牛肉】和牛かどうかわからない国産牛肉

<Q6【1.牛肉】「ほぼ毎日」～「それ以下」回答者>

		度数 横%	全 体	増えた	やや増えた	変わらない	やや減った	減った	わからない	購入していない
全 体			1565 <b>100</b>	21 <b>1.3</b>	55 <b>3.5</b>	864 <b>55.2</b>	110 <b>7.0</b>	104 <b>6.6</b>	114 <b>7.3</b>	297 <b>19.0</b>
地域	首都圏		763 <b>100</b>	13 <b>1.7</b>	29 <b>3.8</b>	402 <b>52.7</b>	64 <b>8.4</b>	55 <b>7.2</b>	55 <b>7.2</b>	145 <b>19.0</b>
	京阪神圏		802 <b>100</b>	8 <b>1.0</b>	26 <b>3.2</b>	462 <b>57.6</b>	46 <b>5.7</b>	49 <b>6.1</b>	59 <b>7.4</b>	152 <b>19.0</b>
年代	20代		241 <b>100</b>	11 <b>4.6</b>	22 <b>9.1</b>	118 <b>49.0</b>	24 <b>10.0</b>	15 <b>6.2</b>	24 <b>10.0</b>	27 <b>11.2</b>
	30代		261 <b>100</b>	2 <b>0.8</b>	15 <b>5.7</b>	148 <b>56.7</b>	16 <b>6.1</b>	20 <b>7.7</b>	21 <b>8.0</b>	39 <b>14.9</b>
	40代		253 <b>100</b>	4 <b>1.6</b>	8 <b>3.2</b>	154 <b>60.9</b>	16 <b>6.3</b>	12 <b>4.7</b>	13 <b>5.1</b>	46 <b>18.2</b>
	50代		256 <b>100</b>	2 <b>0.8</b>	4 <b>1.6</b>	133 <b>52.0</b>	17 <b>6.6</b>	24 <b>9.4</b>	14 <b>5.5</b>	62 <b>24.2</b>
	60代		268 <b>100</b>	1 <b>0.4</b>	1 <b>0.4</b>	163 <b>60.8</b>	17 <b>6.3</b>	14 <b>5.2</b>	19 <b>7.1</b>	53 <b>19.8</b>
	70代以上		286 <b>100</b>	1 <b>0.3</b>	5 <b>1.7</b>	148 <b>51.7</b>	20 <b>7.0</b>	19 <b>6.6</b>	23 <b>8.0</b>	70 <b>24.5</b>

【5. 牛肉】 輸入牛肉

<Q6【1.牛肉】「ほぼ毎日」～「それ以下」回答者>

		度数 横%	全 体	増えた	やや増えた	変わらない	やや減った	減った	わからない	購入していない
全 体			1565 <b>100</b>	19 <b>1.2</b>	77 <b>4.9</b>	839 <b>53.6</b>	131 <b>8.4</b>	117 <b>7.5</b>	97 <b>6.2</b>	285 <b>18.2</b>
地域	首都圏		763 <b>100</b>	12 <b>1.6</b>	38 <b>5.0</b>	408 <b>53.5</b>	77 <b>10.1</b>	63 <b>8.3</b>	48 <b>6.3</b>	117 <b>15.3</b>
	京阪神圏		802 <b>100</b>	7 <b>0.9</b>	39 <b>4.9</b>	431 <b>53.7</b>	54 <b>6.7</b>	54 <b>6.7</b>	49 <b>6.1</b>	168 <b>20.9</b>
年代	20代		241 <b>100</b>	10 <b>4.1</b>	17 <b>7.1</b>	119 <b>49.4</b>	30 <b>12.4</b>	18 <b>7.5</b>	21 <b>8.7</b>	26 <b>10.8</b>
	30代		261 <b>100</b>	3 <b>1.1</b>	22 <b>8.4</b>	155 <b>59.4</b>	16 <b>6.1</b>	17 <b>6.5</b>	19 <b>7.3</b>	29 <b>11.1</b>
	40代		253 <b>100</b>	3 <b>1.2</b>	9 <b>3.6</b>	148 <b>58.5</b>	16 <b>6.3</b>	15 <b>5.9</b>	15 <b>5.9</b>	47 <b>18.6</b>
	50代		256 <b>100</b>	1 <b>0.4</b>	10 <b>3.9</b>	136 <b>53.1</b>	23 <b>9.0</b>	21 <b>8.2</b>	10 <b>3.9</b>	55 <b>21.5</b>
	60代		268 <b>100</b>	1 <b>0.4</b>	12 <b>4.5</b>	149 <b>55.6</b>	23 <b>8.6</b>	18 <b>6.7</b>	13 <b>4.9</b>	52 <b>19.4</b>
	70代以上		286 <b>100</b>	1 <b>0.3</b>	7 <b>2.4</b>	132 <b>46.2</b>	23 <b>8.0</b>	28 <b>9.8</b>	19 <b>6.6</b>	76 <b>26.6</b>

【6. 豚肉】国産豚肉

<Q6【2.豚肉】「ほぼ毎日」～「それ以下」回答者>

		度数 横%	全 体	増えた	やや増えた	変わらない	やや減った	減った	わからない	購入していない
全 体			1623 <b>100</b>	32 <b>2.0</b>	147 <b>9.1</b>	1132 <b>69.7</b>	112 <b>6.9</b>	66 <b>4.1</b>	90 <b>5.5</b>	44 <b>2.7</b>
地域	首都圏		811 <b>100</b>	15 <b>1.8</b>	70 <b>8.6</b>	565 <b>69.7</b>	56 <b>6.9</b>	35 <b>4.3</b>	46 <b>5.7</b>	24 <b>3.0</b>
	京阪神圏		812 <b>100</b>	17 <b>2.1</b>	77 <b>9.5</b>	567 <b>69.8</b>	56 <b>6.9</b>	31 <b>3.8</b>	44 <b>5.4</b>	20 <b>2.5</b>
年代	20代		248 <b>100</b>	12 <b>4.8</b>	24 <b>9.7</b>	137 <b>55.2</b>	28 <b>11.3</b>	19 <b>7.7</b>	21 <b>8.5</b>	7 <b>2.8</b>
	30代		274 <b>100</b>	7 <b>2.6</b>	28 <b>10.2</b>	186 <b>67.9</b>	18 <b>6.6</b>	11 <b>4.0</b>	17 <b>6.2</b>	7 <b>2.6</b>
	40代		269 <b>100</b>	3 <b>1.1</b>	25 <b>9.3</b>	191 <b>71.0</b>	19 <b>7.1</b>	6 <b>2.2</b>	17 <b>6.3</b>	8 <b>3.0</b>
	50代		271 <b>100</b>	5 <b>1.8</b>	23 <b>8.5</b>	197 <b>72.7</b>	14 <b>5.2</b>	15 <b>5.5</b>	10 <b>3.7</b>	7 <b>2.6</b>
	60代		275 <b>100</b>	2 <b>0.7</b>	20 <b>7.3</b>	212 <b>77.1</b>	13 <b>4.7</b>	7 <b>2.5</b>	12 <b>4.4</b>	9 <b>3.3</b>
	70代以上		286 <b>100</b>	3 <b>1.0</b>	27 <b>9.4</b>	209 <b>73.1</b>	20 <b>7.0</b>	8 <b>2.8</b>	13 <b>4.5</b>	6 <b>2.1</b>

【7. 豚肉】輸入豚肉

<Q6【2.豚肉】「ほぼ毎日」～「それ以下」回答者>

		度数 横%	全 体	増えた	やや増えた	変わらない	やや減った	減った	わからない	購入していない
全 体			1623 <b>100</b>	25 <b>1.5</b>	88 <b>5.4</b>	877 <b>54.0</b>	124 <b>7.6</b>	78 <b>4.8</b>	100 <b>6.2</b>	331 <b>20.4</b>
地域	首都圏		811 <b>100</b>	13 <b>1.6</b>	45 <b>5.5</b>	448 <b>55.2</b>	72 <b>8.9</b>	38 <b>4.7</b>	47 <b>5.8</b>	148 <b>18.2</b>
	京阪神圏		812 <b>100</b>	12 <b>1.5</b>	43 <b>5.3</b>	429 <b>52.8</b>	52 <b>6.4</b>	40 <b>4.9</b>	53 <b>6.5</b>	183 <b>22.5</b>
年代	20代		248 <b>100</b>	11 <b>4.4</b>	25 <b>10.1</b>	124 <b>50.0</b>	28 <b>11.3</b>	16 <b>6.5</b>	18 <b>7.3</b>	26 <b>10.5</b>
	30代		274 <b>100</b>	6 <b>2.2</b>	20 <b>7.3</b>	162 <b>59.1</b>	20 <b>7.3</b>	14 <b>5.1</b>	18 <b>6.6</b>	34 <b>12.4</b>
	40代		269 <b>100</b>	4 <b>1.5</b>	13 <b>4.8</b>	160 <b>59.5</b>	18 <b>6.7</b>	4 <b>1.5</b>	17 <b>6.3</b>	53 <b>19.7</b>
	50代		271 <b>100</b>	2 <b>0.7</b>	9 <b>3.3</b>	152 <b>56.1</b>	15 <b>5.5</b>	12 <b>4.4</b>	14 <b>5.2</b>	67 <b>24.7</b>
	60代		275 <b>100</b>	1 <b>0.4</b>	13 <b>4.7</b>	166 <b>60.4</b>	18 <b>6.5</b>	9 <b>3.3</b>	16 <b>5.8</b>	52 <b>18.9</b>
	70代以上		286 <b>100</b>	1 <b>0.3</b>	8 <b>2.8</b>	113 <b>39.5</b>	25 <b>8.7</b>	23 <b>8.0</b>	17 <b>5.9</b>	99 <b>34.6</b>

【8. 鶏肉】国産鶏肉

<Q6【3.鶏肉】「ほぼ毎日」～「それ以下」回答者>

度数 横%		全 体	増えた	やや増えた	変わらない	やや減った	減った	わからない	購入していない
全 体		1613 <b>100</b>	39 <b>2.4</b>	160 <b>9.9</b>	1121 <b>69.5</b>	102 <b>6.3</b>	65 <b>4.0</b>	88 <b>5.5</b>	38 <b>2.4</b>
地域	首都圏	805 <b>100</b>	14 <b>1.7</b>	80 <b>9.9</b>	558 <b>69.3</b>	53 <b>6.6</b>	35 <b>4.3</b>	47 <b>5.8</b>	18 <b>2.2</b>
	京阪神圏	808 <b>100</b>	25 <b>3.1</b>	80 <b>9.9</b>	563 <b>69.7</b>	49 <b>6.1</b>	30 <b>3.7</b>	41 <b>5.1</b>	20 <b>2.5</b>
年代	20代	254 <b>100</b>	11 <b>4.3</b>	31 <b>12.2</b>	133 <b>52.4</b>	25 <b>9.8</b>	23 <b>9.1</b>	20 <b>7.9</b>	11 <b>4.3</b>
	30代	271 <b>100</b>	10 <b>3.7</b>	32 <b>11.8</b>	186 <b>68.6</b>	13 <b>4.8</b>	6 <b>2.2</b>	18 <b>6.6</b>	6 <b>2.2</b>
	40代	269 <b>100</b>	6 <b>2.2</b>	27 <b>10.0</b>	187 <b>69.5</b>	19 <b>7.1</b>	7 <b>2.6</b>	16 <b>5.9</b>	7 <b>2.6</b>
	50代	273 <b>100</b>	6 <b>2.2</b>	22 <b>8.1</b>	200 <b>73.3</b>	19 <b>7.0</b>	14 <b>5.1</b>	9 <b>3.3</b>	3 <b>1.1</b>
	60代	267 <b>100</b>	4 <b>1.5</b>	21 <b>7.9</b>	202 <b>75.7</b>	12 <b>4.5</b>	5 <b>1.9</b>	15 <b>5.6</b>	8 <b>3.0</b>
	70代以上	279 <b>100</b>	2 <b>0.7</b>	27 <b>9.7</b>	213 <b>76.3</b>	14 <b>5.0</b>	10 <b>3.6</b>	10 <b>3.6</b>	3 <b>1.1</b>

【9. 鶏肉】輸入鶏肉

<Q6【3.鶏肉】「ほぼ毎日」～「それ以下」回答者>

度数 横%		全 体	増えた	やや増えた	変わらない	やや減った	減った	わからない	購入していない
全 体		1613 <b>100</b>	28 <b>1.7</b>	71 <b>4.4</b>	821 <b>50.9</b>	115 <b>7.1</b>	78 <b>4.8</b>	97 <b>6.0</b>	403 <b>25.0</b>
地域	首都圏	805 <b>100</b>	9 <b>1.1</b>	41 <b>5.1</b>	422 <b>52.4</b>	68 <b>8.4</b>	37 <b>4.6</b>	44 <b>5.5</b>	184 <b>22.9</b>
	京阪神圏	808 <b>100</b>	19 <b>2.4</b>	30 <b>3.7</b>	399 <b>49.4</b>	47 <b>5.8</b>	41 <b>5.1</b>	53 <b>6.6</b>	219 <b>27.1</b>
年代	20代	254 <b>100</b>	13 <b>5.1</b>	20 <b>7.9</b>	124 <b>48.8</b>	29 <b>11.4</b>	17 <b>6.7</b>	22 <b>8.7</b>	29 <b>11.4</b>
	30代	271 <b>100</b>	8 <b>3.0</b>	15 <b>5.5</b>	159 <b>58.7</b>	16 <b>5.9</b>	10 <b>3.7</b>	16 <b>5.9</b>	47 <b>17.3</b>
	40代	269 <b>100</b>	3 <b>1.1</b>	14 <b>5.2</b>	146 <b>54.3</b>	16 <b>5.9</b>	8 <b>3.0</b>	14 <b>5.2</b>	68 <b>25.3</b>
	50代	273 <b>100</b>	2 <b>0.7</b>	9 <b>3.3</b>	140 <b>51.3</b>	18 <b>6.6</b>	12 <b>4.4</b>	13 <b>4.8</b>	79 <b>28.9</b>
	60代	267 <b>100</b>	1 <b>0.4</b>	6 <b>2.2</b>	151 <b>56.6</b>	20 <b>7.5</b>	11 <b>4.1</b>	15 <b>5.6</b>	63 <b>23.6</b>
	70代以上	279 <b>100</b>	1 <b>0.4</b>	7 <b>2.5</b>	101 <b>36.2</b>	16 <b>5.7</b>	20 <b>7.2</b>	17 <b>6.1</b>	117 <b>41.9</b>

Q10 ここ1ヵ月の食品の購入について伺います。昨年の今頃と比べ、購入回数に変化がありますか。購入回数が「増えた食品」「減った食品」について、あてはまるものを全てお選びください。

【1. 増えた食品】

度数 横%		全 体	米	パン	野菜	果物	魚介	卵	牛乳	食肉加工品
全 体		1800 100	272 15.1	253 14.1	288 16.0	219 12.2	176 9.8	238 13.2	205 11.4	118 6.6
地域	首都圏	900 100	148 16.4	107 11.9	147 16.3	105 11.7	87 9.7	107 11.9	105 11.7	60 6.7
	京阪神圏	900 100	124 13.8	146 16.2	141 15.7	114 12.7	89 9.9	131 14.6	100 11.1	58 6.4
年代	20代	300 100	73 24.3	52 17.3	56 18.7	36 12.0	25 8.3	47 15.7	38 12.7	33 11.0
	30代	300 100	63 21.0	48 16.0	44 14.7	38 12.7	36 12.0	48 16.0	38 12.7	27 9.0
	40代	300 100	40 13.3	33 11.0	32 10.7	25 8.3	23 7.7	30 10.0	18 6.0	15 5.0
	50代	300 100	41 13.7	37 12.3	39 13.0	26 8.7	25 8.3	34 11.3	23 7.7	8 2.7
	60代	300 100	26 8.7	32 10.7	46 15.3	37 12.3	20 6.7	27 9.0	33 11.0	17 5.7
	70代以上	300 100	29 9.7	51 17.0	71 23.7	57 19.0	47 15.7	52 17.3	55 18.3	18 6.0

度数 横%		全 体	乳製品	冷凍食品	インスタント麺 (カップ麺・ 袋麺等)	弁当・惣菜類	ファストフード	菓子類	いずれもない
全 体		1800 100	179 9.9	245 13.6	184 10.2	140 7.8	100 5.6	206 11.4	985 54.7
地域	首都圏	900 100	91 10.1	125 13.9	83 9.2	69 7.7	57 6.3	102 11.3	493 54.8
	京阪神圏	900 100	88 9.8	120 13.3	101 11.2	71 7.9	43 4.8	104 11.6	492 54.7
年代	20代	300 100	29 9.7	39 13.0	39 13.0	28 9.3	24 8.0	39 13.0	136 45.3
	30代	300 100	31 10.3	40 13.3	40 13.3	31 10.3	30 10.0	39 13.0	158 52.7
	40代	300 100	19 6.3	29 9.7	30 10.0	15 5.0	18 6.0	36 12.0	190 63.3
	50代	300 100	24 8.0	30 10.0	26 8.7	29 9.7	11 3.7	34 11.3	172 57.3
	60代	300 100	20 6.7	47 15.7	25 8.3	16 5.3	8 2.7	26 8.7	178 59.3
	70代以上	300 100	56 18.7	60 20.0	24 8.0	21 7.0	9 3.0	32 10.7	151 50.3

【2. 減った食品】

		度数 横%	全 体	米	パン	野菜	果物	魚介	卵	牛乳	食肉加工品
全 体			1800 <b>100</b>	158 <b>8.8</b>	210 <b>11.7</b>	121 <b>6.7</b>	161 <b>8.9</b>	162 <b>9.0</b>	77 <b>4.3</b>	112 <b>6.2</b>	151 <b>8.4</b>
地域	首都圏		900 <b>100</b>	74 <b>8.2</b>	120 <b>13.3</b>	54 <b>6.0</b>	78 <b>8.7</b>	87 <b>9.7</b>	38 <b>4.2</b>	53 <b>5.9</b>	72 <b>8.0</b>
	京阪神圏		900 <b>100</b>	84 <b>9.3</b>	90 <b>10.0</b>	67 <b>7.4</b>	83 <b>9.2</b>	75 <b>8.3</b>	39 <b>4.3</b>	59 <b>6.6</b>	79 <b>8.8</b>
年代	20代		300 <b>100</b>	20 <b>6.7</b>	35 <b>11.7</b>	26 <b>8.7</b>	27 <b>9.0</b>	32 <b>10.7</b>	14 <b>4.7</b>	24 <b>8.0</b>	21 <b>7.0</b>
	30代		300 <b>100</b>	17 <b>5.7</b>	36 <b>12.0</b>	14 <b>4.7</b>	23 <b>7.7</b>	20 <b>6.7</b>	10 <b>3.3</b>	18 <b>6.0</b>	14 <b>4.7</b>
	40代		300 <b>100</b>	15 <b>5.0</b>	35 <b>11.7</b>	22 <b>7.3</b>	24 <b>8.0</b>	18 <b>6.0</b>	11 <b>3.7</b>	19 <b>6.3</b>	22 <b>7.3</b>
	50代		300 <b>100</b>	29 <b>9.7</b>	34 <b>11.3</b>	25 <b>8.3</b>	26 <b>8.7</b>	28 <b>9.3</b>	13 <b>4.3</b>	20 <b>6.7</b>	31 <b>10.3</b>
	60代		300 <b>100</b>	28 <b>9.3</b>	38 <b>12.7</b>	14 <b>4.7</b>	25 <b>8.3</b>	25 <b>8.3</b>	13 <b>4.3</b>	17 <b>5.7</b>	24 <b>8.0</b>
	70代以上		300 <b>100</b>	49 <b>16.3</b>	32 <b>10.7</b>	20 <b>6.7</b>	36 <b>12.0</b>	39 <b>13.0</b>	16 <b>5.3</b>	14 <b>4.7</b>	39 <b>13.0</b>

		度数 横%	全 体	乳製品	冷凍食品	インスタント麺 (カップ麺・ 袋麺等)	弁当・惣菜類	ファストフード	菓子類	いずれもない
全 体			1800 <b>100</b>	98 <b>5.4</b>	131 <b>7.3</b>	284 <b>15.8</b>	232 <b>12.9</b>	313 <b>17.4</b>	249 <b>13.8</b>	999 <b>55.5</b>
地域	首都圏		900 <b>100</b>	46 <b>5.1</b>	55 <b>6.1</b>	142 <b>15.8</b>	119 <b>13.2</b>	144 <b>16.0</b>	122 <b>13.6</b>	502 <b>55.8</b>
	京阪神圏		900 <b>100</b>	52 <b>5.8</b>	76 <b>8.4</b>	142 <b>15.8</b>	113 <b>12.6</b>	169 <b>18.8</b>	127 <b>14.1</b>	497 <b>55.2</b>
年代	20代		300 <b>100</b>	19 <b>6.3</b>	25 <b>8.3</b>	31 <b>10.3</b>	35 <b>11.7</b>	47 <b>15.7</b>	30 <b>10.0</b>	157 <b>52.3</b>
	30代		300 <b>100</b>	15 <b>5.0</b>	14 <b>4.7</b>	36 <b>12.0</b>	28 <b>9.3</b>	37 <b>12.3</b>	30 <b>10.0</b>	176 <b>58.7</b>
	40代		300 <b>100</b>	19 <b>6.3</b>	22 <b>7.3</b>	41 <b>13.7</b>	33 <b>11.0</b>	44 <b>14.7</b>	30 <b>10.0</b>	188 <b>62.7</b>
	50代		300 <b>100</b>	20 <b>6.7</b>	29 <b>9.7</b>	50 <b>16.7</b>	32 <b>10.7</b>	62 <b>20.7</b>	48 <b>16.0</b>	165 <b>55.0</b>
	60代		300 <b>100</b>	11 <b>3.7</b>	15 <b>5.0</b>	52 <b>17.3</b>	37 <b>12.3</b>	50 <b>16.7</b>	45 <b>15.0</b>	170 <b>56.7</b>
	70代以上		300 <b>100</b>	14 <b>4.7</b>	26 <b>8.7</b>	74 <b>24.7</b>	67 <b>22.3</b>	73 <b>24.3</b>	66 <b>22.0</b>	143 <b>47.7</b>

Q11 下記の牛肉について、あなたはどの程度購入したいと思いますか。それぞれの事項について、あなたのお考えに最も近いものを1つだけお選びください。

【1. 国産和牛】

度数 横%		全 体	非常に 購入したい	購入したい	やや 購入したい	どちらでもない	あまり購入 したくない	購入したくない	まったく購入 したくない
全 体		1800	282	528	423	430	56	24	57
		<b>100</b>	<b>15.7</b>	<b>29.3</b>	<b>23.5</b>	<b>23.9</b>	<b>3.1</b>	<b>1.3</b>	<b>3.2</b>
地域	首都圏	900	129	240	219	225	32	16	39
		<b>100</b>	<b>14.3</b>	<b>26.7</b>	<b>24.3</b>	<b>25.0</b>	<b>3.6</b>	<b>1.8</b>	<b>4.3</b>
	京阪神圏	900	153	288	204	205	24	8	18
		<b>100</b>	<b>17.0</b>	<b>32.0</b>	<b>22.7</b>	<b>22.8</b>	<b>2.7</b>	<b>0.9</b>	<b>2.0</b>
年代	20代	300	50	63	66	97	8	7	9
		<b>100</b>	<b>16.7</b>	<b>21.0</b>	<b>22.0</b>	<b>32.3</b>	<b>2.7</b>	<b>2.3</b>	<b>3.0</b>
	30代	300	54	75	57	97	8	4	5
		<b>100</b>	<b>18.0</b>	<b>25.0</b>	<b>19.0</b>	<b>32.3</b>	<b>2.7</b>	<b>1.3</b>	<b>1.7</b>
	40代	300	55	65	78	83	5	2	12
		<b>100</b>	<b>18.3</b>	<b>21.7</b>	<b>26.0</b>	<b>27.7</b>	<b>1.7</b>	<b>0.7</b>	<b>4.0</b>
	50代	300	49	90	67	61	17	5	11
	<b>100</b>	<b>16.3</b>	<b>30.0</b>	<b>22.3</b>	<b>20.3</b>	<b>5.7</b>	<b>1.7</b>	<b>3.7</b>	
60代	300	30	105	78	61	11	1	14	
	<b>100</b>	<b>10.0</b>	<b>35.0</b>	<b>26.0</b>	<b>20.3</b>	<b>3.7</b>	<b>0.3</b>	<b>4.7</b>	
70代以上	300	44	130	77	31	7	5	6	
	<b>100</b>	<b>14.7</b>	<b>43.3</b>	<b>25.7</b>	<b>10.3</b>	<b>2.3</b>	<b>1.7</b>	<b>2.0</b>	

【2. 和牛以外の国産牛肉】

度数 横%		全 体	非常に 購入したい	購入したい	やや 購入したい	どちらでもない	あまり購入 したくない	購入したくない	まったく購入 したくない
全 体		1800	127	415	477	574	99	38	70
		<b>100</b>	<b>7.1</b>	<b>23.1</b>	<b>26.5</b>	<b>31.9</b>	<b>5.5</b>	<b>2.1</b>	<b>3.9</b>
地域	首都圏	900	67	198	232	300	45	17	41
		<b>100</b>	<b>7.4</b>	<b>22.0</b>	<b>25.8</b>	<b>33.3</b>	<b>5.0</b>	<b>1.9</b>	<b>4.6</b>
	京阪神圏	900	60	217	245	274	54	21	29
		<b>100</b>	<b>6.7</b>	<b>24.1</b>	<b>27.2</b>	<b>30.4</b>	<b>6.0</b>	<b>2.3</b>	<b>3.2</b>
年代	20代	300	30	57	66	119	11	8	9
		<b>100</b>	<b>10.0</b>	<b>19.0</b>	<b>22.0</b>	<b>39.7</b>	<b>3.7</b>	<b>2.7</b>	<b>3.0</b>
	30代	300	32	70	63	110	15	3	7
		<b>100</b>	<b>10.7</b>	<b>23.3</b>	<b>21.0</b>	<b>36.7</b>	<b>5.0</b>	<b>1.0</b>	<b>2.3</b>
	40代	300	22	61	82	101	17	4	13
		<b>100</b>	<b>7.3</b>	<b>20.3</b>	<b>27.3</b>	<b>33.7</b>	<b>5.7</b>	<b>1.3</b>	<b>4.3</b>
	50代	300	24	72	80	81	21	9	13
	<b>100</b>	<b>8.0</b>	<b>24.0</b>	<b>26.7</b>	<b>27.0</b>	<b>7.0</b>	<b>3.0</b>	<b>4.3</b>	
60代	300	8	69	97	87	16	5	18	
	<b>100</b>	<b>2.7</b>	<b>23.0</b>	<b>32.3</b>	<b>29.0</b>	<b>5.3</b>	<b>1.7</b>	<b>6.0</b>	
70代以上	300	11	86	89	76	19	9	10	
	<b>100</b>	<b>3.7</b>	<b>28.7</b>	<b>29.7</b>	<b>25.3</b>	<b>6.3</b>	<b>3.0</b>	<b>3.3</b>	



【3. アメリカ産牛肉】

度数 横%		全 体	非常に 購入したい	購入したい	やや 購入したい	どちらでもない	あまり購入 したくない	購入したくない	まったく購入 したくない
全 体		1800 <b>100</b>	63 <b>3.5</b>	222 <b>12.3</b>	369 <b>20.5</b>	659 <b>36.6</b>	225 <b>12.5</b>	80 <b>4.4</b>	182 <b>10.1</b>
地域	首都圏	900 <b>100</b>	39 <b>4.3</b>	132 <b>14.7</b>	171 <b>19.0</b>	346 <b>38.4</b>	97 <b>10.8</b>	34 <b>3.8</b>	81 <b>9.0</b>
	京阪神圏	900 <b>100</b>	24 <b>2.7</b>	90 <b>10.0</b>	198 <b>22.0</b>	313 <b>34.8</b>	128 <b>14.2</b>	46 <b>5.1</b>	101 <b>11.2</b>
年代	20代	300 <b>100</b>	19 <b>6.3</b>	43 <b>14.3</b>	51 <b>17.0</b>	124 <b>41.3</b>	35 <b>11.7</b>	8 <b>2.7</b>	20 <b>6.7</b>
	30代	300 <b>100</b>	15 <b>5.0</b>	44 <b>14.7</b>	72 <b>24.0</b>	112 <b>37.3</b>	29 <b>9.7</b>	9 <b>3.0</b>	19 <b>6.3</b>
	40代	300 <b>100</b>	11 <b>3.7</b>	41 <b>13.7</b>	63 <b>21.0</b>	114 <b>38.0</b>	30 <b>10.0</b>	15 <b>5.0</b>	26 <b>8.7</b>
	50代	300 <b>100</b>	12 <b>4.0</b>	39 <b>13.0</b>	56 <b>18.7</b>	100 <b>33.3</b>	43 <b>14.3</b>	13 <b>4.3</b>	37 <b>12.3</b>
	60代	300 <b>100</b>	3 <b>1.0</b>	24 <b>8.0</b>	72 <b>24.0</b>	120 <b>40.0</b>	36 <b>12.0</b>	13 <b>4.3</b>	32 <b>10.7</b>
	70代以上	300 <b>100</b>	3 <b>1.0</b>	31 <b>10.3</b>	55 <b>18.3</b>	89 <b>29.7</b>	52 <b>17.3</b>	22 <b>7.3</b>	48 <b>16.0</b>

【4. オーストラリア産牛肉】

度数 横%		全 体	非常に 購入したい	購入したい	やや 購入したい	どちらでもない	あまり購入 したくない	購入したくない	まったく購入 したくない
全 体		1800 <b>100</b>	77 <b>4.3</b>	243 <b>13.5</b>	398 <b>22.1</b>	645 <b>35.8</b>	205 <b>11.4</b>	83 <b>4.6</b>	149 <b>8.3</b>
地域	首都圏	900 <b>100</b>	48 <b>5.3</b>	132 <b>14.7</b>	188 <b>20.9</b>	339 <b>37.7</b>	82 <b>9.1</b>	39 <b>4.3</b>	72 <b>8.0</b>
	京阪神圏	900 <b>100</b>	29 <b>3.2</b>	111 <b>12.3</b>	210 <b>23.3</b>	306 <b>34.0</b>	123 <b>13.7</b>	44 <b>4.9</b>	77 <b>8.6</b>
年代	20代	300 <b>100</b>	24 <b>8.0</b>	42 <b>14.0</b>	48 <b>16.0</b>	129 <b>43.0</b>	28 <b>9.3</b>	11 <b>3.7</b>	18 <b>6.0</b>
	30代	300 <b>100</b>	19 <b>6.3</b>	47 <b>15.7</b>	77 <b>25.7</b>	103 <b>34.3</b>	28 <b>9.3</b>	9 <b>3.0</b>	17 <b>5.7</b>
	40代	300 <b>100</b>	14 <b>4.7</b>	43 <b>14.3</b>	72 <b>24.0</b>	104 <b>34.7</b>	35 <b>11.7</b>	9 <b>3.0</b>	23 <b>7.7</b>
	50代	300 <b>100</b>	12 <b>4.0</b>	41 <b>13.7</b>	61 <b>20.3</b>	106 <b>35.3</b>	36 <b>12.0</b>	13 <b>4.3</b>	31 <b>10.3</b>
	60代	300 <b>100</b>	5 <b>1.7</b>	36 <b>12.0</b>	75 <b>25.0</b>	108 <b>36.0</b>	33 <b>11.0</b>	18 <b>6.0</b>	25 <b>8.3</b>
	70代以上	300 <b>100</b>	3 <b>1.0</b>	34 <b>11.3</b>	65 <b>21.7</b>	95 <b>31.7</b>	45 <b>15.0</b>	23 <b>7.7</b>	35 <b>11.7</b>

Q12 下記の牛肉について、それぞれどのくらいの頻度で購入していますか。それぞれの事項について、最も近いものを1つお選びください。

【1. 国産和牛】

<Q6【1.牛肉】「ほぼ毎日」～「それ以下」回答者>

度数 横%		全 体	ほぼ毎日	週に4～5日 程度	週に2～3日 程度	週に1日程度	月に2～3日 程度	月に1日程度	それ以下	購入していない
全 体		1565 100	25 1.6	30 1.9	103 6.6	227 14.5	236 15.1	261 16.7	483 30.9	200 12.8
地域	首都圏	763 100	11 1.4	13 1.7	48 6.3	87 11.4	119 15.6	111 14.5	260 34.1	114 14.9
	京阪神圏	802 100	14 1.7	17 2.1	55 6.9	140 17.5	117 14.6	150 18.7	223 27.8	86 10.7
年代	20代	241 100	16 6.6	14 5.8	16 6.6	42 17.4	39 16.2	30 12.4	48 19.9	36 14.9
	30代	261 100	6 2.3	7 2.7	25 9.6	27 10.3	29 11.1	45 17.2	79 30.3	43 16.5
	40代	253 100	1 0.4	6 2.4	13 5.1	33 13.0	30 11.9	43 17.0	94 37.2	33 13.0
	50代	256 100	2 0.8	2 0.8	9 3.5	27 10.5	30 11.7	46 18.0	108 42.2	32 12.5
	60代	268 100	0 0.0	1 0.4	13 4.9	33 12.3	48 17.9	46 17.2	97 36.2	30 11.2
	70代以上	286 100	0 0.0	0 0.0	27 9.4	65 22.7	60 21.0	51 17.8	57 19.9	26 9.1

【2. 和牛以外の国産牛肉】

<Q6【1.牛肉】「ほぼ毎日」～「それ以下」回答者>

度数 横%		全 体	ほぼ毎日	週に4～5日 程度	週に2～3日 程度	週に1日程度	月に2～3日 程度	月に1日程度	それ以下	購入していない
全 体		1565 100	18 1.2	21 1.3	79 5.0	197 12.6	246 15.7	319 20.4	454 29.0	231 14.8
地域	首都圏	763 100	7 0.9	8 1.0	31 4.1	90 11.8	106 13.9	152 19.9	255 33.4	114 14.9
	京阪神圏	802 100	11 1.4	13 1.6	48 6.0	107 13.3	140 17.5	167 20.8	199 24.8	117 14.6
年代	20代	241 100	10 4.1	10 4.1	26 10.8	33 13.7	34 14.1	46 19.1	49 20.3	33 13.7
	30代	261 100	4 1.5	4 1.5	19 7.3	28 10.7	35 13.4	52 19.9	80 30.7	39 14.9
	40代	253 100	2 0.8	3 1.2	10 4.0	34 13.4	31 12.3	49 19.4	85 33.6	39 15.4
	50代	256 100	2 0.8	2 0.8	9 3.5	23 9.0	43 16.8	46 18.0	95 37.1	36 14.1
	60代	268 100	0 0.0	1 0.4	7 2.6	32 11.9	39 14.6	62 23.1	92 34.3	35 13.1
	70代以上	286 100	0 0.0	1 0.3	8 2.8	47 16.4	64 22.4	64 22.4	53 18.5	49 17.1

【3. 和牛かどうかわからない国産牛肉】

<Q6【1.牛肉】「ほぼ毎日」～「それ以下」回答者>

度数 横%		全 体	ほぼ毎日	週に4～5日 程度	週に2～3日 程度	週に1日程度	月に2～3日 程度	月に1日程度	それ以下	購入していない
全 体		1565 100	12 0.8	20 1.3	58 3.7	151 9.6	187 11.9	249 15.9	443 28.3	445 28.4
地域	首都圏	763 100	8 1.0	7 0.9	25 3.3	75 9.8	83 10.9	117 15.3	238 31.2	210 27.5
	京阪神圏	802 100	4 0.5	13 1.6	33 4.1	76 9.5	104 13.0	132 16.5	205 25.6	235 29.3
年代	20代	241 100	8 3.3	13 5.4	16 6.6	38 15.8	30 12.4	32 13.3	51 21.2	53 22.0
	30代	261 100	1 0.4	5 1.9	16 6.1	29 11.1	24 9.2	45 17.2	76 29.1	65 24.9
	40代	253 100	1 0.4	2 0.8	8 3.2	25 9.9	27 10.7	42 16.6	83 32.8	65 25.7
	50代	256 100	2 0.8	0 0.0	7 2.7	16 6.3	30 11.7	40 15.6	85 33.2	76 29.7
	60代	268 100	0 0.0	0 0.0	7 2.6	18 6.7	32 11.9	41 15.3	87 32.5	83 31.0
	70代以上	286 100	0 0.0	0 0.0	4 1.4	25 8.7	44 15.4	49 17.1	61 21.3	103 36.0

【4. アメリカ産牛肉】

<Q6[1.牛肉]「ほぼ毎日」～「それ以下」回答者>

度数横%		全 体	ほぼ毎日	週に4～5日程度	週に2～3日程度	週に1日程度	月に2～3日程度	月に1日程度	それ以下	購入していない
全 体		1565 100	10 0.6	24 1.5	57 3.6	123 7.9	183 11.7	276 17.6	440 28.1	452 28.9
地域	首都圏	763 100	6 0.8	12 1.6	29 3.8	61 8.0	85 11.1	144 18.9	237 31.1	189 24.8
	京阪神圏	802 100	4 0.5	12 1.5	28 3.5	62 7.7	98 12.2	132 16.5	203 25.3	263 32.8
年代	20代	241 100	8 3.3	11 4.6	22 9.1	29 12.0	34 14.1	30 12.4	51 21.2	56 23.2
	30代	261 100	0 0.0	9 3.4	15 5.7	25 9.6	34 13.0	50 19.2	72 27.6	56 21.5
	40代	253 100	0 0.0	1 0.4	7 2.8	24 9.5	28 11.1	49 19.4	80 31.6	64 25.3
	50代	256 100	2 0.8	1 0.4	6 2.3	10 3.9	31 12.1	40 15.6	91 35.5	75 29.3
	60代	268 100	0 0.0	1 0.4	4 1.5	16 6.0	27 10.1	64 23.9	75 28.0	81 30.2
	70代以上	286 100	0 0.0	1 0.3	3 1.0	19 6.6	29 10.1	43 15.0	71 24.8	120 42.0

【5. オーストラリア産牛肉】

<Q6[1.牛肉]「ほぼ毎日」～「それ以下」回答者>

度数横%		全 体	ほぼ毎日	週に4～5日程度	週に2～3日程度	週に1日程度	月に2～3日程度	月に1日程度	それ以下	購入していない
全 体		1565 100	10 0.6	24 1.5	55 3.5	124 7.9	192 12.3	280 17.9	467 29.8	413 26.4
地域	首都圏	763 100	5 0.7	13 1.7	19 2.5	65 8.5	94 12.3	148 19.4	244 32.0	175 22.9
	京阪神圏	802 100	5 0.6	11 1.4	36 4.5	59 7.4	98 12.2	132 16.5	223 27.8	238 29.7
年代	20代	241 100	7 2.9	15 6.2	19 7.9	28 11.6	34 14.1	34 14.1	51 21.2	53 22.0
	30代	261 100	0 0.0	8 3.1	14 5.4	25 9.6	32 12.3	51 19.5	81 31.0	50 19.2
	40代	253 100	0 0.0	0 0.0	8 3.2	21 8.3	37 14.6	44 17.4	80 31.6	63 24.9
	50代	256 100	2 0.8	0 0.0	7 2.7	12 4.7	24 9.4	41 16.0	96 37.5	74 28.9
	60代	268 100	1 0.4	0 0.0	4 1.5	21 7.8	29 10.8	58 21.6	84 31.3	71 26.5
	70代以上	286 100	0 0.0	1 0.3	3 1.0	17 5.9	36 12.6	52 18.2	75 26.2	102 35.7

Q13 以下に牛肉のイメージを表す言葉があります。各イメージについて、あなたがあてはまると思う牛肉を全てお選びください。

	度数 横%	全 体	食感 ／柔らかい	部位・栄養素 ／霜降り	部位・栄養素 ／赤身が多い	品質 ／安全・安心	品質 ／高品質	品質・アニマル ウェルフェア／飼育環 境がよい
(1) 国産和牛		1800 <b>100</b>	1137 <b>63.2</b>	1218 <b>67.7</b>	352 <b>19.6</b>	1171 <b>65.1</b>	1228 <b>68.2</b>	935 <b>51.9</b>
(2) 和牛以外の国産牛肉		1800 <b>100</b>	360 <b>20.0</b>	230 <b>12.8</b>	281 <b>15.6</b>	587 <b>32.6</b>	303 <b>16.8</b>	311 <b>17.3</b>
(3) アメリカ産牛肉		1800 <b>100</b>	149 <b>8.3</b>	94 <b>5.2</b>	553 <b>30.7</b>	185 <b>10.3</b>	126 <b>7.0</b>	152 <b>8.4</b>
(4) オーストラリア産牛肉		1800 <b>100</b>	132 <b>7.3</b>	53 <b>2.9</b>	495 <b>27.5</b>	195 <b>10.8</b>	118 <b>6.6</b>	182 <b>10.1</b>

	度数 横%	全 体	価格 ／高級	価格 ／価格が手頃	価格 ／特売	味・風味 ／おいしい	味・風味 ／赤身が美味 しい	利便性 ／和食に合う
(1) 国産和牛		1800 <b>100</b>	1318 <b>73.2</b>	105 <b>5.8</b>	147 <b>8.2</b>	1291 <b>71.7</b>	660 <b>36.7</b>	952 <b>52.9</b>
(2) 和牛以外の国産牛肉		1800 <b>100</b>	211 <b>11.7</b>	330 <b>18.3</b>	357 <b>19.8</b>	627 <b>34.8</b>	396 <b>22.0</b>	476 <b>26.4</b>
(3) アメリカ産牛肉		1800 <b>100</b>	94 <b>5.2</b>	952 <b>52.9</b>	766 <b>42.6</b>	383 <b>21.3</b>	365 <b>20.3</b>	150 <b>8.3</b>
(4) オーストラリア産牛肉		1800 <b>100</b>	76 <b>4.2</b>	996 <b>55.3</b>	717 <b>39.8</b>	373 <b>20.7</b>	346 <b>19.2</b>	133 <b>7.4</b>

	度数 横%	全 体	利便性 ／洋食に合う	情緒 ／贅沢感がある	情緒 ／シニア向き	情緒 ／若者向き
(1) 国産和牛		1800 <b>100</b>	535 <b>29.7</b>	1258 <b>69.9</b>	602 <b>33.4</b>	190 <b>10.6</b>
(2) 和牛以外の国産牛肉		1800 <b>100</b>	393 <b>21.8</b>	232 <b>12.9</b>	284 <b>15.8</b>	230 <b>12.8</b>
(3) アメリカ産牛肉		1800 <b>100</b>	661 <b>36.7</b>	121 <b>6.7</b>	125 <b>6.9</b>	610 <b>33.9</b>
(4) オーストラリア産牛肉		1800 <b>100</b>	591 <b>32.8</b>	89 <b>4.9</b>	112 <b>6.2</b>	502 <b>27.9</b>

Q14 あなたは、輸入牛肉と比べ、どのくらいの価格レベルまでなら、国産和牛肉を選びますか。あなたのお考えに最も近いものを1つだけお選びください。

度数横%		全 体	4倍を超える価格でも国産和牛肉を選ぶ	4倍高までなら国産和牛肉を選ぶ	3倍高までなら国産和牛肉を選ぶ	2倍高までなら国産和牛肉を選ぶ	8割高までなら国産和牛肉を選ぶ	5割高までなら国産和牛肉を選ぶ	2割高までなら国産和牛肉を選ぶ	同等の価格なら国産和牛肉を選ぶ	国産和牛肉へのこだわりはない
全 体		1800 100	54 3.0	24 1.3	99 5.5	221 12.3	49 2.7	124 6.9	348 19.3	354 19.7	527 29.3
地域	首都圏	900 100	21 2.3	13 1.4	51 5.7	106 11.8	29 3.2	52 5.8	156 17.3	187 20.8	285 31.7
	京阪神圏	900 100	33 3.7	11 1.2	48 5.3	115 12.8	20 2.2	72 8.0	192 21.3	167 18.6	242 26.9
年代	20代	300 100	10 3.3	10 3.3	22 7.3	34 11.3	11 3.7	14 4.7	36 12.0	41 13.7	122 40.7
	30代	300 100	6 2.0	2 0.7	12 4.0	29 9.7	8 2.7	18 6.0	44 14.7	76 25.3	105 35.0
	40代	300 100	6 2.0	6 2.0	12 4.0	23 7.7	7 2.3	19 6.3	70 23.3	63 21.0	94 31.3
	50代	300 100	9 3.0	2 0.7	10 3.3	33 11.0	5 1.7	20 6.7	69 23.0	65 21.7	87 29.0
	60代	300 100	10 3.3	1 0.3	17 5.7	49 16.3	7 2.3	24 8.0	56 18.7	64 21.3	72 24.0
	70代以上	300 100	13 4.3	3 1.0	26 8.7	53 17.7	11 3.7	29 9.7	73 24.3	45 15.0	47 15.7

Q15 あなたは、輸入牛肉と比べ、どのくらいの価格レベルまでなら、和牛以外の国産牛肉を選びますか。あなたのお考えに最も近いものを1つだけお選びください。

度数横%		全 体	2倍を超える価格でも和牛以外の国産牛肉を選ぶ	2倍高までなら和牛以外の国産牛肉を選ぶ	8割高までなら和牛以外の国産牛肉を選ぶ	6割高までなら和牛以外の国産牛肉を選ぶ	4割高までなら和牛以外の国産牛肉を選ぶ	2割高までなら和牛以外の国産牛肉を選ぶ	1割高までなら和牛以外の国産牛肉を選ぶ	同等の価格なら和牛以外の国産牛肉を選ぶ	国産へのこだわりはない
全 体		1800 100	74 4.1	92 5.1	37 2.1	82 4.6	115 6.4	292 16.2	195 10.8	386 21.4	527 29.3
地域	首都圏	900 100	31 3.4	41 4.6	17 1.9	42 4.7	50 5.6	134 14.9	101 11.2	201 22.3	283 31.4
	京阪神圏	900 100	43 4.8	51 5.7	20 2.2	40 4.4	65 7.2	158 17.6	94 10.4	185 20.6	244 27.1
年代	20代	300 100	14 4.7	16 5.3	9 3.0	26 8.7	17 5.7	30 10.0	26 8.7	43 14.3	119 39.7
	30代	300 100	8 2.7	9 3.0	5 1.7	12 4.0	19 6.3	42 14.0	26 8.7	77 25.7	102 34.0
	40代	300 100	9 3.0	9 3.0	10 3.3	7 2.3	20 6.7	45 15.0	34 11.3	74 24.7	92 30.7
	50代	300 100	10 3.3	16 5.3	4 1.3	11 3.7	15 5.0	51 17.0	31 10.3	72 24.0	90 30.0
	60代	300 100	11 3.7	19 6.3	3 1.0	15 5.0	19 6.3	58 19.3	31 10.3	65 21.7	79 26.3
	70代以上	300 100	22 7.3	23 7.7	6 2.0	11 3.7	25 8.3	66 22.0	47 15.7	55 18.3	45 15.0

Q16 あなたがスーパー・生協・食肉専門店などで、普段買っている「(和牛を含む)国産牛肉の価格帯(100gあたりの税込み価格)」をお知らせ下さい。

<Q6【1.牛肉】「ほぼ毎日」～「それ以下」回答者>

		度数 横%	全 体	99円以下	100～149 円	150～199 円	200～249 円	250～299 円	300～349 円	350～399 円	400～449 円	450～499 円
全 体			1565 100	20 1.3	78 5.0	90 5.8	127 8.1	120 7.7	115 7.3	88 5.6	72 4.6	62 4.0
地域	首都圏		763 100	11 1.4	39 5.1	48 6.3	58 7.6	53 6.9	63 8.3	39 5.1	30 3.9	28 3.7
	京阪神圏		802 100	9 1.1	39 4.9	42 5.2	69 8.6	67 8.4	52 6.5	49 6.1	42 5.2	34 4.2
年代	20代		241 100	1 0.4	20 8.3	19 7.9	26 10.8	28 11.6	13 5.4	11 4.6	3 1.2	5 2.1
	30代		261 100	8 3.1	14 5.4	17 6.5	23 8.8	23 8.8	22 8.4	10 3.8	12 4.6	6 2.3
	40代		253 100	6 2.4	17 6.7	14 5.5	23 9.1	22 8.7	13 5.1	14 5.5	10 4.0	9 3.6
	50代		256 100	4 1.6	11 4.3	12 4.7	24 9.4	23 9.0	26 10.2	16 6.3	10 3.9	12 4.7
	60代		268 100	1 0.4	12 4.5	20 7.5	17 6.3	11 4.1	25 9.3	18 6.7	19 7.1	18 6.7
	70代以上		286 100	0 0.0	4 1.4	8 2.8	14 4.9	13 4.5	16 5.6	19 6.6	18 6.3	12 4.2

		度数 横%	全 体	500～549 円	550～599 円	600～649 円	650～699 円	700～749 円	750～799 円	800～849 円	850～899 円	900～949 円
全 体			1565 100	69 4.4	39 2.5	37 2.4	20 1.3	27 1.7	8 0.5	32 2.0	16 1.0	11 0.7
地域	首都圏		763 100	39 5.1	18 2.4	14 1.8	8 1.0	14 1.8	3 0.4	9 1.2	7 0.9	2 0.3
	京阪神圏		802 100	30 3.7	21 2.6	23 2.9	12 1.5	13 1.6	5 0.6	23 2.9	9 1.1	9 1.1
年代	20代		241 100	8 3.3	4 1.7	3 1.2	2 0.8	5 2.1	0 0.0	1 0.4	2 0.8	3 1.2
	30代		261 100	6 2.3	3 1.1	4 1.5	1 0.4	4 1.5	0 0.0	4 1.5	4 1.5	2 0.8
	40代		253 100	10 4.0	4 1.6	8 3.2	0 0.0	3 1.2	2 0.8	3 1.2	3 1.2	1 0.4
	50代		256 100	14 5.5	7 2.7	2 0.8	2 0.8	3 1.2	2 0.8	4 1.6	1 0.4	1 0.4
	60代		268 100	12 4.5	10 3.7	11 4.1	7 2.6	2 0.7	1 0.4	7 2.6	0 0.0	0 0.0
	70代以上		286 100	19 6.6	11 3.8	9 3.1	8 2.8	10 3.5	3 1.0	13 4.5	6 2.1	4 1.4

		度数 横%	全 体	950～999 円	1000～ 1099円	1100～ 1199円	1200～ 1299円	1300～ 1399円	1400～ 1499円	1500円以上	購入価格を覚えていない (和牛を含む)国産牛肉は 購入していない
全 体			1565 100	16 1.0	33 2.1	7 0.4	15 1.0	1 0.1	1 0.1	4 0.3	457 29.2
地域	首都圏		763 100	6 0.8	14 1.8	2 0.3	7 0.9	0 0.0	0 0.0	2 0.3	249 32.6
	京阪神圏		802 100	10 1.2	19 2.4	5 0.6	8 1.0	1 0.1	1 0.1	2 0.2	208 25.9
年代	20代		241 100	5 2.1	2 0.8	2 0.8	6 2.5	0 0.0	0 0.0	1 0.4	71 29.5
	30代		261 100	0 0.0	6 2.3	0 0.0	0 0.0	1 0.4	0 0.0	1 0.4	90 34.5
	40代		253 100	3 1.2	3 1.2	2 0.8	2 0.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	81 32.0
	50代		256 100	2 0.8	5 2.0	0 0.0	3 1.2	0 0.0	0 0.0	1 0.4	71 27.7
	60代		268 100	1 0.4	6 2.2	1 0.4	2 0.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	67 25.0
	70代以上		286 100	5 1.7	11 3.8	2 0.7	2 0.7	0 0.0	1 0.3	1 0.3	77 26.9

Q17 牛肉について伺います。下記の原産地の牛肉を購入したいと思いますか。それぞれの事項について、あなたのお考えに最も近いものを1つお選びください。

【1. 国産和牛】

度数横%		全 体	割高でも 購入したい	他の産地と同程度の 価格ならば購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体		1800 <b>100</b>	505 <b>28.1</b>	459 <b>25.5</b>	543 <b>30.2</b>	55 <b>3.1</b>	238 <b>13.2</b>
地域	首都圏	900 <b>100</b>	226 <b>25.1</b>	226 <b>25.1</b>	287 <b>31.9</b>	33 <b>3.7</b>	128 <b>14.2</b>
	京阪神圏	900 <b>100</b>	279 <b>31.0</b>	233 <b>25.9</b>	256 <b>28.4</b>	22 <b>2.4</b>	110 <b>12.2</b>
年代	20代	300 <b>100</b>	64 <b>21.3</b>	71 <b>23.7</b>	90 <b>30.0</b>	10 <b>3.3</b>	65 <b>21.7</b>
	30代	300 <b>100</b>	69 <b>23.0</b>	80 <b>26.7</b>	94 <b>31.3</b>	7 <b>2.3</b>	50 <b>16.7</b>
	40代	300 <b>100</b>	66 <b>22.0</b>	82 <b>27.3</b>	92 <b>30.7</b>	11 <b>3.7</b>	49 <b>16.3</b>
	50代	300 <b>100</b>	82 <b>27.3</b>	75 <b>25.0</b>	104 <b>34.7</b>	9 <b>3.0</b>	30 <b>10.0</b>
	60代	300 <b>100</b>	96 <b>32.0</b>	68 <b>22.7</b>	96 <b>32.0</b>	14 <b>4.7</b>	26 <b>8.7</b>
	70代以上	300 <b>100</b>	128 <b>42.7</b>	83 <b>27.7</b>	67 <b>22.3</b>	4 <b>1.3</b>	18 <b>6.0</b>

【2. 和牛以外の国産牛肉】

度数横%		全 体	割高でも 購入したい	他の産地と同程度の 価格ならば購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体		1800 <b>100</b>	180 <b>10.0</b>	614 <b>34.1</b>	661 <b>36.7</b>	85 <b>4.7</b>	260 <b>14.4</b>
地域	首都圏	900 <b>100</b>	86 <b>9.6</b>	303 <b>33.7</b>	333 <b>37.0</b>	44 <b>4.9</b>	134 <b>14.9</b>
	京阪神圏	900 <b>100</b>	94 <b>10.4</b>	311 <b>34.6</b>	328 <b>36.4</b>	41 <b>4.6</b>	126 <b>14.0</b>
年代	20代	300 <b>100</b>	34 <b>11.3</b>	86 <b>28.7</b>	101 <b>33.7</b>	14 <b>4.7</b>	65 <b>21.7</b>
	30代	300 <b>100</b>	30 <b>10.0</b>	94 <b>31.3</b>	113 <b>37.7</b>	13 <b>4.3</b>	50 <b>16.7</b>
	40代	300 <b>100</b>	23 <b>7.7</b>	98 <b>32.7</b>	105 <b>35.0</b>	15 <b>5.0</b>	59 <b>19.7</b>
	50代	300 <b>100</b>	34 <b>11.3</b>	108 <b>36.0</b>	109 <b>36.3</b>	15 <b>5.0</b>	34 <b>11.3</b>
	60代	300 <b>100</b>	28 <b>9.3</b>	107 <b>35.7</b>	119 <b>39.7</b>	17 <b>5.7</b>	29 <b>9.7</b>
	70代以上	300 <b>100</b>	31 <b>10.3</b>	121 <b>40.3</b>	114 <b>38.0</b>	11 <b>3.7</b>	23 <b>7.7</b>

【3. アメリカ産牛肉】

度数横%		全 体	割高でも 購入したい	他の産地と同程度の 価格ならば購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体		1800 <b>100</b>	32 <b>1.8</b>	265 <b>14.7</b>	811 <b>45.1</b>	361 <b>20.1</b>	331 <b>18.4</b>
地域	首都圏	900 <b>100</b>	19 <b>2.1</b>	159 <b>17.7</b>	408 <b>45.3</b>	157 <b>17.4</b>	157 <b>17.4</b>
	京阪神圏	900 <b>100</b>	13 <b>1.4</b>	106 <b>11.8</b>	403 <b>44.8</b>	204 <b>22.7</b>	174 <b>19.3</b>
年代	20代	300 <b>100</b>	14 <b>4.7</b>	48 <b>16.0</b>	120 <b>40.0</b>	42 <b>14.0</b>	76 <b>25.3</b>
	30代	300 <b>100</b>	9 <b>3.0</b>	54 <b>18.0</b>	132 <b>44.0</b>	38 <b>12.7</b>	67 <b>22.3</b>
	40代	300 <b>100</b>	1 <b>0.3</b>	51 <b>17.0</b>	129 <b>43.0</b>	52 <b>17.3</b>	67 <b>22.3</b>
	50代	300 <b>100</b>	2 <b>0.7</b>	44 <b>14.7</b>	149 <b>49.7</b>	64 <b>21.3</b>	41 <b>13.7</b>
	60代	300 <b>100</b>	3 <b>1.0</b>	36 <b>12.0</b>	149 <b>49.7</b>	70 <b>23.3</b>	42 <b>14.0</b>
	70代以上	300 <b>100</b>	3 <b>1.0</b>	32 <b>10.7</b>	132 <b>44.0</b>	95 <b>31.7</b>	38 <b>12.7</b>

【4. オーストラリア産牛肉】

度数横%		全 体	割高でも 購入したい	他の産地と同程度の 価格ならば購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体		1800 <b>100</b>	26 <b>1.4</b>	275 <b>15.3</b>	868 <b>48.2</b>	303 <b>16.8</b>	328 <b>18.2</b>
地域	首都圏	900 <b>100</b>	14 <b>1.6</b>	158 <b>17.6</b>	438 <b>48.7</b>	133 <b>14.8</b>	157 <b>17.4</b>
	京阪神圏	900 <b>100</b>	12 <b>1.3</b>	117 <b>13.0</b>	430 <b>47.8</b>	170 <b>18.9</b>	171 <b>19.0</b>
年代	20代	300 <b>100</b>	7 <b>2.3</b>	57 <b>19.0</b>	127 <b>42.3</b>	32 <b>10.7</b>	77 <b>25.7</b>
	30代	300 <b>100</b>	6 <b>2.0</b>	55 <b>18.3</b>	137 <b>45.7</b>	34 <b>11.3</b>	68 <b>22.7</b>
	40代	300 <b>100</b>	4 <b>1.3</b>	53 <b>17.7</b>	128 <b>42.7</b>	48 <b>16.0</b>	67 <b>22.3</b>
	50代	300 <b>100</b>	3 <b>1.0</b>	43 <b>14.3</b>	157 <b>52.3</b>	55 <b>18.3</b>	42 <b>14.0</b>
	60代	300 <b>100</b>	4 <b>1.3</b>	36 <b>12.0</b>	165 <b>55.0</b>	55 <b>18.3</b>	40 <b>13.3</b>
	70代以上	300 <b>100</b>	2 <b>0.7</b>	31 <b>10.3</b>	154 <b>51.3</b>	79 <b>26.3</b>	34 <b>11.3</b>

【5. カナダ産牛肉】

度数横%		全 体	割高でも 購入したい	他の産地と同程度の 価格ならば購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体		1800 <b>100</b>	26 <b>1.4</b>	216 <b>12.0</b>	770 <b>42.8</b>	352 <b>19.6</b>	436 <b>24.2</b>
地域	首都圏	900 <b>100</b>	17 <b>1.9</b>	127 <b>14.1</b>	403 <b>44.8</b>	140 <b>15.6</b>	213 <b>23.7</b>
	京阪神圏	900 <b>100</b>	9 <b>1.0</b>	89 <b>9.9</b>	367 <b>40.8</b>	212 <b>23.6</b>	223 <b>24.8</b>
年代	20代	300 <b>100</b>	10 <b>3.3</b>	50 <b>16.7</b>	112 <b>37.3</b>	48 <b>16.0</b>	80 <b>26.7</b>
	30代	300 <b>100</b>	5 <b>1.7</b>	47 <b>15.7</b>	123 <b>41.0</b>	42 <b>14.0</b>	83 <b>27.7</b>
	40代	300 <b>100</b>	3 <b>1.0</b>	41 <b>13.7</b>	119 <b>39.7</b>	55 <b>18.3</b>	82 <b>27.3</b>
	50代	300 <b>100</b>	3 <b>1.0</b>	31 <b>10.3</b>	139 <b>46.3</b>	61 <b>20.3</b>	66 <b>22.0</b>
	60代	300 <b>100</b>	3 <b>1.0</b>	28 <b>9.3</b>	148 <b>49.3</b>	62 <b>20.7</b>	59 <b>19.7</b>
	70代以上	300 <b>100</b>	2 <b>0.7</b>	19 <b>6.3</b>	129 <b>43.0</b>	84 <b>28.0</b>	66 <b>22.0</b>

【6. ニュージーランド産牛肉】

度数横%		全 体	割高でも 購入したい	他の産地と同程度の 価格ならば購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体		1800 <b>100</b>	31 <b>1.7</b>	217 <b>12.1</b>	779 <b>43.3</b>	345 <b>19.2</b>	428 <b>23.8</b>
地域	首都圏	900 <b>100</b>	20 <b>2.2</b>	128 <b>14.2</b>	400 <b>44.4</b>	142 <b>15.8</b>	210 <b>23.3</b>
	京阪神圏	900 <b>100</b>	11 <b>1.2</b>	89 <b>9.9</b>	379 <b>42.1</b>	203 <b>22.6</b>	218 <b>24.2</b>
年代	20代	300 <b>100</b>	10 <b>3.3</b>	51 <b>17.0</b>	115 <b>38.3</b>	45 <b>15.0</b>	79 <b>26.3</b>
	30代	300 <b>100</b>	8 <b>2.7</b>	44 <b>14.7</b>	129 <b>43.0</b>	36 <b>12.0</b>	83 <b>27.7</b>
	40代	300 <b>100</b>	4 <b>1.3</b>	38 <b>12.7</b>	119 <b>39.7</b>	57 <b>19.0</b>	82 <b>27.3</b>
	50代	300 <b>100</b>	4 <b>1.3</b>	32 <b>10.7</b>	133 <b>44.3</b>	65 <b>21.7</b>	66 <b>22.0</b>
	60代	300 <b>100</b>	3 <b>1.0</b>	30 <b>10.0</b>	153 <b>51.0</b>	62 <b>20.7</b>	52 <b>17.3</b>
	70代以上	300 <b>100</b>	2 <b>0.7</b>	22 <b>7.3</b>	130 <b>43.3</b>	80 <b>26.7</b>	66 <b>22.0</b>



【7. メキシコ産牛肉】

度数 横%		全 体	割高でも 購入したい	他の産地と同程度の 価格ならば購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体		1800 <b>100</b>	23 <b>1.3</b>	145 <b>8.1</b>	510 <b>28.3</b>	587 <b>32.6</b>	535 <b>29.7</b>
地域	首都圏	900 <b>100</b>	15 <b>1.7</b>	87 <b>9.7</b>	270 <b>30.0</b>	263 <b>29.2</b>	265 <b>29.4</b>
	京阪神圏	900 <b>100</b>	8 <b>0.9</b>	58 <b>6.4</b>	240 <b>26.7</b>	324 <b>36.0</b>	270 <b>30.0</b>
年代	20代	300 <b>100</b>	8 <b>2.7</b>	40 <b>13.3</b>	100 <b>33.3</b>	63 <b>21.0</b>	89 <b>29.7</b>
	30代	300 <b>100</b>	7 <b>2.3</b>	31 <b>10.3</b>	85 <b>28.3</b>	78 <b>26.0</b>	99 <b>33.0</b>
	40代	300 <b>100</b>	1 <b>0.3</b>	31 <b>10.3</b>	86 <b>28.7</b>	94 <b>31.3</b>	88 <b>29.3</b>
	50代	300 <b>100</b>	3 <b>1.0</b>	10 <b>3.3</b>	83 <b>27.7</b>	112 <b>37.3</b>	92 <b>30.7</b>
	60代	300 <b>100</b>	2 <b>0.7</b>	19 <b>6.3</b>	86 <b>28.7</b>	114 <b>38.0</b>	79 <b>26.3</b>
	70代以上	300 <b>100</b>	2 <b>0.7</b>	14 <b>4.7</b>	70 <b>23.3</b>	126 <b>42.0</b>	88 <b>29.3</b>

【8. ウルグアイ産牛肉】

度数 横%		全 体	割高でも 購入したい	他の産地と同程度の 価格ならば購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体		1800 <b>100</b>	20 <b>1.1</b>	149 <b>8.3</b>	484 <b>26.9</b>	596 <b>33.1</b>	551 <b>30.6</b>
地域	首都圏	900 <b>100</b>	14 <b>1.6</b>	88 <b>9.8</b>	255 <b>28.3</b>	272 <b>30.2</b>	271 <b>30.1</b>
	京阪神圏	900 <b>100</b>	6 <b>0.7</b>	61 <b>6.8</b>	229 <b>25.4</b>	324 <b>36.0</b>	280 <b>31.1</b>
年代	20代	300 <b>100</b>	9 <b>3.0</b>	46 <b>15.3</b>	86 <b>28.7</b>	68 <b>22.7</b>	91 <b>30.3</b>
	30代	300 <b>100</b>	4 <b>1.3</b>	29 <b>9.7</b>	87 <b>29.0</b>	74 <b>24.7</b>	106 <b>35.3</b>
	40代	300 <b>100</b>	1 <b>0.3</b>	29 <b>9.7</b>	80 <b>26.7</b>	97 <b>32.3</b>	93 <b>31.0</b>
	50代	300 <b>100</b>	2 <b>0.7</b>	11 <b>3.7</b>	81 <b>27.0</b>	115 <b>38.3</b>	91 <b>30.3</b>
	60代	300 <b>100</b>	2 <b>0.7</b>	20 <b>6.7</b>	84 <b>28.0</b>	113 <b>37.7</b>	81 <b>27.0</b>
	70代以上	300 <b>100</b>	2 <b>0.7</b>	14 <b>4.7</b>	66 <b>22.0</b>	129 <b>43.0</b>	89 <b>29.7</b>

【9. アルゼンチン産牛肉】

度数 横%		全 体	割高でも 購入したい	他の産地と同程度の 価格ならば購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体		1800 <b>100</b>	30 <b>1.7</b>	151 <b>8.4</b>	493 <b>27.4</b>	566 <b>31.4</b>	560 <b>31.1</b>
地域	首都圏	900 <b>100</b>	18 <b>2.0</b>	94 <b>10.4</b>	258 <b>28.7</b>	253 <b>28.1</b>	277 <b>30.8</b>
	京阪神圏	900 <b>100</b>	12 <b>1.3</b>	57 <b>6.3</b>	235 <b>26.1</b>	313 <b>34.8</b>	283 <b>31.4</b>
年代	20代	300 <b>100</b>	15 <b>5.0</b>	44 <b>14.7</b>	87 <b>29.0</b>	61 <b>20.3</b>	93 <b>31.0</b>
	30代	300 <b>100</b>	6 <b>2.0</b>	29 <b>9.7</b>	84 <b>28.0</b>	75 <b>25.0</b>	106 <b>35.3</b>
	40代	300 <b>100</b>	2 <b>0.7</b>	27 <b>9.0</b>	81 <b>27.0</b>	95 <b>31.7</b>	95 <b>31.7</b>
	50代	300 <b>100</b>	2 <b>0.7</b>	14 <b>4.7</b>	81 <b>27.0</b>	111 <b>37.0</b>	92 <b>30.7</b>
	60代	300 <b>100</b>	3 <b>1.0</b>	21 <b>7.0</b>	86 <b>28.7</b>	105 <b>35.0</b>	85 <b>28.3</b>
	70代以上	300 <b>100</b>	2 <b>0.7</b>	16 <b>5.3</b>	74 <b>24.7</b>	119 <b>39.7</b>	89 <b>29.7</b>

Q18 豚肉について伺います。下記の原産地の豚肉を購入したいと思いますか。それぞれの事項について、あなたのお考えに最も近いものを1つだけお選びください。

【1. 国産豚肉】

度数 横%		全 体	割高でも 購入したい	他の産地と同程度の 価格ならば購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体		1800 <b>100</b>	495 <b>27.5</b>	573 <b>31.8</b>	471 <b>26.2</b>	45 <b>2.5</b>	216 <b>12.0</b>
地域	首都圏	900 <b>100</b>	238 <b>26.4</b>	293 <b>32.6</b>	243 <b>27.0</b>	17 <b>1.9</b>	109 <b>12.1</b>
	京阪神圏	900 <b>100</b>	257 <b>28.6</b>	280 <b>31.1</b>	228 <b>25.3</b>	28 <b>3.1</b>	107 <b>11.9</b>
年代	20代	300 <b>100</b>	64 <b>21.3</b>	75 <b>25.0</b>	94 <b>31.3</b>	13 <b>4.3</b>	54 <b>18.0</b>
	30代	300 <b>100</b>	70 <b>23.3</b>	91 <b>30.3</b>	83 <b>27.7</b>	8 <b>2.7</b>	48 <b>16.0</b>
	40代	300 <b>100</b>	67 <b>22.3</b>	100 <b>33.3</b>	88 <b>29.3</b>	3 <b>1.0</b>	42 <b>14.0</b>
	50代	300 <b>100</b>	91 <b>30.3</b>	91 <b>30.3</b>	83 <b>27.7</b>	10 <b>3.3</b>	25 <b>8.3</b>
	60代	300 <b>100</b>	88 <b>29.3</b>	103 <b>34.3</b>	74 <b>24.7</b>	6 <b>2.0</b>	29 <b>9.7</b>
	70代以上	300 <b>100</b>	115 <b>38.3</b>	113 <b>37.7</b>	49 <b>16.3</b>	5 <b>1.7</b>	18 <b>6.0</b>

【2. アメリカ産豚肉】

度数 横%		全 体	割高でも 購入したい	他の産地と同程度の 価格ならば購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体		1800 <b>100</b>	30 <b>1.7</b>	303 <b>16.8</b>	747 <b>41.5</b>	376 <b>20.9</b>	344 <b>19.1</b>
地域	首都圏	900 <b>100</b>	17 <b>1.9</b>	172 <b>19.1</b>	382 <b>42.4</b>	163 <b>18.1</b>	166 <b>18.4</b>
	京阪神圏	900 <b>100</b>	13 <b>1.4</b>	131 <b>14.6</b>	365 <b>40.6</b>	213 <b>23.7</b>	178 <b>19.8</b>
年代	20代	300 <b>100</b>	9 <b>3.0</b>	63 <b>21.0</b>	117 <b>39.0</b>	40 <b>13.3</b>	71 <b>23.7</b>
	30代	300 <b>100</b>	8 <b>2.7</b>	49 <b>16.3</b>	136 <b>45.3</b>	43 <b>14.3</b>	64 <b>21.3</b>
	40代	300 <b>100</b>	4 <b>1.3</b>	61 <b>20.3</b>	110 <b>36.7</b>	58 <b>19.3</b>	67 <b>22.3</b>
	50代	300 <b>100</b>	5 <b>1.7</b>	41 <b>13.7</b>	136 <b>45.3</b>	71 <b>23.7</b>	47 <b>15.7</b>
	60代	300 <b>100</b>	1 <b>0.3</b>	49 <b>16.3</b>	130 <b>43.3</b>	67 <b>22.3</b>	53 <b>17.7</b>
	70代以上	300 <b>100</b>	3 <b>1.0</b>	40 <b>13.3</b>	118 <b>39.3</b>	97 <b>32.3</b>	42 <b>14.0</b>

【3. カナダ産豚肉】

度数 横%		全 体	割高でも 購入したい	他の産地と同程度の 価格ならば購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体		1800 <b>100</b>	21 <b>1.2</b>	276 <b>15.3</b>	743 <b>41.3</b>	365 <b>20.3</b>	395 <b>21.9</b>
地域	首都圏	900 <b>100</b>	12 <b>1.3</b>	160 <b>17.8</b>	389 <b>43.2</b>	148 <b>16.4</b>	191 <b>21.2</b>
	京阪神圏	900 <b>100</b>	9 <b>1.0</b>	116 <b>12.9</b>	354 <b>39.3</b>	217 <b>24.1</b>	204 <b>22.7</b>
年代	20代	300 <b>100</b>	7 <b>2.3</b>	54 <b>18.0</b>	123 <b>41.0</b>	38 <b>12.7</b>	78 <b>26.0</b>
	30代	300 <b>100</b>	9 <b>3.0</b>	43 <b>14.3</b>	133 <b>44.3</b>	40 <b>13.3</b>	75 <b>25.0</b>
	40代	300 <b>100</b>	1 <b>0.3</b>	55 <b>18.3</b>	107 <b>35.7</b>	65 <b>21.7</b>	72 <b>24.0</b>
	50代	300 <b>100</b>	2 <b>0.7</b>	42 <b>14.0</b>	129 <b>43.0</b>	69 <b>23.0</b>	58 <b>19.3</b>
	60代	300 <b>100</b>	0 <b>0.0</b>	45 <b>15.0</b>	136 <b>45.3</b>	59 <b>19.7</b>	60 <b>20.0</b>
	70代以上	300 <b>100</b>	2 <b>0.7</b>	37 <b>12.3</b>	115 <b>38.3</b>	94 <b>31.3</b>	52 <b>17.3</b>

【4. スペイン産豚肉】

度数 横%		全 体	割高でも 購入したい	他の産地と同程度の 価格ならば購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体		1800 <b>100</b>	28 <b>1.6</b>	241 <b>13.4</b>	637 <b>35.4</b>	453 <b>25.2</b>	441 <b>24.5</b>
地域	首都圏	900 <b>100</b>	17 <b>1.9</b>	137 <b>15.2</b>	340 <b>37.8</b>	188 <b>20.9</b>	218 <b>24.2</b>
	京阪神圏	900 <b>100</b>	11 <b>1.2</b>	104 <b>11.6</b>	297 <b>33.0</b>	265 <b>29.4</b>	223 <b>24.8</b>
年代	20代	300 <b>100</b>	12 <b>4.0</b>	42 <b>14.0</b>	106 <b>35.3</b>	58 <b>19.3</b>	82 <b>27.3</b>
	30代	300 <b>100</b>	6 <b>2.0</b>	39 <b>13.0</b>	121 <b>40.3</b>	48 <b>16.0</b>	86 <b>28.7</b>
	40代	300 <b>100</b>	3 <b>1.0</b>	47 <b>15.7</b>	101 <b>33.7</b>	68 <b>22.7</b>	81 <b>27.0</b>
	50代	300 <b>100</b>	3 <b>1.0</b>	40 <b>13.3</b>	105 <b>35.0</b>	90 <b>30.0</b>	62 <b>20.7</b>
	60代	300 <b>100</b>	1 <b>0.3</b>	43 <b>14.3</b>	109 <b>36.3</b>	82 <b>27.3</b>	65 <b>21.7</b>
	70代以上	300 <b>100</b>	3 <b>1.0</b>	30 <b>10.0</b>	95 <b>31.7</b>	107 <b>35.7</b>	65 <b>21.7</b>

【5. メキシコ産豚肉】

度数 横%		全 体	割高でも 購入したい	他の産地と同程度の 価格ならば購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体		1800 <b>100</b>	15 <b>0.8</b>	179 <b>9.9</b>	527 <b>29.3</b>	580 <b>32.2</b>	499 <b>27.7</b>
地域	首都圏	900 <b>100</b>	10 <b>1.1</b>	108 <b>12.0</b>	283 <b>31.4</b>	259 <b>28.8</b>	240 <b>26.7</b>
	京阪神圏	900 <b>100</b>	5 <b>0.6</b>	71 <b>7.9</b>	244 <b>27.1</b>	321 <b>35.7</b>	259 <b>28.8</b>
年代	20代	300 <b>100</b>	6 <b>2.0</b>	48 <b>16.0</b>	99 <b>33.0</b>	57 <b>19.0</b>	90 <b>30.0</b>
	30代	300 <b>100</b>	4 <b>1.3</b>	31 <b>10.3</b>	93 <b>31.0</b>	76 <b>25.3</b>	96 <b>32.0</b>
	40代	300 <b>100</b>	1 <b>0.3</b>	42 <b>14.0</b>	83 <b>27.7</b>	89 <b>29.7</b>	85 <b>28.3</b>
	50代	300 <b>100</b>	2 <b>0.7</b>	15 <b>5.0</b>	91 <b>30.3</b>	117 <b>39.0</b>	75 <b>25.0</b>
	60代	300 <b>100</b>	0 <b>0.0</b>	27 <b>9.0</b>	89 <b>29.7</b>	105 <b>35.0</b>	79 <b>26.3</b>
	70代以上	300 <b>100</b>	2 <b>0.7</b>	16 <b>5.3</b>	72 <b>24.0</b>	136 <b>45.3</b>	74 <b>24.7</b>

【6. チリ産豚肉】

度数 横%		全 体	割高でも 購入したい	他の産地と同程度の 価格ならば購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体		1800 <b>100</b>	15 <b>0.8</b>	174 <b>9.7</b>	497 <b>27.6</b>	598 <b>33.2</b>	516 <b>28.7</b>
地域	首都圏	900 <b>100</b>	10 <b>1.1</b>	108 <b>12.0</b>	271 <b>30.1</b>	263 <b>29.2</b>	248 <b>27.6</b>
	京阪神圏	900 <b>100</b>	5 <b>0.6</b>	66 <b>7.3</b>	226 <b>25.1</b>	335 <b>37.2</b>	268 <b>29.8</b>
年代	20代	300 <b>100</b>	5 <b>1.7</b>	51 <b>17.0</b>	89 <b>29.7</b>	67 <b>22.3</b>	88 <b>29.3</b>
	30代	300 <b>100</b>	5 <b>1.7</b>	27 <b>9.0</b>	84 <b>28.0</b>	82 <b>27.3</b>	102 <b>34.0</b>
	40代	300 <b>100</b>	1 <b>0.3</b>	36 <b>12.0</b>	82 <b>27.3</b>	91 <b>30.3</b>	90 <b>30.0</b>
	50代	300 <b>100</b>	2 <b>0.7</b>	14 <b>4.7</b>	91 <b>30.3</b>	117 <b>39.0</b>	76 <b>25.3</b>
	60代	300 <b>100</b>	0 <b>0.0</b>	30 <b>10.0</b>	82 <b>27.3</b>	105 <b>35.0</b>	83 <b>27.7</b>
	70代以上	300 <b>100</b>	2 <b>0.7</b>	16 <b>5.3</b>	69 <b>23.0</b>	136 <b>45.3</b>	77 <b>25.7</b>

【7. デンマーク産豚肉】

		度数 横%						
			全 体	割高でも 購入したい	他の産地と同程度の 価格ならば購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体		1800	20	205	556	506	513	
		<b>100</b>	<b>1.1</b>	<b>11.4</b>	<b>30.9</b>	<b>28.1</b>	<b>28.5</b>	
地域	首都圏	900	12	125	301	217	245	
		<b>100</b>	<b>1.3</b>	<b>13.9</b>	<b>33.4</b>	<b>24.1</b>	<b>27.2</b>	
	京阪神圏	900	8	80	255	289	268	
		<b>100</b>	<b>0.9</b>	<b>8.9</b>	<b>28.3</b>	<b>32.1</b>	<b>29.8</b>	
年代	20代	300	8	51	92	58	91	
		<b>100</b>	<b>2.7</b>	<b>17.0</b>	<b>30.7</b>	<b>19.3</b>	<b>30.3</b>	
	30代	300	4	33	97	67	99	
		<b>100</b>	<b>1.3</b>	<b>11.0</b>	<b>32.3</b>	<b>22.3</b>	<b>33.0</b>	
	40代	300	4	36	84	87	89	
		<b>100</b>	<b>1.3</b>	<b>12.0</b>	<b>28.0</b>	<b>29.0</b>	<b>29.7</b>	
	50代	300	2	26	98	99	75	
	<b>100</b>	<b>0.7</b>	<b>8.7</b>	<b>32.7</b>	<b>33.0</b>	<b>25.0</b>		
	60代	300	0	35	98	87	80	
		<b>100</b>	<b>0.0</b>	<b>11.7</b>	<b>32.7</b>	<b>29.0</b>	<b>26.7</b>	
	70代以上	300	2	24	87	108	79	
		<b>100</b>	<b>0.7</b>	<b>8.0</b>	<b>29.0</b>	<b>36.0</b>	<b>26.3</b>	

Q19 鶏肉について伺います。下記の原産地の鶏肉を購入したいと思いますか。それぞれの事項について、あなたのお考えに最も近いものを1つだけお選びください。

【1. 国産鶏肉】

度数横%		全 体	割高でも 購入したい	他の産地と同程度の 価格ならば購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体		1800 <b>100</b>	539 <b>29.9</b>	544 <b>30.2</b>	452 <b>25.1</b>	57 <b>3.2</b>	208 <b>11.6</b>
地域	首都圏	900 <b>100</b>	257 <b>28.6</b>	284 <b>31.6</b>	230 <b>25.6</b>	24 <b>2.7</b>	105 <b>11.7</b>
	京阪神圏	900 <b>100</b>	282 <b>31.3</b>	260 <b>28.9</b>	222 <b>24.7</b>	33 <b>3.7</b>	103 <b>11.4</b>
年代	20代	300 <b>100</b>	69 <b>23.0</b>	74 <b>24.7</b>	93 <b>31.0</b>	10 <b>3.3</b>	54 <b>18.0</b>
	30代	300 <b>100</b>	69 <b>23.0</b>	88 <b>29.3</b>	85 <b>28.3</b>	12 <b>4.0</b>	46 <b>15.3</b>
	40代	300 <b>100</b>	77 <b>25.7</b>	91 <b>30.3</b>	85 <b>28.3</b>	7 <b>2.3</b>	40 <b>13.3</b>
	50代	300 <b>100</b>	102 <b>34.0</b>	92 <b>30.7</b>	75 <b>25.0</b>	5 <b>1.7</b>	26 <b>8.7</b>
	60代	300 <b>100</b>	99 <b>33.0</b>	91 <b>30.3</b>	71 <b>23.7</b>	12 <b>4.0</b>	27 <b>9.0</b>
	70代以上	300 <b>100</b>	123 <b>41.0</b>	108 <b>36.0</b>	43 <b>14.3</b>	11 <b>3.7</b>	15 <b>5.0</b>

【2. アメリカ産鶏肉】

度数横%		全 体	割高でも 購入したい	他の産地と同程度の 価格ならば購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体		1800 <b>100</b>	22 <b>1.2</b>	251 <b>13.9</b>	643 <b>35.7</b>	498 <b>27.7</b>	386 <b>21.4</b>
地域	首都圏	900 <b>100</b>	13 <b>1.4</b>	137 <b>15.2</b>	337 <b>37.4</b>	226 <b>25.1</b>	187 <b>20.8</b>
	京阪神圏	900 <b>100</b>	9 <b>1.0</b>	114 <b>12.7</b>	306 <b>34.0</b>	272 <b>30.2</b>	199 <b>22.1</b>
年代	20代	300 <b>100</b>	8 <b>2.7</b>	61 <b>20.3</b>	106 <b>35.3</b>	47 <b>15.7</b>	78 <b>26.0</b>
	30代	300 <b>100</b>	6 <b>2.0</b>	38 <b>12.7</b>	119 <b>39.7</b>	67 <b>22.3</b>	70 <b>23.3</b>
	40代	300 <b>100</b>	3 <b>1.0</b>	47 <b>15.7</b>	100 <b>33.3</b>	82 <b>27.3</b>	68 <b>22.7</b>
	50代	300 <b>100</b>	3 <b>1.0</b>	32 <b>10.7</b>	116 <b>38.7</b>	89 <b>29.7</b>	60 <b>20.0</b>
	60代	300 <b>100</b>	0 <b>0.0</b>	41 <b>13.7</b>	111 <b>37.0</b>	91 <b>30.3</b>	57 <b>19.0</b>
	70代以上	300 <b>100</b>	2 <b>0.7</b>	32 <b>10.7</b>	91 <b>30.3</b>	122 <b>40.7</b>	53 <b>17.7</b>

【3. ブラジル産鶏肉】

度数横%		全 体	割高でも 購入したい	他の産地と同程度の 価格ならば購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体		1800 <b>100</b>	23 <b>1.3</b>	171 <b>9.5</b>	597 <b>33.2</b>	614 <b>34.1</b>	395 <b>21.9</b>
地域	首都圏	900 <b>100</b>	13 <b>1.4</b>	100 <b>11.1</b>	318 <b>35.3</b>	285 <b>31.7</b>	184 <b>20.4</b>
	京阪神圏	900 <b>100</b>	10 <b>1.1</b>	71 <b>7.9</b>	279 <b>31.0</b>	329 <b>36.6</b>	211 <b>23.4</b>
年代	20代	300 <b>100</b>	12 <b>4.0</b>	44 <b>14.7</b>	97 <b>32.3</b>	65 <b>21.7</b>	82 <b>27.3</b>
	30代	300 <b>100</b>	3 <b>1.0</b>	23 <b>7.7</b>	116 <b>38.7</b>	92 <b>30.7</b>	66 <b>22.0</b>
	40代	300 <b>100</b>	3 <b>1.0</b>	34 <b>11.3</b>	89 <b>29.7</b>	100 <b>33.3</b>	74 <b>24.7</b>
	50代	300 <b>100</b>	2 <b>0.7</b>	22 <b>7.3</b>	104 <b>34.7</b>	113 <b>37.7</b>	59 <b>19.7</b>
	60代	300 <b>100</b>	0 <b>0.0</b>	29 <b>9.7</b>	107 <b>35.7</b>	105 <b>35.0</b>	59 <b>19.7</b>
	70代以上	300 <b>100</b>	3 <b>1.0</b>	19 <b>6.3</b>	84 <b>28.0</b>	139 <b>46.3</b>	55 <b>18.3</b>

【4. タイ産鶏肉】

		度数 横%	全 体	割高でも 購入したい	他の産地と同程度の 価格ならば購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体			1800 <b>100</b>	22 <b>1.2</b>	154 <b>8.6</b>	534 <b>29.7</b>	647 <b>35.9</b>	443 <b>24.6</b>
地域	首都圏		900 <b>100</b>	11 <b>1.2</b>	95 <b>10.6</b>	286 <b>31.8</b>	299 <b>33.2</b>	209 <b>23.2</b>
	京阪神圏		900 <b>100</b>	11 <b>1.2</b>	59 <b>6.6</b>	248 <b>27.6</b>	348 <b>38.7</b>	234 <b>26.0</b>
年代	20代		300 <b>100</b>	13 <b>4.3</b>	38 <b>12.7</b>	92 <b>30.7</b>	71 <b>23.7</b>	86 <b>28.7</b>
	30代		300 <b>100</b>	3 <b>1.0</b>	27 <b>9.0</b>	93 <b>31.0</b>	100 <b>33.3</b>	77 <b>25.7</b>
	40代		300 <b>100</b>	2 <b>0.7</b>	33 <b>11.0</b>	82 <b>27.3</b>	100 <b>33.3</b>	83 <b>27.7</b>
	50代		300 <b>100</b>	2 <b>0.7</b>	15 <b>5.0</b>	97 <b>32.3</b>	118 <b>39.3</b>	68 <b>22.7</b>
	60代		300 <b>100</b>	0 <b>0.0</b>	23 <b>7.7</b>	95 <b>31.7</b>	114 <b>38.0</b>	68 <b>22.7</b>
	70代以上		300 <b>100</b>	2 <b>0.7</b>	18 <b>6.0</b>	75 <b>25.0</b>	144 <b>48.0</b>	61 <b>20.3</b>

Q20 あなたは下記の各食品の安全性について不安を感じますか。それぞれの事項について、あなたのお考えに最も近いものを1つお選びください。

【1. 米】

		度数 横%	全 体	不安を感じる	どちらかといえば 不安を感じる	どちらとも いえない	どちらかといえば 不安を感じない	不安を感じない
全 体			1800 <b>100</b>	63 <b>3.5</b>	124 <b>6.9</b>	498 <b>27.7</b>	434 <b>24.1</b>	681 <b>37.8</b>
地域	首都圏		900 <b>100</b>	36 <b>4.0</b>	59 <b>6.6</b>	248 <b>27.6</b>	209 <b>23.2</b>	348 <b>38.7</b>
	京阪神圏		900 <b>100</b>	27 <b>3.0</b>	65 <b>7.2</b>	250 <b>27.8</b>	225 <b>25.0</b>	333 <b>37.0</b>
年代	20代		300 <b>100</b>	24 <b>8.0</b>	26 <b>8.7</b>	98 <b>32.7</b>	46 <b>15.3</b>	106 <b>35.3</b>
	30代		300 <b>100</b>	13 <b>4.3</b>	20 <b>6.7</b>	96 <b>32.0</b>	63 <b>21.0</b>	108 <b>36.0</b>
	40代		300 <b>100</b>	8 <b>2.7</b>	23 <b>7.7</b>	114 <b>38.0</b>	61 <b>20.3</b>	94 <b>31.3</b>
	50代		300 <b>100</b>	6 <b>2.0</b>	20 <b>6.7</b>	76 <b>25.3</b>	75 <b>25.0</b>	123 <b>41.0</b>
	60代		300 <b>100</b>	7 <b>2.3</b>	17 <b>5.7</b>	72 <b>24.0</b>	103 <b>34.3</b>	101 <b>33.7</b>
	70代以上		300 <b>100</b>	5 <b>1.7</b>	18 <b>6.0</b>	42 <b>14.0</b>	86 <b>28.7</b>	149 <b>49.7</b>

【2. パン】

		度数 横%	全 体	不安を感じる	どちらかといえば 不安を感じる	どちらとも いえない	どちらかといえば 不安を感じない	不安を感じない
全 体			1800 <b>100</b>	74 <b>4.1</b>	192 <b>10.7</b>	571 <b>31.7</b>	428 <b>23.8</b>	535 <b>29.7</b>
地域	首都圏		900 <b>100</b>	39 <b>4.3</b>	91 <b>10.1</b>	288 <b>32.0</b>	207 <b>23.0</b>	275 <b>30.6</b>
	京阪神圏		900 <b>100</b>	35 <b>3.9</b>	101 <b>11.2</b>	283 <b>31.4</b>	221 <b>24.6</b>	260 <b>28.9</b>
年代	20代		300 <b>100</b>	13 <b>4.3</b>	36 <b>12.0</b>	108 <b>36.0</b>	48 <b>16.0</b>	95 <b>31.7</b>
	30代		300 <b>100</b>	12 <b>4.0</b>	33 <b>11.0</b>	102 <b>34.0</b>	61 <b>20.3</b>	92 <b>30.7</b>
	40代		300 <b>100</b>	14 <b>4.7</b>	34 <b>11.3</b>	115 <b>38.3</b>	61 <b>20.3</b>	76 <b>25.3</b>
	50代		300 <b>100</b>	18 <b>6.0</b>	31 <b>10.3</b>	92 <b>30.7</b>	71 <b>23.7</b>	88 <b>29.3</b>
	60代		300 <b>100</b>	9 <b>3.0</b>	31 <b>10.3</b>	95 <b>31.7</b>	90 <b>30.0</b>	75 <b>25.0</b>
	70代以上		300 <b>100</b>	8 <b>2.7</b>	27 <b>9.0</b>	59 <b>19.7</b>	97 <b>32.3</b>	109 <b>36.3</b>

【3. 野菜】

		度数 横%	全 体	不安を感じる	どちらかといえば 不安を感じる	どちらとも いえない	どちらかといえば 不安を感じない	不安を感じない
全 体			1800 <b>100</b>	58 <b>3.2</b>	178 <b>9.9</b>	624 <b>34.7</b>	455 <b>25.3</b>	485 <b>26.9</b>
地域	首都圏		900 <b>100</b>	32 <b>3.6</b>	83 <b>9.2</b>	316 <b>35.1</b>	228 <b>25.3</b>	241 <b>26.8</b>
	京阪神圏		900 <b>100</b>	26 <b>2.9</b>	95 <b>10.6</b>	308 <b>34.2</b>	227 <b>25.2</b>	244 <b>27.1</b>
年代	20代		300 <b>100</b>	15 <b>5.0</b>	41 <b>13.7</b>	113 <b>37.7</b>	48 <b>16.0</b>	83 <b>27.7</b>
	30代		300 <b>100</b>	14 <b>4.7</b>	24 <b>8.0</b>	125 <b>41.7</b>	56 <b>18.7</b>	81 <b>27.0</b>
	40代		300 <b>100</b>	9 <b>3.0</b>	31 <b>10.3</b>	127 <b>42.3</b>	61 <b>20.3</b>	72 <b>24.0</b>
	50代		300 <b>100</b>	6 <b>2.0</b>	30 <b>10.0</b>	98 <b>32.7</b>	86 <b>28.7</b>	80 <b>26.7</b>
	60代		300 <b>100</b>	7 <b>2.3</b>	26 <b>8.7</b>	97 <b>32.3</b>	95 <b>31.7</b>	75 <b>25.0</b>
	70代以上		300 <b>100</b>	7 <b>2.3</b>	26 <b>8.7</b>	64 <b>21.3</b>	109 <b>36.3</b>	94 <b>31.3</b>

【4. 果物】

		度数 横%	全 体	不安を感じる	どちらかといえば 不安を感じる	どちらとも いえない	どちらかといえば 不安を感じない	不安を感じない
全 体			1800 <b>100</b>	59 <b>3.3</b>	175 <b>9.7</b>	627 <b>34.8</b>	452 <b>25.1</b>	487 <b>27.1</b>
地域	首都圏		900 <b>100</b>	30 <b>3.3</b>	80 <b>8.9</b>	325 <b>36.1</b>	216 <b>24.0</b>	249 <b>27.7</b>
	京阪神圏		900 <b>100</b>	29 <b>3.2</b>	95 <b>10.6</b>	302 <b>33.6</b>	236 <b>26.2</b>	238 <b>26.4</b>
年代	20代		300 <b>100</b>	19 <b>6.3</b>	32 <b>10.7</b>	113 <b>37.7</b>	49 <b>16.3</b>	87 <b>29.0</b>
	30代		300 <b>100</b>	14 <b>4.7</b>	28 <b>9.3</b>	117 <b>39.0</b>	63 <b>21.0</b>	78 <b>26.0</b>
	40代		300 <b>100</b>	11 <b>3.7</b>	30 <b>10.0</b>	131 <b>43.7</b>	58 <b>19.3</b>	70 <b>23.3</b>
	50代		300 <b>100</b>	6 <b>2.0</b>	37 <b>12.3</b>	92 <b>30.7</b>	82 <b>27.3</b>	83 <b>27.7</b>
	60代		300 <b>100</b>	5 <b>1.7</b>	22 <b>7.3</b>	107 <b>35.7</b>	92 <b>30.7</b>	74 <b>24.7</b>
	70代以上		300 <b>100</b>	4 <b>1.3</b>	26 <b>8.7</b>	67 <b>22.3</b>	108 <b>36.0</b>	95 <b>31.7</b>

【5. 魚介】

		度数 横%	全 体	不安を感じる	どちらかといえば 不安を感じる	どちらとも いえない	どちらかといえば 不安を感じない	不安を感じない
全 体			1800 <b>100</b>	76 <b>4.2</b>	246 <b>13.7</b>	649 <b>36.1</b>	422 <b>23.4</b>	407 <b>22.6</b>
地域	首都圏		900 <b>100</b>	45 <b>5.0</b>	104 <b>11.6</b>	348 <b>38.7</b>	194 <b>21.6</b>	209 <b>23.2</b>
	京阪神圏		900 <b>100</b>	31 <b>3.4</b>	142 <b>15.8</b>	301 <b>33.4</b>	228 <b>25.3</b>	198 <b>22.0</b>
年代	20代		300 <b>100</b>	20 <b>6.7</b>	48 <b>16.0</b>	115 <b>38.3</b>	44 <b>14.7</b>	73 <b>24.3</b>
	30代		300 <b>100</b>	21 <b>7.0</b>	42 <b>14.0</b>	117 <b>39.0</b>	54 <b>18.0</b>	66 <b>22.0</b>
	40代		300 <b>100</b>	10 <b>3.3</b>	40 <b>13.3</b>	140 <b>46.7</b>	46 <b>15.3</b>	64 <b>21.3</b>
	50代		300 <b>100</b>	9 <b>3.0</b>	46 <b>15.3</b>	99 <b>33.0</b>	80 <b>26.7</b>	66 <b>22.0</b>
	60代		300 <b>100</b>	11 <b>3.7</b>	36 <b>12.0</b>	100 <b>33.3</b>	96 <b>32.0</b>	57 <b>19.0</b>
	70代以上		300 <b>100</b>	5 <b>1.7</b>	34 <b>11.3</b>	78 <b>26.0</b>	102 <b>34.0</b>	81 <b>27.0</b>

【6. 牛肉】

		度数 横%	全 体	不安を感じる	どちらかといえば 不安を感じる	どちらとも いえない	どちらかといえば 不安を感じない	不安を感じない
全 体			1800 <b>100</b>	73 <b>4.1</b>	240 <b>13.3</b>	689 <b>38.3</b>	401 <b>22.3</b>	397 <b>22.1</b>
地域	首都圏		900 <b>100</b>	39 <b>4.3</b>	107 <b>11.9</b>	363 <b>40.3</b>	194 <b>21.6</b>	197 <b>21.9</b>
	京阪神圏		900 <b>100</b>	34 <b>3.8</b>	133 <b>14.8</b>	326 <b>36.2</b>	207 <b>23.0</b>	200 <b>22.2</b>
年代	20代		300 <b>100</b>	14 <b>4.7</b>	48 <b>16.0</b>	119 <b>39.7</b>	38 <b>12.7</b>	81 <b>27.0</b>
	30代		300 <b>100</b>	18 <b>6.0</b>	41 <b>13.7</b>	126 <b>42.0</b>	53 <b>17.7</b>	62 <b>20.7</b>
	40代		300 <b>100</b>	14 <b>4.7</b>	36 <b>12.0</b>	139 <b>46.3</b>	49 <b>16.3</b>	62 <b>20.7</b>
	50代		300 <b>100</b>	10 <b>3.3</b>	43 <b>14.3</b>	106 <b>35.3</b>	80 <b>26.7</b>	61 <b>20.3</b>
	60代		300 <b>100</b>	10 <b>3.3</b>	41 <b>13.7</b>	108 <b>36.0</b>	81 <b>27.0</b>	60 <b>20.0</b>
	70代以上		300 <b>100</b>	7 <b>2.3</b>	31 <b>10.3</b>	91 <b>30.3</b>	100 <b>33.3</b>	71 <b>23.7</b>



【7. 豚肉】

		度数 横%	全 体	不安を感じる	どちらかといえば 不安を感じる	どちらとも いえない	どちらかといえば 不安を感じない	不安を感じない
全 体			1800 <b>100</b>	69 <b>3.8</b>	209 <b>11.6</b>	707 <b>39.3</b>	414 <b>23.0</b>	401 <b>22.3</b>
地域	首都圏		900 <b>100</b>	37 <b>4.1</b>	92 <b>10.2</b>	367 <b>40.8</b>	201 <b>22.3</b>	203 <b>22.6</b>
	京阪神圏		900 <b>100</b>	32 <b>3.6</b>	117 <b>13.0</b>	340 <b>37.8</b>	213 <b>23.7</b>	198 <b>22.0</b>
年代	20代		300 <b>100</b>	18 <b>6.0</b>	38 <b>12.7</b>	116 <b>38.7</b>	40 <b>13.3</b>	88 <b>29.3</b>
	30代		300 <b>100</b>	16 <b>5.3</b>	38 <b>12.7</b>	130 <b>43.3</b>	56 <b>18.7</b>	60 <b>20.0</b>
	40代		300 <b>100</b>	12 <b>4.0</b>	32 <b>10.7</b>	148 <b>49.3</b>	47 <b>15.7</b>	61 <b>20.3</b>
	50代		300 <b>100</b>	10 <b>3.3</b>	40 <b>13.3</b>	110 <b>36.7</b>	80 <b>26.7</b>	60 <b>20.0</b>
	60代		300 <b>100</b>	7 <b>2.3</b>	34 <b>11.3</b>	114 <b>38.0</b>	81 <b>27.0</b>	64 <b>21.3</b>
	70代以上		300 <b>100</b>	6 <b>2.0</b>	27 <b>9.0</b>	89 <b>29.7</b>	110 <b>36.7</b>	68 <b>22.7</b>

【8. 鶏肉】

		度数 横%	全 体	不安を感じる	どちらかといえば 不安を感じる	どちらとも いえない	どちらかといえば 不安を感じない	不安を感じない
全 体			1800 <b>100</b>	68 <b>3.8</b>	231 <b>12.8</b>	696 <b>38.7</b>	421 <b>23.4</b>	384 <b>21.3</b>
地域	首都圏		900 <b>100</b>	37 <b>4.1</b>	105 <b>11.7</b>	367 <b>40.8</b>	195 <b>21.7</b>	196 <b>21.8</b>
	京阪神圏		900 <b>100</b>	31 <b>3.4</b>	126 <b>14.0</b>	329 <b>36.6</b>	226 <b>25.1</b>	188 <b>20.9</b>
年代	20代		300 <b>100</b>	17 <b>5.7</b>	46 <b>15.3</b>	113 <b>37.7</b>	46 <b>15.3</b>	78 <b>26.0</b>
	30代		300 <b>100</b>	16 <b>5.3</b>	37 <b>12.3</b>	131 <b>43.7</b>	55 <b>18.3</b>	61 <b>20.3</b>
	40代		300 <b>100</b>	11 <b>3.7</b>	37 <b>12.3</b>	137 <b>45.7</b>	54 <b>18.0</b>	61 <b>20.3</b>
	50代		300 <b>100</b>	12 <b>4.0</b>	39 <b>13.0</b>	112 <b>37.3</b>	81 <b>27.0</b>	56 <b>18.7</b>
	60代		300 <b>100</b>	6 <b>2.0</b>	35 <b>11.7</b>	118 <b>39.3</b>	80 <b>26.7</b>	61 <b>20.3</b>
	70代以上		300 <b>100</b>	6 <b>2.0</b>	37 <b>12.3</b>	85 <b>28.3</b>	105 <b>35.0</b>	67 <b>22.3</b>

【9. 卵】

		度数 横%	全 体	不安を感じる	どちらかといえば 不安を感じる	どちらとも いえない	どちらかといえば 不安を感じない	不安を感じない
全 体			1800 <b>100</b>	56 <b>3.1</b>	153 <b>8.5</b>	637 <b>35.4</b>	463 <b>25.7</b>	491 <b>27.3</b>
地域	首都圏		900 <b>100</b>	32 <b>3.6</b>	70 <b>7.8</b>	326 <b>36.2</b>	220 <b>24.4</b>	252 <b>28.0</b>
	京阪神圏		900 <b>100</b>	24 <b>2.7</b>	83 <b>9.2</b>	311 <b>34.6</b>	243 <b>27.0</b>	239 <b>26.6</b>
年代	20代		300 <b>100</b>	15 <b>5.0</b>	33 <b>11.0</b>	126 <b>42.0</b>	39 <b>13.0</b>	87 <b>29.0</b>
	30代		300 <b>100</b>	14 <b>4.7</b>	27 <b>9.0</b>	109 <b>36.3</b>	74 <b>24.7</b>	76 <b>25.3</b>
	40代		300 <b>100</b>	10 <b>3.3</b>	22 <b>7.3</b>	141 <b>47.0</b>	56 <b>18.7</b>	71 <b>23.7</b>
	50代		300 <b>100</b>	9 <b>3.0</b>	23 <b>7.7</b>	99 <b>33.0</b>	90 <b>30.0</b>	79 <b>26.3</b>
	60代		300 <b>100</b>	4 <b>1.3</b>	25 <b>8.3</b>	101 <b>33.7</b>	96 <b>32.0</b>	74 <b>24.7</b>
	70代以上		300 <b>100</b>	4 <b>1.3</b>	23 <b>7.7</b>	61 <b>20.3</b>	108 <b>36.0</b>	104 <b>34.7</b>

【10. 牛乳】

		度数 横%	全 体	不安を感じる	どちらかといえば 不安を感じる	どちらとも いえない	どちらかといえば 不安を感じない	不安を感じない
全 体			1800 <b>100</b>	66 <b>3.7</b>	164 <b>9.1</b>	600 <b>33.3</b>	460 <b>25.6</b>	510 <b>28.3</b>
地域	首都圏		900 <b>100</b>	42 <b>4.7</b>	71 <b>7.9</b>	303 <b>33.7</b>	225 <b>25.0</b>	259 <b>28.8</b>
	京阪神圏		900 <b>100</b>	24 <b>2.7</b>	93 <b>10.3</b>	297 <b>33.0</b>	235 <b>26.1</b>	251 <b>27.9</b>
年代	20代		300 <b>100</b>	18 <b>6.0</b>	39 <b>13.0</b>	117 <b>39.0</b>	39 <b>13.0</b>	87 <b>29.0</b>
	30代		300 <b>100</b>	16 <b>5.3</b>	21 <b>7.0</b>	111 <b>37.0</b>	72 <b>24.0</b>	80 <b>26.7</b>
	40代		300 <b>100</b>	12 <b>4.0</b>	31 <b>10.3</b>	129 <b>43.0</b>	57 <b>19.0</b>	71 <b>23.7</b>
	50代		300 <b>100</b>	10 <b>3.3</b>	29 <b>9.7</b>	88 <b>29.3</b>	85 <b>28.3</b>	88 <b>29.3</b>
	60代		300 <b>100</b>	7 <b>2.3</b>	18 <b>6.0</b>	102 <b>34.0</b>	98 <b>32.7</b>	75 <b>25.0</b>
	70代以上		300 <b>100</b>	3 <b>1.0</b>	26 <b>8.7</b>	53 <b>17.7</b>	109 <b>36.3</b>	109 <b>36.3</b>

【11. 食肉加工品】

		度数 横%	全 体	不安を感じる	どちらかといえば 不安を感じる	どちらとも いえない	どちらかといえば 不安を感じない	不安を感じない
全 体			1800 <b>100</b>	134 <b>7.4</b>	284 <b>15.8</b>	690 <b>38.3</b>	337 <b>18.7</b>	355 <b>19.7</b>
地域	首都圏		900 <b>100</b>	69 <b>7.7</b>	137 <b>15.2</b>	346 <b>38.4</b>	161 <b>17.9</b>	187 <b>20.8</b>
	京阪神圏		900 <b>100</b>	65 <b>7.2</b>	147 <b>16.3</b>	344 <b>38.2</b>	176 <b>19.6</b>	168 <b>18.7</b>
年代	20代		300 <b>100</b>	16 <b>5.3</b>	44 <b>14.7</b>	125 <b>41.7</b>	39 <b>13.0</b>	76 <b>25.3</b>
	30代		300 <b>100</b>	21 <b>7.0</b>	40 <b>13.3</b>	119 <b>39.7</b>	52 <b>17.3</b>	68 <b>22.7</b>
	40代		300 <b>100</b>	22 <b>7.3</b>	49 <b>16.3</b>	137 <b>45.7</b>	40 <b>13.3</b>	52 <b>17.3</b>
	50代		300 <b>100</b>	33 <b>11.0</b>	55 <b>18.3</b>	109 <b>36.3</b>	49 <b>16.3</b>	54 <b>18.0</b>
	60代		300 <b>100</b>	27 <b>9.0</b>	49 <b>16.3</b>	101 <b>33.7</b>	75 <b>25.0</b>	48 <b>16.0</b>
	70代以上		300 <b>100</b>	15 <b>5.0</b>	47 <b>15.7</b>	99 <b>33.0</b>	82 <b>27.3</b>	57 <b>19.0</b>

【12. 乳製品】

		度数 横%	全 体	不安を感じる	どちらかといえば 不安を感じる	どちらとも いえない	どちらかといえば 不安を感じない	不安を感じない
全 体			1800 <b>100</b>	54 <b>3.0</b>	191 <b>10.6</b>	668 <b>37.1</b>	434 <b>24.1</b>	453 <b>25.2</b>
地域	首都圏		900 <b>100</b>	30 <b>3.3</b>	86 <b>9.6</b>	339 <b>37.7</b>	211 <b>23.4</b>	234 <b>26.0</b>
	京阪神圏		900 <b>100</b>	24 <b>2.7</b>	105 <b>11.7</b>	329 <b>36.6</b>	223 <b>24.8</b>	219 <b>24.3</b>
年代	20代		300 <b>100</b>	17 <b>5.7</b>	36 <b>12.0</b>	114 <b>38.0</b>	43 <b>14.3</b>	90 <b>30.0</b>
	30代		300 <b>100</b>	9 <b>3.0</b>	31 <b>10.3</b>	122 <b>40.7</b>	63 <b>21.0</b>	75 <b>25.0</b>
	40代		300 <b>100</b>	8 <b>2.7</b>	32 <b>10.7</b>	138 <b>46.0</b>	58 <b>19.3</b>	64 <b>21.3</b>
	50代		300 <b>100</b>	10 <b>3.3</b>	38 <b>12.7</b>	103 <b>34.3</b>	73 <b>24.3</b>	76 <b>25.3</b>
	60代		300 <b>100</b>	6 <b>2.0</b>	27 <b>9.0</b>	111 <b>37.0</b>	90 <b>30.0</b>	66 <b>22.0</b>
	70代以上		300 <b>100</b>	4 <b>1.3</b>	27 <b>9.0</b>	80 <b>26.7</b>	107 <b>35.7</b>	82 <b>27.3</b>

【13. 大豆ミート食品類

(ハンバーグ、バーガー・パテ、大豆ミート、牛丼、焼き肉用カルビ等)】

度数横%		全 体	不安を感じる	どちらかといえば不安を感じる	どちらともいえない	どちらかといえば不安を感じない	不安を感じない
全 体		1800 100	90 5.0	232 12.9	741 41.2	355 19.7	382 21.2
地域	首都圏	900 100	45 5.0	120 13.3	357 39.7	178 19.8	200 22.2
	京阪神圏	900 100	45 5.0	112 12.4	384 42.7	177 19.7	182 20.2
年代	20代	300 100	16 5.3	38 12.7	112 37.3	51 17.0	83 27.7
	30代	300 100	19 6.3	26 8.7	132 44.0	50 16.7	73 24.3
	40代	300 100	17 5.7	36 12.0	148 49.3	44 14.7	55 18.3
	50代	300 100	14 4.7	47 15.7	123 41.0	52 17.3	64 21.3
	60代	300 100	11 3.7	40 13.3	121 40.3	75 25.0	53 17.7
	70代以上	300 100	13 4.3	45 15.0	105 35.0	83 27.7	54 18.0

【14. 冷凍食品】

度数横%		全 体	不安を感じる	どちらかといえば不安を感じる	どちらともいえない	どちらかといえば不安を感じない	不安を感じない
全 体		1800 100	102 5.7	229 12.7	679 37.7	397 22.1	393 21.8
地域	首都圏	900 100	53 5.9	115 12.8	329 36.6	198 22.0	205 22.8
	京阪神圏	900 100	49 5.4	114 12.7	350 38.9	199 22.1	188 20.9
年代	20代	300 100	18 6.0	31 10.3	111 37.0	60 20.0	80 26.7
	30代	300 100	19 6.3	33 11.0	114 38.0	60 20.0	74 24.7
	40代	300 100	24 8.0	34 11.3	138 46.0	51 17.0	53 17.7
	50代	300 100	19 6.3	50 16.7	107 35.7	61 20.3	63 21.0
	60代	300 100	12 4.0	37 12.3	120 40.0	79 26.3	52 17.3
	70代以上	300 100	10 3.3	44 14.7	89 29.7	86 28.7	71 23.7

【15. インスタント麺 (カップ麺・袋麺等)】

度数横%		全 体	不安を感じる	どちらかといえば不安を感じる	どちらともいえない	どちらかといえば不安を感じない	不安を感じない
全 体		1800 100	141 7.8	286 15.9	657 36.5	346 19.2	370 20.6
地域	首都圏	900 100	77 8.6	144 16.0	326 36.2	165 18.3	188 20.9
	京阪神圏	900 100	64 7.1	142 15.8	331 36.8	181 20.1	182 20.2
年代	20代	300 100	25 8.3	36 12.0	114 38.0	44 14.7	81 27.0
	30代	300 100	21 7.0	39 13.0	112 37.3	57 19.0	71 23.7
	40代	300 100	29 9.7	33 11.0	138 46.0	49 16.3	51 17.0
	50代	300 100	27 9.0	65 21.7	99 33.0	53 17.7	56 18.7
	60代	300 100	22 7.3	54 18.0	109 36.3	68 22.7	47 15.7
	70代以上	300 100	17 5.7	59 19.7	85 28.3	75 25.0	64 21.3

【16. 弁当・惣菜類】

度数 横%		全 体	不安を感じる	どちらかといえば 不安を感じる	どちらとも いえない	どちらかといえば 不安を感じない	不安を感じない
全 体		1800 100	123 6.8	286 15.9	714 39.7	344 19.1	333 18.5
地域	首都圏	900 100	64 7.1	137 15.2	362 40.2	170 18.9	167 18.6
	京阪神圏	900 100	59 6.6	149 16.6	352 39.1	174 19.3	166 18.4
年代	20代	300 100	19 6.3	43 14.3	114 38.0	52 17.3	72 24.0
	30代	300 100	22 7.3	42 14.0	124 41.3	48 16.0	64 21.3
	40代	300 100	23 7.7	44 14.7	143 47.7	41 13.7	49 16.3
	50代	300 100	25 8.3	59 19.7	111 37.0	47 15.7	58 19.3
	60代	300 100	18 6.0	49 16.3	129 43.0	65 21.7	39 13.0
	70代以上	300 100	16 5.3	49 16.3	93 31.0	91 30.3	51 17.0

【17. ファストフード】

度数 横%		全 体	不安を感じる	どちらかといえば 不安を感じる	どちらとも いえない	どちらかといえば 不安を感じない	不安を感じない
全 体		1800 100	165 9.2	333 18.5	676 37.6	309 17.2	317 17.6
地域	首都圏	900 100	94 10.4	162 18.0	333 37.0	152 16.9	159 17.7
	京阪神圏	900 100	71 7.9	171 19.0	343 38.1	157 17.4	158 17.6
年代	20代	300 100	22 7.3	41 13.7	114 38.0	54 18.0	69 23.0
	30代	300 100	29 9.7	44 14.7	119 39.7	43 14.3	65 21.7
	40代	300 100	28 9.3	40 13.3	140 46.7	47 15.7	45 15.0
	50代	300 100	34 11.3	77 25.7	99 33.0	38 12.7	52 17.3
	60代	300 100	26 8.7	59 19.7	115 38.3	62 20.7	38 12.7
	70代以上	300 100	26 8.7	72 24.0	89 29.7	65 21.7	48 16.0

【18. 菓子類】

度数 横%		全 体	不安を感じる	どちらかといえば 不安を感じる	どちらとも いえない	どちらかといえば 不安を感じない	不安を感じない
全 体		1800 100	87 4.8	253 14.1	708 39.3	356 19.8	396 22.0
地域	首都圏	900 100	47 5.2	122 13.6	357 39.7	168 18.7	206 22.9
	京阪神圏	900 100	40 4.4	131 14.6	351 39.0	188 20.9	190 21.1
年代	20代	300 100	16 5.3	39 13.0	117 39.0	48 16.0	80 26.7
	30代	300 100	19 6.3	41 13.7	119 39.7	50 16.7	71 23.7
	40代	300 100	16 5.3	34 11.3	147 49.0	47 15.7	56 18.7
	50代	300 100	17 5.7	53 17.7	109 36.3	57 19.0	64 21.3
	60代	300 100	12 4.0	48 16.0	115 38.3	72 24.0	53 17.7
	70代以上	300 100	7 2.3	38 12.7	101 33.7	82 27.3	72 24.0

Q21 次にあげる食肉等の安全性の問題について、あなたはどの程度関心がありますか。それぞれの事項について、最もあてはまるものを1つお選びください。

【1. 食肉中の残留抗生物質】

		度数 横%	全 体	非常に関心がある	やや関心がある	どちらでもない	あまり関心がない	まったく関心がない
全 体			1800 <b>100</b>	221 <b>12.3</b>	466 <b>25.9</b>	614 <b>34.1</b>	311 <b>17.3</b>	188 <b>10.4</b>
地域	首都圏		900 <b>100</b>	112 <b>12.4</b>	232 <b>25.8</b>	309 <b>34.3</b>	157 <b>17.4</b>	90 <b>10.0</b>
	京阪神圏		900 <b>100</b>	109 <b>12.1</b>	234 <b>26.0</b>	305 <b>33.9</b>	154 <b>17.1</b>	98 <b>10.9</b>
年代	20代		300 <b>100</b>	30 <b>10.0</b>	51 <b>17.0</b>	112 <b>37.3</b>	53 <b>17.7</b>	54 <b>18.0</b>
	30代		300 <b>100</b>	24 <b>8.0</b>	61 <b>20.3</b>	115 <b>38.3</b>	48 <b>16.0</b>	52 <b>17.3</b>
	40代		300 <b>100</b>	30 <b>10.0</b>	63 <b>21.0</b>	127 <b>42.3</b>	50 <b>16.7</b>	30 <b>10.0</b>
	50代		300 <b>100</b>	40 <b>13.3</b>	84 <b>28.0</b>	102 <b>34.0</b>	58 <b>19.3</b>	16 <b>5.3</b>
	60代		300 <b>100</b>	32 <b>10.7</b>	102 <b>34.0</b>	88 <b>29.3</b>	55 <b>18.3</b>	23 <b>7.7</b>
	70代以上		300 <b>100</b>	65 <b>21.7</b>	105 <b>35.0</b>	70 <b>23.3</b>	47 <b>15.7</b>	13 <b>4.3</b>

【2. 食肉中の残留動物薬】

		度数 横%	全 体	非常に関心がある	やや関心がある	どちらでもない	あまり関心がない	まったく関心がない
全 体			1800 <b>100</b>	204 <b>11.3</b>	506 <b>28.1</b>	605 <b>33.6</b>	300 <b>16.7</b>	185 <b>10.3</b>
地域	首都圏		900 <b>100</b>	107 <b>11.9</b>	260 <b>28.9</b>	302 <b>33.6</b>	144 <b>16.0</b>	87 <b>9.7</b>
	京阪神圏		900 <b>100</b>	97 <b>10.8</b>	246 <b>27.3</b>	303 <b>33.7</b>	156 <b>17.3</b>	98 <b>10.9</b>
年代	20代		300 <b>100</b>	23 <b>7.7</b>	66 <b>22.0</b>	114 <b>38.0</b>	43 <b>14.3</b>	54 <b>18.0</b>
	30代		300 <b>100</b>	24 <b>8.0</b>	68 <b>22.7</b>	111 <b>37.0</b>	50 <b>16.7</b>	47 <b>15.7</b>
	40代		300 <b>100</b>	23 <b>7.7</b>	72 <b>24.0</b>	128 <b>42.7</b>	48 <b>16.0</b>	29 <b>9.7</b>
	50代		300 <b>100</b>	39 <b>13.0</b>	84 <b>28.0</b>	107 <b>35.7</b>	54 <b>18.0</b>	16 <b>5.3</b>
	60代		300 <b>100</b>	27 <b>9.0</b>	109 <b>36.3</b>	82 <b>27.3</b>	58 <b>19.3</b>	24 <b>8.0</b>
	70代以上		300 <b>100</b>	68 <b>22.7</b>	107 <b>35.7</b>	63 <b>21.0</b>	47 <b>15.7</b>	15 <b>5.0</b>

【3. 遺伝子組換え飼料を用いた食肉】

		度数 横%	全 体	非常に関心がある	やや関心がある	どちらでもない	あまり関心がない	まったく関心がない
全 体			1800 <b>100</b>	250 <b>13.9</b>	478 <b>26.6</b>	601 <b>33.4</b>	293 <b>16.3</b>	178 <b>9.9</b>
地域	首都圏		900 <b>100</b>	129 <b>14.3</b>	250 <b>27.8</b>	296 <b>32.9</b>	135 <b>15.0</b>	90 <b>10.0</b>
	京阪神圏		900 <b>100</b>	121 <b>13.4</b>	228 <b>25.3</b>	305 <b>33.9</b>	158 <b>17.6</b>	88 <b>9.8</b>
年代	20代		300 <b>100</b>	24 <b>8.0</b>	69 <b>23.0</b>	114 <b>38.0</b>	42 <b>14.0</b>	51 <b>17.0</b>
	30代		300 <b>100</b>	23 <b>7.7</b>	62 <b>20.7</b>	115 <b>38.3</b>	53 <b>17.7</b>	47 <b>15.7</b>
	40代		300 <b>100</b>	28 <b>9.3</b>	56 <b>18.7</b>	135 <b>45.0</b>	52 <b>17.3</b>	29 <b>9.7</b>
	50代		300 <b>100</b>	52 <b>17.3</b>	88 <b>29.3</b>	102 <b>34.0</b>	43 <b>14.3</b>	15 <b>5.0</b>
	60代		300 <b>100</b>	36 <b>12.0</b>	102 <b>34.0</b>	84 <b>28.0</b>	58 <b>19.3</b>	20 <b>6.7</b>
	70代以上		300 <b>100</b>	87 <b>29.0</b>	101 <b>33.7</b>	51 <b>17.0</b>	45 <b>15.0</b>	16 <b>5.3</b>

【4. ゲノム編集飼料を用いた食肉】

		度数 横%	全 体	非常に関心がある	やや関心がある	どちらでもない	あまり関心がない	まったく関心がない
全 体			1800 <b>100</b>	221 <b>12.3</b>	425 <b>23.6</b>	664 <b>36.9</b>	298 <b>16.6</b>	192 <b>10.7</b>
地域	首都圏		900 <b>100</b>	109 <b>12.1</b>	220 <b>24.4</b>	335 <b>37.2</b>	139 <b>15.4</b>	97 <b>10.8</b>
	京阪神圏		900 <b>100</b>	112 <b>12.4</b>	205 <b>22.8</b>	329 <b>36.6</b>	159 <b>17.7</b>	95 <b>10.6</b>
年代	20代		300 <b>100</b>	24 <b>8.0</b>	50 <b>16.7</b>	125 <b>41.7</b>	47 <b>15.7</b>	54 <b>18.0</b>
	30代		300 <b>100</b>	25 <b>8.3</b>	46 <b>15.3</b>	131 <b>43.7</b>	46 <b>15.3</b>	52 <b>17.3</b>
	40代		300 <b>100</b>	26 <b>8.7</b>	53 <b>17.7</b>	139 <b>46.3</b>	52 <b>17.3</b>	30 <b>10.0</b>
	50代		300 <b>100</b>	44 <b>14.7</b>	79 <b>26.3</b>	110 <b>36.7</b>	50 <b>16.7</b>	17 <b>5.7</b>
	60代		300 <b>100</b>	31 <b>10.3</b>	94 <b>31.3</b>	94 <b>31.3</b>	58 <b>19.3</b>	23 <b>7.7</b>
	70代以上		300 <b>100</b>	71 <b>23.7</b>	103 <b>34.3</b>	65 <b>21.7</b>	45 <b>15.0</b>	16 <b>5.3</b>

【5. 牛の B S E（牛海綿状脳症）】

		度数 横%	全 体	非常に関心がある	やや関心がある	どちらでもない	あまり関心がない	まったく関心がない
全 体			1800 <b>100</b>	332 <b>18.4</b>	480 <b>26.7</b>	577 <b>32.1</b>	243 <b>13.5</b>	168 <b>9.3</b>
地域	首都圏		900 <b>100</b>	176 <b>19.6</b>	256 <b>28.4</b>	276 <b>30.7</b>	109 <b>12.1</b>	83 <b>9.2</b>
	京阪神圏		900 <b>100</b>	156 <b>17.3</b>	224 <b>24.9</b>	301 <b>33.4</b>	134 <b>14.9</b>	85 <b>9.4</b>
年代	20代		300 <b>100</b>	25 <b>8.3</b>	65 <b>21.7</b>	120 <b>40.0</b>	36 <b>12.0</b>	54 <b>18.0</b>
	30代		300 <b>100</b>	28 <b>9.3</b>	72 <b>24.0</b>	112 <b>37.3</b>	44 <b>14.7</b>	44 <b>14.7</b>
	40代		300 <b>100</b>	35 <b>11.7</b>	60 <b>20.0</b>	132 <b>44.0</b>	48 <b>16.0</b>	25 <b>8.3</b>
	50代		300 <b>100</b>	65 <b>21.7</b>	94 <b>31.3</b>	94 <b>31.3</b>	34 <b>11.3</b>	13 <b>4.3</b>
	60代		300 <b>100</b>	56 <b>18.7</b>	106 <b>35.3</b>	74 <b>24.7</b>	46 <b>15.3</b>	18 <b>6.0</b>
	70代以上		300 <b>100</b>	123 <b>41.0</b>	83 <b>27.7</b>	45 <b>15.0</b>	35 <b>11.7</b>	14 <b>4.7</b>

【6. 成形肉（インジェクション）】

		度数 横%	全 体	非常に関心がある	やや関心がある	どちらでもない	あまり関心がない	まったく関心がない
全 体			1800 <b>100</b>	227 <b>12.6</b>	433 <b>24.1</b>	661 <b>36.7</b>	290 <b>16.1</b>	189 <b>10.5</b>
地域	首都圏		900 <b>100</b>	113 <b>12.6</b>	221 <b>24.6</b>	329 <b>36.6</b>	141 <b>15.7</b>	96 <b>10.7</b>
	京阪神圏		900 <b>100</b>	114 <b>12.7</b>	212 <b>23.6</b>	332 <b>36.9</b>	149 <b>16.6</b>	93 <b>10.3</b>
年代	20代		300 <b>100</b>	20 <b>6.7</b>	53 <b>17.7</b>	120 <b>40.0</b>	53 <b>17.7</b>	54 <b>18.0</b>
	30代		300 <b>100</b>	25 <b>8.3</b>	61 <b>20.3</b>	115 <b>38.3</b>	49 <b>16.3</b>	50 <b>16.7</b>
	40代		300 <b>100</b>	29 <b>9.7</b>	46 <b>15.3</b>	143 <b>47.7</b>	53 <b>17.7</b>	29 <b>9.7</b>
	50代		300 <b>100</b>	48 <b>16.0</b>	81 <b>27.0</b>	113 <b>37.7</b>	41 <b>13.7</b>	17 <b>5.7</b>
	60代		300 <b>100</b>	36 <b>12.0</b>	100 <b>33.3</b>	91 <b>30.3</b>	52 <b>17.3</b>	21 <b>7.0</b>
	70代以上		300 <b>100</b>	69 <b>23.0</b>	92 <b>30.7</b>	79 <b>26.3</b>	42 <b>14.0</b>	18 <b>6.0</b>

【7. 食肉の放射能汚染】

		度数 横%	全 体	非常に 関心がある	やや 関心がある	どちら でも ない	あまり 関心 がない	まったく 関心 がない
全 体			1800 100	276 15.3	467 25.9	627 34.8	257 14.3	173 9.6
地域	首都圏		900 100	143 15.9	239 26.6	312 34.7	120 13.3	86 9.6
	京阪神圏		900 100	133 14.8	228 25.3	315 35.0	137 15.2	87 9.7
年代	20代		300 100	21 7.0	66 22.0	125 41.7	38 12.7	50 16.7
	30代		300 100	25 8.3	68 22.7	107 35.7	51 17.0	49 16.3
	40代		300 100	33 11.0	58 19.3	135 45.0	47 15.7	27 9.0
	50代		300 100	48 16.0	87 29.0	109 36.3	40 13.3	16 5.3
	60代		300 100	44 14.7	100 33.3	91 30.3	45 15.0	20 6.7
	70代以上		300 100	105 35.0	88 29.3	60 20.0	36 12.0	11 3.7

【8. クローン家畜由来の食肉】

		度数 横%	全 体	非常に 関心がある	やや 関心がある	どちら でも ない	あまり 関心 がない	まったく 関心 がない
全 体			1800 100	267 14.8	480 26.7	596 33.1	282 15.7	175 9.7
地域	首都圏		900 100	144 16.0	249 27.7	289 32.1	133 14.8	85 9.4
	京阪神圏		900 100	123 13.7	231 25.7	307 34.1	149 16.6	90 10.0
年代	20代		300 100	20 6.7	68 22.7	111 37.0	52 17.3	49 16.3
	30代		300 100	21 7.0	59 19.7	120 40.0	53 17.7	47 15.7
	40代		300 100	30 10.0	66 22.0	126 42.0	48 16.0	30 10.0
	50代		300 100	53 17.7	88 29.3	99 33.0	47 15.7	13 4.3
	60代		300 100	44 14.7	108 36.0	80 26.7	49 16.3	19 6.3
	70代以上		300 100	99 33.0	91 30.3	60 20.0	33 11.0	17 5.7

【9. 牛・豚の口蹄疫】

		度数 横%	全 体	非常に 関心がある	やや 関心がある	どちら でも ない	あまり 関心 がない	まったく 関心 がない
全 体			1800 100	296 16.4	493 27.4	606 33.7	230 12.8	175 9.7
地域	首都圏		900 100	161 17.9	257 28.6	294 32.7	102 11.3	86 9.6
	京阪神圏		900 100	135 15.0	236 26.2	312 34.7	128 14.2	89 9.9
年代	20代		300 100	22 7.3	60 20.0	126 42.0	39 13.0	53 17.7
	30代		300 100	23 7.7	68 22.7	119 39.7	39 13.0	51 17.0
	40代		300 100	25 8.3	65 21.7	137 45.7	44 14.7	29 9.7
	50代		300 100	53 17.7	93 31.0	100 33.3	40 13.3	14 4.7
	60代		300 100	49 16.3	115 38.3	79 26.3	40 13.3	17 5.7
	70代以上		300 100	124 41.3	92 30.7	45 15.0	28 9.3	11 3.7

【10. 豚熱】

		度数 横%	全 体	非常に関心がある	やや関心がある	どちらでもない	あまり関心がない	まったく関心がない
全 体			1800 100	285 15.8	432 24.0	644 35.8	252 14.0	187 10.4
地域	首都圏		900 100	153 17.0	232 25.8	316 35.1	108 12.0	91 10.1
	京阪神圏		900 100	132 14.7	200 22.2	328 36.4	144 16.0	96 10.7
年代	20代		300 100	26 8.7	56 18.7	122 40.7	44 14.7	52 17.3
	30代		300 100	29 9.7	60 20.0	114 38.0	42 14.0	55 18.3
	40代		300 100	29 9.7	52 17.3	141 47.0	48 16.0	30 10.0
	50代		300 100	52 17.3	69 23.0	120 40.0	41 13.7	18 6.0
	60代		300 100	42 14.0	103 34.3	94 31.3	43 14.3	18 6.0
	70代以上		300 100	107 35.7	92 30.7	53 17.7	34 11.3	14 4.7

【11. アフリカ豚熱】

		度数 横%	全 体	非常に関心がある	やや関心がある	どちらでもない	あまり関心がない	まったく関心がない
全 体			1800 100	281 15.6	426 23.7	652 36.2	251 13.9	190 10.6
地域	首都圏		900 100	158 17.6	217 24.1	322 35.8	106 11.8	97 10.8
	京阪神圏		900 100	123 13.7	209 23.2	330 36.7	145 16.1	93 10.3
年代	20代		300 100	20 6.7	58 19.3	120 40.0	47 15.7	55 18.3
	30代		300 100	26 8.7	56 18.7	124 41.3	44 14.7	50 16.7
	40代		300 100	28 9.3	54 18.0	139 46.3	46 15.3	33 11.0
	50代		300 100	51 17.0	71 23.7	116 38.7	44 14.7	18 6.0
	60代		300 100	43 14.3	101 33.7	97 32.3	38 12.7	21 7.0
	70代以上		300 100	113 37.7	86 28.7	56 18.7	32 10.7	13 4.3

【12. 豚インフルエンザ】

		度数 横%	全 体	非常に関心がある	やや関心がある	どちらでもない	あまり関心がない	まったく関心がない
全 体			1800 100	313 17.4	522 29.0	580 32.2	217 12.1	168 9.3
地域	首都圏		900 100	169 18.8	258 28.7	293 32.6	94 10.4	86 9.6
	京阪神圏		900 100	144 16.0	264 29.3	287 31.9	123 13.7	82 9.1
年代	20代		300 100	24 8.0	73 24.3	114 38.0	43 14.3	46 15.3
	30代		300 100	30 10.0	83 27.7	98 32.7	39 13.0	50 16.7
	40代		300 100	34 11.3	64 21.3	132 44.0	41 13.7	29 9.7
	50代		300 100	57 19.0	87 29.0	113 37.7	25 8.3	18 6.0
	60代		300 100	48 16.0	118 39.3	79 26.3	39 13.0	16 5.3
	70代以上		300 100	120 40.0	97 32.3	44 14.7	30 10.0	9 3.0



【13. 鳥インフルエンザ】

		度数 横%	全 体	非常に 関心がある	やや 関心がある	どちら でも ない	あまり 関心 がない	まったく 関心 がない
全 体			1800 100	343 19.1	546 30.3	554 30.8	198 11.0	159 8.8
地域	首都圏		900 100	184 20.4	276 30.7	273 30.3	90 10.0	77 8.6
	京阪神圏		900 100	159 17.7	270 30.0	281 31.2	108 12.0	82 9.1
年代	20代		300 100	26 8.7	67 22.3	121 40.3	39 13.0	47 15.7
	30代		300 100	35 11.7	76 25.3	108 36.0	36 12.0	45 15.0
	40代		300 100	35 11.7	77 25.7	124 41.3	37 12.3	27 9.0
	50代		300 100	61 20.3	97 32.3	101 33.7	26 8.7	15 5.0
	60代		300 100	54 18.0	132 44.0	65 21.7	33 11.0	16 5.3
	70代以上		300 100	132 44.0	97 32.3	35 11.7	27 9.0	9 3.0

【14. 食肉中の食中毒菌  
(サルモネラ、カンピロバクター、腸管出血性大腸菌など)の汚染】

		度数 横%	全 体	非常に 関心がある	やや 関心がある	どちら でも ない	あまり 関心 がない	まったく 関心 がない
全 体			1800 100	412 22.9	531 29.5	518 28.8	192 10.7	147 8.2
地域	首都圏		900 100	214 23.8	270 30.0	257 28.6	89 9.9	70 7.8
	京阪神圏		900 100	198 22.0	261 29.0	261 29.0	103 11.4	77 8.6
年代	20代		300 100	37 12.3	74 24.7	105 35.0	32 10.7	52 17.3
	30代		300 100	44 14.7	87 29.0	97 32.3	33 11.0	39 13.0
	40代		300 100	44 14.7	81 27.0	115 38.3	39 13.0	21 7.0
	50代		300 100	68 22.7	97 32.3	94 31.3	26 8.7	15 5.0
	60代		300 100	68 22.7	111 37.0	74 24.7	35 11.7	12 4.0
	70代以上		300 100	151 50.3	81 27.0	33 11.0	27 9.0	8 2.7

【15. 食肉の生食】

		度数 横%	全 体	非常に 関心がある	やや 関心がある	どちら でも ない	あまり 関心 がない	まったく 関心 がない
全 体			1800 100	336 18.7	462 25.7	559 31.1	229 12.7	214 11.9
地域	首都圏		900 100	177 19.7	219 24.3	287 31.9	105 11.7	112 12.4
	京阪神圏		900 100	159 17.7	243 27.0	272 30.2	124 13.8	102 11.3
年代	20代		300 100	34 11.3	72 24.0	109 36.3	34 11.3	51 17.0
	30代		300 100	39 13.0	70 23.3	103 34.3	39 13.0	49 16.3
	40代		300 100	46 15.3	60 20.0	129 43.0	37 12.3	28 9.3
	50代		300 100	59 19.7	79 26.3	95 31.7	40 13.3	27 9.0
	60代		300 100	50 16.7	95 31.7	84 28.0	43 14.3	28 9.3
	70代以上		300 100	108 36.0	86 28.7	39 13.0	36 12.0	31 10.3

【16. 食肉の産地偽装】

		度数 横%	全 体	非常に興味がある	やや興味がある	どちらでもない	あまり興味がない	まったく興味がない
全 体			1800 100	396 22.0	517 28.7	544 30.2	186 10.3	157 8.7
地域	首都圏		900 100	216 24.0	253 28.1	266 29.6	86 9.6	79 8.8
	京阪神圏		900 100	180 20.0	264 29.3	278 30.9	100 11.1	78 8.7
年代	20代		300 100	29 9.7	71 23.7	114 38.0	35 11.7	51 17.0
	30代		300 100	32 10.7	81 27.0	107 35.7	34 11.3	46 15.3
	40代		300 100	42 14.0	77 25.7	120 40.0	36 12.0	25 8.3
	50代		300 100	77 25.7	84 28.0	97 32.3	29 9.7	13 4.3
	60代		300 100	69 23.0	116 38.7	68 22.7	33 11.0	14 4.7
	70代以上		300 100	147 49.0	88 29.3	38 12.7	19 6.3	8 2.7

【17. 食肉の消費期限改ざん】

		度数 横%	全 体	非常に興味がある	やや興味がある	どちらでもない	あまり興味がない	まったく興味がない
全 体			1800 100	418 23.2	524 29.1	529 29.4	181 10.1	148 8.2
地域	首都圏		900 100	224 24.9	252 28.0	264 29.3	82 9.1	78 8.7
	京阪神圏		900 100	194 21.6	272 30.2	265 29.4	99 11.0	70 7.8
年代	20代		300 100	37 12.3	60 20.0	117 39.0	42 14.0	44 14.7
	30代		300 100	48 16.0	81 27.0	102 34.0	27 9.0	42 14.0
	40代		300 100	48 16.0	79 26.3	115 38.3	33 11.0	25 8.3
	50代		300 100	74 24.7	101 33.7	85 28.3	27 9.0	13 4.3
	60代		300 100	71 23.7	111 37.0	63 21.0	39 13.0	16 5.3
	70代以上		300 100	140 46.7	92 30.7	47 15.7	13 4.3	8 2.7

【18. 牛肉・豚肉の発がん性】

		度数 横%	全 体	非常に興味がある	やや興味がある	どちらでもない	あまり興味がない	まったく興味がない
全 体			1800 100	376 20.9	466 25.9	590 32.8	203 11.3	165 9.2
地域	首都圏		900 100	200 22.2	231 25.7	291 32.3	95 10.6	83 9.2
	京阪神圏		900 100	176 19.6	235 26.1	299 33.2	108 12.0	82 9.1
年代	20代		300 100	33 11.0	57 19.0	122 40.7	38 12.7	50 16.7
	30代		300 100	38 12.7	69 23.0	107 35.7	36 12.0	50 16.7
	40代		300 100	38 12.7	67 22.3	126 42.0	44 14.7	25 8.3
	50代		300 100	65 21.7	90 30.0	102 34.0	30 10.0	13 4.3
	60代		300 100	62 20.7	107 35.7	80 26.7	34 11.3	17 5.7
	70代以上		300 100	140 46.7	76 25.3	53 17.7	21 7.0	10 3.3

【19. 豚肉加工品（ハム・ソーセージ）の発がん性】

		度数 横%	全 体	非常に 関心がある	やや 関心がある	どちら でも ない	あまり 関心 がない	まったく 関心 がない
全 体			1800 100	363 20.2	502 27.9	578 32.1	203 11.3	154 8.6
地域	首都圏		900 100	197 21.9	241 26.8	287 31.9	98 10.9	77 8.6
	京阪神圏		900 100	166 18.4	261 29.0	291 32.3	105 11.7	77 8.6
年代	20代		300 100	34 11.3	73 24.3	112 37.3	36 12.0	45 15.0
	30代		300 100	40 13.3	63 21.0	114 38.0	35 11.7	48 16.0
	40代		300 100	33 11.0	74 24.7	125 41.7	45 15.0	23 7.7
	50代		300 100	77 25.7	80 26.7	101 33.7	30 10.0	12 4.0
	60代		300 100	63 21.0	114 38.0	71 23.7	35 11.7	17 5.7
	70代以上		300 100	116 38.7	98 32.7	55 18.3	22 7.3	9 3.0

【20. 植物肉（大豆ミート食品類／ハンバーグ、バーガー・パテ、大豆ミート、牛丼、焼き肉用カルビ等）】

		度数 横%	全 体	非常に 関心がある	やや 関心がある	どちら でも ない	あまり 関心 がない	まったく 関心 がない
全 体			1800 100	252 14.0	445 24.7	678 37.7	250 13.9	175 9.7
地域	首都圏		900 100	133 14.8	225 25.0	336 37.3	115 12.8	91 10.1
	京阪神圏		900 100	119 13.2	220 24.4	342 38.0	135 15.0	84 9.3
年代	20代		300 100	25 8.3	61 20.3	124 41.3	39 13.0	51 17.0
	30代		300 100	32 10.7	63 21.0	114 38.0	44 14.7	47 15.7
	40代		300 100	28 9.3	60 20.0	139 46.3	45 15.0	28 9.3
	50代		300 100	46 15.3	69 23.0	128 42.7	44 14.7	13 4.3
	60代		300 100	35 11.7	100 33.3	98 32.7	45 15.0	22 7.3
	70代以上		300 100	86 28.7	92 30.7	75 25.0	33 11.0	14 4.7

【21. 細胞培養肉（食用動物の細胞を人工培養して生産する食肉）】

		度数 横%	全 体	非常に 関心がある	やや 関心がある	どちら でも ない	あまり 関心 がない	まったく 関心 がない
全 体			1800 100	254 14.1	440 24.4	646 35.9	264 14.7	196 10.9
地域	首都圏		900 100	136 15.1	223 24.8	320 35.6	124 13.8	97 10.8
	京阪神圏		900 100	118 13.1	217 24.1	326 36.2	140 15.6	99 11.0
年代	20代		300 100	27 9.0	60 20.0	120 40.0	42 14.0	51 17.0
	30代		300 100	28 9.3	59 19.7	117 39.0	42 14.0	54 18.0
	40代		300 100	29 9.7	63 21.0	134 44.7	43 14.3	31 10.3
	50代		300 100	47 15.7	78 26.0	110 36.7	48 16.0	17 5.7
	60代		300 100	39 13.0	98 32.7	95 31.7	45 15.0	23 7.7
	70代以上		300 100	84 28.0	82 27.3	70 23.3	44 14.7	20 6.7

Q22 では、次にあげる食肉等の安全性の問題について、あなたは不安を感じますか。  
不安を感じるものを3つまでお選びください。

度数 横%		全 体	食肉中の 残留抗生物質	食肉中の 残留動物薬	遺伝子組換え飼料 を用いた食肉	ゲノム編集飼料を 用いた食肉	牛のBSE (牛海綿状脳症)	成形肉 (インJECTION)
全 体		1800 <b>100</b>	314 <b>17.4</b>	203 <b>11.3</b>	256 <b>14.2</b>	155 <b>8.6</b>	387 <b>21.5</b>	112 <b>6.2</b>
地域	首都圏	900 <b>100</b>	151 <b>16.8</b>	103 <b>11.4</b>	126 <b>14.0</b>	78 <b>8.7</b>	195 <b>21.7</b>	48 <b>5.3</b>
	京阪神圏	900 <b>100</b>	163 <b>18.1</b>	100 <b>11.1</b>	130 <b>14.4</b>	77 <b>8.6</b>	192 <b>21.3</b>	64 <b>7.1</b>
年代	20代	300 <b>100</b>	31 <b>10.3</b>	23 <b>7.7</b>	32 <b>10.7</b>	24 <b>8.0</b>	33 <b>11.0</b>	19 <b>6.3</b>
	30代	300 <b>100</b>	34 <b>11.3</b>	24 <b>8.0</b>	32 <b>10.7</b>	18 <b>6.0</b>	45 <b>15.0</b>	14 <b>4.7</b>
	40代	300 <b>100</b>	38 <b>12.7</b>	30 <b>10.0</b>	36 <b>12.0</b>	28 <b>9.3</b>	45 <b>15.0</b>	19 <b>6.3</b>
	50代	300 <b>100</b>	62 <b>20.7</b>	37 <b>12.3</b>	46 <b>15.3</b>	36 <b>12.0</b>	70 <b>23.3</b>	19 <b>6.3</b>
	60代	300 <b>100</b>	61 <b>20.3</b>	48 <b>16.0</b>	52 <b>17.3</b>	25 <b>8.3</b>	79 <b>26.3</b>	24 <b>8.0</b>
	70代以上	300 <b>100</b>	88 <b>29.3</b>	41 <b>13.7</b>	58 <b>19.3</b>	24 <b>8.0</b>	115 <b>38.3</b>	17 <b>5.7</b>

度数 横%		全 体	食肉の 放射能汚染	クローン家畜 由来の食肉	牛・豚の口蹄疫	豚熱	アフリカ豚熱	豚インフルエンザ
全 体		1800 <b>100</b>	187 <b>10.4</b>	143 <b>7.9</b>	139 <b>7.7</b>	41 <b>2.3</b>	53 <b>2.9</b>	165 <b>9.2</b>
地域	首都圏	900 <b>100</b>	89 <b>9.9</b>	81 <b>9.0</b>	66 <b>7.3</b>	26 <b>2.9</b>	25 <b>2.8</b>	76 <b>8.4</b>
	京阪神圏	900 <b>100</b>	98 <b>10.9</b>	62 <b>6.9</b>	73 <b>8.1</b>	15 <b>1.7</b>	28 <b>3.1</b>	89 <b>9.9</b>
年代	20代	300 <b>100</b>	22 <b>7.3</b>	12 <b>4.0</b>	12 <b>4.0</b>	5 <b>1.7</b>	9 <b>3.0</b>	30 <b>10.0</b>
	30代	300 <b>100</b>	25 <b>8.3</b>	20 <b>6.7</b>	10 <b>3.3</b>	5 <b>1.7</b>	12 <b>4.0</b>	29 <b>9.7</b>
	40代	300 <b>100</b>	19 <b>6.3</b>	19 <b>6.3</b>	11 <b>3.7</b>	5 <b>1.7</b>	7 <b>2.3</b>	32 <b>10.7</b>
	50代	300 <b>100</b>	32 <b>10.7</b>	30 <b>10.0</b>	21 <b>7.0</b>	5 <b>1.7</b>	6 <b>2.0</b>	24 <b>8.0</b>
	60代	300 <b>100</b>	35 <b>11.7</b>	35 <b>11.7</b>	29 <b>9.7</b>	8 <b>2.7</b>	8 <b>2.7</b>	25 <b>8.3</b>
	70代以上	300 <b>100</b>	54 <b>18.0</b>	27 <b>9.0</b>	56 <b>18.7</b>	13 <b>4.3</b>	11 <b>3.7</b>	25 <b>8.3</b>

度数 横%	全 体	鳥インフルエンザ	食肉中の食中毒菌 の汚染(サルモネラ、カ ジバクター、腸管出 血性大腸菌など)の 汚染	食肉の生食	食肉の産地偽装	食肉の消費 期限改ざん	牛肉・豚肉の 発がん性
	全 体	1800 <b>100</b>	304 <b>16.9</b>	344 <b>19.1</b>	165 <b>9.2</b>	186 <b>10.3</b>	207 <b>11.5</b>
地域	首都圏	900 <b>100</b>	147 <b>16.3</b>	171 <b>19.0</b>	72 <b>8.0</b>	93 <b>10.3</b>	80 <b>8.9</b>
	京阪神圏	900 <b>100</b>	157 <b>17.4</b>	173 <b>19.2</b>	93 <b>10.3</b>	93 <b>10.3</b>	69 <b>7.7</b>
年代	20代	300 <b>100</b>	41 <b>13.7</b>	36 <b>12.0</b>	27 <b>9.0</b>	22 <b>7.3</b>	25 <b>8.3</b>
	30代	300 <b>100</b>	50 <b>16.7</b>	58 <b>19.3</b>	33 <b>11.0</b>	24 <b>8.0</b>	23 <b>7.7</b>
	40代	300 <b>100</b>	48 <b>16.0</b>	64 <b>21.3</b>	32 <b>10.7</b>	29 <b>9.7</b>	26 <b>8.7</b>
	50代	300 <b>100</b>	46 <b>15.3</b>	59 <b>19.7</b>	15 <b>5.0</b>	32 <b>10.7</b>	31 <b>10.3</b>
	60代	300 <b>100</b>	65 <b>21.7</b>	60 <b>20.0</b>	28 <b>9.3</b>	37 <b>12.3</b>	21 <b>7.0</b>
	70代以上	300 <b>100</b>	54 <b>18.0</b>	67 <b>22.3</b>	30 <b>10.0</b>	42 <b>14.0</b>	23 <b>7.7</b>

度数 横%	全 体	豚肉加工品 (ハム・ソーセージ) の発がん性	植物肉(大豆ミート 食品類/ルバー グ、バーガー・パテ、 大豆ミート、牛丼、焼 き肉用加じ等)	細胞培養肉 (食用動物の細胞 を人工培養して 生産する食肉)	不安に感じる ものはない	
	全 体	1800 <b>100</b>	195 <b>10.8</b>	30 <b>1.7</b>	54 <b>3.0</b>	390 <b>21.7</b>
地域	首都圏	900 <b>100</b>	109 <b>12.1</b>	16 <b>1.8</b>	29 <b>3.2</b>	199 <b>22.1</b>
	京阪神圏	900 <b>100</b>	86 <b>9.6</b>	14 <b>1.6</b>	25 <b>2.8</b>	191 <b>21.2</b>
年代	20代	300 <b>100</b>	21 <b>7.0</b>	4 <b>1.3</b>	4 <b>1.3</b>	105 <b>35.0</b>
	30代	300 <b>100</b>	26 <b>8.7</b>	4 <b>1.3</b>	5 <b>1.7</b>	90 <b>30.0</b>
	40代	300 <b>100</b>	41 <b>13.7</b>	10 <b>3.3</b>	16 <b>5.3</b>	77 <b>25.7</b>
	50代	300 <b>100</b>	49 <b>16.3</b>	5 <b>1.7</b>	9 <b>3.0</b>	55 <b>18.3</b>
	60代	300 <b>100</b>	35 <b>11.7</b>	6 <b>2.0</b>	12 <b>4.0</b>	41 <b>13.7</b>
	70代以上	300 <b>100</b>	23 <b>7.7</b>	1 <b>0.3</b>	8 <b>2.7</b>	22 <b>7.3</b>

Q23 「家畜伝染病」についてお伺いします。

悪性の家畜伝染病である口蹄疫、豚熱、アフリカ豚熱、鳥インフルエンザなどは、感染力が強く、有効な予防法と治療法がないことから、発生した場合、他の農場へのまん延防止をはかるため、感染した牛や豚や鶏を殺処分することが法律に定められています。

あなたは、このこと（家畜伝染病に感染したか感染したおそれのある家畜を直ちに全頭殺処分すること）をどの程度ご存じですか。最も近いものを1つだけお選びください。

度数 横%		全 体	詳しく 知っている	ある程度 知っている	何となく 知っている	あまりよく 知らない	知らない	全く知らない
全 体		1800 100	71 3.9	504 28.0	486 27.0	353 19.6	142 7.9	244 13.6
地域	首都圏	900 100	40 4.4	250 27.8	248 27.6	166 18.4	82 9.1	114 12.7
	京阪神圏	900 100	31 3.4	254 28.2	238 26.4	187 20.8	60 6.7	130 14.4
年代	20代	300 100	20 6.7	56 18.7	70 23.3	57 19.0	27 9.0	70 23.3
	30代	300 100	19 6.3	54 18.0	75 25.0	69 23.0	29 9.7	54 18.0
	40代	300 100	6 2.0	63 21.0	78 26.0	72 24.0	29 9.7	52 17.3
	50代	300 100	11 3.7	84 28.0	80 26.7	74 24.7	18 6.0	33 11.0
	60代	300 100	7 2.3	113 37.7	96 32.0	44 14.7	20 6.7	20 6.7
	70代以上	300 100	8 2.7	134 44.7	87 29.0	37 12.3	19 6.3	15 5.0

Q24 口蹄疫について知っている事柄が下記の中にありますか。あてはまるものを全てお選びください。

※家畜伝染病である「口蹄疫」は、アジア地域で発生が拡大し、対象家畜に対する伝染力が強いため、法律によって、この伝染病に感染したか感染したおそれのある家畜を直ちに殺処分することとされています。

度数 横%		全 体	口蹄疫は、牛や豚などの病気であり、人に感染することはない	口蹄疫は、防疫措置が講じられているので感染牛・豚の肉が市場に出回ることはない	日本では、この10年間は、口蹄疫が発生していない	アジアなど日本の周辺国では、口蹄疫が引き続き発生している	仮に口蹄疫にかかった牛や豚の肉等を食べても人体に影響はない	その他	知っているものはない
全 体		1800 <b>100</b>	415 <b>23.1</b>	371 <b>20.6</b>	253 <b>14.1</b>	281 <b>15.6</b>	157 <b>8.7</b>	2 <b>0.1</b>	1002 <b>55.7</b>
地域	首都圏	900 <b>100</b>	215 <b>23.9</b>	196 <b>21.8</b>	125 <b>13.9</b>	153 <b>17.0</b>	77 <b>8.6</b>	0 <b>0.0</b>	493 <b>54.8</b>
	京阪神圏	900 <b>100</b>	200 <b>22.2</b>	175 <b>19.4</b>	128 <b>14.2</b>	128 <b>14.2</b>	80 <b>8.9</b>	2 <b>0.2</b>	509 <b>56.6</b>
年代	20代	300 <b>100</b>	44 <b>14.7</b>	41 <b>13.7</b>	39 <b>13.0</b>	25 <b>8.3</b>	13 <b>4.3</b>	0 <b>0.0</b>	192 <b>64.0</b>
	30代	300 <b>100</b>	55 <b>18.3</b>	43 <b>14.3</b>	38 <b>12.7</b>	39 <b>13.0</b>	21 <b>7.0</b>	1 <b>0.3</b>	187 <b>62.3</b>
	40代	300 <b>100</b>	58 <b>19.3</b>	44 <b>14.7</b>	31 <b>10.3</b>	44 <b>14.7</b>	21 <b>7.0</b>	0 <b>0.0</b>	185 <b>61.7</b>
	50代	300 <b>100</b>	75 <b>25.0</b>	74 <b>24.7</b>	42 <b>14.0</b>	44 <b>14.7</b>	27 <b>9.0</b>	0 <b>0.0</b>	163 <b>54.3</b>
	60代	300 <b>100</b>	88 <b>29.3</b>	73 <b>24.3</b>	49 <b>16.3</b>	51 <b>17.0</b>	38 <b>12.7</b>	0 <b>0.0</b>	148 <b>49.3</b>
	70代以上	300 <b>100</b>	95 <b>31.7</b>	96 <b>32.0</b>	54 <b>18.0</b>	78 <b>26.0</b>	37 <b>12.3</b>	1 <b>0.3</b>	127 <b>42.3</b>

Q25 豚熱について知っている事柄が下記の中にありますか。あてはまるものを全てお選びください。

※家畜伝染病である「豚熱」は、アジア地域で発生が拡大し、対象家畜に対する伝染力が強いため、法律によって、この伝染病に感染したか感染したおそれのある家畜を直ちに殺処分することとされています。

度数 横%		全 体	豚熱は、豚やイノシシの病気で、人に感染することはない	豚熱は、防疫措置が講じられているので感染豚の肉が市場に出回ることはない	仮に豚熱にかかった豚の肉等を食べても人体に影響はない	豚熱のワクチンを接種した豚の肉等を食べても人体に影響はない	豚熱の予防ワクチンはあるが、有効な治療法は今のところない	その他	知っているものはない
全 体		1800 <b>100</b>	300 <b>16.7</b>	301 <b>16.7</b>	185 <b>10.3</b>	133 <b>7.4</b>	144 <b>8.0</b>	1 <b>0.1</b>	1205 <b>66.9</b>
地域	首都圏	900 <b>100</b>	163 <b>18.1</b>	147 <b>16.3</b>	101 <b>11.2</b>	61 <b>6.8</b>	73 <b>8.1</b>	1 <b>0.1</b>	606 <b>67.3</b>
	京阪神圏	900 <b>100</b>	137 <b>15.2</b>	154 <b>17.1</b>	84 <b>9.3</b>	72 <b>8.0</b>	71 <b>7.9</b>	0 <b>0.0</b>	599 <b>66.6</b>
年代	20代	300 <b>100</b>	36 <b>12.0</b>	49 <b>16.3</b>	26 <b>8.7</b>	23 <b>7.7</b>	17 <b>5.7</b>	0 <b>0.0</b>	199 <b>66.3</b>
	30代	300 <b>100</b>	39 <b>13.0</b>	41 <b>13.7</b>	36 <b>12.0</b>	24 <b>8.0</b>	24 <b>8.0</b>	0 <b>0.0</b>	206 <b>68.7</b>
	40代	300 <b>100</b>	55 <b>18.3</b>	39 <b>13.0</b>	29 <b>9.7</b>	16 <b>5.3</b>	16 <b>5.3</b>	0 <b>0.0</b>	211 <b>70.3</b>
	50代	300 <b>100</b>	47 <b>15.7</b>	51 <b>17.0</b>	32 <b>10.7</b>	26 <b>8.7</b>	20 <b>6.7</b>	0 <b>0.0</b>	207 <b>69.0</b>
	60代	300 <b>100</b>	65 <b>21.7</b>	59 <b>19.7</b>	30 <b>10.0</b>	26 <b>8.7</b>	27 <b>9.0</b>	0 <b>0.0</b>	192 <b>64.0</b>
	70代以上	300 <b>100</b>	58 <b>19.3</b>	62 <b>20.7</b>	32 <b>10.7</b>	18 <b>6.0</b>	40 <b>13.3</b>	1 <b>0.3</b>	190 <b>63.3</b>

Q26 アフリカ豚熱について知っている事柄が下記の中にありますか。あてはまるものを全てお選びください。

※家畜伝染病である「アフリカ豚熱」は、アジア地域で発生が拡大し、対象家畜に対する伝染力が強いいため、法律によって、この伝染病に感染したか感染したおそれのある家畜を直ちに殺処分することとされています。

度数横%		全 体	アフリカ豚熱は、豚やインシンの病気であり、人に感染することはない	アフリカ豚熱は、日本ではこれまで発生が確認されていない	仮にアフリカ豚熱にかかった豚の肉等を食べても人体に影響はない	アフリカ豚熱は、豚熱とは全く別の病気である	アフリカ豚熱に有効なワクチンや治療法は今のところない	その他	知っているものはない
全 体		1800 100	203 11.3	211 11.7	143 7.9	103 5.7	104 5.8	0 0.0	1367 75.9
地域	首都圏	900 100	101 11.2	108 12.0	69 7.7	52 5.8	52 5.8	0 0.0	686 76.2
	京阪神圏	900 100	102 11.3	103 11.4	74 8.2	51 5.7	52 5.8	0 0.0	681 75.7
年代	20代	300 100	37 12.3	40 13.3	37 12.3	17 5.7	10 3.3	0 0.0	207 69.0
	30代	300 100	32 10.7	38 12.7	26 8.7	23 7.7	18 6.0	0 0.0	222 74.0
	40代	300 100	29 9.7	27 9.0	22 7.3	13 4.3	12 4.0	0 0.0	237 79.0
	50代	300 100	33 11.0	33 11.0	20 6.7	14 4.7	20 6.7	0 0.0	238 79.3
	60代	300 100	45 15.0	38 12.7	17 5.7	15 5.0	14 4.7	0 0.0	229 76.3
	70代以上	300 100	27 9.0	35 11.7	21 7.0	21 7.0	30 10.0	0 0.0	234 78.0

Q27 鳥インフルエンザについて知っている事柄が下記の中にありますか。あてはまるものを全てお選びください。

※家畜伝染病である「高病原性鳥インフルエンザ」は、世界中で発生が確認され、家きん（鶏など）に対する伝染力が強いいため、法律によって、この伝染病に感染したか感染したおそれのある家きんを直ちに殺処分することとされています。

度数横%		全 体	これまで鶏肉や鶏卵を食べた人に感染した例はない	鳥インフルエンザウイルスが付着した鶏肉や鶏卵を食べても人に感染することはない	市場に出荷される鶏肉、鶏卵には鳥インフルエンザウイルスの付着を防ぐ安全のための措置がとられている	その他	知っているものはない
全 体		1800 100	407 22.6	358 19.9	425 23.6	1 0.1	968 53.8
地域	首都圏	900 100	212 23.6	161 17.9	207 23.0	0 0.0	492 54.7
	京阪神圏	900 100	195 21.7	197 21.9	218 24.2	1 0.1	476 52.9
年代	20代	300 100	50 16.7	61 20.3	40 13.3	0 0.0	183 61.0
	30代	300 100	58 19.3	51 17.0	59 19.7	0 0.0	183 61.0
	40代	300 100	63 21.0	59 19.7	54 18.0	1 0.3	175 58.3
	50代	300 100	71 23.7	62 20.7	79 26.3	0 0.0	158 52.7
	60代	300 100	80 26.7	63 21.0	86 28.7	0 0.0	139 46.3
	70代以上	300 100	85 28.3	62 20.7	107 35.7	0 0.0	130 43.3



Q28 あなたは、個々の問題はあるにしても全体的にみれば、昨年の今頃と比べ、食肉の安全性は高まっていると思いますか、低下していると思いますか。あなたのお考えに最も近いものを1つお選びください。

度数 横%		全 体	高まっている	どちらかといえば 高まっている	どちらとも いえない *	どちらかといえば 低下している	低下している
全 体		1800 <b>100</b>	104 <b>5.8</b>	365 <b>20.3</b>	1142 <b>63.4</b>	109 <b>6.1</b>	80 <b>4.4</b>
地域	首都圏	900 <b>100</b>	57 <b>6.3</b>	176 <b>19.6</b>	589 <b>65.4</b>	45 <b>5.0</b>	33 <b>3.7</b>
	京阪神圏	900 <b>100</b>	47 <b>5.2</b>	189 <b>21.0</b>	553 <b>61.4</b>	64 <b>7.1</b>	47 <b>5.2</b>
年代	20代	300 <b>100</b>	23 <b>7.7</b>	60 <b>20.0</b>	177 <b>59.0</b>	14 <b>4.7</b>	26 <b>8.7</b>
	30代	300 <b>100</b>	21 <b>7.0</b>	57 <b>19.0</b>	189 <b>63.0</b>	20 <b>6.7</b>	13 <b>4.3</b>
	40代	300 <b>100</b>	11 <b>3.7</b>	54 <b>18.0</b>	199 <b>66.3</b>	22 <b>7.3</b>	14 <b>4.7</b>
	50代	300 <b>100</b>	19 <b>6.3</b>	48 <b>16.0</b>	202 <b>67.3</b>	19 <b>6.3</b>	12 <b>4.0</b>
	60代	300 <b>100</b>	12 <b>4.0</b>	62 <b>20.7</b>	200 <b>66.7</b>	18 <b>6.0</b>	8 <b>2.7</b>
	70代以上	300 <b>100</b>	18 <b>6.0</b>	84 <b>28.0</b>	175 <b>58.3</b>	16 <b>5.3</b>	7 <b>2.3</b>

\*「わからない」令和4年より変更

Q29 現在、あなたが食肉の情報を得るために用いている主な情報源（上位3つ）をそれぞれについてお選びください。

(1) 食肉の安全性について

	度数 横%	全 体	テレビのニュース ・報道番組	テレビのワイド ショー・情報番組	ラジオ	新聞	雑誌	インターネット上 のニュースサイト
		全 体	1800 100	1347 74.8	521 28.9	72 4.0	344 19.1	26 1.4
地域	首都圏	900 100	674 74.9	236 26.2	39 4.3	178 19.8	11 1.2	276 30.7
	京阪神圏	900 100	673 74.8	285 31.7	33 3.7	166 18.4	15 1.7	256 28.4
年代	20代	300 100	190 63.3	53 17.7	7 2.3	16 5.3	6 2.0	69 23.0
	30代	300 100	200 66.7	73 24.3	4 1.3	19 6.3	1 0.3	99 33.0
	40代	300 100	195 65.0	69 23.0	17 5.7	30 10.0	5 1.7	84 28.0
	50代	300 100	239 79.7	93 31.0	14 4.7	53 17.7	1 0.3	92 30.7
	60代	300 100	270 90.0	119 39.7	18 6.0	83 27.7	7 2.3	94 31.3
	70代以上	300 100	253 84.3	114 38.0	12 4.0	143 47.7	6 2.0	94 31.3

	度数 横%	全 体	インターネット上の コミュニティサイト (SNS等)	個人のブログ	行政(国、 地方自治体)	公的な研究機関 (大学等)	生産者・ 食品会社	スーパー・小売店
		全 体	1800 100	96 5.3	23 1.3	98 5.4	44 2.4	64 3.6
地域	首都圏	900 100	47 5.2	12 1.3	48 5.3	24 2.7	35 3.9	59 6.6
	京阪神圏	900 100	49 5.4	11 1.2	50 5.6	20 2.2	29 3.2	72 8.0
年代	20代	300 100	26 8.7	6 2.0	10 3.3	5 1.7	8 2.7	22 7.3
	30代	300 100	28 9.3	2 0.7	6 2.0	9 3.0	9 3.0	29 9.7
	40代	300 100	22 7.3	7 2.3	14 4.7	4 1.3	13 4.3	24 8.0
	50代	300 100	6 2.0	6 2.0	14 4.7	9 3.0	10 3.3	22 7.3
	60代	300 100	6 2.0	1 0.3	23 7.7	11 3.7	7 2.3	18 6.0
	70代以上	300 100	8 2.7	1 0.3	31 10.3	6 2.0	17 5.7	16 5.3

	度数 横%	全 体	生協などの 協同組合	学校・病院	NPO・ 消費者団体	家族・知人	その他
		全 体	1800 100	54 3.0	6 0.3	24 1.3	160 8.9
地域	首都圏	900 100	25 2.8	4 0.4	7 0.8	71 7.9	12 1.3
	京阪神圏	900 100	29 3.2	2 0.2	17 1.9	89 9.9	6 0.7
年代	20代	300 100	4 1.3	5 1.7	3 1.0	44 14.7	3 1.0
	30代	300 100	8 2.7	1 0.3	1 0.3	18 6.0	6 2.0
	40代	300 100	8 2.7	0 0.0	3 1.0	30 10.0	5 1.7
	50代	300 100	7 2.3	0 0.0	2 0.7	28 9.3	3 1.0
	60代	300 100	7 2.3	0 0.0	2 0.7	16 5.3	0 0.0
	70代以上	300 100	20 6.7	0 0.0	13 4.3	24 8.0	1 0.3

(2) 食肉の栄養や機能について

		度数 横%	全 体	テレビのニュース ・報道番組	テレビのワイド ショー・情報番組	ラジオ	新聞	雑誌	インターネット上 のニュースサイト
全 体			1800 <b>100</b>	1082 <b>60.1</b>	478 <b>26.6</b>	56 <b>3.1</b>	258 <b>14.3</b>	40 <b>2.2</b>	474 <b>26.3</b>
地域	首都圏		900 <b>100</b>	545 <b>60.6</b>	214 <b>23.8</b>	26 <b>2.9</b>	142 <b>15.8</b>	21 <b>2.3</b>	244 <b>27.1</b>
	京阪神圏		900 <b>100</b>	537 <b>59.7</b>	264 <b>29.3</b>	30 <b>3.3</b>	116 <b>12.9</b>	19 <b>2.1</b>	230 <b>25.6</b>
年代	20代		300 <b>100</b>	157 <b>52.3</b>	54 <b>18.0</b>	7 <b>2.3</b>	13 <b>4.3</b>	10 <b>3.3</b>	58 <b>19.3</b>
	30代		300 <b>100</b>	173 <b>57.7</b>	72 <b>24.0</b>	4 <b>1.3</b>	12 <b>4.0</b>	2 <b>0.7</b>	91 <b>30.3</b>
	40代		300 <b>100</b>	167 <b>55.7</b>	64 <b>21.3</b>	10 <b>3.3</b>	23 <b>7.7</b>	4 <b>1.3</b>	76 <b>25.3</b>
	50代		300 <b>100</b>	200 <b>66.7</b>	67 <b>22.3</b>	11 <b>3.7</b>	43 <b>14.3</b>	5 <b>1.7</b>	88 <b>29.3</b>
	60代		300 <b>100</b>	200 <b>66.7</b>	109 <b>36.3</b>	15 <b>5.0</b>	59 <b>19.7</b>	9 <b>3.0</b>	88 <b>29.3</b>
	70代以上		300 <b>100</b>	185 <b>61.7</b>	112 <b>37.3</b>	9 <b>3.0</b>	108 <b>36.0</b>	10 <b>3.3</b>	73 <b>24.3</b>

		度数 横%	全 体	インターネット上の コミュニティサイト (SNS等)	個人のブログ	行政（国、 地方自治体）	公的な研究機関 (大学等)	生産者・ 食品会社	スーパー・小売店
全 体			1800 <b>100</b>	104 <b>5.8</b>	20 <b>1.1</b>	79 <b>4.4</b>	51 <b>2.8</b>	86 <b>4.8</b>	146 <b>8.1</b>
地域	首都圏		900 <b>100</b>	52 <b>5.8</b>	10 <b>1.1</b>	34 <b>3.8</b>	26 <b>2.9</b>	47 <b>5.2</b>	67 <b>7.4</b>
	京阪神圏		900 <b>100</b>	52 <b>5.8</b>	10 <b>1.1</b>	45 <b>5.0</b>	25 <b>2.8</b>	39 <b>4.3</b>	79 <b>8.8</b>
年代	20代		300 <b>100</b>	35 <b>11.7</b>	3 <b>1.0</b>	8 <b>2.7</b>	9 <b>3.0</b>	8 <b>2.7</b>	19 <b>6.3</b>
	30代		300 <b>100</b>	27 <b>9.0</b>	2 <b>0.7</b>	6 <b>2.0</b>	9 <b>3.0</b>	7 <b>2.3</b>	29 <b>9.7</b>
	40代		300 <b>100</b>	16 <b>5.3</b>	6 <b>2.0</b>	8 <b>2.7</b>	4 <b>1.3</b>	14 <b>4.7</b>	26 <b>8.7</b>
	50代		300 <b>100</b>	7 <b>2.3</b>	5 <b>1.7</b>	12 <b>4.0</b>	9 <b>3.0</b>	14 <b>4.7</b>	25 <b>8.3</b>
	60代		300 <b>100</b>	10 <b>3.3</b>	3 <b>1.0</b>	15 <b>5.0</b>	12 <b>4.0</b>	16 <b>5.3</b>	27 <b>9.0</b>
	70代以上		300 <b>100</b>	9 <b>3.0</b>	1 <b>0.3</b>	30 <b>10.0</b>	8 <b>2.7</b>	27 <b>9.0</b>	20 <b>6.7</b>

		度数 横%	全 体	生協などの 協同組合	学校・病院	NPO・ 消費者団体	家族・知人	その他
全 体			1800 <b>100</b>	58 <b>3.2</b>	15 <b>0.8</b>	27 <b>1.5</b>	167 <b>9.3</b>	24 <b>1.3</b>
地域	首都圏		900 <b>100</b>	31 <b>3.4</b>	7 <b>0.8</b>	11 <b>1.2</b>	76 <b>8.4</b>	15 <b>1.7</b>
	京阪神圏		900 <b>100</b>	27 <b>3.0</b>	8 <b>0.9</b>	16 <b>1.8</b>	91 <b>10.1</b>	9 <b>1.0</b>
年代	20代		300 <b>100</b>	5 <b>1.7</b>	2 <b>0.7</b>	3 <b>1.0</b>	42 <b>14.0</b>	3 <b>1.0</b>
	30代		300 <b>100</b>	3 <b>1.0</b>	2 <b>0.7</b>	2 <b>0.7</b>	21 <b>7.0</b>	6 <b>2.0</b>
	40代		300 <b>100</b>	7 <b>2.3</b>	1 <b>0.3</b>	3 <b>1.0</b>	31 <b>10.3</b>	7 <b>2.3</b>
	50代		300 <b>100</b>	10 <b>3.3</b>	0 <b>0.0</b>	3 <b>1.0</b>	28 <b>9.3</b>	3 <b>1.0</b>
	60代		300 <b>100</b>	8 <b>2.7</b>	4 <b>1.3</b>	3 <b>1.0</b>	20 <b>6.7</b>	2 <b>0.7</b>
	70代以上		300 <b>100</b>	25 <b>8.3</b>	6 <b>2.0</b>	13 <b>4.3</b>	25 <b>8.3</b>	3 <b>1.0</b>

Q30 では、あなたが信頼できる情報源（上位3つ）をそれぞれについてお選びください。

(1) 食肉の安全性について

		度数 横%	全 体	テレビのニュース ・報道番組	テレビのワイド ショー・情報番組	ラジオ	新聞	雑誌	インターネット上 のニュースサイト
全 体			1800 100	1127 62.6	403 22.4	66 3.7	356 19.8	41 2.3	368 20.4
地域	首都圏		900 100	558 62.0	192 21.3	32 3.6	184 20.4	21 2.3	190 21.1
	京阪神圏		900 100	569 63.2	211 23.4	34 3.8	172 19.1	20 2.2	178 19.8
年代	20代		300 100	158 52.7	48 16.0	12 4.0	19 6.3	12 4.0	45 15.0
	30代		300 100	170 56.7	56 18.7	6 2.0	21 7.0	6 2.0	73 24.3
	40代		300 100	170 56.7	60 20.0	16 5.3	29 9.7	5 1.7	60 20.0
	50代		300 100	199 66.3	71 23.7	10 3.3	65 21.7	4 1.3	61 20.3
	60代		300 100	211 70.3	78 26.0	12 4.0	85 28.3	6 2.0	58 19.3
	70代以上		300 100	219 73.0	90 30.0	10 3.3	137 45.7	8 2.7	71 23.7

		度数 横%	全 体	インターネット上の コミュニティサイト (SNS等)	個人のブログ	行政(国、 地方自治体)	公的な研究機関 (大学等)	生産者・ 食品会社	スーパー・小売店
全 体			1800 100	93 5.2	28 1.6	228 12.7	188 10.4	70 3.9	80 4.4
地域	首都圏		900 100	51 5.7	14 1.6	100 11.1	100 11.1	37 4.1	36 4.0
	京阪神圏		900 100	42 4.7	14 1.6	128 14.2	88 9.8	33 3.7	44 4.9
年代	20代		300 100	30 10.0	5 1.7	24 8.0	18 6.0	10 3.3	11 3.7
	30代		300 100	19 6.3	4 1.3	26 8.7	26 8.7	16 5.3	14 4.7
	40代		300 100	24 8.0	7 2.3	18 6.0	21 7.0	11 3.7	18 6.0
	50代		300 100	9 3.0	5 1.7	43 14.3	32 10.7	11 3.7	16 5.3
	60代		300 100	6 2.0	4 1.3	54 18.0	45 15.0	12 4.0	10 3.3
	70代以上		300 100	5 1.7	3 1.0	63 21.0	46 15.3	10 3.3	11 3.7

		度数 横%	全 体	生協などの 協同組合	学校・病院	NPO・ 消費者団体	家族・知人	その他	上記の中に信頼で きる情報源はない
全 体			1800 100	63 3.5	27 1.5	58 3.2	111 6.2	3 0.2	171 9.5
地域	首都圏		900 100	32 3.6	13 1.4	23 2.6	52 5.8	2 0.2	85 9.4
	京阪神圏		900 100	31 3.4	14 1.6	35 3.9	59 6.6	1 0.1	86 9.6
年代	20代		300 100	2 0.7	7 2.3	5 1.7	21 7.0	0 0.0	40 13.3
	30代		300 100	5 1.7	6 2.0	4 1.3	16 5.3	0 0.0	39 13.0
	40代		300 100	8 2.7	5 1.7	5 1.7	20 6.7	2 0.7	33 11.0
	50代		300 100	12 4.0	3 1.0	6 2.0	18 6.0	1 0.3	29 9.7
	60代		300 100	10 3.3	4 1.3	15 5.0	20 6.7	0 0.0	18 6.0
	70代以上		300 100	26 8.7	2 0.7	23 7.7	16 5.3	0 0.0	12 4.0

(2) 食肉の栄養や機能について

		度数 横%	全 体	テレビのニュース ・報道番組	テレビのワイド ショー・情報番組	ラジオ	新聞	雑誌	インターネット上 のニュースサイト
全 体			1800 <b>100</b>	975 <b>54.2</b>	369 <b>20.5</b>	57 <b>3.2</b>	293 <b>16.3</b>	42 <b>2.3</b>	346 <b>19.2</b>
地域	首都圏		900 <b>100</b>	482 <b>53.6</b>	180 <b>20.0</b>	31 <b>3.4</b>	153 <b>17.0</b>	27 <b>3.0</b>	176 <b>19.6</b>
	京阪神圏		900 <b>100</b>	493 <b>54.8</b>	189 <b>21.0</b>	26 <b>2.9</b>	140 <b>15.6</b>	15 <b>1.7</b>	170 <b>18.9</b>
年代	20代		300 <b>100</b>	142 <b>47.3</b>	43 <b>14.3</b>	11 <b>3.7</b>	18 <b>6.0</b>	9 <b>3.0</b>	45 <b>15.0</b>
	30代		300 <b>100</b>	152 <b>50.7</b>	51 <b>17.0</b>	7 <b>2.3</b>	17 <b>5.7</b>	6 <b>2.0</b>	67 <b>22.3</b>
	40代		300 <b>100</b>	154 <b>51.3</b>	55 <b>18.3</b>	13 <b>4.3</b>	22 <b>7.3</b>	5 <b>1.7</b>	61 <b>20.3</b>
	50代		300 <b>100</b>	168 <b>56.0</b>	57 <b>19.0</b>	9 <b>3.0</b>	51 <b>17.0</b>	6 <b>2.0</b>	61 <b>20.3</b>
	60代		300 <b>100</b>	181 <b>60.3</b>	78 <b>26.0</b>	9 <b>3.0</b>	69 <b>23.0</b>	7 <b>2.3</b>	60 <b>20.0</b>
	70代以上		300 <b>100</b>	178 <b>59.3</b>	85 <b>28.3</b>	8 <b>2.7</b>	116 <b>38.7</b>	9 <b>3.0</b>	52 <b>17.3</b>

		度数 横%	全 体	インターネット上の コミュニティサイト (SNS等)	個人のブログ	行政(国、 地方自治体)	公的な研究機関 (大学等)	生産者・ 食品会社	スーパー・小売店
全 体			1800 <b>100</b>	88 <b>4.9</b>	25 <b>1.4</b>	202 <b>11.2</b>	196 <b>10.9</b>	92 <b>5.1</b>	97 <b>5.4</b>
地域	首都圏		900 <b>100</b>	45 <b>5.0</b>	15 <b>1.7</b>	92 <b>10.2</b>	102 <b>11.3</b>	43 <b>4.8</b>	46 <b>5.1</b>
	京阪神圏		900 <b>100</b>	43 <b>4.8</b>	10 <b>1.1</b>	110 <b>12.2</b>	94 <b>10.4</b>	49 <b>5.4</b>	51 <b>5.7</b>
年代	20代		300 <b>100</b>	24 <b>8.0</b>	5 <b>1.7</b>	20 <b>6.7</b>	19 <b>6.3</b>	15 <b>5.0</b>	14 <b>4.7</b>
	30代		300 <b>100</b>	20 <b>6.7</b>	4 <b>1.3</b>	24 <b>8.0</b>	28 <b>9.3</b>	16 <b>5.3</b>	18 <b>6.0</b>
	40代		300 <b>100</b>	23 <b>7.7</b>	3 <b>1.0</b>	16 <b>5.3</b>	21 <b>7.0</b>	13 <b>4.3</b>	19 <b>6.3</b>
	50代		300 <b>100</b>	10 <b>3.3</b>	7 <b>2.3</b>	40 <b>13.3</b>	34 <b>11.3</b>	12 <b>4.0</b>	15 <b>5.0</b>
	60代		300 <b>100</b>	5 <b>1.7</b>	2 <b>0.7</b>	47 <b>15.7</b>	45 <b>15.0</b>	16 <b>5.3</b>	17 <b>5.7</b>
	70代以上		300 <b>100</b>	6 <b>2.0</b>	4 <b>1.3</b>	55 <b>18.3</b>	49 <b>16.3</b>	20 <b>6.7</b>	14 <b>4.7</b>

		度数 横%	全 体	生協などの 協同組合	学校・病院	NPO・ 消費者団体	家族・知人	その他	上記の中に信頼で きる情報源はない
全 体			1800 <b>100</b>	71 <b>3.9</b>	35 <b>1.9</b>	51 <b>2.8</b>	111 <b>6.2</b>	4 <b>0.2</b>	188 <b>10.4</b>
地域	首都圏		900 <b>100</b>	41 <b>4.6</b>	17 <b>1.9</b>	22 <b>2.4</b>	53 <b>5.9</b>	3 <b>0.3</b>	94 <b>10.4</b>
	京阪神圏		900 <b>100</b>	30 <b>3.3</b>	18 <b>2.0</b>	29 <b>3.2</b>	58 <b>6.4</b>	1 <b>0.1</b>	94 <b>10.4</b>
年代	20代		300 <b>100</b>	7 <b>2.3</b>	6 <b>2.0</b>	6 <b>2.0</b>	21 <b>7.0</b>	0 <b>0.0</b>	40 <b>13.3</b>
	30代		300 <b>100</b>	7 <b>2.3</b>	6 <b>2.0</b>	6 <b>2.0</b>	16 <b>5.3</b>	0 <b>0.0</b>	41 <b>13.7</b>
	40代		300 <b>100</b>	7 <b>2.3</b>	7 <b>2.3</b>	3 <b>1.0</b>	20 <b>6.7</b>	1 <b>0.3</b>	36 <b>12.0</b>
	50代		300 <b>100</b>	12 <b>4.0</b>	4 <b>1.3</b>	3 <b>1.0</b>	19 <b>6.3</b>	1 <b>0.3</b>	34 <b>11.3</b>
	60代		300 <b>100</b>	13 <b>4.3</b>	4 <b>1.3</b>	14 <b>4.7</b>	17 <b>5.7</b>	0 <b>0.0</b>	21 <b>7.0</b>
	70代以上		300 <b>100</b>	25 <b>8.3</b>	8 <b>2.7</b>	19 <b>6.3</b>	18 <b>6.0</b>	2 <b>0.7</b>	16 <b>5.3</b>

Q31 あなたは、次の各機関や事業者などが食肉の安全性を確保するために行っている取組についてどの程度信頼できますか。それぞれの事項について、あなたのお考えに最も近いものを1つお選びください。

【1. 農林水産省】

度数 横%		全 体	信頼できる	どちらかといえば 信頼できる	どちらとも いえない	どちらかといえば 信頼できない	信頼できない	どのような取組 をしているか わからない
全 体		1800 100	187 10.4	534 29.7	568 31.6	131 7.3	118 6.6	262 14.6
地域	首都圏	900 100	105 11.7	260 28.9	293 32.6	58 6.4	57 6.3	127 14.1
	京阪神圏	900 100	82 9.1	274 30.4	275 30.6	73 8.1	61 6.8	135 15.0
年代	20代	300 100	45 15.0	67 22.3	89 29.7	26 8.7	10 3.3	63 21.0
	30代	300 100	40 13.3	72 24.0	87 29.0	14 4.7	16 5.3	71 23.7
	40代	300 100	18 6.0	69 23.0	110 36.7	21 7.0	23 7.7	59 19.7
	50代	300 100	27 9.0	95 31.7	99 33.0	25 8.3	28 9.3	26 8.7
	60代	300 100	18 6.0	113 37.7	97 32.3	23 7.7	22 7.3	27 9.0
	70代以上	300 100	39 13.0	118 39.3	86 28.7	22 7.3	19 6.3	16 5.3

【2. 厚生労働省】

度数 横%		全 体	信頼できる	どちらかといえば 信頼できる	どちらとも いえない	どちらかといえば 信頼できない	信頼できない	どのような取組 をしているか わからない
全 体		1800 100	161 8.9	483 26.8	608 33.8	150 8.3	126 7.0	272 15.1
地域	首都圏	900 100	91 10.1	234 26.0	319 35.4	62 6.9	68 7.6	126 14.0
	京阪神圏	900 100	70 7.8	249 27.7	289 32.1	88 9.8	58 6.4	146 16.2
年代	20代	300 100	38 12.7	64 21.3	104 34.7	24 8.0	9 3.0	61 20.3
	30代	300 100	33 11.0	67 22.3	90 30.0	24 8.0	13 4.3	73 24.3
	40代	300 100	14 4.7	65 21.7	108 36.0	27 9.0	28 9.3	58 19.3
	50代	300 100	26 8.7	79 26.3	110 36.7	24 8.0	29 9.7	32 10.7
	60代	300 100	18 6.0	95 31.7	108 36.0	23 7.7	26 8.7	30 10.0
	70代以上	300 100	32 10.7	113 37.7	88 29.3	28 9.3	21 7.0	18 6.0

【3. 地方自治体】

		度数 横%	全 体	信頼できる	どちらかといえば 信頼できる	どちらとも いえない	どちらかといえば 信頼できない	信頼できない	どのような取組 をしているか わからない
全 体			1800 <b>100</b>	130 <b>7.2</b>	496 <b>27.6</b>	659 <b>36.6</b>	140 <b>7.8</b>	89 <b>4.9</b>	286 <b>15.9</b>
地域	首都圏		900 <b>100</b>	71 <b>7.9</b>	240 <b>26.7</b>	343 <b>38.1</b>	62 <b>6.9</b>	48 <b>5.3</b>	136 <b>15.1</b>
	京阪神圏		900 <b>100</b>	59 <b>6.6</b>	256 <b>28.4</b>	316 <b>35.1</b>	78 <b>8.7</b>	41 <b>4.6</b>	150 <b>16.7</b>
年代	20代		300 <b>100</b>	26 <b>8.7</b>	64 <b>21.3</b>	101 <b>33.7</b>	36 <b>12.0</b>	11 <b>3.7</b>	62 <b>20.7</b>
	30代		300 <b>100</b>	26 <b>8.7</b>	69 <b>23.0</b>	98 <b>32.7</b>	23 <b>7.7</b>	11 <b>3.7</b>	73 <b>24.3</b>
	40代		300 <b>100</b>	10 <b>3.3</b>	67 <b>22.3</b>	128 <b>42.7</b>	17 <b>5.7</b>	20 <b>6.7</b>	58 <b>19.3</b>
	50代		300 <b>100</b>	25 <b>8.3</b>	88 <b>29.3</b>	116 <b>38.7</b>	18 <b>6.0</b>	20 <b>6.7</b>	33 <b>11.0</b>
	60代		300 <b>100</b>	12 <b>4.0</b>	104 <b>34.7</b>	113 <b>37.7</b>	23 <b>7.7</b>	14 <b>4.7</b>	34 <b>11.3</b>
	70代以上		300 <b>100</b>	31 <b>10.3</b>	104 <b>34.7</b>	103 <b>34.3</b>	23 <b>7.7</b>	13 <b>4.3</b>	26 <b>8.7</b>

【4. 畜産農家】

		度数 横%	全 体	信頼できる	どちらかといえば 信頼できる	どちらとも いえない	どちらかといえば 信頼できない	信頼できない	どのような取組 をしているか わからない
全 体			1800 <b>100</b>	138 <b>7.7</b>	482 <b>26.8</b>	712 <b>39.6</b>	130 <b>7.2</b>	76 <b>4.2</b>	262 <b>14.6</b>
地域	首都圏		900 <b>100</b>	71 <b>7.9</b>	245 <b>27.2</b>	357 <b>39.7</b>	63 <b>7.0</b>	39 <b>4.3</b>	125 <b>13.9</b>
	京阪神圏		900 <b>100</b>	67 <b>7.4</b>	237 <b>26.3</b>	355 <b>39.4</b>	67 <b>7.4</b>	37 <b>4.1</b>	137 <b>15.2</b>
年代	20代		300 <b>100</b>	29 <b>9.7</b>	61 <b>20.3</b>	115 <b>38.3</b>	23 <b>7.7</b>	12 <b>4.0</b>	60 <b>20.0</b>
	30代		300 <b>100</b>	26 <b>8.7</b>	82 <b>27.3</b>	88 <b>29.3</b>	24 <b>8.0</b>	11 <b>3.7</b>	69 <b>23.0</b>
	40代		300 <b>100</b>	23 <b>7.7</b>	67 <b>22.3</b>	122 <b>40.7</b>	20 <b>6.7</b>	13 <b>4.3</b>	55 <b>18.3</b>
	50代		300 <b>100</b>	27 <b>9.0</b>	83 <b>27.7</b>	126 <b>42.0</b>	16 <b>5.3</b>	20 <b>6.7</b>	28 <b>9.3</b>
	60代		300 <b>100</b>	14 <b>4.7</b>	95 <b>31.7</b>	125 <b>41.7</b>	24 <b>8.0</b>	15 <b>5.0</b>	27 <b>9.0</b>
	70代以上		300 <b>100</b>	19 <b>6.3</b>	94 <b>31.3</b>	136 <b>45.3</b>	23 <b>7.7</b>	5 <b>1.7</b>	23 <b>7.7</b>

【5. 食肉卸売業者】

		度数 横%	全 体	信頼できる	どちらかといえば 信頼できる	どちらとも いえない	どちらかといえば 信頼できない	信頼できない	どのような取組 をしているか わからない
全 体			1800 <b>100</b>	69 <b>3.8</b>	301 <b>16.7</b>	773 <b>42.9</b>	252 <b>14.0</b>	133 <b>7.4</b>	272 <b>15.1</b>
地域	首都圏		900 <b>100</b>	40 <b>4.4</b>	158 <b>17.6</b>	392 <b>43.6</b>	116 <b>12.9</b>	62 <b>6.9</b>	132 <b>14.7</b>
	京阪神圏		900 <b>100</b>	29 <b>3.2</b>	143 <b>15.9</b>	381 <b>42.3</b>	136 <b>15.1</b>	71 <b>7.9</b>	140 <b>15.6</b>
年代	20代		300 <b>100</b>	19 <b>6.3</b>	56 <b>18.7</b>	113 <b>37.7</b>	42 <b>14.0</b>	11 <b>3.7</b>	59 <b>19.7</b>
	30代		300 <b>100</b>	14 <b>4.7</b>	49 <b>16.3</b>	116 <b>38.7</b>	34 <b>11.3</b>	15 <b>5.0</b>	72 <b>24.0</b>
	40代		300 <b>100</b>	8 <b>2.7</b>	40 <b>13.3</b>	135 <b>45.0</b>	38 <b>12.7</b>	22 <b>7.3</b>	57 <b>19.0</b>
	50代		300 <b>100</b>	16 <b>5.3</b>	54 <b>18.0</b>	131 <b>43.7</b>	38 <b>12.7</b>	33 <b>11.0</b>	28 <b>9.3</b>
	60代		300 <b>100</b>	4 <b>1.3</b>	50 <b>16.7</b>	128 <b>42.7</b>	55 <b>18.3</b>	32 <b>10.7</b>	31 <b>10.3</b>
	70代以上		300 <b>100</b>	8 <b>2.7</b>	52 <b>17.3</b>	150 <b>50.0</b>	45 <b>15.0</b>	20 <b>6.7</b>	25 <b>8.3</b>

【6. 食肉小売業者】

度数 横%		全 体	信頼できる	どちらかといえば 信頼できる	どちらとも いえない	どちらかといえば 信頼できない	信頼できない	どのような取組 をしているか わからない
全 体		1800 <b>100</b>	68 <b>3.8</b>	287 <b>15.9</b>	814 <b>45.2</b>	234 <b>13.0</b>	120 <b>6.7</b>	277 <b>15.4</b>
地域	首都圏	900 <b>100</b>	36 <b>4.0</b>	154 <b>17.1</b>	418 <b>46.4</b>	105 <b>11.7</b>	55 <b>6.1</b>	132 <b>14.7</b>
	京阪神圏	900 <b>100</b>	32 <b>3.6</b>	133 <b>14.8</b>	396 <b>44.0</b>	129 <b>14.3</b>	65 <b>7.2</b>	145 <b>16.1</b>
年代	20代	300 <b>100</b>	26 <b>8.7</b>	42 <b>14.0</b>	132 <b>44.0</b>	30 <b>10.0</b>	9 <b>3.0</b>	61 <b>20.3</b>
	30代	300 <b>100</b>	10 <b>3.3</b>	51 <b>17.0</b>	119 <b>39.7</b>	33 <b>11.0</b>	13 <b>4.3</b>	74 <b>24.7</b>
	40代	300 <b>100</b>	6 <b>2.0</b>	44 <b>14.7</b>	140 <b>46.7</b>	30 <b>10.0</b>	21 <b>7.0</b>	59 <b>19.7</b>
	50代	300 <b>100</b>	15 <b>5.0</b>	51 <b>17.0</b>	137 <b>45.7</b>	41 <b>13.7</b>	29 <b>9.7</b>	27 <b>9.0</b>
	60代	300 <b>100</b>	4 <b>1.3</b>	47 <b>15.7</b>	140 <b>46.7</b>	49 <b>16.3</b>	28 <b>9.3</b>	32 <b>10.7</b>
	70代以上	300 <b>100</b>	7 <b>2.3</b>	52 <b>17.3</b>	146 <b>48.7</b>	51 <b>17.0</b>	20 <b>6.7</b>	24 <b>8.0</b>

【7. 食肉を扱う外食店】

度数 横%		全 体	信頼できる	どちらかといえば 信頼できる	どちらとも いえない	どちらかといえば 信頼できない	信頼できない	どのような取組 をしているか わからない
全 体		1800 <b>100</b>	60 <b>3.3</b>	243 <b>13.5</b>	831 <b>46.2</b>	262 <b>14.6</b>	124 <b>6.9</b>	280 <b>15.6</b>
地域	首都圏	900 <b>100</b>	32 <b>3.6</b>	122 <b>13.6</b>	430 <b>47.8</b>	122 <b>13.6</b>	58 <b>6.4</b>	136 <b>15.1</b>
	京阪神圏	900 <b>100</b>	28 <b>3.1</b>	121 <b>13.4</b>	401 <b>44.6</b>	140 <b>15.6</b>	66 <b>7.3</b>	144 <b>16.0</b>
年代	20代	300 <b>100</b>	21 <b>7.0</b>	42 <b>14.0</b>	131 <b>43.7</b>	33 <b>11.0</b>	13 <b>4.3</b>	60 <b>20.0</b>
	30代	300 <b>100</b>	10 <b>3.3</b>	43 <b>14.3</b>	125 <b>41.7</b>	36 <b>12.0</b>	13 <b>4.3</b>	73 <b>24.3</b>
	40代	300 <b>100</b>	8 <b>2.7</b>	31 <b>10.3</b>	148 <b>49.3</b>	33 <b>11.0</b>	17 <b>5.7</b>	63 <b>21.0</b>
	50代	300 <b>100</b>	13 <b>4.3</b>	42 <b>14.0</b>	135 <b>45.0</b>	55 <b>18.3</b>	29 <b>9.7</b>	26 <b>8.7</b>
	60代	300 <b>100</b>	2 <b>0.7</b>	41 <b>13.7</b>	150 <b>50.0</b>	46 <b>15.3</b>	29 <b>9.7</b>	32 <b>10.7</b>
	70代以上	300 <b>100</b>	6 <b>2.0</b>	44 <b>14.7</b>	142 <b>47.3</b>	59 <b>19.7</b>	23 <b>7.7</b>	26 <b>8.7</b>



Q32 情報提供において、あなたが行政に期待すること（上位3つ）をそれぞれについてお選びください。

(1) 食肉の安全性について

度数 横%		全 体	正確な情報の提供	迅速な情報の提供	わかりやすい情報の提供	科学的根拠に基づいた情報の提供	ネガティブな(マイナスの、あるいは都合の悪い)情報も包み隠さず開示	中立・公平な立場での見解	食品表示制度の改善	情報へのアクセスのしやすさ
全 体		1800 100	1374 76.3	567 31.5	572 31.8	375 20.8	400 22.2	278 15.4	134 7.4	77 4.3
地域	首都圏	900 100	695 77.2	288 32.0	285 31.7	192 21.3	200 22.2	127 14.1	67 7.4	43 4.8
	京阪神圏	900 100	679 75.4	279 31.0	287 31.9	183 20.3	200 22.2	151 16.8	67 7.4	34 3.8
年代	20代	300 100	194 64.7	73 24.3	74 24.7	36 12.0	47 15.7	19 6.3	14 4.7	22 7.3
	30代	300 100	205 68.3	73 24.3	84 28.0	42 14.0	67 22.3	41 13.7	20 6.7	11 3.7
	40代	300 100	212 70.7	81 27.0	95 31.7	51 17.0	66 22.0	40 13.3	20 6.7	13 4.3
	50代	300 100	248 82.7	100 33.3	98 32.7	51 17.0	73 24.3	51 17.0	26 8.7	7 2.3
	60代	300 100	254 84.7	116 38.7	98 32.7	84 28.0	71 23.7	71 23.7	27 9.0	12 4.0
	70代以上	300 100	261 87.0	124 41.3	123 41.0	111 37.0	76 25.3	56 18.7	27 9.0	12 4.0

度数 横%		全 体	ウェブサイトの充実	メールマガジンの発信	パンフレット・広報誌の充実	消費者の相談を受ける窓口の設置	説明会などの開催	意見交換会など双方向型のコミュニケーションの場の設置	その他
全 体		1800 100	54 3.0	21 1.2	25 1.4	82 4.6	22 1.2	55 3.1	19 1.1
地域	首都圏	900 100	27 3.0	8 0.9	13 1.4	37 4.1	11 1.2	22 2.4	11 1.2
	京阪神圏	900 100	27 3.0	13 1.4	12 1.3	45 5.0	11 1.2	33 3.7	8 0.9
年代	20代	300 100	9 3.0	5 1.7	9 3.0	14 4.7	6 2.0	23 7.7	3 1.0
	30代	300 100	13 4.3	4 1.3	4 1.3	15 5.0	4 1.3	12 4.0	4 1.3
	40代	300 100	11 3.7	5 1.7	5 1.7	19 6.3	2 0.7	10 3.3	4 1.3
	50代	300 100	8 2.7	2 0.7	1 0.3	10 3.3	1 0.3	5 1.7	6 2.0
	60代	300 100	7 2.3	3 1.0	2 0.7	13 4.3	2 0.7	1 0.3	0 0.0
	70代以上	300 100	6 2.0	2 0.7	4 1.3	11 3.7	7 2.3	4 1.3	2 0.7

(2) 食肉の栄養や機能について

度数 横%		全 体	正確な情報 の提供	迅速な情報 の提供	わかりやすい 情報の提供	科学的根拠 に基づいた 情報の提供	ネガティブな(マ イナスの、ある いは都合の悪い)情報も包 み隠さず開示	中立・公平な 立場での見解	食品表示制 度の改善	情報へのアク セスのしやすさ
全 体		1800 100	1223 67.9	408 22.7	623 34.6	388 21.6	293 16.3	257 14.3	150 8.3	94 5.2
地域	首都圏	900 100	610 67.8	198 22.0	314 34.9	199 22.1	156 17.3	117 13.0	81 9.0	45 5.0
	京阪神圏	900 100	613 68.1	210 23.3	309 34.3	189 21.0	137 15.2	140 15.6	69 7.7	49 5.4
年代	20代	300 100	171 57.0	59 19.7	76 25.3	37 12.3	39 13.0	14 4.7	14 4.7	22 7.3
	30代	300 100	194 64.7	56 18.7	87 29.0	43 14.3	57 19.0	34 11.3	20 6.7	11 3.7
	40代	300 100	193 64.3	61 20.3	98 32.7	52 17.3	47 15.7	36 12.0	22 7.3	21 7.0
	50代	300 100	212 70.7	79 26.3	100 33.3	56 18.7	58 19.3	45 15.0	27 9.0	11 3.7
	60代	300 100	223 74.3	75 25.0	119 39.7	92 30.7	44 14.7	66 22.0	30 10.0	14 4.7
	70代以上	300 100	230 76.7	78 26.0	143 47.7	108 36.0	48 16.0	62 20.7	37 12.3	15 5.0

度数 横%		全 体	ウェブサイトの 充実	メールマガジ ンの発信	パンフレット・ 広報誌の 充実	消費者の 相談を受ける 窓口の設置	説明会などの 開催	意見交換会 など双方向型 のコミュニケ ーションの場 の設置	その他
全 体		1800 100	79 4.4	25 1.4	40 2.2	72 4.0	27 1.5	55 3.1	20 1.1
地域	首都圏	900 100	43 4.8	11 1.2	19 2.1	33 3.7	14 1.6	21 2.3	12 1.3
	京阪神圏	900 100	36 4.0	14 1.6	21 2.3	39 4.3	13 1.4	34 3.8	8 0.9
年代	20代	300 100	14 4.7	7 2.3	3 1.0	17 5.7	8 2.7	22 7.3	3 1.0
	30代	300 100	9 3.0	5 1.7	2 0.7	15 5.0	3 1.0	13 4.3	4 1.3
	40代	300 100	14 4.7	6 2.0	4 1.3	11 3.7	3 1.0	9 3.0	5 1.7
	50代	300 100	14 4.7	2 0.7	6 2.0	10 3.3	0 0.0	5 1.7	6 2.0
	60代	300 100	16 5.3	4 1.3	12 4.0	13 4.3	5 1.7	1 0.3	0 0.0
	70代以上	300 100	12 4.0	1 0.3	13 4.3	6 2.0	8 2.7	5 1.7	2 0.7

Q33 あなたは、「持続可能な開発目標（SDGs）」についてご存知ですか。

度数 横%		全 体	詳しく 知っている	ある程度 知っている	「持続可能な開発目標 (SDGs)」という言葉は聞 いたことがある・知っている	知らない
全 体		1800 <b>100</b>	110 <b>6.1</b>	727 <b>40.4</b>	627 <b>34.8</b>	336 <b>18.7</b>
地域	首都圏	900 <b>100</b>	57 <b>6.3</b>	385 <b>42.8</b>	305 <b>33.9</b>	153 <b>17.0</b>
	京阪神圏	900 <b>100</b>	53 <b>5.9</b>	342 <b>38.0</b>	322 <b>35.8</b>	183 <b>20.3</b>
年代	20代	300 <b>100</b>	29 <b>9.7</b>	92 <b>30.7</b>	93 <b>31.0</b>	86 <b>28.7</b>
	30代	300 <b>100</b>	26 <b>8.7</b>	113 <b>37.7</b>	104 <b>34.7</b>	57 <b>19.0</b>
	40代	300 <b>100</b>	15 <b>5.0</b>	102 <b>34.0</b>	110 <b>36.7</b>	73 <b>24.3</b>
	50代	300 <b>100</b>	12 <b>4.0</b>	124 <b>41.3</b>	118 <b>39.3</b>	46 <b>15.3</b>
	60代	300 <b>100</b>	17 <b>5.7</b>	155 <b>51.7</b>	93 <b>31.0</b>	35 <b>11.7</b>
	70代以上	300 <b>100</b>	11 <b>3.7</b>	141 <b>47.0</b>	109 <b>36.3</b>	39 <b>13.0</b>

Q34 以下の文章をお読みいただき、ご回答ください。

日本では持続可能な開発目標(SDGs)を踏まえ、農林水産分野における環境負荷軽減や持続的な農業システムの構築に向けた取組が加速しています。

日本の温室効果ガスの排出量の1%を占める酪農・畜産でも、家畜の消化管内発酵(牛等のげっぷ)由来のメタンや家畜排せつ物由来のメタンや一酸化二窒素などの温室効果ガスの削減のための取組が進められています。

※温室効果ガス:大気中に熱を吸収する性質を持つガス(二酸化炭素、メタン、一酸化二窒素、フロンガス等)で、大気中の温室効果ガスが増えると、温室効果が強くなり、より地表付近の気温が上がり、地球温暖化につながります。

※温室効果ガスの排出増加による地球温暖化は、地球環境や人々の生活に様々な影響を及ぼします。氷河の融解や海面水位の変化、洪水や干ばつなどの影響、陸上や海の生態系への影響、食料生産や健康などへの影響がすでに観測され始めています。

日本の酪農・畜産における「温室効果ガスの排出量削減」について、あなたはどの程度関心がありますか。

		度数 横%	全 体	非常に関心がある	やや関心がある	どちらでもない	あまり関心がない	まったく関心がない
全 体			1800 <b>100</b>	152 <b>8.4</b>	606 <b>33.7</b>	504 <b>28.0</b>	319 <b>17.7</b>	219 <b>12.2</b>
地域	首都圏		900 <b>100</b>	88 <b>9.8</b>	313 <b>34.8</b>	250 <b>27.8</b>	148 <b>16.4</b>	101 <b>11.2</b>
	京阪神圏		900 <b>100</b>	64 <b>7.1</b>	293 <b>32.6</b>	254 <b>28.2</b>	171 <b>19.0</b>	118 <b>13.1</b>
年代	20代		300 <b>100</b>	29 <b>9.7</b>	85 <b>28.3</b>	90 <b>30.0</b>	41 <b>13.7</b>	55 <b>18.3</b>
	30代		300 <b>100</b>	26 <b>8.7</b>	83 <b>27.7</b>	89 <b>29.7</b>	55 <b>18.3</b>	47 <b>15.7</b>
	40代		300 <b>100</b>	18 <b>6.0</b>	81 <b>27.0</b>	100 <b>33.3</b>	55 <b>18.3</b>	46 <b>15.3</b>
	50代		300 <b>100</b>	23 <b>7.7</b>	95 <b>31.7</b>	92 <b>30.7</b>	55 <b>18.3</b>	35 <b>11.7</b>
	60代		300 <b>100</b>	20 <b>6.7</b>	128 <b>42.7</b>	78 <b>26.0</b>	55 <b>18.3</b>	19 <b>6.3</b>
	70代以上		300 <b>100</b>	36 <b>12.0</b>	134 <b>44.7</b>	55 <b>18.3</b>	58 <b>19.3</b>	17 <b>5.7</b>

Q35 以下の文章をお読みいただき、ご回答ください。

日本では持続可能な開発目標(SDGs)を踏まえ、農林水産分野における環境負荷軽減や持続的な農業システムの構築に向けた取組が加速しています。

日本の温室効果ガスの排出量の1%を占める酪農・畜産でも、家畜の消化管内発酵(牛等のげっぷ)由来のメタンや家畜排せつ物由来のメタンや一酸化二窒素などの温室効果ガスの削減のための取組が進められています。

※温室効果ガス:大気中に熱を吸収する性質を持つガス(二酸化炭素、メタン、一酸化二窒素、フロンガス等)で、大気中の温室効果ガスが増えると、温室効果が強くなり、より地表付近の気温が上がり、地球温暖化につながります。

※温室効果ガスの排出増加による地球温暖化は、地球環境や人々の生活に様々な影響を及ぼします。氷河の融解や海面水位の変化、洪水や干ばつなどの影響、陸上や海の生態系への影響、食料生産や健康などへの影響がすでに観測され始めています。

いま仮に、国が認定した第三者機関から、「温室効果ガス排出量を一定水準以下に削減した取組について審査・認証を受けた国産牛肉」が、「温室効果ガス排出削減認証マーク」を貼られて売られるとします。

あなたは、スーパーや食肉専門店で、「温室効果ガス排出削減認証マーク」がついている国産牛肉を積極的に購入したいと思いますか。

度数 横%		全 体	割高でも 購入したい	ロゴマークがついて いない通常の国産 牛肉と、同程度の 価格なら購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体		1800 <b>100</b>	127 <b>7.1</b>	532 <b>29.6</b>	669 <b>37.2</b>	122 <b>6.8</b>	350 <b>19.4</b>
地域	首都圏	900 <b>100</b>	76 <b>8.4</b>	262 <b>29.1</b>	338 <b>37.6</b>	63 <b>7.0</b>	161 <b>17.9</b>
	京阪神圏	900 <b>100</b>	51 <b>5.7</b>	270 <b>30.0</b>	331 <b>36.8</b>	59 <b>6.6</b>	189 <b>21.0</b>
年代	20代	300 <b>100</b>	25 <b>8.3</b>	76 <b>25.3</b>	105 <b>35.0</b>	17 <b>5.7</b>	77 <b>25.7</b>
	30代	300 <b>100</b>	21 <b>7.0</b>	62 <b>20.7</b>	123 <b>41.0</b>	27 <b>9.0</b>	67 <b>22.3</b>
	40代	300 <b>100</b>	12 <b>4.0</b>	74 <b>24.7</b>	124 <b>41.3</b>	20 <b>6.7</b>	70 <b>23.3</b>
	50代	300 <b>100</b>	22 <b>7.3</b>	88 <b>29.3</b>	107 <b>35.7</b>	27 <b>9.0</b>	56 <b>18.7</b>
	60代	300 <b>100</b>	16 <b>5.3</b>	112 <b>37.3</b>	110 <b>36.7</b>	17 <b>5.7</b>	45 <b>15.0</b>
	70代以上	300 <b>100</b>	31 <b>10.3</b>	120 <b>40.0</b>	100 <b>33.3</b>	14 <b>4.7</b>	35 <b>11.7</b>

Q36 いま仮に、国が認定した第三者機関から、「温室効果ガス排出量を一定水準以下に削減する取組について審査・認証を受けた国産牛肉」が、「温室効果ガス排出削減認証マーク」を貼られて売られるとします。

この牛肉は、通常の国産牛肉と品質は同じですが、温室効果ガス排出削減に取り組んで生産されるため、価格が高めであるとしてします。

あなたは、普段買っている国産牛肉に比べて、100gあたり税込みでどの程度の価格上昇までならこの牛肉を購入しても良いと思いますか。

以下からお選びください。ただし、高い金額を支払った分だけ他のものに使えるお金が減ることを念頭にお答えください。

<Q35「割高でも購入したい」～「ロゴマークがついていない通常の国産牛肉と、同程度の価格なら購入したい」、  
Q16「99円以下」～「1500円以上」回答者>

度数横%		全 体	1円でも割高なら購入しない	5円程度までなら高くても購入する	10円程度までなら高くても購入する	20円程度までなら高くても購入する	30円程度までなら高くても購入する	40円程度までなら高くても購入する	50円程度までなら高くても購入する	70円程度までなら高くても購入する
全 体		507 100	42 8.3	42 8.3	75 14.8	63 12.4	51 10.1	14 2.8	102 20.1	12 2.4
地域	首都圏	246 100	15 6.1	21 8.5	41 16.7	36 14.6	26 10.6	7 2.8	48 19.5	4 1.6
	京阪神圏	261 100	27 10.3	21 8.0	34 13.0	27 10.3	25 9.6	7 2.7	54 20.7	8 3.1
年代	20代	78 100	3 3.8	10 12.8	13 16.7	12 15.4	12 15.4	2 2.6	11 14.1	2 2.6
	30代	60 100	6 10.0	8 13.3	6 10.0	8 13.3	6 10.0	4 6.7	10 16.7	3 5.0
	40代	60 100	8 13.3	4 6.7	9 15.0	11 18.3	7 11.7	3 5.0	7 11.7	2 3.3
	50代	80 100	7 8.8	5 6.3	13 16.3	9 11.3	5 6.3	1 1.3	19 23.8	1 1.3
	60代	102 100	13 12.7	9 8.8	14 13.7	9 8.8	8 7.8	3 2.9	28 27.5	2 2.0
	70代以上	127 100	5 3.9	6 4.7	20 15.7	14 11.0	13 10.2	1 0.8	27 21.3	2 1.6

度数横%		全 体	100円程度までなら高くても購入する	150円程度までなら高くても購入する	200円程度までなら高くても購入する	300円程度までなら高くても購入する	400円程度までなら高くても購入する	500円程度までなら高くても購入する	(その他の金額)円程度までなら高くても購入する
全 体		507 100	60 11.8	9 1.8	14 2.8	8 1.6	6 1.2	9 1.8	0 0.0
地域	首都圏	246 100	27 11.0	5 2.0	2 0.8	6 2.4	4 1.6	4 1.6	0 0.0
	京阪神圏	261 100	33 12.6	4 1.5	12 4.6	2 0.8	2 0.8	5 1.9	0 0.0
年代	20代	78 100	2 2.6	3 3.8	1 1.3	3 3.8	2 2.6	2 2.6	0 0.0
	30代	60 100	3 5.0	1 1.7	2 3.3	1 1.7	0 0.0	2 3.3	0 0.0
	40代	60 100	7 11.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 3.3	0 0.0	0 0.0
	50代	80 100	8 10.0	2 2.5	6 7.5	0 0.0	1 1.3	3 3.8	0 0.0
	60代	102 100	14 13.7	0 0.0	0 0.0	1 1.0	0 0.0	1 1.0	0 0.0
	70代以上	127 100	26 20.5	3 2.4	5 3.9	3 2.4	1 0.8	1 0.8	0 0.0

Q37 あなたは、「アニマルウェルフェア」についてご存知ですか。

度数 横%		全 体	詳しく 知っている	ある程度 知っている	「アニマルウェルフェア」 という言葉は聞いたことが ある・知っている	知らない
全 体		1800 <b>100</b>	50 <b>2.8</b>	178 <b>9.9</b>	271 <b>15.1</b>	1301 <b>72.3</b>
地域	首都圏	900 <b>100</b>	26 <b>2.9</b>	104 <b>11.6</b>	135 <b>15.0</b>	635 <b>70.6</b>
	京阪神圏	900 <b>100</b>	24 <b>2.7</b>	74 <b>8.2</b>	136 <b>15.1</b>	666 <b>74.0</b>
年代	20代	300 <b>100</b>	17 <b>5.7</b>	49 <b>16.3</b>	41 <b>13.7</b>	193 <b>64.3</b>
	30代	300 <b>100</b>	16 <b>5.3</b>	27 <b>9.0</b>	56 <b>18.7</b>	201 <b>67.0</b>
	40代	300 <b>100</b>	3 <b>1.0</b>	29 <b>9.7</b>	38 <b>12.7</b>	230 <b>76.7</b>
	50代	300 <b>100</b>	6 <b>2.0</b>	25 <b>8.3</b>	44 <b>14.7</b>	225 <b>75.0</b>
	60代	300 <b>100</b>	7 <b>2.3</b>	23 <b>7.7</b>	50 <b>16.7</b>	220 <b>73.3</b>
	70代以上	300 <b>100</b>	1 <b>0.3</b>	25 <b>8.3</b>	42 <b>14.0</b>	232 <b>77.3</b>

Q38 以下の文章をお読みいただき、ご回答ください。

国は、アニマルウェルフェア(家畜の誕生から死を迎えるまでの間、ストレスをできる限り少なくし、行動要求が満たされた健康的な生活ができる飼育方法を目指す考え方)に配慮した家畜の快適な環境下での飼養管理が国際的に求められている動向も踏まえ、畜種ごとの飼養管理等に関する技術的な指針を示し、その普及を図っていくこととしています。

アニマルウェルフェアを踏まえた家畜の飼養管理は、家畜のストレスや疾病を減らし、結果として安全な畜産物の生産につながります。また、畜産物の輸出拡大を図るため、日本のアニマルウェルフェアの水準を国際水準とすることが必要とされています。

国が「アニマルウェルフェアに配慮した、畜種ごとの飼養管理等に関する技術的な指針を示し、その普及を図っていくこと」としていることについて、あなたはどの程度関心がありますか。

		度数 横%	全 体	非常に関心がある	やや関心がある	どちらでもない	あまり関心がない	まったく関心がない
全 体			1800 <b>100</b>	119 <b>6.6</b>	460 <b>25.6</b>	593 <b>32.9</b>	357 <b>19.8</b>	271 <b>15.1</b>
地域	首都圏		900 <b>100</b>	65 <b>7.2</b>	237 <b>26.3</b>	284 <b>31.6</b>	171 <b>19.0</b>	143 <b>15.9</b>
	京阪神圏		900 <b>100</b>	54 <b>6.0</b>	223 <b>24.8</b>	309 <b>34.3</b>	186 <b>20.7</b>	128 <b>14.2</b>
年代	20代		300 <b>100</b>	29 <b>9.7</b>	70 <b>23.3</b>	93 <b>31.0</b>	44 <b>14.7</b>	64 <b>21.3</b>
	30代		300 <b>100</b>	24 <b>8.0</b>	73 <b>24.3</b>	88 <b>29.3</b>	63 <b>21.0</b>	52 <b>17.3</b>
	40代		300 <b>100</b>	10 <b>3.3</b>	66 <b>22.0</b>	117 <b>39.0</b>	51 <b>17.0</b>	56 <b>18.7</b>
	50代		300 <b>100</b>	19 <b>6.3</b>	75 <b>25.0</b>	105 <b>35.0</b>	64 <b>21.3</b>	37 <b>12.3</b>
	60代		300 <b>100</b>	14 <b>4.7</b>	79 <b>26.3</b>	105 <b>35.0</b>	65 <b>21.7</b>	37 <b>12.3</b>
	70代以上		300 <b>100</b>	23 <b>7.7</b>	97 <b>32.3</b>	85 <b>28.3</b>	70 <b>23.3</b>	25 <b>8.3</b>



Q39 以下の文章をお読みいただき、ご回答ください。

国は、アニマルウェルフェア(家畜の誕生から死を迎えるまでの間、ストレスをできる限り少なく、行動要求が満たされた健康的な生活ができる飼育方法を目指す考え方)に配慮した家畜の快適な環境下での飼養管理が国際的に求められている動向も踏まえ、畜種ごとの飼養管理等に関する技術的な指針を示し、その普及を図っていくこととしています。

いま仮に、国が認定した第三者機関から、「アニマルウェルフェアの水準を国際水準とすべく国が定めた肉用牛の飼養管理指針の実施について審査・認証を受けた国産牛肉」が、「アニマルウェルフェア配慮認証マーク」を貼られて売られるとします。あなたは、一般のお店やレストランで、「アニマルウェルフェア配慮認証マーク」がついている国産牛肉を積極的に購入したいと思いますか。

度数 横%		全 体	割高でも 購入したい	ロゴマークがついて いない通常の国産 牛肉と、同程度の 価格なら購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体		1800 <b>100</b>	131 <b>7.3</b>	539 <b>29.9</b>	579 <b>32.2</b>	134 <b>7.4</b>	417 <b>23.2</b>
地域	首都圏	900 <b>100</b>	73 <b>8.1</b>	266 <b>29.6</b>	292 <b>32.4</b>	69 <b>7.7</b>	200 <b>22.2</b>
	京阪神圏	900 <b>100</b>	58 <b>6.4</b>	273 <b>30.3</b>	287 <b>31.9</b>	65 <b>7.2</b>	217 <b>24.1</b>
年代	20代	300 <b>100</b>	22 <b>7.3</b>	78 <b>26.0</b>	98 <b>32.7</b>	18 <b>6.0</b>	84 <b>28.0</b>
	30代	300 <b>100</b>	18 <b>6.0</b>	78 <b>26.0</b>	96 <b>32.0</b>	30 <b>10.0</b>	78 <b>26.0</b>
	40代	300 <b>100</b>	13 <b>4.3</b>	75 <b>25.0</b>	108 <b>36.0</b>	27 <b>9.0</b>	77 <b>25.7</b>
	50代	300 <b>100</b>	24 <b>8.0</b>	84 <b>28.0</b>	103 <b>34.3</b>	21 <b>7.0</b>	68 <b>22.7</b>
	60代	300 <b>100</b>	20 <b>6.7</b>	110 <b>36.7</b>	91 <b>30.3</b>	21 <b>7.0</b>	58 <b>19.3</b>
	70代以上	300 <b>100</b>	34 <b>11.3</b>	114 <b>38.0</b>	83 <b>27.7</b>	17 <b>5.7</b>	52 <b>17.3</b>

Q40 いま仮に、国が認定した第三者機関から、「アニマルウェルフェアの水準を国際水準とすべく国が定めた肉用牛の飼養管理指針の実施について審査・認証を受けた国産牛肉」が、「アニマルウェルフェア配慮認証マーク」を貼られて売られるとします。この牛肉は、通常の国産牛肉と品質は同じですが、アニマルウェルフェアに配慮して生産されるため、価格が高めであると思します。

あなたは、普段買っている国産牛肉に比べて、100gあたり税込みでどの程度の価格上昇までならこの牛肉を購入しても良いと思しますか。

以下からお選びください。ただし、高い金額を支払った分だけ他のものに使えるお金が減ることを念頭にお答えください。

<Q39「割高でも購入したい」～「ロゴマークがついていない通常の国産牛肉と、同程度の価格なら購入したい」、  
Q16「99円以下」～「1500円以上」回答者>

度数横%		全 体	1円でも割高なら購入しない	5円程度までなら高くても購入する	10円程度までなら高くても購入する	20円程度までなら高くても購入する	30円程度までなら高くても購入する	40円程度までなら高くても購入する	50円程度までなら高くても購入する	70円程度までなら高くても購入する
全 体		514 100	43 8.4	41 8.0	72 14.0	63 12.3	68 13.2	15 2.9	88 17.1	15 2.9
地域	首都圏	246 100	17 6.9	24 9.8	34 13.8	31 12.6	37 15.0	10 4.1	40 16.3	7 2.8
	京阪神圏	268 100	26 9.7	17 6.3	38 14.2	32 11.9	31 11.6	5 1.9	48 17.9	8 3.0
年代	20代	77 100	7 9.1	7 9.1	7 9.1	12 15.6	13 16.9	2 2.6	8 10.4	3 3.9
	30代	68 100	8 11.8	9 13.2	6 8.8	9 13.2	8 11.8	3 4.4	10 14.7	1 1.5
	40代	63 100	6 9.5	5 7.9	11 17.5	6 9.5	14 22.2	0 0.0	9 14.3	2 3.2
	50代	75 100	7 9.3	4 5.3	9 12.0	7 9.3	7 9.3	3 4.0	14 18.7	3 4.0
	60代	106 100	8 7.5	11 10.4	14 13.2	15 14.2	14 13.2	5 4.7	20 18.9	3 2.8
	70代以上	125 100	7 5.6	5 4.0	25 20.0	14 11.2	12 9.6	2 1.6	27 21.6	3 2.4

度数横%		全 体	100円程度までなら高くても購入する	150円程度までなら高くても購入する	200円程度までなら高くても購入する	300円程度までなら高くても購入する	400円程度までなら高くても購入する	500円程度までなら高くても購入する	(その他の金額)円程度までなら高くても購入する
全 体		514 100	66 12.8	7 1.4	15 2.9	7 1.4	4 0.8	10 1.9	0 0.0
地域	首都圏	246 100	26 10.6	3 1.2	6 2.4	3 1.2	3 1.2	5 2.0	0 0.0
	京阪神圏	268 100	40 14.9	4 1.5	9 3.4	4 1.5	1 0.4	5 1.9	0 0.0
年代	20代	77 100	7 9.1	2 2.6	2 2.6	3 3.9	3 3.9	1 1.3	0 0.0
	30代	68 100	7 10.3	2 2.9	2 2.9	1 1.5	0 0.0	2 2.9	0 0.0
	40代	63 100	7 11.1	1 1.6	2 3.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	50代	75 100	12 16.0	1 1.3	3 4.0	0 0.0	0 0.0	5 6.7	0 0.0
	60代	106 100	13 12.3	0 0.0	1 0.9	1 0.9	0 0.0	1 0.9	0 0.0
	70代以上	125 100	20 16.0	1 0.8	5 4.0	2 1.6	1 0.8	1 0.8	0 0.0

Q41 あなたは「新型コロナウイルス感染症」やそれに伴う事柄について不安を感じますか。それぞれの事項について、あなたのお考えに最も近いものを1つお選びください。

【1. 自分の感染】

度数 横%		全 体	不安を感じる	どちらかといえば 不安を感じる	どちらともいえない	どちらかといえば 不安を感じない	不安を感じない
全 体		1800 <b>100</b>	537 <b>29.8</b>	561 <b>31.2</b>	430 <b>23.9</b>	170 <b>9.4</b>	102 <b>5.7</b>
地域	首都圏	900 <b>100</b>	275 <b>30.6</b>	281 <b>31.2</b>	218 <b>24.2</b>	74 <b>8.2</b>	52 <b>5.8</b>
	京阪神圏	900 <b>100</b>	262 <b>29.1</b>	280 <b>31.1</b>	212 <b>23.6</b>	96 <b>10.7</b>	50 <b>5.6</b>
年代	20代	300 <b>100</b>	88 <b>29.3</b>	80 <b>26.7</b>	84 <b>28.0</b>	29 <b>9.7</b>	19 <b>6.3</b>
	30代	300 <b>100</b>	93 <b>31.0</b>	79 <b>26.3</b>	73 <b>24.3</b>	33 <b>11.0</b>	22 <b>7.3</b>
	40代	300 <b>100</b>	75 <b>25.0</b>	89 <b>29.7</b>	90 <b>30.0</b>	23 <b>7.7</b>	23 <b>7.7</b>
	50代	300 <b>100</b>	91 <b>30.3</b>	100 <b>33.3</b>	70 <b>23.3</b>	25 <b>8.3</b>	14 <b>4.7</b>
	60代	300 <b>100</b>	94 <b>31.3</b>	102 <b>34.0</b>	71 <b>23.7</b>	23 <b>7.7</b>	10 <b>3.3</b>
	70代以上	300 <b>100</b>	96 <b>32.0</b>	111 <b>37.0</b>	42 <b>14.0</b>	37 <b>12.3</b>	14 <b>4.7</b>

【2. 家族の感染】

度数 横%		全 体	不安を感じる	どちらかといえば 不安を感じる	どちらともいえない	どちらかといえば 不安を感じない	不安を感じない
全 体		1800 <b>100</b>	572 <b>31.8</b>	557 <b>30.9</b>	434 <b>24.1</b>	137 <b>7.6</b>	100 <b>5.6</b>
地域	首都圏	900 <b>100</b>	295 <b>32.8</b>	268 <b>29.8</b>	227 <b>25.2</b>	61 <b>6.8</b>	49 <b>5.4</b>
	京阪神圏	900 <b>100</b>	277 <b>30.8</b>	289 <b>32.1</b>	207 <b>23.0</b>	76 <b>8.4</b>	51 <b>5.7</b>
年代	20代	300 <b>100</b>	86 <b>28.7</b>	79 <b>26.3</b>	95 <b>31.7</b>	25 <b>8.3</b>	15 <b>5.0</b>
	30代	300 <b>100</b>	102 <b>34.0</b>	84 <b>28.0</b>	66 <b>22.0</b>	26 <b>8.7</b>	22 <b>7.3</b>
	40代	300 <b>100</b>	85 <b>28.3</b>	86 <b>28.7</b>	88 <b>29.3</b>	20 <b>6.7</b>	21 <b>7.0</b>
	50代	300 <b>100</b>	107 <b>35.7</b>	102 <b>34.0</b>	63 <b>21.0</b>	15 <b>5.0</b>	13 <b>4.3</b>
	60代	300 <b>100</b>	93 <b>31.0</b>	100 <b>33.3</b>	71 <b>23.7</b>	22 <b>7.3</b>	14 <b>4.7</b>
	70代以上	300 <b>100</b>	99 <b>33.0</b>	106 <b>35.3</b>	51 <b>17.0</b>	29 <b>9.7</b>	15 <b>5.0</b>

### 【3. 友人・知人・同僚など身近な人の感染】

度数 横%		全 体	不安を感じる	どちらかといえば 不安を感じる	どちらともいえない	どちらかといえば 不安を感じない	不安を感じない
全 体		1800 <b>100</b>	327 <b>18.2</b>	572 <b>31.8</b>	636 <b>35.3</b>	139 <b>7.7</b>	126 <b>7.0</b>
地域	首都圏	900 <b>100</b>	174 <b>19.3</b>	273 <b>30.3</b>	326 <b>36.2</b>	59 <b>6.6</b>	68 <b>7.6</b>
	京阪神圏	900 <b>100</b>	153 <b>17.0</b>	299 <b>33.2</b>	310 <b>34.4</b>	80 <b>8.9</b>	58 <b>6.4</b>
年代	20代	300 <b>100</b>	46 <b>15.3</b>	98 <b>32.7</b>	107 <b>35.7</b>	25 <b>8.3</b>	24 <b>8.0</b>
	30代	300 <b>100</b>	57 <b>19.0</b>	80 <b>26.7</b>	99 <b>33.0</b>	27 <b>9.0</b>	37 <b>12.3</b>
	40代	300 <b>100</b>	52 <b>17.3</b>	79 <b>26.3</b>	127 <b>42.3</b>	18 <b>6.0</b>	24 <b>8.0</b>
	50代	300 <b>100</b>	61 <b>20.3</b>	83 <b>27.7</b>	114 <b>38.0</b>	22 <b>7.3</b>	20 <b>6.7</b>
	60代	300 <b>100</b>	54 <b>18.0</b>	114 <b>38.0</b>	100 <b>33.3</b>	20 <b>6.7</b>	12 <b>4.0</b>
	70代以上	300 <b>100</b>	57 <b>19.0</b>	118 <b>39.3</b>	89 <b>29.7</b>	27 <b>9.0</b>	9 <b>3.0</b>

### 【4. 医療提供体制の逼迫】

度数 横%		全 体	不安を感じる	どちらかといえば 不安を感じる	どちらともいえない	どちらかといえば 不安を感じない	不安を感じない
全 体		1800 <b>100</b>	412 <b>22.9</b>	595 <b>33.1</b>	561 <b>31.2</b>	136 <b>7.6</b>	96 <b>5.3</b>
地域	首都圏	900 <b>100</b>	213 <b>23.7</b>	288 <b>32.0</b>	287 <b>31.9</b>	59 <b>6.6</b>	53 <b>5.9</b>
	京阪神圏	900 <b>100</b>	199 <b>22.1</b>	307 <b>34.1</b>	274 <b>30.4</b>	77 <b>8.6</b>	43 <b>4.8</b>
年代	20代	300 <b>100</b>	45 <b>15.0</b>	76 <b>25.3</b>	120 <b>40.0</b>	35 <b>11.7</b>	24 <b>8.0</b>
	30代	300 <b>100</b>	64 <b>21.3</b>	91 <b>30.3</b>	90 <b>30.0</b>	28 <b>9.3</b>	27 <b>9.0</b>
	40代	300 <b>100</b>	62 <b>20.7</b>	84 <b>28.0</b>	115 <b>38.3</b>	19 <b>6.3</b>	20 <b>6.7</b>
	50代	300 <b>100</b>	70 <b>23.3</b>	104 <b>34.7</b>	101 <b>33.7</b>	15 <b>5.0</b>	10 <b>3.3</b>
	60代	300 <b>100</b>	75 <b>25.0</b>	123 <b>41.0</b>	77 <b>25.7</b>	18 <b>6.0</b>	7 <b>2.3</b>
	70代以上	300 <b>100</b>	96 <b>32.0</b>	117 <b>39.0</b>	58 <b>19.3</b>	21 <b>7.0</b>	8 <b>2.7</b>

### 【5. 収入の減少や雇用の不安】

度数 横%		全 体	不安を感じる	どちらかといえば 不安を感じる	どちらともいえない	どちらかといえば 不安を感じない	不安を感じない
全 体		1800 <b>100</b>	420 <b>23.3</b>	447 <b>24.8</b>	625 <b>34.7</b>	173 <b>9.6</b>	135 <b>7.5</b>
地域	首都圏	900 <b>100</b>	225 <b>25.0</b>	226 <b>25.1</b>	306 <b>34.0</b>	71 <b>7.9</b>	72 <b>8.0</b>
	京阪神圏	900 <b>100</b>	195 <b>21.7</b>	221 <b>24.6</b>	319 <b>35.4</b>	102 <b>11.3</b>	63 <b>7.0</b>
年代	20代	300 <b>100</b>	71 <b>23.7</b>	69 <b>23.0</b>	109 <b>36.3</b>	28 <b>9.3</b>	23 <b>7.7</b>
	30代	300 <b>100</b>	80 <b>26.7</b>	80 <b>26.7</b>	87 <b>29.0</b>	26 <b>8.7</b>	27 <b>9.0</b>
	40代	300 <b>100</b>	73 <b>24.3</b>	73 <b>24.3</b>	116 <b>38.7</b>	18 <b>6.0</b>	20 <b>6.7</b>
	50代	300 <b>100</b>	84 <b>28.0</b>	80 <b>26.7</b>	94 <b>31.3</b>	23 <b>7.7</b>	19 <b>6.3</b>
	60代	300 <b>100</b>	60 <b>20.0</b>	63 <b>21.0</b>	124 <b>41.3</b>	39 <b>13.0</b>	14 <b>4.7</b>
	70代以上	300 <b>100</b>	52 <b>17.3</b>	82 <b>27.3</b>	95 <b>31.7</b>	39 <b>13.0</b>	32 <b>10.7</b>

【6. 外食・外出・旅行・娯楽など行動】

度数 横%		全 体	不安を感じる	どちらかといえば 不安を感じる	どちらともいえない	どちらかといえば 不安を感じない	不安を感じない
全 体		1800 100	356 19.8	539 29.9	615 34.2	162 9.0	128 7.1
地域	首都圏	900 100	187 20.8	258 28.7	317 35.2	70 7.8	68 7.6
	京阪神圏	900 100	169 18.8	281 31.2	298 33.1	92 10.2	60 6.7
年代	20代	300 100	60 20.0	79 26.3	108 36.0	34 11.3	19 6.3
	30代	300 100	66 22.0	83 27.7	89 29.7	29 9.7	33 11.0
	40代	300 100	48 16.0	64 21.3	136 45.3	22 7.3	30 10.0
	50代	300 100	62 20.7	85 28.3	106 35.3	28 9.3	19 6.3
	60代	300 100	57 19.0	114 38.0	93 31.0	25 8.3	11 3.7
	70代以上	300 100	63 21.0	114 38.0	83 27.7	24 8.0	16 5.3

【7. 友人・知人・同僚などとのコミュニケーション不足・人間関係】

度数 横%		全 体	不安を感じる	どちらかといえば 不安を感じる	どちらともいえない	どちらかといえば 不安を感じない	不安を感じない
全 体		1800 100	283 15.7	488 27.1	705 39.2	186 10.3	138 7.7
地域	首都圏	900 100	146 16.2	249 27.7	350 38.9	87 9.7	68 7.6
	京阪神圏	900 100	137 15.2	239 26.6	355 39.4	99 11.0	70 7.8
年代	20代	300 100	48 16.0	61 20.3	128 42.7	41 13.7	22 7.3
	30代	300 100	51 17.0	76 25.3	108 36.0	31 10.3	34 11.3
	40代	300 100	38 12.7	58 19.3	147 49.0	28 9.3	29 9.7
	50代	300 100	53 17.7	84 28.0	114 38.0	27 9.0	22 7.3
	60代	300 100	37 12.3	102 34.0	113 37.7	34 11.3	14 4.7
	70代以上	300 100	56 18.7	107 35.7	95 31.7	25 8.3	17 5.7

Q42 あなたは「新型コロナウイルス感染症」の流行により、昨年の今頃と比べ、食肉（牛肉・豚肉・鶏肉）の購入や調理、中食や外食など食生活について変化がありますか。あてはまるものを全てお選びください。

度数横%		全 体	購入／ 食肉の購入回数を減らして、まとめて購入するようになった	食肉の購入回数を増やして、少量を購入するようになった	食肉をネットスーパーで購入するようになった・購入が増えた	冷凍の食肉を購入するようになった・購入が増えた	店頭で高級な食肉を購入するようになった・購入が増えた	インターネットや通販で高級な食肉を購入するようになった・購入が増えた	食肉加工品(ハム・ベーコン・ソーセージなど)を購入するようになった・購入が増えた
全 体		1800 100	358 19.9	98 5.4	114 6.3	130 7.2	82 4.6	36 2.0	99 5.5
地域	首都圏	900 100	167 18.6	40 4.4	58 6.4	64 7.1	35 3.9	17 1.9	44 4.9
	京阪神圏	900 100	191 21.2	58 6.4	56 6.2	66 7.3	47 5.2	19 2.1	55 6.1
年代	20代	300 100	43 14.3	25 8.3	35 11.7	32 10.7	23 7.7	11 3.7	21 7.0
	30代	300 100	72 24.0	12 4.0	17 5.7	25 8.3	13 4.3	6 2.0	18 6.0
	40代	300 100	55 18.3	16 5.3	23 7.7	19 6.3	11 3.7	5 1.7	19 6.3
	50代	300 100	59 19.7	10 3.3	16 5.3	16 5.3	10 3.3	3 1.0	15 5.0
	60代	300 100	57 19.0	20 6.7	14 4.7	12 4.0	9 3.0	6 2.0	10 3.3
	70代以上	300 100	72 24.0	15 5.0	9 3.0	26 8.7	16 5.3	5 1.7	16 5.3

度数横%		全 体	購入／ 味付け肉を購入するようになった・購入が増えた	ミールキットの食肉(カット済みの肉・野菜・調味料などの材料とレシピが同梱)を購入するようになった・購入が増えた	調理／ 普段作らなかつた肉料理を作るようになった	料理本・レシピサイトなどをみて、普段作らなかつた肉料理を作るようになった	手間や時間がかかる肉料理を作るようになった	簡単・時短の肉料理を作るようになった	作り置きできる肉料理を作るようになった
全 体		1800 100	42 2.3	29 1.6	82 4.6	129 7.2	71 3.9	174 9.7	121 6.7
地域	首都圏	900 100	24 2.7	17 1.9	46 5.1	66 7.3	36 4.0	88 9.8	56 6.2
	京阪神圏	900 100	18 2.0	12 1.3	36 4.0	63 7.0	35 3.9	86 9.6	65 7.2
年代	20代	300 100	11 3.7	7 2.3	17 5.7	20 6.7	14 4.7	26 8.7	15 5.0
	30代	300 100	8 2.7	5 1.7	17 5.7	19 6.3	12 4.0	35 11.7	21 7.0
	40代	300 100	7 2.3	9 3.0	11 3.7	16 5.3	12 4.0	23 7.7	20 6.7
	50代	300 100	2 0.7	5 1.7	14 4.7	28 9.3	6 2.0	29 9.7	17 5.7
	60代	300 100	6 2.0	3 1.0	7 2.3	24 8.0	8 2.7	26 8.7	23 7.7
	70代以上	300 100	8 2.7	0 0.0	16 5.3	22 7.3	19 6.3	35 11.7	25 8.3

度数横%		全 体	調理／ 冷凍保存できる肉料理を作るようになった	肉料理をあまり作らなくなった	中食・外食／ 外食の機会が減った	外食の機会が増えた	惣菜や調理済み食品の購入が増えた	弁当の購入が増えた	持ち帰り・テイクアウトの利用が増えた
全 体		1800 100	77 4.3	39 2.2	599 33.3	54 3.0	113 6.3	97 5.4	149 8.3
地域	首都圏	900 100	42 4.7	16 1.8	299 33.2	28 3.1	62 6.9	50 5.6	87 9.7
	京阪神圏	900 100	35 3.9	23 2.6	300 33.3	26 2.9	51 5.7	47 5.2	62 6.9
年代	20代	300 100	11 3.7	7 2.3	57 19.0	12 4.0	15 5.0	14 4.7	18 6.0
	30代	300 100	13 4.3	7 2.3	89 29.7	10 3.3	11 3.7	18 6.0	35 11.7
	40代	300 100	10 3.3	1 0.3	83 27.7	7 2.3	23 7.7	19 6.3	24 8.0
	50代	300 100	6 2.0	8 2.7	103 34.3	9 3.0	27 9.0	22 7.3	31 10.3
	60代	300 100	12 4.0	6 2.0	122 40.7	13 4.3	21 7.0	12 4.0	21 7.0
	70代以上	300 100	25 8.3	10 3.3	145 48.3	3 1.0	16 5.3	12 4.0	20 6.7

度数 横%		全 体	中食・外食/ 出前・デリバリー・宅配 の利用が増えた	食生活/ 自宅で食事する機会 が増えた	家族そろって食事する 機会が増えた	大皿料理を作らな かった・食べなくなった	焼き肉・鍋・しゃぶしゃ ぶなどを作らなくな った・食べなくなった	食事をする時にしゃべ らなくなった・会話をし ないようになった	食事をひとりとするよ うになった
全 体		1800 <b>100</b>	53 <b>2.9</b>	507 <b>28.2</b>	168 <b>9.3</b>	105 <b>5.8</b>	83 <b>4.6</b>	71 <b>3.9</b>	61 <b>3.4</b>
地域	首都圏	900 <b>100</b>	27 <b>3.0</b>	252 <b>28.0</b>	94 <b>10.4</b>	51 <b>5.7</b>	34 <b>3.8</b>	37 <b>4.1</b>	35 <b>3.9</b>
	京阪神圏	900 <b>100</b>	26 <b>2.9</b>	255 <b>28.3</b>	74 <b>8.2</b>	54 <b>6.0</b>	49 <b>5.4</b>	34 <b>3.8</b>	26 <b>2.9</b>
年代	20代	300 <b>100</b>	15 <b>5.0</b>	65 <b>21.7</b>	18 <b>6.0</b>	12 <b>4.0</b>	15 <b>5.0</b>	13 <b>4.3</b>	11 <b>3.7</b>
	30代	300 <b>100</b>	18 <b>6.0</b>	76 <b>25.3</b>	24 <b>8.0</b>	11 <b>3.7</b>	12 <b>4.0</b>	9 <b>3.0</b>	6 <b>2.0</b>
	40代	300 <b>100</b>	5 <b>1.7</b>	60 <b>20.0</b>	21 <b>7.0</b>	17 <b>5.7</b>	11 <b>3.7</b>	10 <b>3.3</b>	9 <b>3.0</b>
	50代	300 <b>100</b>	9 <b>3.0</b>	90 <b>30.0</b>	28 <b>9.3</b>	22 <b>7.3</b>	17 <b>5.7</b>	15 <b>5.0</b>	13 <b>4.3</b>
	60代	300 <b>100</b>	3 <b>1.0</b>	101 <b>33.7</b>	35 <b>11.7</b>	19 <b>6.3</b>	8 <b>2.7</b>	9 <b>3.0</b>	16 <b>5.3</b>
	70代以上	300 <b>100</b>	3 <b>1.0</b>	115 <b>38.3</b>	42 <b>14.0</b>	24 <b>8.0</b>	20 <b>6.7</b>	15 <b>5.0</b>	6 <b>2.0</b>

度数 横%		全 体	その他	特にない
全 体		1800 <b>100</b>	5 <b>0.3</b>	690 <b>38.3</b>
地域	首都圏	900 <b>100</b>	2 <b>0.2</b>	351 <b>39.0</b>
	京阪神圏	900 <b>100</b>	3 <b>0.3</b>	339 <b>37.7</b>
年代	20代	300 <b>100</b>	0 <b>0.0</b>	110 <b>36.7</b>
	30代	300 <b>100</b>	0 <b>0.0</b>	110 <b>36.7</b>
	40代	300 <b>100</b>	0 <b>0.0</b>	125 <b>41.7</b>
	50代	300 <b>100</b>	1 <b>0.3</b>	118 <b>39.3</b>
	60代	300 <b>100</b>	1 <b>0.3</b>	113 <b>37.7</b>
	70代以上	300 <b>100</b>	3 <b>1.0</b>	114 <b>38.0</b>

Q43 あなたは、「食品の購入や調理、中食や外食など食生活」について、円安や資源価格高騰等による物価上昇の影響による不安を感じますか。あなたのお考えに最も近いものを1つお選びください。

		度数 横%	全 体	不安を感じる	どちらかといえば 不安を感じる	どちらともいえない	どちらかといえば 不安を感じない	不安を感じない
全 体			1800 <b>100</b>	614 <b>34.1</b>	584 <b>32.4</b>	416 <b>23.1</b>	82 <b>4.6</b>	104 <b>5.8</b>
地域	首都圏		900 <b>100</b>	316 <b>35.1</b>	304 <b>33.8</b>	201 <b>22.3</b>	33 <b>3.7</b>	46 <b>5.1</b>
	京阪神圏		900 <b>100</b>	298 <b>33.1</b>	280 <b>31.1</b>	215 <b>23.9</b>	49 <b>5.4</b>	58 <b>6.4</b>
年代	20代		300 <b>100</b>	63 <b>21.0</b>	92 <b>30.7</b>	87 <b>29.0</b>	23 <b>7.7</b>	35 <b>11.7</b>
	30代		300 <b>100</b>	106 <b>35.3</b>	90 <b>30.0</b>	75 <b>25.0</b>	12 <b>4.0</b>	17 <b>5.7</b>
	40代		300 <b>100</b>	103 <b>34.3</b>	87 <b>29.0</b>	77 <b>25.7</b>	16 <b>5.3</b>	17 <b>5.7</b>
	50代		300 <b>100</b>	134 <b>44.7</b>	85 <b>28.3</b>	63 <b>21.0</b>	8 <b>2.7</b>	10 <b>3.3</b>
	60代		300 <b>100</b>	99 <b>33.0</b>	120 <b>40.0</b>	59 <b>19.7</b>	12 <b>4.0</b>	10 <b>3.3</b>
	70代以上		300 <b>100</b>	109 <b>36.3</b>	110 <b>36.7</b>	55 <b>18.3</b>	11 <b>3.7</b>	15 <b>5.0</b>

Q44 では、円安や資源価格高騰等による物価上昇の影響により、今年の今頃と比べ、「食品の購入や調理、中食や外食など食生活」について、実際にあなたのご家庭に影響がありましたか。最も近いものをお選びください。

		度数 横%	全 体	影響があった	どちらかといえば 影響があった	どちらともいえない	どちらかといえば 影響がなかった	影響がなかった
全 体			1800 <b>100</b>	327 <b>18.2</b>	557 <b>30.9</b>	633 <b>35.2</b>	152 <b>8.4</b>	131 <b>7.3</b>
地域	首都圏		900 <b>100</b>	146 <b>16.2</b>	293 <b>32.6</b>	318 <b>35.3</b>	77 <b>8.6</b>	66 <b>7.3</b>
	京阪神圏		900 <b>100</b>	181 <b>20.1</b>	264 <b>29.3</b>	315 <b>35.0</b>	75 <b>8.3</b>	65 <b>7.2</b>
年代	20代		300 <b>100</b>	47 <b>15.7</b>	85 <b>28.3</b>	110 <b>36.7</b>	27 <b>9.0</b>	31 <b>10.3</b>
	30代		300 <b>100</b>	54 <b>18.0</b>	82 <b>27.3</b>	115 <b>38.3</b>	28 <b>9.3</b>	21 <b>7.0</b>
	40代		300 <b>100</b>	42 <b>14.0</b>	92 <b>30.7</b>	121 <b>40.3</b>	24 <b>8.0</b>	21 <b>7.0</b>
	50代		300 <b>100</b>	67 <b>22.3</b>	94 <b>31.3</b>	103 <b>34.3</b>	17 <b>5.7</b>	19 <b>6.3</b>
	60代		300 <b>100</b>	54 <b>18.0</b>	110 <b>36.7</b>	92 <b>30.7</b>	25 <b>8.3</b>	19 <b>6.3</b>
	70代以上		300 <b>100</b>	63 <b>21.0</b>	94 <b>31.3</b>	92 <b>30.7</b>	31 <b>10.3</b>	20 <b>6.7</b>



Q45 円安や資源価格高騰等による物価上昇の影響により、実際にあなたのご家庭に影響があった事項についてお伺いします。

昨年の中頃と比べ、「物価上昇」により、次にあげるような影響がありましたか。それぞれの事項について、あてはまる食品を全てお選びください。

【1. 購入量が減った】

		度数 横%	全 体	米	パン	野菜	果物	魚介	牛肉	豚肉	鶏肉	卵
全 体			1800 <b>100</b>	146 <b>8.1</b>	119 <b>6.6</b>	92 <b>5.1</b>	123 <b>6.8</b>	112 <b>6.2</b>	122 <b>6.8</b>	79 <b>4.4</b>	78 <b>4.3</b>	68 <b>3.8</b>
地域	首都圏		900 <b>100</b>	76 <b>8.4</b>	65 <b>7.2</b>	50 <b>5.6</b>	67 <b>7.4</b>	58 <b>6.4</b>	62 <b>6.9</b>	49 <b>5.4</b>	44 <b>4.9</b>	35 <b>3.9</b>
	京阪神圏		900 <b>100</b>	70 <b>7.8</b>	54 <b>6.0</b>	42 <b>4.7</b>	56 <b>6.2</b>	54 <b>6.0</b>	60 <b>6.7</b>	30 <b>3.3</b>	34 <b>3.8</b>	33 <b>3.7</b>
年代	20代		300 <b>100</b>	36 <b>12.0</b>	16 <b>5.3</b>	20 <b>6.7</b>	14 <b>4.7</b>	21 <b>7.0</b>	12 <b>4.0</b>	8 <b>2.7</b>	10 <b>3.3</b>	10 <b>3.3</b>
	30代		300 <b>100</b>	28 <b>9.3</b>	19 <b>6.3</b>	13 <b>4.3</b>	19 <b>6.3</b>	16 <b>5.3</b>	16 <b>5.3</b>	9 <b>3.0</b>	10 <b>3.3</b>	11 <b>3.7</b>
	40代		300 <b>100</b>	17 <b>5.7</b>	20 <b>6.7</b>	20 <b>6.7</b>	21 <b>7.0</b>	15 <b>5.0</b>	16 <b>5.3</b>	17 <b>5.7</b>	15 <b>5.0</b>	9 <b>3.0</b>
	50代		300 <b>100</b>	19 <b>6.3</b>	28 <b>9.3</b>	17 <b>5.7</b>	26 <b>8.7</b>	25 <b>8.3</b>	32 <b>10.7</b>	21 <b>7.0</b>	19 <b>6.3</b>	18 <b>6.0</b>
	60代		300 <b>100</b>	22 <b>7.3</b>	19 <b>6.3</b>	12 <b>4.0</b>	20 <b>6.7</b>	22 <b>7.3</b>	24 <b>8.0</b>	13 <b>4.3</b>	11 <b>3.7</b>	12 <b>4.0</b>
	70代以上		300 <b>100</b>	24 <b>8.0</b>	17 <b>5.7</b>	10 <b>3.3</b>	23 <b>7.7</b>	13 <b>4.3</b>	22 <b>7.3</b>	11 <b>3.7</b>	13 <b>4.3</b>	8 <b>2.7</b>

		度数 横%	全 体	牛乳	食肉加工品	乳製品	冷凍食品	インスタント 麺(カップ麺・ 袋麺等)	弁当・ 惣菜類	ファストフード	菓子類	いずれもない
全 体			1800 <b>100</b>	78 <b>4.3</b>	92 <b>5.1</b>	74 <b>4.1</b>	83 <b>4.6</b>	156 <b>8.7</b>	130 <b>7.2</b>	165 <b>9.2</b>	165 <b>9.2</b>	1207 <b>67.1</b>
地域	首都圏		900 <b>100</b>	39 <b>4.3</b>	53 <b>5.9</b>	37 <b>4.1</b>	37 <b>4.1</b>	82 <b>9.1</b>	71 <b>7.9</b>	79 <b>8.8</b>	82 <b>9.1</b>	604 <b>67.1</b>
	京阪神圏		900 <b>100</b>	39 <b>4.3</b>	39 <b>4.3</b>	37 <b>4.1</b>	46 <b>5.1</b>	74 <b>8.2</b>	59 <b>6.6</b>	86 <b>9.6</b>	83 <b>9.2</b>	603 <b>67.0</b>
年代	20代		300 <b>100</b>	12 <b>4.0</b>	8 <b>2.7</b>	8 <b>2.7</b>	13 <b>4.3</b>	13 <b>4.3</b>	15 <b>5.0</b>	17 <b>5.7</b>	17 <b>5.7</b>	196 <b>65.3</b>
	30代		300 <b>100</b>	9 <b>3.0</b>	14 <b>4.7</b>	9 <b>3.0</b>	14 <b>4.7</b>	23 <b>7.7</b>	14 <b>4.7</b>	20 <b>6.7</b>	17 <b>5.7</b>	212 <b>70.7</b>
	40代		300 <b>100</b>	14 <b>4.7</b>	20 <b>6.7</b>	17 <b>5.7</b>	17 <b>5.7</b>	32 <b>10.7</b>	28 <b>9.3</b>	33 <b>11.0</b>	33 <b>11.0</b>	203 <b>67.7</b>
	50代		300 <b>100</b>	16 <b>5.3</b>	18 <b>6.0</b>	16 <b>5.3</b>	13 <b>4.3</b>	24 <b>8.0</b>	19 <b>6.3</b>	26 <b>8.7</b>	34 <b>11.3</b>	199 <b>66.3</b>
	60代		300 <b>100</b>	16 <b>5.3</b>	18 <b>6.0</b>	15 <b>5.0</b>	15 <b>5.0</b>	29 <b>9.7</b>	25 <b>8.3</b>	34 <b>11.3</b>	33 <b>11.0</b>	208 <b>69.3</b>
	70代以上		300 <b>100</b>	11 <b>3.7</b>	14 <b>4.7</b>	9 <b>3.0</b>	11 <b>3.7</b>	35 <b>11.7</b>	29 <b>9.7</b>	35 <b>11.7</b>	31 <b>10.3</b>	189 <b>63.0</b>

【2. 購入回数が減った】

		度数 横%	全 体	米	パン	野菜	果物	魚介	牛肉	豚肉	鶏肉	卵
全 体			1800 <b>100</b>	105 <b>5.8</b>	167 <b>9.3</b>	107 <b>5.9</b>	136 <b>7.6</b>	141 <b>7.8</b>	142 <b>7.9</b>	98 <b>5.4</b>	92 <b>5.1</b>	82 <b>4.6</b>
地域	首都圏		900 <b>100</b>	59 <b>6.6</b>	78 <b>8.7</b>	48 <b>5.3</b>	64 <b>7.1</b>	58 <b>6.4</b>	66 <b>7.3</b>	49 <b>5.4</b>	46 <b>5.1</b>	47 <b>5.2</b>
	京阪神圏		900 <b>100</b>	46 <b>5.1</b>	89 <b>9.9</b>	59 <b>6.6</b>	72 <b>8.0</b>	83 <b>9.2</b>	76 <b>8.4</b>	49 <b>5.4</b>	46 <b>5.1</b>	35 <b>3.9</b>
年代	20代		300 <b>100</b>	22 <b>7.3</b>	27 <b>9.0</b>	20 <b>6.7</b>	28 <b>9.3</b>	16 <b>5.3</b>	20 <b>6.7</b>	19 <b>6.3</b>	12 <b>4.0</b>	13 <b>4.3</b>
	30代		300 <b>100</b>	19 <b>6.3</b>	31 <b>10.3</b>	20 <b>6.7</b>	19 <b>6.3</b>	17 <b>5.7</b>	17 <b>5.7</b>	12 <b>4.0</b>	10 <b>3.3</b>	10 <b>3.3</b>
	40代		300 <b>100</b>	12 <b>4.0</b>	18 <b>6.0</b>	18 <b>6.0</b>	20 <b>6.7</b>	23 <b>7.7</b>	22 <b>7.3</b>	19 <b>6.3</b>	22 <b>7.3</b>	13 <b>4.3</b>
	50代		300 <b>100</b>	16 <b>5.3</b>	32 <b>10.7</b>	19 <b>6.3</b>	29 <b>9.7</b>	29 <b>9.7</b>	29 <b>9.7</b>	17 <b>5.7</b>	21 <b>7.0</b>	19 <b>6.3</b>
	60代		300 <b>100</b>	14 <b>4.7</b>	28 <b>9.3</b>	13 <b>4.3</b>	22 <b>7.3</b>	25 <b>8.3</b>	25 <b>8.3</b>	10 <b>3.3</b>	8 <b>2.7</b>	14 <b>4.7</b>
	70代以上		300 <b>100</b>	22 <b>7.3</b>	31 <b>10.3</b>	17 <b>5.7</b>	18 <b>6.0</b>	31 <b>10.3</b>	29 <b>9.7</b>	21 <b>7.0</b>	19 <b>6.3</b>	13 <b>4.3</b>

		度数 横%	全 体	牛乳	食肉加工品	乳製品	冷凍食品	インスタント 麺(カップ麺・ 袋麺等)	弁当・ 惣菜類	ファストフード	菓子類	いずれもない
全 体			1800 <b>100</b>	74 <b>4.1</b>	96 <b>5.3</b>	83 <b>4.6</b>	84 <b>4.7</b>	158 <b>8.8</b>	144 <b>8.0</b>	179 <b>9.9</b>	161 <b>8.9</b>	1160 <b>64.4</b>
地域	首都圏		900 <b>100</b>	31 <b>3.4</b>	45 <b>5.0</b>	36 <b>4.0</b>	42 <b>4.7</b>	82 <b>9.1</b>	71 <b>7.9</b>	82 <b>9.1</b>	78 <b>8.7</b>	586 <b>65.1</b>
	京阪神圏		900 <b>100</b>	43 <b>4.8</b>	51 <b>5.7</b>	47 <b>5.2</b>	42 <b>4.7</b>	76 <b>8.4</b>	73 <b>8.1</b>	97 <b>10.8</b>	83 <b>9.2</b>	574 <b>63.8</b>
年代	20代		300 <b>100</b>	14 <b>4.7</b>	13 <b>4.3</b>	14 <b>4.7</b>	15 <b>5.0</b>	24 <b>8.0</b>	16 <b>5.3</b>	22 <b>7.3</b>	20 <b>6.7</b>	197 <b>65.7</b>
	30代		300 <b>100</b>	11 <b>3.7</b>	18 <b>6.0</b>	16 <b>5.3</b>	14 <b>4.7</b>	25 <b>8.3</b>	17 <b>5.7</b>	23 <b>7.7</b>	20 <b>6.7</b>	201 <b>67.0</b>
	40代		300 <b>100</b>	9 <b>3.0</b>	11 <b>3.7</b>	11 <b>3.7</b>	11 <b>3.7</b>	25 <b>8.3</b>	26 <b>8.7</b>	27 <b>9.0</b>	24 <b>8.0</b>	198 <b>66.0</b>
	50代		300 <b>100</b>	13 <b>4.3</b>	16 <b>5.3</b>	17 <b>5.7</b>	15 <b>5.0</b>	19 <b>6.3</b>	24 <b>8.0</b>	32 <b>10.7</b>	27 <b>9.0</b>	182 <b>60.7</b>
	60代		300 <b>100</b>	13 <b>4.3</b>	16 <b>5.3</b>	10 <b>3.3</b>	14 <b>4.7</b>	32 <b>10.7</b>	34 <b>11.3</b>	40 <b>13.3</b>	34 <b>11.3</b>	193 <b>64.3</b>
	70代以上		300 <b>100</b>	14 <b>4.7</b>	22 <b>7.3</b>	15 <b>5.0</b>	15 <b>5.0</b>	33 <b>11.0</b>	27 <b>9.0</b>	35 <b>11.7</b>	36 <b>12.0</b>	189 <b>63.0</b>

【3.まとめ買いするようになった】

度数 横%		全 体	米	パン	野菜	果物	魚介	牛肉	豚肉	鶏肉	卵
全 体		1800 <b>100</b>	174 <b>9.7</b>	135 <b>7.5</b>	154 <b>8.6</b>	115 <b>6.4</b>	109 <b>6.1</b>	148 <b>8.2</b>	166 <b>9.2</b>	167 <b>9.3</b>	110 <b>6.1</b>
地域	首都圏	900 <b>100</b>	84 <b>9.3</b>	53 <b>5.9</b>	71 <b>7.9</b>	57 <b>6.3</b>	46 <b>5.1</b>	60 <b>6.7</b>	77 <b>8.6</b>	73 <b>8.1</b>	42 <b>4.7</b>
	京阪神圏	900 <b>100</b>	90 <b>10.0</b>	82 <b>9.1</b>	83 <b>9.2</b>	58 <b>6.4</b>	63 <b>7.0</b>	88 <b>9.8</b>	89 <b>9.9</b>	94 <b>10.4</b>	68 <b>7.6</b>
年代	20代	300 <b>100</b>	31 <b>10.3</b>	27 <b>9.0</b>	33 <b>11.0</b>	22 <b>7.3</b>	20 <b>6.7</b>	23 <b>7.7</b>	27 <b>9.0</b>	28 <b>9.3</b>	23 <b>7.7</b>
	30代	300 <b>100</b>	37 <b>12.3</b>	29 <b>9.7</b>	30 <b>10.0</b>	24 <b>8.0</b>	25 <b>8.3</b>	25 <b>8.3</b>	38 <b>12.7</b>	36 <b>12.0</b>	22 <b>7.3</b>
	40代	300 <b>100</b>	30 <b>10.0</b>	21 <b>7.0</b>	29 <b>9.7</b>	19 <b>6.3</b>	17 <b>5.7</b>	29 <b>9.7</b>	24 <b>8.0</b>	28 <b>9.3</b>	18 <b>6.0</b>
	50代	300 <b>100</b>	26 <b>8.7</b>	17 <b>5.7</b>	22 <b>7.3</b>	14 <b>4.7</b>	14 <b>4.7</b>	19 <b>6.3</b>	23 <b>7.7</b>	26 <b>8.7</b>	9 <b>3.0</b>
	60代	300 <b>100</b>	27 <b>9.0</b>	21 <b>7.0</b>	18 <b>6.0</b>	20 <b>6.7</b>	16 <b>5.3</b>	27 <b>9.0</b>	25 <b>8.3</b>	25 <b>8.3</b>	17 <b>5.7</b>
	70代以上	300 <b>100</b>	23 <b>7.7</b>	20 <b>6.7</b>	22 <b>7.3</b>	16 <b>5.3</b>	17 <b>5.7</b>	25 <b>8.3</b>	29 <b>9.7</b>	24 <b>8.0</b>	21 <b>7.0</b>

度数 横%		全 体	牛乳	食肉加工品	乳製品	冷凍食品	インスタント 麺(カップ麺・ 袋麺等)	弁当・ 惣菜類	ファストフード	菓子類	いずれもない
全 体		1800 <b>100</b>	95 <b>5.3</b>	102 <b>5.7</b>	108 <b>6.0</b>	149 <b>8.3</b>	139 <b>7.7</b>	82 <b>4.6</b>	68 <b>3.8</b>	124 <b>6.9</b>	1241 <b>68.9</b>
地域	首都圏	900 <b>100</b>	47 <b>5.2</b>	43 <b>4.8</b>	46 <b>5.1</b>	64 <b>7.1</b>	54 <b>6.0</b>	36 <b>4.0</b>	32 <b>3.6</b>	51 <b>5.7</b>	645 <b>71.7</b>
	京阪神圏	900 <b>100</b>	48 <b>5.3</b>	59 <b>6.6</b>	62 <b>6.9</b>	85 <b>9.4</b>	85 <b>9.4</b>	46 <b>5.1</b>	36 <b>4.0</b>	73 <b>8.1</b>	596 <b>66.2</b>
年代	20代	300 <b>100</b>	11 <b>3.7</b>	18 <b>6.0</b>	17 <b>5.7</b>	22 <b>7.3</b>	15 <b>5.0</b>	16 <b>5.3</b>	13 <b>4.3</b>	13 <b>4.3</b>	192 <b>64.0</b>
	30代	300 <b>100</b>	16 <b>5.3</b>	20 <b>6.7</b>	22 <b>7.3</b>	31 <b>10.3</b>	33 <b>11.0</b>	20 <b>6.7</b>	17 <b>5.7</b>	29 <b>9.7</b>	198 <b>66.0</b>
	40代	300 <b>100</b>	20 <b>6.7</b>	16 <b>5.3</b>	16 <b>5.3</b>	23 <b>7.7</b>	25 <b>8.3</b>	14 <b>4.7</b>	10 <b>3.3</b>	23 <b>7.7</b>	213 <b>71.0</b>
	50代	300 <b>100</b>	12 <b>4.0</b>	11 <b>3.7</b>	13 <b>4.3</b>	21 <b>7.0</b>	21 <b>7.0</b>	8 <b>2.7</b>	4 <b>1.3</b>	13 <b>4.3</b>	219 <b>73.0</b>
	60代	300 <b>100</b>	15 <b>5.0</b>	21 <b>7.0</b>	27 <b>9.0</b>	28 <b>9.3</b>	25 <b>8.3</b>	13 <b>4.3</b>	12 <b>4.0</b>	24 <b>8.0</b>	217 <b>72.3</b>
	70代以上	300 <b>100</b>	21 <b>7.0</b>	16 <b>5.3</b>	13 <b>4.3</b>	24 <b>8.0</b>	20 <b>6.7</b>	11 <b>3.7</b>	12 <b>4.0</b>	22 <b>7.3</b>	202 <b>67.3</b>

【4. 国産の食品を選んで買うようになった】

度数 横%		全 体	米	パン	野菜	果物	魚介	牛肉	豚肉	鶏肉	卵
全 体		1800 <b>100</b>	150 <b>8.3</b>	129 <b>7.2</b>	181 <b>10.1</b>	158 <b>8.8</b>	166 <b>9.2</b>	197 <b>10.9</b>	194 <b>10.8</b>	193 <b>10.7</b>	137 <b>7.6</b>
地域	首都圏	900 <b>100</b>	61 <b>6.8</b>	53 <b>5.9</b>	81 <b>9.0</b>	67 <b>7.4</b>	75 <b>8.3</b>	84 <b>9.3</b>	89 <b>9.9</b>	90 <b>10.0</b>	57 <b>6.3</b>
	京阪神圏	900 <b>100</b>	89 <b>9.9</b>	76 <b>8.4</b>	100 <b>11.1</b>	91 <b>10.1</b>	91 <b>10.1</b>	113 <b>12.6</b>	105 <b>11.7</b>	103 <b>11.4</b>	80 <b>8.9</b>
年代	20代	300 <b>100</b>	21 <b>7.0</b>	14 <b>4.7</b>	17 <b>5.7</b>	21 <b>7.0</b>	14 <b>4.7</b>	31 <b>10.3</b>	17 <b>5.7</b>	20 <b>6.7</b>	15 <b>5.0</b>
	30代	300 <b>100</b>	29 <b>9.7</b>	19 <b>6.3</b>	28 <b>9.3</b>	22 <b>7.3</b>	25 <b>8.3</b>	26 <b>8.7</b>	25 <b>8.3</b>	24 <b>8.0</b>	19 <b>6.3</b>
	40代	300 <b>100</b>	17 <b>5.7</b>	21 <b>7.0</b>	22 <b>7.3</b>	21 <b>7.0</b>	24 <b>8.0</b>	20 <b>6.7</b>	32 <b>10.7</b>	31 <b>10.3</b>	18 <b>6.0</b>
	50代	300 <b>100</b>	19 <b>6.3</b>	14 <b>4.7</b>	28 <b>9.3</b>	23 <b>7.7</b>	22 <b>7.3</b>	27 <b>9.0</b>	27 <b>9.0</b>	25 <b>8.3</b>	18 <b>6.0</b>
	60代	300 <b>100</b>	23 <b>7.7</b>	22 <b>7.3</b>	36 <b>12.0</b>	27 <b>9.0</b>	33 <b>11.0</b>	34 <b>11.3</b>	33 <b>11.0</b>	30 <b>10.0</b>	25 <b>8.3</b>
	70代以上	300 <b>100</b>	41 <b>13.7</b>	39 <b>13.0</b>	50 <b>16.7</b>	44 <b>14.7</b>	48 <b>16.0</b>	59 <b>19.7</b>	60 <b>20.0</b>	63 <b>21.0</b>	42 <b>14.0</b>

度数 横%		全 体	牛乳	食肉加工品	乳製品	冷凍食品	インスタント 麺(カップ麺・ 袋麺等)	弁当・ 惣菜類	ファストフード	菓子類	いずれもない
全 体		1800 <b>100</b>	132 <b>7.3</b>	125 <b>6.9</b>	132 <b>7.3</b>	111 <b>6.2</b>	92 <b>5.1</b>	82 <b>4.6</b>	81 <b>4.5</b>	93 <b>5.2</b>	1328 <b>73.8</b>
地域	首都圏	900 <b>100</b>	52 <b>5.8</b>	50 <b>5.6</b>	58 <b>6.4</b>	48 <b>5.3</b>	35 <b>3.9</b>	29 <b>3.2</b>	29 <b>3.2</b>	40 <b>4.4</b>	684 <b>76.0</b>
	京阪神圏	900 <b>100</b>	80 <b>8.9</b>	75 <b>8.3</b>	74 <b>8.2</b>	63 <b>7.0</b>	57 <b>6.3</b>	53 <b>5.9</b>	52 <b>5.8</b>	53 <b>5.9</b>	644 <b>71.6</b>
年代	20代	300 <b>100</b>	15 <b>5.0</b>	20 <b>6.7</b>	21 <b>7.0</b>	18 <b>6.0</b>	17 <b>5.7</b>	13 <b>4.3</b>	16 <b>5.3</b>	14 <b>4.7</b>	207 <b>69.0</b>
	30代	300 <b>100</b>	23 <b>7.7</b>	19 <b>6.3</b>	22 <b>7.3</b>	14 <b>4.7</b>	14 <b>4.7</b>	13 <b>4.3</b>	11 <b>3.7</b>	16 <b>5.3</b>	231 <b>77.0</b>
	40代	300 <b>100</b>	15 <b>5.0</b>	15 <b>5.0</b>	19 <b>6.3</b>	13 <b>4.3</b>	12 <b>4.0</b>	8 <b>2.7</b>	11 <b>3.7</b>	14 <b>4.7</b>	234 <b>78.0</b>
	50代	300 <b>100</b>	14 <b>4.7</b>	13 <b>4.3</b>	13 <b>4.3</b>	14 <b>4.7</b>	8 <b>2.7</b>	8 <b>2.7</b>	10 <b>3.3</b>	9 <b>3.0</b>	239 <b>79.7</b>
	60代	300 <b>100</b>	27 <b>9.0</b>	23 <b>7.7</b>	21 <b>7.0</b>	22 <b>7.3</b>	15 <b>5.0</b>	16 <b>5.3</b>	12 <b>4.0</b>	14 <b>4.7</b>	222 <b>74.0</b>
	70代以上	300 <b>100</b>	38 <b>12.7</b>	35 <b>11.7</b>	36 <b>12.0</b>	30 <b>10.0</b>	26 <b>8.7</b>	24 <b>8.0</b>	21 <b>7.0</b>	26 <b>8.7</b>	195 <b>65.0</b>

【5. 輸入・外国産の食品をあまり買わないようになった】

		度数 横%	全 体	米	パン	野菜	果物	魚介	牛肉	豚肉	鶏肉	卵
全 体			1800 <b>100</b>	34 <b>1.9</b>	43 <b>2.4</b>	50 <b>2.8</b>	44 <b>2.4</b>	54 <b>3.0</b>	105 <b>5.8</b>	106 <b>5.9</b>	91 <b>5.1</b>	31 <b>1.7</b>
地域	首都圏		900 <b>100</b>	14 <b>1.6</b>	17 <b>1.9</b>	22 <b>2.4</b>	17 <b>1.9</b>	22 <b>2.4</b>	44 <b>4.9</b>	46 <b>5.1</b>	45 <b>5.0</b>	11 <b>1.2</b>
	京阪神圏		900 <b>100</b>	20 <b>2.2</b>	26 <b>2.9</b>	28 <b>3.1</b>	27 <b>3.0</b>	32 <b>3.6</b>	61 <b>6.8</b>	60 <b>6.7</b>	46 <b>5.1</b>	20 <b>2.2</b>
年代	20代		300 <b>100</b>	10 <b>3.3</b>	13 <b>4.3</b>	15 <b>5.0</b>	13 <b>4.3</b>	19 <b>6.3</b>	17 <b>5.7</b>	16 <b>5.3</b>	10 <b>3.3</b>	9 <b>3.0</b>
	30代		300 <b>100</b>	6 <b>2.0</b>	8 <b>2.7</b>	4 <b>1.3</b>	3 <b>1.0</b>	9 <b>3.0</b>	12 <b>4.0</b>	11 <b>3.7</b>	9 <b>3.0</b>	7 <b>2.3</b>
	40代		300 <b>100</b>	8 <b>2.7</b>	10 <b>3.3</b>	6 <b>2.0</b>	8 <b>2.7</b>	7 <b>2.3</b>	14 <b>4.7</b>	12 <b>4.0</b>	12 <b>4.0</b>	6 <b>2.0</b>
	50代		300 <b>100</b>	3 <b>1.0</b>	3 <b>1.0</b>	13 <b>4.3</b>	5 <b>1.7</b>	3 <b>1.0</b>	11 <b>3.7</b>	15 <b>5.0</b>	12 <b>4.0</b>	2 <b>0.7</b>
	60代		300 <b>100</b>	4 <b>1.3</b>	6 <b>2.0</b>	5 <b>1.7</b>	6 <b>2.0</b>	3 <b>1.0</b>	16 <b>5.3</b>	17 <b>5.7</b>	15 <b>5.0</b>	5 <b>1.7</b>
	70代以上		300 <b>100</b>	3 <b>1.0</b>	3 <b>1.0</b>	7 <b>2.3</b>	9 <b>3.0</b>	13 <b>4.3</b>	35 <b>11.7</b>	35 <b>11.7</b>	33 <b>11.0</b>	2 <b>0.7</b>

		度数 横%	全 体	牛乳	食肉加工品	乳製品	冷凍食品	インスタント 麺(カップ麺・ 袋麺等)	弁当・ 惣菜類	ファストフード	菓子類	いずれもない
全 体			1800 <b>100</b>	35 <b>1.9</b>	45 <b>2.5</b>	36 <b>2.0</b>	42 <b>2.3</b>	29 <b>1.6</b>	30 <b>1.7</b>	35 <b>1.9</b>	32 <b>1.8</b>	1454 <b>80.8</b>
地域	首都圏		900 <b>100</b>	13 <b>1.4</b>	17 <b>1.9</b>	17 <b>1.9</b>	19 <b>2.1</b>	9 <b>1.0</b>	11 <b>1.2</b>	16 <b>1.8</b>	12 <b>1.3</b>	745 <b>82.8</b>
	京阪神圏		900 <b>100</b>	22 <b>2.4</b>	28 <b>3.1</b>	19 <b>2.1</b>	23 <b>2.6</b>	20 <b>2.2</b>	19 <b>2.1</b>	19 <b>2.1</b>	20 <b>2.2</b>	709 <b>78.8</b>
年代	20代		300 <b>100</b>	11 <b>3.7</b>	9 <b>3.0</b>	6 <b>2.0</b>	8 <b>2.7</b>	6 <b>2.0</b>	8 <b>2.7</b>	10 <b>3.3</b>	10 <b>3.3</b>	213 <b>71.0</b>
	30代		300 <b>100</b>	3 <b>1.0</b>	3 <b>1.0</b>	5 <b>1.7</b>	6 <b>2.0</b>	2 <b>0.7</b>	4 <b>1.3</b>	4 <b>1.3</b>	2 <b>0.7</b>	255 <b>85.0</b>
	40代		300 <b>100</b>	6 <b>2.0</b>	6 <b>2.0</b>	3 <b>1.0</b>	8 <b>2.7</b>	5 <b>1.7</b>	3 <b>1.0</b>	4 <b>1.3</b>	4 <b>1.3</b>	249 <b>83.0</b>
	50代		300 <b>100</b>	6 <b>2.0</b>	6 <b>2.0</b>	6 <b>2.0</b>	4 <b>1.3</b>	4 <b>1.3</b>	5 <b>1.7</b>	3 <b>1.0</b>	7 <b>2.3</b>	255 <b>85.0</b>
	60代		300 <b>100</b>	6 <b>2.0</b>	7 <b>2.3</b>	7 <b>2.3</b>	6 <b>2.0</b>	8 <b>2.7</b>	4 <b>1.3</b>	6 <b>2.0</b>	3 <b>1.0</b>	253 <b>84.3</b>
	70代以上		300 <b>100</b>	3 <b>1.0</b>	14 <b>4.7</b>	9 <b>3.0</b>	10 <b>3.3</b>	4 <b>1.3</b>	6 <b>2.0</b>	8 <b>2.7</b>	6 <b>2.0</b>	229 <b>76.3</b>

【6. より安い商品・製品を選んで買うようになった】

度数 横%		全 体	米	パン	野菜	果物	魚介	牛肉	豚肉	鶏肉	卵
全 体		1800 <b>100</b>	266 <b>14.8</b>	265 <b>14.7</b>	279 <b>15.5</b>	234 <b>13.0</b>	224 <b>12.4</b>	239 <b>13.3</b>	239 <b>13.3</b>	239 <b>13.3</b>	237 <b>13.2</b>
地域	首都圏	900 <b>100</b>	131 <b>14.6</b>	123 <b>13.7</b>	133 <b>14.8</b>	110 <b>12.2</b>	108 <b>12.0</b>	107 <b>11.9</b>	120 <b>13.3</b>	117 <b>13.0</b>	118 <b>13.1</b>
	京阪神圏	900 <b>100</b>	135 <b>15.0</b>	142 <b>15.8</b>	146 <b>16.2</b>	124 <b>13.8</b>	116 <b>12.9</b>	132 <b>14.7</b>	119 <b>13.2</b>	122 <b>13.6</b>	119 <b>13.2</b>
年代	20代	300 <b>100</b>	34 <b>11.3</b>	28 <b>9.3</b>	35 <b>11.7</b>	27 <b>9.0</b>	25 <b>8.3</b>	34 <b>11.3</b>	28 <b>9.3</b>	34 <b>11.3</b>	32 <b>10.7</b>
	30代	300 <b>100</b>	41 <b>13.7</b>	35 <b>11.7</b>	37 <b>12.3</b>	34 <b>11.3</b>	30 <b>10.0</b>	31 <b>10.3</b>	35 <b>11.7</b>	38 <b>12.7</b>	39 <b>13.0</b>
	40代	300 <b>100</b>	31 <b>10.3</b>	34 <b>11.3</b>	39 <b>13.0</b>	28 <b>9.3</b>	27 <b>9.0</b>	24 <b>8.0</b>	26 <b>8.7</b>	22 <b>7.3</b>	19 <b>6.3</b>
	50代	300 <b>100</b>	49 <b>16.3</b>	60 <b>20.0</b>	59 <b>19.7</b>	49 <b>16.3</b>	44 <b>14.7</b>	45 <b>15.0</b>	49 <b>16.3</b>	48 <b>16.0</b>	52 <b>17.3</b>
	60代	300 <b>100</b>	57 <b>19.0</b>	55 <b>18.3</b>	56 <b>18.7</b>	47 <b>15.7</b>	51 <b>17.0</b>	52 <b>17.3</b>	54 <b>18.0</b>	57 <b>19.0</b>	47 <b>15.7</b>
	70代以上	300 <b>100</b>	54 <b>18.0</b>	53 <b>17.7</b>	53 <b>17.7</b>	49 <b>16.3</b>	47 <b>15.7</b>	53 <b>17.7</b>	47 <b>15.7</b>	40 <b>13.3</b>	48 <b>16.0</b>

度数 横%		全 体	牛乳	食肉加工品	乳製品	冷凍食品	インスタント 麺(カップ麺・ 袋麺等)	弁当・ 惣菜類	ファストフード	菓子類	いずれもない
全 体		1800 <b>100</b>	223 <b>12.4</b>	210 <b>11.7</b>	218 <b>12.1</b>	198 <b>11.0</b>	210 <b>11.7</b>	176 <b>9.8</b>	139 <b>7.7</b>	207 <b>11.5</b>	1154 <b>64.1</b>
地域	首都圏	900 <b>100</b>	104 <b>11.6</b>	104 <b>11.6</b>	102 <b>11.3</b>	101 <b>11.2</b>	105 <b>11.7</b>	85 <b>9.4</b>	69 <b>7.7</b>	103 <b>11.4</b>	588 <b>65.3</b>
	京阪神圏	900 <b>100</b>	119 <b>13.2</b>	106 <b>11.8</b>	116 <b>12.9</b>	97 <b>10.8</b>	105 <b>11.7</b>	91 <b>10.1</b>	70 <b>7.8</b>	104 <b>11.6</b>	566 <b>62.9</b>
年代	20代	300 <b>100</b>	30 <b>10.0</b>	26 <b>8.7</b>	26 <b>8.7</b>	23 <b>7.7</b>	24 <b>8.0</b>	20 <b>6.7</b>	20 <b>6.7</b>	21 <b>7.0</b>	183 <b>61.0</b>
	30代	300 <b>100</b>	39 <b>13.0</b>	29 <b>9.7</b>	32 <b>10.7</b>	33 <b>11.0</b>	33 <b>11.0</b>	27 <b>9.0</b>	21 <b>7.0</b>	32 <b>10.7</b>	206 <b>68.7</b>
	40代	300 <b>100</b>	18 <b>6.0</b>	21 <b>7.0</b>	22 <b>7.3</b>	18 <b>6.0</b>	23 <b>7.7</b>	19 <b>6.3</b>	15 <b>5.0</b>	31 <b>10.3</b>	211 <b>70.3</b>
	50代	300 <b>100</b>	44 <b>14.7</b>	44 <b>14.7</b>	43 <b>14.3</b>	36 <b>12.0</b>	41 <b>13.7</b>	35 <b>11.7</b>	24 <b>8.0</b>	37 <b>12.3</b>	186 <b>62.0</b>
	60代	300 <b>100</b>	45 <b>15.0</b>	45 <b>15.0</b>	47 <b>15.7</b>	43 <b>14.3</b>	46 <b>15.3</b>	37 <b>12.3</b>	30 <b>10.0</b>	41 <b>13.7</b>	186 <b>62.0</b>
	70代以上	300 <b>100</b>	47 <b>15.7</b>	45 <b>15.0</b>	48 <b>16.0</b>	45 <b>15.0</b>	43 <b>14.3</b>	38 <b>12.7</b>	29 <b>9.7</b>	45 <b>15.0</b>	182 <b>60.7</b>

【7. より価格の安い店を選んで買うようになった】

		度数 横%	全 体	米	パン	野菜	果物	魚介	牛肉	豚肉	鶏肉	卵
全 体			1800	220	213	255	214	203	211	216	211	216
			<b>100</b>	<b>12.2</b>	<b>11.8</b>	<b>14.2</b>	<b>11.9</b>	<b>11.3</b>	<b>11.7</b>	<b>12.0</b>	<b>11.7</b>	<b>12.0</b>
地域	首都圏		900	115	107	127	103	102	106	110	110	114
			<b>100</b>	<b>12.8</b>	<b>11.9</b>	<b>14.1</b>	<b>11.4</b>	<b>11.3</b>	<b>11.8</b>	<b>12.2</b>	<b>12.2</b>	<b>12.7</b>
	京阪神圏		900	105	106	128	111	101	105	106	101	102
			<b>100</b>	<b>11.7</b>	<b>11.8</b>	<b>14.2</b>	<b>12.3</b>	<b>11.2</b>	<b>11.7</b>	<b>11.8</b>	<b>11.2</b>	<b>11.3</b>
年代	20代		300	38	28	35	29	28	33	30	29	29
			<b>100</b>	<b>12.7</b>	<b>9.3</b>	<b>11.7</b>	<b>9.7</b>	<b>9.3</b>	<b>11.0</b>	<b>10.0</b>	<b>9.7</b>	<b>9.7</b>
	30代		300	36	34	39	37	29	32	36	35	33
			<b>100</b>	<b>12.0</b>	<b>11.3</b>	<b>13.0</b>	<b>12.3</b>	<b>9.7</b>	<b>10.7</b>	<b>12.0</b>	<b>11.7</b>	<b>11.0</b>
	40代		300	32	33	35	30	29	30	30	25	28
			<b>100</b>	<b>10.7</b>	<b>11.0</b>	<b>11.7</b>	<b>10.0</b>	<b>9.7</b>	<b>10.0</b>	<b>10.0</b>	<b>8.3</b>	<b>9.3</b>
	50代		300	45	52	54	41	39	37	38	42	45
		<b>100</b>	<b>15.0</b>	<b>17.3</b>	<b>18.0</b>	<b>13.7</b>	<b>13.0</b>	<b>12.3</b>	<b>12.7</b>	<b>14.0</b>	<b>15.0</b>	
60代		300	37	37	51	38	40	40	45	44	41	
		<b>100</b>	<b>12.3</b>	<b>12.3</b>	<b>17.0</b>	<b>12.7</b>	<b>13.3</b>	<b>13.3</b>	<b>15.0</b>	<b>14.7</b>	<b>13.7</b>	
70代以上		300	32	29	41	39	38	39	37	36	40	
		<b>100</b>	<b>10.7</b>	<b>9.7</b>	<b>13.7</b>	<b>13.0</b>	<b>12.7</b>	<b>13.0</b>	<b>12.3</b>	<b>12.0</b>	<b>13.3</b>	

		度数 横%	全 体	牛乳	食肉加工品	乳製品	冷凍食品	インスタント 麺(カップ麺・ 袋麺等)	弁当・ 惣菜類	ファストフード	菓子類	いずれもない
全 体			1800	206	179	200	215	226	174	152	215	1198
			<b>100</b>	<b>11.4</b>	<b>9.9</b>	<b>11.1</b>	<b>11.9</b>	<b>12.6</b>	<b>9.7</b>	<b>8.4</b>	<b>11.9</b>	<b>66.6</b>
地域	首都圏		900	108	89	104	110	119	89	84	110	606
			<b>100</b>	<b>12.0</b>	<b>9.9</b>	<b>11.6</b>	<b>12.2</b>	<b>13.2</b>	<b>9.9</b>	<b>9.3</b>	<b>12.2</b>	<b>67.3</b>
	京阪神圏		900	98	90	96	105	107	85	68	105	592
			<b>100</b>	<b>10.9</b>	<b>10.0</b>	<b>10.7</b>	<b>11.7</b>	<b>11.9</b>	<b>9.4</b>	<b>7.6</b>	<b>11.7</b>	<b>65.8</b>
年代	20代		300	21	25	24	26	30	27	26	26	189
			<b>100</b>	<b>7.0</b>	<b>8.3</b>	<b>8.0</b>	<b>8.7</b>	<b>10.0</b>	<b>9.0</b>	<b>8.7</b>	<b>8.7</b>	<b>63.0</b>
	30代		300	34	32	32	39	40	35	27	42	203
			<b>100</b>	<b>11.3</b>	<b>10.7</b>	<b>10.7</b>	<b>13.0</b>	<b>13.3</b>	<b>11.7</b>	<b>9.0</b>	<b>14.0</b>	<b>67.7</b>
	40代		300	31	23	27	28	29	24	20	34	214
			<b>100</b>	<b>10.3</b>	<b>7.7</b>	<b>9.0</b>	<b>9.3</b>	<b>9.7</b>	<b>8.0</b>	<b>6.7</b>	<b>11.3</b>	<b>71.3</b>
	50代		300	46	38	44	43	52	31	26	42	187
		<b>100</b>	<b>15.3</b>	<b>12.7</b>	<b>14.7</b>	<b>14.3</b>	<b>17.3</b>	<b>10.3</b>	<b>8.7</b>	<b>14.0</b>	<b>62.3</b>	
60代		300	36	33	40	43	41	28	24	37	200	
		<b>100</b>	<b>12.0</b>	<b>11.0</b>	<b>13.3</b>	<b>14.3</b>	<b>13.7</b>	<b>9.3</b>	<b>8.0</b>	<b>12.3</b>	<b>66.7</b>	
70代以上		300	38	28	33	36	34	29	29	34	205	
		<b>100</b>	<b>12.7</b>	<b>9.3</b>	<b>11.0</b>	<b>12.0</b>	<b>11.3</b>	<b>9.7</b>	<b>9.7</b>	<b>11.3</b>	<b>68.3</b>	

Q46 ここでは、いろいろな人々について簡潔に描写しています。

それぞれの文を読んで、そこに描かれた人が「自分と似ているかと思うか」、それとも「自分と似ていないと思うか」について考えてみてください。その上で、それぞれの程度をお答えください。

この人は、どのくらいあなたに似ていますか。

【1. この人にとっては、環境汚染を防ぐことが重要である】

		度数 横%	全 体	まったく 似ていない	ほとんど 似ていない	あまり 似ていない	少し 似ている	かなり 似ている	とても 似ている
全 体			1800 100	120 6.7	161 8.9	570 31.7	654 36.3	213 11.8	82 4.6
地域	首都圏		900 100	69 7.7	68 7.6	273 30.3	337 37.4	117 13.0	36 4.0
	京阪神圏		900 100	51 5.7	93 10.3	297 33.0	317 35.2	96 10.7	46 5.1
年代	20代		300 100	33 11.0	33 11.0	107 35.7	90 30.0	26 8.7	11 3.7
	30代		300 100	31 10.3	29 9.7	104 34.7	95 31.7	24 8.0	17 5.7
	40代		300 100	25 8.3	26 8.7	111 37.0	102 34.0	26 8.7	10 3.3
	50代		300 100	15 5.0	32 10.7	97 32.3	112 37.3	32 10.7	12 4.0
	60代		300 100	12 4.0	22 7.3	79 26.3	139 46.3	37 12.3	11 3.7
	70代以上		300 100	4 1.3	19 6.3	72 24.0	116 38.7	68 22.7	21 7.0

【2. この人にとっては、環境を保護することが重要である】

		度数 横%	全 体	まったく 似ていない	ほとんど 似ていない	あまり 似ていない	少し 似ている	かなり 似ている	とても 似ている
全 体			1800 100	116 6.4	159 8.8	587 32.6	674 37.4	187 10.4	77 4.3
地域	首都圏		900 100	63 7.0	68 7.6	273 30.3	353 39.2	108 12.0	35 3.9
	京阪神圏		900 100	53 5.9	91 10.1	314 34.9	321 35.7	79 8.8	42 4.7
年代	20代		300 100	29 9.7	44 14.7	101 33.7	86 28.7	29 9.7	11 3.7
	30代		300 100	29 9.7	21 7.0	120 40.0	91 30.3	26 8.7	13 4.3
	40代		300 100	26 8.7	30 10.0	104 34.7	110 36.7	24 8.0	6 2.0
	50代		300 100	15 5.0	27 9.0	103 34.3	117 39.0	24 8.0	14 4.7
	60代		300 100	13 4.3	23 7.7	79 26.3	140 46.7	31 10.3	14 4.7
	70代以上		300 100	4 1.3	14 4.7	80 26.7	130 43.3	53 17.7	19 6.3



【3. この人にとっては、環境を尊重することが重要である】

		度数 横%	全 体	まったく 似ていない	ほとんど 似ていない	あまり 似ていない	少し 似ている	かなり 似ている	とても 似ている
全 体			1800 <b>100</b>	111 <b>6.2</b>	158 <b>8.8</b>	612 <b>34.0</b>	642 <b>35.7</b>	198 <b>11.0</b>	79 <b>4.4</b>
地域	首都圏		900 <b>100</b>	67 <b>7.4</b>	65 <b>7.2</b>	293 <b>32.6</b>	323 <b>35.9</b>	110 <b>12.2</b>	42 <b>4.7</b>
	京阪神圏		900 <b>100</b>	44 <b>4.9</b>	93 <b>10.3</b>	319 <b>35.4</b>	319 <b>35.4</b>	88 <b>9.8</b>	37 <b>4.1</b>
年代	20代		300 <b>100</b>	31 <b>10.3</b>	32 <b>10.7</b>	113 <b>37.7</b>	84 <b>28.0</b>	28 <b>9.3</b>	12 <b>4.0</b>
	30代		300 <b>100</b>	25 <b>8.3</b>	32 <b>10.7</b>	116 <b>38.7</b>	83 <b>27.7</b>	29 <b>9.7</b>	15 <b>5.0</b>
	40代		300 <b>100</b>	24 <b>8.0</b>	31 <b>10.3</b>	111 <b>37.0</b>	106 <b>35.3</b>	20 <b>6.7</b>	8 <b>2.7</b>
	50代		300 <b>100</b>	13 <b>4.3</b>	31 <b>10.3</b>	107 <b>35.7</b>	109 <b>36.3</b>	30 <b>10.0</b>	10 <b>3.3</b>
	60代		300 <b>100</b>	12 <b>4.0</b>	16 <b>5.3</b>	100 <b>33.3</b>	132 <b>44.0</b>	28 <b>9.3</b>	12 <b>4.0</b>
	70代以上		300 <b>100</b>	6 <b>2.0</b>	16 <b>5.3</b>	65 <b>21.7</b>	128 <b>42.7</b>	63 <b>21.0</b>	22 <b>7.3</b>

【4. この人にとっては、自然と一体であることが重要である】

		度数 横%	全 体	まったく 似ていない	ほとんど 似ていない	あまり 似ていない	少し 似ている	かなり 似ている	とても 似ている
全 体			1800 <b>100</b>	135 <b>7.5</b>	195 <b>10.8</b>	672 <b>37.3</b>	596 <b>33.1</b>	152 <b>8.4</b>	50 <b>2.8</b>
地域	首都圏		900 <b>100</b>	75 <b>8.3</b>	83 <b>9.2</b>	329 <b>36.6</b>	305 <b>33.9</b>	80 <b>8.9</b>	28 <b>3.1</b>
	京阪神圏		900 <b>100</b>	60 <b>6.7</b>	112 <b>12.4</b>	343 <b>38.1</b>	291 <b>32.3</b>	72 <b>8.0</b>	22 <b>2.4</b>
年代	20代		300 <b>100</b>	23 <b>7.7</b>	44 <b>14.7</b>	116 <b>38.7</b>	77 <b>25.7</b>	30 <b>10.0</b>	10 <b>3.3</b>
	30代		300 <b>100</b>	34 <b>11.3</b>	29 <b>9.7</b>	117 <b>39.0</b>	82 <b>27.3</b>	25 <b>8.3</b>	13 <b>4.3</b>
	40代		300 <b>100</b>	33 <b>11.0</b>	33 <b>11.0</b>	113 <b>37.7</b>	100 <b>33.3</b>	17 <b>5.7</b>	4 <b>1.3</b>
	50代		300 <b>100</b>	19 <b>6.3</b>	42 <b>14.0</b>	114 <b>38.0</b>	100 <b>33.3</b>	18 <b>6.0</b>	7 <b>2.3</b>
	60代		300 <b>100</b>	17 <b>5.7</b>	27 <b>9.0</b>	118 <b>39.3</b>	109 <b>36.3</b>	23 <b>7.7</b>	6 <b>2.0</b>
	70代以上		300 <b>100</b>	9 <b>3.0</b>	20 <b>6.7</b>	94 <b>31.3</b>	128 <b>42.7</b>	39 <b>13.0</b>	10 <b>3.3</b>

【5. この人にとっては、すべての人が平等な機会を持つことが重要である】

		度数 横%	全 体	まったく 似ていない	ほとんど 似ていない	あまり 似ていない	少し 似ている	かなり 似ている	とても 似ている
全 体			1800 <b>100</b>	72 <b>4.0</b>	120 <b>6.7</b>	553 <b>30.7</b>	710 <b>39.4</b>	233 <b>12.9</b>	112 <b>6.2</b>
地域	首都圏		900 <b>100</b>	37 <b>4.1</b>	53 <b>5.9</b>	276 <b>30.7</b>	358 <b>39.8</b>	120 <b>13.3</b>	56 <b>6.2</b>
	京阪神圏		900 <b>100</b>	35 <b>3.9</b>	67 <b>7.4</b>	277 <b>30.8</b>	352 <b>39.1</b>	113 <b>12.6</b>	56 <b>6.2</b>
年代	20代		300 <b>100</b>	18 <b>6.0</b>	31 <b>10.3</b>	98 <b>32.7</b>	98 <b>32.7</b>	39 <b>13.0</b>	16 <b>5.3</b>
	30代		300 <b>100</b>	22 <b>7.3</b>	23 <b>7.7</b>	104 <b>34.7</b>	103 <b>34.3</b>	32 <b>10.7</b>	16 <b>5.3</b>
	40代		300 <b>100</b>	16 <b>5.3</b>	18 <b>6.0</b>	107 <b>35.7</b>	117 <b>39.0</b>	24 <b>8.0</b>	18 <b>6.0</b>
	50代		300 <b>100</b>	9 <b>3.0</b>	23 <b>7.7</b>	94 <b>31.3</b>	120 <b>40.0</b>	32 <b>10.7</b>	22 <b>7.3</b>
	60代		300 <b>100</b>	6 <b>2.0</b>	12 <b>4.0</b>	84 <b>28.0</b>	140 <b>46.7</b>	43 <b>14.3</b>	15 <b>5.0</b>
	70代以上		300 <b>100</b>	1 <b>0.3</b>	13 <b>4.3</b>	66 <b>22.0</b>	132 <b>44.0</b>	63 <b>21.0</b>	25 <b>8.3</b>

【6. この人にとっては、自分より困窮している人びとの世話をすることが重要である】

		度数 横%	全 体	まったく 似ていない	ほとんど 似ていない	あまり 似ていない	少し 似ている	かなり 似ている	とても 似ている
全 体			1800 <b>100</b>	149 <b>8.3</b>	225 <b>12.5</b>	758 <b>42.1</b>	515 <b>28.6</b>	115 <b>6.4</b>	38 <b>2.1</b>
地域	首都圏		900 <b>100</b>	64 <b>7.1</b>	108 <b>12.0</b>	386 <b>42.9</b>	264 <b>29.3</b>	56 <b>6.2</b>	22 <b>2.4</b>
	京阪神圏		900 <b>100</b>	85 <b>9.4</b>	117 <b>13.0</b>	372 <b>41.3</b>	251 <b>27.9</b>	59 <b>6.6</b>	16 <b>1.8</b>
年代	20代		300 <b>100</b>	33 <b>11.0</b>	42 <b>14.0</b>	116 <b>38.7</b>	76 <b>25.3</b>	24 <b>8.0</b>	9 <b>3.0</b>
	30代		300 <b>100</b>	31 <b>10.3</b>	37 <b>12.3</b>	120 <b>40.0</b>	78 <b>26.0</b>	25 <b>8.3</b>	9 <b>3.0</b>
	40代		300 <b>100</b>	32 <b>10.7</b>	46 <b>15.3</b>	125 <b>41.7</b>	79 <b>26.3</b>	14 <b>4.7</b>	4 <b>1.3</b>
	50代		300 <b>100</b>	28 <b>9.3</b>	38 <b>12.7</b>	130 <b>43.3</b>	82 <b>27.3</b>	15 <b>5.0</b>	7 <b>2.3</b>
	60代		300 <b>100</b>	15 <b>5.0</b>	34 <b>11.3</b>	140 <b>46.7</b>	93 <b>31.0</b>	13 <b>4.3</b>	5 <b>1.7</b>
	70代以上		300 <b>100</b>	10 <b>3.3</b>	28 <b>9.3</b>	127 <b>42.3</b>	107 <b>35.7</b>	24 <b>8.0</b>	4 <b>1.3</b>

【7. この人にとっては、すべての人が公正に扱われることが重要である】

		度数 横%	全 体	まったく 似ていない	ほとんど 似ていない	あまり 似ていない	少し 似ている	かなり 似ている	とても 似ている
全 体			1800 <b>100</b>	68 <b>3.8</b>	113 <b>6.3</b>	526 <b>29.2</b>	686 <b>38.1</b>	262 <b>14.6</b>	145 <b>8.1</b>
地域	首都圏		900 <b>100</b>	32 <b>3.6</b>	51 <b>5.7</b>	255 <b>28.3</b>	350 <b>38.9</b>	134 <b>14.9</b>	78 <b>8.7</b>
	京阪神圏		900 <b>100</b>	36 <b>4.0</b>	62 <b>6.9</b>	271 <b>30.1</b>	336 <b>37.3</b>	128 <b>14.2</b>	67 <b>7.4</b>
年代	20代		300 <b>100</b>	19 <b>6.3</b>	32 <b>10.7</b>	100 <b>33.3</b>	89 <b>29.7</b>	33 <b>11.0</b>	27 <b>9.0</b>
	30代		300 <b>100</b>	19 <b>6.3</b>	19 <b>6.3</b>	104 <b>34.7</b>	107 <b>35.7</b>	29 <b>9.7</b>	22 <b>7.3</b>
	40代		300 <b>100</b>	14 <b>4.7</b>	20 <b>6.7</b>	106 <b>35.3</b>	114 <b>38.0</b>	27 <b>9.0</b>	19 <b>6.3</b>
	50代		300 <b>100</b>	7 <b>2.3</b>	18 <b>6.0</b>	88 <b>29.3</b>	114 <b>38.0</b>	48 <b>16.0</b>	25 <b>8.3</b>
	60代		300 <b>100</b>	7 <b>2.3</b>	12 <b>4.0</b>	75 <b>25.0</b>	142 <b>47.3</b>	44 <b>14.7</b>	20 <b>6.7</b>
	70代以上		300 <b>100</b>	2 <b>0.7</b>	12 <b>4.0</b>	53 <b>17.7</b>	120 <b>40.0</b>	81 <b>27.0</b>	32 <b>10.7</b>

【8. この人にとっては、他人の手助けをすることが重要である】

		度数 横%	全 体	まったく 似ていない	ほとんど 似ていない	あまり 似ていない	少し 似ている	かなり 似ている	とても 似ている
全 体			1800 <b>100</b>	95 <b>5.3</b>	151 <b>8.4</b>	611 <b>33.9</b>	711 <b>39.5</b>	168 <b>9.3</b>	64 <b>3.6</b>
地域	首都圏		900 <b>100</b>	41 <b>4.6</b>	69 <b>7.7</b>	317 <b>35.2</b>	353 <b>39.2</b>	90 <b>10.0</b>	30 <b>3.3</b>
	京阪神圏		900 <b>100</b>	54 <b>6.0</b>	82 <b>9.1</b>	294 <b>32.7</b>	358 <b>39.8</b>	78 <b>8.7</b>	34 <b>3.8</b>
年代	20代		300 <b>100</b>	16 <b>5.3</b>	34 <b>11.3</b>	101 <b>33.7</b>	98 <b>32.7</b>	36 <b>12.0</b>	15 <b>5.0</b>
	30代		300 <b>100</b>	25 <b>8.3</b>	21 <b>7.0</b>	97 <b>32.3</b>	122 <b>40.7</b>	21 <b>7.0</b>	14 <b>4.7</b>
	40代		300 <b>100</b>	20 <b>6.7</b>	26 <b>8.7</b>	125 <b>41.7</b>	98 <b>32.7</b>	24 <b>8.0</b>	7 <b>2.3</b>
	50代		300 <b>100</b>	14 <b>4.7</b>	25 <b>8.3</b>	102 <b>34.0</b>	125 <b>41.7</b>	21 <b>7.0</b>	13 <b>4.3</b>
	60代		300 <b>100</b>	12 <b>4.0</b>	25 <b>8.3</b>	94 <b>31.3</b>	137 <b>45.7</b>	27 <b>9.0</b>	5 <b>1.7</b>
	70代以上		300 <b>100</b>	8 <b>2.7</b>	20 <b>6.7</b>	92 <b>30.7</b>	131 <b>43.7</b>	39 <b>13.0</b>	10 <b>3.3</b>

【9. この人にとっては、他人に対して権威を持つことが重要である】

		度数 横%	全 体	まったく 似ていない	ほとんど 似ていない	あまり 似ていない	少し 似ている	かなり 似ている	とても 似ている
全 体			1800 100	380 21.1	366 20.3	611 33.9	334 18.6	76 4.2	33 1.8
地域	首都圏		900 100	202 22.4	174 19.3	308 34.2	169 18.8	30 3.3	17 1.9
	京阪神圏		900 100	178 19.8	192 21.3	303 33.7	165 18.3	46 5.1	16 1.8
年代	20代		300 100	45 15.0	52 17.3	107 35.7	60 20.0	29 9.7	7 2.3
	30代		300 100	53 17.7	45 15.0	96 32.0	83 27.7	13 4.3	10 3.3
	40代		300 100	68 22.7	49 16.3	105 35.0	65 21.7	9 3.0	4 1.3
	50代		300 100	69 23.0	70 23.3	105 35.0	41 13.7	9 3.0	6 2.0
	60代		300 100	73 24.3	67 22.3	105 35.0	45 15.0	7 2.3	3 1.0
	70代以上		300 100	72 24.0	83 27.7	93 31.0	40 13.3	9 3.0	3 1.0

【10. この人にとっては、影響力を持つことが重要である】

		度数 横%	全 体	まったく 似ていない	ほとんど 似ていない	あまり 似ていない	少し 似ている	かなり 似ている	とても 似ている
全 体			1800 100	262 14.6	316 17.6	696 38.7	389 21.6	103 5.7	34 1.9
地域	首都圏		900 100	128 14.2	160 17.8	340 37.8	199 22.1	57 6.3	16 1.8
	京阪神圏		900 100	134 14.9	156 17.3	356 39.6	190 21.1	46 5.1	18 2.0
年代	20代		300 100	38 12.7	53 17.7	98 32.7	78 26.0	24 8.0	9 3.0
	30代		300 100	43 14.3	41 13.7	113 37.7	68 22.7	26 8.7	9 3.0
	40代		300 100	49 16.3	53 17.7	122 40.7	59 19.7	12 4.0	5 1.7
	50代		300 100	52 17.3	61 20.3	120 40.0	52 17.3	11 3.7	4 1.3
	60代		300 100	41 13.7	55 18.3	119 39.7	71 23.7	11 3.7	3 1.0
	70代以上		300 100	39 13.0	53 17.7	124 41.3	61 20.3	19 6.3	4 1.3

【11. この人にとっては、お金と所有物を持つことが重要である】

		度数 横%	全 体	まったく 似ていない	ほとんど 似ていない	あまり 似ていない	少し 似ている	かなり 似ている	とても 似ている
全 体			1800 100	114 6.3	210 11.7	634 35.2	603 33.5	165 9.2	74 4.1
地域	首都圏		900 100	52 5.8	105 11.7	312 34.7	300 33.3	91 10.1	40 4.4
	京阪神圏		900 100	62 6.9	105 11.7	322 35.8	303 33.7	74 8.2	34 3.8
年代	20代		300 100	19 6.3	32 10.7	104 34.7	95 31.7	35 11.7	15 5.0
	30代		300 100	22 7.3	29 9.7	109 36.3	89 29.7	35 11.7	16 5.3
	40代		300 100	18 6.0	32 10.7	105 35.0	101 33.7	28 9.3	16 5.3
	50代		300 100	14 4.7	37 12.3	97 32.3	115 38.3	19 6.3	18 6.0
	60代		300 100	20 6.7	26 8.7	110 36.7	119 39.7	21 7.0	4 1.3
	70代以上		300 100	21 7.0	54 18.0	109 36.3	84 28.0	27 9.0	5 1.7

【12. この人にとっては、楽しむことが重要である】

		度数 横%	全 体	まったく 似ていない	ほとんど 似ていない	あまり 似ていない	少し 似ている	かなり 似ている	とても 似ている
全 体			1800 <b>100</b>	57 <b>3.2</b>	101 <b>5.6</b>	471 <b>26.2</b>	682 <b>37.9</b>	327 <b>18.2</b>	162 <b>9.0</b>
地域	首都圏		900 <b>100</b>	31 <b>3.4</b>	36 <b>4.0</b>	234 <b>26.0</b>	357 <b>39.7</b>	165 <b>18.3</b>	77 <b>8.6</b>
	京阪神圏		900 <b>100</b>	26 <b>2.9</b>	65 <b>7.2</b>	237 <b>26.3</b>	325 <b>36.1</b>	162 <b>18.0</b>	85 <b>9.4</b>
年代	20代		300 <b>100</b>	13 <b>4.3</b>	27 <b>9.0</b>	85 <b>28.3</b>	88 <b>29.3</b>	48 <b>16.0</b>	39 <b>13.0</b>
	30代		300 <b>100</b>	16 <b>5.3</b>	18 <b>6.0</b>	92 <b>30.7</b>	96 <b>32.0</b>	50 <b>16.7</b>	28 <b>9.3</b>
	40代		300 <b>100</b>	13 <b>4.3</b>	13 <b>4.3</b>	89 <b>29.7</b>	110 <b>36.7</b>	46 <b>15.3</b>	29 <b>9.7</b>
	50代		300 <b>100</b>	8 <b>2.7</b>	16 <b>5.3</b>	74 <b>24.7</b>	122 <b>40.7</b>	55 <b>18.3</b>	25 <b>8.3</b>
	60代		300 <b>100</b>	4 <b>1.3</b>	11 <b>3.7</b>	70 <b>23.3</b>	143 <b>47.7</b>	57 <b>19.0</b>	15 <b>5.0</b>
	70代以上		300 <b>100</b>	3 <b>1.0</b>	16 <b>5.3</b>	61 <b>20.3</b>	123 <b>41.0</b>	71 <b>23.7</b>	26 <b>8.7</b>

【13. この人にとっては、人生の喜びを味わうことが重要である】

		度数 横%	全 体	まったく 似ていない	ほとんど 似ていない	あまり 似ていない	少し 似ている	かなり 似ている	とても 似ている
全 体			1800 <b>100</b>	69 <b>3.8</b>	133 <b>7.4</b>	458 <b>25.4</b>	681 <b>37.8</b>	286 <b>15.9</b>	173 <b>9.6</b>
地域	首都圏		900 <b>100</b>	35 <b>3.9</b>	51 <b>5.7</b>	238 <b>26.4</b>	334 <b>37.1</b>	155 <b>17.2</b>	87 <b>9.7</b>
	京阪神圏		900 <b>100</b>	34 <b>3.8</b>	82 <b>9.1</b>	220 <b>24.4</b>	347 <b>38.6</b>	131 <b>14.6</b>	86 <b>9.6</b>
年代	20代		300 <b>100</b>	16 <b>5.3</b>	29 <b>9.7</b>	89 <b>29.7</b>	93 <b>31.0</b>	35 <b>11.7</b>	38 <b>12.7</b>
	30代		300 <b>100</b>	16 <b>5.3</b>	24 <b>8.0</b>	90 <b>30.0</b>	101 <b>33.7</b>	36 <b>12.0</b>	33 <b>11.0</b>
	40代		300 <b>100</b>	15 <b>5.0</b>	27 <b>9.0</b>	87 <b>29.0</b>	111 <b>37.0</b>	33 <b>11.0</b>	27 <b>9.0</b>
	50代		300 <b>100</b>	9 <b>3.0</b>	27 <b>9.0</b>	71 <b>23.7</b>	122 <b>40.7</b>	47 <b>15.7</b>	24 <b>8.0</b>
	60代		300 <b>100</b>	9 <b>3.0</b>	14 <b>4.7</b>	60 <b>20.0</b>	138 <b>46.0</b>	55 <b>18.3</b>	24 <b>8.0</b>
	70代以上		300 <b>100</b>	4 <b>1.3</b>	12 <b>4.0</b>	61 <b>20.3</b>	116 <b>38.7</b>	80 <b>26.7</b>	27 <b>9.0</b>

【14. この人にとっては、楽しい時間を過ごすことが重要である】

		度数 横%	全 体	まったく 似ていない	ほとんど 似ていない	あまり 似ていない	少し 似ている	かなり 似ている	とても 似ている
全 体			1800 <b>100</b>	55 <b>3.1</b>	104 <b>5.8</b>	417 <b>23.2</b>	693 <b>38.5</b>	331 <b>18.4</b>	200 <b>11.1</b>
地域	首都圏		900 <b>100</b>	25 <b>2.8</b>	45 <b>5.0</b>	208 <b>23.1</b>	358 <b>39.8</b>	168 <b>18.7</b>	96 <b>10.7</b>
	京阪神圏		900 <b>100</b>	30 <b>3.3</b>	59 <b>6.6</b>	209 <b>23.2</b>	335 <b>37.2</b>	163 <b>18.1</b>	104 <b>11.6</b>
年代	20代		300 <b>100</b>	11 <b>3.7</b>	33 <b>11.0</b>	84 <b>28.0</b>	86 <b>28.7</b>	48 <b>16.0</b>	38 <b>12.7</b>
	30代		300 <b>100</b>	17 <b>5.7</b>	22 <b>7.3</b>	77 <b>25.7</b>	101 <b>33.7</b>	45 <b>15.0</b>	38 <b>12.7</b>
	40代		300 <b>100</b>	13 <b>4.3</b>	13 <b>4.3</b>	85 <b>28.3</b>	120 <b>40.0</b>	31 <b>10.3</b>	38 <b>12.7</b>
	50代		300 <b>100</b>	4 <b>1.3</b>	13 <b>4.3</b>	62 <b>20.7</b>	131 <b>43.7</b>	57 <b>19.0</b>	33 <b>11.0</b>
	60代		300 <b>100</b>	7 <b>2.3</b>	12 <b>4.0</b>	62 <b>20.7</b>	132 <b>44.0</b>	63 <b>21.0</b>	24 <b>8.0</b>
	70代以上		300 <b>100</b>	3 <b>1.0</b>	11 <b>3.7</b>	47 <b>15.7</b>	123 <b>41.0</b>	87 <b>29.0</b>	29 <b>9.7</b>